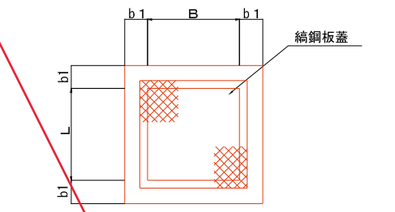
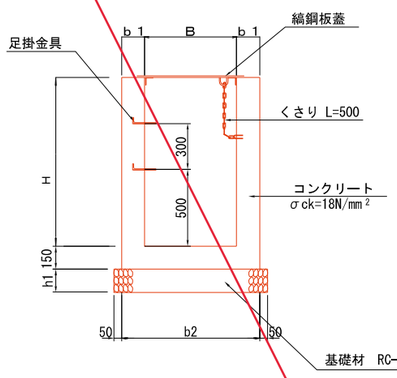
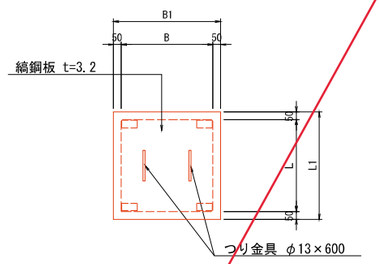
排水工構造図(8) S=1:20

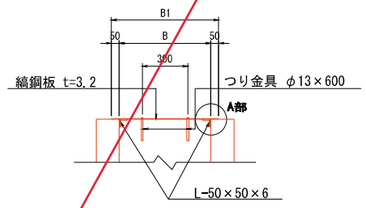
集水桝
G2 型





縞鋼板

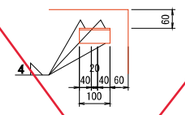




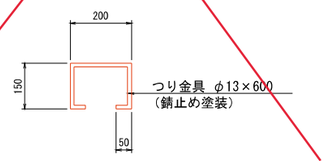
縞鋼板蓋寸法表

記号（L－B）	B	L	B1	L1
G2-B500-L500-H	500	500	600	600
G2-B800-L800-H	800	800	900	900

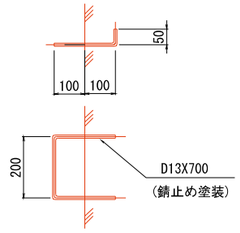
A部詳細図 S=1:10



つり金具 S=1:10

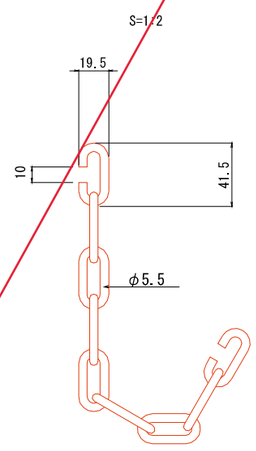


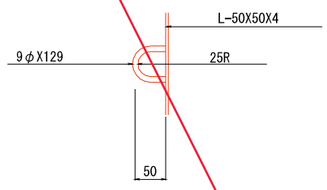
足掛金具 S=1:10

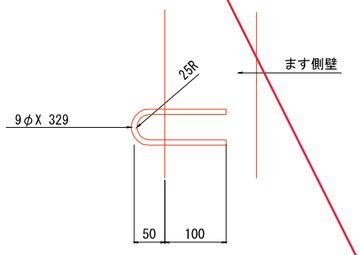


H=1.0m以上に使用

くさりの詳細図 S=1:5







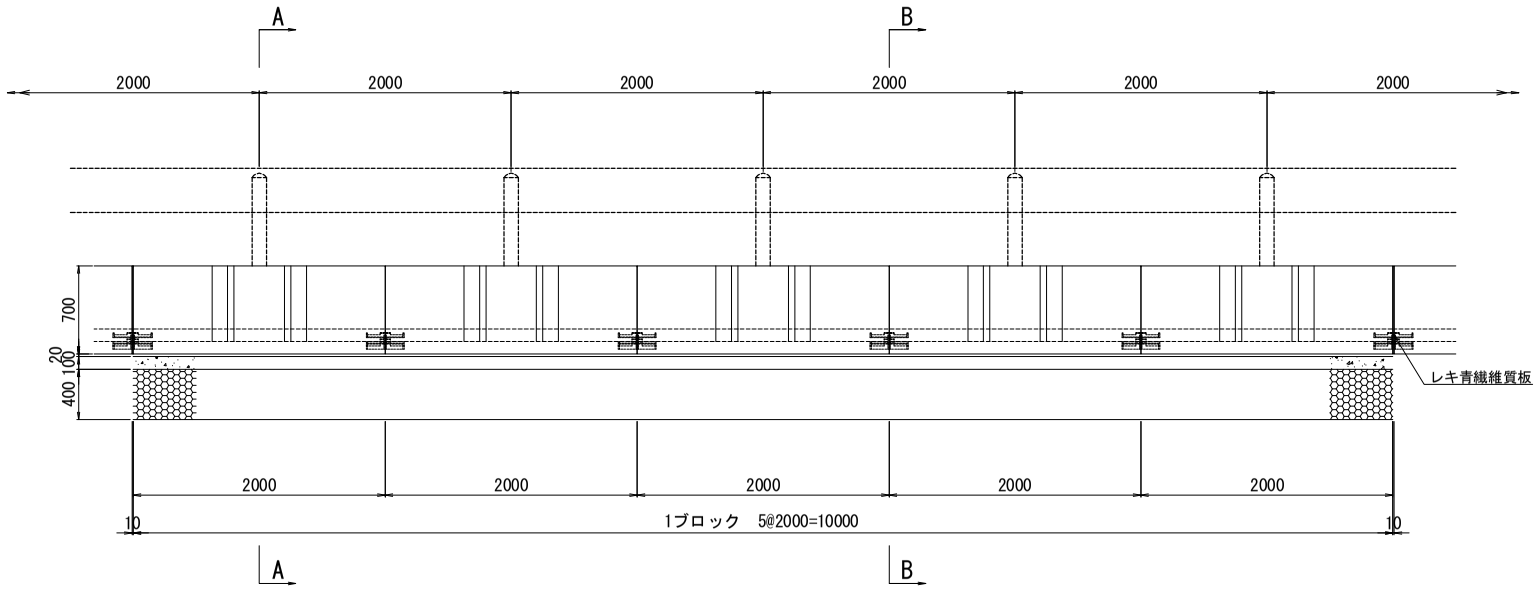
[redacted]

（参考図）ガードレール用基礎ブロック一般構造図

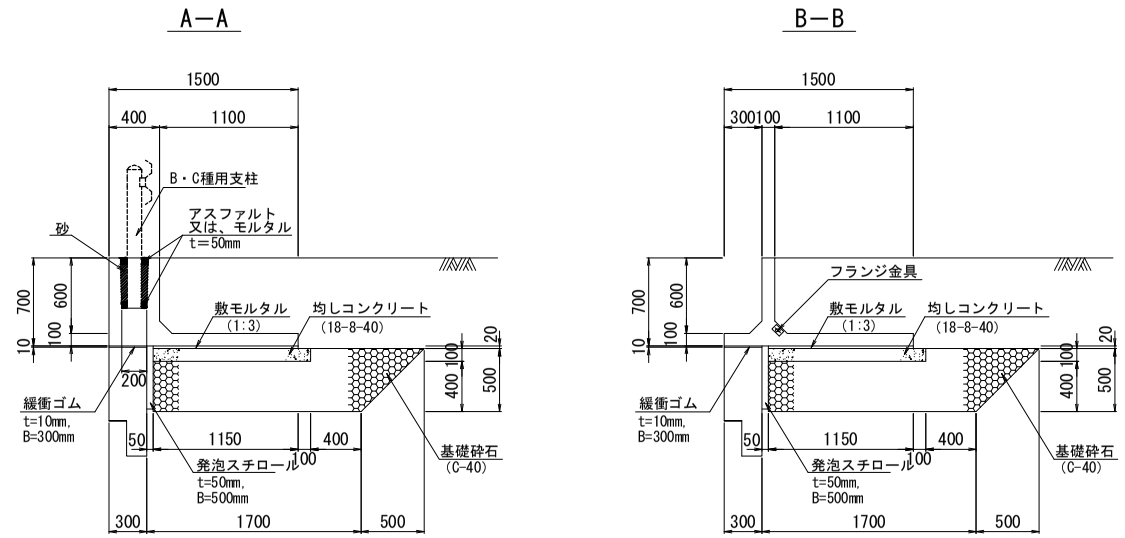
S＝1：30

（補強土壁工天端部）

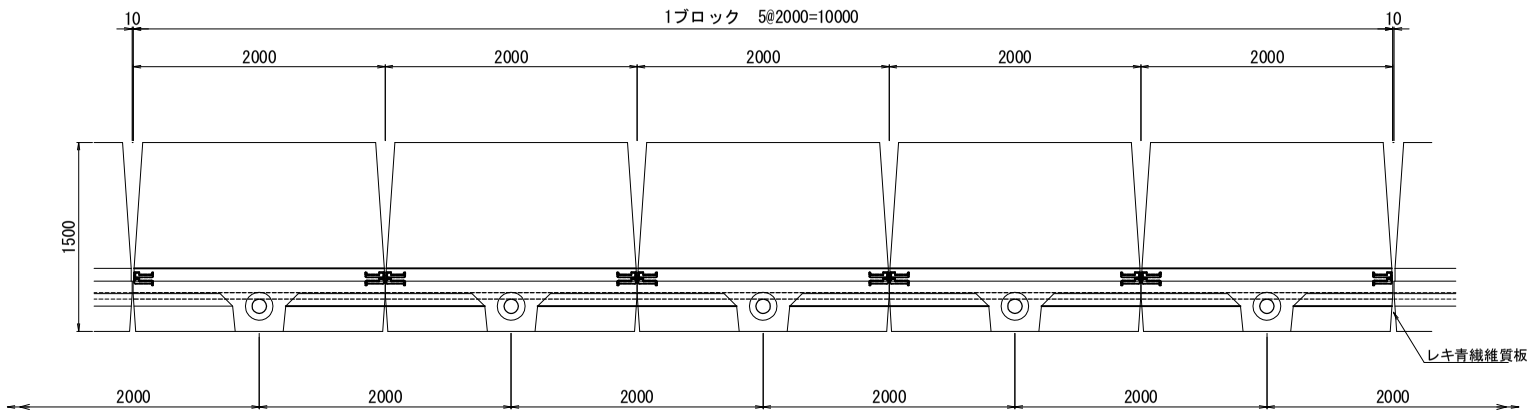
縦断展開図



標準施工断面図



平面展開図



設計条件

項目		単位	数値
衝突荷重		kN	B・C種：P=30.0kN
上載荷重		kN／m²	10.0
単位体積重量	鉄筋コンクリート	kN／m³	24.5
	土	kN／m³	19.0
コンクリート設計基準強度		N／mm²	40.0
許容応力度	コンクリート曲げ圧縮応力度	N／mm²	14.0 (21.0)
	コンクリートせん断応力度	N／mm²	0.55 (0.825)
	鉄筋引張応力度	N／mm²	180.0 (270.0)
土の内部摩擦角		－	30.0°
安全性の照査	常時	転倒	安全率　F≧1.5
		滑動	安全率　F≧1.5
	衝突時	転倒	安全率　F≧1.5
		滑動	安全率　F≧1.5

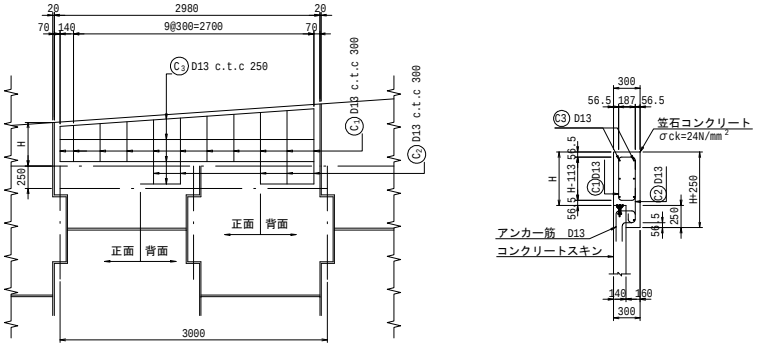
（　）は衝突時の許容値を表す。

注記
※参考図については、契約上の製品規格等を指定するものではない。

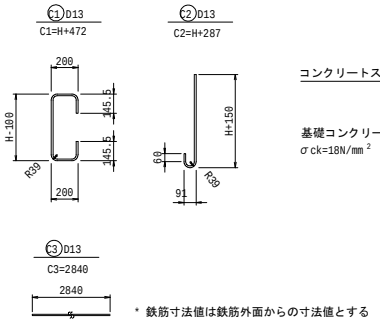
1号補強土壁工詳細図(2)

参考図

笠石コンクリート配筋図 S=1:30

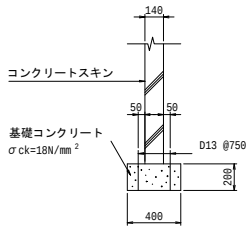


鉄筋加工図 S=1:20

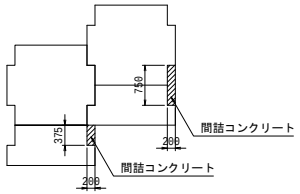


＊ 鉄筋寸法値は鉄筋外面からの寸法値とする

基礎詳細図 S=1:20

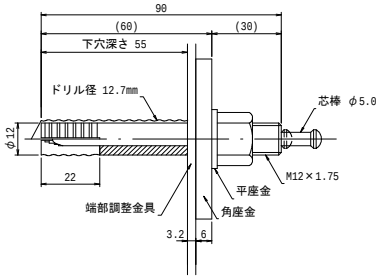


間詰コンクリート詳細図 S=1:50



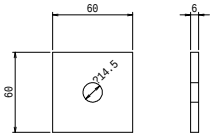
アローアンカー Cタイプ S=1:1

(M12-90 HDZ35)
公称重量 91g/セット



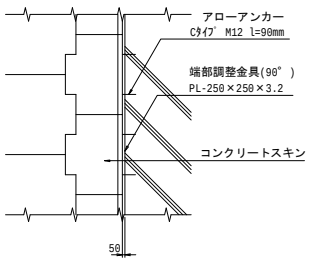
角 座 金 S=1:2

(PL-6×60×60 SS400 HDZ35)
公称重量 165g/枚

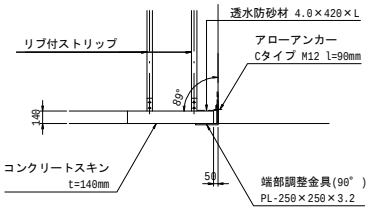


橋台取合い詳細図 S=1:30

正 面 図

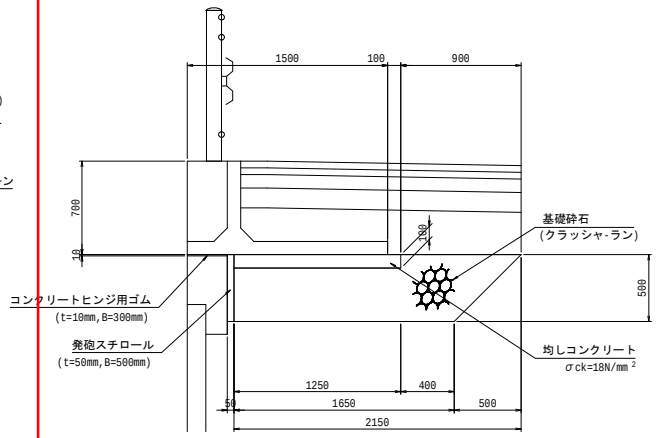


平 面 図 S=1:30



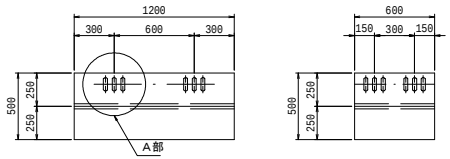
独立防護柵基礎断面図 S=1:20

Gベース工（C種）

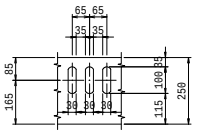


端部調整金具 S=1:20

(PL-250×250×3.2×L SS400 HDZ35)



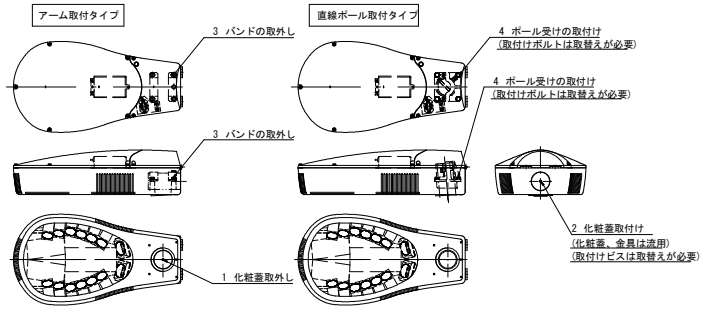
A部詳細図 S=1:10



年 度	H29～30年度	図面番号	11/67
河 川 名	安威川ダム		
工 事 名	左岸道路築造工事（生保工区Ｈ２９－２）		
施工位置	茨木市大字生保地内		
図 面 名	1号補強土壁工詳細図(2)		
縮 尺	1:100	作成年月日	平成29年5月
大阪府安威川ダム建設事務所			

照明柱参考姿図 S=1／80

アーム→直線 金具詳細図



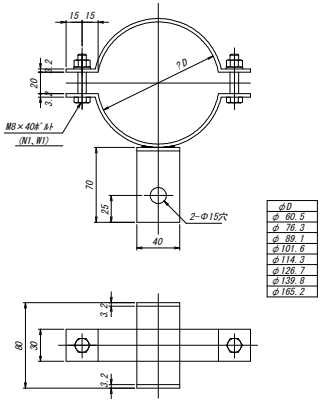
アームタイプから直線ポールタイプへの変更に必要な部品

ポール受け
(バンド、
取付けボルト含む)

化粧蓋取付用ビス
(M4皿ビス)

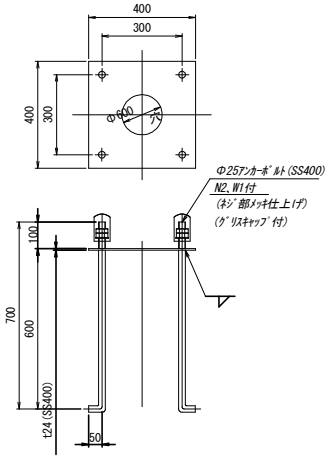
アンカーボルト

コ型バンド詳細図
S=1／5



φD
φ 60.5
φ 76.3
φ 89.1
φ101.6
φ114.3
φ126.7
φ139.8
φ165.2

アンカーボルト詳細図
S=1／20

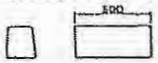
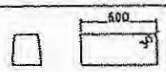
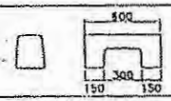
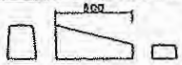
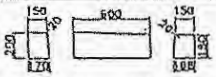
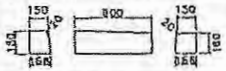
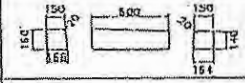
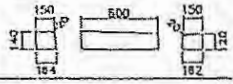
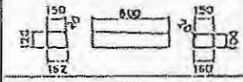
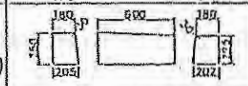
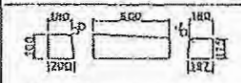


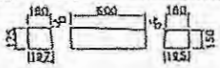
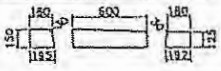
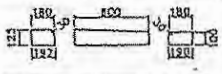
※仕上：溶融亜鉛メッキ（HDZ55）
※ベースピッチ・開口部の向き,高さ・ニップル・カップリングは、参考とする

作成年月	1975年12月	改　訂	1984年 3月　1995年 5月　2000年 3月

図面番号	0−0−1

コンクリート製品一覧表

区　分	区　分		型　式	摘　要
歩車道境界	150/190×200×600 180/230×250×600 180/240×300×600		0−1型 0−2型 0−3型	一般部（セミフラット形式 ・フラット形式） 歩道すりつけ部
	150/190×200×600 180/230×250×600 180/240×300×600		0−4型 0−5型 0−6型	〃　（端部）
	150/170×200×600 180/205×250×600		0−7型 0−8型	一般部（マウンドアップ形式）
	150/190×200×600 180/230×250×600		0−9型 0−10型	一般部の集水桝部
	150/(190~170) ×(200~100)×600 180/(230~200) ×(250~100)×600		0−11型 0−12型	歩道切下げすりつけ部 車両出入口すりつけ部（端部）
	150/(170~168) ×(200~180)×600		0−13型 (1)	歩道すりつけ部
	150/(168~166) ×(180~160)×600		0−13型 (2)	〃
	150/(166~164) ×(160~140)×600		0−13型 (3)	〃
	150/(164~162) ×(140~120)×600		0−13型 (4)	〃
	150/(162~160) ×(120~100)×600		0−13型 (5)	〃
	180/(205~202) ×(250~225)×600		0−14型 (1)	歩道すりつけ部
	180/(202~200) ×(225~200)×600		0−14型 (2)	〃
	180/(200~197) ×(200~175)×600		0−14型 (3)	〃

区　分	区　分		型　式	摘　要
歩車道境界	180/(197~195) ×(175~150)×600		0−14型 (4)	歩道すりつけ部
	180/(195~192) ×(150~125)×600		0−14型 (5)	〃
	180/(192~190) ×(125~100)×600		0−14型 (6)	〃
	180/190×100×600		0−15型	歩道切下げ部
	40/180×100×600		0−16型	車両出入口部
境　界	180/180×100×600		0−17型	車両出入口部境界 中央分離帯切下げ部
	150/150×150×600		0−18型	官民境界JISA5307
	150/150×150×600		0−19型	植樹帯根固め
管　渠	φ200 ~φ2000 φ1000~φ3000			ソケット管 （第1種管）JISA5303 ソケット管 （第2種管）JISA5303
側　溝				PU型側溝JISA5305
視覚障害者誘導用ブロック	点状 300×300×66		点状ブロック	
	線状 300×300×66		線状ブロック	

工　種	
種　別	
図面名	コンクリート製品一覧表

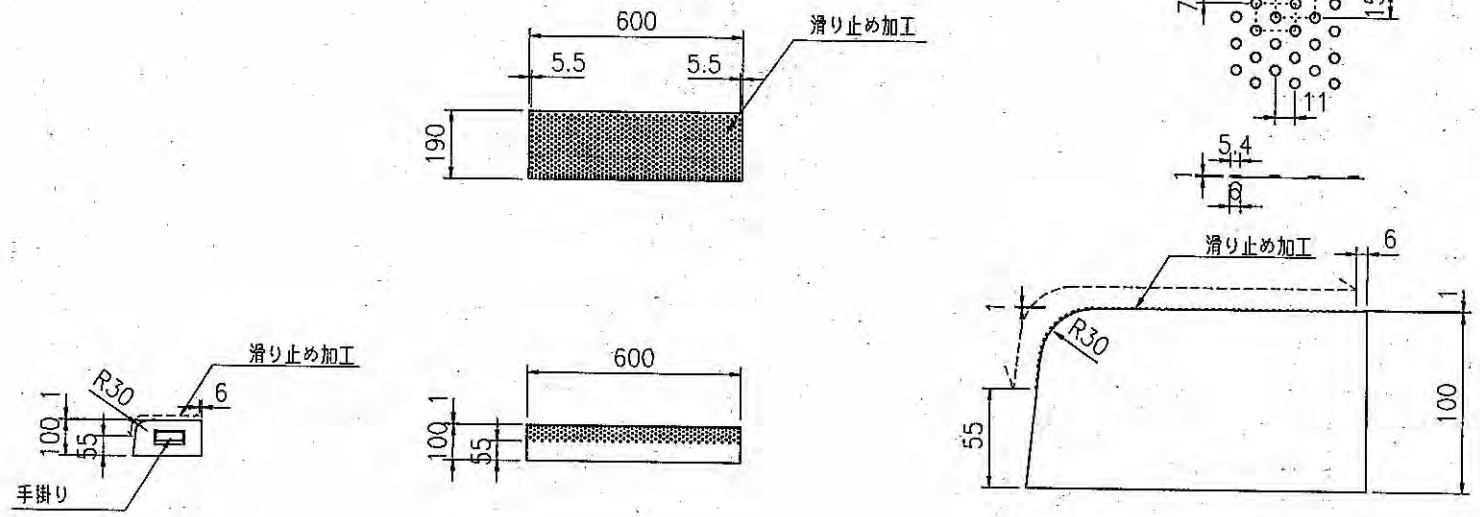
ETCSY006	平成20年 10月1日	G20080605−6 SY

設計条件

荷 重 条 件	T−25（平行）

片面歩車道境界ブロックB(切下げ)

S=1/20



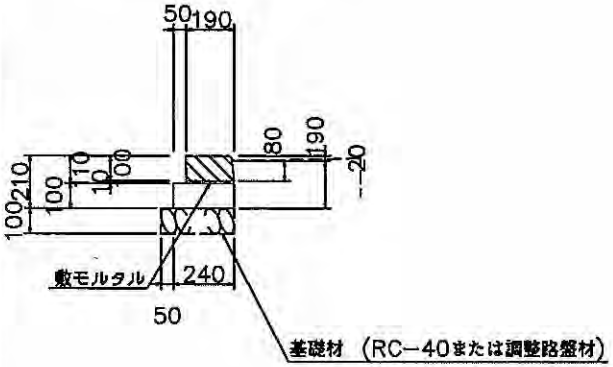
製品立積	0.011	(m³)

作成年月	1975年12月	改　訂	1984年 3月　2000年 3月　2004年 5月　2008年 10月

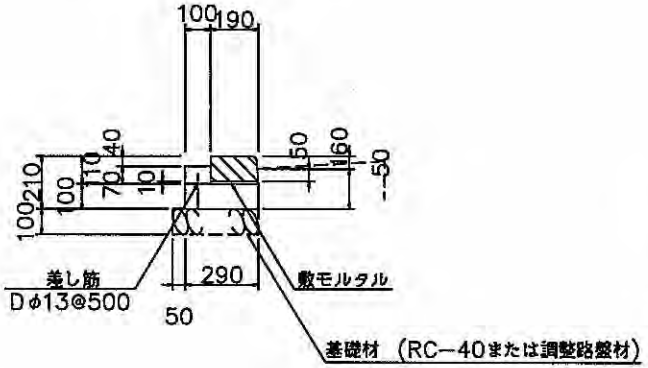
図面番号	1−2−1

歩道切下げ部、車両出入口部

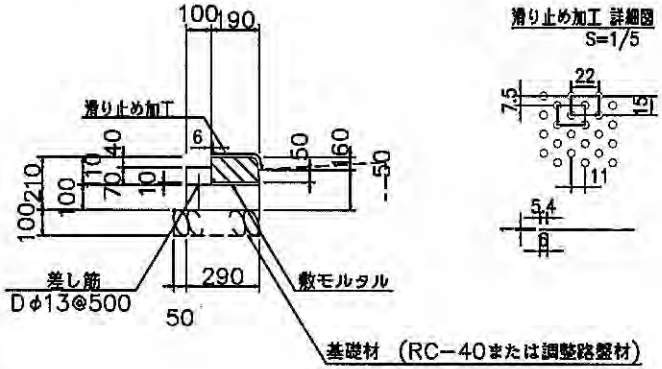
E型　（歩道切下げ部）



F型　（車両出入口部）



H型　（車両出入口部）



材　料　表　　（10m当り）

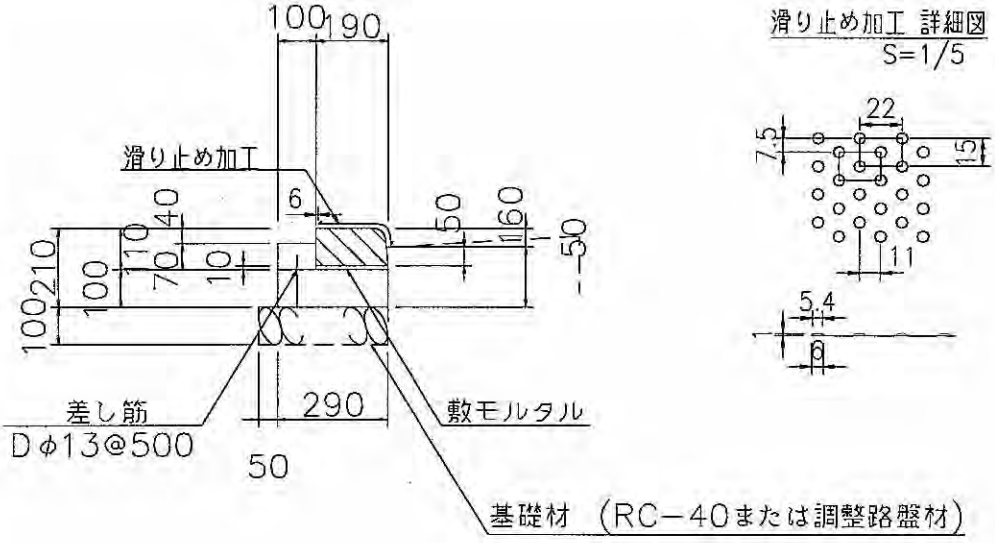
名　称	規　格	単位	数量 E型	数量 F型	数量 H型	摘　要
基礎材		m^2	2.90	3.40	3.40	
型　枠		m^2	2.00	2.70	2.70	
コンクリート	$\sigma ck=18N/mm^2$	m^3	0.24	0.36	0.36	
敷モルタル	1:3	m^2	1.90	1.90	1.90	据付
コンクリートブロック	180/190×100×600	個	16.5	16.5	16.5	O−15型
差し筋	Dφ13 L=150	kg	——	3.0	3.0	20本/10m
伸縮目地	目地板 t=10	m^2	0.02	0.03	0.03	

注）1.E型は歩道切下げ部、F型,H型は車両出入口部にそれぞれ使用。
2.基礎材はRC−40(厚み100mm)又は調整路盤材とする。
数量はRC−40の場合で表示する。
3.伸縮目地は瀝青繊維質目地を使用するものとする。

工　種	歩車道境界工
種　別	縁石
図面名	E型 F型 H型
大阪府都市整備部	

算式根拠となる構造図

種別及び細別 ： 歩車道境界工 縁石 H型（車両出入口部）



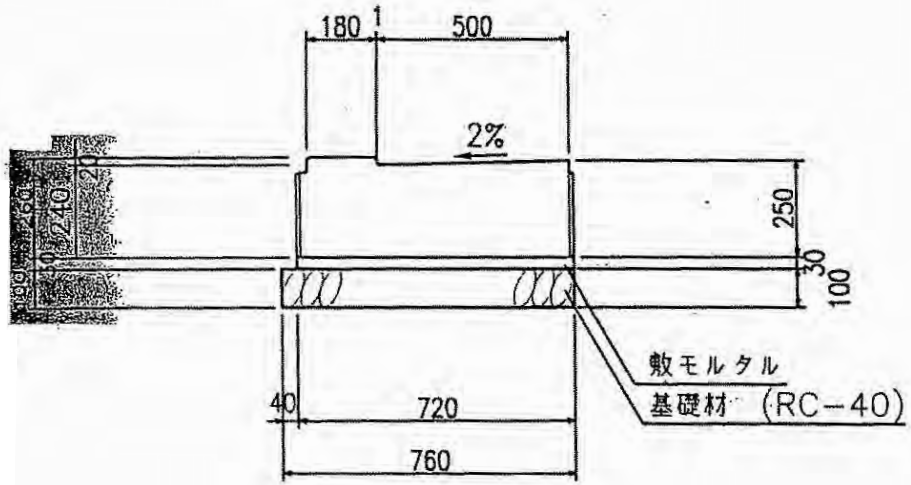
図面番号1-2-1

（10m当たり）

名　称	規格・形状	算　式	単位	数量
基礎材	RC-40又は調整路盤材	0.34×10.0	m^2	3.400
型枠		(0.17+0.10)×10.0	m^2	2.700
コンクリート	σck=18N/mm^2	(0.10×0.29+0.07×0.10)×10.0	m^3	0.360
敷モルタル	1：3	0.19×10.0	m^2	1.900
コンクリートブロック	180/190×100×600	10.0/0.605	個	16.529
差し筋	DΦ13　L=150	0.15×0.995×20	kg	2.985
伸縮目地	目地板 t=10	0.10×0.29	m^2	0.029

（横断歩道部）

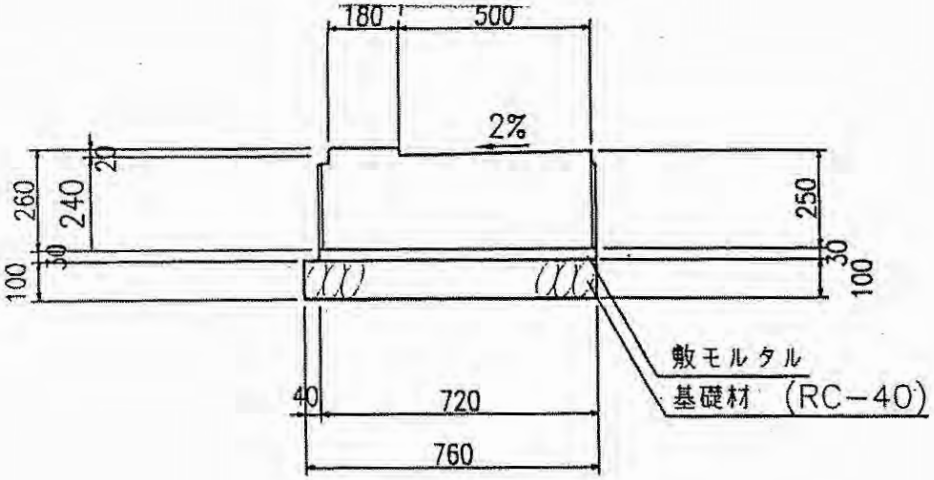
B4型



材料表　　（10m当り）

名称	規格	単位	数量	摘要
基礎材		m^2	7.60	
特殊エプロン	L=2000	個	5	
敷モルタル	1:3	m^2	7.20	

注）1.基礎材はRC−40(厚み100mm)又は調整路盤材とする。
数量はRC−40の場合で表示する。



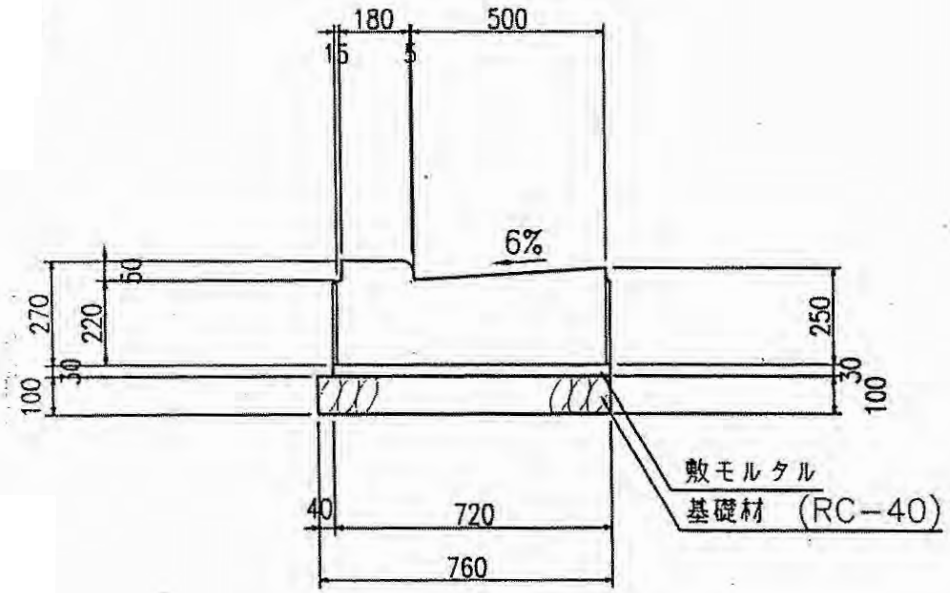
材 料 表 (10m当り)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎材		m^2	7.60	
特殊エプロン	L=2000	個	5	
敷モルタル	1:3	m^2	7.20	

注）1.基礎材はRC−40(厚み100mm)又は調整路盤材とする。
数量はRC−40の場合で表示する。

(車両出入口部)

B2型



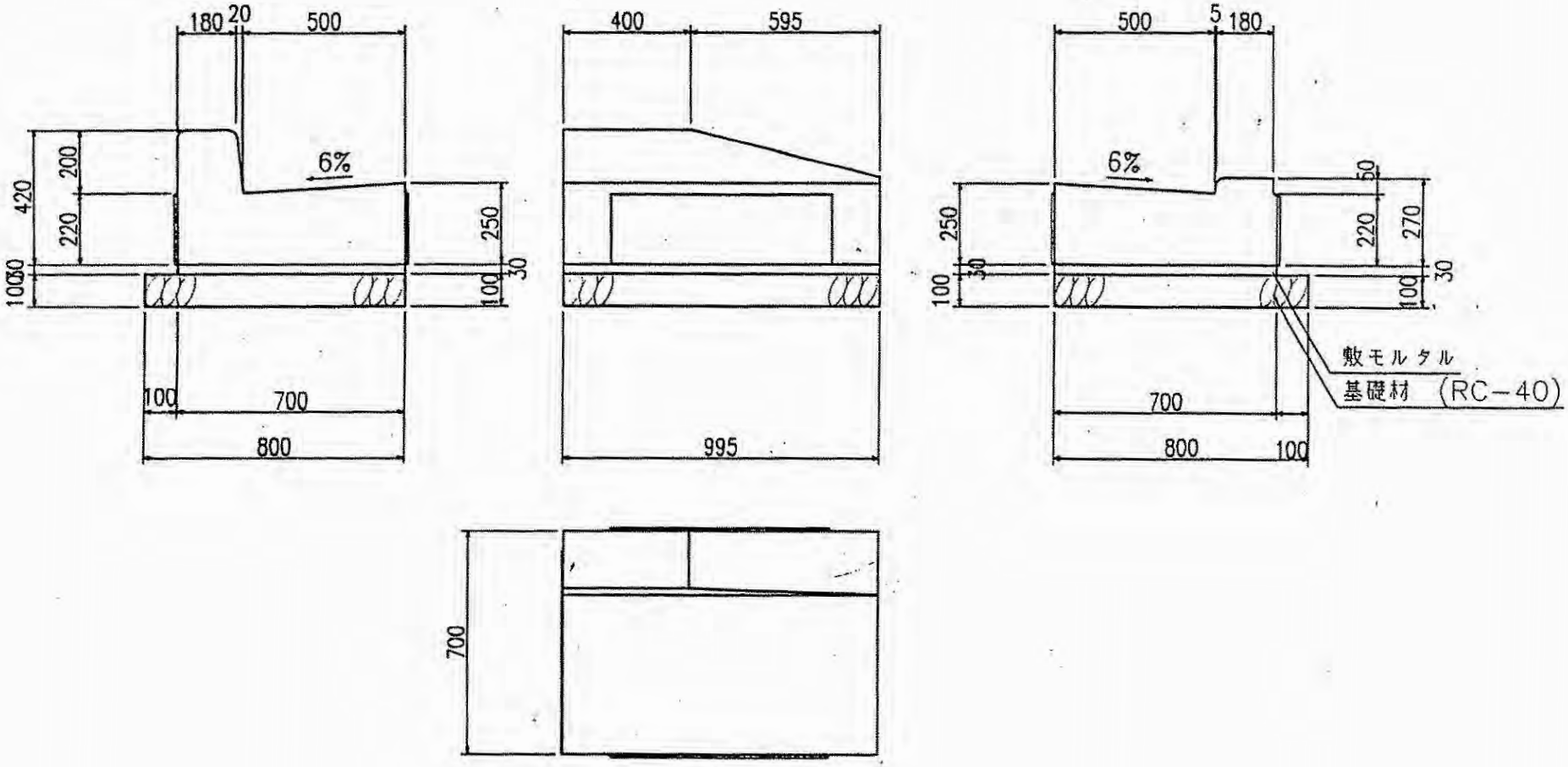
材 料 表 (10m当り)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎材		m^2	7.60	
特殊エプロン	L=2000	個	5	
敷モルタル	1:3	m^2	7.20	

注）1.基礎材はRC−40(厚み100mm)又は調整路盤材とする。
数量はRC−40の場合で表示する。

歩車道境界ブロック詳細図

B3型(PGF)



PGF525A−2	平成19年 1月 5日	****

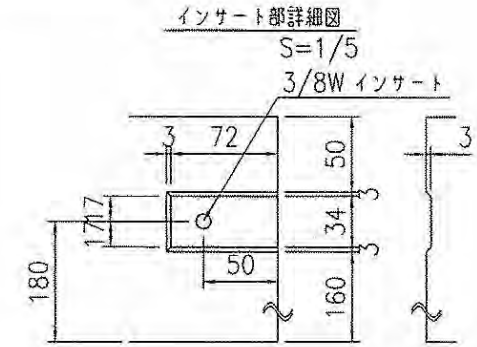
市場製品図集タイプ

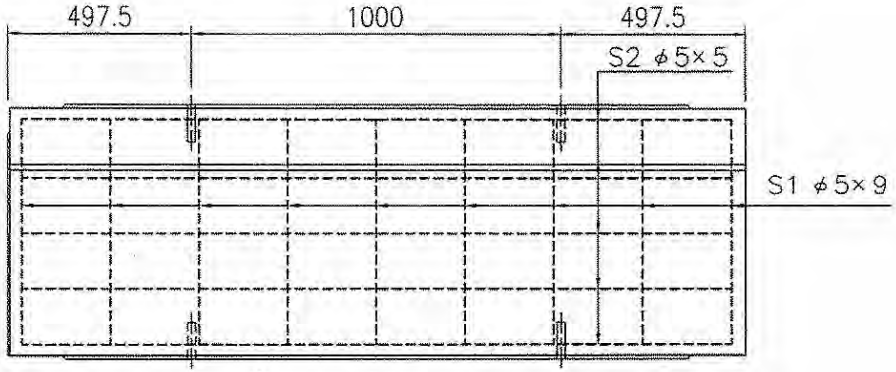
エプロン PGF525−A（基本）

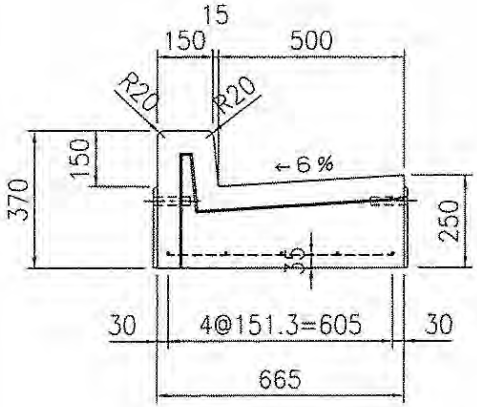
S=1/20

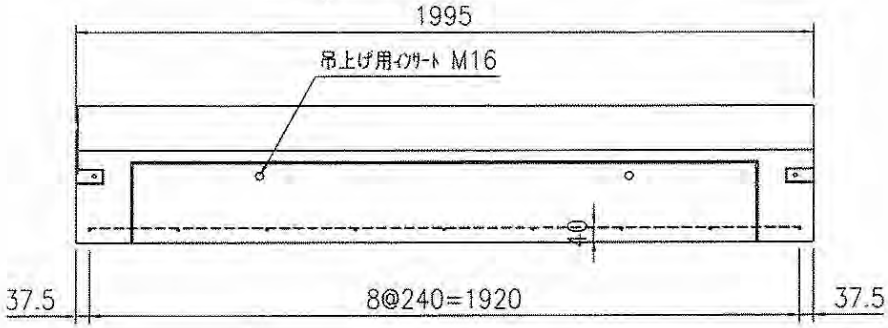
設計条件

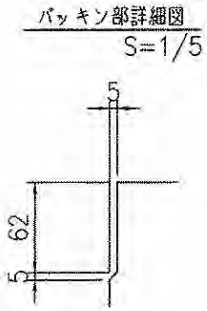
荷重条件	T−25（平行）
コンクリート設計基準強度	σck=24（N/mm²）
鉄筋	SWM−B又はSWM−P











記号	鉄筋径	単位重量（Kg/m）	本数	長さ（m）	重量（Kg）
S1	φ5	0.154	9	0.610	0.8
S2	φ5	0.154	5	1.925	1.5
鉄筋総重量				2.3	（Kg）
製品立積				0.354	（m³）

（注記）

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集（国土交通省近畿地方整備局）」に掲載されています<L−4>。

PGF525A−1	平成19年 1月 5日	****

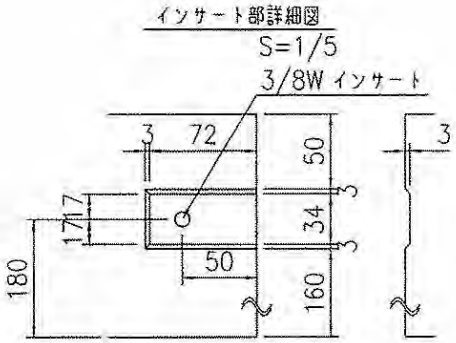
市場製品図集タイプ

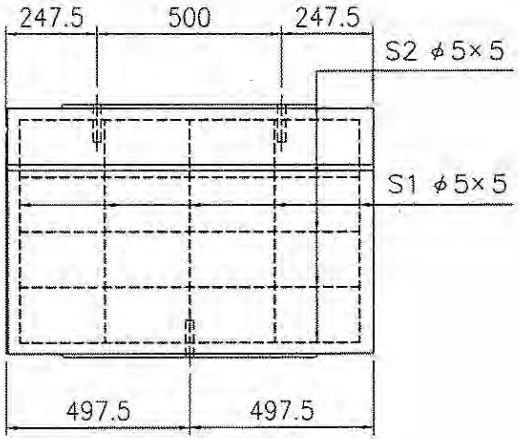
エプロン PGF525−A（基本）

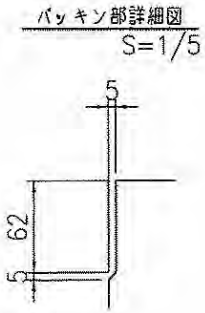
l=1.0（m）　S=1/20

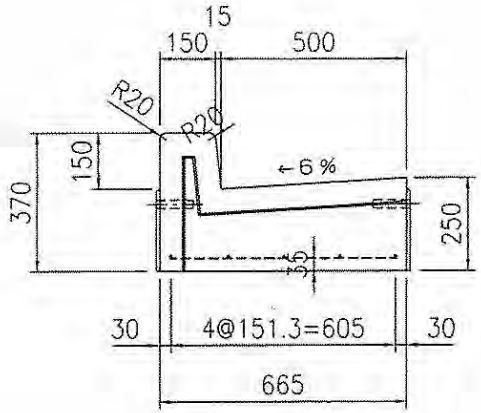
設計条件

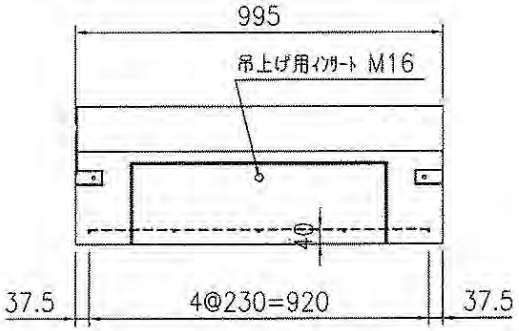
荷重条件	T−25（平行）
コンクリート設計基準強度	σck=24（N/mm²）
鉄筋	SWM−B又はSWM−P











記号	鉄筋径	単位重量（Kg/m）	本数	長さ（m）	重量（Kg）
S1	φ5	0.154	5	0.610	0.5
S2	φ5	0.154	5	0.925	0.7
鉄筋総重量				1.2	（Kg）
製品立積				0.176	（m³）

（注記）

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集（国土交通省近畿地方整備局）」に掲載されています<L−4>。

PG525NA−2	平成19年 1月 5日	****

市場製品図集タイプ

エプロン PG525−N−A（乗入用）

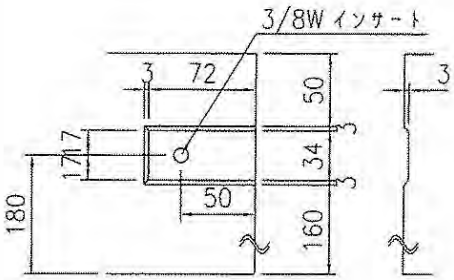
S=1/20

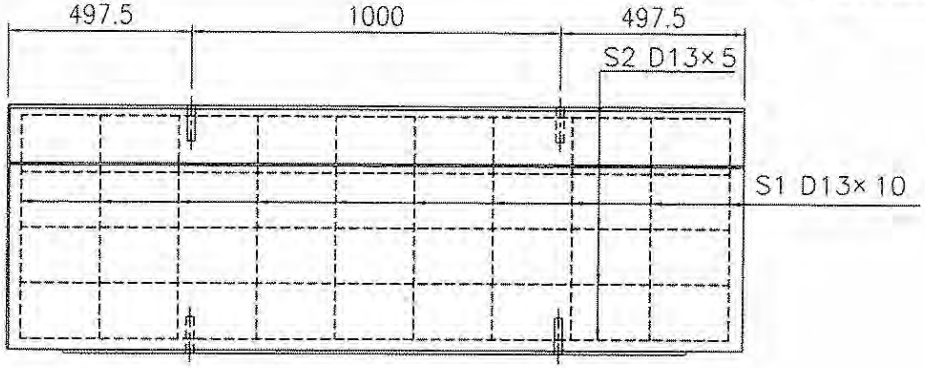
設計条件

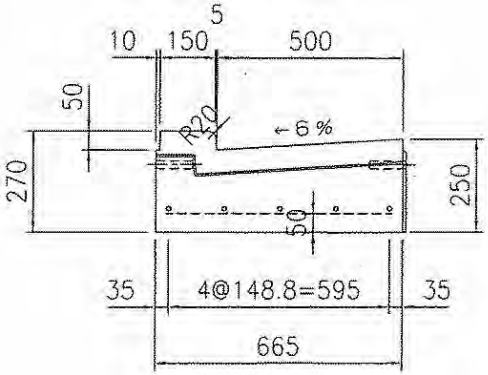
荷重条件	T−25（平行）
コンクリート設計基準強度	σck=24（N/mm²）
鉄筋	SD295*

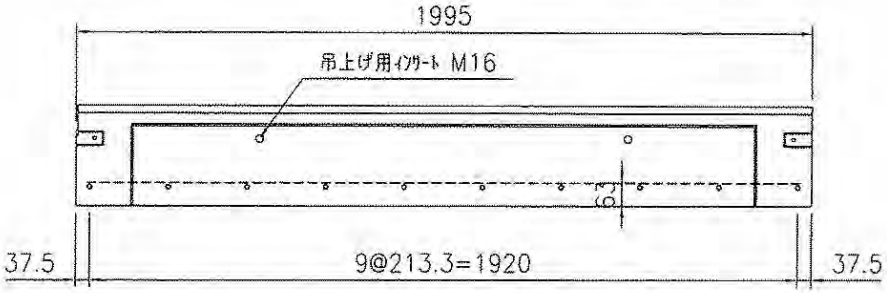
※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

インサート部詳細図
S=1/5

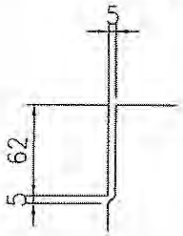








パッキン部詳細図
S=1/5



（注記）

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集（国土交通省近畿地方整備局）」に掲載されています<L−4>。

記号	鉄筋径 SD295*	単位重量（Kg/m）	本数	長さ（m）	重量（Kg）
S1	D13	0.995	10	0.610	6.1
S2	D13	0.995	5	1.935	9.6
鉄筋総重量				15.7	（Kg）
製品立積				0.322	（m³）

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

PGF525SAL	平成19年 1月 5日	****

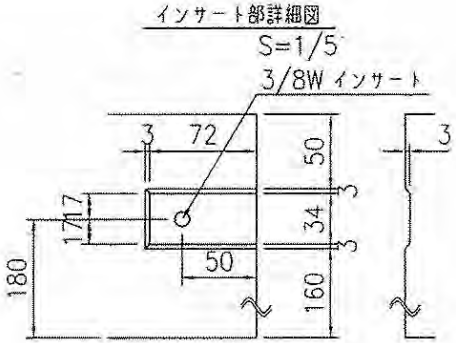
市場製品図集タイプ

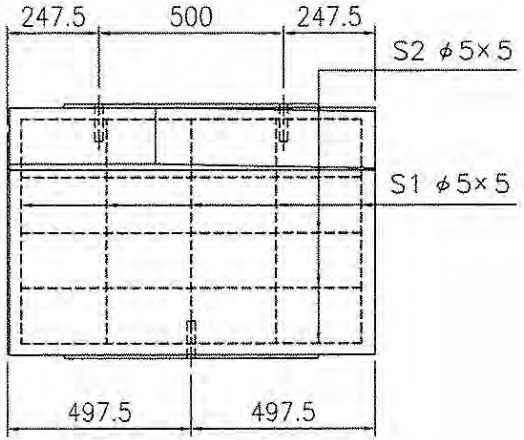
エプロン PGF525-S-A（斜用・左用）

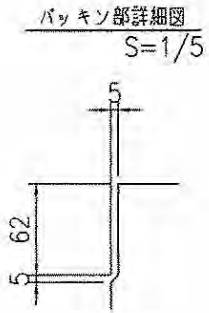
l=1.0（m）　S=1/20

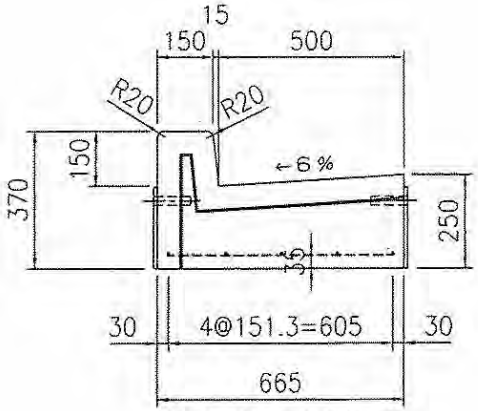
設計条件

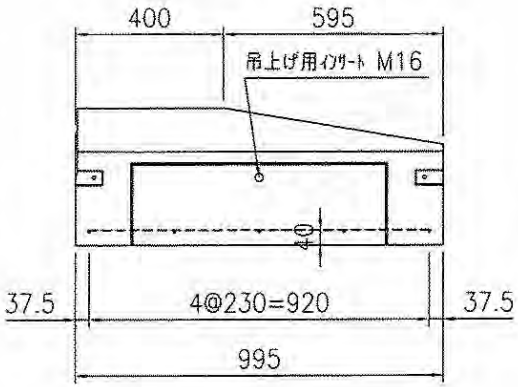
荷重条件	T-25（平行）
コンクリート設計基準強度	σck=24（N/mm²）
鉄筋	SWM-B又はSWM-P

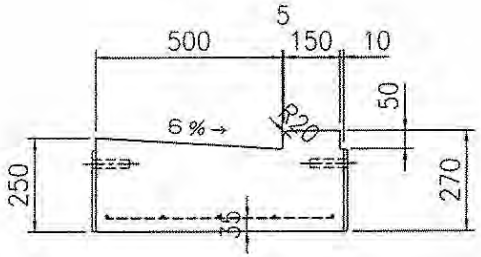












※斜用には左右があり、車道から見て左上がりを左用と呼ぶ。（図は左用）

記号	鉄筋径	単位重量（Kg/m）	本数	長さ（m）	重量（Kg）
S1	φ5	0.154	5	0.610	0.5
S2	φ5	0.154	5	0.925	0.7
鉄筋総重量				1.2	（Kg）
製品立積				0.171	（m³）

（注記）

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集（国土交通省近畿地方整備局）」に掲載されています<L-4>。

PGF525SAR	平成19年 1月 5日	****

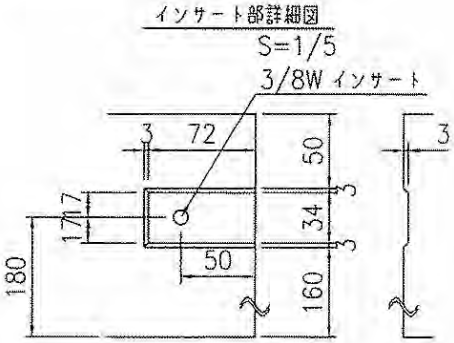
市場製品図集タイプ

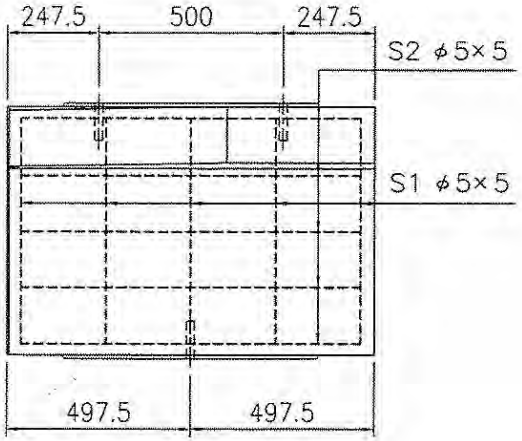
エプロン PGF525-S-A（斜用・右用）

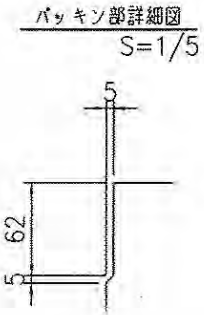
l=1.0（m）　S=1/20

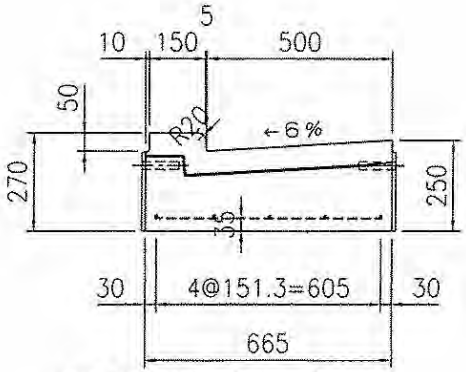
設計条件

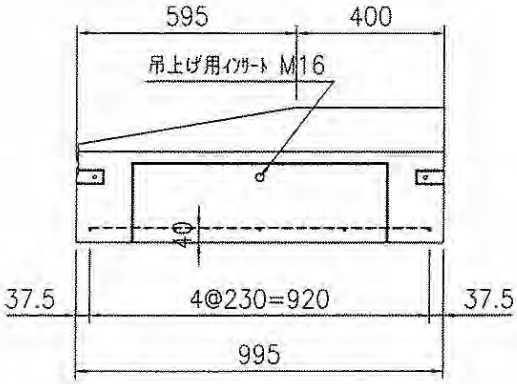
荷重条件	T-25（平行）
コンクリート設計基準強度	σck=24（N/mm²）
鉄筋	SWM-B又はSWM-P

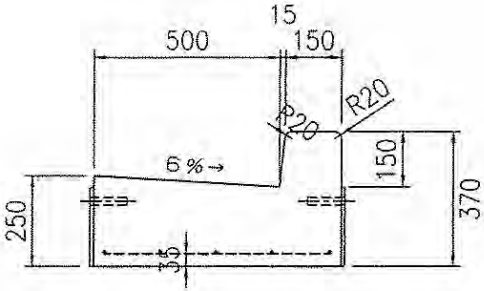












※斜用には左右があり、車道から見て右上がりを右用と呼ぶ。（図は右用）

（注記）

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集（国土交通省近畿地方整備局）」に掲載されています<L-4>。

記号	鉄筋径	単位重量（Kg/m）	本数	長さ（m）	重量（Kg）
S1	φ5	0.154	5	0.610	0.5
S2	φ5	0.154	5	0.925	0.7
鉄筋総重量				1.2	（Kg）
製品立積				0.171	（m³）

PGUFA−2	平成18年 9月 1日	****

市場製品図集タイプ

エプロン PGUF−A（基本）

S=1/20

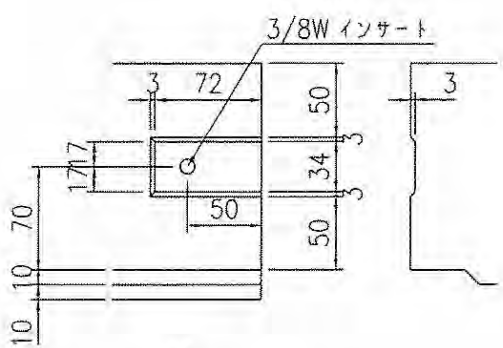
設計条件

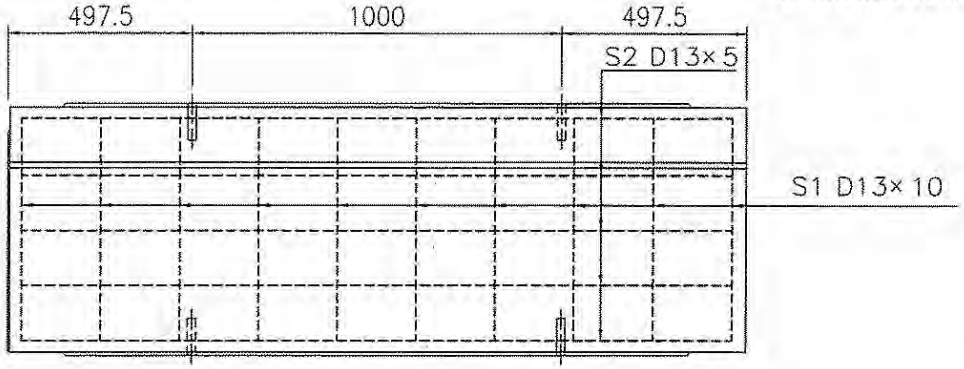
荷重条件	T−25（平行）
コンクリート設計基準強度	σck=24（N/mm²）
鉄筋	SD295※

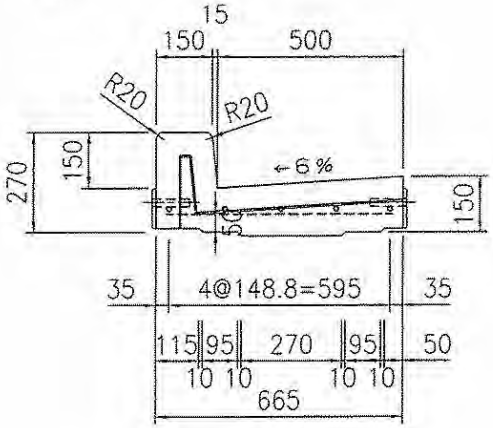
※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

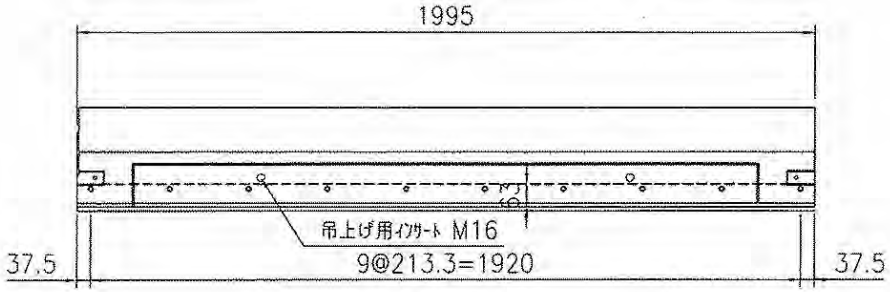
インサート部詳細図

S=1/5



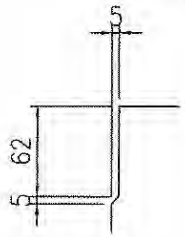






パッキン部詳細図

S=1/5



（注記）

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集（国土交通省近畿地方整備局）」に掲載されています<L−2>。

記号	鉄筋径（SD295※）	単位重量（Kg/m）	本数	長さ（m）	重量（Kg）
S1	D13	0.995	10	0.610	6.1
S2	D13	0.995	5	1.935	9.6
鉄筋総重量				15.7	（Kg）
製品立積				0.223	（m³）

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

PGUFA−1	平成19年 9月 1日	****

市場製品図集タイプ

エプロン PGUF−A（基本）

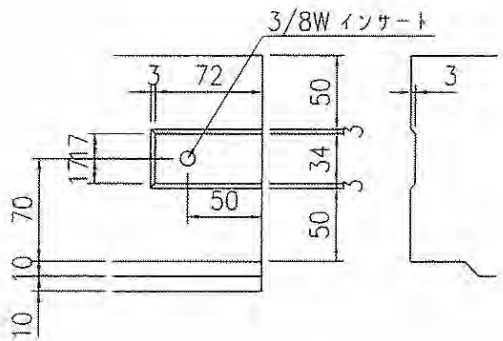
l=1.0(m)　S=1/20

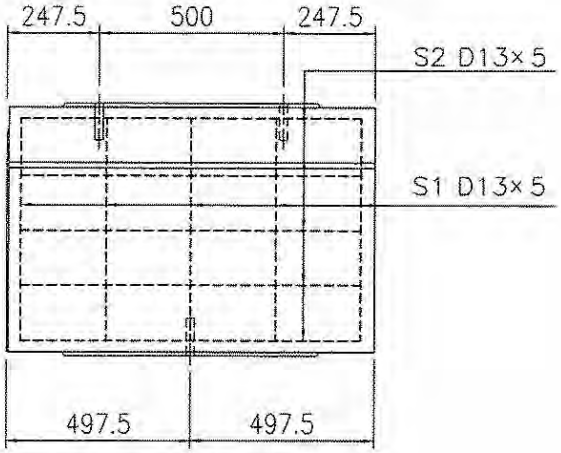
設計条件

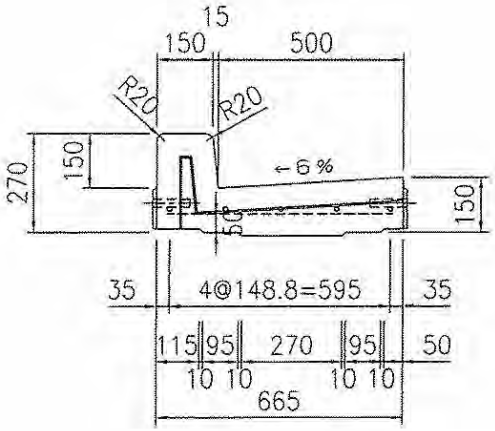
荷重条件	T−25（平行）
コンクリート設計基準強度	σck=24（N/mm²）
鉄筋	SD295※

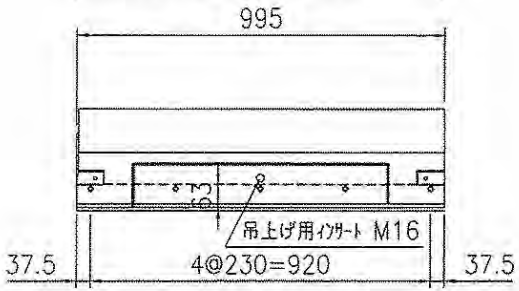
※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

インサート部詳細図
S=1/5

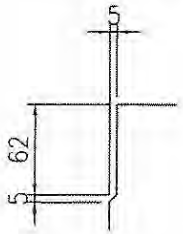








パッキン部詳細図
S=1/5



（注記）

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集（国土交通省近畿地方整備局）」に掲載されています<L−2>。

記号	鉄筋径（SD295※）	単位重量（Kg/m）	本数	長さ（m）	重量（Kg）
S1	D13	0.995	5	0.610	3.0
S2	D13	0.995	5	0.935	4.7
鉄筋総重量				7.7	（Kg）
製品立積				0.111	（m³）

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

PGUNA−2	平成18年 9月 1日	****

市場製品図集タイプ

エプロン PGU−N−A（乗入用）

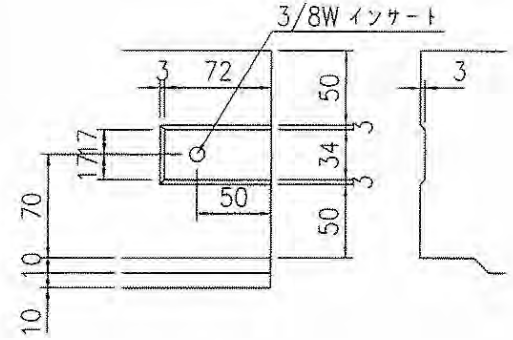
S=1/20

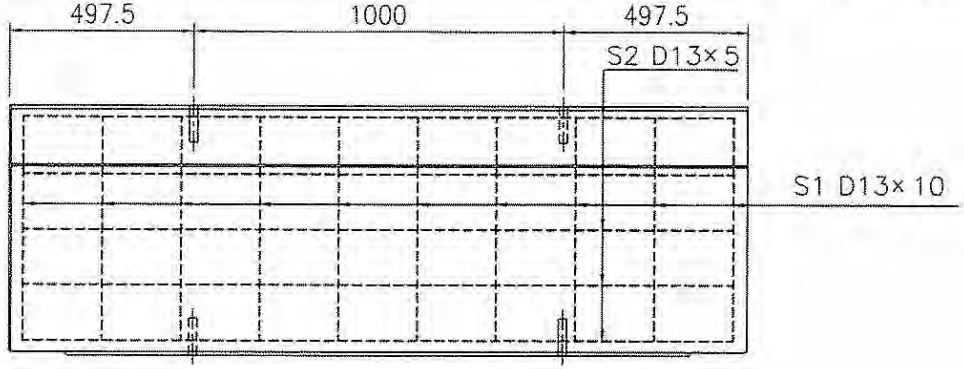
設計条件

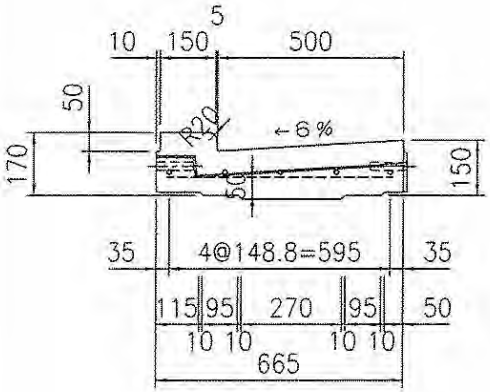
荷重条件	T−25（平行）
コンクリート設計基準強度	σck=24（N/mm²）
鉄筋	SD295*

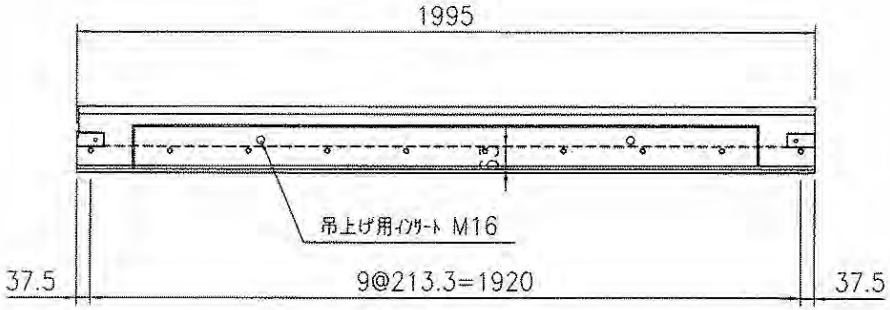
※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

インサート部詳細図
S=1/5

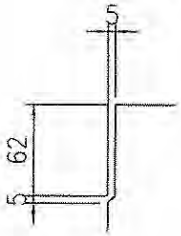








パッキン部詳細図
S=1/5



（注記）

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集（国土交通省近畿地方整備局）」に掲載されています<L−2>。

記号	鉄筋径 SD295*	単位重量（Kg/m）	本数	長さ（m）	重量（Kg）
S1	D13	0.995	10	0.610	6.1
S2	D13	0.995	5	1.935	9.6
鉄筋総重量				15.7	（Kg）
製品立積				0.189	（m³）

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

PGUNGA−1	平成18年 9月 1日	****

市場製品図集タイプ

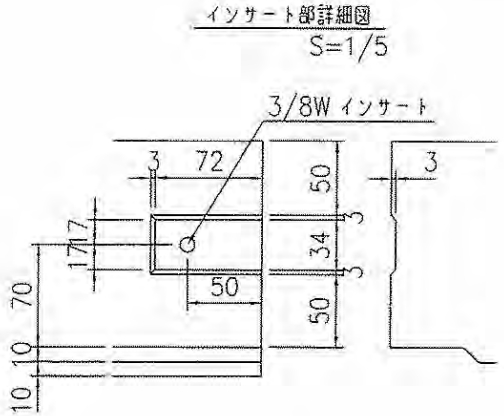
エプロン PGU-NG-A（乗入用G付）

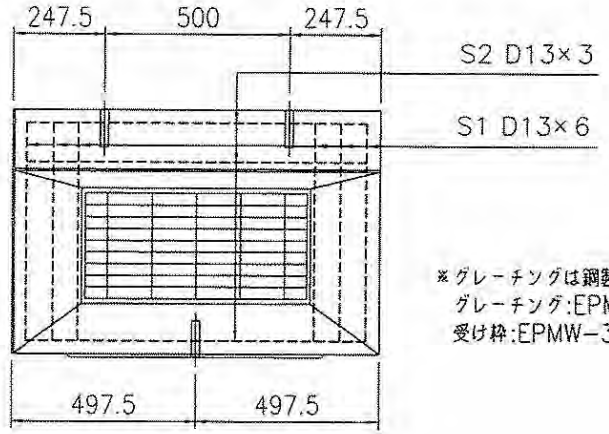
l=1.0(m)　　S=1/20

設計条件

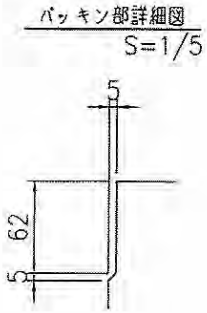
荷重条件	T−25（平行）
コンクリート設計基準強度	σck=24（N/mm²）
鉄筋	SD295*

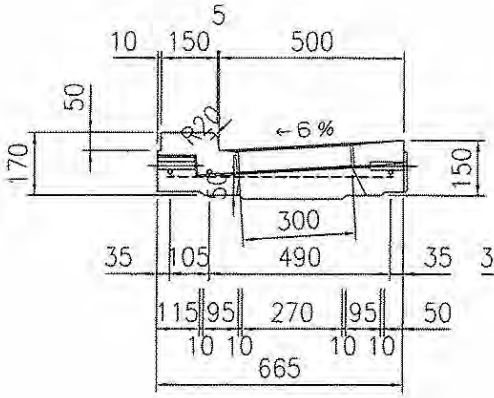
※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

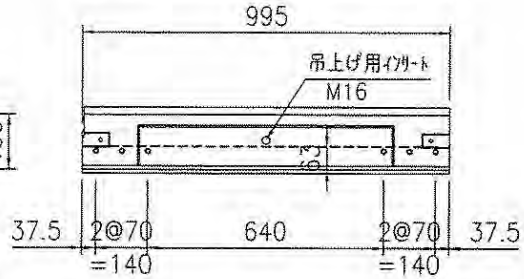




※グレーチングは鋼製を標準とする。
グレーチング:EPMG−35
受け枠:EPMW−35







（注記）

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集（国土交通省近畿地方整備局）」に掲載されています<L−2>。

記号	鉄筋径	単位重量（Kg/m）	本数	長さ（m）	重量（Kg）
S1	D13	0.995	6	0.610	3.6
S2	D13	0.995	3	0.935	2.8
鉄筋総重量				6.4	（Kg）
製品立積				0.066	（m³）

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

PGUFGA−1	平成18年 9月 1日	****

市場製品図集タイプ

エプロン PGUF−G−A（G付）

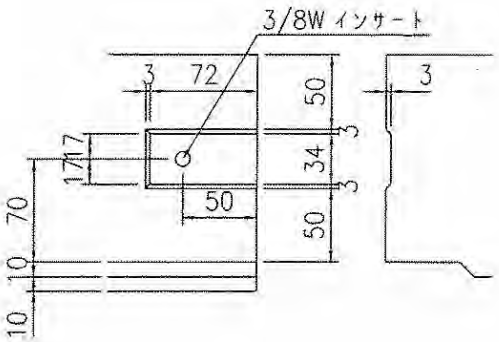
l=1.0(m)　S=1/20

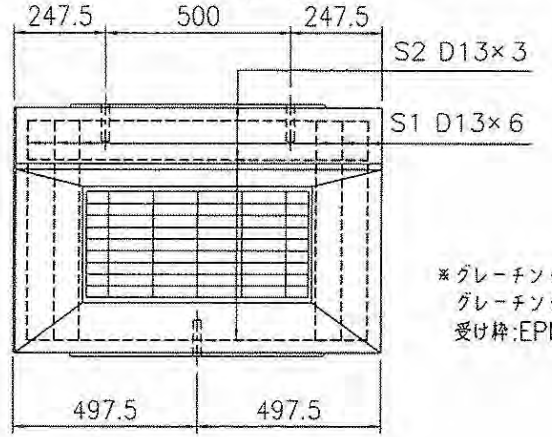
設計条件

荷重条件	T−25（平行）
コンクリート設計基準強度	σck=24（N/mm²）
鉄筋	SD295※

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

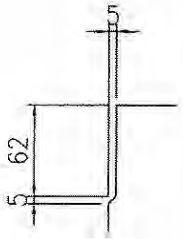
インサート部詳細図
S=1/5

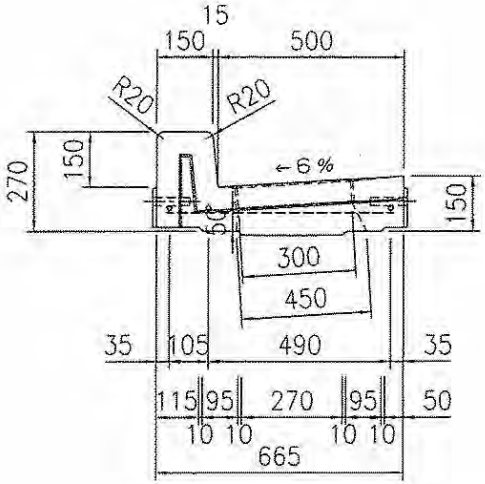


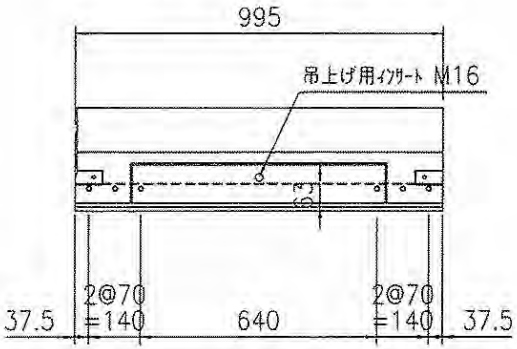


※グレーチングは鋼製を標準とする。
グレーチング:EPMG−35
受け枠:EPMW−35

パッキン部詳細図
S=1/5







（注記）

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集（国土交通省近畿地方整備局）」に掲載されています<L−2>。

記号	鉄筋径 (SD295※)	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	6	0.610	3.6
S2	D13	0.995	3	0.935	2.8
鉄筋総重量				6.4	(Kg)
製品立積				0.095	(m³)

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

PGUFSAL　平成18年　9月　1日　****

市場製品図集タイプ

エプロン　PGUF－S－A（斜用・左用）

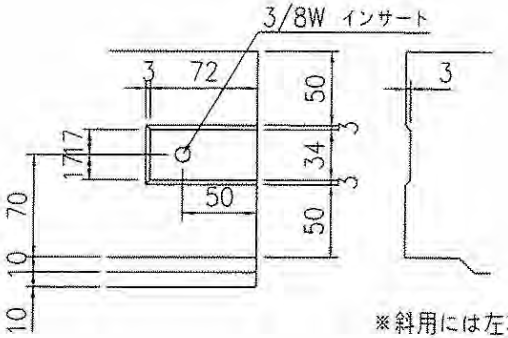
l=1.0(m)　S=1/20

設計条件

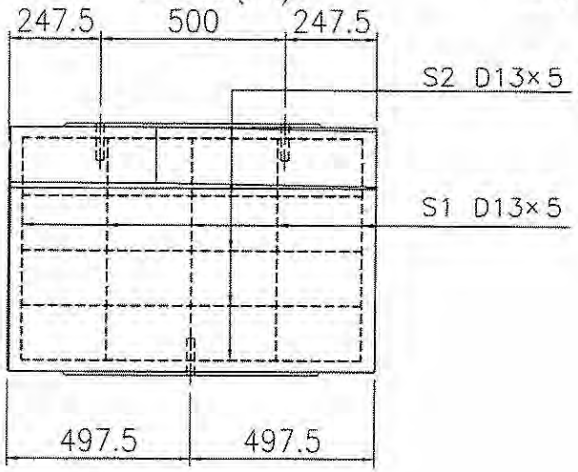
荷重条件	T－25（平行）
コンクリート設計基準強度	σck=24（N/mm²）
鉄筋	SD295※

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

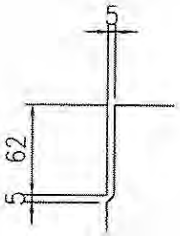
インサート部詳細図
S=1/5

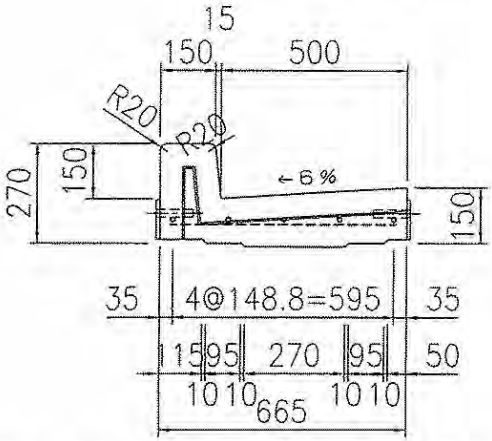


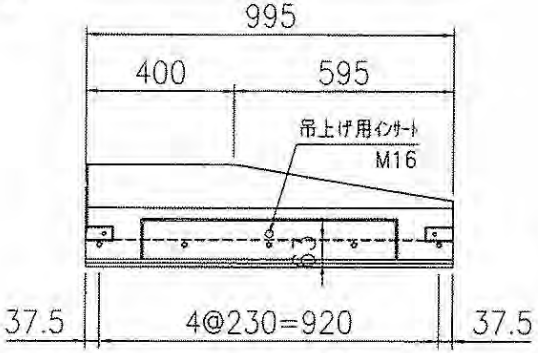
※斜用には左右があり、車道から見て左上がりを左用と呼ぶ。（図は左用）

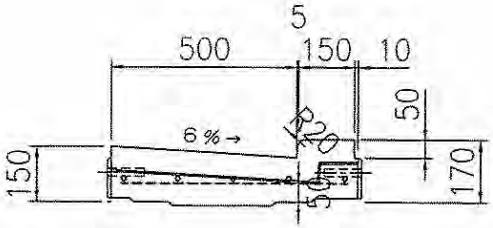


パッキン部詳細図
S=1/5









（注記）

この製品は、「コンクリート二次製品　市場製品図集（国土交通省近畿地方整備局）」に掲載されています<L－2>。

記号	鉄筋径 (SD295※)	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	5	0.610	3.0
S2	D13	0.995	5	0.935	4.7
鉄筋総重量				7.7	(Kg)
製品立積				0.107	(m³)

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

市場製品図集タイプ

エプロン PGUF-S-A（斜用・右用）

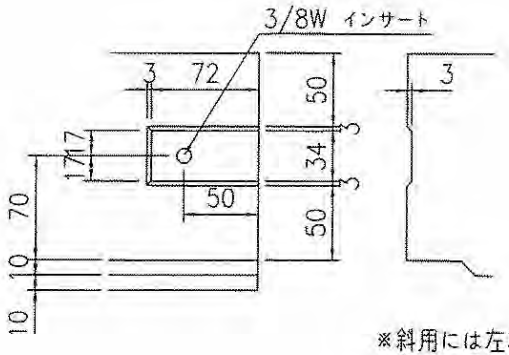
l=1.0(m)　S=1/20

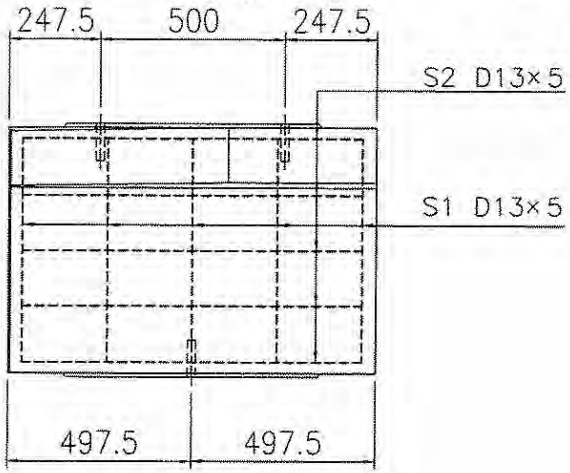
設計条件

荷重条件	T-25（平行）
コンクリート設計基準強度	σck=24（N/mm²）
鉄筋	SD295※

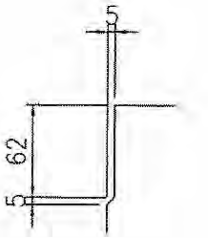
※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

インサート部詳細図
S=1/5

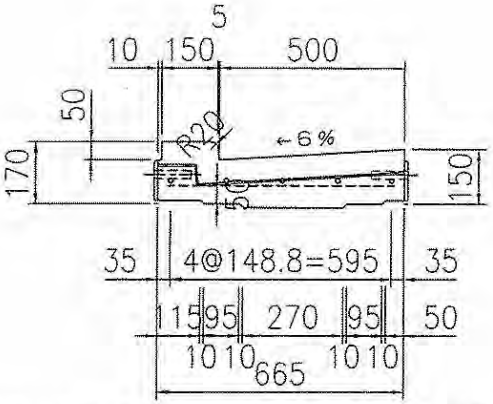


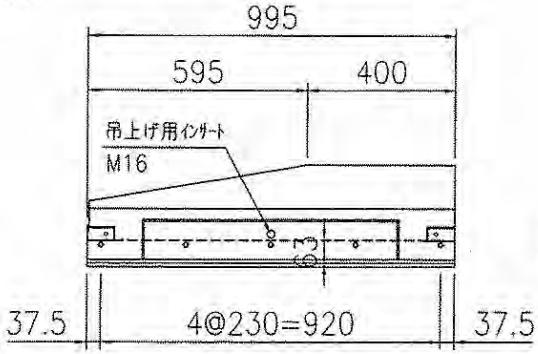


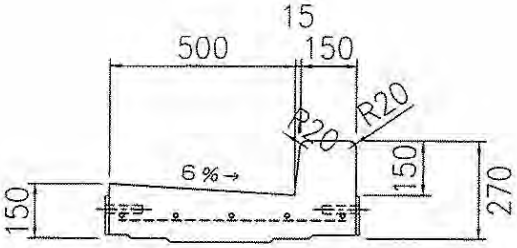
パッキン部詳細図
S=1/5



※斜用には左右があり、車道から見て左上がりを左用と呼ぶ。（図は右用）







（注記）

この製品は、「コンクリート二次製品　市場製品図集（国土交通省近畿地方整備局）」に掲載されています<L−2>。

記号	鉄筋径 (SD295※)	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	5	0.610	3.0
S2	D13	0.995	5	0.935	4.7
鉄筋総重量				7.7	(Kg)
製品立積				0.107	(m³)

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

PGU−2	平成18年 9月 1日	****

エプロン PGU（役物用）

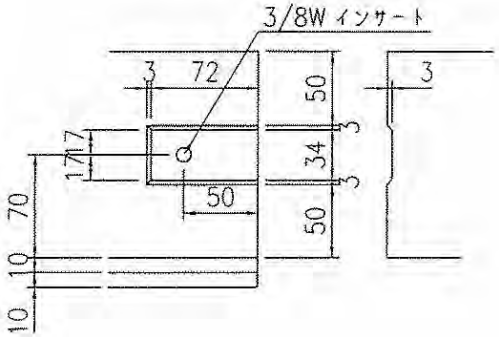
S=1/20

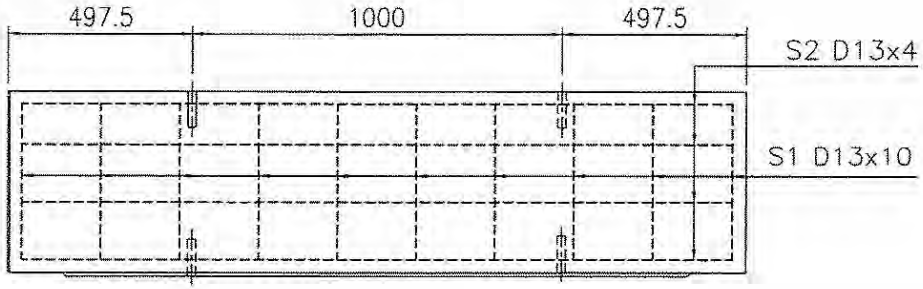
設計条件

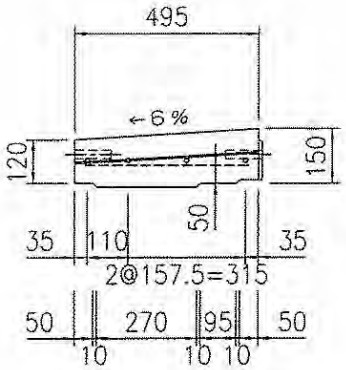
荷重条件	T−25（平行）
コンクリート設計基準強度	σck=24（N/mm²）
鉄筋	SD295※

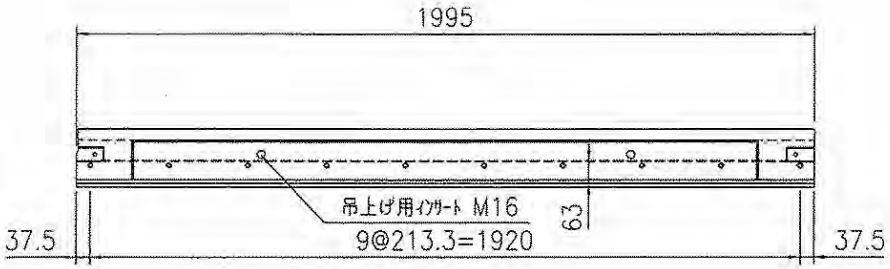
※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

インサート部詳細図
S=1/5

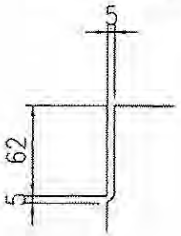








パッキン部詳細図
S=1/5



記号	鉄筋径（SD295※）	単位重量（Kg/m）	本数	長さ（m）	重量（Kg）
S1	D13	0.995	10	0.435	4.3
S2	D13	0.995	4	1.935	7.7
鉄筋総重量				12.0	（Kg）
製品立積				0.138	（m³）

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

PGU−1	平成18年 9月 1日	****

エプロン PGU（役物用）

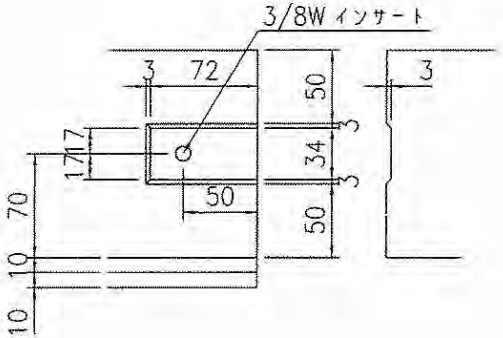
l=1.0(m)　　S=1/20

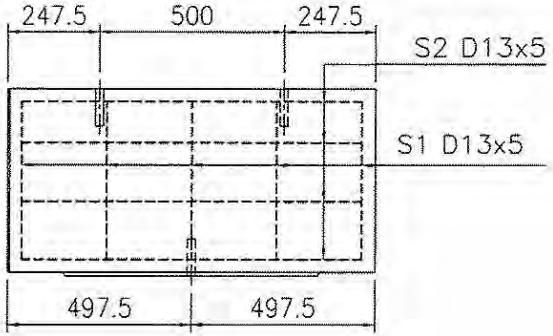
設計条件

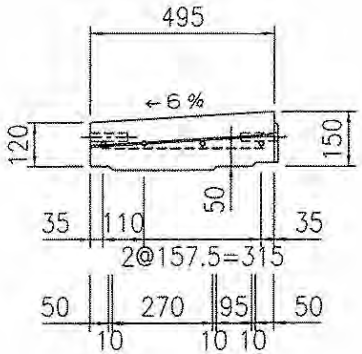
荷重条件	T−25（平行）
コンクリート設計基準強度	σck=24（N/mm²）
鉄筋	SD295※

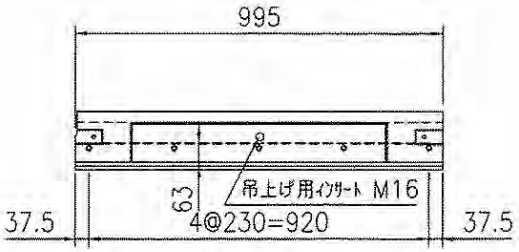
※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

インサート部詳細図
S=1/5

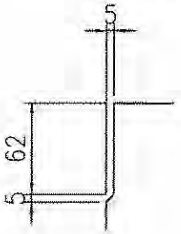








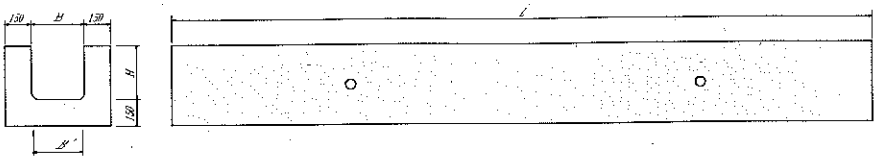
パッキン部詳細図
S=1/5



記号	鉄筋径（SD295※）	単位重量（Kg/m）	本数	長さ（m）	重量（Kg）
S1	D13	0.995	5	0.435	2.2
S2	D13	0.995	4	0.935	3.7
鉄筋総重量				5.9	（Kg）
製品立積				0.069	（m³）

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

ロングU　PU1型 T-25対応



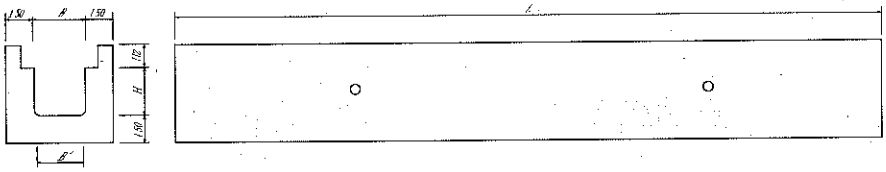
■PU1/蓋掛けなし

エプロンと併用して使用可能です。

(10mあたり)

呼び名	寸法(mm) B	B'	H	H2	L(標準)	参考質量(標準)(kg)	標準長製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン	L=2000製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン	L=1000製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン
PU133	300	290	300	−	4000	1,750	0.14	0.14	0.42	0.14	0.20	0.20	0.80	0.20	0.40	0.40	1.00	0.40
PU134	300	287	400	−	4000	2,040	0.15	0.15	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.00	0.40
PU135	300	280	500	−	4000	2,330	0.15	0.16	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.00	0.40
PU136	300	280	600	−	3000	1,970	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
PU144	400	387	400	−	4000	2,190	0.15	0.15	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.00	0.40
PU145	400	380	500	−	3000	1,860	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
PU146	400	380	600	−	3000	2,080	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
PU147	400	380	700	−	3000	2,280	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
PU155	500	480	500	−	3000	1,970	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
PU156	500	480	600	−	3000	2,180	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
PU157	500	480	700	−	3000	2,400	0.26	0.52	1.04	0.26	0.30	0.30	1.10	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
							諸雑費率:4%				諸雑費率:9%				諸雑費率:9%			
							(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

ロングU　PU2型 T-25対応



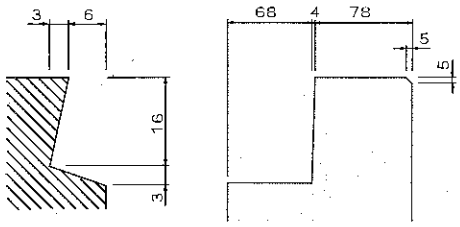
■PU2/蓋掛けあり

蓋(NC2系)と併用して使用します。

(10mあたり)

	呼び名	寸法(mm) B	B'	H	H2	L(標準)	参考質量(標準)(kg)	標準長製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン	L=2000製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン	L=1000製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン
(旧PU434)	PU234	300	290	290	110	4000	1,890	0.15	0.15	0.45	0.15	0.20	0.20	0.80	0.20	0.40	0.40	1.00	0.40
(旧PU435)	PU235	300	287	390	110	4000	2,190	0.15	0.15	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.00	0.40
(旧PU436)	PU236	300	280	490	110	4000	2,470	0.15	0.16	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
(旧PU444)	PU244	400	390	280	120	4000	2,020	0.15	0.15	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.00	0.40
(旧PU445)	PU245	400	387	380	120	4000	2,320	0.15	0.16	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.00	0.40
	PU246	400	380	480	120	3000	1,960	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
	PU247	400	380	580	120	3000	2,160	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
(旧PU455)	PU255	500	487	370	130	3000	1,830	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
(旧PU456)	PU256	500	480	470	130	3000	2,050	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
	PU257	500	480	570	130	3000	2,270	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	1.10	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
								諸雑費率:4%				諸雑費率:9%				諸雑費率:9%			
								(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

ロックU型断面詳細図　　ロックU型平面詳細図



※1 参考正面図および標準布設状況図の(標準)とは、寸法表に記載しているL(長さ)のものをさします。
※2 此例は、基礎距離3m程度を含む標準的な据付け作業であり、床掘、土壌、埋め戻し費は含みません。
※3 敷設材は、基礎材厚の調整、目地モルタルおよび敷モルタルの用材として、敷設、トラッククレーン費用の合計に式中の費を乗じた金額を1段として計上します。
※4 据付けに使用するトラッククレーンは油圧4.8t～4.9t吊りを標準とします。ただし、現場条件によりその規格を変えることができます。

■ 標準基礎材料表

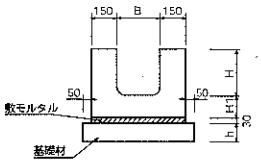
(10mあたり)

呼び名	基礎厚 h (mm)	敷モルタル ( )	基礎材 ( )
PU133	150	0.18	1.1 (1.05)
PU134	150	0.18	1.1 (1.05)
PU135	150	0.18	1.1 (1.05)
PU136	150	0.18	1.1 (1.05)
PU144	150	0.21	1.2 (1.20)
PU145	150	0.21	1.2 (1.20)
PU146	150	0.21	1.2 (1.20)
PU147	150	0.21	1.2 (1.20)
PU155	150	0.24	1.4 (1.35)
PU156	150	0.24	1.4 (1.35)
PU157	150	0.24	1.4 (1.35)
PU234	150	0.18	1.1 (1.05)
PU235	150	0.18	1.1 (1.05)
PU236	150	0.18	1.1 (1.05)
PU244	150	0.21	1.2 (1.20)
PU245	150	0.21	1.2 (1.20)
PU246	150	0.21	1.2 (1.20)
PU247	150	0.21	1.2 (1.20)
PU255	150	0.24	1.4 (1.35)
PU256	150	0.24	1.4 (1.35)
PU257	150	0.24	1.4 (1.35)

※1 基礎材の( )書きは捨てコンクリートの場合に使用する。
※2 敷モルタルの材料及び施工の費用は小数材料に対応。

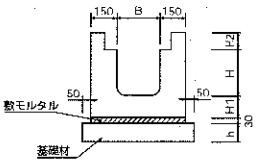
■標準施工図

PU1型

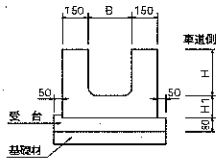


※h寸法は標準基礎材料表参照

PU2型

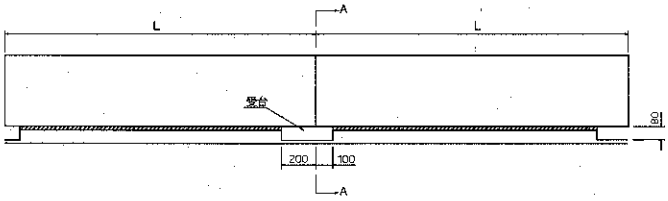


A-A断面

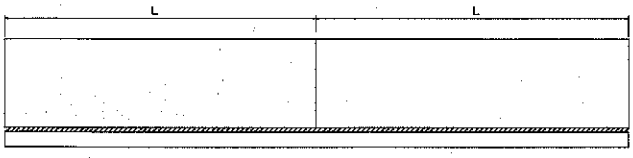


※受台のズレ止め突起は車道の反対側に向けて下さい。

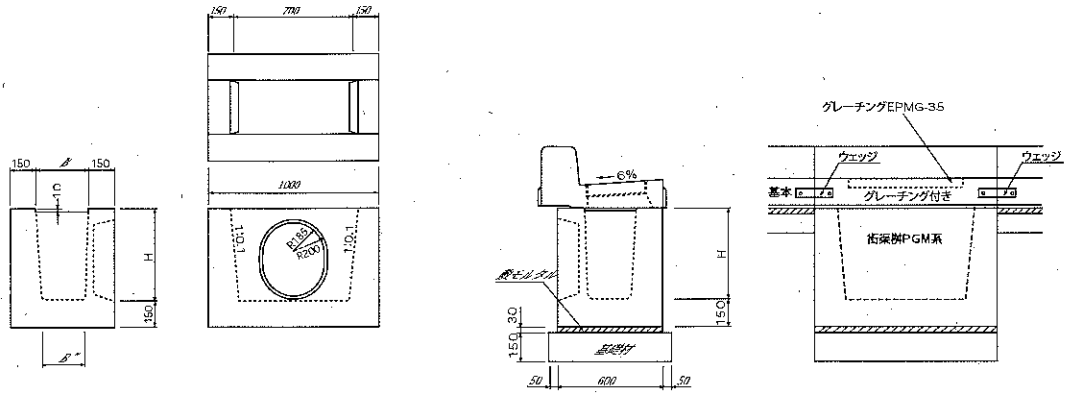
■受台を使用する場合



■受台を使用しない場合



街渠桝PGM系 T-25対応（ロンズ仕上敷こまい桝）

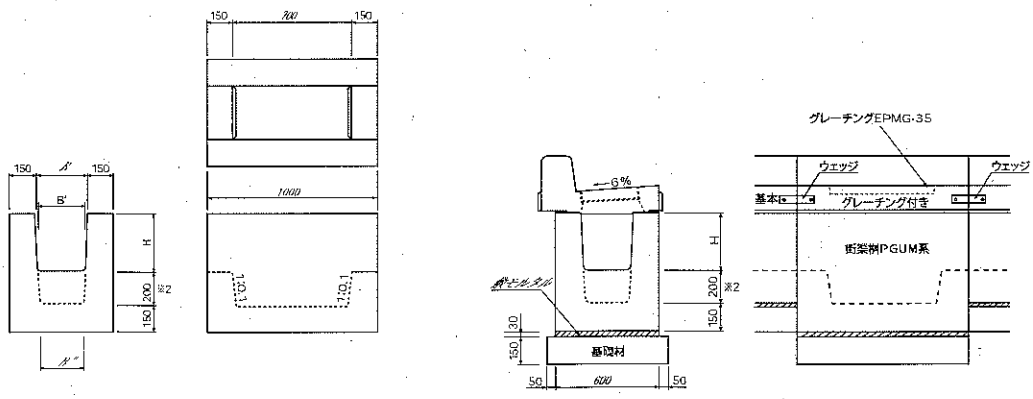


（10基あたり）

呼び名	寸法（mm） B	B"	H	L	参考質量（標準）（kg）	標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン
PGM-50	300	283	500	1000	680	0.4	0.4	1.0	0.6
PGM-60	300	280	600	1000	795	0.4	0.4	1.0	0.6
PGM-70	300	272	700	1000	910	0.6	0.6	1.1	0.7
PGM-80	300	270	800	1000	1,135	0.7	0.7	1.5	0.8
						諸雑費率：3%			
						（人）	（人）	（人）	（日）

※配水管取付用孔は一方向が標準です。

街渠桝PGUM系 T-25対応（ロンズ仕上敷ブロック桝）



（10基あたり）

呼び名	寸法（mm） B	B'	B"	H	L	参考質量（標準）（kg）	標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン
PGUM-30	300	290	283	300	1000	625	0.4	0.4	1.0	0.6
PGUM-40	300	287	280	400	1000	755	0.4	0.4	1.0	0.6
PGUM-50	300	280	272	500	1000	860	0.6	0.6	1.1	0.7
							諸雑費率：3%			
							（人）	（人）	（人）	（日）

※1 配水管取付用孔なしを標準とする。
別途指示により開孔します。
※2 PGUM30の泥溜め500タイプもあります。

■街渠桝（集水桝）設置間隔

（単位:m）

集水幅＼縦断勾配	0.3%	0.5%	1.0%	1.5%	2.0%	2.5%	3.0%	3.5%	4.0%	5.0%	6.0%	7.0%	8.0%
3.0m	16	20	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
4.0m	12	16	24	28	32	32	32	32	32	32	32	32	32
5.0m	8	12	16	20	24	28	32	32	32	32	32	32	32
6.0m	8	8	16	16	20	24	28	28	32	32	32	32	32
7.0m	4	8	12	16	16	20	24	24	24	28	32	32	32
8.0m	4	8	12	12	16	16	20	20	24	24	28	32	32
9.0m	4	4	8	12	12	16	16	20	20	24	24	28	28
10.0m	4	4	8	8	12	12	16	16	16	20	20	24	24
11.0m	4	4	8	8	12	12	12	16	16	16	20	20	24
12.0m	4	4	8	8	8	12	12	12	16	16	16	20	20
13.0m	4	4	8	8	8	8	12	12	12	16	16	16	20
14.0m	4	4	4	8	8	8	12	12	12	12	16	16	16
15.0m	4	4	4	4	8	8	8	12	12	12	12	16	16
16.0m	4	4	4	4	8	8	8	8	12	12	12	16	16
17.0m	4	4	4	4	8	8	8	8	8	12	12	12	16
18.0m	4	4	4	4	4	8	8	8	8	12	12	12	12
19.0m	4	4	4	4	4	8	8	8	8	8	8	12	12
20.0m	4	4	4	4	4	4	8	8	8	8	8	12	12

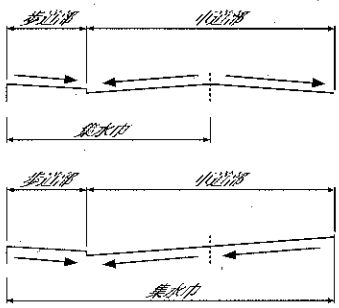
※1 集水桝設置対象となる歩道上桝（集水桝）に流入する道路流集水量の場合です。
※2 設置間隔は最小4.m、最大32.mで4.m単位とします。
※3 表の縦断勾配は、集水桝については直近上位、縦断勾配については直近下位とします。
※4 乗り入れ部に歩道桝は原則として使用しない

■街渠桝　PGM系（ロングUと接続しない桝）

県記号	下部記号	上部記号 PGU系	上部記号 PGUF系
PGM(F)-50-A	PGM-50	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGM(F)-50-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGM(F)-50-C		PGU-G-C	PGUF-G-C
PGM(F)-60-A	PGM-60	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGM(F)-60-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGM(F)-60-C		PGU-G-C	PGUF-G-C
PGM(F)-70-A	PGM-70	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGM(F)-70-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGM(F)-70-C		PGU-G-C	PGUF-G-C
PGM(F)-80-A	PGM-80	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGM(F)-80-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGM(F)-80-C		PGU-G-C	PGUF-G-C

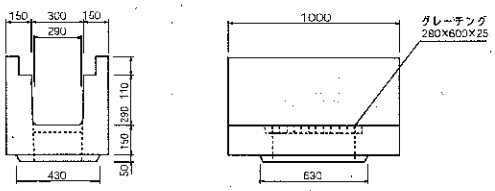
■街渠桝　PGUM系（ロングUと接続する桝）

県記号	下部記号	上部記号 PGU系	上部記号 PGUF系
PGUM(F)-30-A	PGUM-30	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGUM(F)-30-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGUM(F)-30-C		PGU-G-C	PGUF-G-C
PGUM(F)-40-A	PGUM-40	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGUM(F)-40-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGUM(F)-40-C		PGU-G-C	PGUF-G-C
PGUM(F)-50-A	PGUM-50	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGUM(F)-50-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGUM(F)-50-C		PGU-G-C	PGUF-G-C

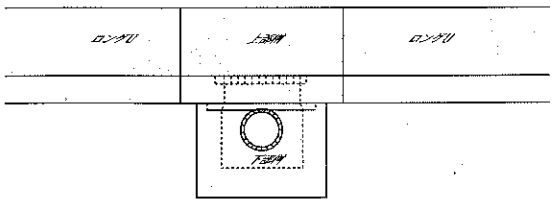


ロングU　会所桝

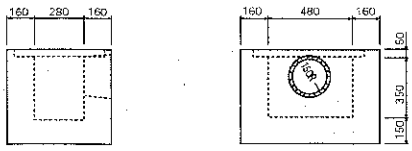
■上部桝



■標準施工図



■下部桝



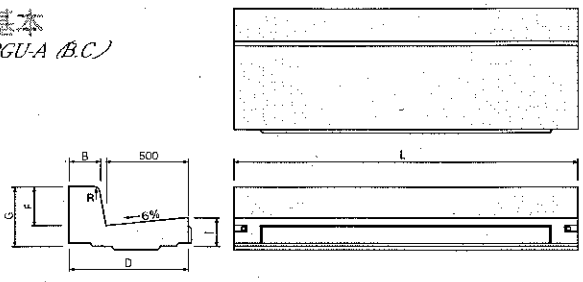
（10基あたり）

呼び名	参考質量	土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン	対応する側溝
上部桝	420	0.3	0.3	0.7	0.5	PU234
下部桝	450	0.3	0.3	0.7	0.5	PU534
	(kg)	(人)	(人)	(人)	(日)	

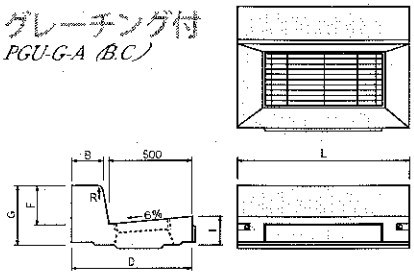
PGU型 *T-25対応*

ロングUの上にのせて使用するプレキャスト街渠で歩道部がマウンドアップ型

基本
PGU-A (B.C)

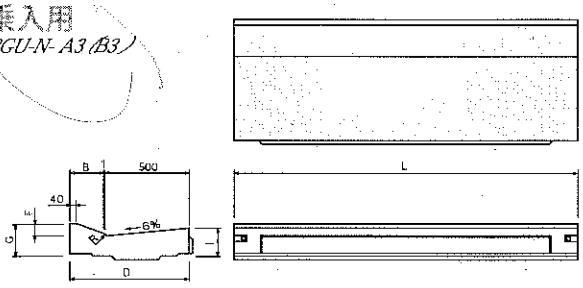


グレーチング付
PGU-G-A (B.C)

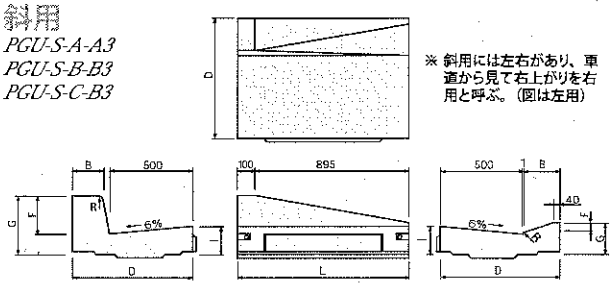


※ グレーチングは鋼製を標準とする。
グレーチング:EPMG-35
受　け　枠:EPMW-35

乗入用
PGU-N- A3 (B3)

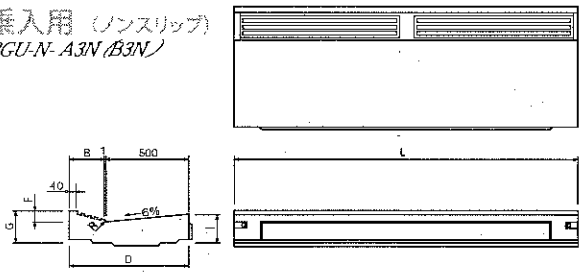


斜用
PGU-S-A-A3
PGU-S-B-B3
PGU-S-C-B3

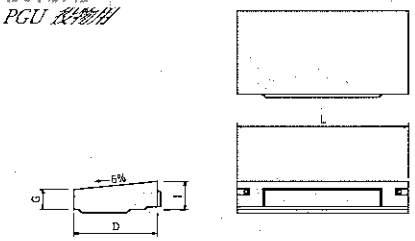


※ 斜用には左右があり、車道から見て右上がりを右用と呼ぶ。(図は左用)

乗入用 (ノンスリップ)
PGU-N- A3N (B3N)



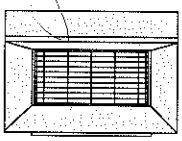
役物用
PGU 役物用



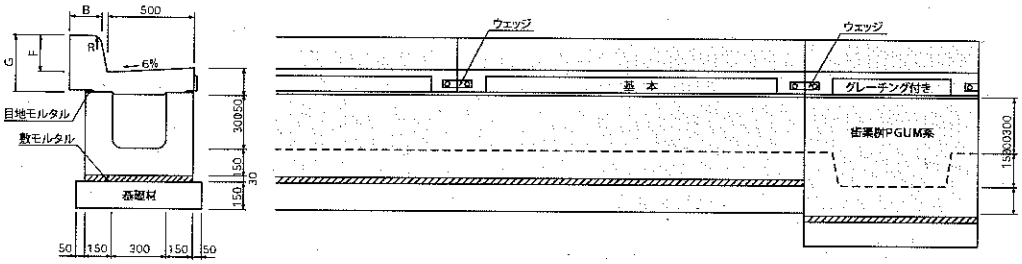
(10mあたり)

種別	呼び名	寸法(mm) B	D	F	G	I	R	参考質量(kg) L=1995	L=995	L=1995 製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン	L=995 製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン
基本	PGU-A	150	665	150	270	150	20	527	263	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-B	180	700	200	320	150	30	612	305	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-C	180	705	250	370	150	30	662	330	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PGU-N-A3	164	665	50	170	150	10	443	221	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-N-B3	199	700	50	170	150	10	466	232	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-N-A3N	164	665	50	170	150	10	442	220	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-N-B3N	199	700	50	170	150	10	465	232	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
G付	PGU-G-A	150	665	150	270	150	20	—	225	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-G-B	180	700	200	320	150	30	—	267	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-G-C	180	705	250	370	150	30	—	292	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PGU-S-A-A3	150~164	665	150~50	270~170	150	20~10	—	244	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-S-B-B3	180~199	700	200~50	320~170	150	30~10	—	272	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-S-C-B3	180~199	705~700	250~50	370~170	150	30~10	—	286	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
PGU役物用		—	495	—	120	150	—	—	163	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			
										(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

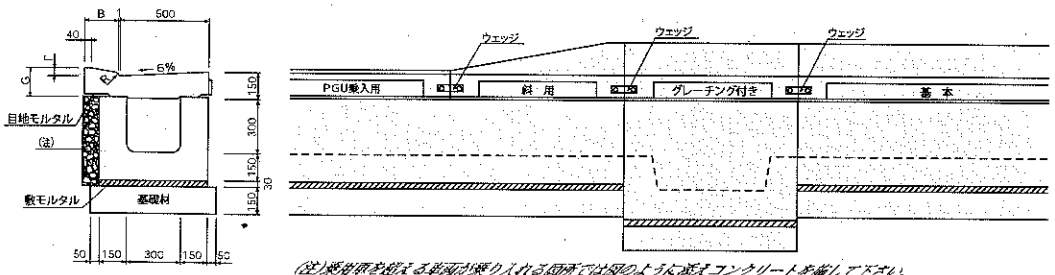
※1 実際は道路距離40m設置を含む標準的な割付作業であり、床版、基礎、整形し等は含みません。
※2 諸雑費は小型機械賃の損料、目地材割付および敷モルタルの費用として、労務費、トラッククレーンの賃料の合計に上表の率を乗じた金額を工費として計上します。
※3 据え付けに使用するトラッククレーンは油圧式4.8~4.9t吊りを標準とします。 ただし、現場条件によりその規格を変えることができます。



標準施工図

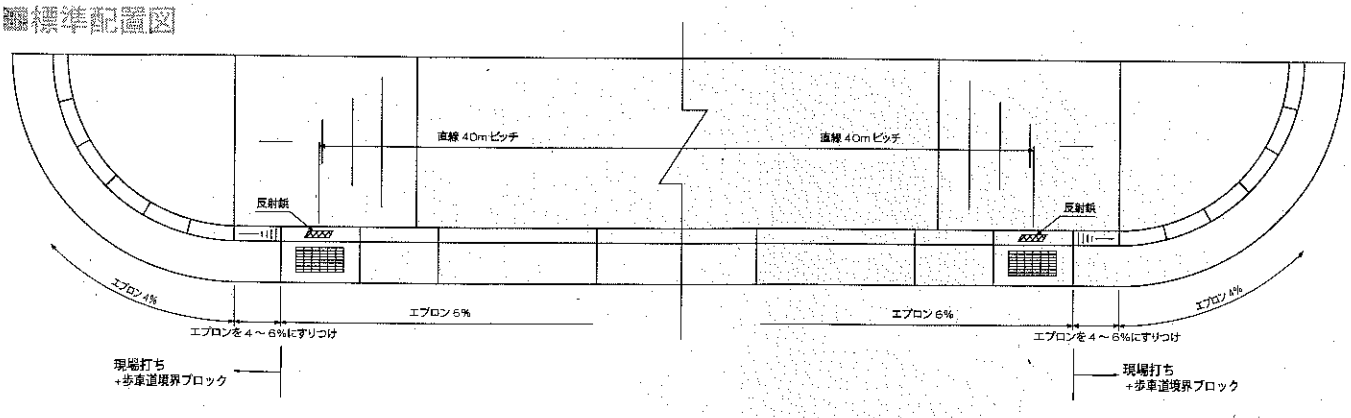


自動車乗入部施工図



(注)縦断勾配を超える箇所が乗り入れる区間では図のように減じコンクリートを施して下さい。
※乗り入れ部に街渠桝は原則として使用しない。

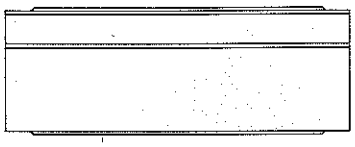
標準配置図

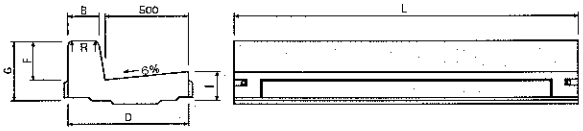


PGUF型 *T-25対応*

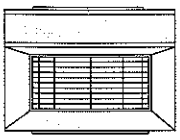
ロングUの上にのせて使用するプレキャスト街渠で歩道部がセミフラット型

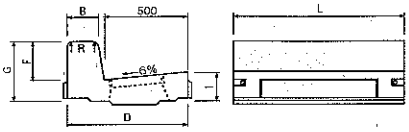
基本
PGUF-A (B.C)





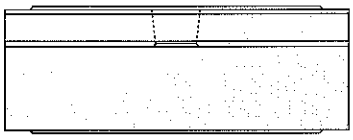
グレーチング付
PGUF-G-A (B.C)

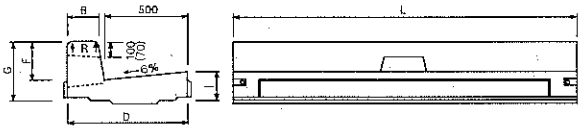




※ グレーチングは鋼製を標準とする。
グレーチング:EPMG-35
受　け　枠:EPMW-35

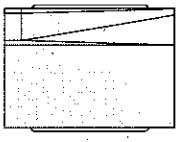
水抜用
PGUF-W-A (B.C)

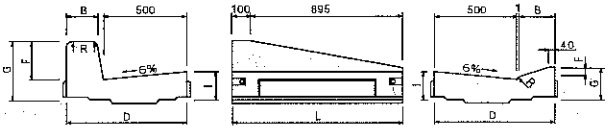




※(　)内はAブロック

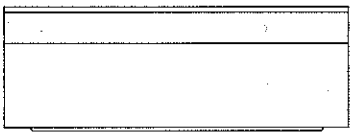
斜用
PGUF-S-A-A3
PGUF-S-B-B3
PGUF-S-C-B3

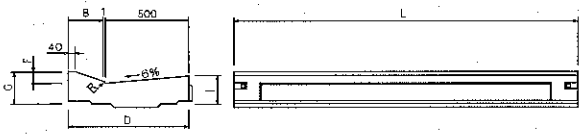




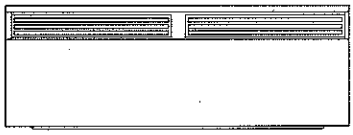
※ 斜用には左右があり、車道から見て右上がりを右用と呼ぶ。(図は左用)

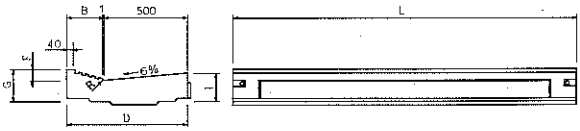
乗入用
PGU-N- A3 (B3)





乗入用(ノンスリップ)
PGU-N-A3N (B3N)

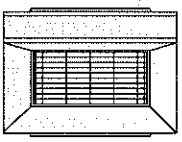




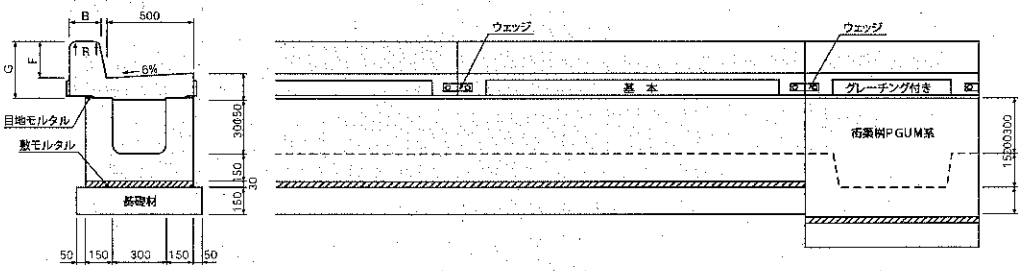
(10mあたり)

種別	呼び名	寸法(mm) B	D	F	G	I	R	参考質量(kg) L=1995	L=995	L=1995 製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン	L=995 製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン
基本	PGUF-A	150	665	150	270	150	20	533	265	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-B	180	700	200	320	150	30	617	307	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-C	180	705	250	370	150	30	667	332	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
G付	PGUF-G-A	150	665	150	270	150	20	—	227	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-G-B	180	700	200	320	150	30	—	269	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-G-C	180	705	250	370	150	30	—	294	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
水抜用	PGUF-W-A	150	665	150	270	150	20	519	251	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-W-B	180	700	200	320	150	30	597	287	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-W-C	180	705	250	370	150	30	643	308	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PGUF-S-A-A3	150~164	665	150~50	270~170	150	20~10	—	246	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-S-B-B3	180~199	700	200~50	320~170	150	30~10	—	275	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-S-C-B3	180~199	705~700	250~50	370~170	150	30~10	—	288	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PGU-N-A3	164	665	50	170	150	10	443	221	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-N-B3	199	700	50	170	150	10	466	232	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-N-A3N	164	665	50	170	150	10	442	220	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-N-B3N	199	700	50	170	150	10	465	232	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			
										(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

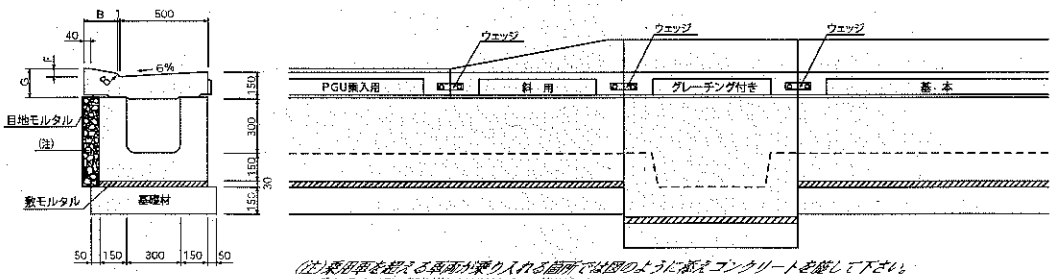
※1 歩掛は測量延長30m程度を含む標準的な施工作業であり、床掘、基礎、埋戻し等は含みません。
※2 諸雑費は小型機械使用の場合、目地材取付および敷モルタルの費用として、労務費、トラッククレーンの賃料の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上します。
※3 据え付けに使用するトラッククレーンは施工式4.8~4.9t吊りを標準とします。 ただし、現場条件によりその規格を変更することができます。

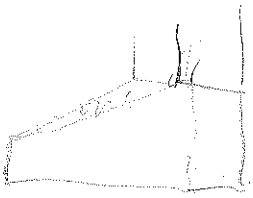


標準施工図



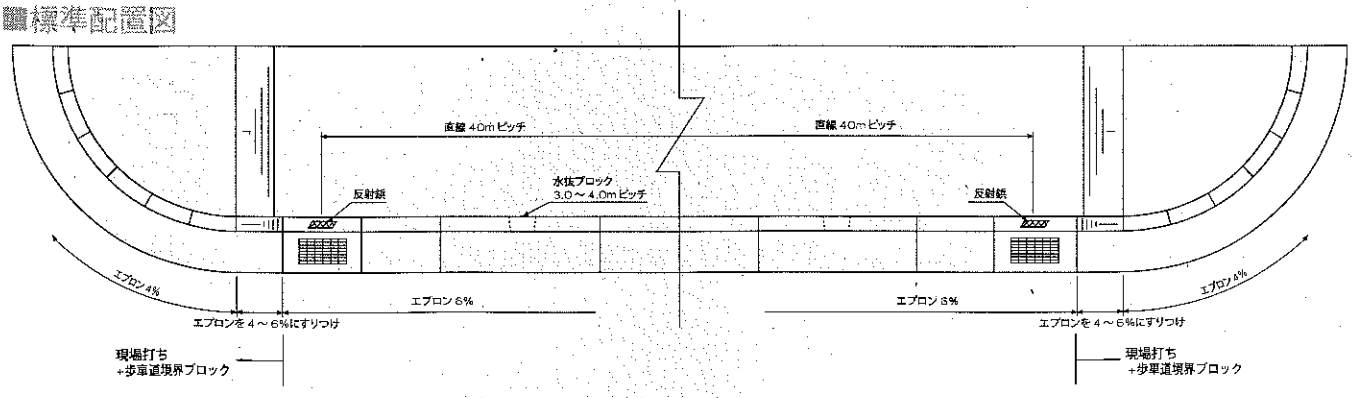
自動車乗入部施工図





(注)乗用車を超える荷重が乗り入れる箇所では図のように底版コンクリートを厚くして下さい。
※乗り入れ部に底版構造は別途として取り扱します。

標準配置図

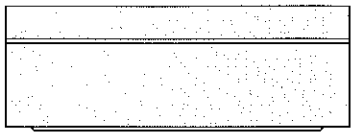


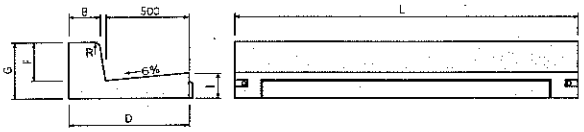
PG型 T-25対応

路面に直接設置するプレキャスト街渠で歩道部がマウンドアップ型

基本

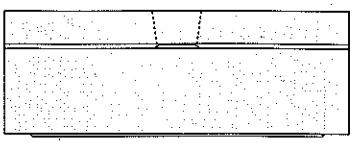
PG515-A (B.C)
PG520-A (B.C)
PG525-A (B.C)

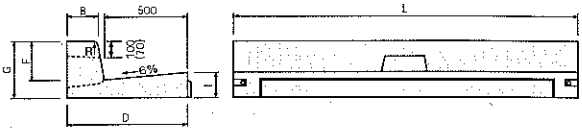




水抜用

PG515-W-A (B.C)
PG520-W-A (B.C)
PG525-W-A (B.C)

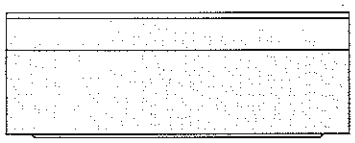


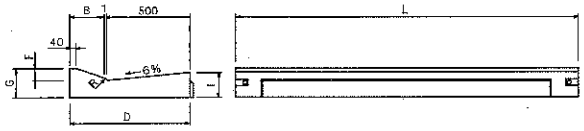


※路床盲取り工については別途図示とする。

乗入用

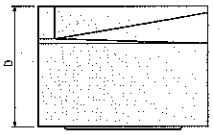
PG515-N-A3 (B3)
PG520-N-A3 (B3)
PG525-N-A3 (B3)



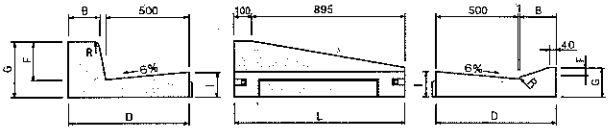


斜用

PG515-S-A-A3
PG515-S-B-B3
PG515-S-C-B3
※ 520・525もあります

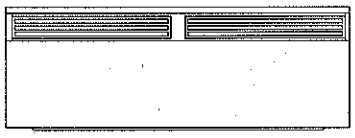


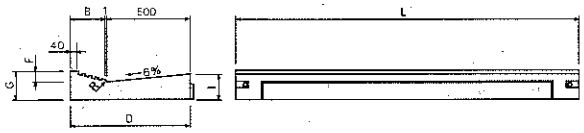
※ 斜用には左右があり、車道から見て右上がりを右用と呼ぶ。(図は左用)



乗入用 (ノンスリップ)

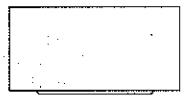
PG515-N-A3N (B3N)
PG520-N-A3N (B3N)
PG525-N-A3N (B3N)

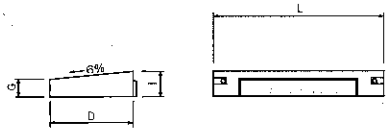




役物用

PG515 役物用
PG520 役物用
PG525 役物用





■エプロン厚　150mm

(10mあたり)

種別	呼び名	寸法(mm) B	D	F	G	I	R	参考質量(kg) L=1995	L=995	L=1995 製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン	L=995 製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン
基本	PG515-A	150	665	150	270	150	20	522	260	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-B	180	700	200	320	150	30	609	304	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-C	180	705	250	370	150	30	659	329	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PG515-N-A3	164	665	50	170	150	10	439	219	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-N-B3	199	700	50	170	150	10	463	231	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-N-A3N	164	665	50	170	150	10	438	218	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-N-B3N	199	700	50	170	150	10	462	230	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
水抜用	PG515-W-A	150	665	150	270	150	20	511	248	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-W-B	180	700	200	320	150	30	592	285	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-W-C	180	705	250	370	150	30	638	306	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PG515-S-A-A3	150～164	665	150～50	270～170	150	20～10	—	242	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-S-B-B3	180～199	700	200～50	320～170	150	30～10	—	271	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-S-C-B3	180～199	705～700	250～50	370～170	150	30～10	—	285	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
PG515役物用		—	495	—	120	150	—	—	157	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			
										(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

■エプロン厚　200mm

(10mあたり)

種別	呼び名	寸法(mm) B	D	F	G	I	R	参考質量(kg) L=1995	L=995	L=1995 製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン	L=995 製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン
基本	PG520-A	150	665	150	320	200	20	679	339	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-B	180	700	200	370	200	30	774	386	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-C	180	705	250	420	200	30	826	412	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PG520-N-A3	164	665	50	220	200	10	596	297	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-N-B3	199	700	50	220	200	10	628	313	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-N-A3N	164	665	50	220	200	10	595	296	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-N-B3N	199	700	50	220	200	10	627	313	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
水抜用	PG520-W-A	150	665	150	320	200	20	669	326	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-W-B	180	700	200	370	200	30	758	368	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-W-C	180	705	250	420	200	30	805	389	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PG520-S-A-A3	150～164	665	150～50	320～220	200	20～10	—	320	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-S-B-B3	180～199	700	200～50	370～220	200	30～10	—	353	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-S-C-B3	180～199	705～700	250～50	420～220	200	30～10	—	367	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
PG520役物用		—	495	—	170	200	—	—	216	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			
										(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

※エプロン厚180mmタイプも対応可能です。

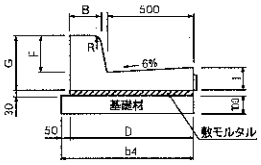
■エプロン厚　250mm

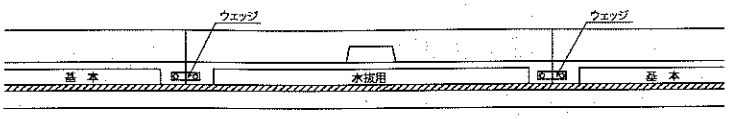
(10mあたり)

種別	呼び名	寸法(mm) B	D	F	G	I	R	参考質量(kg) L=1995	L=995	L=1995 製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン	L=995 製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン
基本	PG525-A	150	665	150	370	250	20	836	417	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-B	180	700	200	420	250	30	939	468	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-C	180	705	250	470	250	30	992	494	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PG525-N-A3	164	665	50	270	250	10	753	375	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-N-B3	199	700	50	270	250	10	794	396	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-N-A3N	164	665	50	270	250	10	752	374	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-N-B3N	199	700	50	270	250	10	793	395	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
水抜用	PG525-W-A	150	665	150	370	250	20	827	405	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-W-B	180	700	200	420	250	30	924	450	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-W-C	180	705	250	470	250	30	973	473	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PG525-S-A-A3	150～164	665	150～50	370～270	250	20～10	—	398	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-S-B-B3	180～199	700	200～50	420～270	250	30～10	—	436	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-S-C-B3	180～199	705～700	250～50	470～270	250	30～10	—	450	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
PG525役物用		—	495	—	220	250	—	—	274	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			
										(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

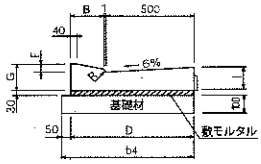
PG型

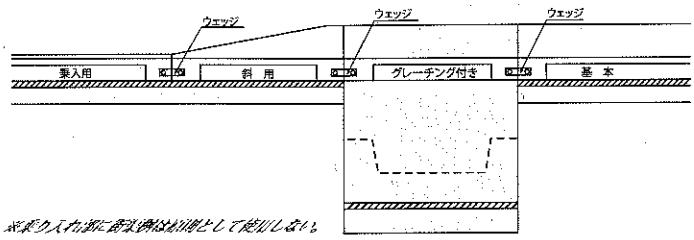
標準施工図





自動車乗入部施工図





※歩道内部に敷設機は標準として使用しない。

エプロン厚　150mm

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm) B	D	F	G	I	R	L	基礎 b4	敷モルタル ( )	基礎材 ( )
PG515-A	150	665	150	270	150	20	1995	715	0.20	0.7 (0.72)
PG515-B	180	700	200	320	150	30	1995	750	0.21	0.8 (0.75)
PG515-C	180	705	250	370	150	30	1995	755	0.21	0.8 (0.76)

エプロン厚　200mm

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm) B	D	F	G	I	R	L	基礎 b4	敷モルタル ( )	基礎材 ( )
PG520-A	150	665	150	320	200	20	1995	715	0.20	0.7 (0.72)
PG520-B	180	700	200	370	200	30	1995	750	0.21	0.8 (0.75)
PG520-C	180	705	250	420	200	30	1995	755	0.21	0.8 (0.76)

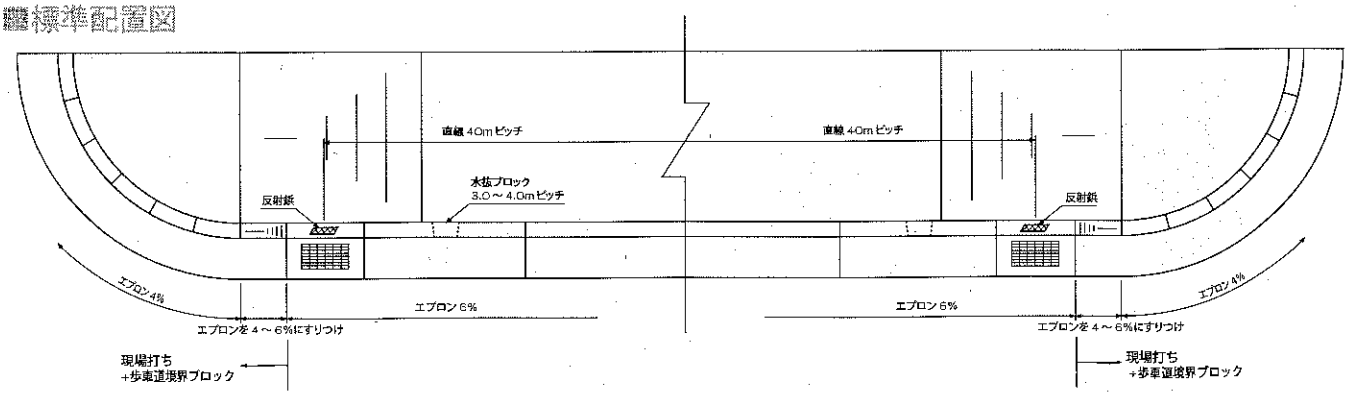
エプロン厚　250mm

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm) B	D	F	G	I	R	L	基礎 b4	敷モルタル ( )	基礎材 ( )
PG525-A	150	665	150	370	250	20	1995	715	0.20	0.7 (0.72)
PG525-B	180	700	200	420	250	30	1995	750	0.21	0.8 (0.75)
PG525-C	180	705	250	470	250	30	1995	755	0.21	0.8 (0.76)

※基礎材の( )内の数値は捨てコンの場合に使用します。

標準配置図

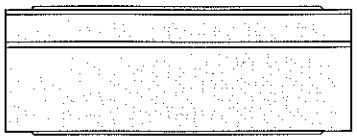


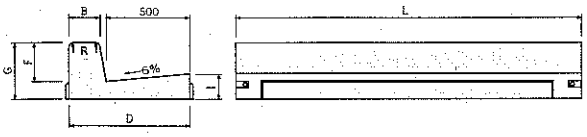
PGF型 T-25対応

路面に直接設置するプレキャスト街渠で歩道部がセミフラット型

基本

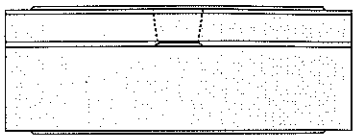
PGF515-A (B.C)
PGF520-A (B.C)
PGF525-A (B.C)

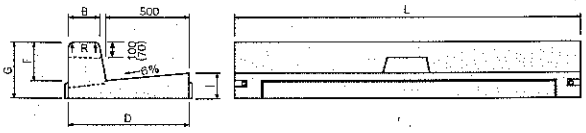




水抜用

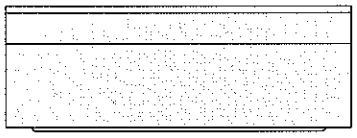
PGF515-W-A (B.C)
PGF520-W-A (B.C)
PGF525-W-A (B.C)

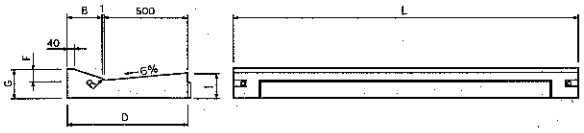




乗入用

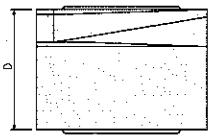
PG515-N-A3 (B3)
PG520-N-A3 (B3)
PG525-N-A3 (B3)



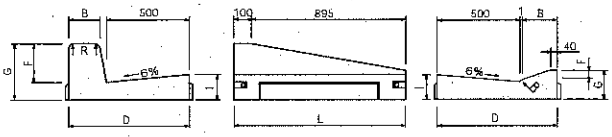


斜用

PGF515-S-A-A3
PGF515-S-B-B3
PGF515-S-C-C3
※ 520・525もあります

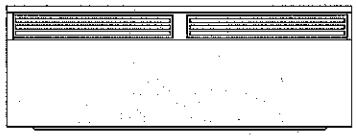


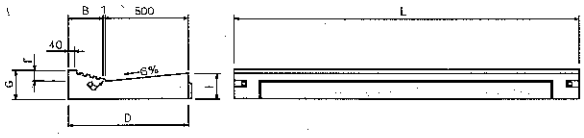
※斜角には左右があり、車道から見て右上がりを右用と呼ぶ。(図は左用)



乗入用 (ノンスリップ)

PG515-N-A3N (B3N)
PG520-N-A3N (B3N)
PG525-N-A3N (B3N)





■エプロン厚　150mm

(10mあたり)

種別	呼び名	寸法(mm) B	D	F	G	I	R	参考質量(kg) L=1995	L=995	L=1995 製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン	L=995 製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン
基本	PGF515-A	150	665	150	270	150	20	529	263	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF515-B	180	700	200	320	150	30	615	306	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF515-C	180	705	250	370	150	30	665	331	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
水抜用	PGF515-W-A	150	665	150	270	150	20	515	249	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF515-W-B	180	700	200	320	150	30	595	286	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF515-W-C	180	705	250	370	150	30	641	307	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PGF515-S-A-A3	150～164	665	150～50	270～170	150	20～10	—	244	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF515-S-B-B3	180～199	700	200～50	320～170	150	30～10	—	273	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF515-S-C-B3	180～199	705～700	250～50	370～170	150	30～10	—	287	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PG515-N-A3	164	665	50	170	150	10	439	219	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-N-B3	199	700	50	170	150	10	463	231	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-N-A3N	164	665	50	170	150	10	438	218	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-N-B3N	199	700	50	170	150	10	462	230	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			
										(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

■エプロン厚　200mm

(10mあたり)

種別	呼び名	寸法(mm) B	D	F	G	I	R	参考質量(kg) L=1995	L=995	L=1995 製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン	L=995 製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン
基本	PGF520-A	150	665	150	320	200	20	688	342	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF520-B	180	700	200	370	200	30	783	389	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF520-C	180	705	250	420	200	30	834	415	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
水抜用	PGF520-W-A	150	665	150	320	200	20	674	328	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF520-W-B	180	700	200	370	200	30	763	369	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF520-W-C	180	705	250	420	200	30	810	391	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PGF520-S-A-A3	150～164	665	150～50	320～220	200	20～10	—	323	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF520-S-B-B3	180～199	700	200～50	370～220	200	30～10	—	357	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF520-S-C-B3	180～199	705～700	250～50	420～220	200	30～10	—	371	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PG520-N-A3	164	665	50	220	200	10	596	297	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-N-B3	199	700	50	220	200	10	628	313	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-N-A3N	164	665	50	220	200	10	598	296	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-N-B3N	199	700	50	220	200	10	627	313	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			
										(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

※エプロン厚180mmタイプも対応可能です。

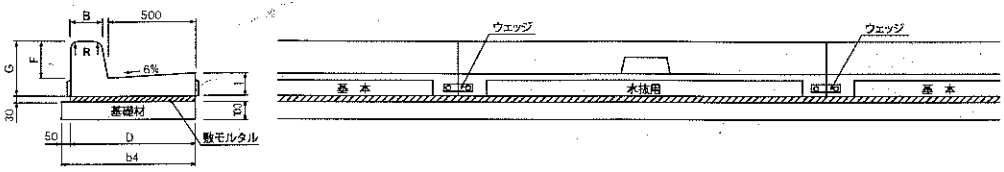
■エプロン厚　250mm

(10mあたり)

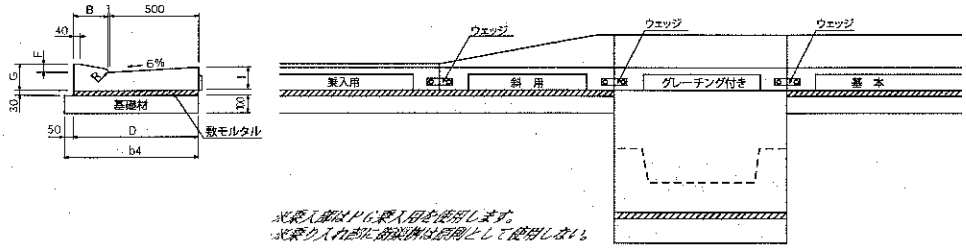
種別	呼び名	寸法(mm) B	D	F	G	I	R	参考質量(kg) L=1995	L=995	L=1995 製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン	L=995 製品標準布設歩掛 土木世話役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン
基本	PGF525-A	150	665	150	370	250	20	848	422	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF525-B	180	700	200	420	250	30	951	473	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF525-C	180	705	250	470	250	30	1004	499	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
水抜用	PGF525-W-A	150	665	150	370	250	20	834	407	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF525-W-B	180	700	200	420	250	30	931	452	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF525-W-C	180	705	250	470	250	30	979	475	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PGF525-S-A-A3	150～164	665	150～50	370～270	250	20～10	—	403	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF525-S-B-B3	180～199	700	200～50	420～270	250	30～10	—	440	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF525-S-C-B3	180～199	705～700	250～50	470～270	250	30～10	—	455	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PG525-N-A3	164	665	50	270	250	10	753	375	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-N-B3	199	700	50	270	250	10	794	396	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-N-A3N	164	665	50	270	250	10	752	374	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-N-B3N	199	700	50	270	250	10	793	395	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			
										(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

PGF型

標準施工図



自動車乗入部施工図



※乗入箇所Pに乗入用を使用します。
※乗り入れ部に溝蓋は排水として使用しない。

エプロン厚　150mm

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm) B	D	F	G	I	R	L	基礎 b4	敷モルタル ( )	基礎材 ( )
PGF515-A	150	665	150	270	150	20	1995	715	0.20	0.7 (0.72)
PGF515-B	180	700	200	320	150	30	1995	750	0.21	0.8 (0.75)
PGF515-C	180	705	250	370	150	30	1995	755	0.21	0.8 (0.76)

エプロン厚　200mm

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm) B	D	F	G	I	R	L	基礎 b4	敷モルタル ( )	基礎材 ( )
PGF520-A	150	665	150	320	200	20	1995	715	0.20	0.7 (0.72)
PGF520-B	180	700	200	370	200	30	1995	750	0.21	0.8 (0.75)
PGF520-C	180	705	250	420	200	30	1995	755	0.21	0.8 (0.76)

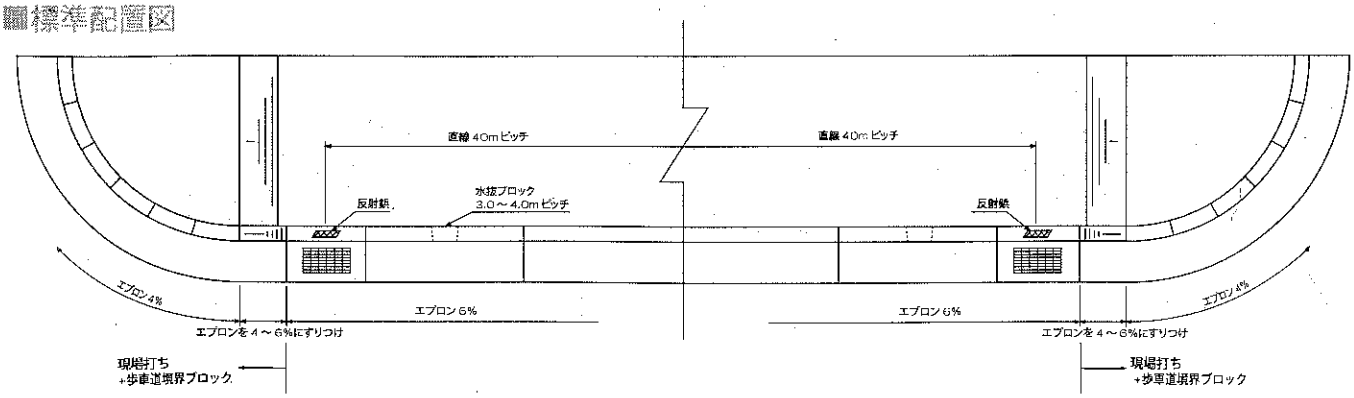
エプロン厚　250mm

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm) B	D	F	G	I	R	L	基礎 b4	敷モルタル ( )	基礎材 ( )
PGF525-A	150	665	150	370	250	20	1995	715	0.20	0.7 (0.72)
PGF525-B	180	700	200	420	250	30	1995	750	0.21	0.8 (0.75)
PGF525-C	180	705	250	470	250	30	1995	755	0.21	0.8 (0.76)

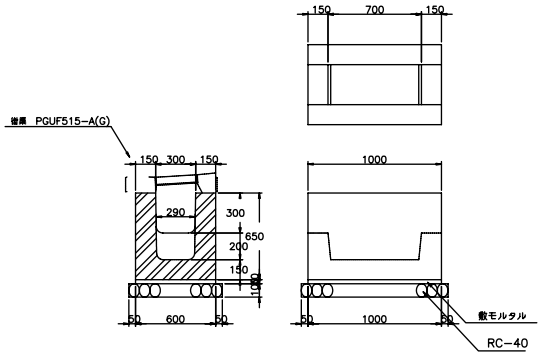
※基礎材の( )内の数値は骨材コンの場合に使用します。

標準配置図



構　造　図　（その１）　S＝1：20

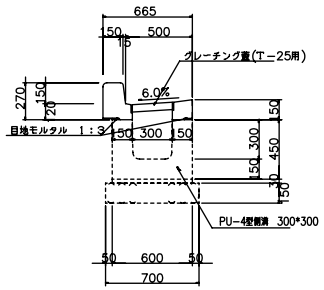
U型側溝桝　PGU型

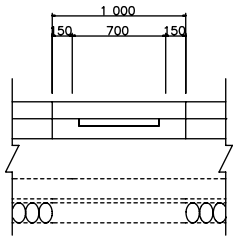


材　料　表　（10箇所当り）

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
基礎材		㎡	7.00	
桝	L=1000	個	10	PGUM-30
敷モルタル	1：3	㎡	6.00	

街渠工　PGUF515-A(G)



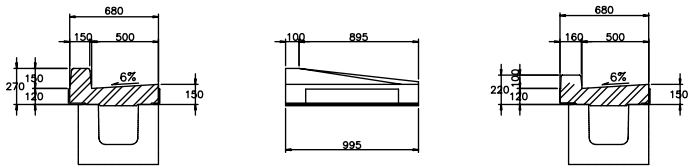


材　料　表　（10m当り）

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
PGUF515-A(G)	L=2000	個	5	一般部

注）1.連続して設置する場合、10m以内に1箇所水抜きブロックタイプを使用。

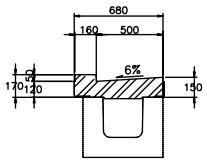
街渠工　PGUF515-S-A



材　料　表　（10箇所当り）

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
PGUF515-S-A	L=1000	個	10	車両乗入部すりつけ部

街渠工　PGU515-N-A（車道乗入用）



材　料　表　（10m当り）

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
PGU515-N-A	L=2000	個	5	車両乗入部

年　度		番　号	
路線名	主要地方道枚方大和郡山線		
工事名			
所属地名	交野市倉治２丁目地内		
図面名			
縮　尺	1:20	作成年月	平成　年　月
大阪府枚方土木事務所			

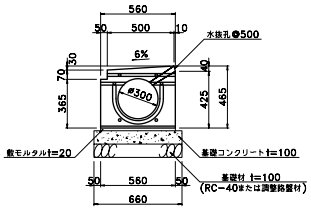
路面排水工詳細図 1/4　S=1/20

側 溝 工・街渠桝工

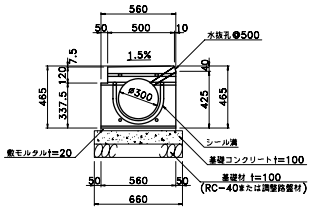
側 溝 工

L 型側溝

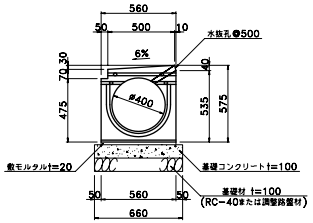
L1φ300型



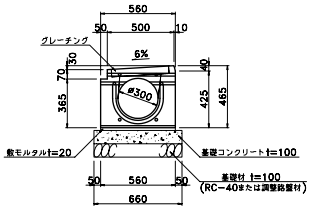
L2φ300型



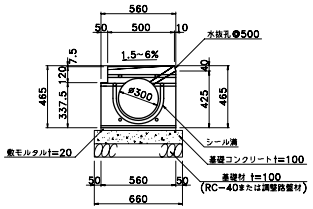
L1φ400型



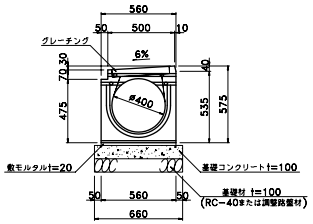
L5φ300集水型



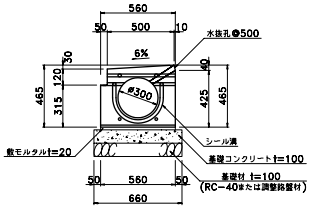
L3φ300型



L5φ400集水型

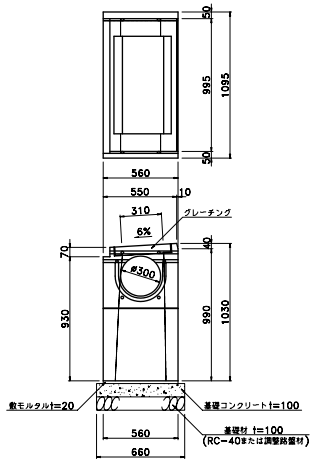


L4φ300型
（乗入部）

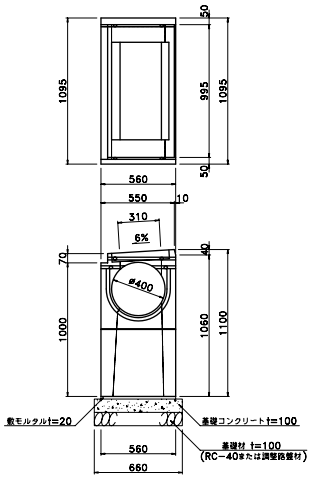


街 渠 桝 工

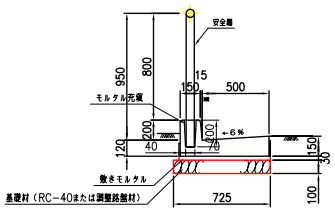
街渠桝Lφ300型



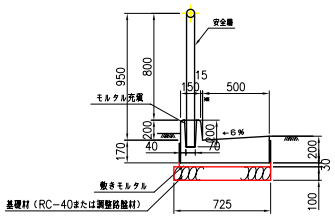
街渠桝Lφ400型



PGF515B型
（B交通用）



PGF520B型
（C交通用）



※ 支柱の埋め込み長は、最低200mm以上必要です。

年　度	平成14～15年度	番 号	66/73
路 線 名	都市計画道路　枚方大和高田線　外		
工 事 名			
所属地名	枚方市　茄子作東町　外		
図面種別	路面排水工詳細図 1/4		
縮　尺	図 示	作成年月	平成16 年 3月
大 阪 府 枚 方 土 木 事 務 所			

PGF520A−2	平成19年 1月 5日	****

市場製品図集タイプ

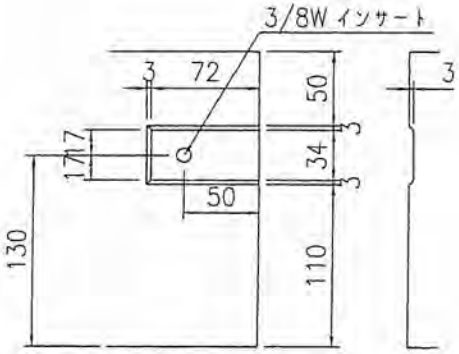
エプロン PGF520-A（基本）

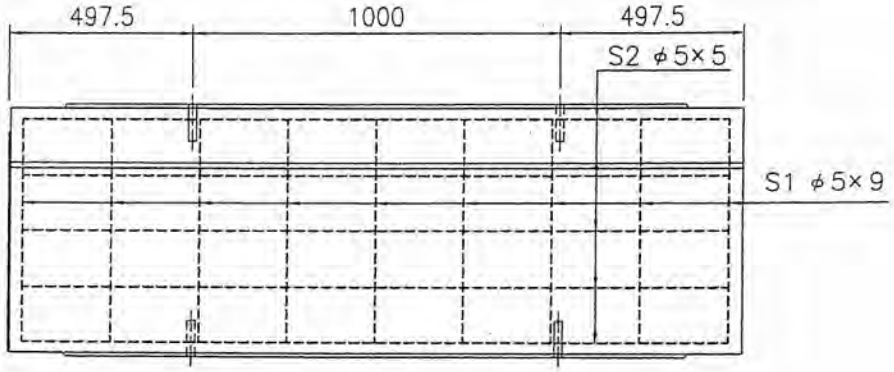
S=1/20

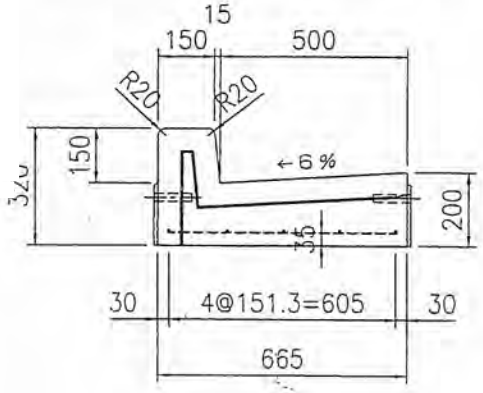
設計条件

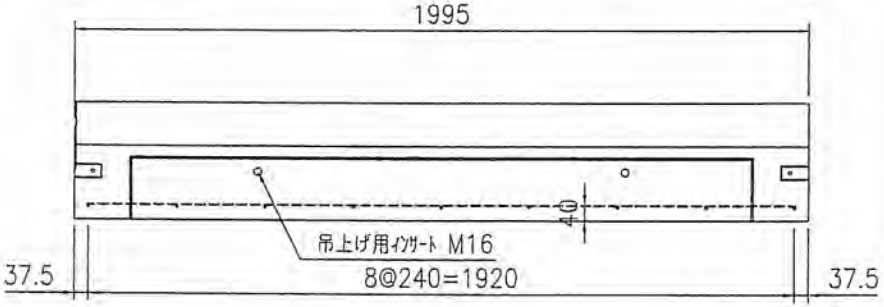
荷重条件	T−25（平行）
コンクリート設計基準強度	σck=24（N/mm²）
鉄筋	SWM−B又はSWM−P

インサート部詳細図
S=1/5

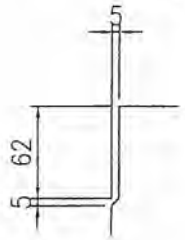








バッキン部詳細図
S=1/5



（注記）

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集（国土交通省近畿地方整備局）」に掲載されています<L−4>。

記号	鉄筋径	単位重量（Kg/m）	本数	長さ（m）	重量（Kg）
S1	φ5	0.154	9	0.610	0.8
S2	φ5	0.154	5	1.925	1.5
鉄筋総重量				2.3	（Kg）
製品立積				0.287	（m³）

PG520NA−2	平成19年 1月 5日	****

市場製品図集タイプ

エプロン PG520-N-A（乗入用）

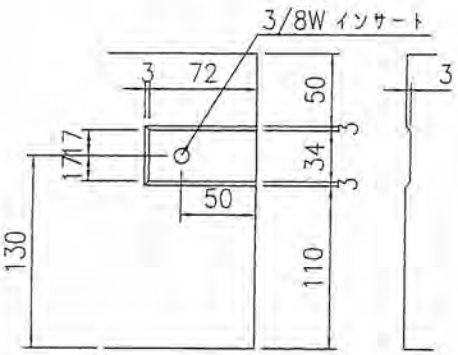
S=1/20

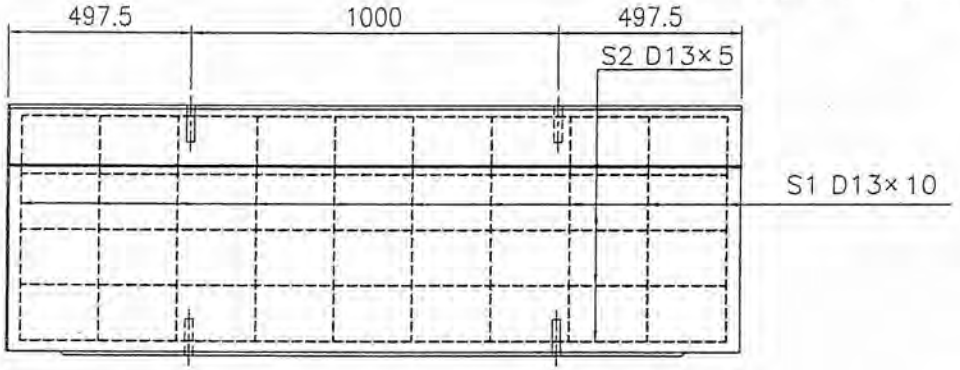
設計条件

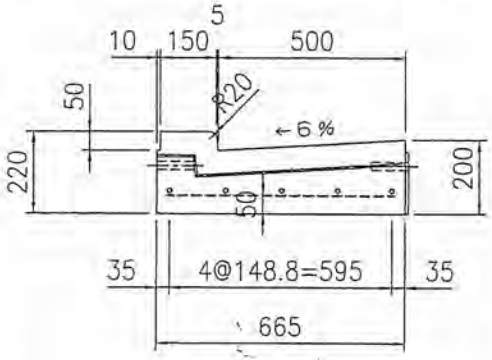
荷重条件	T−25（平行）
コンクリート設計基準強度	σck=24（N/mm²）
鉄筋	SD295*

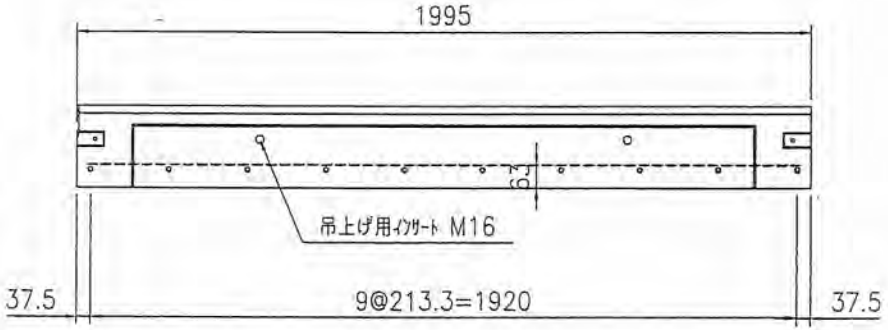
※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

インサート部詳細図
S=1/5

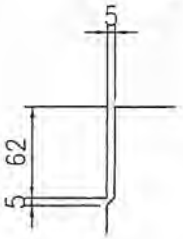








バッキン部詳細図
S=1/5



（注記）

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集（国土交通省近畿地方整備局）」に掲載されています<L−4>。

記号	鉄筋径 SD295*	単位重量（Kg/m）	本数	長さ（m）	重量（Kg）
S1	D13	0.995	10	0.610	6.1
S2	D13	0.995	5	1.935	9.6
鉄筋総重量				15.7	（Kg）
製品立積				0.255	（m³）

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

LNGYH245	平成18年 6月20日	G20060620−2 YH

市場製品図集タイプ
大国タイプ

エプロンPG520−N 2%−B(横断歩道部)

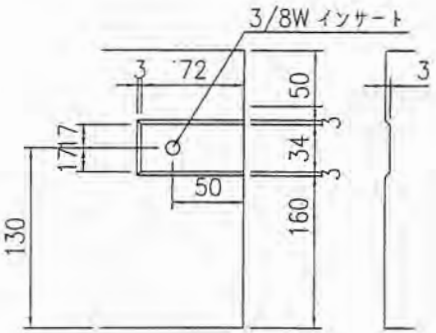
−2m−　　S=1/20

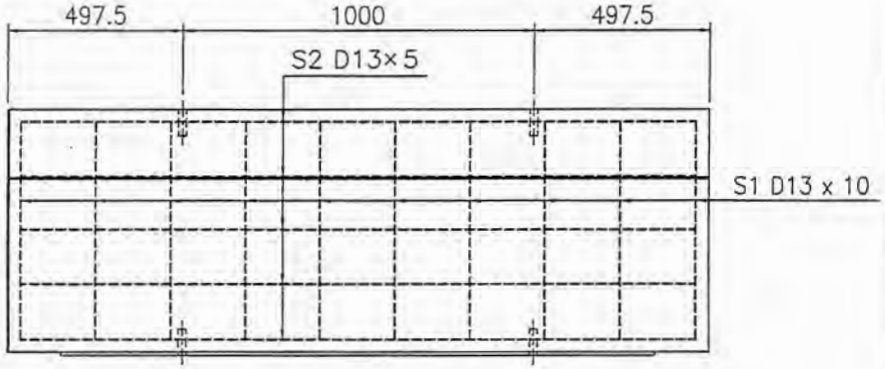
設計条件

荷重条件	T−25 (平行)
コンクリート設計基準強度	σck=24 (N/mm²)
鉄筋	SD295※

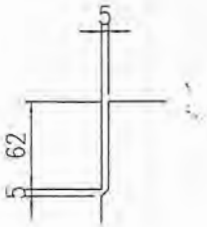
※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

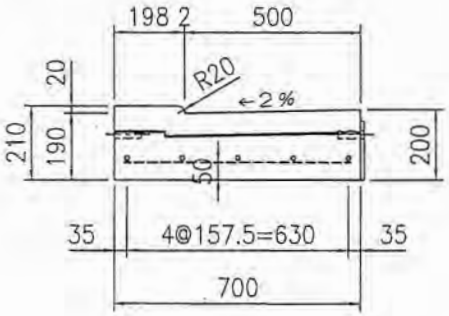
インサート部詳細図
S=1/5

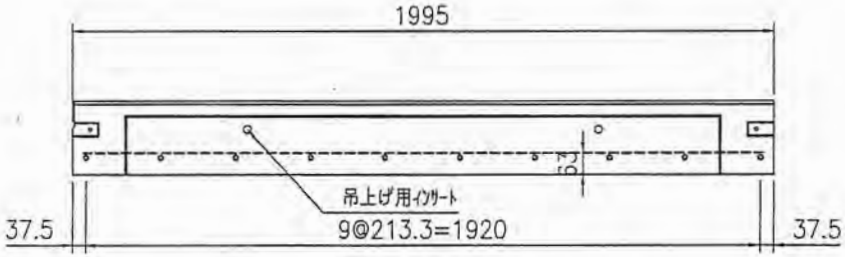




パッキン部詳細図
S=1/5







記号	鉄筋径 SD295※	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	10	0.645	6.4
S2	D13	0.995	5	1.935	9.6
鉄筋総重量				16.0	(Kg)
製品立積				0.281	(m³)

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

F5202%DSAR-K 平成19年 1月 5日 ****

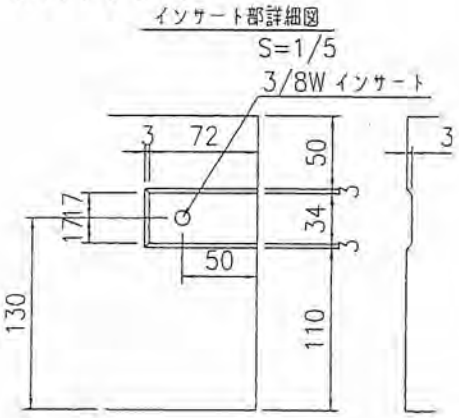
市場製品図集タイプ
京都府・滋賀県仕様
（バリアフリー）

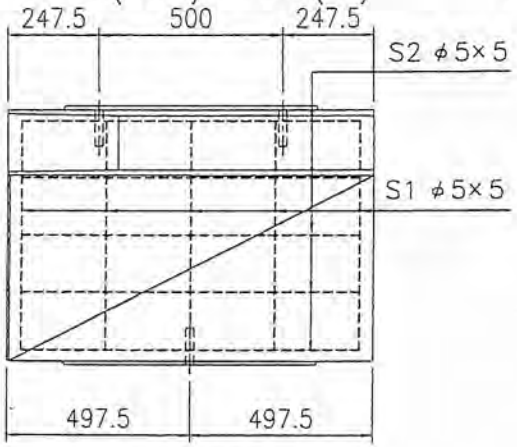
エプロン PGF520-2%DS-A（斜用・右用）

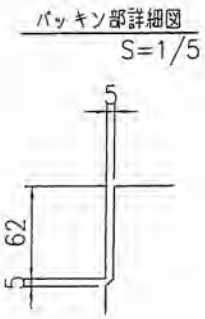
H-10(mm) l=1.0(m)　S=1/20

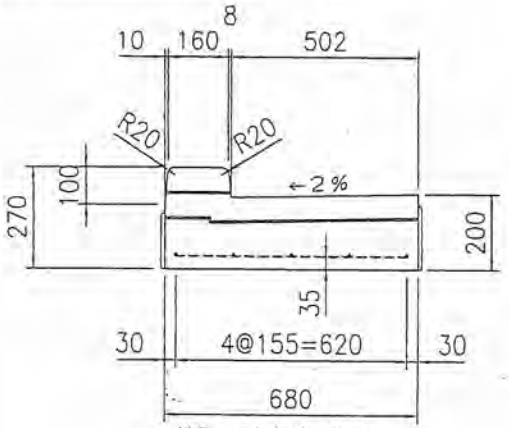
設計条件

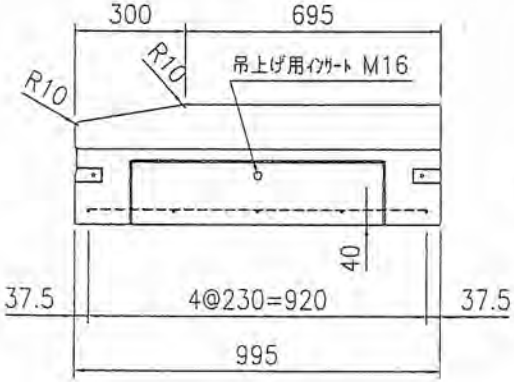
荷重条件	T-25（平行）
コンクリート設計基準強度	σck=24（N/mm²）
鉄筋	SWM-B又はSWM-P

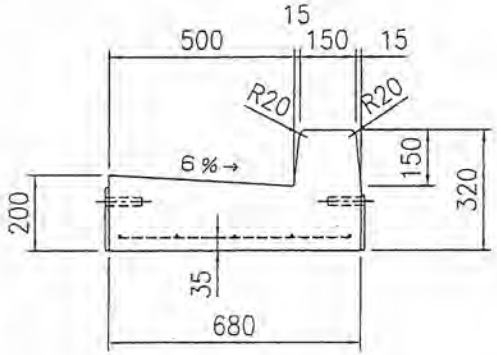












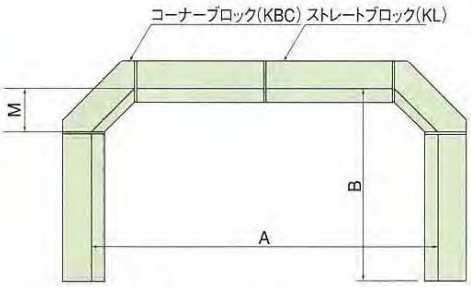
※斜用には左右があり、車道から見て右上がりを右用と呼ぶ。（図は右用）

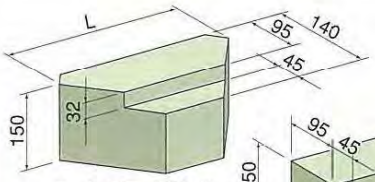
（注記）

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集（国土交通省近畿地方整備局）」に掲載されています<L-4>。

記号	鉄筋径	単位重量（Kg/m）	本数	長さ（m）	重量（Kg）
S1	φ5	0.154	5	0.625	0.5
S2	φ5	0.154	5	0.925	0.7
鉄筋総重量				1.2	（Kg）
製品立積				0.146	（m³）

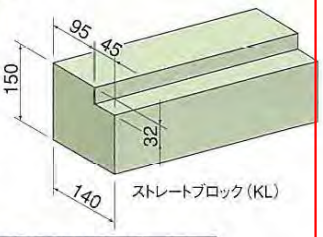
ルーツグレート用コンクリートブロック





コーナーブロック(KBC)

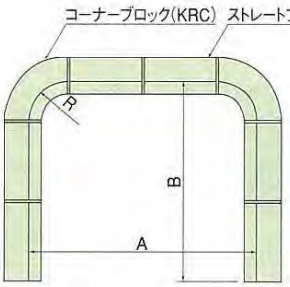
KBC L=346 M=150
KBC2 L=410 M=195
KBC3 L=417 M=200

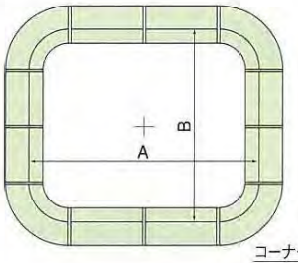


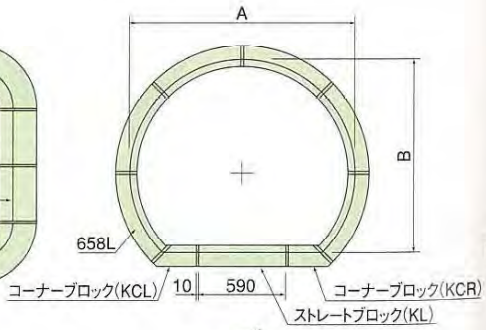
ストレートブロック(KL)

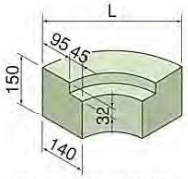
※擬石みかげもできます。お問合せ下さい。

ルーツグレートの形状	ルーツグレート外寸	コーナー	A×B	コンクリートブロックの種類と個数
	900× 745	C150	910× 750	KBC×2, KL-590×3
	1050× 300	C150	1060× 305	KBC×2, KL-145×2, KL-740×1
	1080× 400	C150	1090× 400	KBC×2, KL-240×2, KL-380×2
	1080× 640	C150	1090× 655	KBC×2, KL-380×2, KL-490×2
	1200× 745	C150	1210× 750	KBC×2, KL-440×2, KL-590×2
	1200×1000	C150	1210×1000	KBC×2, KL-340×2, KL-440×2, KL-490×2
	1300× 550	C150	1310× 550	KBC×2, KL-490×2, KL-390×2
	1300×1100	C150	1310×1100	KBC×2, KL-440×2, KL-490×4
	1500× 300	C150	1510× 305	KBC×2, KL-145×2, KL-590×2
	1500× 450	C150	1510× 450	KBC×2, KL-290×2, KL-590×2
	1500× 520	C150	1510× 520	KBC×2, KL-590×2, KL-360×2
	1500× 745	C150	1510× 750	KBC×2, KL-590×4
	1500× 750	C150	1510× 750	KBC×2, KL-590×4
	1500× 900	C150	1510× 900	KBC×2, KL-590×2, KL-740×2
	1500×1000	C150	1510×1000	KBC×2, KL-340×2, KL 490×2, KL 590×2
	1500×1150	C150	1510×1150	KBC×2, KL-590×2, KL-490×4
	1560× 780	C200	1570× 780	KBC3×2, KL-570×4
	1770× 985	C195	1780× 995	KBC2×2, KL-370×1, KL-490×2, KL-340×2 KL-440×2
	1800× 300	C150	1810× 305	KBC×2, KL-145×2, KL-490×3
	1800× 745	C150	1810× 750	KBC×2, KL-490×3, KL-590×2
	2100× 525	C150	2110× 530	KBC×2, KL-590×3, KL-370×2
	2100× 745	C150	2110× 750	KBC×2, KL-590×5
	2200× 800	C150	2210× 800	KBC×2, KL-590×1, KL-640×4
	2210× 890	C195	2220× 895	KBC2×2, KL-460×1, KL-590×1 KL-340×4, KL-740×1
	2210×1100	C195	2220×1100	KBC2×2, KL-460×1, KL-590×1, KL-740×1 KL-395×2, KL-490×2



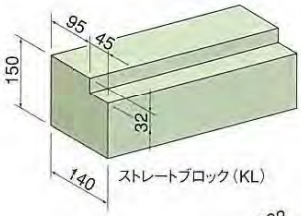




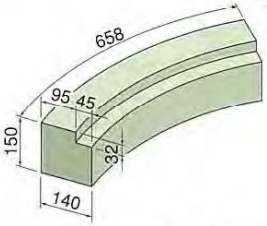


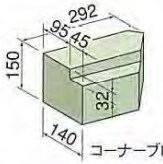
コーナーブロック(KRC)

KRC L=346 R=150
KRC2 L=410 R=200

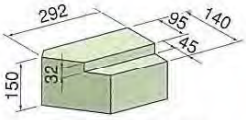


ストレートブロック(KL)





コーナーブロック(KCR)



コーナーブロック(KCL)

※擬石みかげもできます。お問合せ下さい。

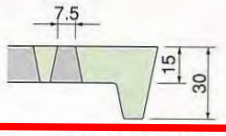
ルーツグレートの形状	ルーツグレート外寸	コーナー	A×B	コンクリートブロックの種類と個数
	900× 745	R145	910× 750	KRC×2, KL-590×3
	1000× 800	R200	1010× 800	KRC2×2, KL-590×3
	1200× 750	R195	1214× 750	KRC2×2, KL-395×2, KL-540×2
	1200× 800	R195	1214× 850	KRC2×2, KL-395×2, KL-590×2
	1600× 800	R195	1610× 800	KRC2×2, KL-590×4
	1520×1240	R145	1530×1250	KRC×4, KL-460×6, KL-740×2
	1680×1520	R145	1690×1530	KRC×4, KL-370×2, KL-460×2, KL-490×4 KL-740×2
	1500×1280	—	1510×1290	KCL×1, KCR×1, M-1500-×6, KL-590×1

P195の製品共通特徴

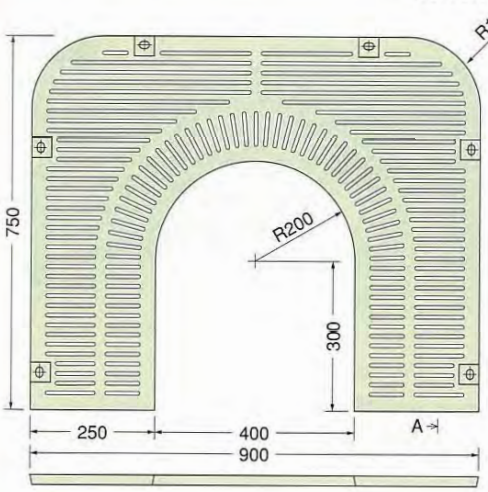
- ヒール、タバコを通さない7.5mm幅スリット。
- スリットは逆テーパーなので小石、ゴミ等が目づまりしません。
- シャープで繊細な印象を与えるルーツグレート。
- 支柱穴の設置も可能です。ご相談ください。
- FCD素材をご希望の場合はご指定ください。

基本色

断面 A



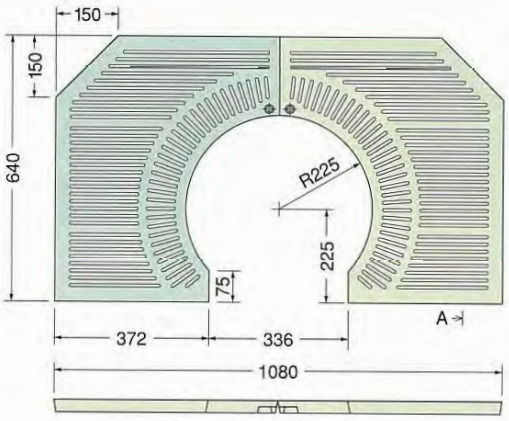
TG-UH-90754F



細目
構成 1P
質量 kg 49
材質 FC 200
支柱穴可

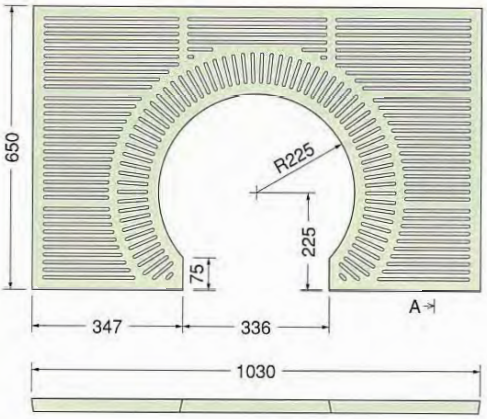
●外周ボルト固定タイプです。

TG-UH-10644F



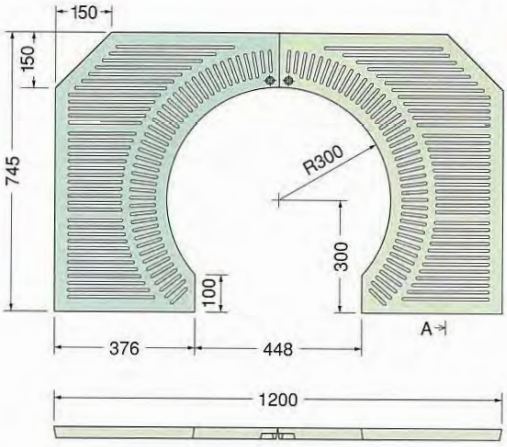
細目
構成 2P
質量 kg 36
材質 FC 200
支柱穴可

TG-UHC-10654F



細目
構成 1P
質量 kg 36
材質 FC 200
支柱穴可

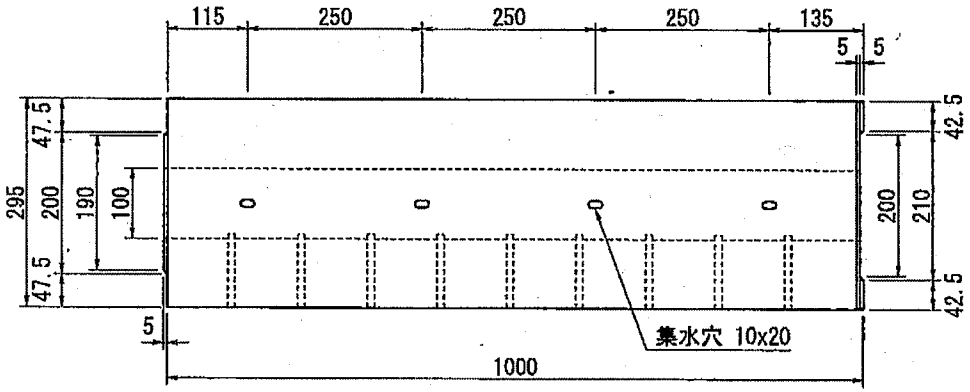
TG-UH-12746F



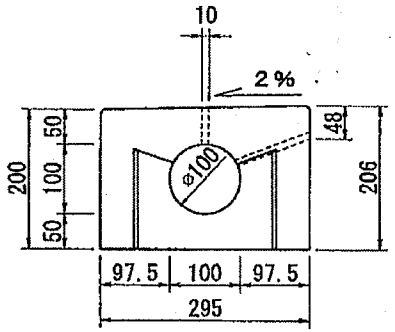
細目
構成 2P
質量 kg 48
材質 FC 200
支柱穴可

ライン導水ブロックG型 製品図
車道用 φ100

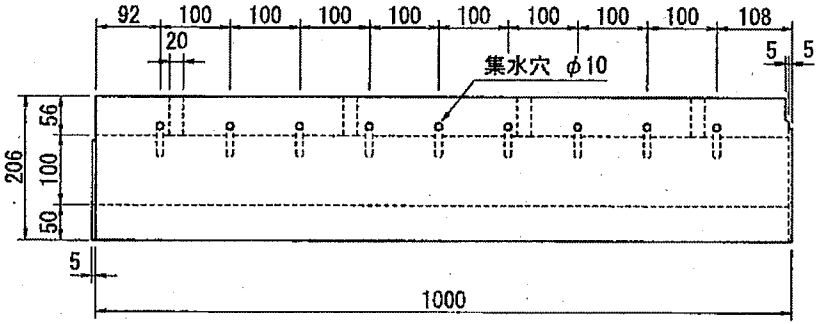
平面図



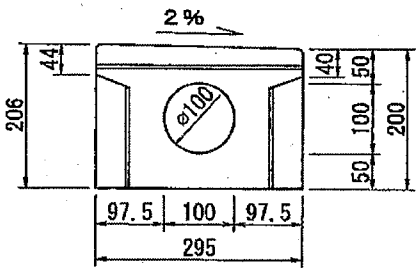
左側面図



正面図



右側面図



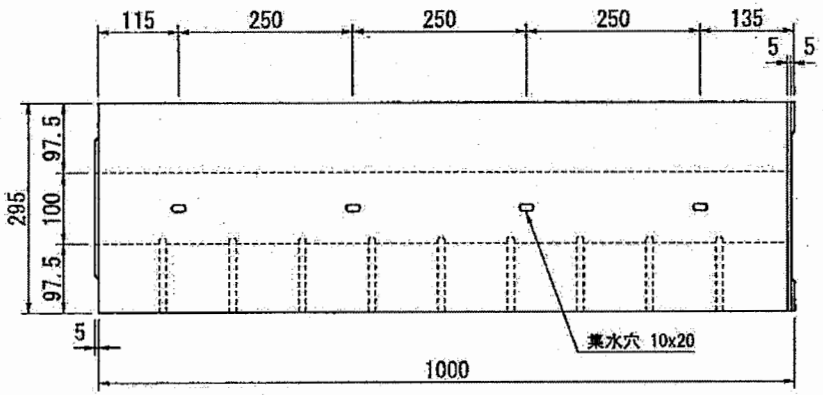
参考質量
バイコン / ポーラス 116kg

ライン導水ブロックG型 製品図 車道用 φ100 (LG-004)	図面番号

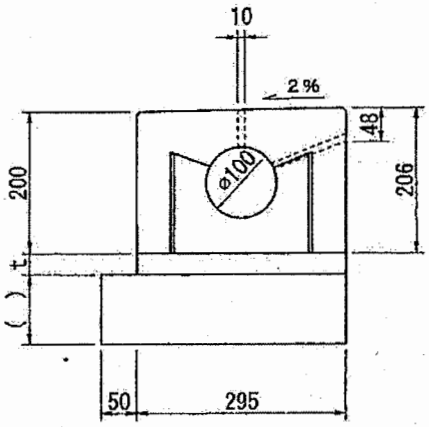
製図	検図	縮尺	年月日	2010 年 04 月 01 日

【参考図】 ライン導水ブロックG型 構造図
車道用 φ100

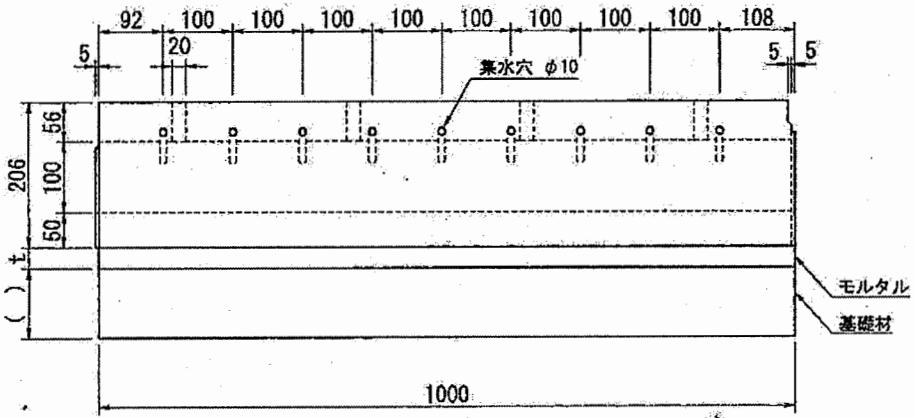
平面図



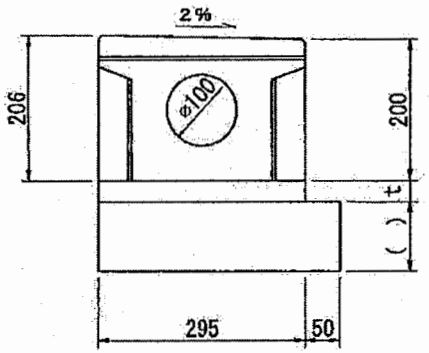
左側面図



正面図



右側面図



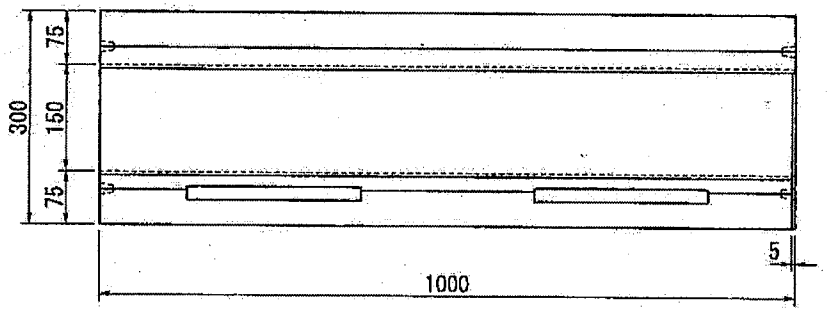
参考質量
バイコン / ポーラス 116kg

注記）基礎材については、地盤状況に応じて基礎コンクリート等を適宜ご検討下さい。

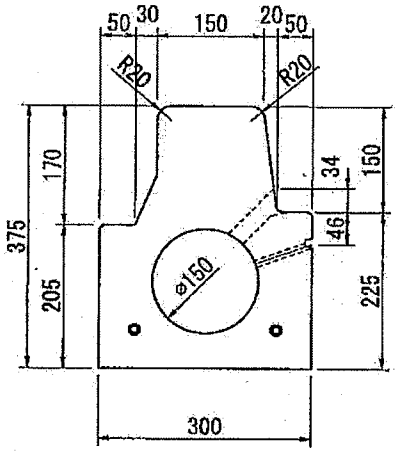
名称	【参考図】ライン導水ブロックG型 構造図 車道用 φ100 (LG-004)				図面番号
製図	検図	縮尺	年月日	2010 年 08 月 01 日	

ライン導水ブロックＦ型 製品図
標準Ａ (-P)

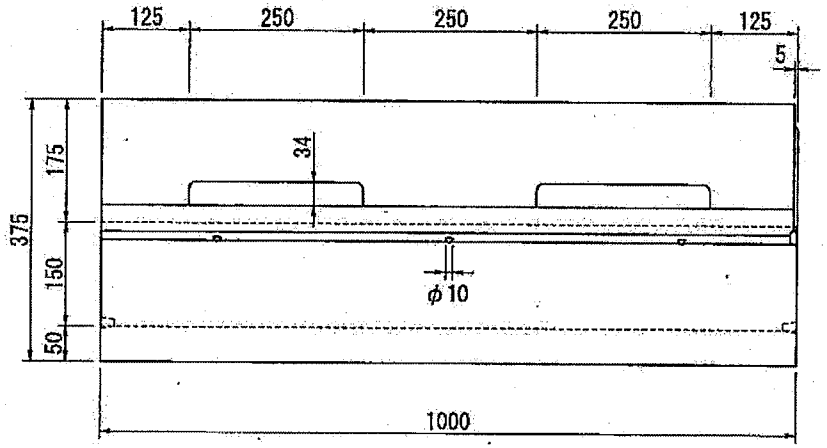
平面図



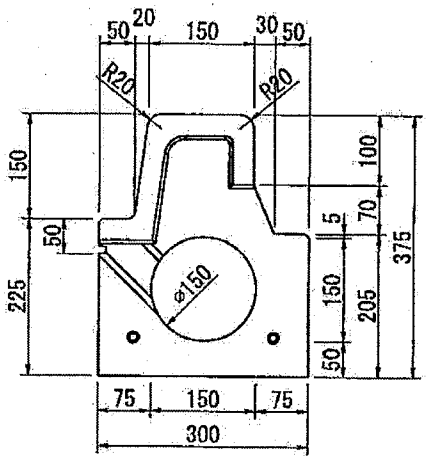
左側面図



正面図



右側面図

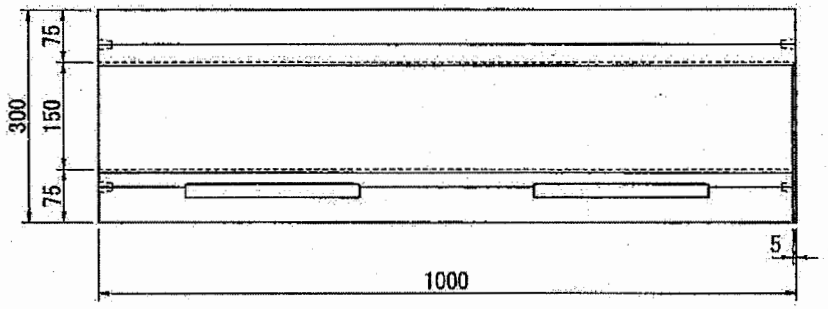


参考質量
バイコン　172kg
ポーラス　148kg

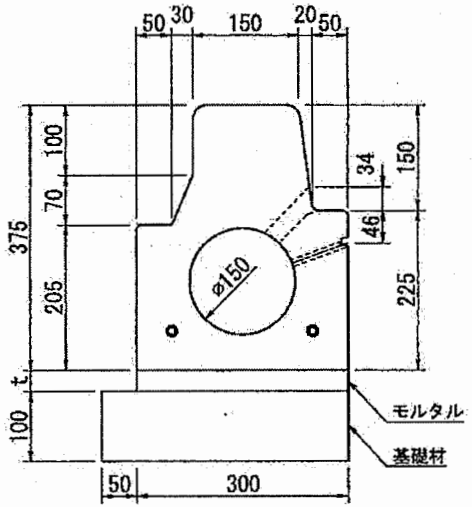
名称	ライン導水ブロックＦ型 製品図 標準Ａ (-P) (LF-002, LF-004(-P))	図面番号
製図	検図	縮尺	年月日	2010 年 04 月 01 日

【参考図】 ライン導水ブロックＦ型 構造図
標準Ａ (-P)

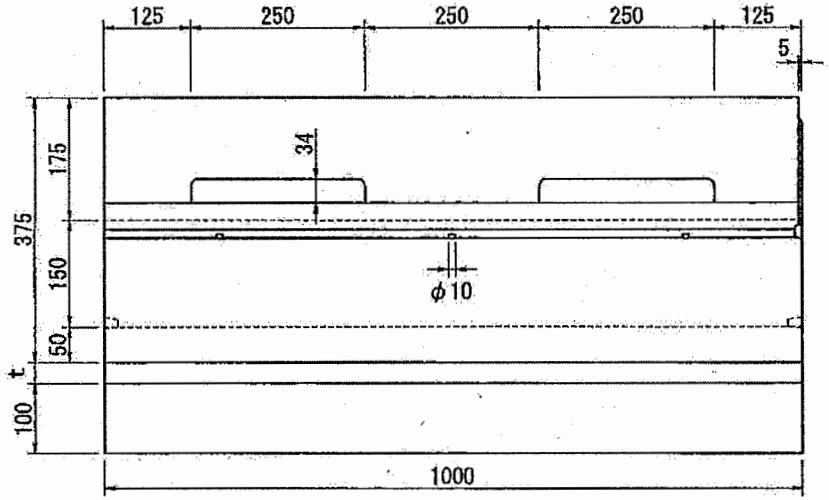
平面図



側面図



正面図

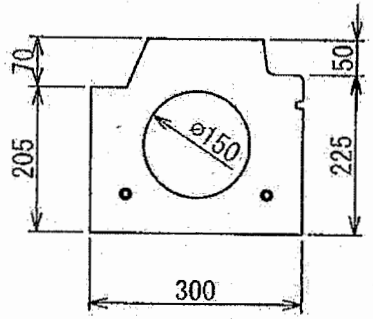


参考質量
バイコン　172kg
ポーラス　148kg

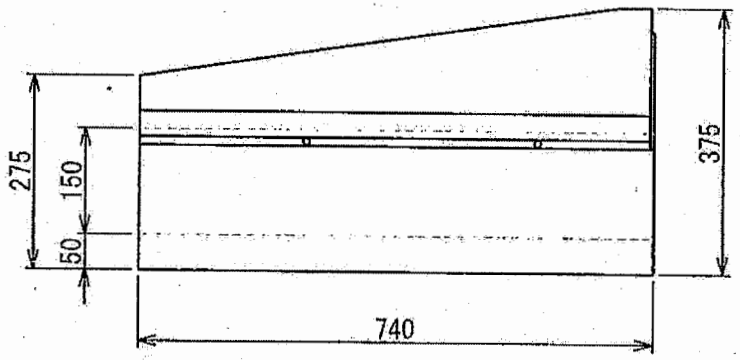
名称	【参考図】ライン導水ブロックＦ型 構造図 標準Ａ (-P) (LF-002, LF-004 (-P))				図面番号
製図	検図	縮尺	年月日	2010 年 08 月 01 日	

擦付A　車乗　フラット5　右

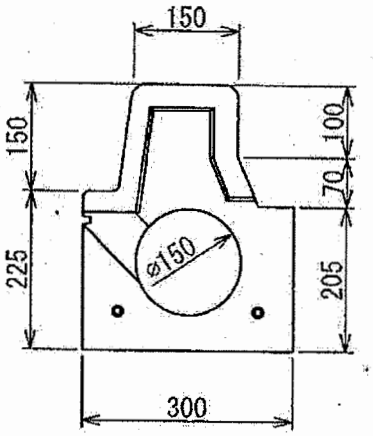
側面図



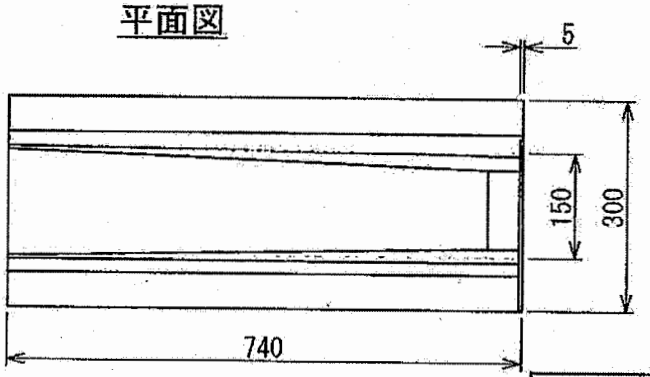
正面図



側面図



平面図

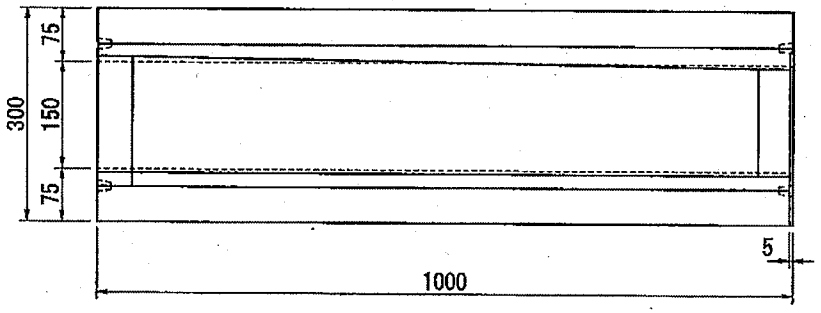


参考質量
バイコン　122ｋｇ

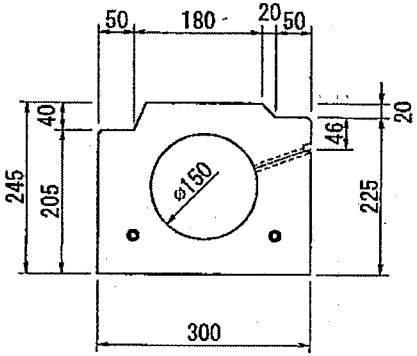
名称(title) ライン導水ブロックF型　擦付・車乗用	
平成　21年　1月　12日	Scale　1/10

ライン導水ブロックＦ型 製品図
擦付Ａ 歩切 フラット２ 右

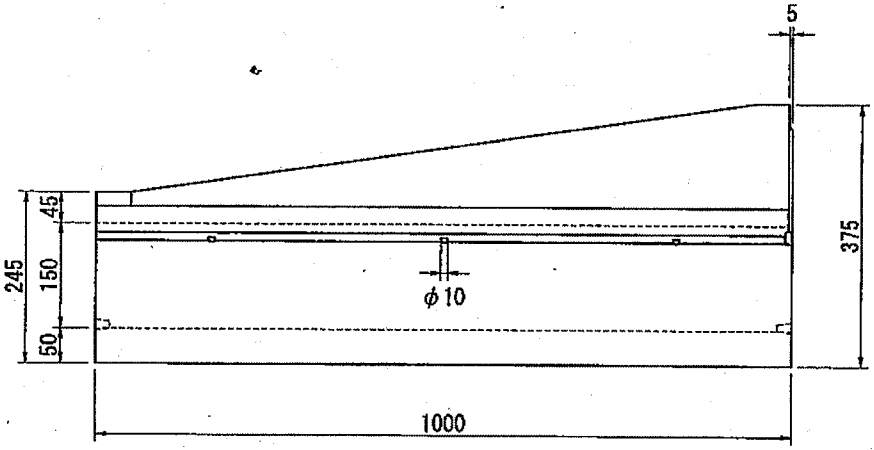
平面図



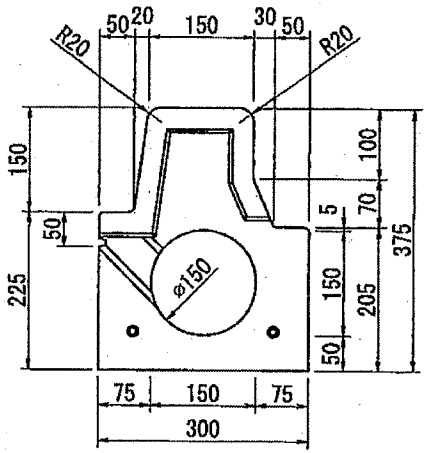
左側面図



正面図



右側面図

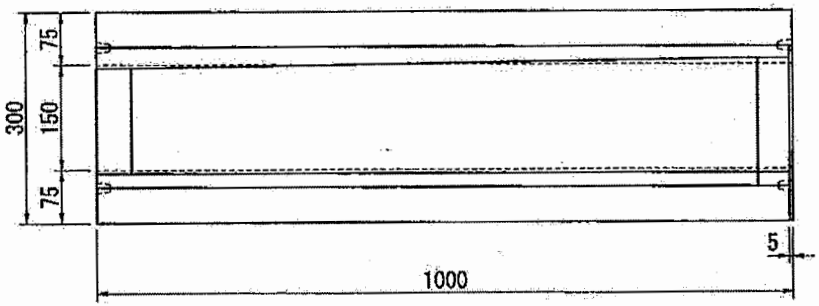


参考質量
バイコン　154kg

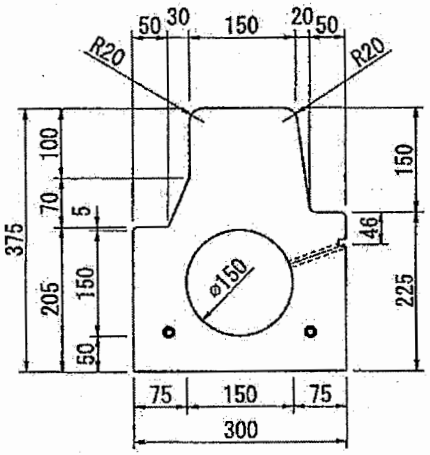
名称	ライン導水ブロックＦ型 製品図 擦付Ａ 歩切 フラット２ 右 （ LF-424 ）				図面番号
製図	検図	縮尺	年月日	2010 年 04 月 01 日	

ライン導水ブロックＦ型 製品図
擦付Ａ 歩切 フラット２ 左

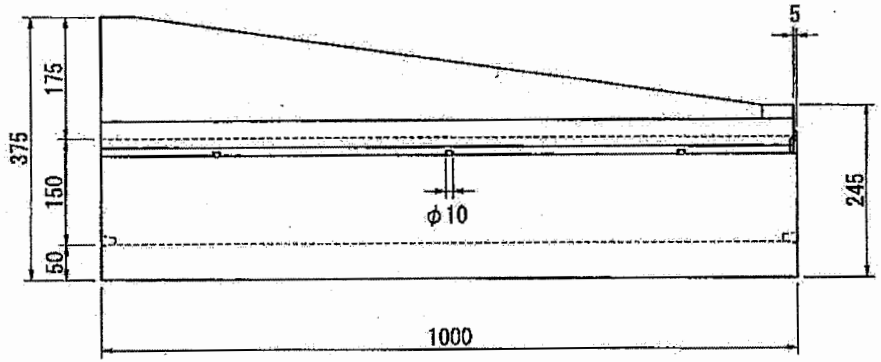
平面図



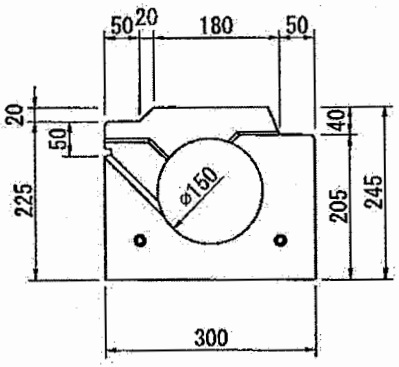
左側面図



正面図



右側面図

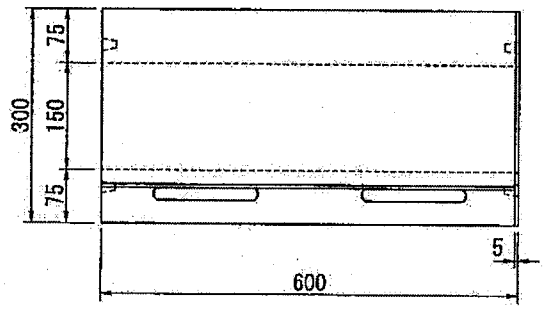


参考質量
バイコン　154kg

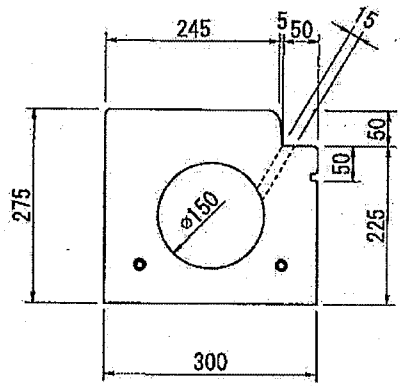
名称	ライン導水ブロックＦ型 製品図 擦付Ａ 歩切 フラット２ 左 （ LF-425 ）	図面番号
製図	検図	縮尺	年月日	2010 年 04 月 01 日

ライン導水ブロックＦ型 製品図
車両乗入 フラット５ＣＭ

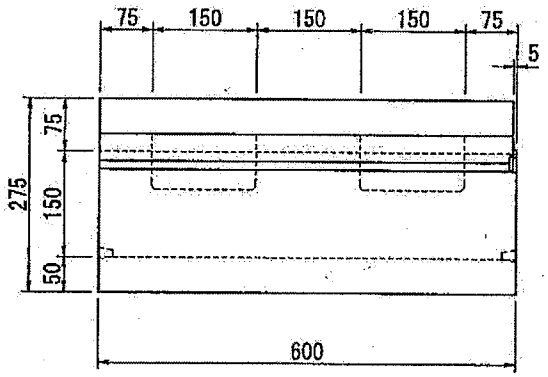
平面図



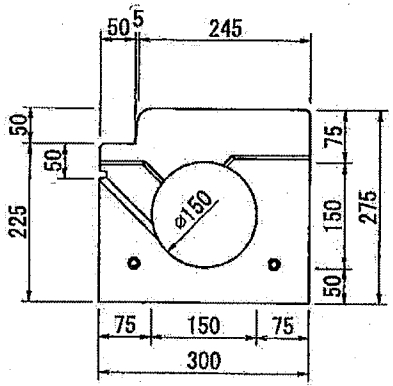
左側面図



正面図



右側面図

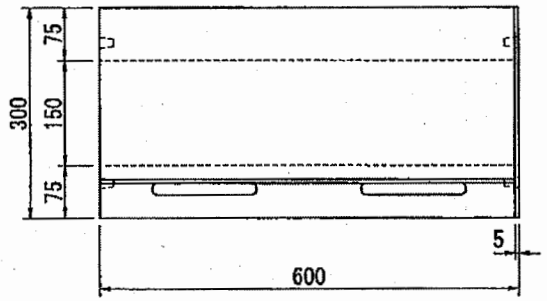


参考質量
バイコン　88kg

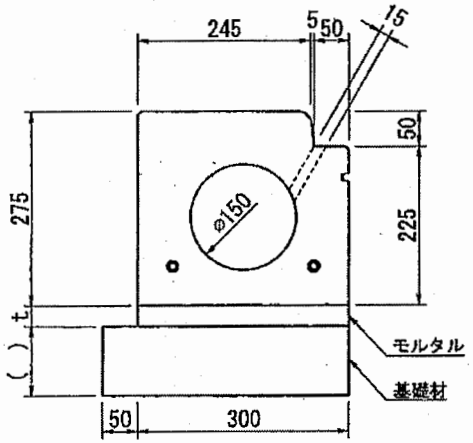
名称	ライン導水ブロックＦ型 製品図 車両乗入 フラット５ＣＭ				図面番号
製図	検図	縮尺	年月日	2010 年 04 月 01 日	

【参考図】 ライン導水ブロックＦ型 構造図
車両乗入 フラット５ＣＭ

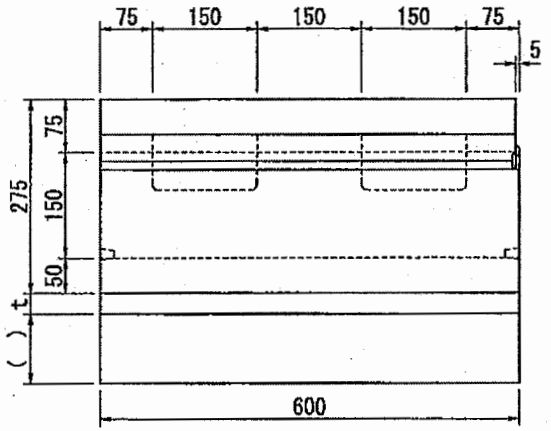
平面図



側面図



正面図



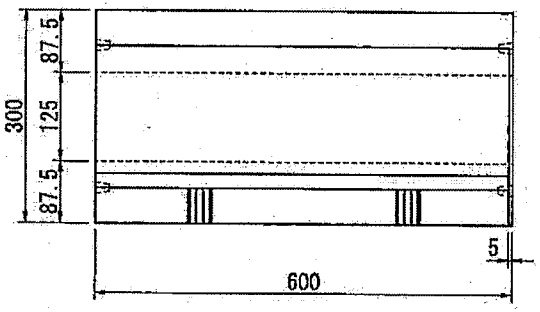
参考質量
バイコン　88kg

注記）基礎材については、地盤状況に応じて基礎コンクリート等を適宜ご検討下さい。

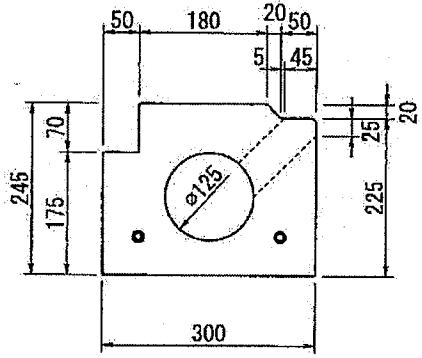
名称	【参考図】ライン導水ブロックＦ型 構造図 車両乗入 フラット５ＣＭ				図面番号
製図	検図	縮尺	年月日	2010 年 08 月 01 日	

ライン導水ブロックＦ型 製品図
歩道切下 フラット２ＣＭ 直線 VP (P3 P)

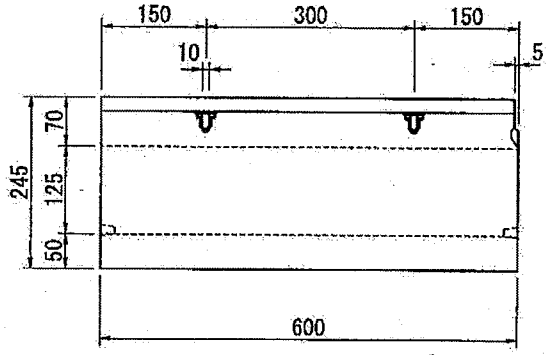
平面図



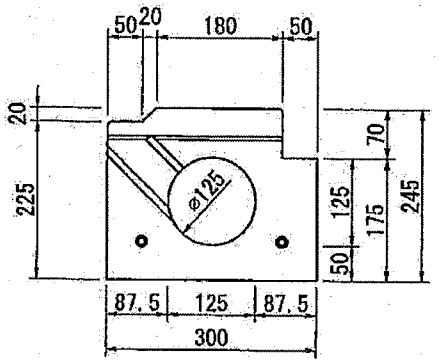
左側面図



正面図



右側面図

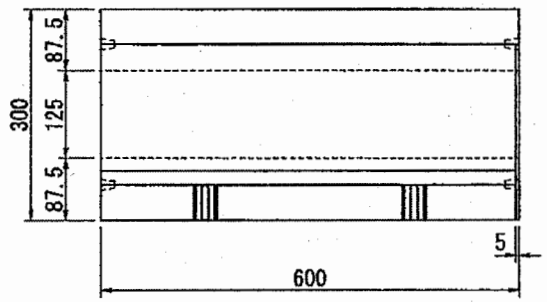


参考質量
バイコン　77kg
ポーラス　72kg

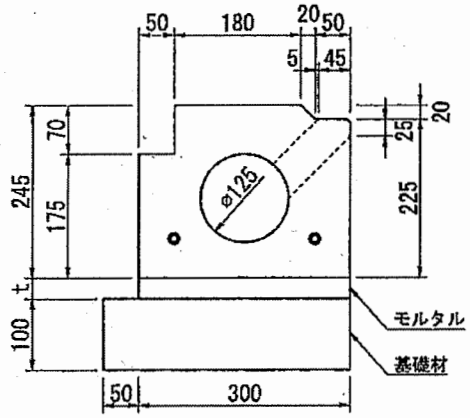
名称	ライン導水ブロックＦ型 製品図 歩道切下 フラット２ＣＭ 直線VP(P3 P) (LF-298, LF-258 (P3 P))	図面番号
製図	検図	縮尺	年月日	2010 年 04 月 01 日

【参考図】 ライン導水ブロックＦ型 構造図
歩道切下 フラット２ＣＭ 直線 VP (P3 P)

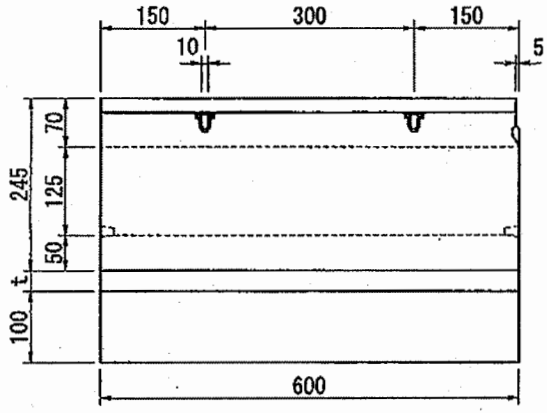
平面図



側面図



正面図

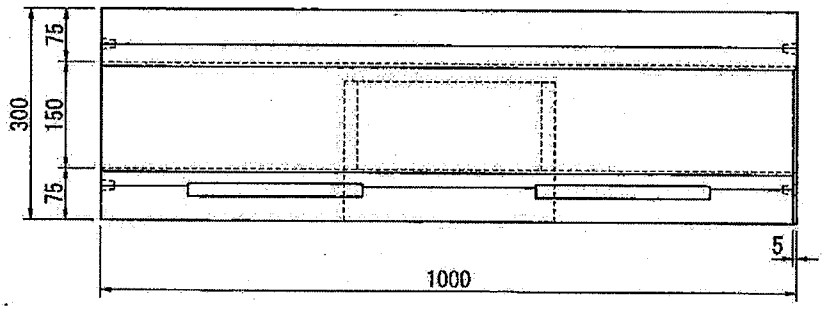


参考質量
バイコン　77kg
ポーラス　72kg

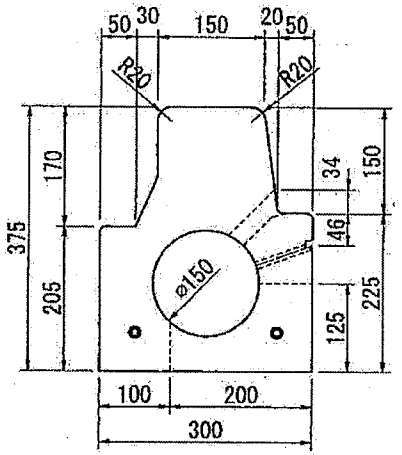
名称	【参考図】ライン導水ブロックＦ型 構造図 歩道切下 フラット２ＣＭ 直線VP(P3 P) (LF-298, LF-258(P3 P)).				図面番号
製図	検図	縮尺	年月日	2010 年 08 月 01 日	

ライン導水ブロックＦ型 製品図
車道桝 縁石Ａ (-P)

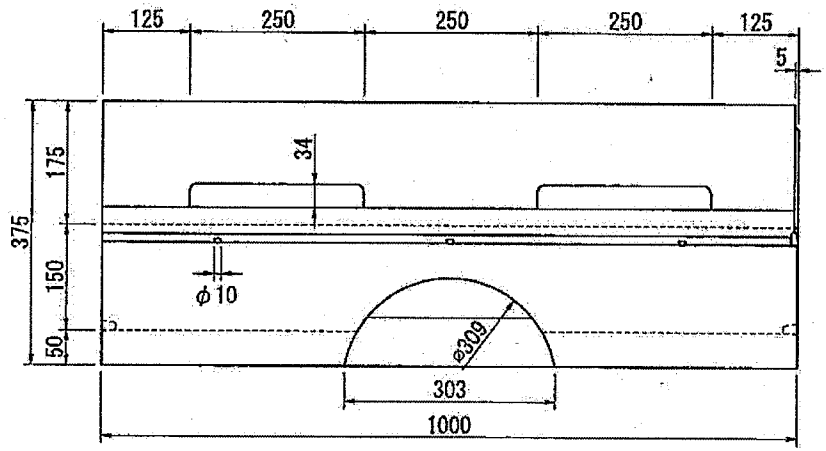
平面図



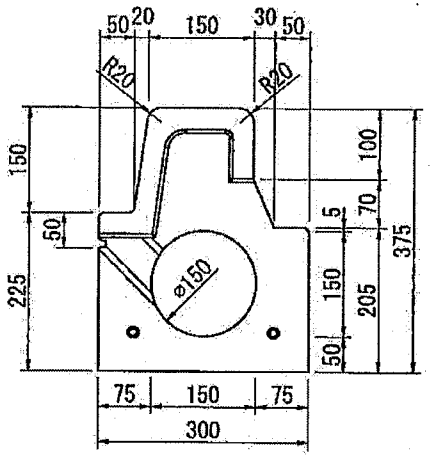
左側面図



正面図



右側面図

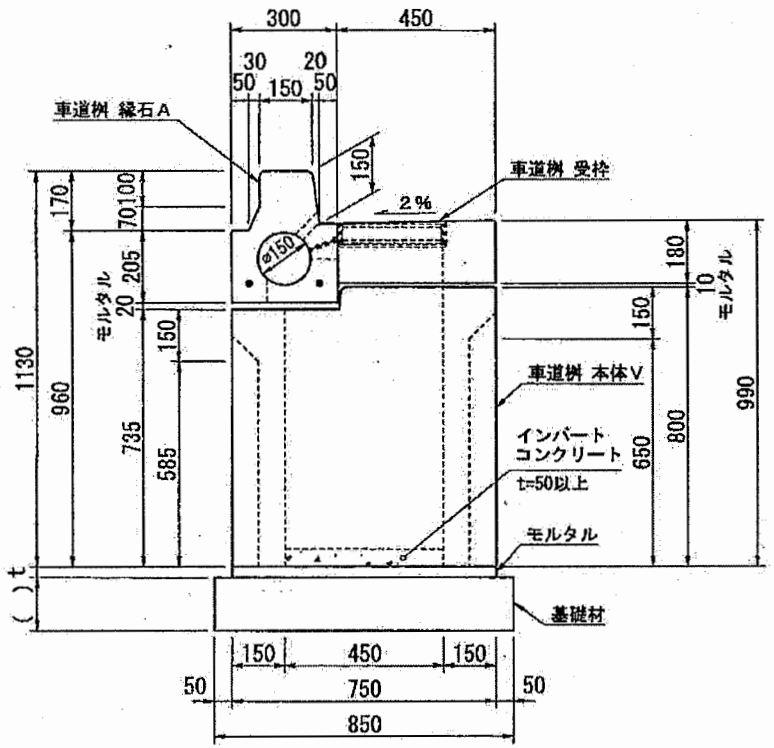


参考質量
バイコン　156kg
ポーラス　134kg

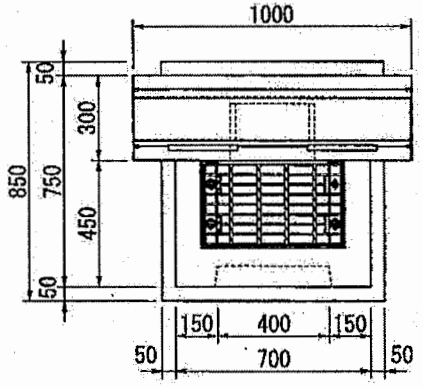
名称	ライン導水ブロックＦ型 製品図 車道桝 縁石Ａ (-P) (LF-664, LF-661 (-P))				図面番号
製図	検図	縮尺	年月日	2010 年 04 月 01 日	
7					

【参考図】 ライン導水ブロックＦ型 構造図
車道桝Ａ

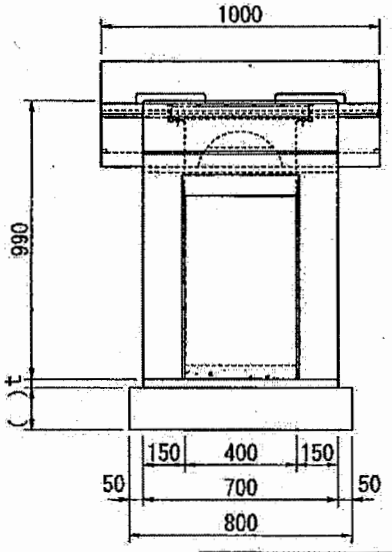
側面図 S=1/20



平面図 S=1/25



正面図 S=1/25



参考質量

車道桝本体Ｖ－バイコン	560kg
車道桝縁石Ａ－バイコン	156kg
車道桝受枠　－バイコン	77kg
車道桝受枠蓋－ＳＳ	14kg
合計	807kg

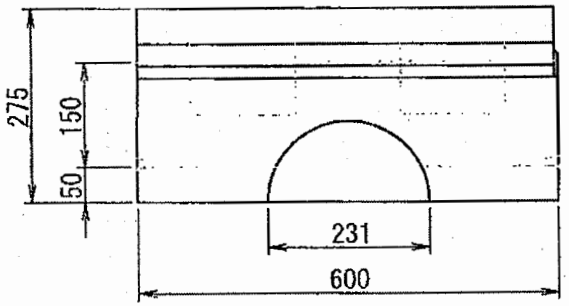
注記）基礎材については、地盤状況に応じて適宜ご検討下さい。

名称	【参考図】ライン導水ブロックＦ型 構造図 車道桝Ａ	図面番号
製図	検図	縮尺	年月日	2010 年 08 月 01 日

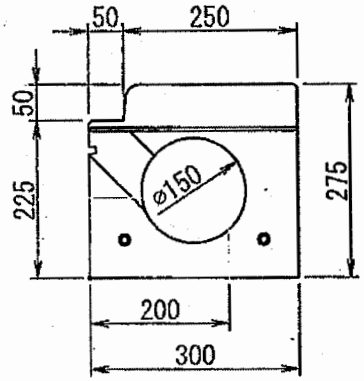
車両乗入　フラット　５ｃｍ段差　φ２３１穿孔加工品

参考質量　８１ｋｇ

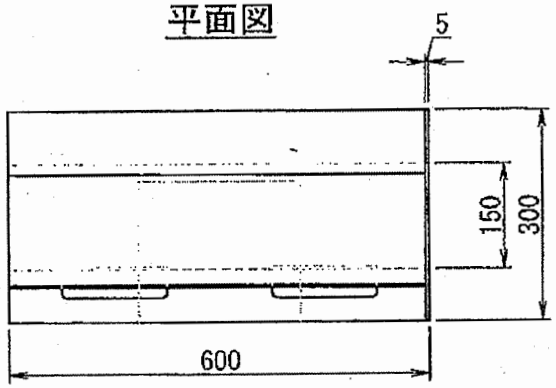
正面図



側面図



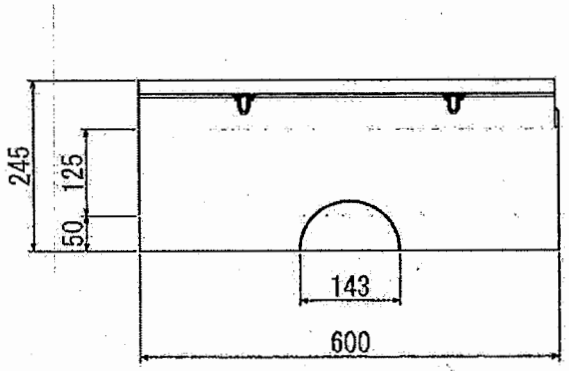
平面図



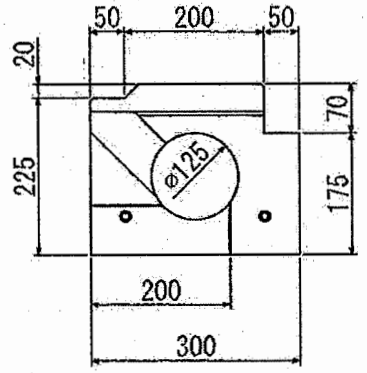
名称(title) ライン導水ブロックF型　車両乗入	
平成　20年　1月　15日	Scale　1/10

歩道切下 フラット２ｃｍ　直線　φ１４３穿孔加工品

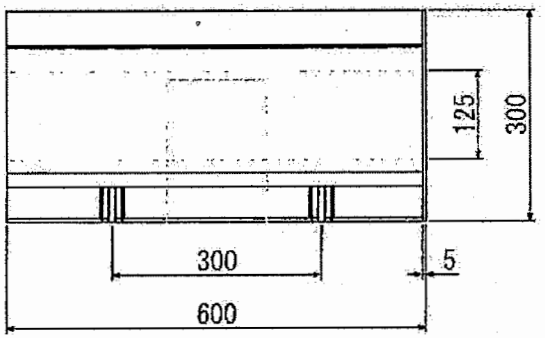
正面図



側面図



平面図

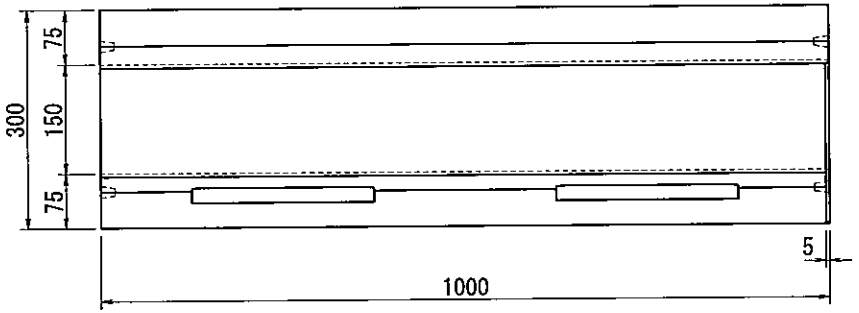


参考質量　７３ｋｇ　（ﾊﾞｲｺﾝｺﾝｸﾘｰﾄ仕様）

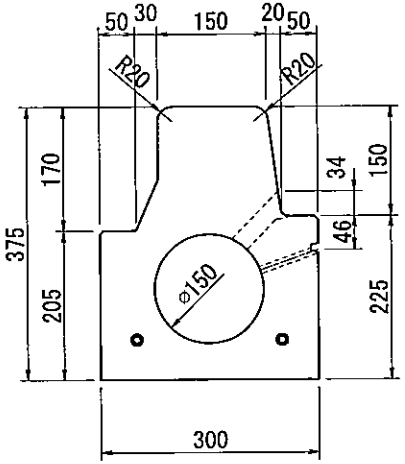
名称(title) ライン導水ブロック切下 F2 直線	
平成　20年　8月　21日	Scale　1/10

ライン導水ブロックＦ型 製品図
標準Ａ（-P）

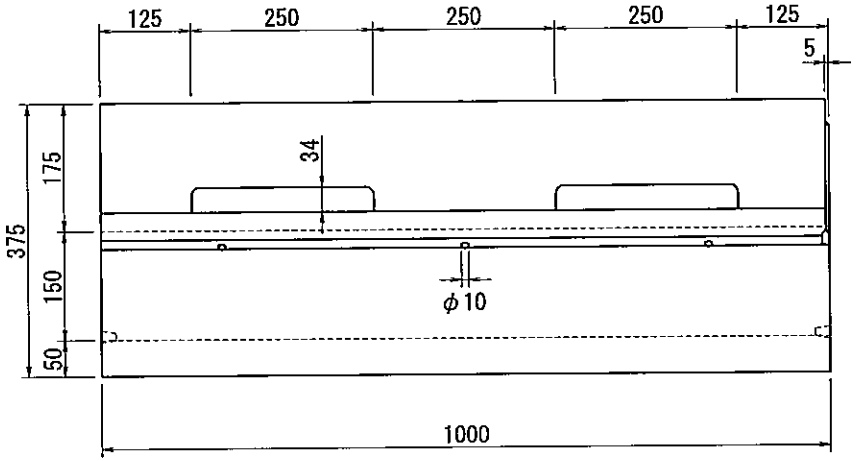
平面図



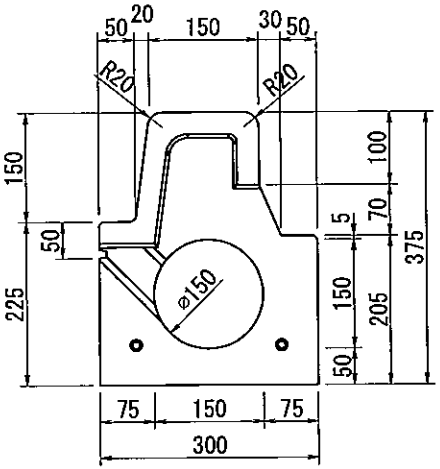
左側面図



正面図



右側面図



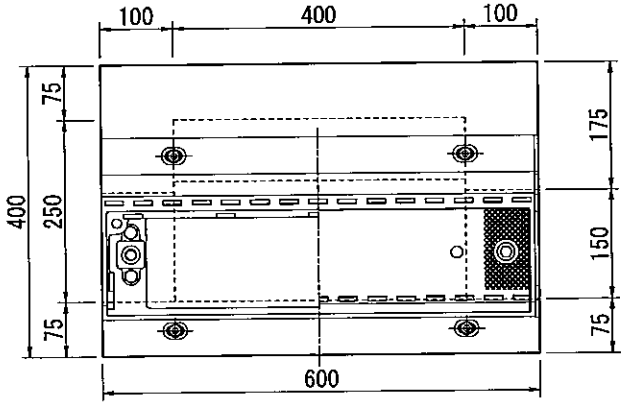
参考質量
バイコン　172kg
ポーラス　148kg

名称	ライン導水ブロックＦ型 製品図 標準Ａ（-P） （ LF-002, LF-004(-P) ）			図面番号 LS-0005
製図	検図	縮尺	年月日	2010 年 04 月 01 日
宮崎	関野	1/10	株式会社イトーヨーギョー	

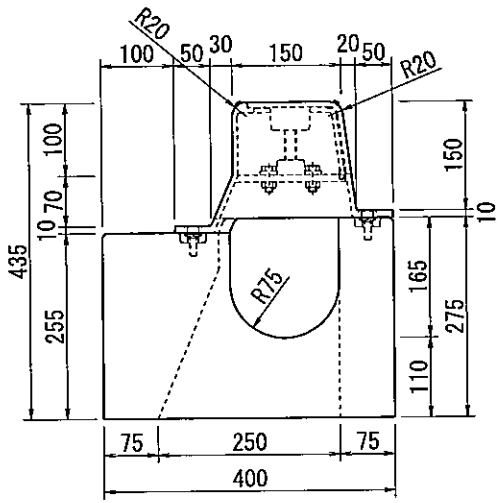
（ 品目C ： 10002, 10004(-P) ）

ライン導水ブロックＦ型 製品図
縁石桝Ａ 点検（ｸﾛ・ｸﾞﾚｰ）

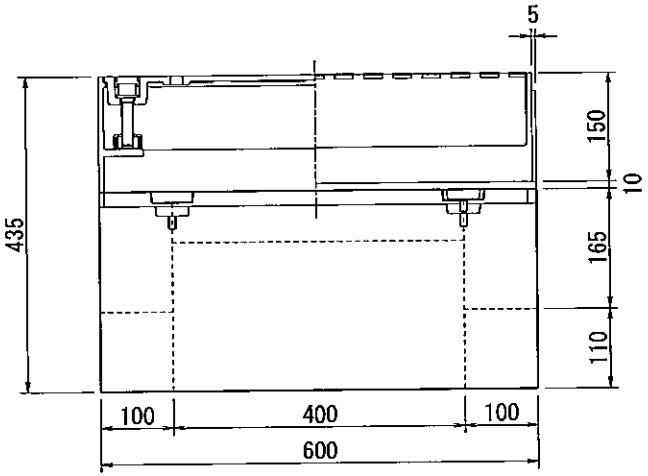
平面図



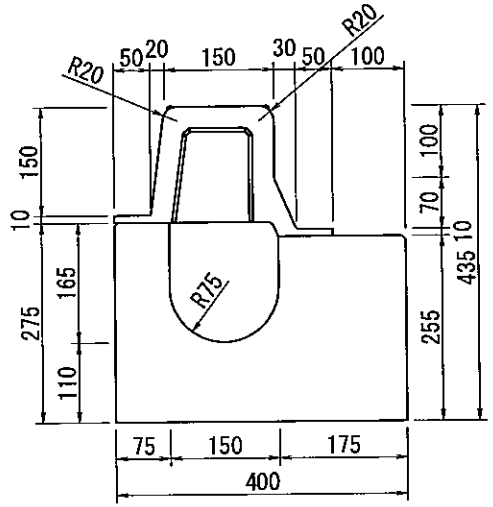
左側面図



正面図



右側面図



参考質量

本体	ーバイコン	88kg
点検蓋	ーＦＣＤ	25kg
	合計	113kg

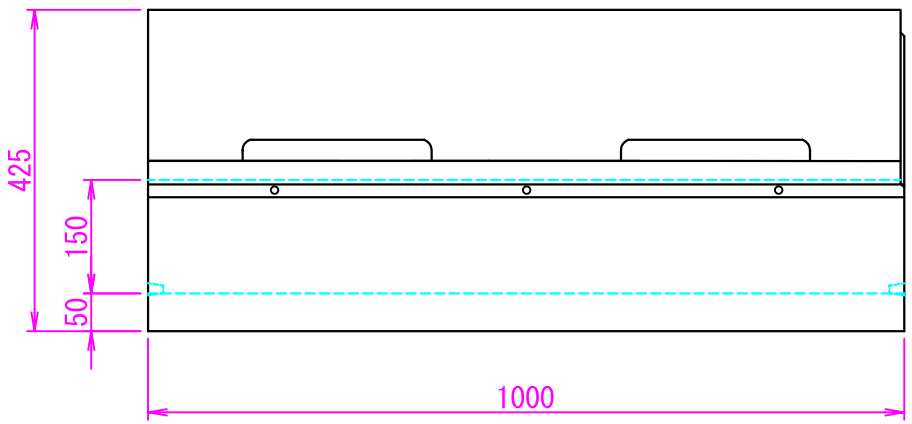
名称	ライン導水ブロックＦ型 製品図 縁石桝Ａ 点検（ｸﾛ・ｸﾞﾚｰ） （ LF-670(ｸﾛ), LF-671(ｸﾞﾚｰ) ）			図面番号
				LS-0601
製図	検図	縮尺	年月日	2010 年 04 月 01 日
宮崎	関野	1/10	株式会社イトーヨーギョー	

（ 品目C ： 10670(ｸﾛ), 10671(ｸﾞﾚｰ) ）

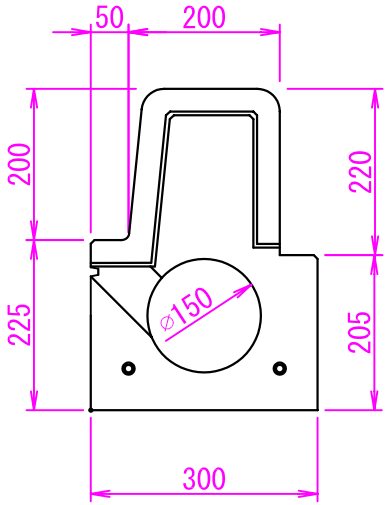
標準B

参考質量
バイコン　２０５ｋｇ
ポーラス　１７６ｋｇ

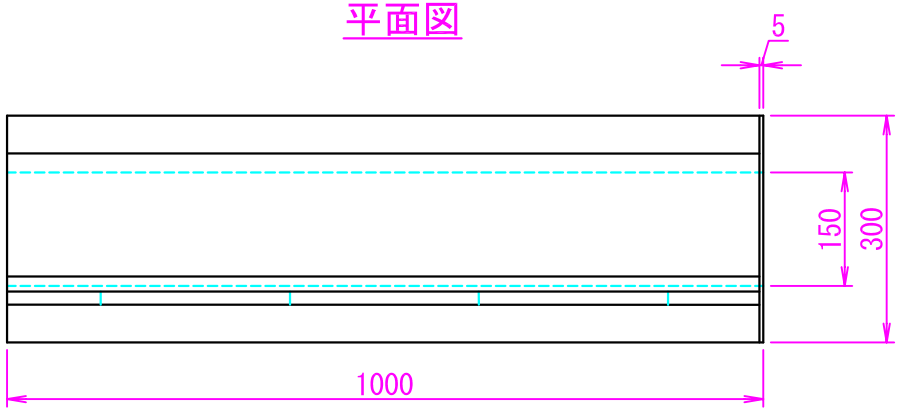
正面図



側面図



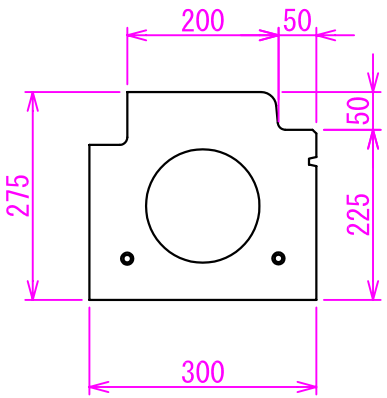
平面図



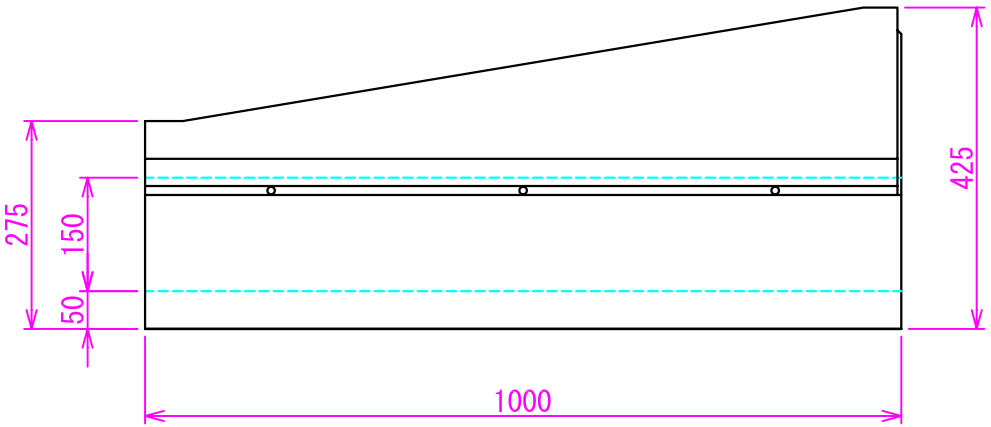
名称(title) ライン導水ブロックF型　標準	図面番号(Draw.No) LS-0006
平成　17年　7月　1日	Scale　1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

擦付B　車乗　フラット5　右

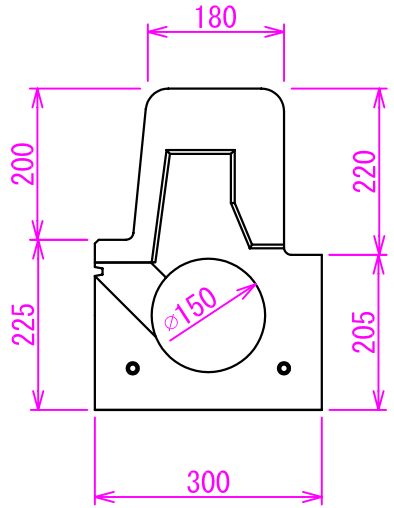
側面図



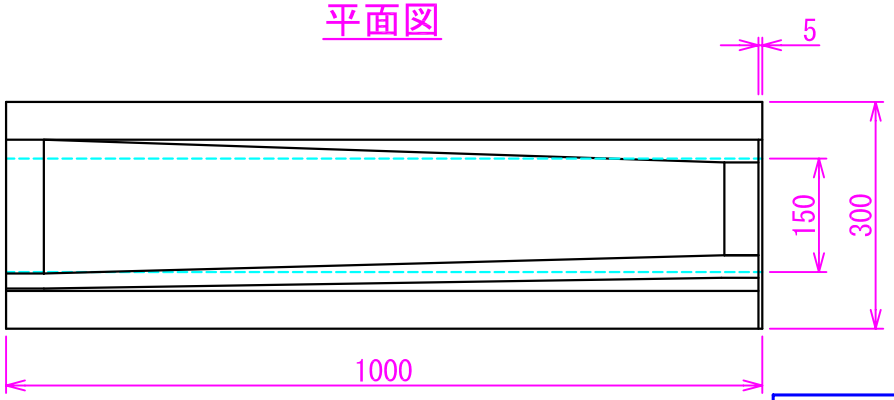
正面図



側面図



平面図

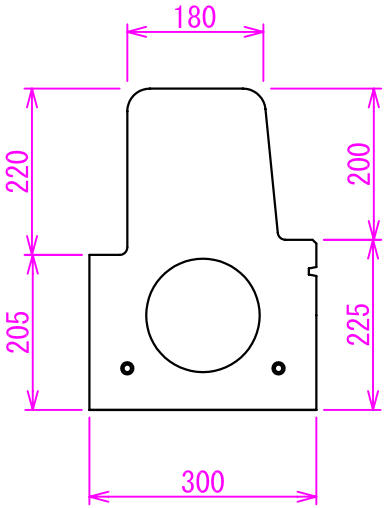


参考質量
バイコン　174ｋｇ

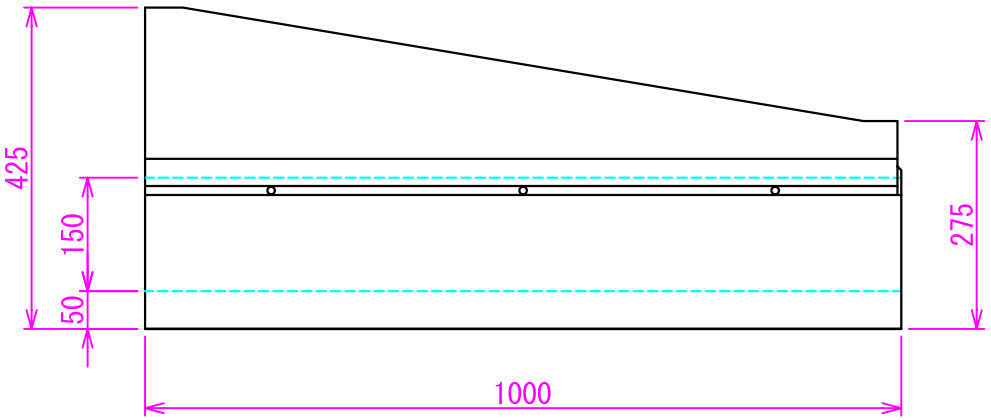
名称(title) ライン導水ブロックF型　擦付・車乗用	図面番号(Draw.No) LS-0407
平成　18年　7月　10日	Scale　1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

擦付B　車乗　フラット5　左

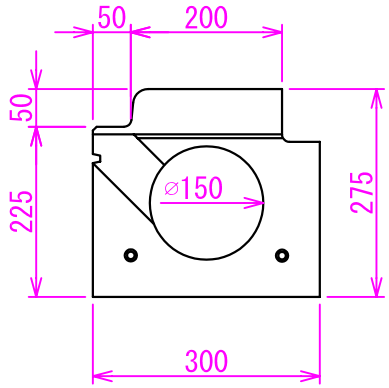
側面図



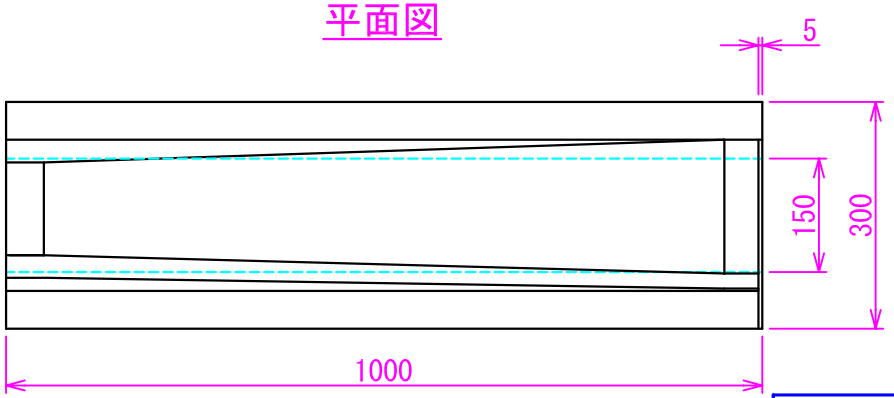
正面図



側面図



平面図

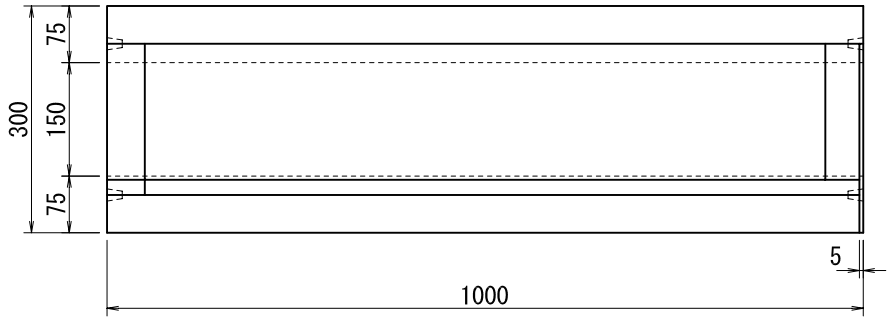


参考質量
バイコン　174ｋｇ

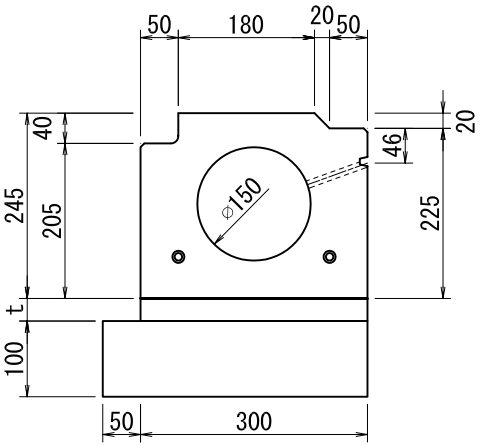
名称(title) ライン導水ブロックF型　擦付・車乗用	図面番号(Draw.No) LS-0409
平成　18年　7月　10日	Scale　1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

【参考図】 ライン導水ブロックＦ型 構造図
擦付Ｂ 歩切 フラット２ 右

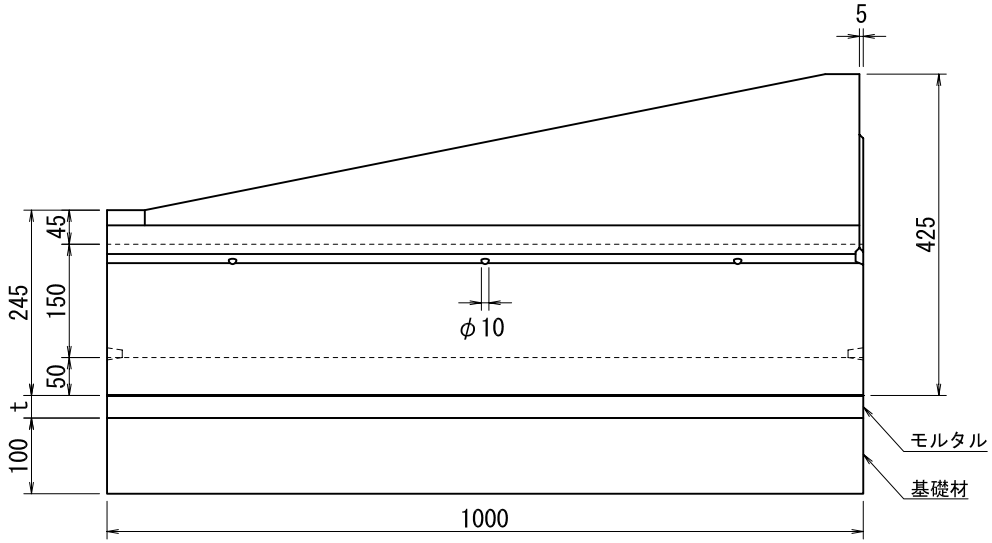
平面図



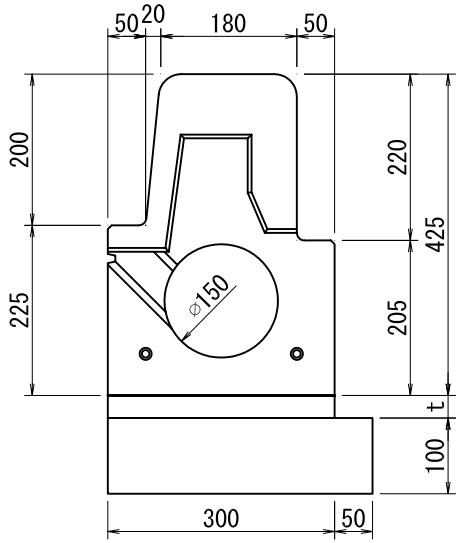
左側面図



正面図



右側面図



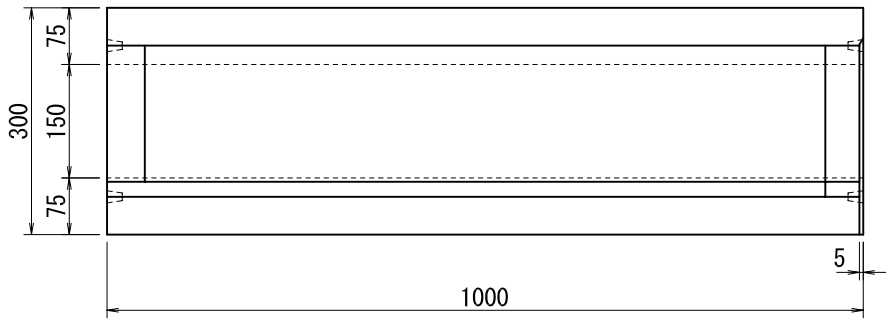
参考質量
バイコン　170kg

名称	【参考図】ライン導水ブロックＦ型 構造図 擦付Ｂ 歩切 フラット２ 右 （ LF-426 ）			図面番号 LK-0403
製図	検図	縮尺	年月日	2010 年 08 月 01 日
宮崎	関野	1/10	株式会社イトーヨーギョー	

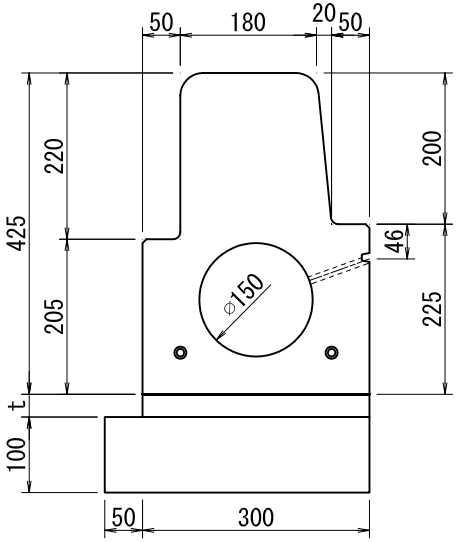
（ 品目C ： 10426 ）

【参考図】 ライン導水ブロックＦ型 構造図
擦付Ｂ 歩切 フラット２ 左

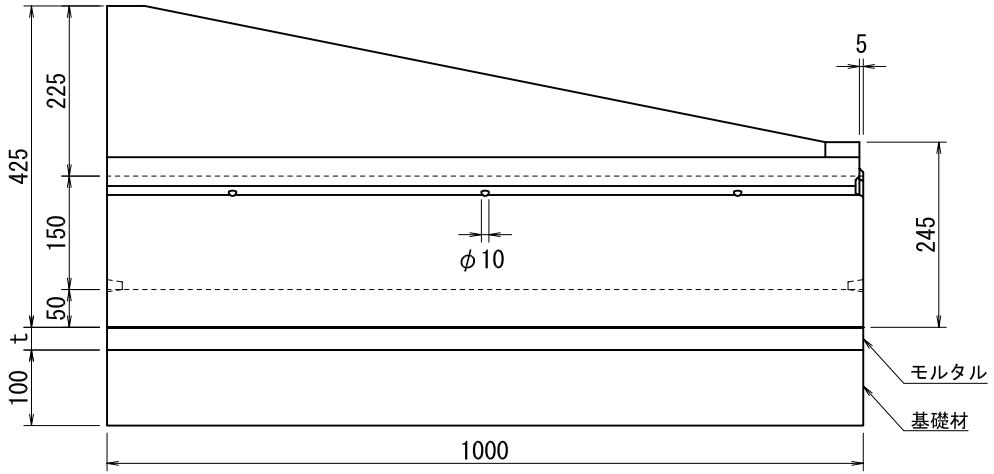
平面図



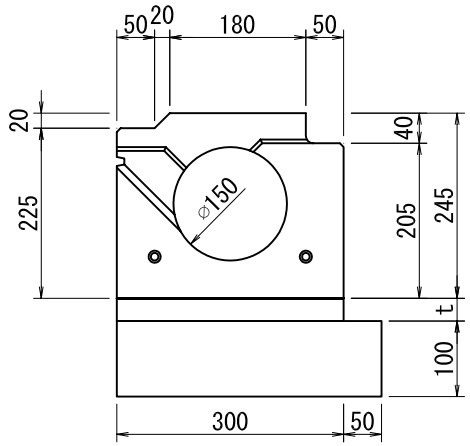
左側面図



正面図



右側面図



参考質量
バイコン　170kg

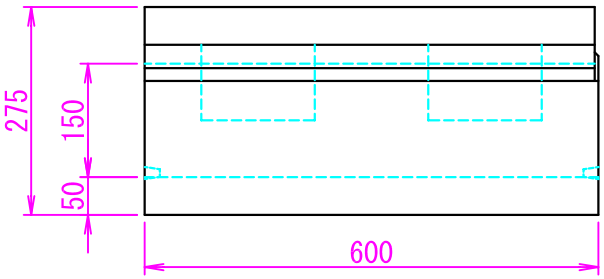
名称	【参考図】ライン導水ブロックＦ型 構造図 擦付Ｂ 歩切 フラット２ 左 （ LF-427 ）			図面番号 LK-0419
製図	検図	縮尺	年月日	2010 年 08 月 01 日
宮崎	関野	1/10	株式会社イトーヨーギョー	

（ 品目C ： 10427 ）

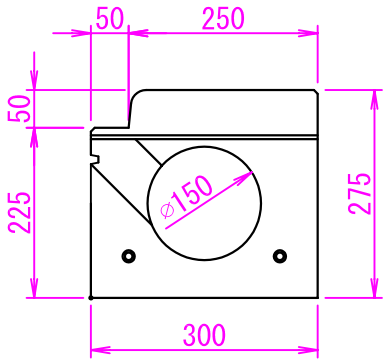
車両乗入　フラット　５ｃｍ段差

正面図

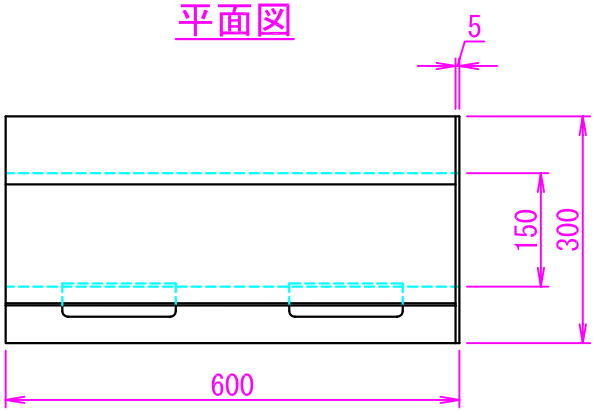
参考質量　８８ｋｇ



側面図



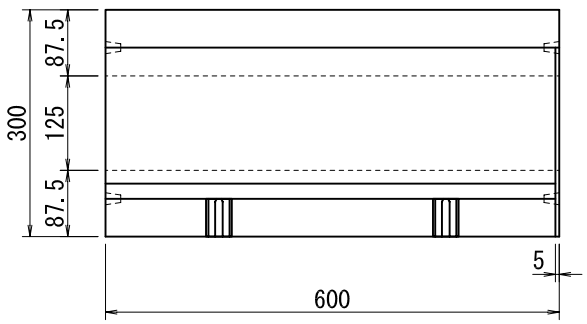
平面図



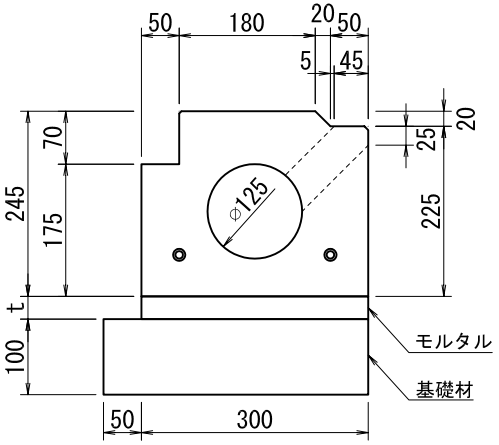
名称(title) ライン導水ブロックF型　車両乗入	図面番号(Draw.No) LS-0101
平成　18年　11月　1日	Scale　1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

【参考図】 ライン導水ブロックＦ型 構造図
歩道切下 フラット２ＣＭ 直線 VP

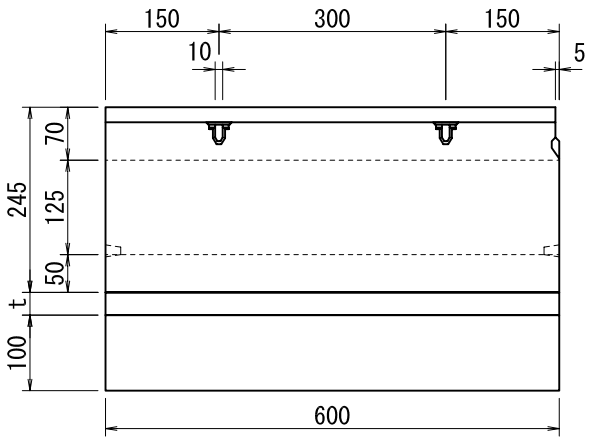
平面図



側面図



正面図



参考質量
バイコン　77kg

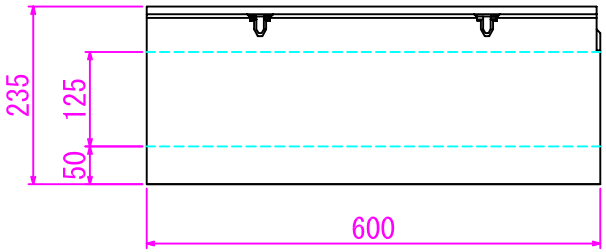
名称	【参考図】ライン導水ブロックＦ型 構造図 歩道切下 フラット２ＣＭ 直線 VP （ LF-298 ）			図面番号 LK-0202
製図	検図	縮尺	年月日	2010 年 08 月 01 日
宮崎	関野	1/10	株式会社イトーヨーギョー	

（ 品目C ： 10298 ）

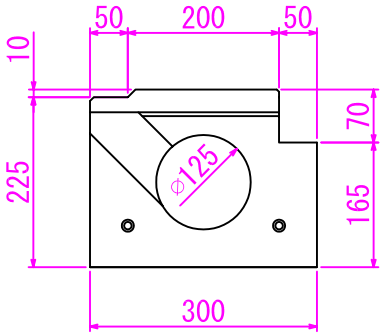
歩道切下　フラット　1cm段差　直線

参考質量　バイコン７４ｋｇ
　　ポーラス７０ｋｇ

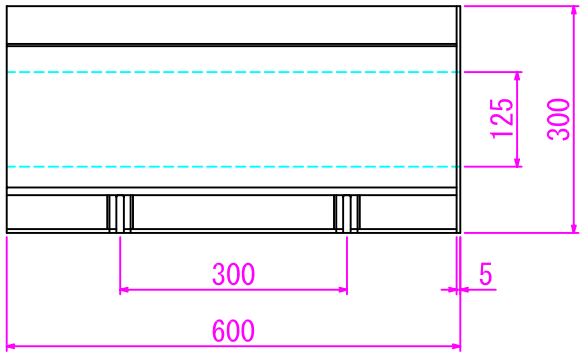
正面図



側面図



平面図

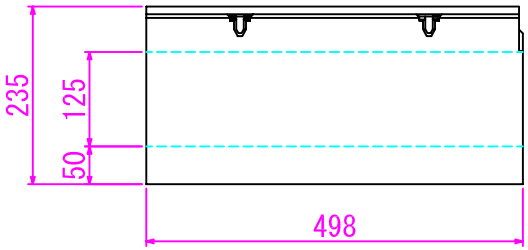


名称(title) ライン導水ブロック切下　F1	図面番号(Draw.No) LS-0201
平成　　18年　11月　　1日	Scale　1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

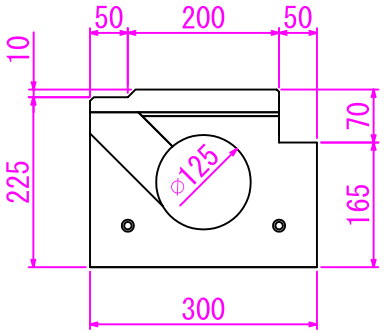
歩道切下　フラット　1cm段差　R2.5

参考質量　バイコン５８ｋｇ
ポーラス５４ｋｇ

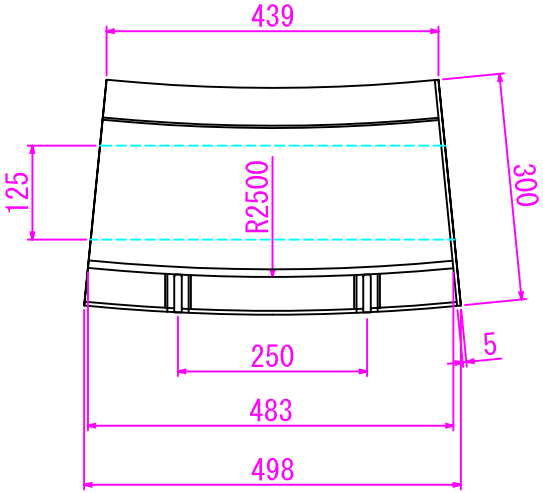
正面図



側面図



平面図

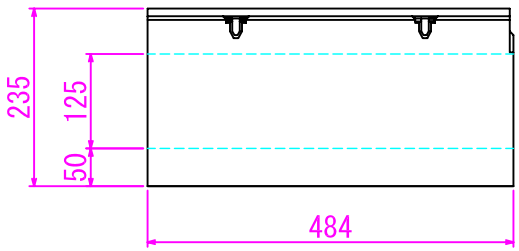


名称(title) ライン導水ブロック切下　F1	図面番号(Draw.No) LS-0209
平成　20年　8月　1日	Scale　1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

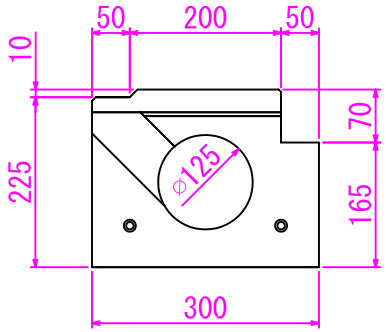
歩道切下　フラット　1cm段差　R1.5

参考質量　バイコン５５ｋｇ
ポーラス５１ｋｇ

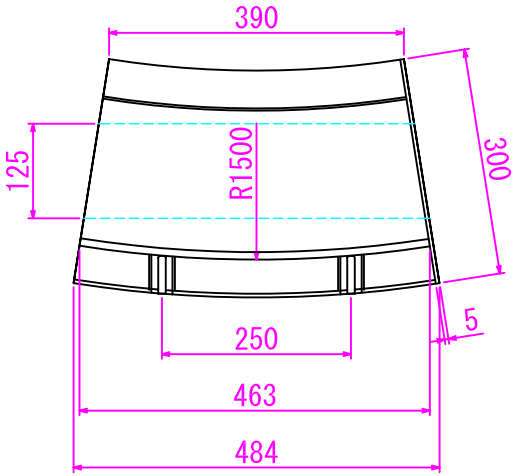
正面図



側面図



平面図

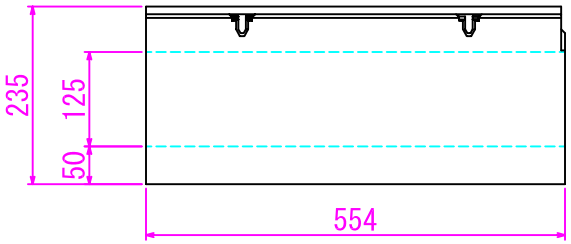


名称(title)	図面番号(Draw.No)
ライン導水ブロック切下　F1	LS-0208
平成　20年　8月　1日	Scale　1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

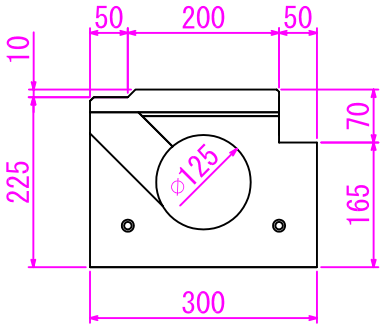
歩道切下　フラット　1cm段差　R3.5

参考質量　バイコン６６ｋｇ
ポーラス６２ｋｇ

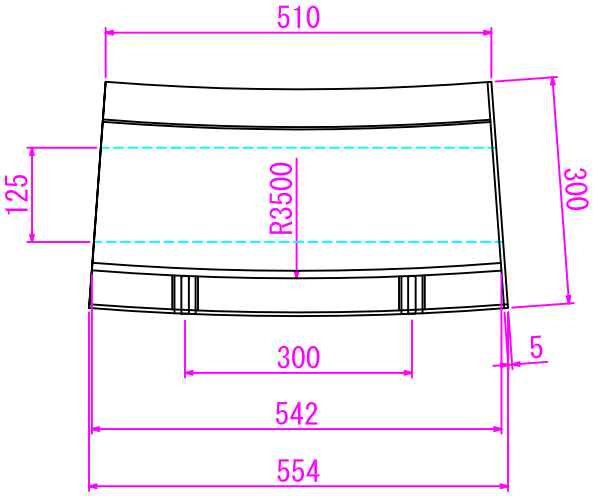
正面図



側面図



平面図

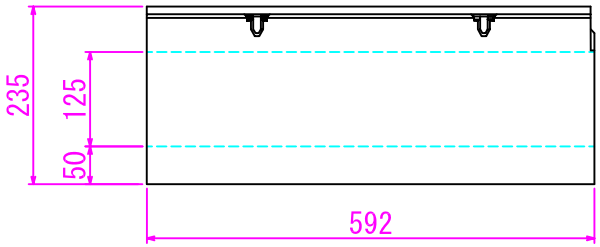


名称(title) ライン導水ブロック切下　F1	図面番号(Draw.No) LS-0210
平成　20年　8月　1日	Scale　1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

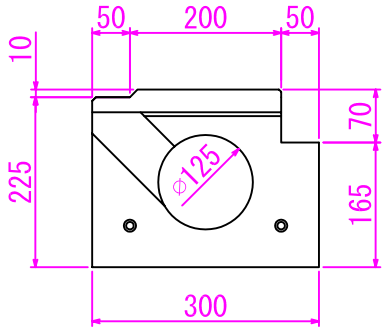
歩道切下　フラット　1cm段差　R4.5

参考質量　バイコン６９ｋｇ
ポーラス６５ｋｇ

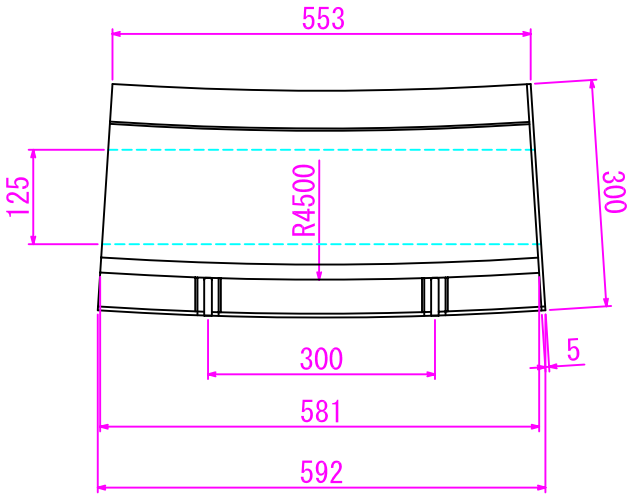
正面図



側面図



平面図

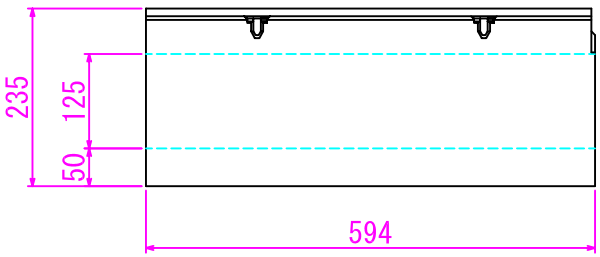


名称(title) ライン導水ブロック切下　F1	図面番号(Draw.No) LS-0218
平成　20年　8月　1日	Scale　1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

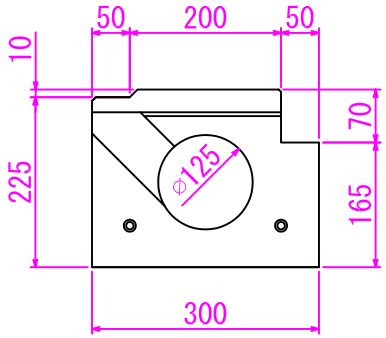
歩道切下　フラット　1cm段差　R6.0

参考質量　バイコン７３ｋｇ
ポーラス６９ｋｇ

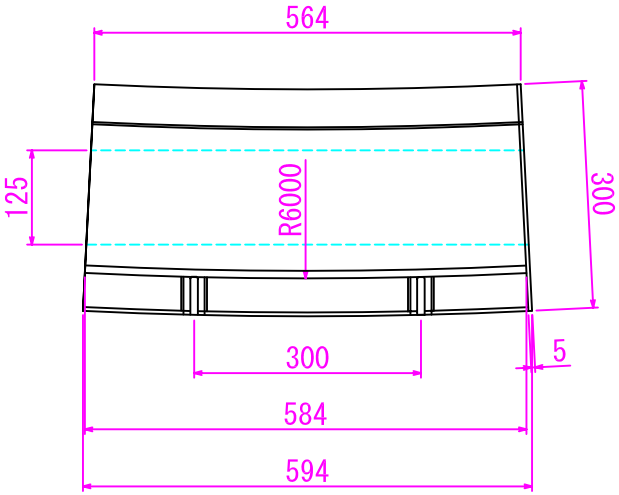
正面図



側面図



平面図

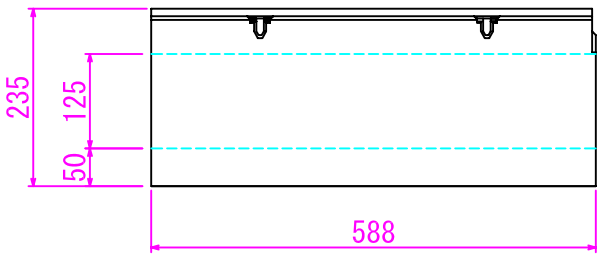


名称(title) ライン導水ブロック切下　F1	図面番号(Draw.No) LS-0211
平成　20年　8月　1日	Scale　1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

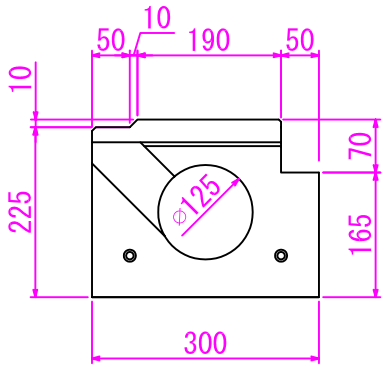
歩道切下　フラット　1cm段差　R12.0

参考質量　バイコン７４ｋｇ
ポーラス７０ｋｇ

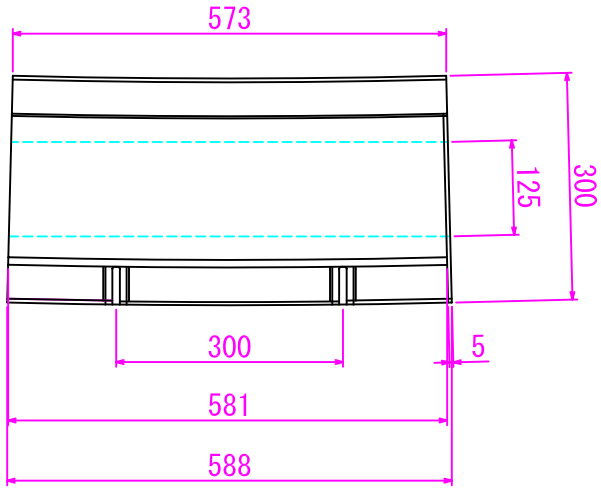
正面図



側面図



平面図

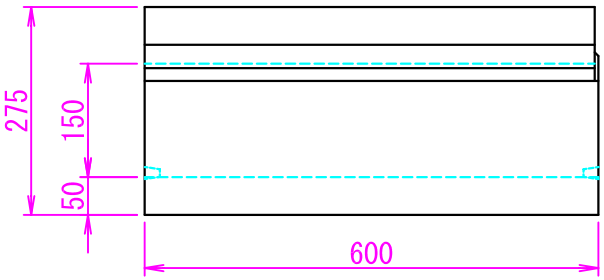


名称(title) ライン導水ブロック切下　F2	図面番号(Draw.No) LS-0230
平成　20年　8月　1日	Scale　1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

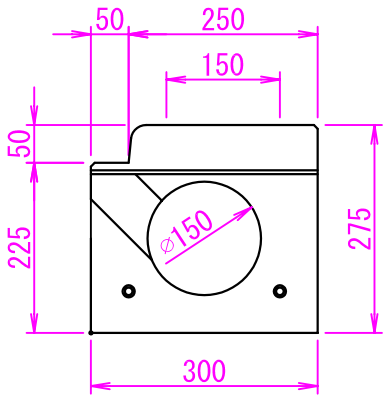
車両乗入　フラット　５ｃｍ　点検口

正面図

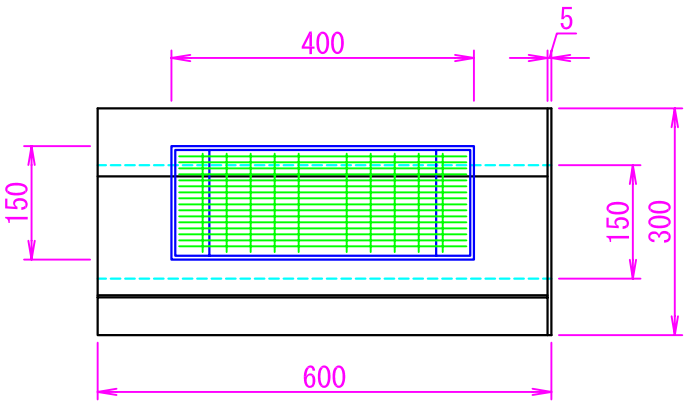
参考質量　８４ｋｇ



側面図



平面図

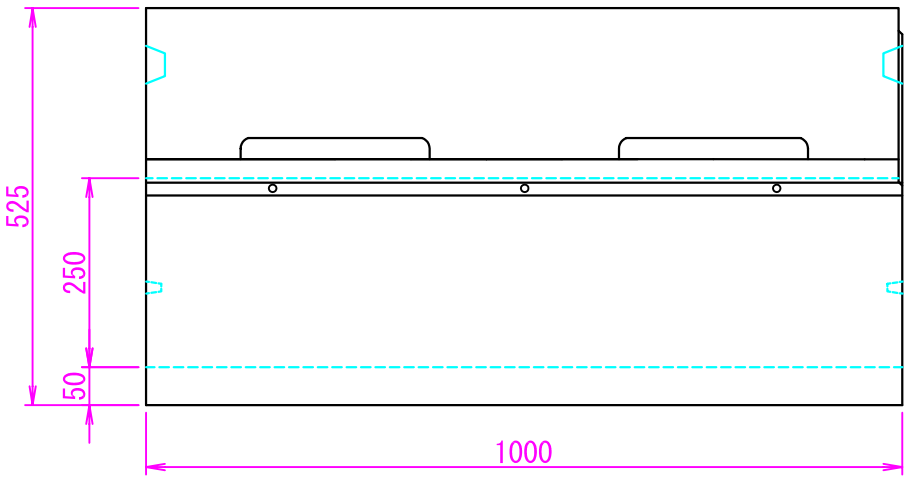


名称(title) ライン導水ブロックF型　車両乗入	図面番号(Draw.No) LS-0110
平成　20年　10月　1日	Scale　1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

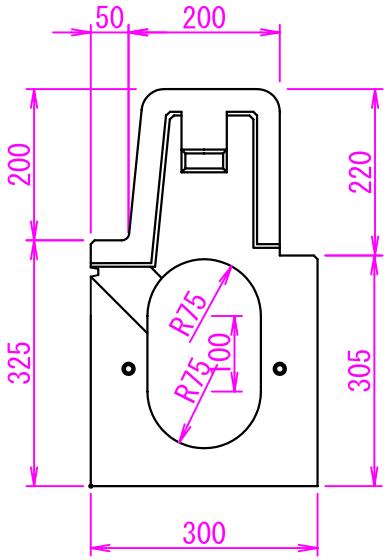
標準B　２００相当

参考質量
バイコン　２３６ｋｇ
ポーラス　２０３ｋｇ

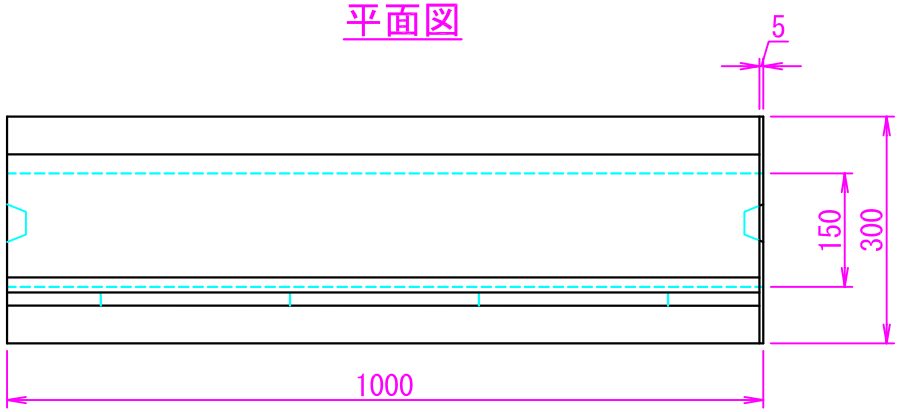
正面図



側面図



平面図

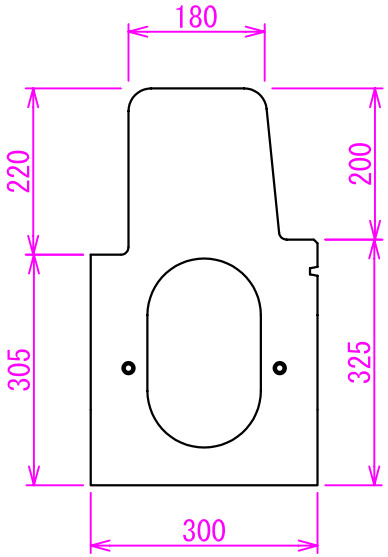


名称(title) ライン導水ブロックF型　標準	図面番号(Draw.No) LS-0007
平成　18年　11月　1日	Scale　1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

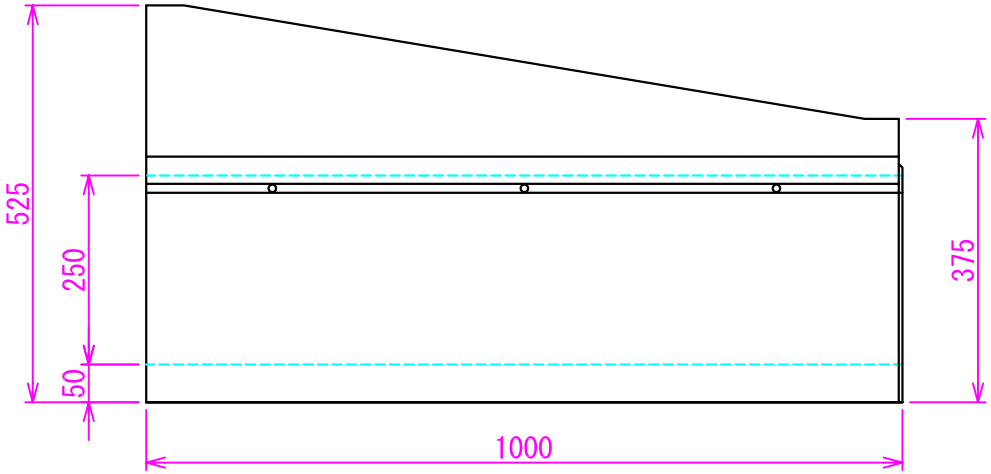
擦付B　車両乗入　フラット５cm段差　200相当　左

参考質量　２１０ｋｇ

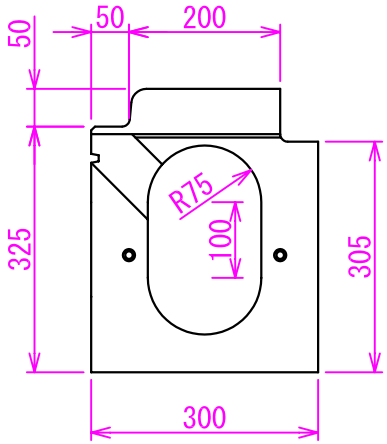
側面図



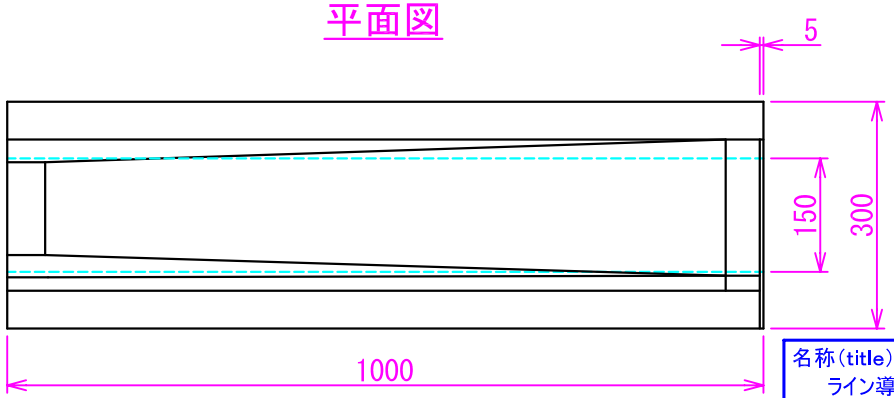
正面図



側面図



平面図

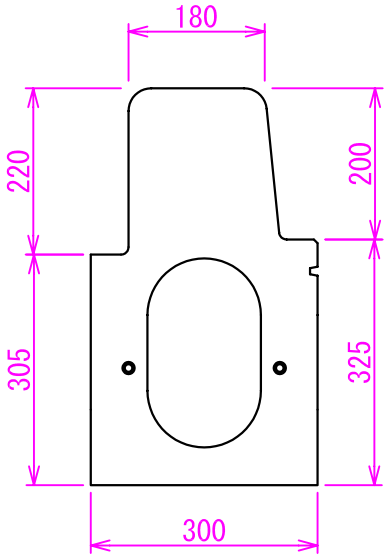


名称(title) ライン導水ブロックF型　擦付・車乗用	図面番号(Draw.No) LS-0432
平成　18年　11月　1日	Scale　1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

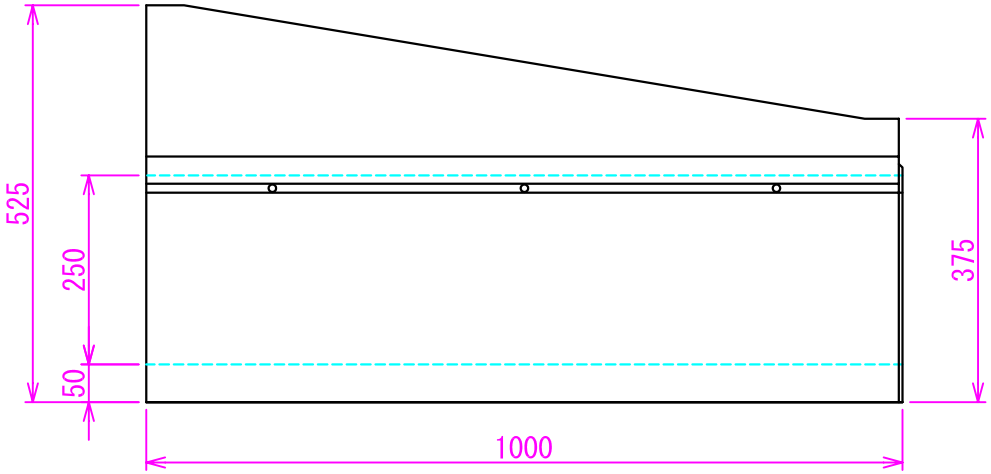
擦付B　車両乗入　フラット５cm段差　200相当　左

参考質量　２１０ｋｇ

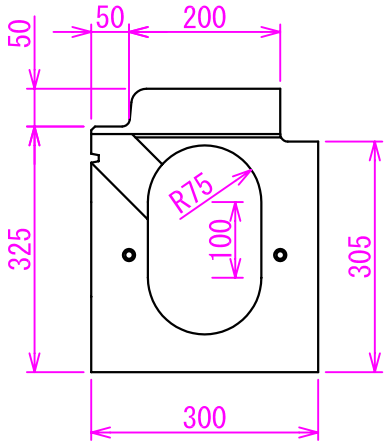
側面図



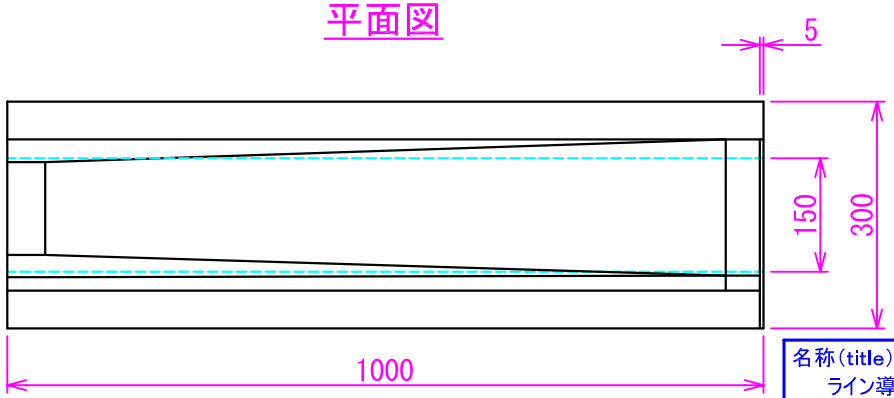
正面図



側面図



平面図

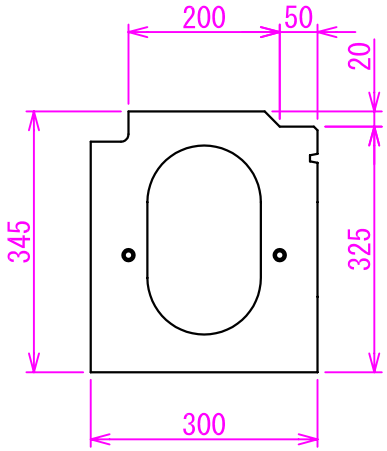


名称(title) ライン導水ブロックF型　擦付・車乗用	図面番号(Draw.No) LS-0432
平成　18年　11月　1日	Scale　1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

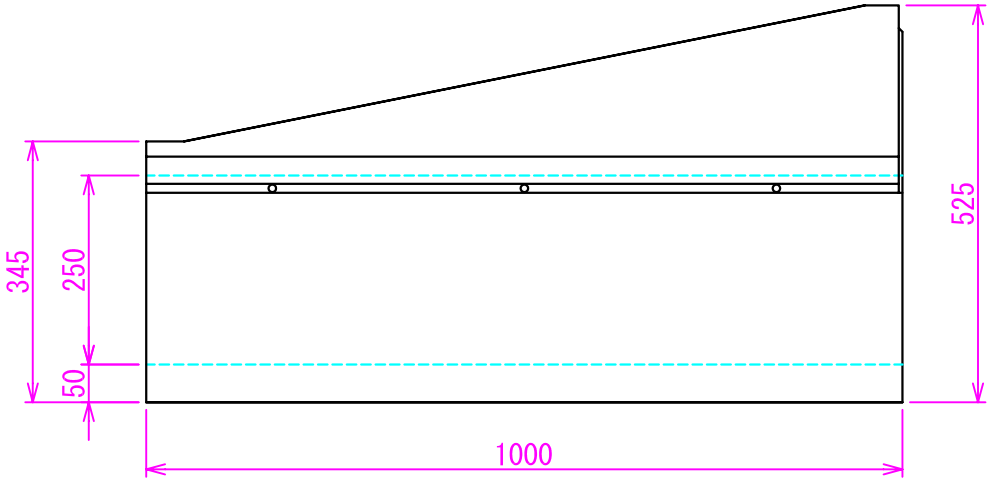
擦付B　車両乗入　フラット2cm段差　200相当　右

参考質量　１９８ｋｇ

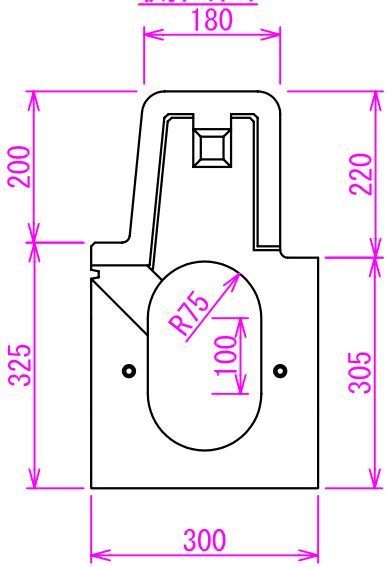
側面図



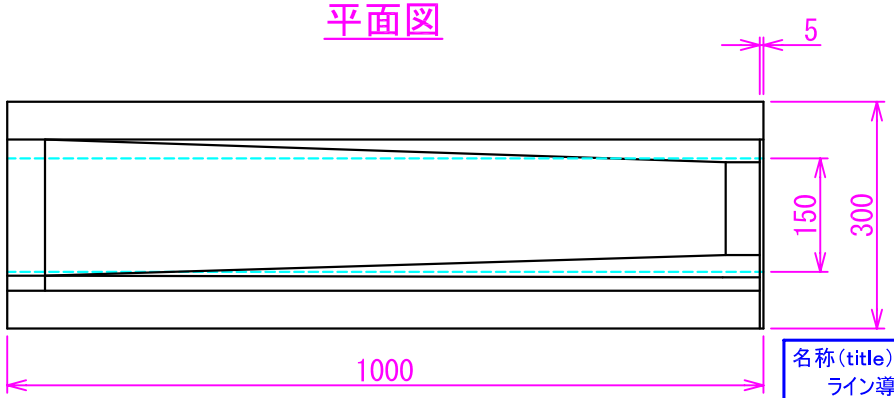
正面図



側面図



平面図

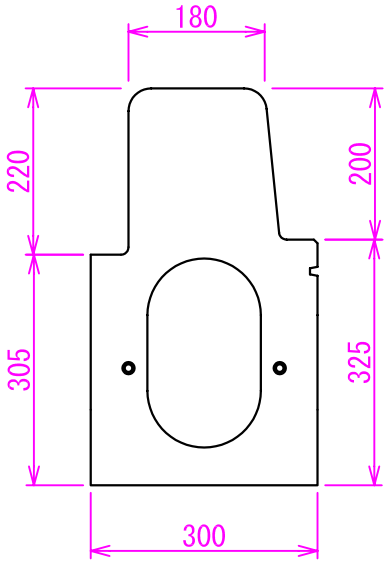


名称(title) ライン導水ブロックF型　擦付・車乗用	図面番号(Draw.No) LS-0415
平成　18年　11月　1日	Scale　1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

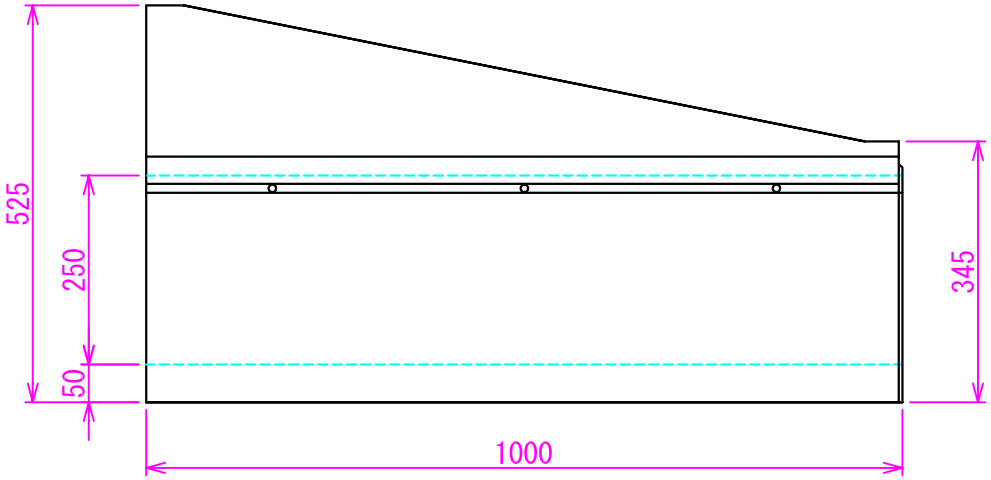
擦付B　車両乗入　フラット2cm段差　200相当　左

参考質量　１９８ｋｇ

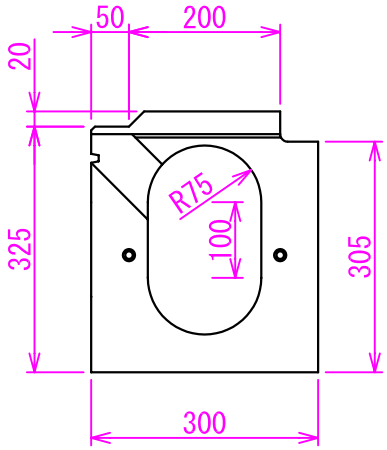
側面図



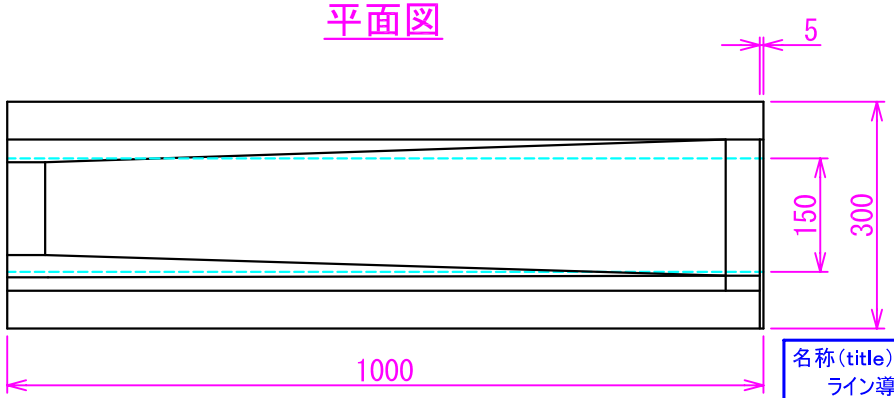
正面図



側面図



平面図

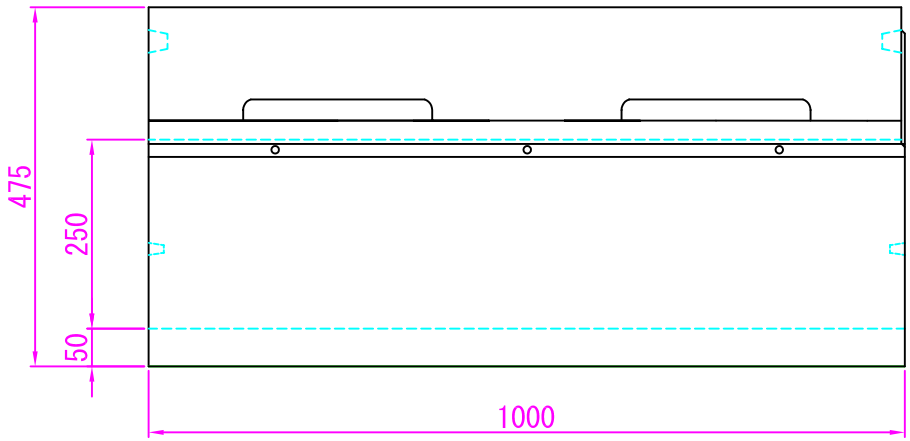


名称(title) ライン導水ブロックF型　擦付・車乗用	図面番号(Draw.No) LS-0410
平成　18年　11月　1日	Scale　1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

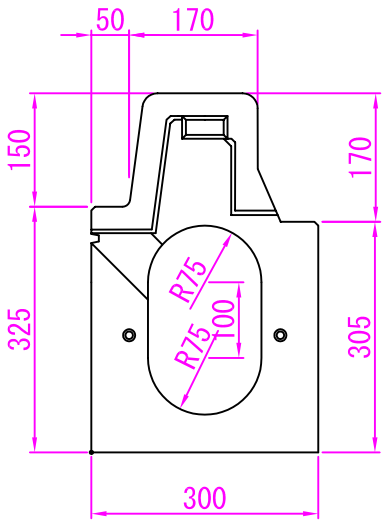
標準A　２００相当

正面図

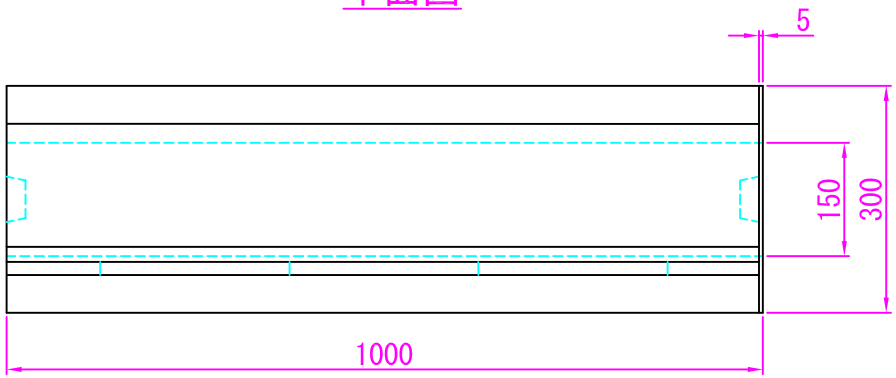
参考質量
バイコン　２０３ｋｇ
ポーラス　１７５ｋｇ



側面図



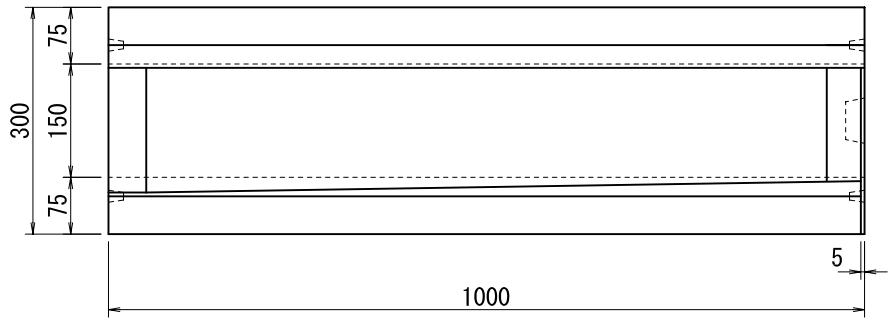
平面図



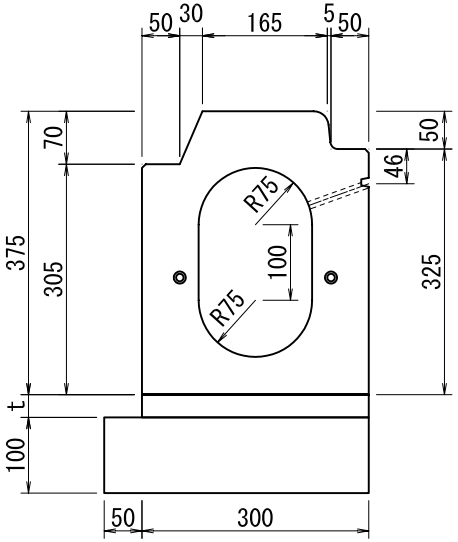
名称(title) ライン導水ブロックF型　標準	図面番号(Draw.No) LS-0012
平成　18年　11月　1日	Scale　1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

【参考図】 ライン導水ブロックＦ型 構造図
擦付Ａ 車乗 フラット５ 200相 右

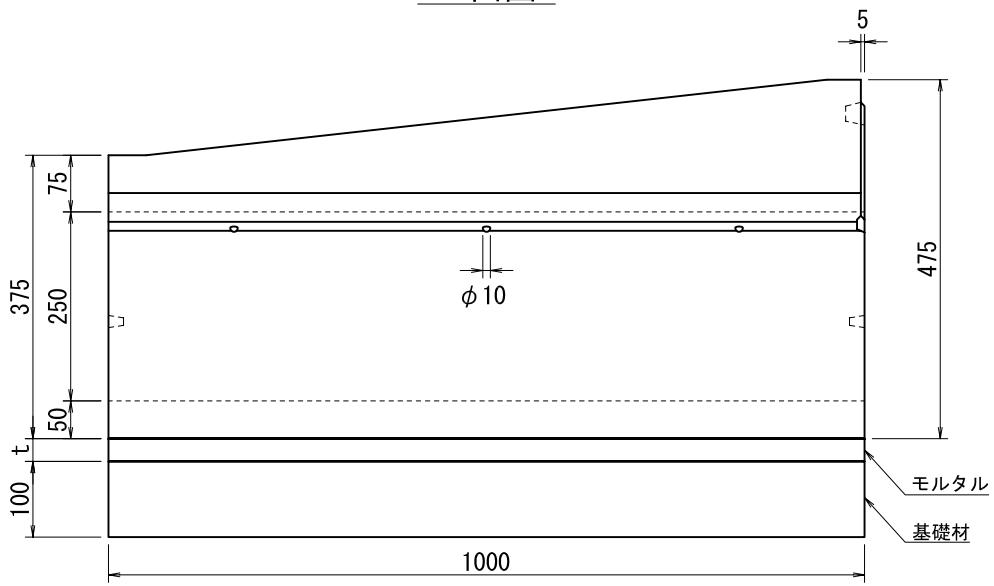
平面図



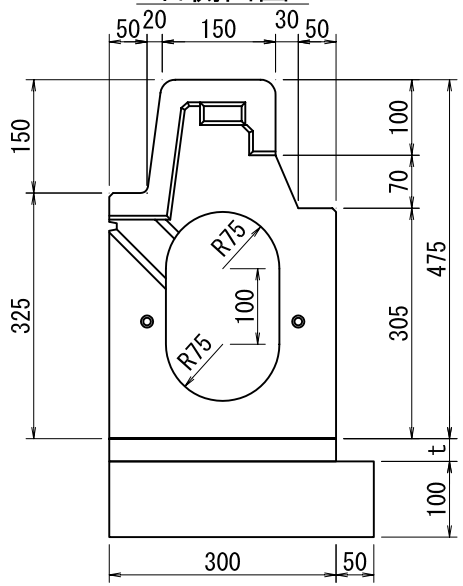
左側面図



正面図



右側面図



参考質量
バイコン　193kg

名称	【参考図】ライン導水ブロックＦ型 構造図 擦付Ａ 車乗 フラット５ 200相 右 （ LF-494 ）			図面番号 LK-0433
製図	検図	縮尺	年月日	2010 年 08 月 01 日
宮崎	関野	1/10	株式会社イトーヨーギョー	

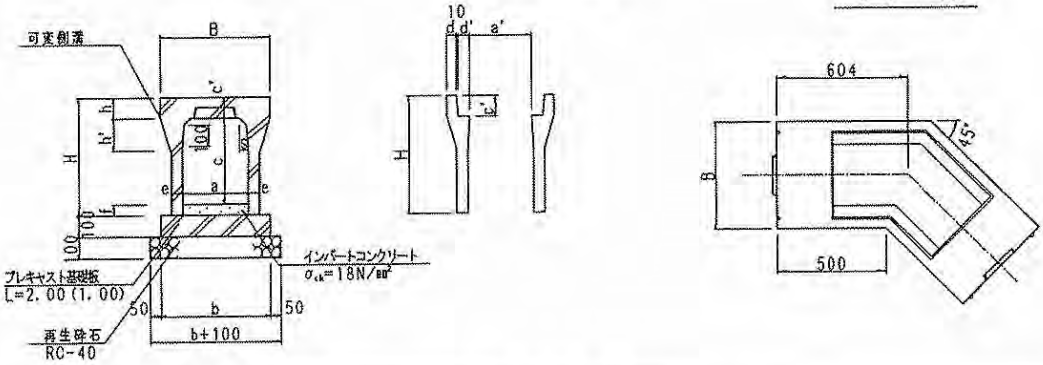
（ 品目C ： 10494 ）

算式根拠となる構造図		
種別及び細別	可変側溝300×300（45° 用）	10箇所当り

可変側溝

S=1/20

45° 用



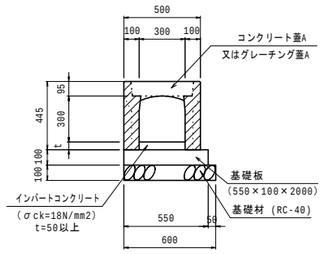
呼び名 (A×C)	規格寸法 (mm)													
	H	B	b	a	a'	c	c'	d	d'	e	f	h	h'	s
300×300	445	500	500	300	287	300	95	45	51.5	50	50	95	100	25
300×400	545	500	500	300	285	400	95	45	52.5	55	150~70	95	150	30
300×500	645	500	500	300	285	500	95	45	52.5	55	170~50	95	150	30

名称	規格	算式	単位	数量
再生砕石	RC-40 t=100	0.60×0.604×2×10	m^2	7.248
プレキャスト基礎板	t＝100	(0.604×2×10) ÷2.00	枚	6.040
インバートコンクリート	σck＝18N/mm2	0.30×0.05×0.604×2×10	m^3	0.181
可変側溝	300×300 45° 用		個	10.000

1工区 自由勾配側溝構造図(1)

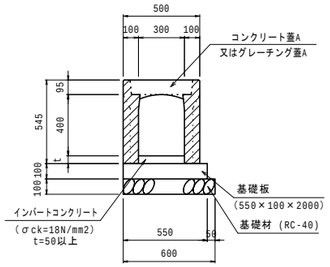
自由勾配側溝A型

（縦断用 B300×H300） S=1:20



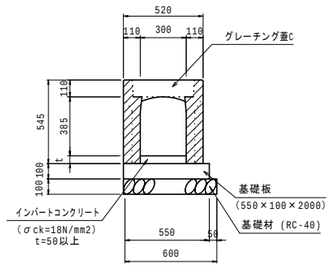
自由勾配側溝B型

（縦断用 B300×H400） S=1:20



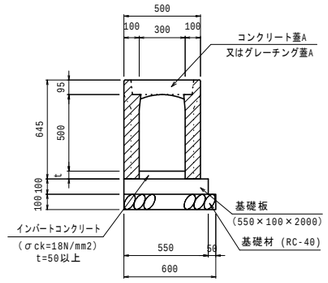
自由勾配側溝C型

（横断用 B300×H400） S=1:20



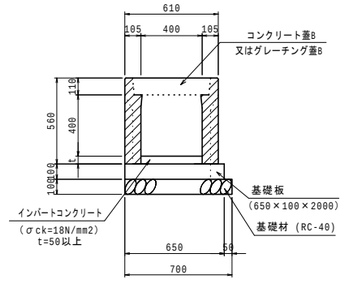
自由勾配側溝D型

（縦断用 B300×H500） S=1:20



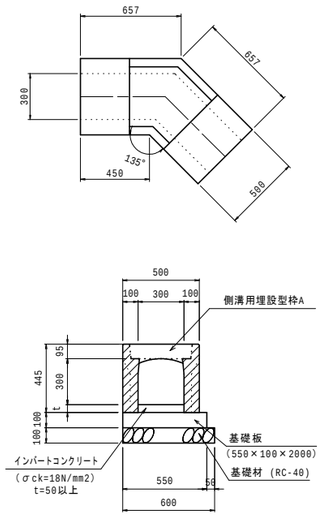
自由勾配側溝E型

（縦断用 B400×H400） S=1:20



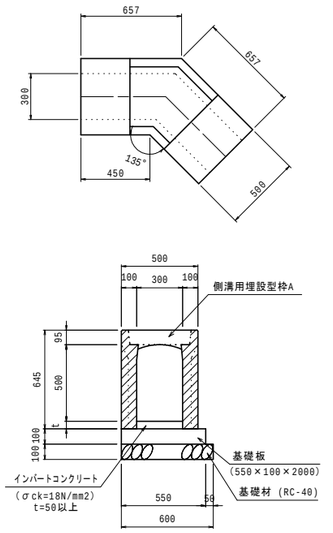
自由勾配側溝F-1型

（コーナー品 B300） S=1:20



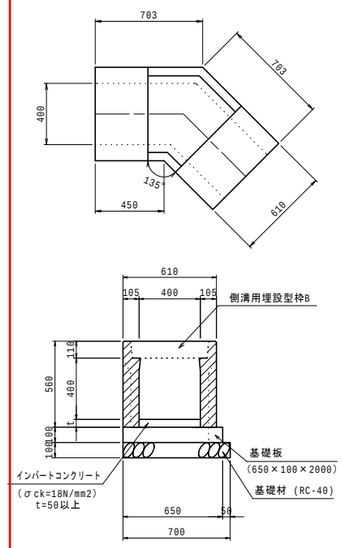
自由勾配側溝F-2型

（コーナー品 B300） S=1:20



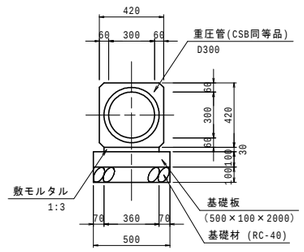
自由勾配側溝G型

（コーナー品 B400） S=1:20



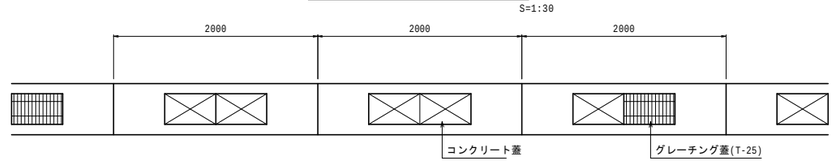
道路横断管渠

（重圧管 D300） S=1:20



標準側溝蓋配置図

S=1:30



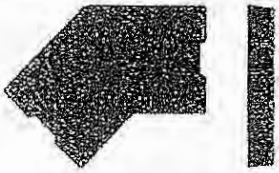
※上図は、標準的な配置図であり、民地からの流出管があるので現場に応じて配置すること。

年 度	平成29年度	番 号	15 / 20
路 線 名	父鬼和気線		
工 事 名			
所属地名			
図 面 名	1工区 自由勾配側溝構造図(1)		
縮 尺	図 示	作成年日	平成30年3月
大阪府鳳土木事務所			

VS
自由勾配側溝

隅切製品用蓋板45度用
（水路巾250～600mmのもの）

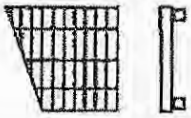
●45度用　鉄筋コンクリート蓋板



※寸法・配筋および数量など詳細は、承認図面をご参照下さい。

呼び名	参考重量 (kg)	規格 (mm) (a×b−c×d)
25X用	42	350×414−283× 80
30X用	58	400×457−277× 95
40X用	92	500×660−272×110
50X用	135	600×824−272×125
60X用	157	710×987−277×140

●45度用　グレーチング蓋板

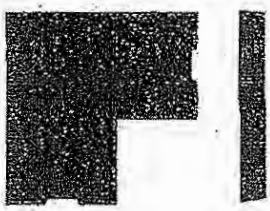


※寸法および数量など詳細は、承認図面をご参照下さい。
※45度90度共に2枚1組になります。

呼び名	参考重量 (kg) T−25	参考重量 (kg) T−6	規格 (mm) (a×b−c×d)
25X用	8.7	7.6	340×410−285× 80
30X用	11.7	8.6	380×424−280× 95
40X用	18.0	12.0	490×685−282×110
50X用	25.7	16.3	590×906−284×125
60X用	31.7	23.2	690×952−286×140

隅切製品蓋板90度用
（水路巾300～600mmのもの）

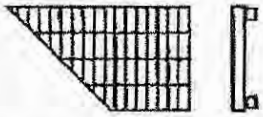
●90度用　鉄筋コンクリート蓋板



※寸法・配筋および数量など詳細は、承認図面をご参照下さい。

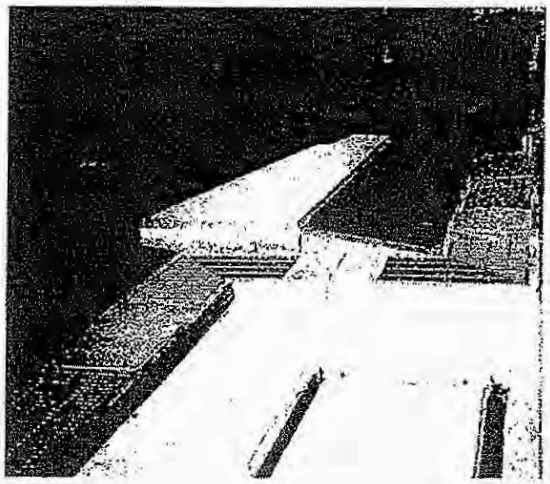
呼び名	参考重量 (kg)	規格 (mm) (a×b×d)
30X用	54	400× 700× 95
40X用	138	500× 815×110
50X用	206	600× 910×125
60X用	296	700×1,015×140

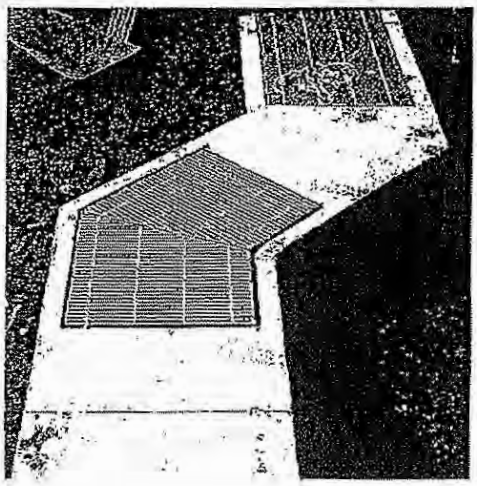
●90度用　グレーチング蓋板



※寸法および数量など詳細は、承認図面をご参照下さい。

呼び名	参考重量 (kg) T−25	参考重量 (kg) T−6	規格 (mm) (a×b−c×d)
30X用	16.9	13.4	300× 685−285× 95
40X用	31.1	18.1	400× 790−300×110
50X用	46.6	30.0	500× 895−305×125
60X用	55.8	37.1	600×1,000−310×140

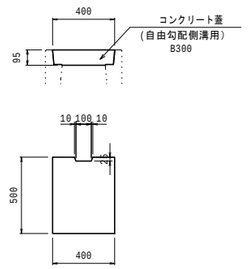




1工区 自由勾配側溝構造図(2)

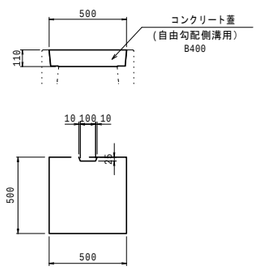
コンクリート蓋A

S=1:20



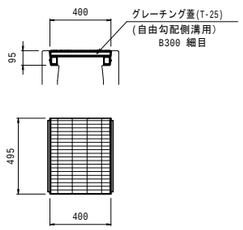
コンクリート蓋B

S=1:20



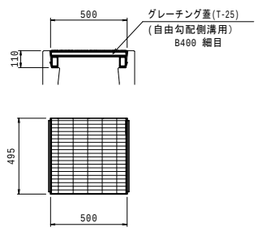
グレーチング蓋A

S=1:20



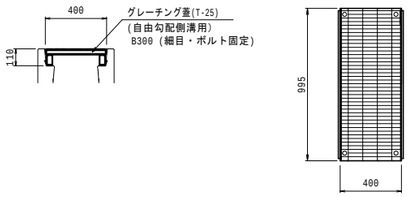
グレーチング蓋B

S=1:20



グレーチング蓋C

S=1:20

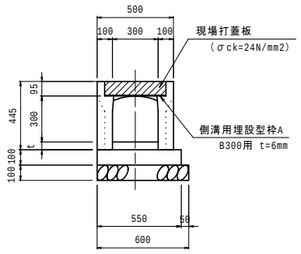


側溝用埋設型枠A

B300用

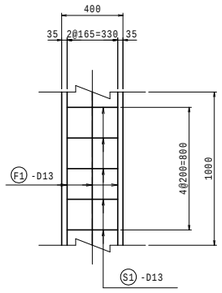
断 面 図

S=1:20



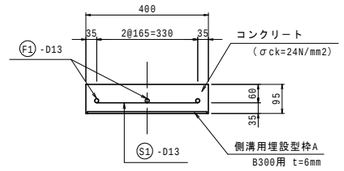
平 面 図

S=1:20

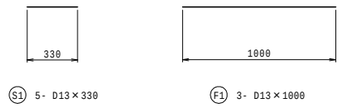


蓋版断面図

S=1:10



鉄筋加工図



側溝用埋設型枠A 鉄筋数量表

m当り数量

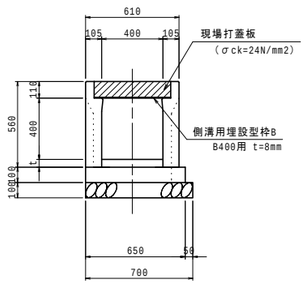
記 号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重 量 (kg)	形状	摘要
S1	D13	330	5	0.995	0.328	1.64	―――	
F1	D13	1000	3	0.995	0.995	2.99	―――	
					計	4.63 kg		
					D13	4.6 kg		

側溝用埋設型枠B

B400用

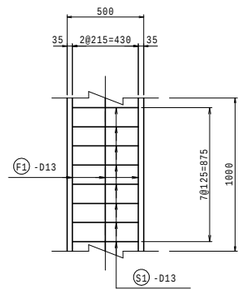
断 面 図

S=1:20



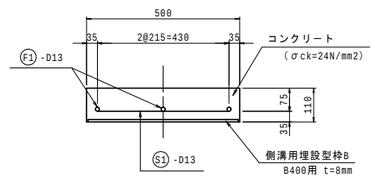
平 面 図

S=1:20

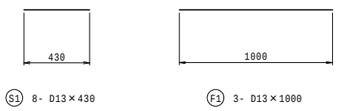


蓋版断面図

S=1:10



鉄筋加工図



側溝用埋設型枠B 鉄筋数量表

m当り数量

記 号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重 量 (kg)	形状	摘要
S1	D13	430	8	0.995	0.428	3.42	―――	
F1	D13	1000	3	0.995	0.995	2.99	―――	
					計	6.41 kg		
					D13	6.4 kg		

年 度	平成29年度	番 号	16 / 20
路 線 名	父鬼和気線		
工 事 名			
所属地名			
図 面 名	1工区 自由勾配側溝構造図(2)		
縮 尺	図 示	作成年日	平成30年3月
大阪府鳳土木事務所			

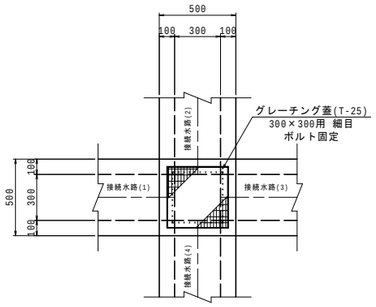
1工区 集水桝構造図

集水桝工A型

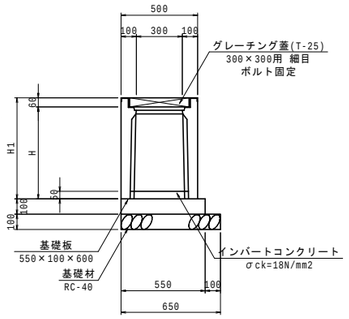
S=1:20

300×300

平面図



断面図



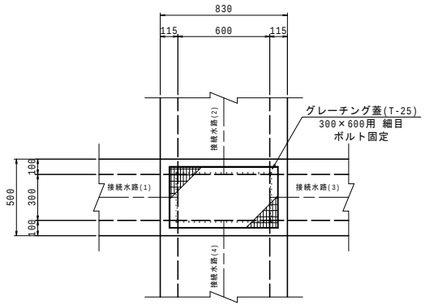
型番	測点	左右	集水桝規格 (mm)	H (mm)	H1 (mm)	接続水路 (1)	(2)	(3)	(4)
A-1型	NO.204+2.4	左	300×300×800	800	860	可変側溝 B300×H500 ▽93.47 流入	既設水路 B250×H300 ▽93.39 流出	- -	- -
A-2型	NO.215+4.5	左	300×300×600	600	660	可変側溝 B300×H300 ▽92.80 流入	- -	- -	道路横断管渠 φ300 ▽92.75 流出
A-3型	NO.200+0.5	右	300×300×600	600	660	可変側溝 B300×H400 ▽92.49 流出	- -	道路横断管渠 φ300 ▽92.53 流入	- -
A-4型	NO.200+3.2	右	300×300×600	600	660	道路横断管渠 φ300 ▽92.58 流出	- -	道路横断管渠 φ300 ▽92.58 流入	既設管渠 HPφ300 ▽92.64 流入
A-5型	NO.200+5.0	右	300×300×600	600	660	道路横断管渠 φ300 ▽92.62 流出	- -	可変側溝 B300×H300 ▽93.68 流入	- -
A-6型	NO.203+9.9	右	300×300×800	800	860	道路横断管渠 φ300 ▽93.40 流出	- -	可変側溝 B300×H500 ▽93.40 流入	- -
A-7型	NO.206+0.8	右	300×300×800	800	860	可変側溝 B300×H500 ▽93.10 流入	- -	可変側溝 B300×H500 ▽93.10 流出	既設水路 B300×H300 ▽93.22 流入
A-8型	NO.206+4.4	右	300×300×800	800	860	可変側溝 B300×H500 ▽93.09 流入	- -	可変側溝 B300×H500 ▽93.09 流出	既設水路 B240×H300 ▽93.25 流入
A-9型	NO.206+14.7	右	300×300×800	800	860	可変側溝 B300×H500 ▽93.08 流入	- -	可変側溝 B300×H500 ▽93.08 流出	既設水路 B200×H350 ▽93.18 流入
A-10型	NO.208+4.1	右	300×300×800	800	860	可変側溝 B300×H500 ▽92.96 流入	- -	可変側溝 B300×H500 ▽92.96 流出	既設管渠 HPφ300 ▽93.01 流入

集水桝工B型

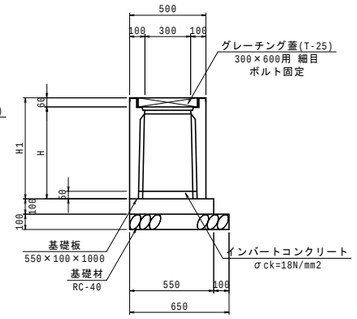
S=1:20

300×600

平面図



断面図



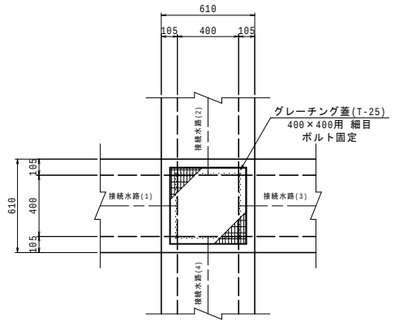
型番	測点	左右	集水桝規格 (mm)	H (mm)	H1 (mm)	接続水路 (1)	(2)	(3)	(4)
B-1型	NO.203+2.4	左	300×600×1200	1200	1260	- -	既設水路 B400×H900 ▽92.95 流出	- -	道路横断管渠 φ300 ▽93.01 流入
B-2型	NO.208+6.7	左	300×600×600	600	660	可変側溝 B300×H300 ▽93.06 流入	既設水路 B300×H400 ▽92.99 流出	- -	- -
B-3型	NO.208+11.2	右	300×600×800	800	860	可変側溝 B300×H500 ▽92.93 流入	- -	可変側溝 B300×H500 ▽92.93 流出	既設水路 B550×H250 ▽92.95 流入
B-4型	NO.208+17.7	右	300×600×1000	1000	1060	可変側溝 B300×H500 ▽92.89 流入	道路横断管渠 φ450 ▽92.66 流出	-	可変側溝 B300×H300 ▽93.09 流入

集水桝工C型

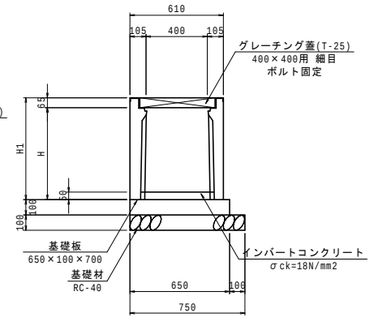
S=1:20

400×400

平面図



断面図



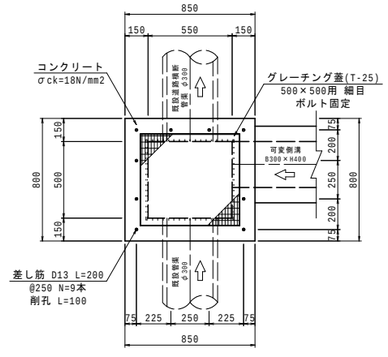
型番	測点	左右	集水桝規格 (mm)	H (mm)	H1 (mm)	接続水路 (1)	(2)	(3)	(4)
C-1型	NO.210+18.1	右	400×400×600	600	665	可変側溝 B300×H400 ▽93.14 流出	- -	可変側溝 B400×H400 ▽93.14 流出	- -
C-2型	NO.212+5.5	右	400×400×600	600	665	可変側溝 B400×H400 ▽92.99 流入	- -	可変側溝 B400×H400 ▽92.99 流出	既設水路 B240×H200 ▽93.30 流入
C-3型	NO.215+4.4	右	400×400×600	600	665	可変側溝 B400×H400 ▽92.69 流入	道路横断管渠 φ300 ▽92.69 流入	可変側溝 B400×H400 ▽92.69 流出	-

集水桝嵩上工

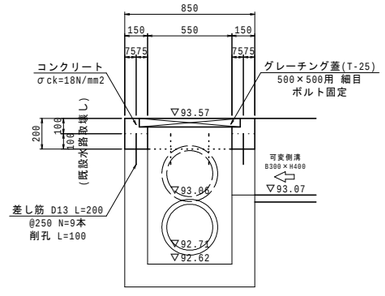
S=1:20

500×550 h=100

平面図



断面図

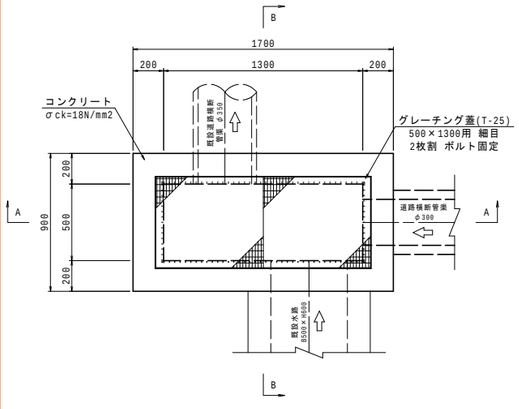


集水桝工D型

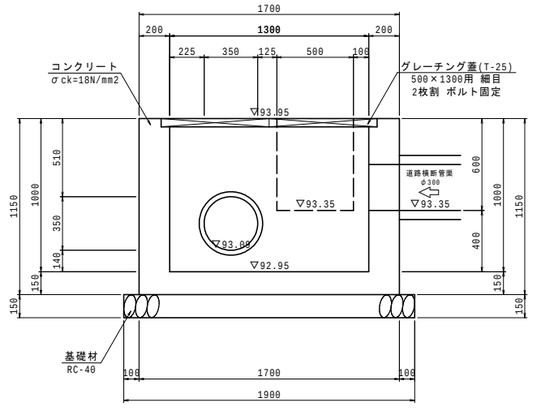
S=1:20

500×1300×1000

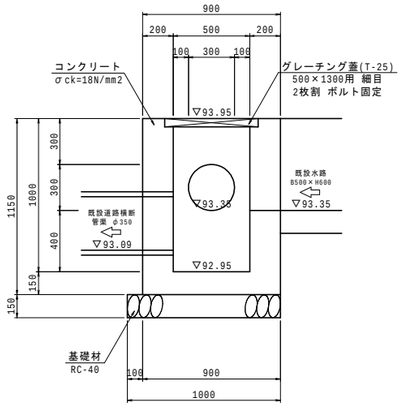
平面図



A-A断面図

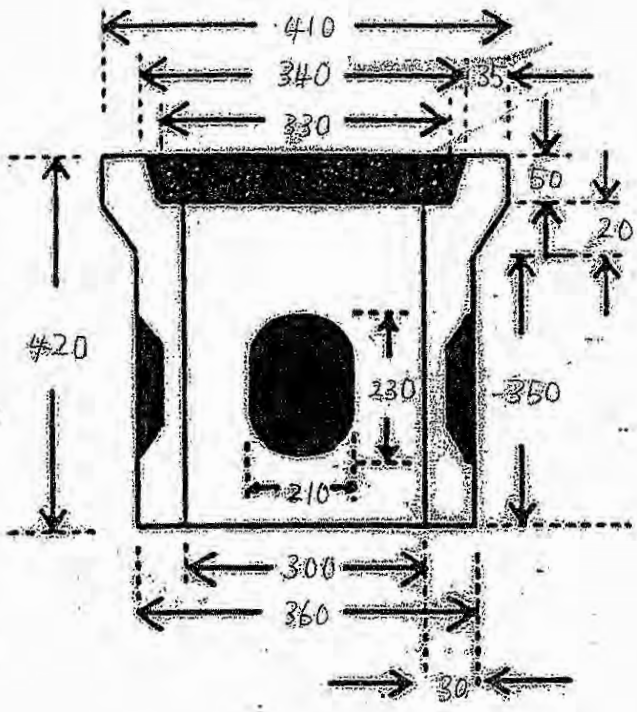


B-B断面図



年 度	平成29年度	番 号	17 / 20		
路線名	父鬼和気線				
工事名					
所属地名					
図面名	1工区 集水桝構造図				
縮 尺	図 示	作成年日	平成30年3月		
大阪府鳳土木事務所					

集水桝　300×300

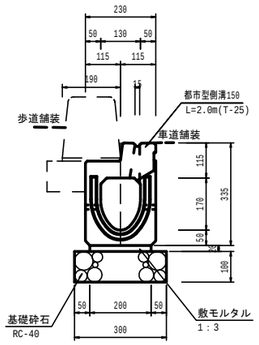


※ 同等品以上のものとする。

構 造 物 詳 細 図 (1)

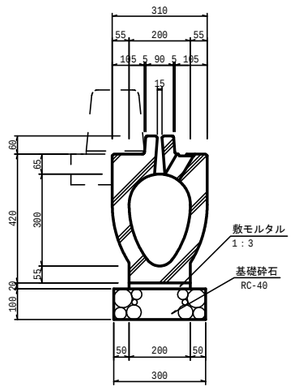
都市型側溝150

S=1:10



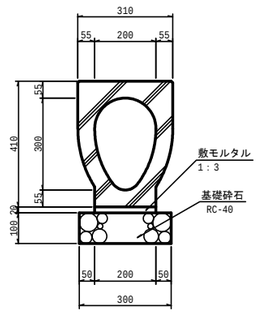
都市型側溝250

S=1:10



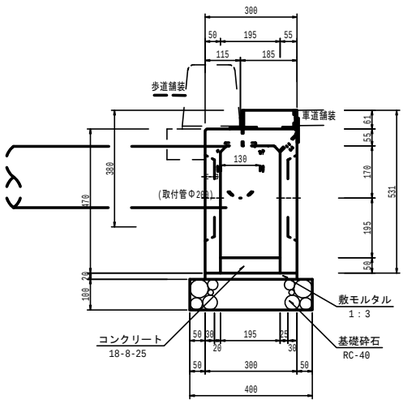
都市型側溝250(横断用)

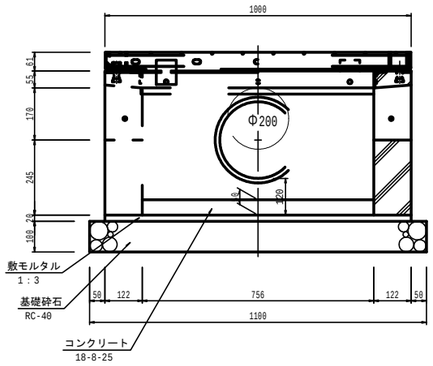
S=1:10



都市型側溝150用桝

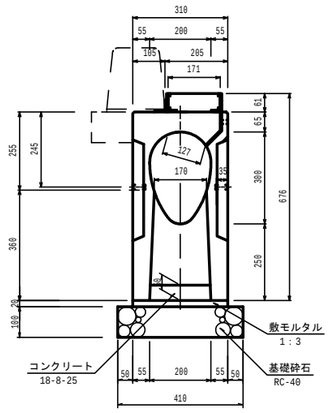
S=1:10

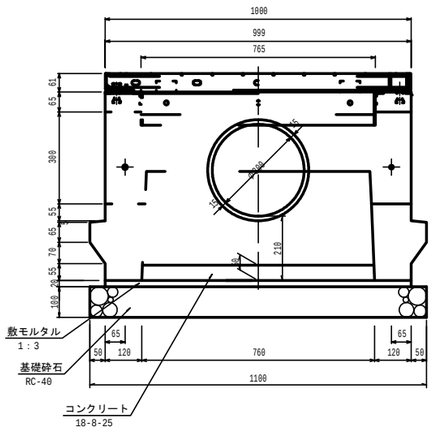




都市型側溝250用桝

S=1:10



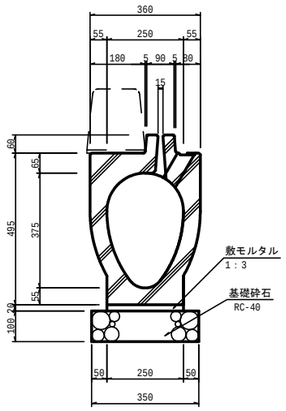


年　度	平成30年度	番　号	/
路 線 名	一般府道 堺阪南線		
工 事 名			
工事場所	岸和田市上野町東地内　外		
図 面 名	構造物詳細図(1)		
縮　尺	図　示	作成年月	平成30年5月
大阪府 岸和田土木事務所			

構 造 物 詳 細 図 (2)

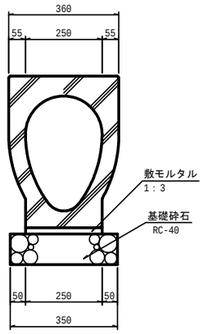
都市型側溝300

S=1:10



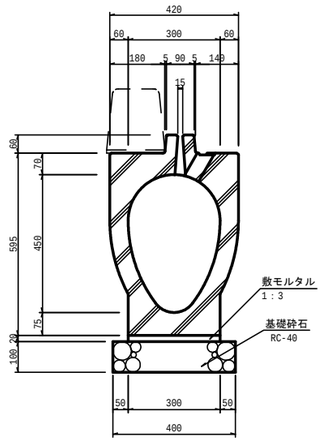
都市型側溝300(横断用)

S=1:10



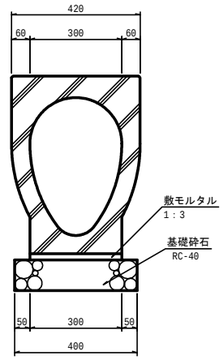
都市型側溝350

S=1:10



都市型側溝350(横断用)

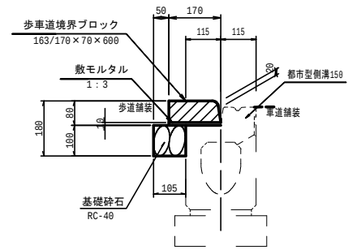
S=1:10



縁石工 E型 (150用)

S=1:10

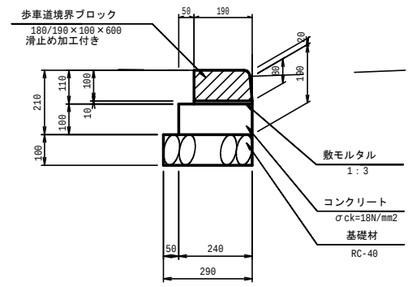
(歩道切下げ部)



縁石工 E型

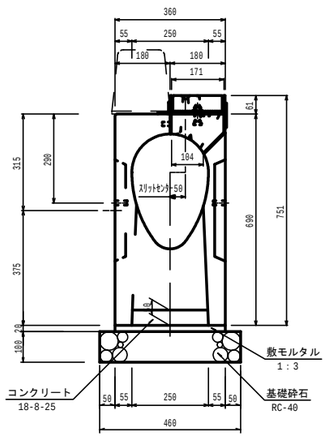
S=1:10

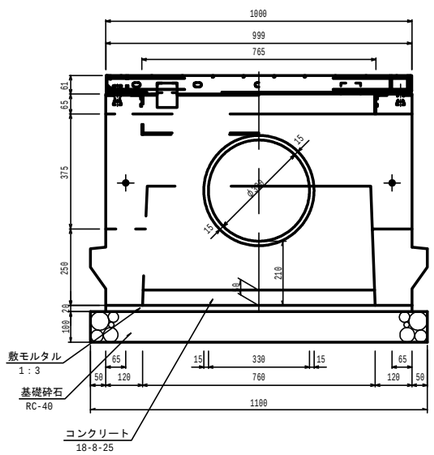
(歩道切下げ部)



都市型側溝300用桝

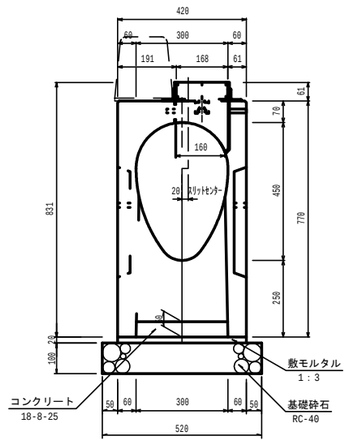
S=1:10

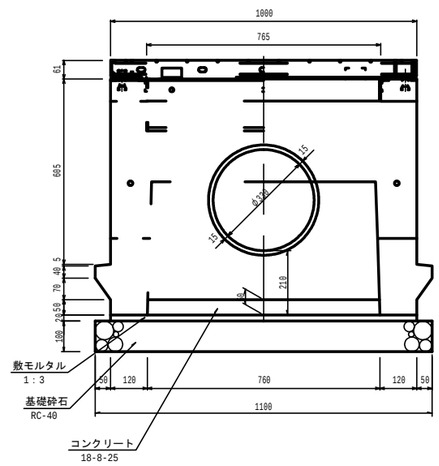




都市型側溝350用桝

S=1:10





年　度	平成30年度	番　号	/
路 線 名	一般府道 堺阪南線		
工 事 名			
工事場所	岸和田市上野町東地内　外		
図 面 名	構造物詳細図(2)		
縮　尺	図　示	作成年月	平成30年5月

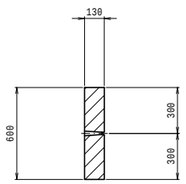
大阪府 岸和田土木事務所

排 水 構 造 物 工 構 造 図

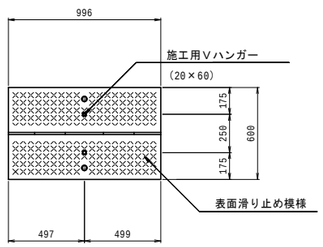
S=1:20

コンクリート蓋(スリット式) B300 L1000:標準

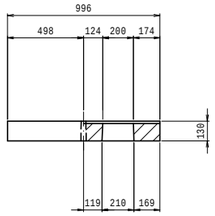
断面図



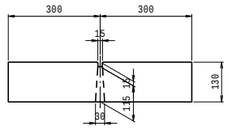
平面図



側面図（断面図）

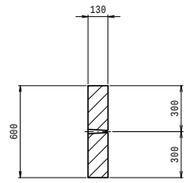


端部詳細図 S=1:10

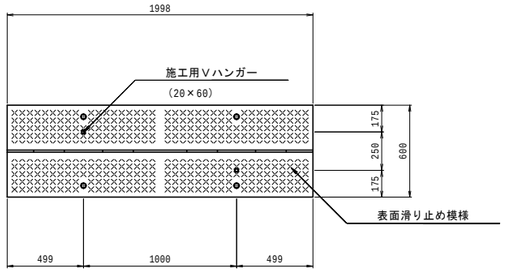


コンクリート蓋(スリット式) B300 L2000:標準

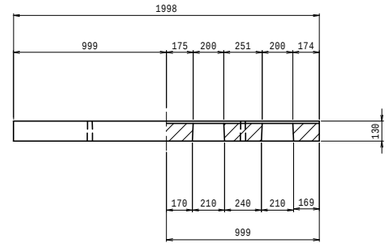
断面図



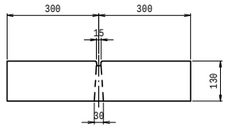
平面図



側面図（断面図）

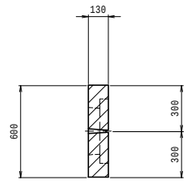


端部詳細図 S=1:10

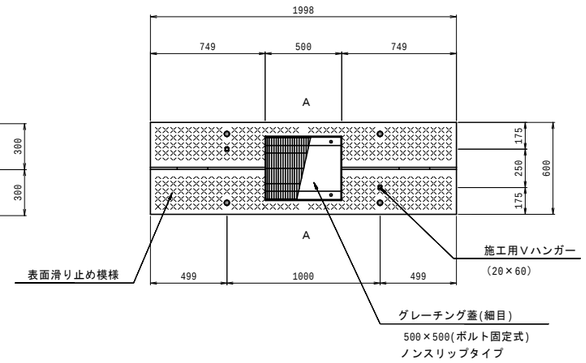


コンクリート蓋(スリット式) B300 L2000:管理孔付

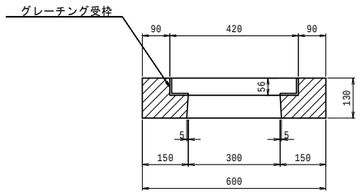
断面図



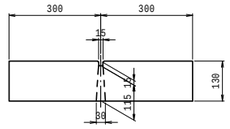
平面図



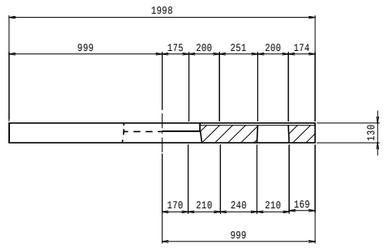
Ａ－Ａ断面図 S=1:10



端部詳細図 S=1:10



側面図（断面図）



設計条件

規　格		車道縦断用（乗入兼用）
形　状		蓋固定式
自動車荷重	総　重　量	245ＫＮ
	後輪一輪荷重	50ＫＮ
	衝　撃　係　数	ｉ＝0.3
コンクリート	設計基準強度	35Ｎ/mm2
	設計圧縮応力度	12.5Ｎ/mm2
	設計せん断応力度	0.52Ｎ/mm2
鉄　筋	材　質	ＳＤ295Ａ同等以上
	許容引張応力応力度	176Ｎ/mm2
	許容せん断応力度	78Ｎ/mm2

1.0m:製品参考質量　183ｋｇ

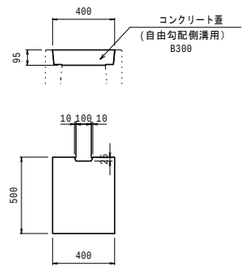
2.0m:製品参考質量　367ｋｇ

管理孔付:製品参考質量　315ｋｇ　　（グレーチング重量は含まず）

1工区 自由勾配側溝構造図(2)

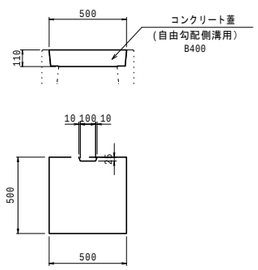
コンクリート蓋A

S=1:20



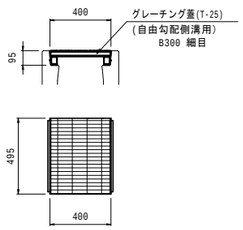
コンクリート蓋B

S=1:20



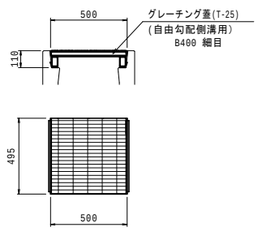
グレーチング蓋A

S=1:20



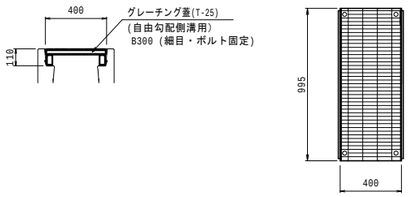
グレーチング蓋B

S=1:20



グレーチング蓋C

S=1:20

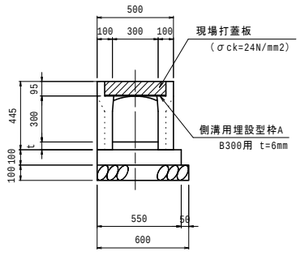


側溝用埋設型枠A

B300用

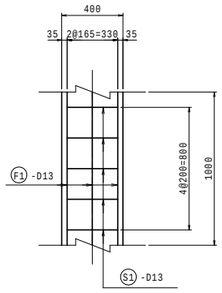
断 面 図

S=1:20



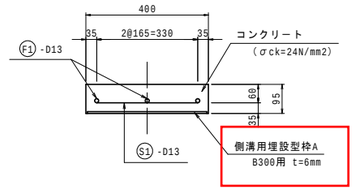
平 面 図

S=1:20

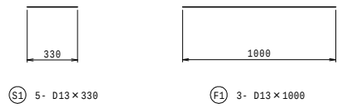


蓋版断面図

S=1:10



鉄筋加工図



側溝用埋設型枠A 鉄筋数量表

m当り数量

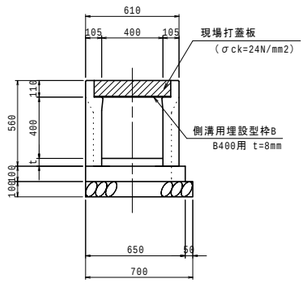
記 号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重 量 (kg)	形状	摘要
S1	D13	330	5	0.995	0.328	1.64	―――	
F1	D13	1000	3	0.995	0.995	2.99	―――	
					計	4.63 kg		
					D13	4.6 kg		

側溝用埋設型枠B

B400用

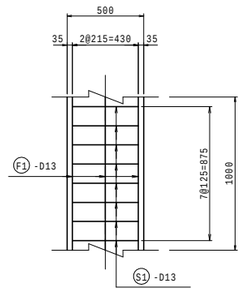
断 面 図

S=1:20



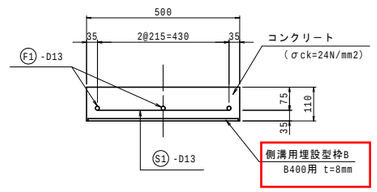
平 面 図

S=1:20

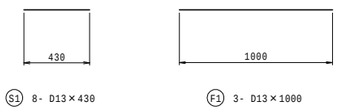


蓋版断面図

S=1:10



鉄筋加工図



側溝用埋設型枠B 鉄筋数量表

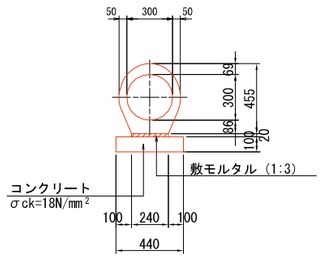
m当り数量

記 号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	重 量 (kg)	形状	摘要
S1	D13	430	8	0.995	0.428	3.42	―――	
F1	D13	1000	3	0.995	0.995	2.99	―――	
					計	6.41 kg		
					D13	6.4 kg		

年 度	平成29年度	番 号	16 / 20
路 線 名	父鬼和気線		
工 事 名			
所属地名			
図 面 名	1工区 自由勾配側溝構造図(2)		
縮 尺	図 示	作成年日	平成30年3月
大阪府鳳土木事務所			

排水工構造図(3) S=1:20

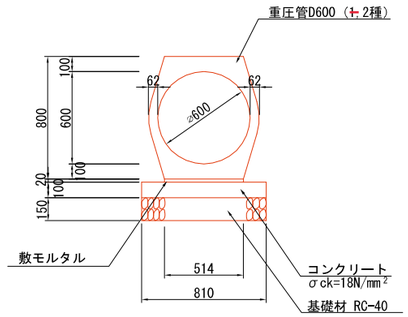
台付管 φ300



材料表 10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
コンクリート	σck=18N/mm²	m3	0.44	
型　枠		m2	2.00	
モルタル	1：3 t=20	m2	2.40	
台付管	D300	本	5.0	

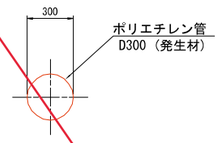
重圧管(~~1~~,2種)D600



材料表 10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
基礎材	RC-40 t=150	m2	8.10	
型　枠		m2	2.00	
コンクリート	σck=18N/mm²	m3	0.81	
モルタル	1：3 t=20	m2	5.14	
重圧管	D600(~~1~~,2種)	本	5.0	

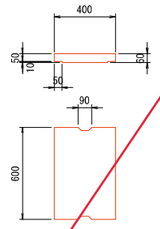
ポリエチレン管 D300



材料表 10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
ポリエチレン管	D300	m	10.00	発生材

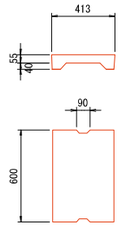
たて溝蓋



材料表 10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
コンクリート蓋	PC1-300	枚	16.7	

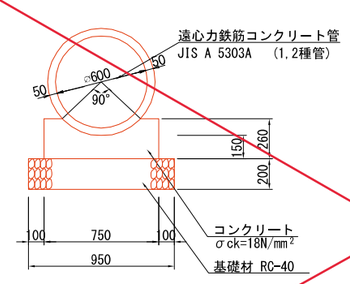
側溝蓋



材料表 10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
コンクリート蓋	PC3-300	枚	16.7	

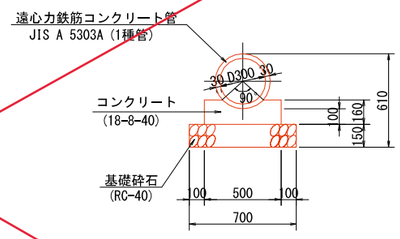
P1-RC-(1,2)-D600



材料表 10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
基礎材	RC-40 t=200	m2	9.50	
型　枠		m2	5.20	
コンクリート	σck=18N/mm²	m3	1.56	
遠心力鉄筋コンクリート管	D600(1,2種)	本	4.1	JIS A5303A

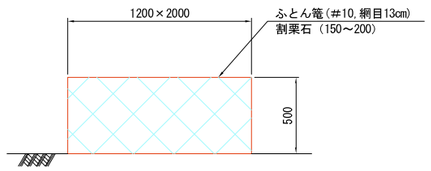
P1-RC-(1)-D300



材料表 10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
基礎材	RC-40 t=150	m2	9.50	
型　枠		m2	5.20	
コンクリート	σck=18N/mm²	m3	1.56	
遠心力鉄筋コンクリート管	D300(1種)	本	4.1	JIS A5303A

ふとん篭



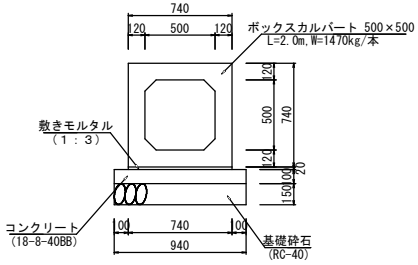
材料表 1箇所当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
ふとん篭	500×1200 #10,網目13cm	m	2.00	
割栗石	150～200	m3	1.20	

[redacted]

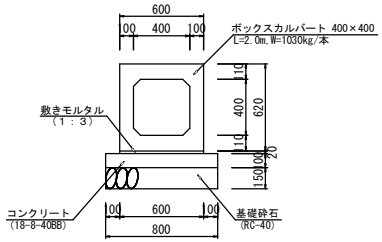
道路施設構造図

ボックスカルバート S=1:20
（500×500）



※自動車荷重：T-25
※適用土かぶり：0.0～3.0m

ボックスカルバート S=1:20
（400×400）



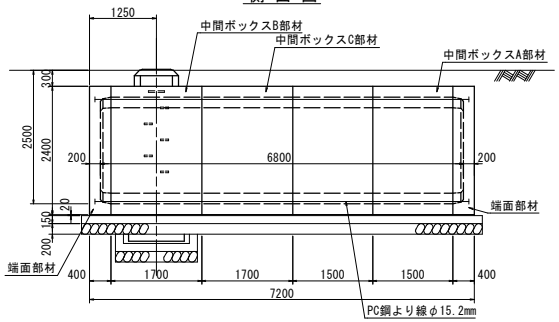
※自動車荷重：T-25
※適用土かぶり：0.0～3.0m

防火水槽構造図

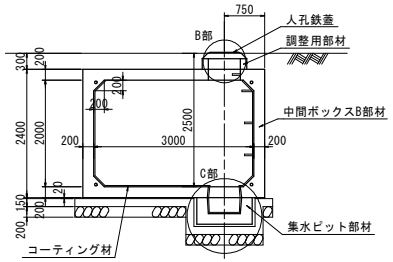
組立図

S=1：50

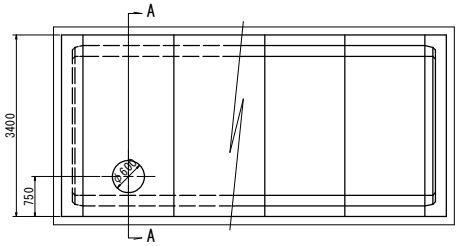
側面図



A-A 断面図



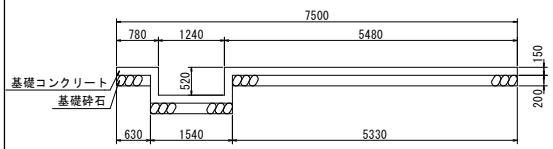
平面図



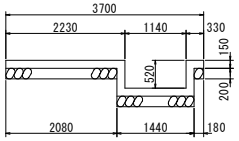
基礎図

S=1：50

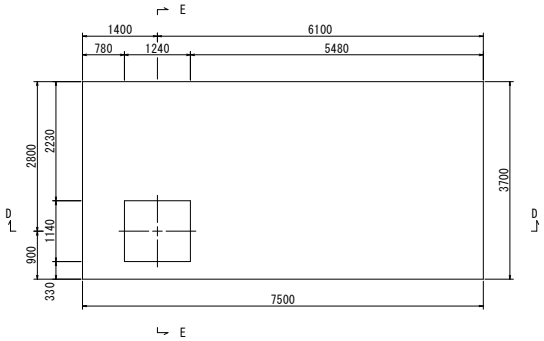
D-D 断面図



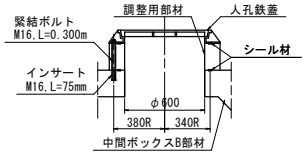
E-E 断面図



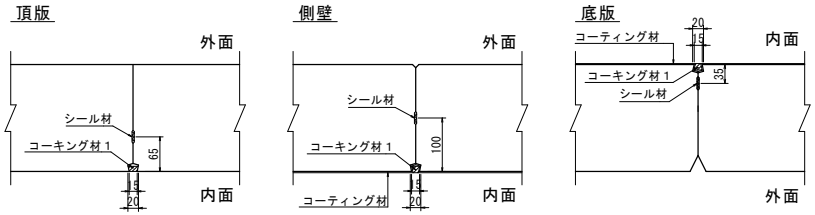
基礎平面図



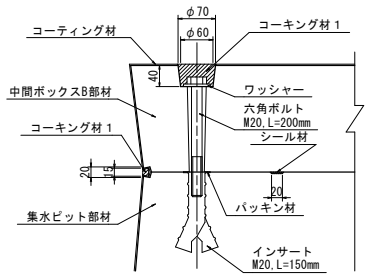
B部詳細図 S=1:20



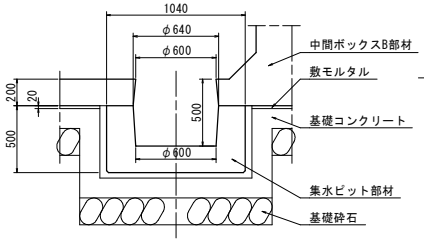
継手部詳細図 S=1:5



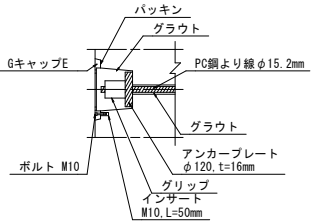
集水ピット連結部詳細図 S=1:5



C部詳細図 S=1:20



PC鋼より線定着部詳細図 S=1:10



[redacted]

止水仕様(防水工)材料表

	種別		算式	数量
本体	コーティング材		(2.60+2x1.60+4√2x0.20)x(6.40+2x0.20) + (3.00x2.00-4x0.20^2/2)x2 +0.60xπx0.50x 1 + (2.60+2x1.60+4√2x0.20)x 5x(0.0454-0.015) +0.60xπx 1x(0.0454-0.015)	61.0m2
	コーキング材1		(2x2.60+2x1.60+4√2x0.20) x 5+0.64xπx 1	49.7m
	シール材	中間ボックス、端面部材	(2x2.80+2x1.70+2xπx0.2)x5	51.3m
		集水ピット部材	(4x0.84+0.2)x 1	3.6m
		調整用部材	(2xπx0.34+0.2)x 2x 1	4.7m
集水ピット連結部	コーキング材1		0.04/3x(πx0.07^2/4+πx0.06^2/4+ √πx0.07^2/4xπx0.06^2/4) x 4	0.001m3
	パッキン材		——	4ケ

基礎数量表

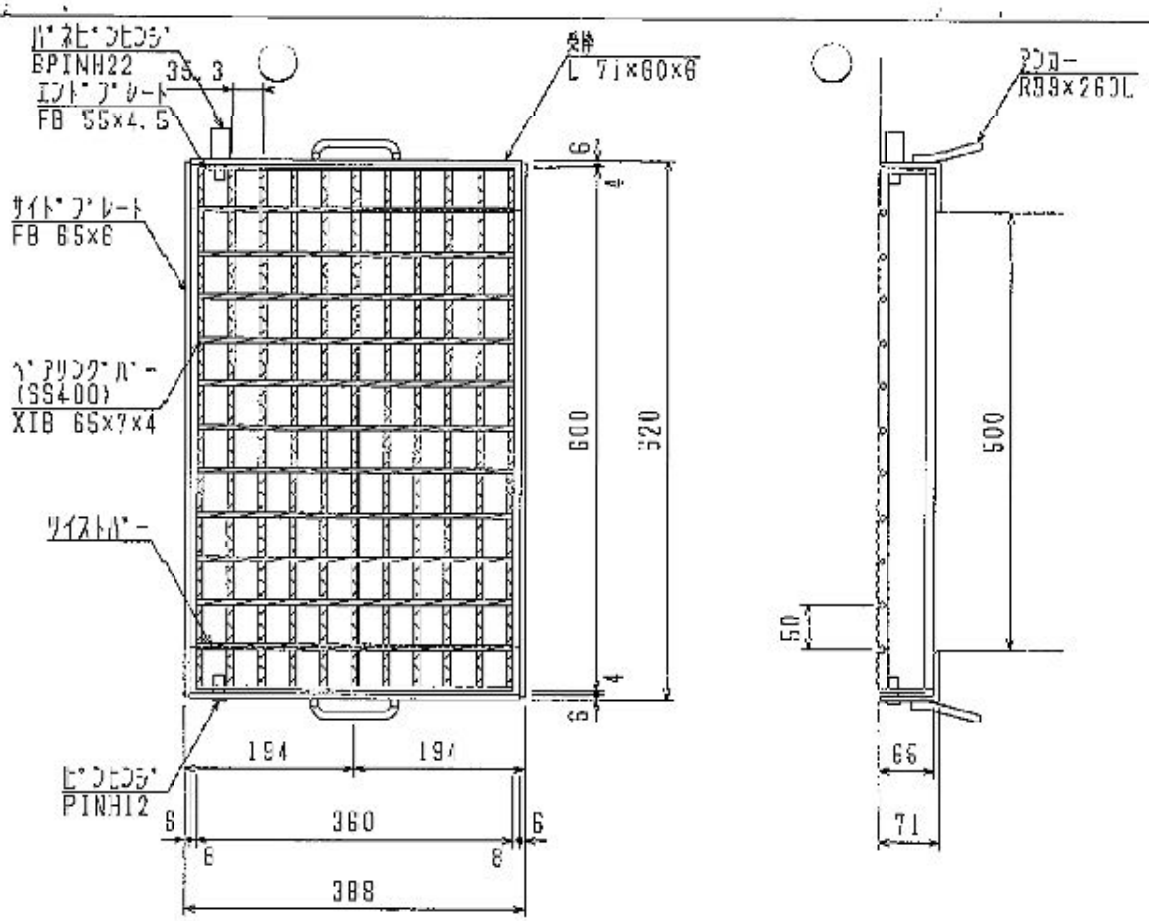
種別	算式	数量	備考
基礎コンクリート	(7.50x3.70+(1.24+1.14+2x0.15)x0.52x2)x0.15	4.581m3	σck=18.0 N/mm2
基礎型枠	2x(7.50+3.70)x0.15+(4x(1.24+1.14)+8x0.15)x0.52	8.934m2	
基礎砕石	7.50x3.70	27.750m2	t=0.20m
敷モルタル	(7.20x3.40-1.24x1.14)x0.02	0.461m3	

防火水槽明細書

型式番号	耐-00001-1号		
型式記号	T40-Ⅰ-A-0.0/1.0		
容量	40.16m3		
設計荷重	10.0 kN/m2		
設置場所	Ⅰ型		
土被り厚	0.300 m		
形状	横置ボックスカルバート型		
材料	規格または算式	数量	備考
中間ボックスA部材	3.4m x 2.4m x 1.5m	2 個	
中間ボックスB部材	3.4m x 2.4m x 1.7m	1 個	
中間ボックスC部材	3.4m x 2.4m x 1.7m	1 個	
端面部材	3.4m x 2.4m x 0.4m	2 個	
集水ピット部材	PH500(1.04m x 1.04m x 0.50m)	1 個	
調整用部材	φ0.83m, RH200	1 個	
PC鋼より線	φ15.2mm, L= 7.8m	4 本	SWPR7B
定着具	アンカープレート, グリップ	8 組	端面部材用
グラウト	0.12/3xπx(0.08^2+0.08x0.07+0.07^2)x8 +0.02xπx0.08^2x8+6.920xπ/4x0.035^2x4	0.047 m3	σck=30 N/mm2
緊結ボルト	M16,L=0.300m(ナット, 座金付)	3 組	
人孔鉄蓋	φ600	1 組	
六角ボルト	M20,L=200mm(ワッシャー付)	4 組	
Gキャップ E	-	8 組	

※内面防水は、コーティング仕様とする。

※日本消防設備安全センターの認定品である。



記事

1. 型式　XSXE65　イボイボ50

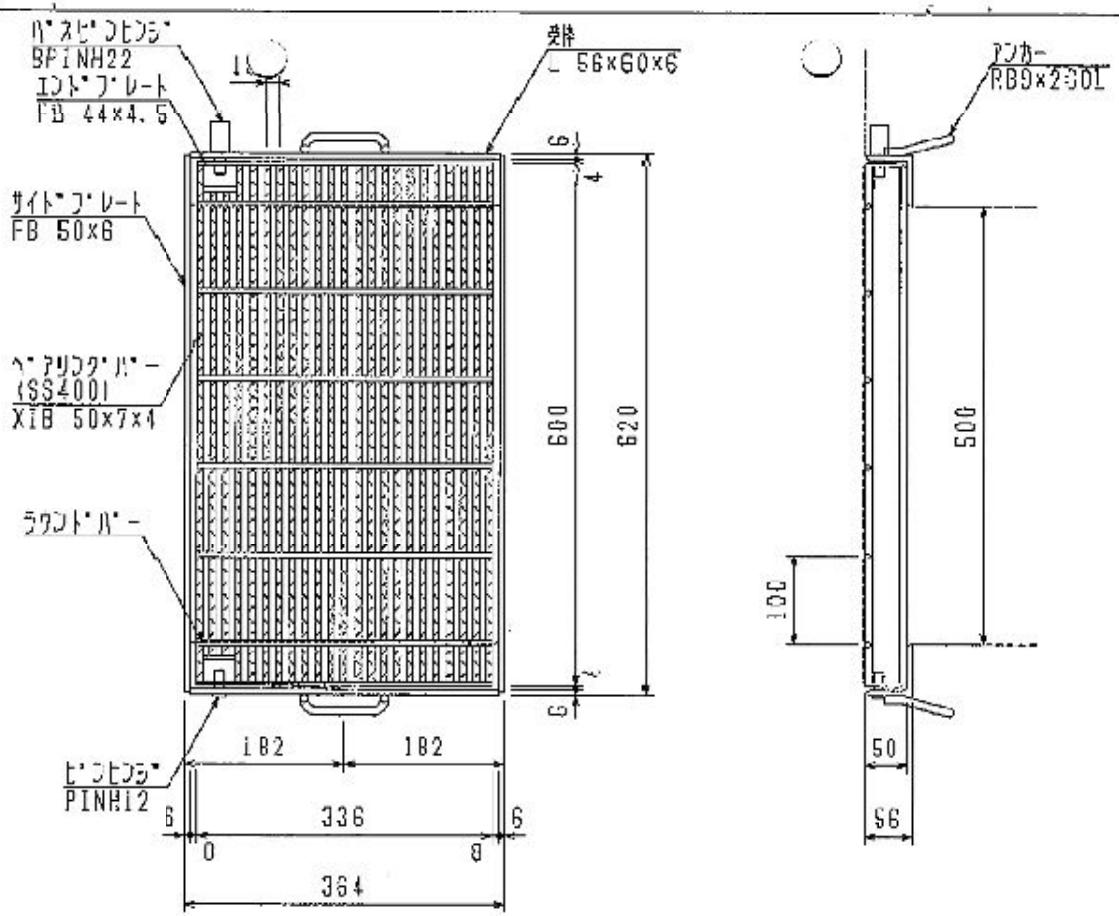
2. 表面処理

グレーチング：亜鉛メッキ

受　枠　：黒ペイント

承認者			工事番号
検図者			
作図者		荷重：T－25 桝穴：350×500用 110°開閉式	図面番号
製図日	2013/09/02		
尺度	1/3		
営業所図番			

株式会社　ダイクレ



説 事

1. 型式　HMSO イボイボ細目

2. 表面処理

グレーチング：亜鉛メッキ

受　枠　：黒ペイント

承認者			工事番号
検図者			
作図者		荷重：T-25	図面番号
製図日	2013/09/02	桝穴：350×500用	
尺度	1/8	110°開閉式	
営業所図番			

株式会社　ダイクレ

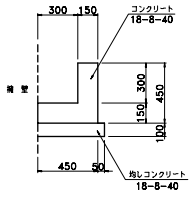
路面排水工詳細図 4/4　S=1/20

側 溝 工・集水桝工

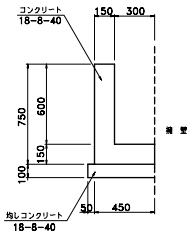
側 溝 工

L型側溝

L−300×300

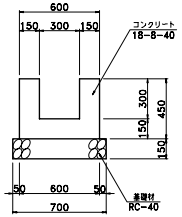


L−300×600

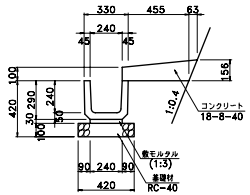


U型側溝

U1型300×300

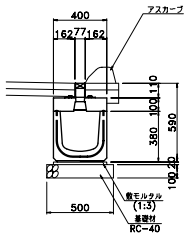


PU 240

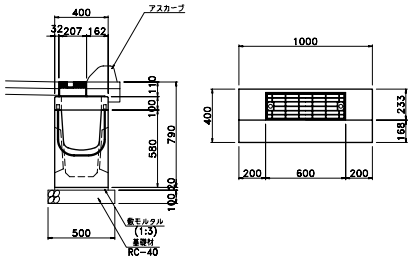


スリット側溝

U300型
（中央分離帯用）

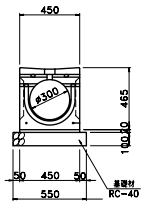


集水桝U300型

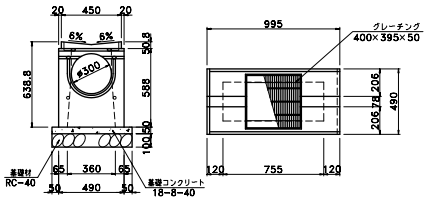


円形側溝

φ300型
（街路横断部用）

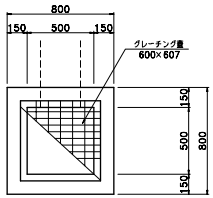


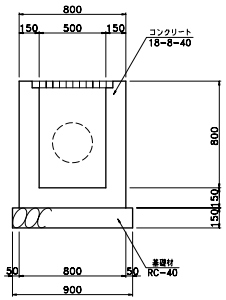
集水桝φ300型



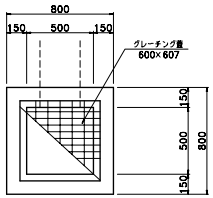
集 水 桝 工

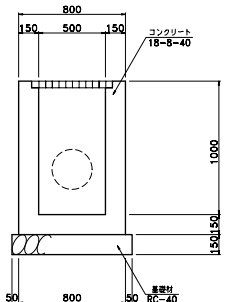
集水桝A型



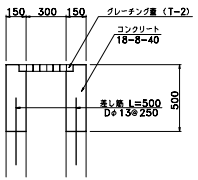


集水桝B型

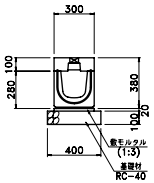




側溝かさ上

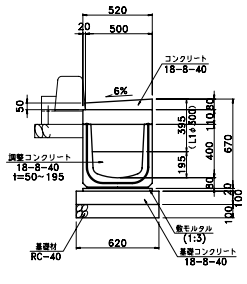


U200型
（歩道縁用）

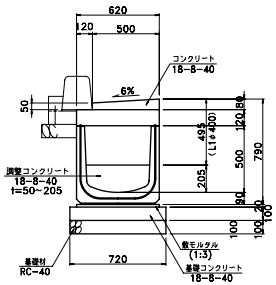


L型側溝

LU400型

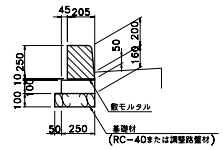


LU500型

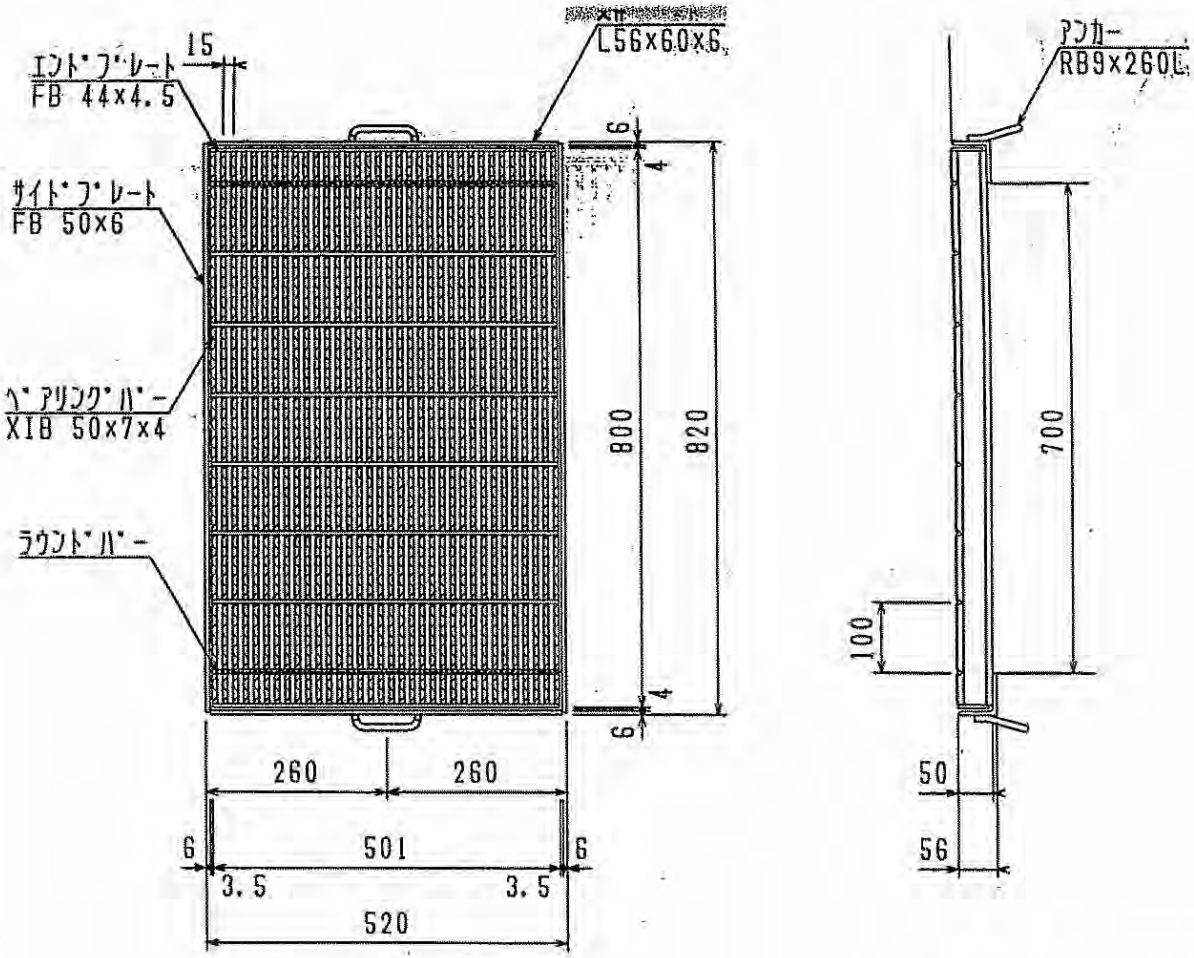


マウンドアップ形式,一般部

B 型



年　度	平成14~15年度	番 号	69/73
路 線 名	都市計画道路　枚方大和高田線　外		
工 事 名			
所属地名	枚方市　茄子作東町　外		
図面種別	路面排水工詳細図 4/4		
縮　尺	図　示	作成年月	平成16年 3月
大阪府枚方土木事務所			



記　事

1．型式　　HD50　イボイボ細目

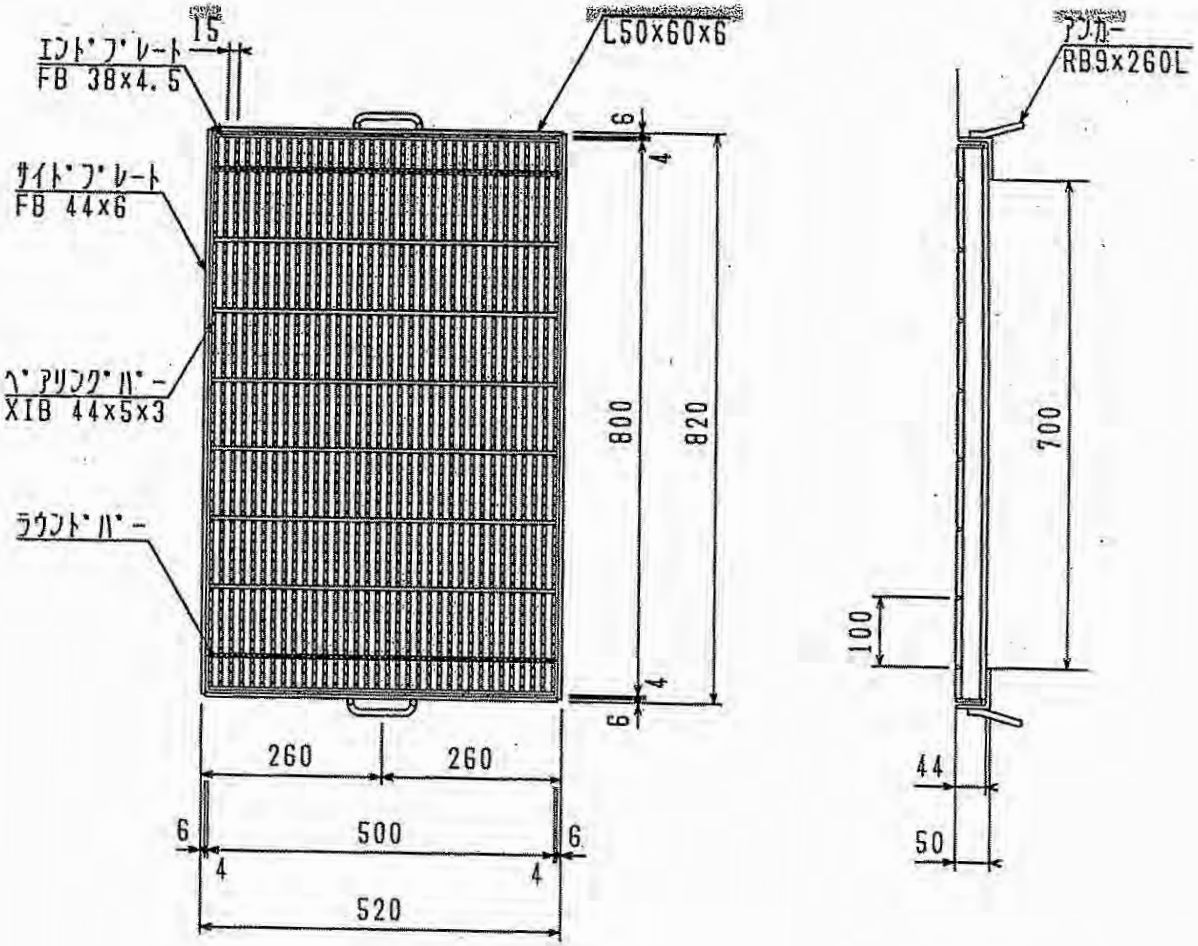
2．表面処理

グレーチング：亜鉛メッキ

受　　枠　　：黒ペイント

承認者			工事番号
検図者			
作図者		桝穴500x700用 T－25　落とし込み 受枠＝2CA2FB	図面番号
製図日	2005/07/22		
尺度	1/11		

営業所図番　　株式会社　ダイクロ



記　事

1．型式　　HD44　イボイボ細目

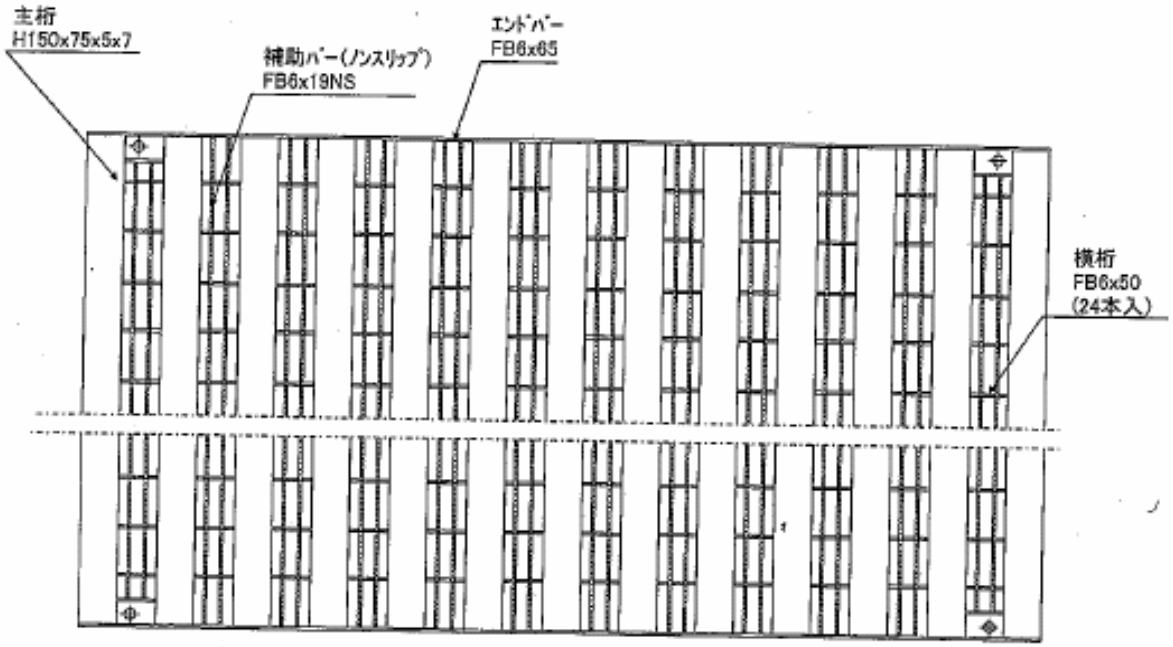
2．表面処理

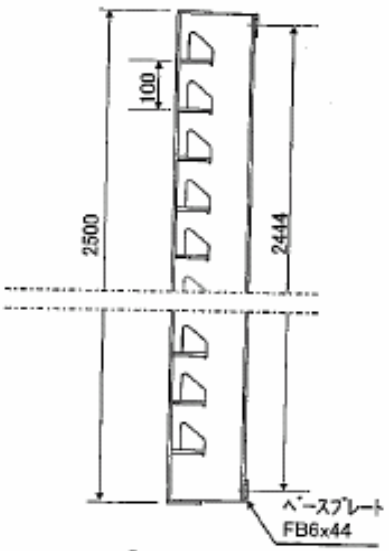
グレーチング：亜鉛メッキ

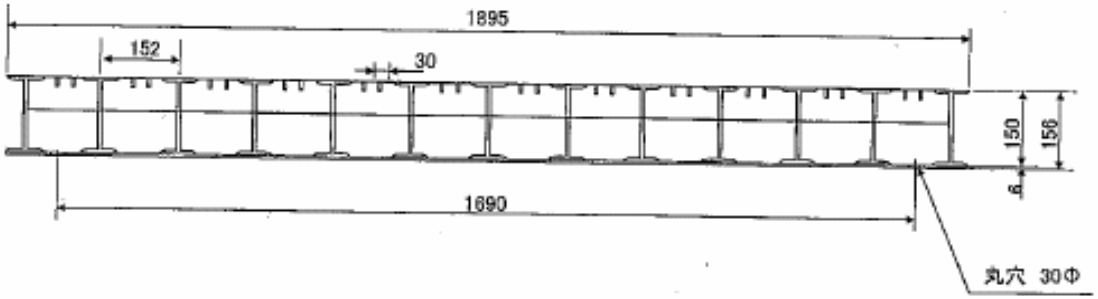
受　　枠　　：黒ペイント

承認者			工事番号
検図者			
作図者		桝穴500x700用 T－6　落とし込み 受枠＝2CA2FB	図面番号
製図日	2005/07/22		
尺度	1/11		
		営業所図番	

株式会社　ダイクレ

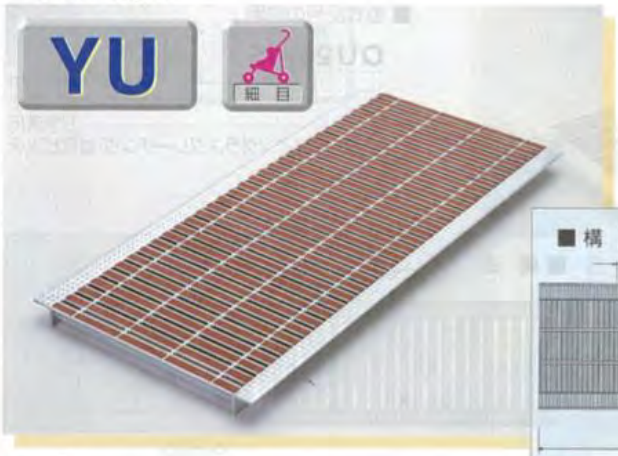






仕様	T-20 Hプレーン補助バーノンスリップ
サイズ	2500x1895x150/156

U字溝 細目

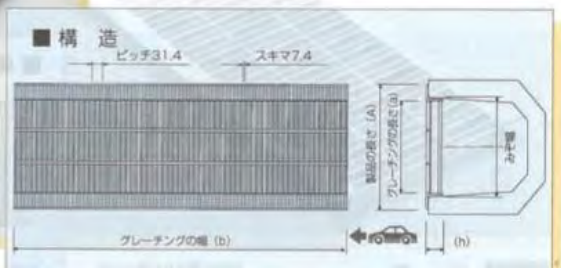


■ 型式記号の説明

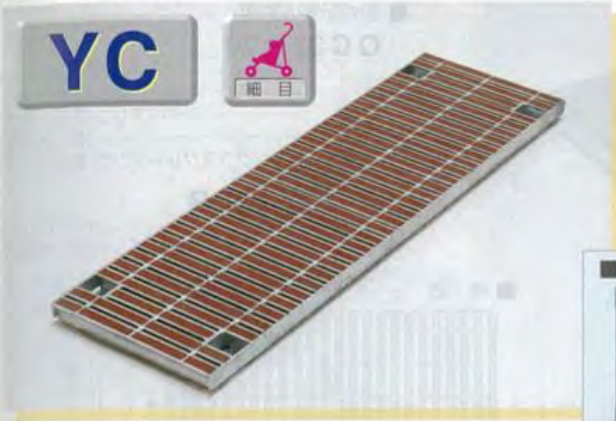
YU25-15

- みぞ幅＝150mm
- ベアリングバー高さ
- U字溝用
- ワイングラスグレーチング 細目ピッチ

■ 構 造



みぞぶた 細目 ボルト式エコノミー



■ 型式記号の説明

YC32R20

- みぞ幅＝200mm
- 騒音低減用ゴム
- ベアリングバー高さ
- ボルト固定
- ワイングラスグレーチング 細目ピッチ

WY32R

- h＝32mm
- ボルト固定式受枠

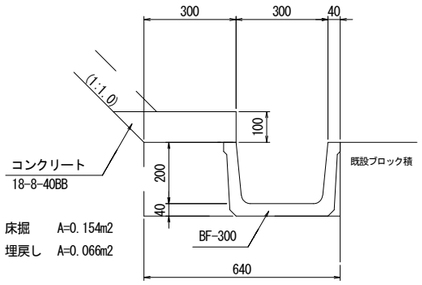
■ 構 造

[横断溝用]

排水工構造図

法尻排水工　S=1:10

BF-300

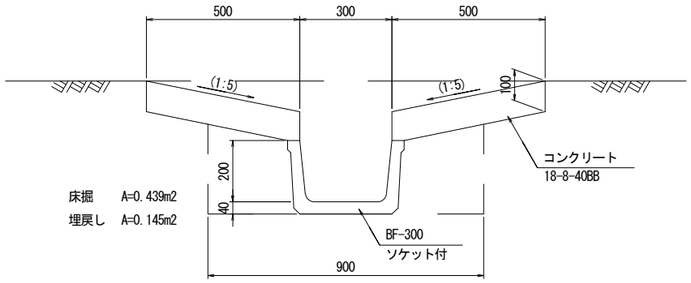


材料表　(10m当り)

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
BF-300		m	10	JIS-A-5372
コンクリート	18-8-40BB t=100	m3	0.35	
型枠		m2	1.0	
床掘	土砂	m3	1.5	
埋戻し	土砂	m3	0.7	

縦排水工　S=1:10

BF-300

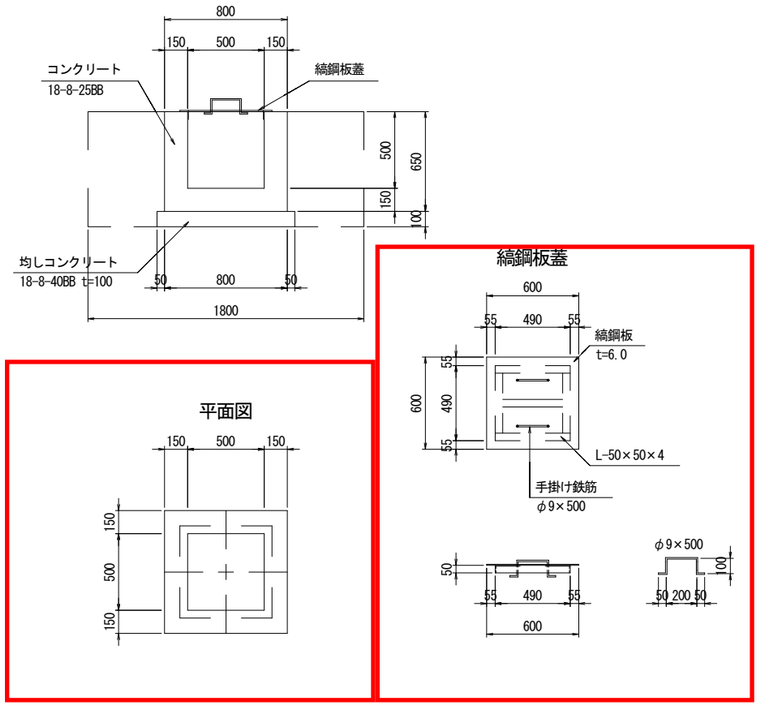


材料表　(10m当り)

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
BF-300(Ⅱ型)		m	10	JIS-A-5372
コンクリート	18-8-40BB t=100	m3	1.0	
型枠		式(m2)	1(2.0)	
床掘	土砂	m3	4.4	
埋戻し	土砂	m3	1.5	

集水桝　S=1:20

G2-B500-L500-H500

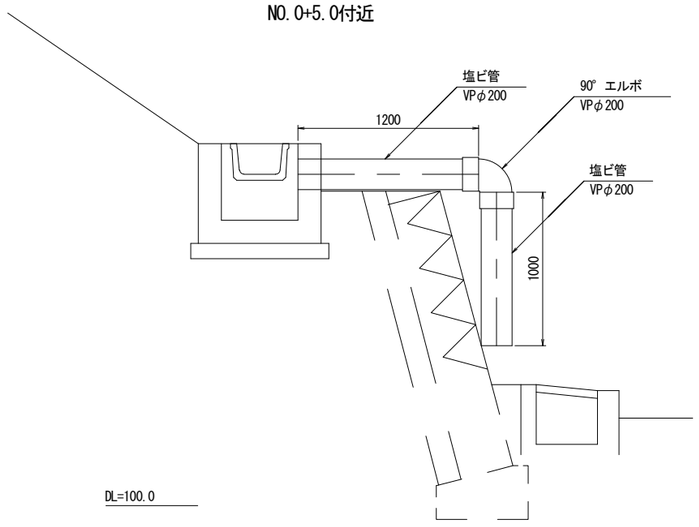


数量表　(1箇所当り)

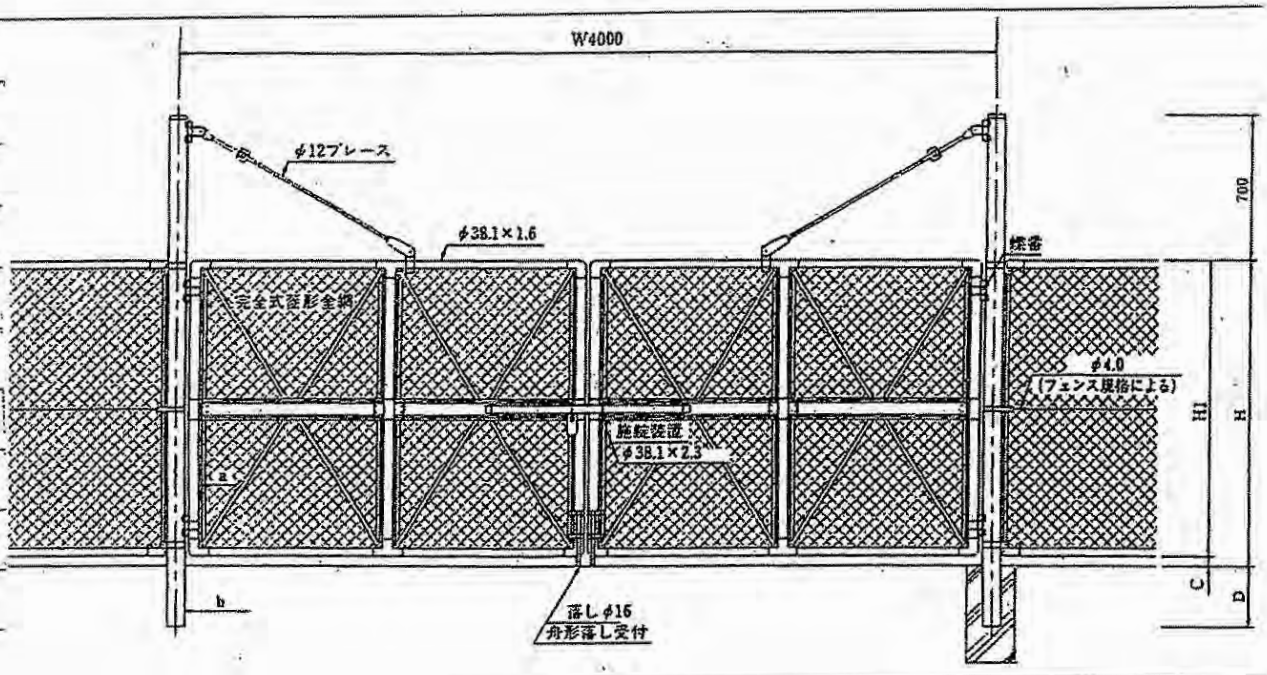
名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
コンクリート	18-8-25BB	m3	0.29	
型枠		m2	3.1	
均しコンクリート	18-8-40BB t=100	m2	0.81	
均しコンクリート型枠		m2	0.36	
縞鋼板蓋	500×500用	枚	1	溶融亜鉛メッキ
床掘	土砂	m3	2.4	
埋戻し	土砂	m3	1.9	

排水管構造図　S=1:20

NO.0+5.0付近



○ 門扉部 (W=4000mm)



H = 1800 mm　　基礎部 □500 mm × 700 mm

H_1 = 1750 mm

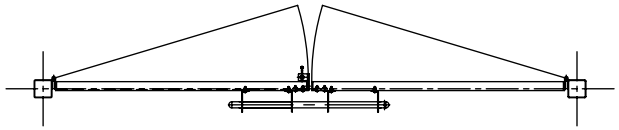
a = φ50.8×1.6

b = φ89.1×3.2

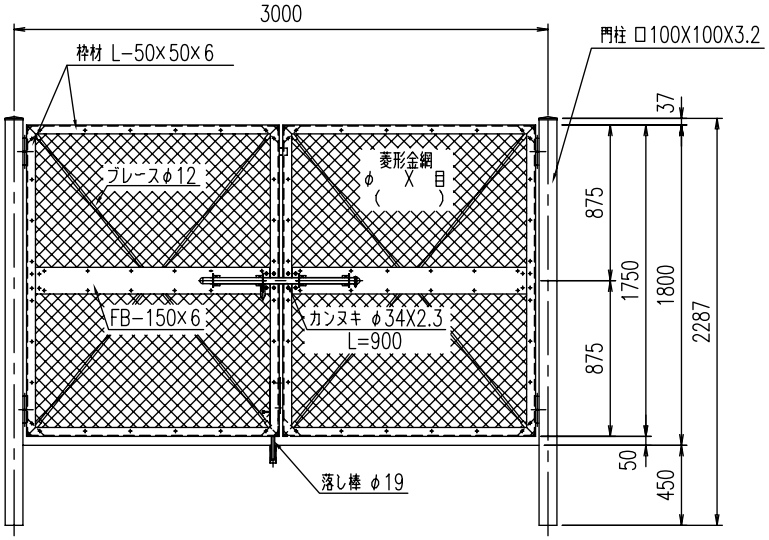
C = 50 mm

D = 500 mm

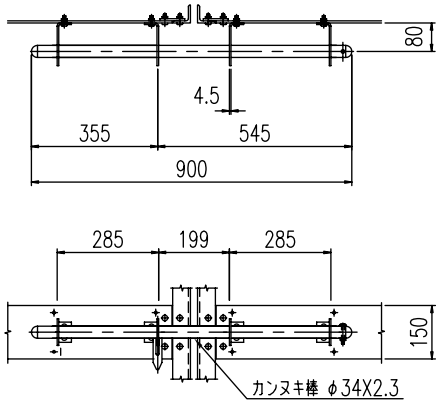
平 面 図 S=1/20



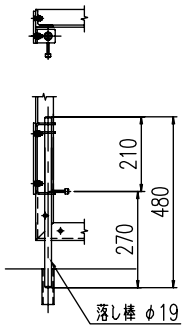
正 面 図 S=1/20



カンヌキ取付図 S=1/10



落し棒取付図 S=1/10



型式	VH−G3A型 H180	設計番号	Vhg3ah18

JFE 建材フェンス 株式会社

材料計算書

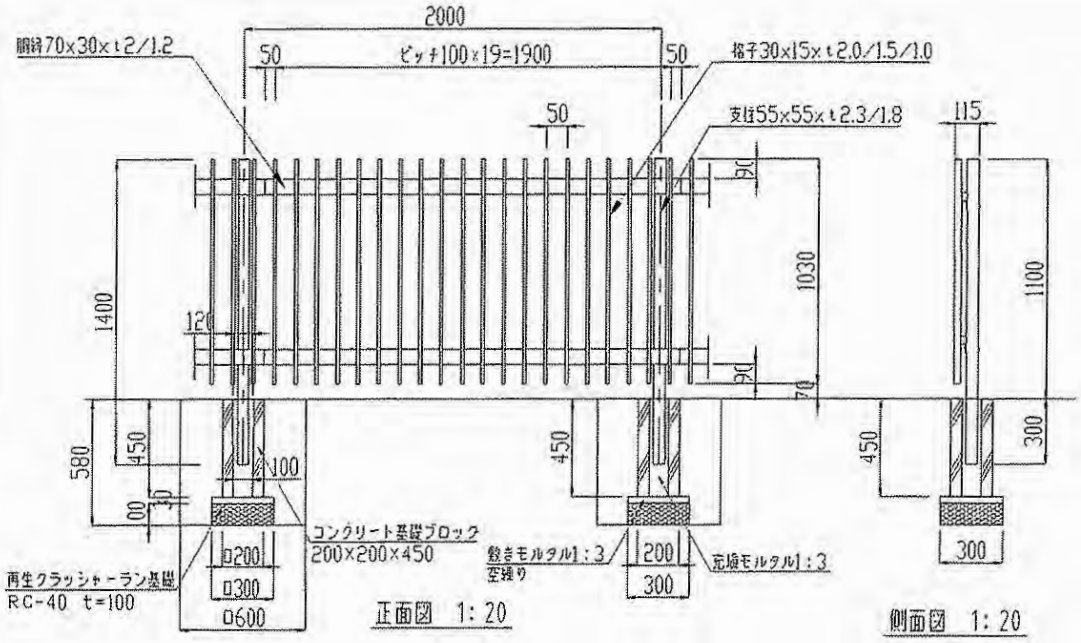
算式根拠となる構造図　　P

記号：

名称：進入防止柵-2

縮尺：

10m　当り

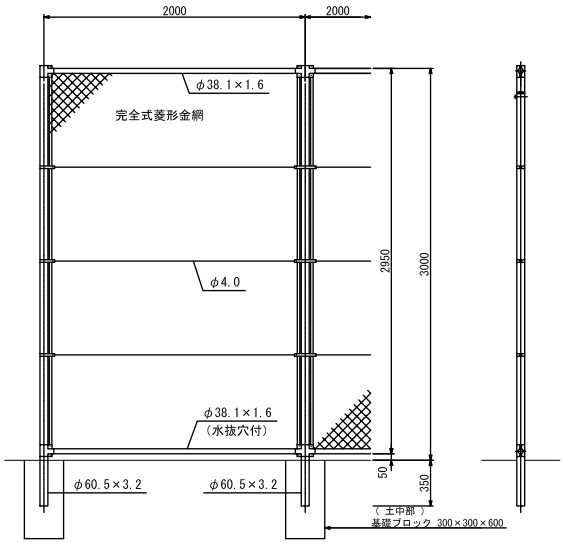


10m当り基礎5箇所

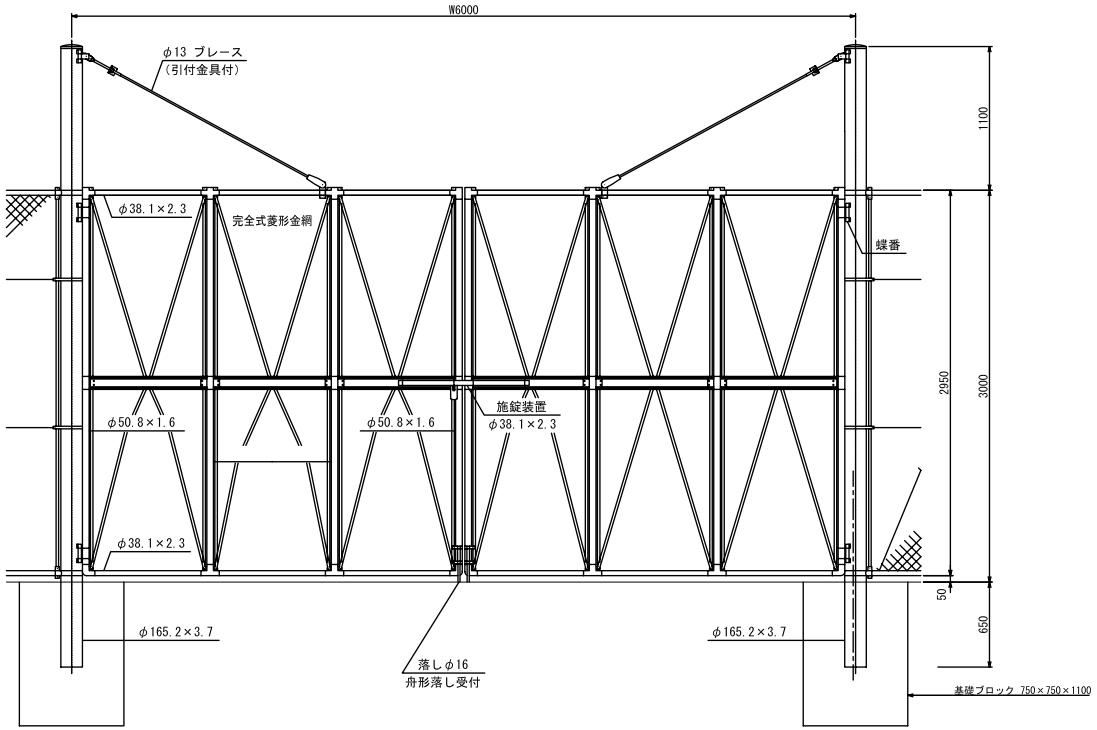
名　称	規　格	算　式		単位	数　量
床掘り		0.6*0.6*0.58*5=	1.044	m3	1.04
埋戻し		床-残		m3	0.90
残土処分		(0.3*0.3*0.13+0.2*0.2*0.45)*5=	0.149	m3	0.14
床付け		0.3*0.3*5=	0.450	m2	0.45
再生クラッシャーラン基礎	RC-40 t=100	0.3*0.3*5=	0.450	m2	0.45
敷モルタル	1:3空練り	0.3*0.3*0.015*5	0.0068	m3	0.006
コンクリート基礎ブロック	200×200×450	10/2.0=	5.000	個	5.00
充填モルタル	1:3	((0.1*0.1+0.12*0.12)*0.45/2-(0.055*0.055*0.3))*5	0.023	m3	0.02
柵本体	アルミ製H=1100	10	10.00	m	10.00

構　造　図　　S=1 : 20

ネットフェンス（H=3000）



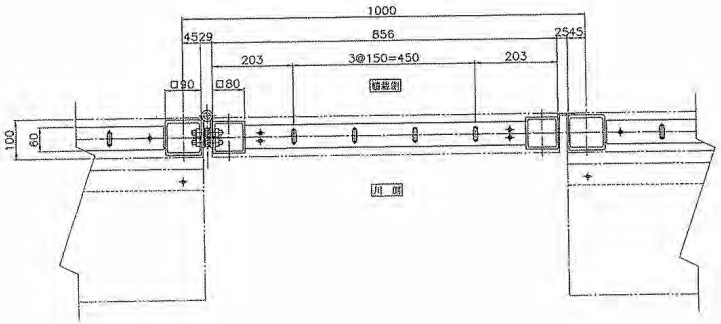
両開き門扉 H300×W600

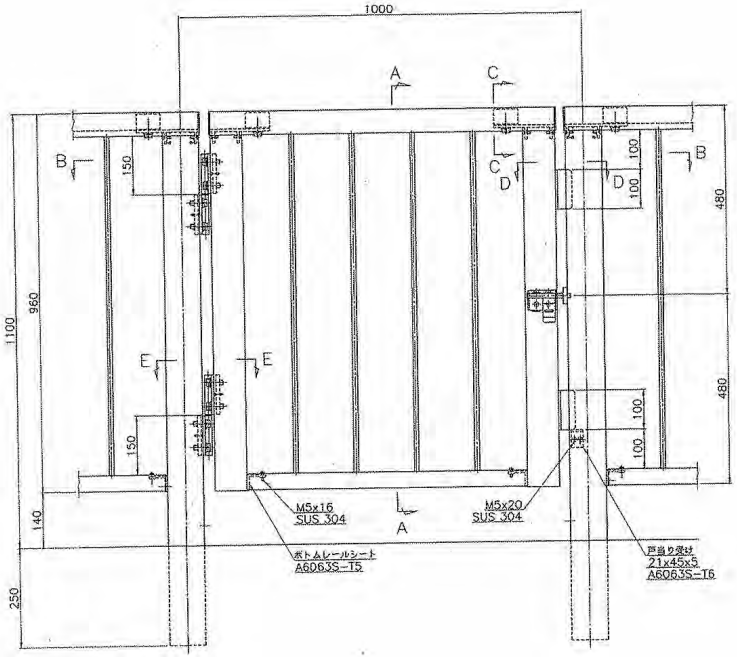


年 度		事業名	
所属地名			
路線名			
工事名	道路改良工事		
図面種別			
縮 尺	1:20	設 計	番 号
大阪府枚方土木事務所			

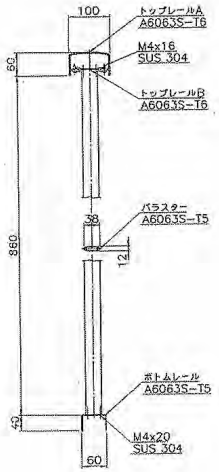
門扉詳細図　S=1/6

断面B−B

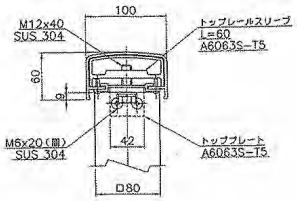




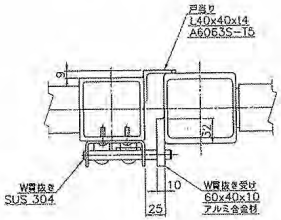
断面A−A



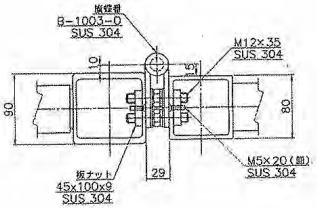
断面C−C　S=1/3



断面D−D　S=1/3



断面E−E　S=1/3



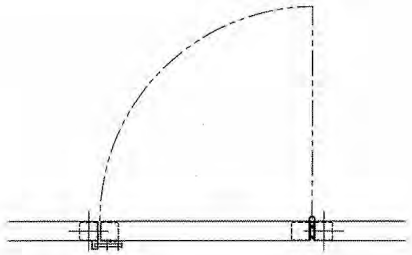
注記　1. 本門扉の表面処理は指定色塗装仕上げとし、色調は別途打合せ後決定とする。
但し、SUS製可動部材は非塗装とする。

KIF 門扉

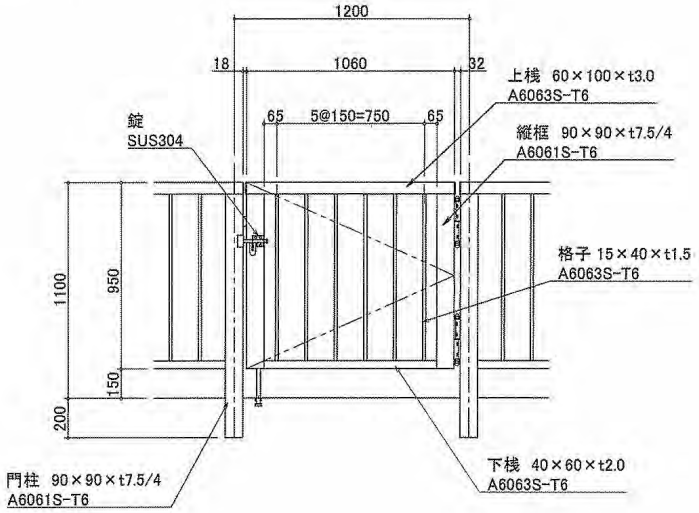
（片開き・内開き・外錠・内落し棒）

部材名	規格・材質
縦框	JIS H 4100 A6061S-T6
上桟	JIS H 4100 A6063S-T5
下桟	JIS H 4100 A6063S-T5
格子	JIS H 4100 A6063S-T5
門柱	JIS H 4100 A6061S-T6
ボルト類	JIS B 1180

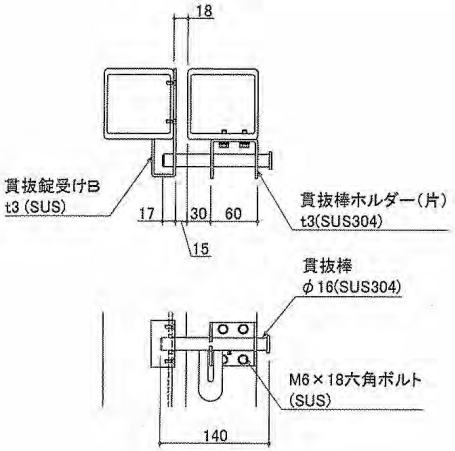
平面図



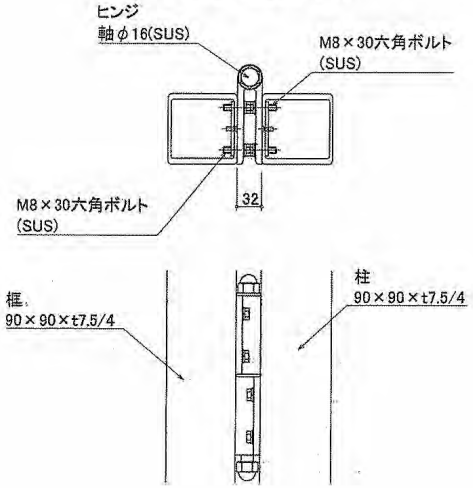
正面図



錠部詳細図

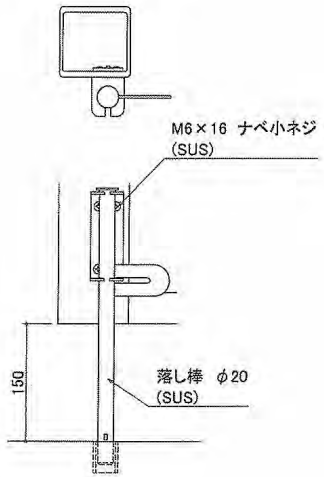


ヒンジ部詳細図



落し棒部詳細図

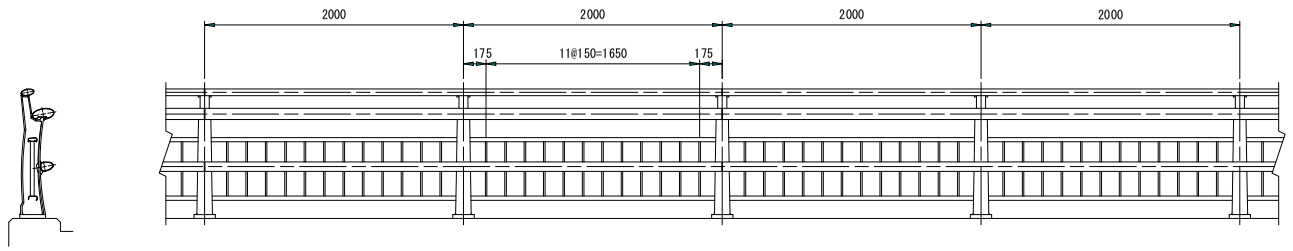
（内観）



社名	東洋エクステリア	図番	9905SLG4T2

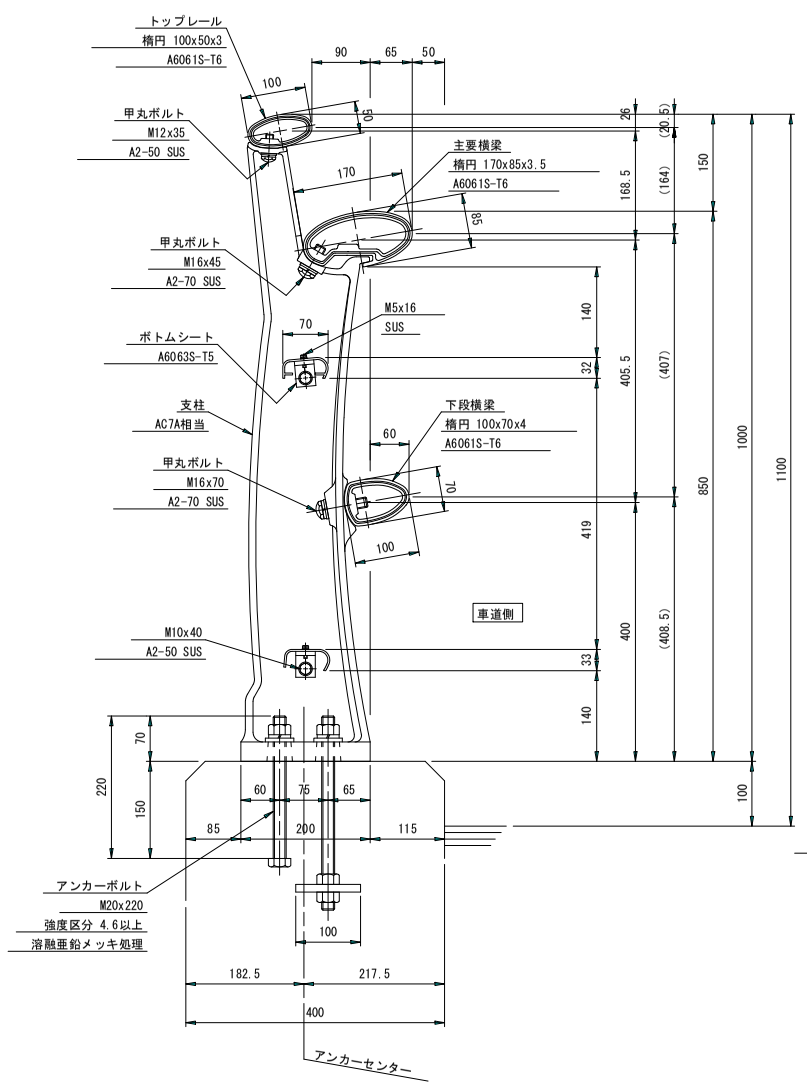
防護柵詳細図（その２）

姿　図　S=1/30

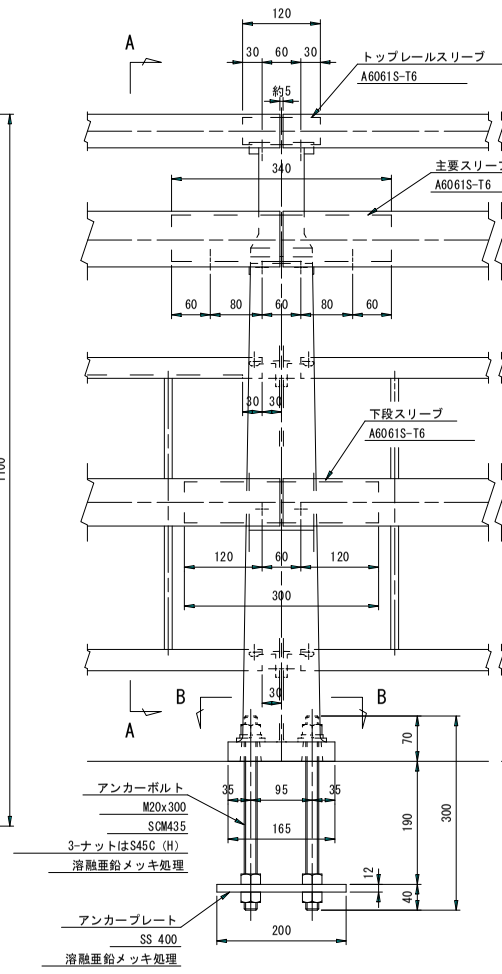


高欄兼用
車両防護柵取付詳細図　S=1/6

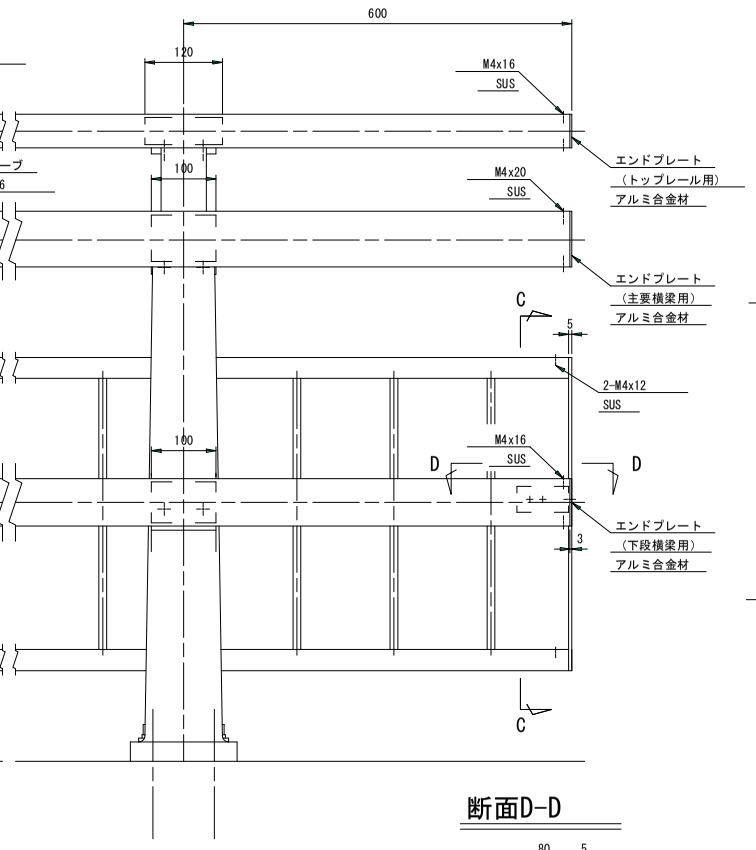
種別 C種　NC-12EB-10



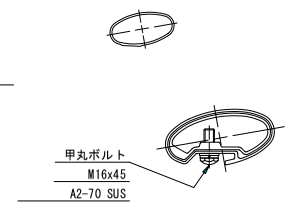
継手部



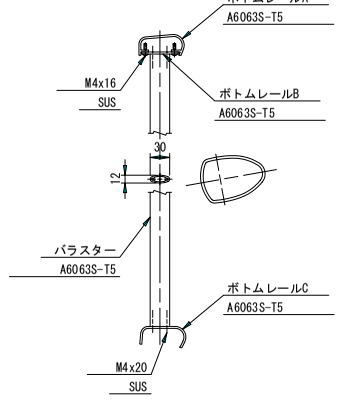
端　部



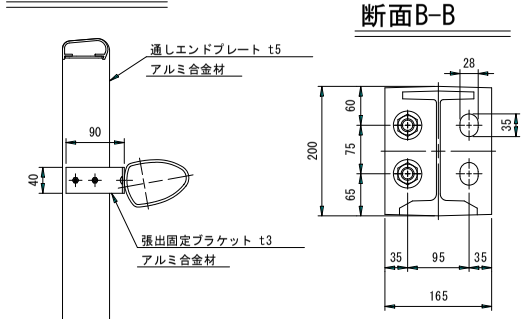
断面A-A



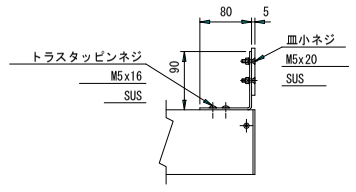
断面C-C



断面B-B



断面D-D



注記

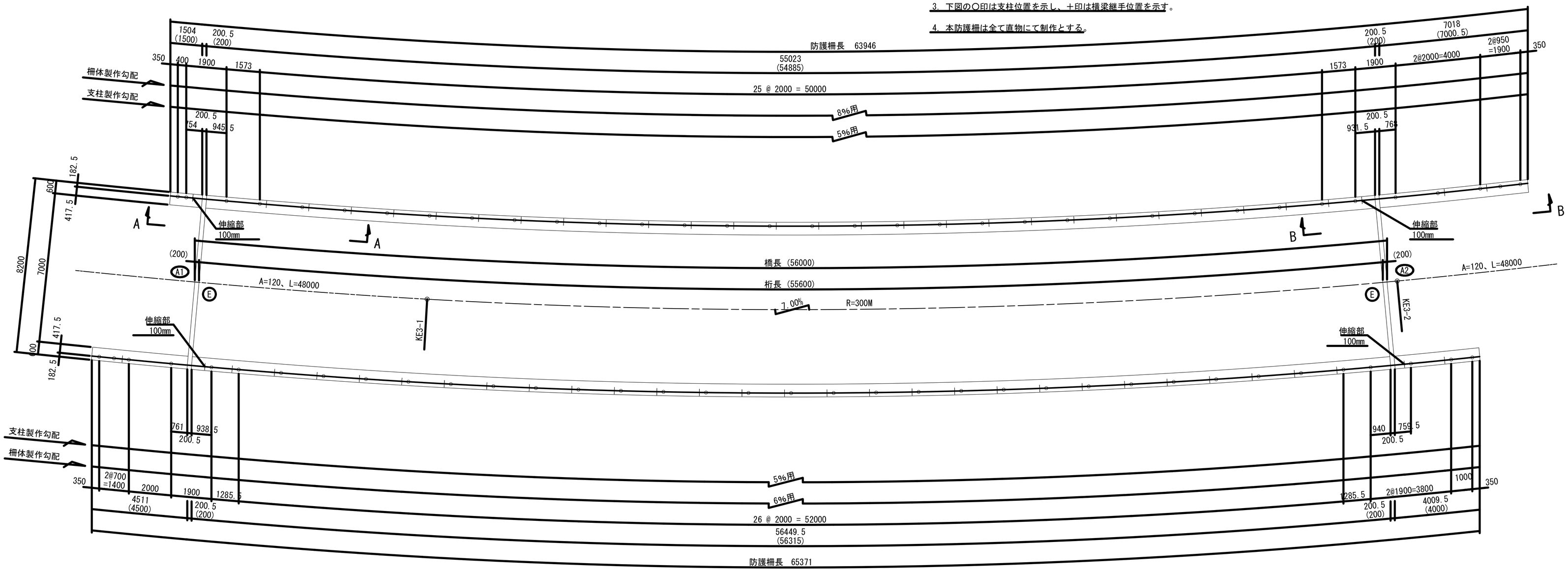
1. 表面仕様
   主要横梁、下段横梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、
   支柱は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はシルバー色の時を除き着色処理とし、色調は別途打合せとする。
2. 本防護柵の設計仕様は、（社）日本アルミニウム協会　土木製品開発委員会作成
   「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」（平成21年3月）による。
3. 本防護柵はNETIS登録製品（KK-070006-A）です。
4. 本防護柵の支柱は、レベル用を示し、0～2.5%勾配に使用とする。
   5%用は2.5%～7.5%勾配に使用とする。

コンクリート強度 σck=21N/mm²

防護柵詳細図（その1）

平　面　図　S=1/100

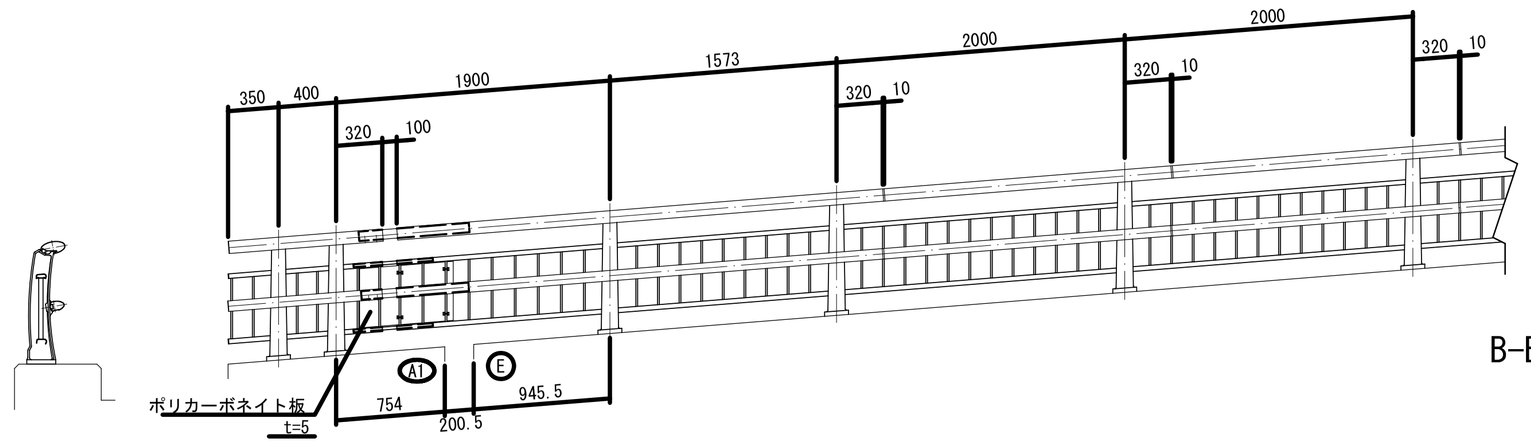
注記
1. 記入寸法はアンカーセンター押さえとし、実長で示す。
2. （　）内寸法は水平長を示す。
3. 下図の○印は支柱位置を示し、＋印は橋梁継手位置を示す。
4. 本防護柵は全て直物にて制作とする。



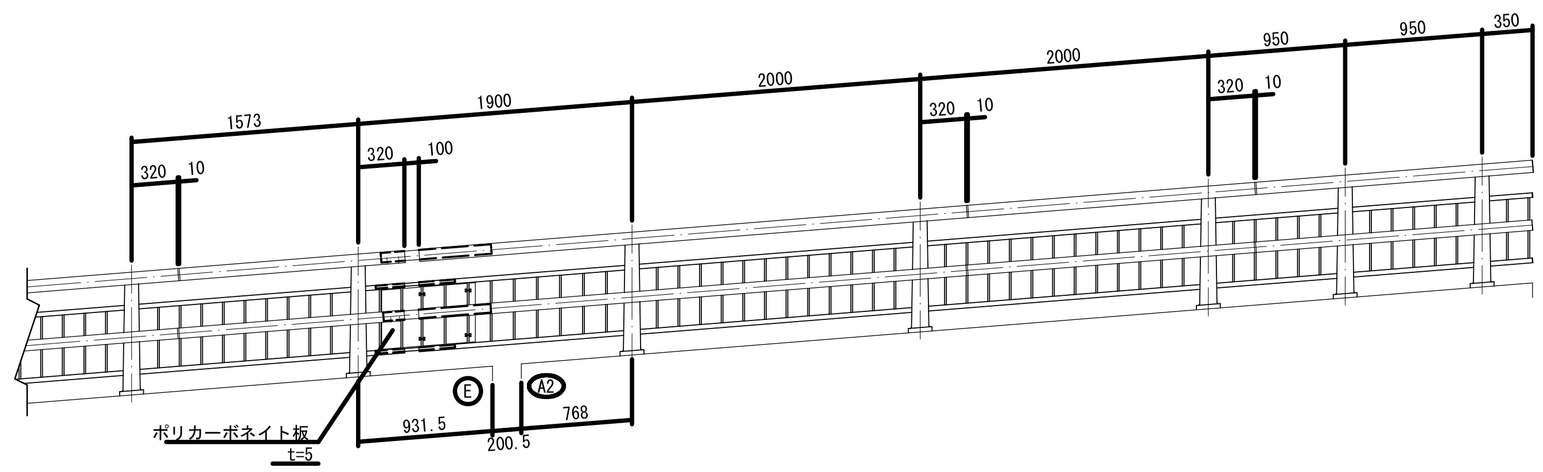
姿　図　S=1/30

防護柵総延長　129M 317

A-A



B-B



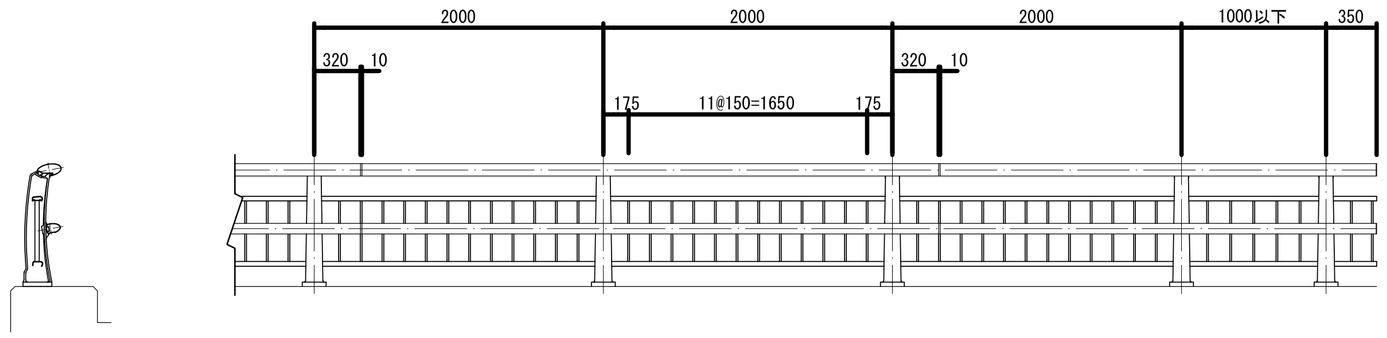
防護柵詳細図(その2)

材　料　表

(12M当たり)

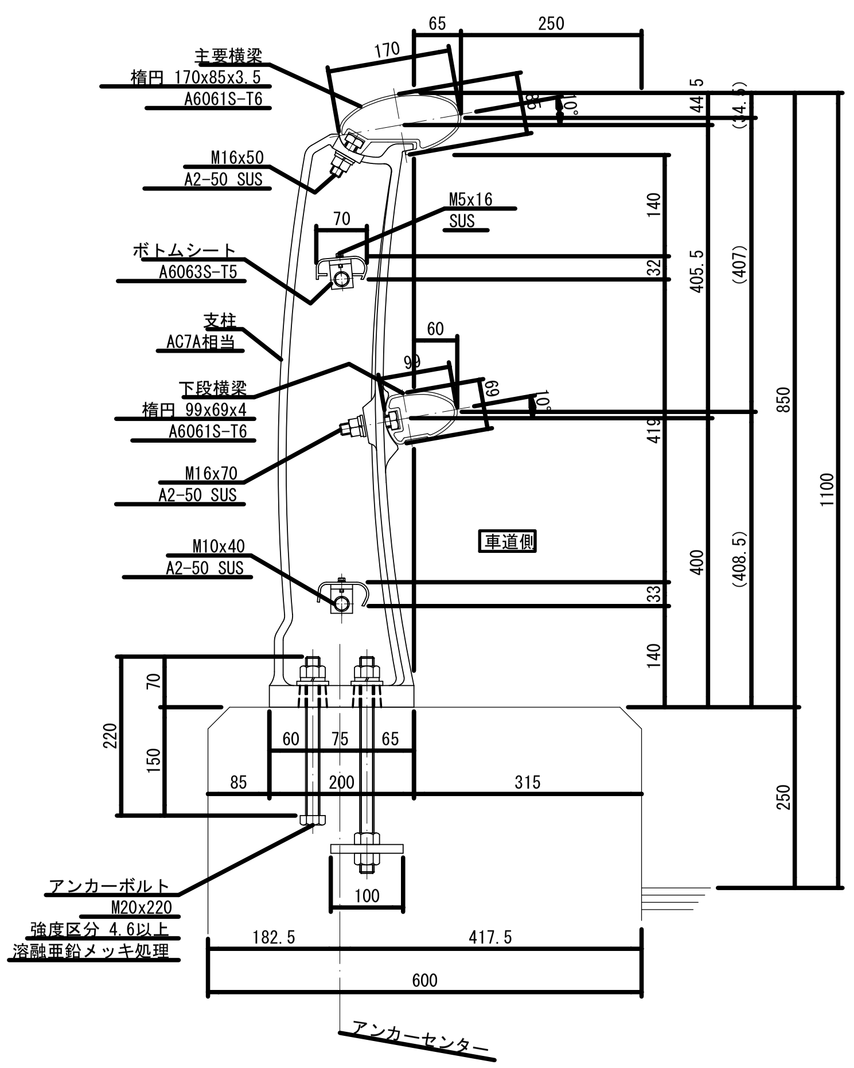
部番	名　称	寸　度	数 量	単　重	1本当	総重量	材　質	備　考
1	主要横梁	3990.0	3	4.891	19.52	58.6	A6061S-T6	170x85x3.5
2	下段横梁	3990.0	3	3.364	13.42	40.3	A6061S-T6	99x69x4
3	支柱		6		10.02	60.1	AC7A相当	
4	主要スリーブ	340.0	3	4.667	1.59	4.8	A6061S-T6	
5	下段スリーブ	300.0	3	3.195	0.96	2.9	A6061S-T6	
6	ボトムレールA	1940.0	6	1.145	2.22	13.3	A6063S-T5	70x32
7	ボトムレールB	1880.0	6	0.461	0.87	5.2	A6063S-T5	57x3
8	ボトムレールC	1940.0	6	0.929	1.80	10.8	A6063S-T5	70x32
9	バラスター	421.0	72	0.369	0.16	11.5	A6063S-T5	30x12
10	ボトムシート	30.0	24	1.171	0.04	1.0	A6063S-T5	L-47x40
11	甲丸ボルト	M16x35	12		0.11	1.3	A2-70 SUS	W1,SW1
12	〃	M12x30	12		0.05	0.6	A2-70 SUS	W1,SW1
13	六角ボルト	M16x50	12		0.17	2.0	A2-50 SUS	N1,W1,SW1
14	〃	M16x70	12		0.20	2.4	A2-50 SUS	N1,W1,SW1
15	〃	M10x40	12		0.06	0.7	A2-50 SUS	N1,W2,SW1
16	〃	M5x16	24		0.004	0.1	SUS	W1,SW1
17	トラスタッピンネジ	M4x20	288		0.002	0.6	SUS	
18	〃	M4x16	48		0.002	0.1	SUS	
19	アンカーボルト	M20x300	12		0.89	10.7	SCM435	N3,HW1,SW1
20	〃	M20x220	12		0.68	8.2	強度区分4.6以上	N1,HW1,SW1
21	アンカープレート	t=12	6		1.88	11.3	SS400	100x200x12
					総重量	246.5	Kg/12M	
					M当り	20.5	Kg/M (端部は除く)	

姿　図　S=1/30

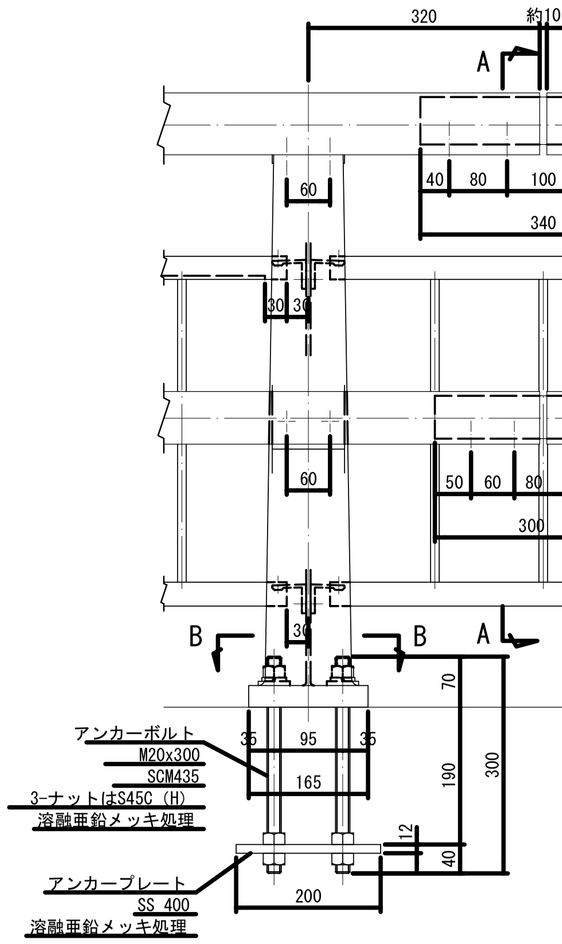


高欄兼用
車両防護柵取付詳細図　S=1/6

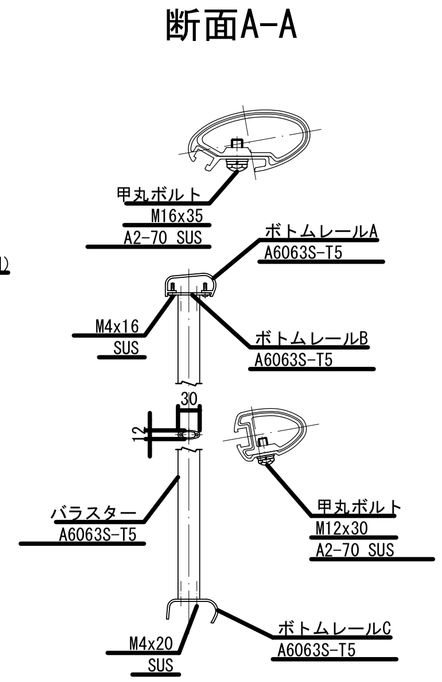
種別 C種



継手部

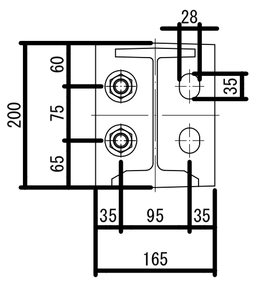


端　部



断面A-A

断面B-B



注記　1. 表面仕様
主要横梁、下段横梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、
支柱は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー及びシルバー色の時を除き着色処理とし、
色調は別途打合せとする。
2. 本防護柵の設計仕様は、（社）日本アルミニウム協会　土木製品開発委員会作成
「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」（平成22年10月）による。
3. 本防護柵の支柱は、レベル用を示し、0～2.5%勾配に使用とする。
5%用は2.5%～7.5%勾配に使用とする。

コンクリート強度 σck=21N/mm^{2}以上

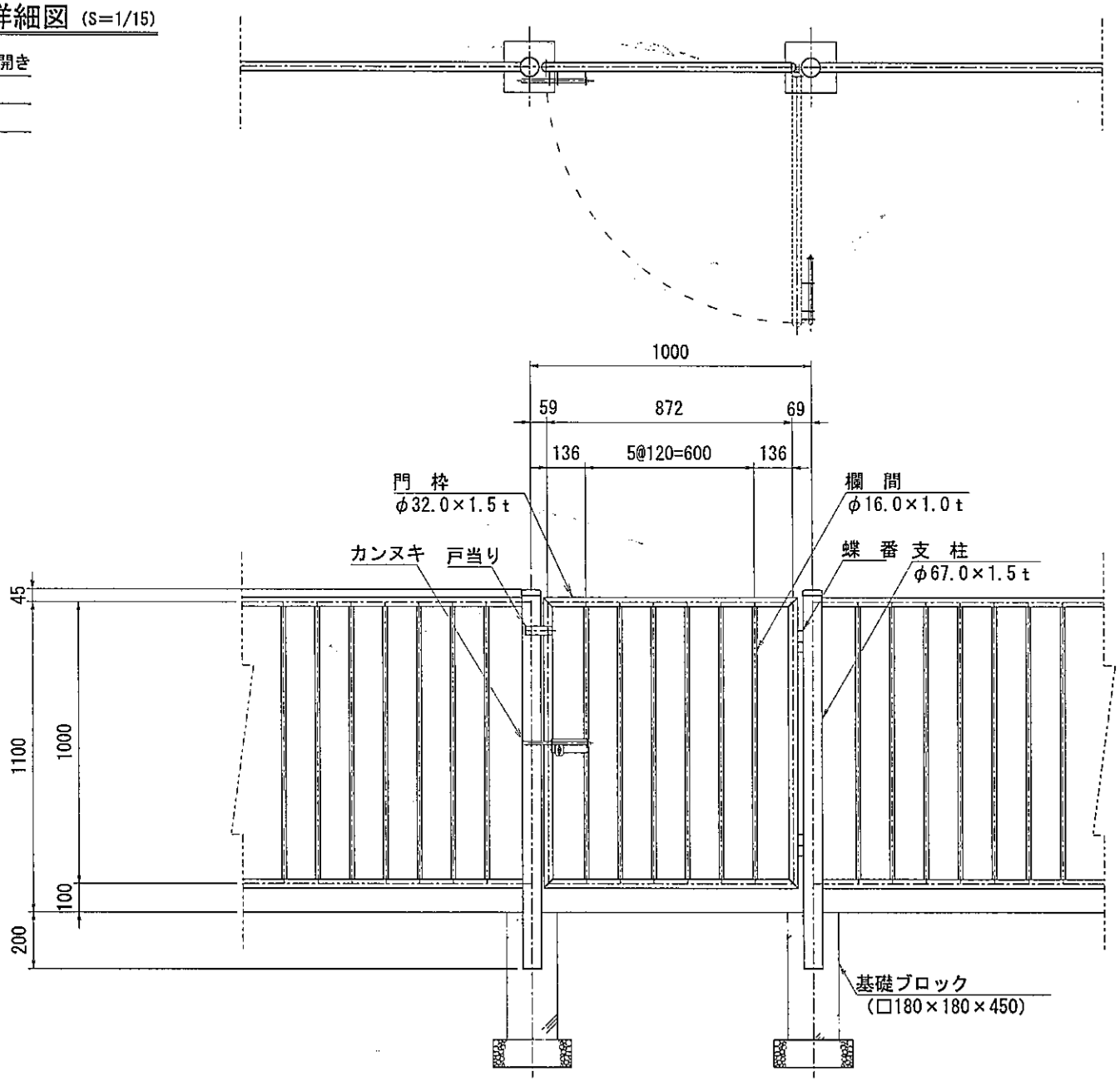
NAS-SF-101(H110) 片開き

片開き門扉 取付詳細図 (S=1/15)

型式：NAS-SF-101 (H110) 片開き

材質：~~SUS304~~ 鋼製

仕上：バフ研磨#400



ナスエンジニアリング株式会社

5分速硬化型エポキシ樹脂系接着剤

ボンド クイックメンダー 〔2液等量混合型〕

ボンド クイックメンダーは、エポキシ樹脂を主成分とする2液等量混合型の速硬化型接着・充てん剤です。広範囲の硬質材を強力に接着する汎用型で、各種機械器具や家具、建具、各種構造物等の緊急補修、接着・充てんなどにすぐれた威力を発揮します。

JAIA-002397　F☆☆☆☆
JAIA-400968　4VOC基準適合

■用　途

- **●金属製機械や器具類の緊急接着補修、ひび割れの充てん補修**
- **●キャスティング時における大・小の穴埋め**
- **●建築工事全般における緊急接着工事**
  モザイクタイルやガラス装飾品､照明器具類の接着･補修。ステンレスやアルミ建材の接着。大理石、テラゾー、レンガ、ブロック、木レンガ、ノンスリップ、スレート、アンカーピンなどの接着
- **●電気機器に**
  各種部品の絶縁接着。マグネットとフレームボビン、ダストコア、モーターコアなどの接着
- **●木工関係**
  ダボ・ホゾなどの接着や各種応急補修に
- **●工芸品・装飾品の接着**
- **●高速道路・鉄道などの緊急補修**
- **●家具・床タイル、床材、壁材などの接着・補修**
- **●コンクリートひび割れ注入時の目詰めシール、注入用座金の接着**

※アクリル、ABS、硬質塩化ビニルにはボンド プライマー 80を使用してください。
※ポリエチレン、ポリプロピレン、軟質塩化ビニル、ナイロン、シリコーン樹脂、フッ素樹脂、ゴム、皮革には適しません。
※常時水がかかる箇所や、接着後水中浸せきする用途には適しません。

■特　長

速　硬　化：混合後、5分で硬化を開始し15分でほぼ硬化、60分で実用強度に達します。
完全硬化は約12時間です。(20℃の場合)
接　着　性：広範囲の硬質材に優れた接着性を発揮します。
充てん接着可能：溶剤を含まないため、硬化後の体積収縮がほとんどなく、充てん接着ができます。
作　業　性：使いやすい等量混合型で、壁面でもダレがほとんどありません。

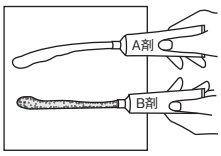
■性　状

項　目	A 剤(主　剤)	B 剤(硬　化　剤)
主　成　分	エポキシ樹脂	ポリチオール 三級アミン
外　観	白色ペースト状	黒色ペースト状
混　合　粘　度	約200Pa・s［23℃］	
混　合　比	主剤：硬化剤＝ 1：1 (質量比)	
比　重	1.50±0.05	
可　使　時　間	約4分(20℃、20g)	

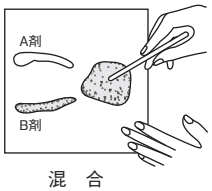
※数値は規格値ではありません。

■使用方法

①接着面の汚れ、サビ、油分などを取り除き、よく乾燥させてください。
②A剤およびB剤から必要量だけ等量(1：1)で取り出し、ヘラなどで充分に混合してください。



取り出し



混　合

一度に混合する量は、可使時間以内に使いきれる量にしてください。
③接着面に充分に塗布し、すぐにはり合わせてください。凹凸面やすき間の多い箇所の接着には両面に塗布します。なお、すき間の充てんには、接着剤を奥まで充分に押し込んでください。作業は可使時間内に完了してください。多量に使用する場合は、混合しやすいヘラなどを使いすばやく混合してください。
④はり合わせた後は、動かないように治具や圧締具などで最低固定時間以上固定してください。

鋼板同士の引張せん断接着強さにおける目安

項　目	冬(5℃)	春・秋(20℃)	夏(30℃)
可　使　時　間	15分以内	4分以内	3分以内
最低固定時間	60分以上	15分以上	10分以上
3N/mm²に達する時間	約3時間	約60分	約60分
10N/mm²に達する時間	約3日	約6時間	約6時間

※一度に多量に混合すると、大量発熱して時間が短くなります。

■技術データ

各種材質に対する引張せん断接着強さ(測定値例)

被着材	表面処理	接着強さ(N/mm²)
鋼ー鋼 (SS400)	サンドブラスト(A-120)	25.4
	なし	7.1
ステンレスーステンレス (SUS304)	サンドブラスト(A-120)	22.1
	なし	4.6
アルミニウムーアルミニウム (A1050P)	サンドブラスト(A-120)	10.5
	なし	3.2
硬質塩ビー硬質塩ビ	プライマー80	3.4
ABS ー ABS	プライマー80	5.1＊
ポリカーボネートーポリカーボネート	サンドペーパー(A-120)	1.5

※養生：23±1℃、7日間
試験方法：JIS K 6850に準拠
＊は材料破壊を示す

■梱包容量

●ボンド クイックメンダー：
1kgセット(主剤：500g、硬化剤：500g)
‥‥ 6セット/1ケース
●ボンド クイックメンダー：
500gセット(主剤：250g、硬化剤：250g)
‥‥10セット/1ケース

■警　告

健康に有害な物質を含有しています。かぶれやすい物質です。

■注意事項

本品は皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれ、中毒やその他の健康障害を起こす恐れがあります。下記の注意事項を守って取り扱ってください。

●所定の用途以外には使用しない。●作業場所は充分に換気する。●取り扱い中は皮フにふれないように注意し、保護具を着用する。●取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。●作業衣などに付着した場合は、すみやかにその汚れをよく落とす。●皮フに付着した場合はすみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とす。痛みや外観に変化がある場合には医師の診察を受ける。●蒸気などを吸い気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にする。必要に応じ医師の診察を受ける。●眼に入った場合は多量の水で洗い、必要に応じ医師の診察を受ける。●保管条件：2～40℃。開封後はすみやかに使いきる。●廃液は法令に従って処理すること。

※使用にあたっては、製品安全データシート(MSDS)をお読みください。
※本品は使用方法・使用条件によって本来の性能を発揮できない場合があります。事前に目的の用途に適合するか必ず確認の上、ご使用ください。
※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいますようお願いいたします。(記載の性状等は2011年2月現在のものです。不明の点はお問い合わせ願います。)

国際単位系(SI)による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa・s、1kgf・cm=9.8×10⁻²J、1MPa= 1N/mm²です。1N/mm²は約10.2kgf/cm²に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社 http://www.bond.co.jp/
大阪本社／〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1(北浜TNKビル) TEL06(6228)2961
東京本社／〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア) TEL03(5259)5737
名古屋支店 TEL052(262)8173　仙台営業所 TEL022(211)5031　南関東営業所 TEL045(663)3184　広島営業所 TEL082(507)1911
福岡支店 TEL092(551)1764　北関東営業所 TEL027(324)3002　金沢営業所 TEL076(223)1565　高松営業所 TEL087(835)2020
札幌支店 TEL011(731)0351

NテE01-11
クイックメンダー
1997.11. 8000(O)30-FD
2009. 9. 7000(T)19-FD
2011. 2.10000(T)15-FD

● はく落防止工法

ハイブリッドシート工法

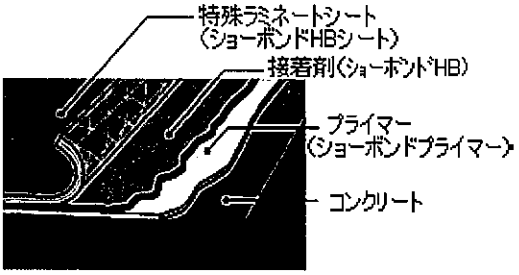
① ハイブリッドシート工法とは

ハイブリッドシート工法は、コンクリートのはく落防止工法の1つです。はく落防止性能に優れた3軸ビニロンメッシュを織り込んだ、特殊ラミネートシート（ショーボンドHBシート）を「貼るだけ」で、耐候性に優れたはく落防止工が施工できます。

高品質で均一な施工ができ、工期短縮にもつながる、優れた工法です。

② 主な特長

ハイブリッドシート工法は以下の特長を有しています。

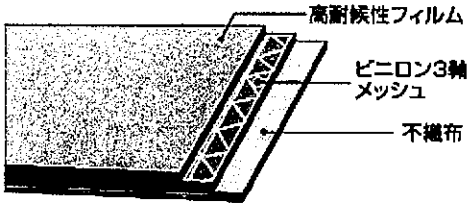


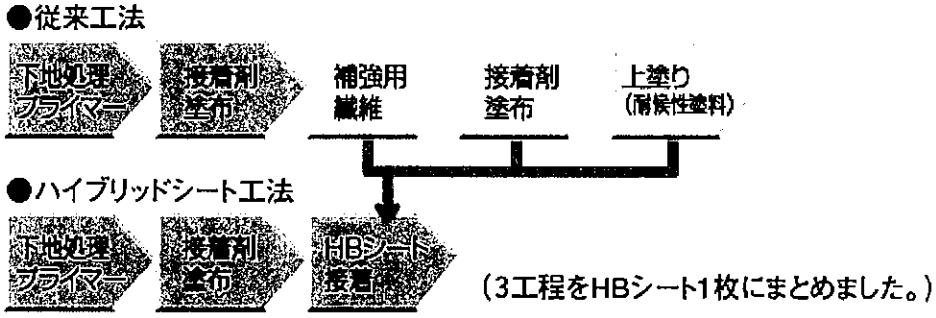
1. コンクリート片のはく落対策工法です。
   優れたはく落防止性能を有し、現場施工日数が短縮できる工法です。
2. 劣化（塩害・中性化）対策もできます。
   コンクリート保護塗装と同じように、塩害や中性化の抑制性能を併せ持った工法です。
3. はがさずに、そのまま重ねて補強できます。
   将来、鋼板接着やCFRP接着で補強するときに、当初施工が無駄になりません。
4. 工期短縮…従来工法と比べ、交通規制日数が約半分になります。
   道路上で交通規制を行う跨道橋、高架橋など、迅速施工が求められる箇所で威力を発揮します。

③ HBシートの構造・特徴

コンクリート表面にHBシートを接着剤で貼る工法です。

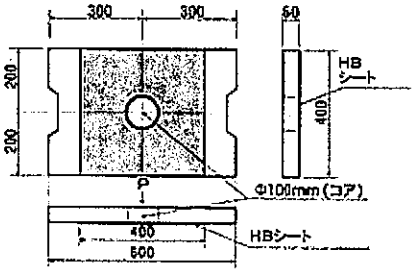
HBシートは、コンクリートのはく落防止機能を備え、耐候性に優れた特殊ラミネートシートです。従来工法の工程を凝縮したシートなので、現場での施工が早くて品質が安定します。

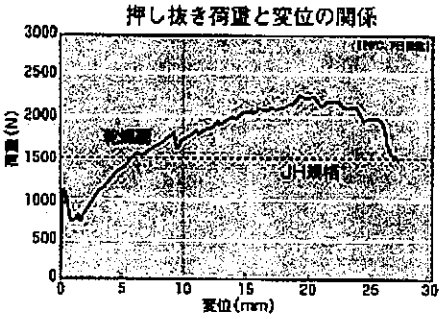




④ 試験結果など

押し抜き試験の結果から、ハイブリッドシート工法の優れたはく落防止効果が確認されています。





また、技術審査証明(第0014号)により、以下の性能を有していることが証明されました。

1. 目標とした、コンクリート片のはく落防止性能を有している。
2. 目標とした、コンクリート構造物への劣化因子侵入抑制性能を有している。
3. 目標とした、耐久性能を有している。
4. 目標とした、再補修性能を有している。
5. 目標とした、工期の短縮が図れる。

■開発目標

(1) コンクリートのはく落防止性能
- 荷重:変位10mm以上で1.5kN以上(押抜き試験)
- 伸び:0.6mm以上(ひび割れ追従性試験)

(2)劣化因子侵入抑制性能
- 塩化物イオン透過量:0.005mg/cm²・日以下
- 酸素透過量:5.0×10^{-2}mg/cm²・日以下
- 水蒸気透過量:5.0mg/cm²・日以下
- 中性化深さ:1mm以下(中性化阻止性試験)

(3) 耐久性能
・促進耐候性試験2000時間後の付着強さ:1．5N／mm²以上であり、3000時間後に外観変状がないこと
・耐アルカリ性試験後の付着強さ ： 1．5N／mm²以上であり、外観変状がないこと
・凍結融解試験300サイクル後の相対動弾性係数 ： 60%以上

(4) 再補修性能
・部分破損した場合、その箇所に再度ラミネートシートを重ね貼りすることにより、破損前と同等の性能に回復できること

(5) 工期短縮
・ 現場積層型と比較して、現場作業の工程数を概ね半減し、工期の短縮が図れること

⑤ 使用材料

ハイブリッドシート工法で使用する材料は以下のとおりです。

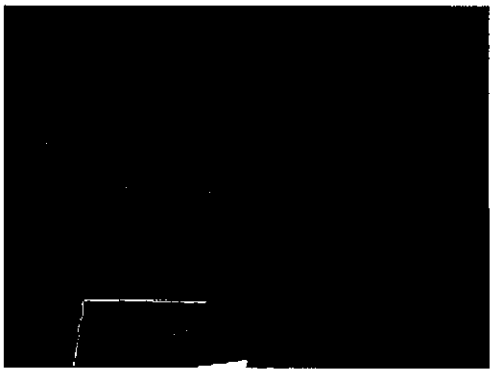
・ショーボンドHBシート
・ショーボンドHBプライマー
・ショーボンドHB

⑥ 施工実績

本工法は、多くの実績を持ち、信頼性の高い工法です。

☐10件未満　☐10～100件　☑100～1000件　☐1000件以上

⑦ 写真など



⑧ お問い合わせ

ハイブリッドシート工法は、国土交通省新技術情報提供システム(NETIS)に登録されています(TH-010017-V)。
ハイブリッドシート工法は、技術審査証明を取得しました。(道路保全技術センター:第0014号)
ハイブリッドシート工法に関するお問い合わせは、弊社各営業所までお願いします。

SHO-BOND

製品説明書

ショーボンド　ネオプライマー

C06070

系　　統　　２液溶剤型エポキシ樹脂系プライマー

特　　長　　1）浸透性に優れ、コンクリート表面を強固にする。
2）湿潤コンクリート、亜鉛めっき鋼板との付着性に優れる。
3）耐水、耐アルカリ性に優れる。

用　　途　　1）コンクリート保護工法用プライマー

配　合　比　　主　剤：硬化剤　＝　１：１（重量比）

荷　　姿　　１０kgセット（主剤／５．００kg、硬化剤／５．００kg）

外観性状　　主　剤…無色透明液状
硬化剤…淡褐色液状
混合物…淡褐色液状

可使時間
塗装間隔

温　　度［℃］		５	１０	２０	３０
可使時間［時間］		１０	８	６	４
塗装間隔	最短［時間］	８	６	２	１
	最長［日］	７	７	７	７

比　　重　　１．００±０．１０　（液比重）

標準塗布量　　０．１kg／㎡

貯蔵保証期間　　１２か月（未使用、冷暗所保存）

消防法による区分　　主　剤　危険物　第４類　第１石油類
硬化剤　危険物　第４類　第１石油類

日本接着剤工業会ノンホルムアルデヒド製品登録　　ＪＡＩＡ－００２９０５　Ｆ☆☆☆☆

使用方法　　1）セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。
2）均一になるまで混合撹拌する。
3）刷毛、ローラー等で塗布する。

使用上の注意　　1）接着面の表面処理を十分に行う。（レイタンス、汚れ、水分の除去）
2）原則として気温５℃以下、湿度８５％以上、雨天時、結露時の塗装は避ける。
3）可使時間内に塗装作業を終了する。
4）換気のよい場所で取り扱い、火気厳禁とする。
5）容器はその都度密栓する。

⚠ 注　意

1．健康上、注意を要する物質を含有しています。
2．皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
3．取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
4．詳細については製品安全データシート（ＭＳＤＳ）を参照してください。

SHO-BOND

製品説明書

ショーボンド　ＨＢプライマー

C06070

系　　統　　２液無溶剤型エポキシ樹脂系プライマー

特　　長　　1）コンクリート湿潤面や鋼材に対する接着性に優れている。
2）極めて粘度が低く、微細なひび割れ（０．２㎜以下）への含浸性に優れている。

用　　途　　1）旧日本道路公団、構造物施工管理要領「はく落防止性能の照査基準」適合
ハイブリッドシート工法用プライマー

配　合　比　　主　剤：硬化剤　＝　２：１　（重量比）

荷　　姿　　１kgセット　（主剤／０．６７kg、硬化剤／０．３３kg）
１０kgセット　（主剤／６．６７kg、硬化剤／３．３３kg）

外観性状　　主　剤…無色透明液状
硬化剤…淡黄色透明液状
混合物…淡黄色透明液状

可使時間

タイプ	通年用			
温度［℃］	５	１０	２０	３０
可使時間［分］	２１０	１４０	６０	４０

比　　重　　１．１５　（硬化物）

標準塗布量　　０．１５kg／㎡（刷毛、ローラー）

貯蔵保証期間　　１２か月　（未使用、冷暗所保存）

消防法による区分　　主　剤　危険物　第４類　第３石油類
硬化剤　危険物　第４類　第３石油類

使用方法　　1）セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。
2）主剤、硬化剤を撹拌機で均一になるまで十分に混合撹拌する。
3）刷毛、ローラーで塗布する。

使用上の注意　　1）接着面の表面処理を十分に行う（レイタンス、汚れ、水分の除去）
2）主剤と硬化剤の混合撹拌時、空気を巻き込まないように、低速で撹拌を行う。
3）可使時間内に作業を終了する。
4）シンナーや水を混入して使用しない。

⚠ 注　意

1．健康上、注意を要する物質を含有しています。
2．皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
3．取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
4．詳細については製品安全データシート（ＭＳＤＳ）を参照してください。

SHO-BOND

製品説明書

ショーボンド　HB

C09030

系　　統　　２液型エポキシ樹脂系接着剤

特　　長　　1）適度な揺変性を有し、作業性に優れる。
2）HBシート、HBテープの含浸接着性に優れる。

用　　途　　1）旧日本道路公団、構造物施工管理要領「はく落防止性能の照査基準」適合
ハイブリッドシート工法に使用する接着剤
2）社団法人 日本鉄道施設協会「東海道新幹線鉄筋コンクリート構造物、コンクリート保護材」A種、C種適合 ハイブリッドシート工法に使用する接着剤
3）HBテープに使用する接着剤

配　合　比　　主　剤：硬化剤　＝　３：１　（重量比）

荷　　姿　　３kgセット　（主剤／２．２５kg、硬化剤／０．７５kg）
１０kgセット　（主剤／７．５０kg、硬化剤／２．５０kg）

外観性状　　主　剤…白色グリース状
硬化剤…黒色グリース状
混合物…灰色グリース状

可使時間

タ　イ　プ	冬　用（W）		夏　用（S）	
温　　度　[℃]	5	15	20	30
可使時間　[分]	100	40	60	20

比　　重　　１．１５　（硬化物）

標準使用量　　１．０kg/㎡

貯蔵保証期間　　１２か月（未使用、冷暗所保存）

消防法による区分　　主　剤　指定可燃物　合成樹脂類（その他のもの）
硬化剤　指定可燃物　合成樹脂類（その他のもの）

使用方法　　1）セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。
2）主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合撹拌する。
3）ハイブリッドシート工法の施工マニュアルを熟読し、施工する。

使用上の注意　　1）接着面の表面処理を十分に行う。（レイタンス、汚れ、水分の除去）
2）グリース状なので、混合むらがないように十分に混合撹拌する。
3）可使時間内に作業を終了する。
4）シンナーや水を混入して使用しない。
5）ハイブリッドシート工法では、貼り付け１回当たりの必要量を確認すると同時に、可使時間内に、含浸・接着作業を終了する。

⚠ 注　意

1．健康上、注意を要する物質を含有しています。
2．皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
3．取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
4．詳細については製品安全データシート（MSDS）を参照してください。

製品規格表

製品名　ショーボンド　ＨＢシート

試験項目	試験方法	試験条件	単位	規格値
外観	目視	２０℃	—	きず、剥がれ、変色のないこと
質量	JIS L1096	２０℃	g／m²	150 以上
引張強さ	JIS L1096	２０℃ *	N／25mm	200 以上

＊　試験片 25mm 幅の中央に補強繊維１本を含む

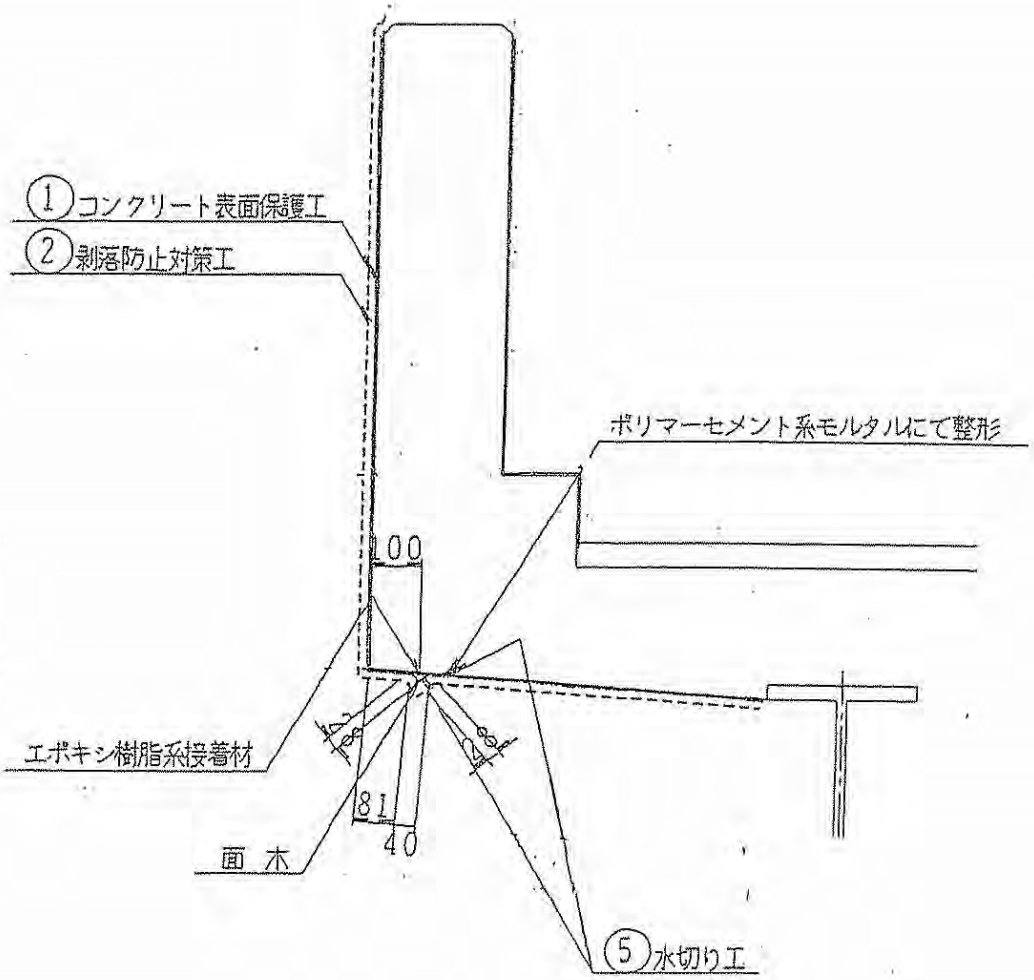
製品規格表

製品名　ショーボンド　ＨＢシート（Ｊタイプ）

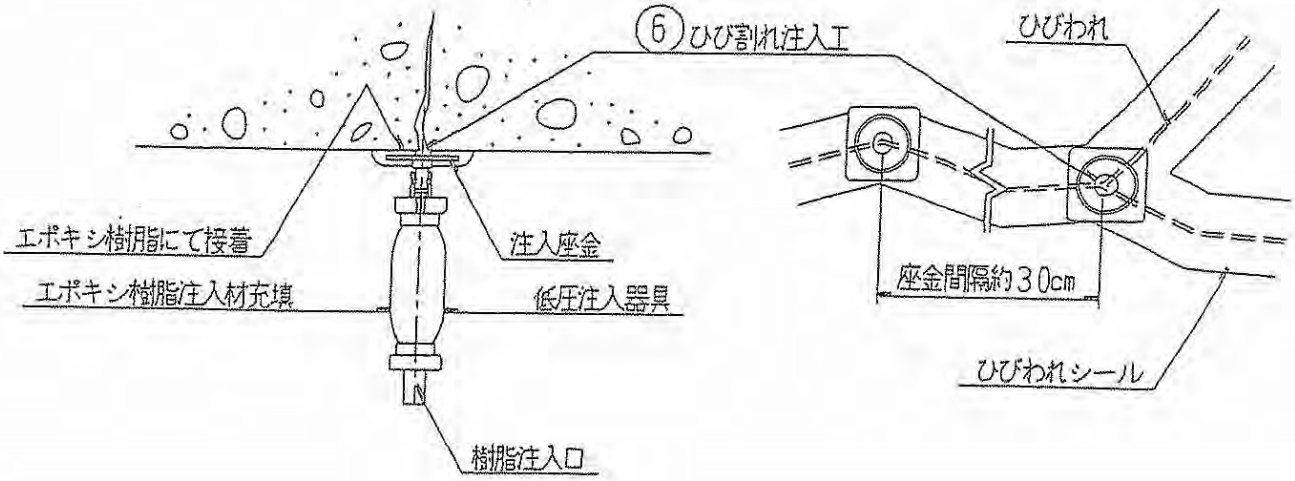
試験項目	試験方法	試験条件	単位	規格値
外観	目視	２０℃	—	きず、しわ、剥がれ、変色のないこと
質量	JIS L1096	２０℃ *1	g／m²	165 以上
引張強さ	JIS L1096	２０℃ *2	N／15mm	300 以上

*1　保護フィルムを含まない
*2　試験片 15mm 幅の中央に補強繊維２本を含む

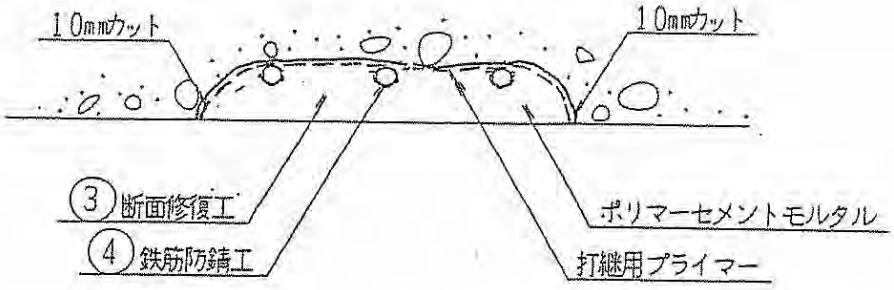
コンクリート剥落防止対策工の種別（工法概要図）



ひびわれ注入詳細図

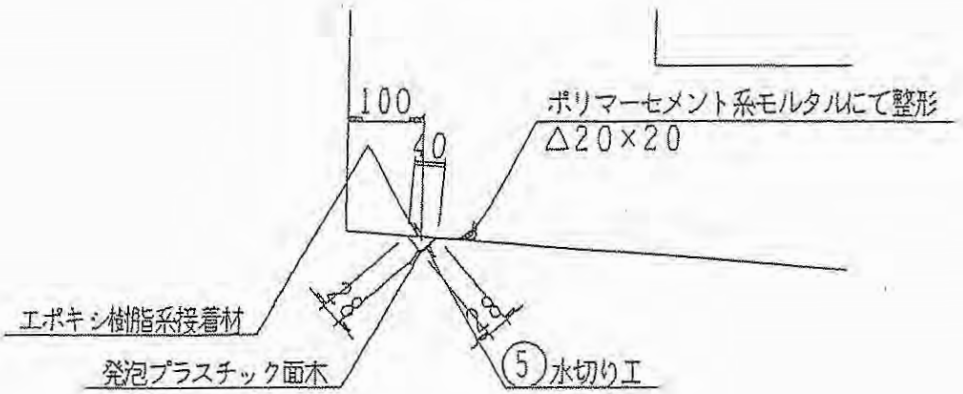


断面復旧工詳細図



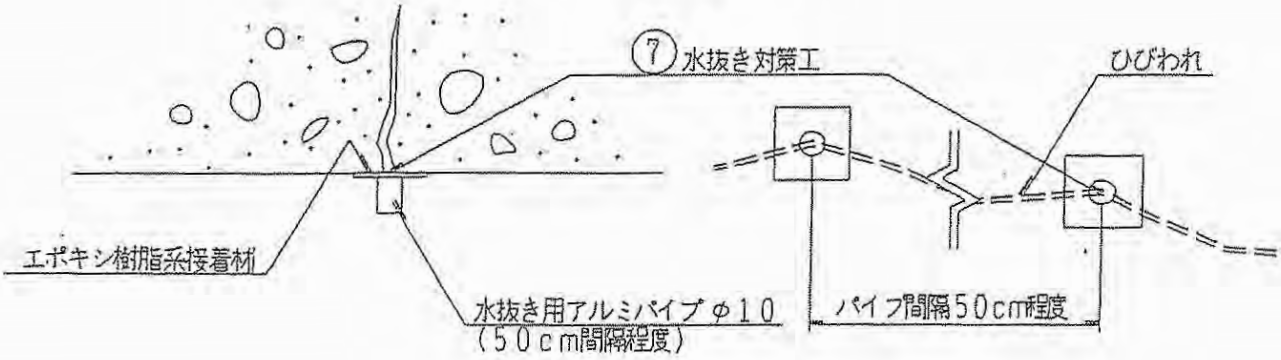
注）1 既設鉄筋は下地処理後、防錆材を塗布すること。
2 既設と補修境界部に10mm深さのカッターを入れること。

水切り工詳細図

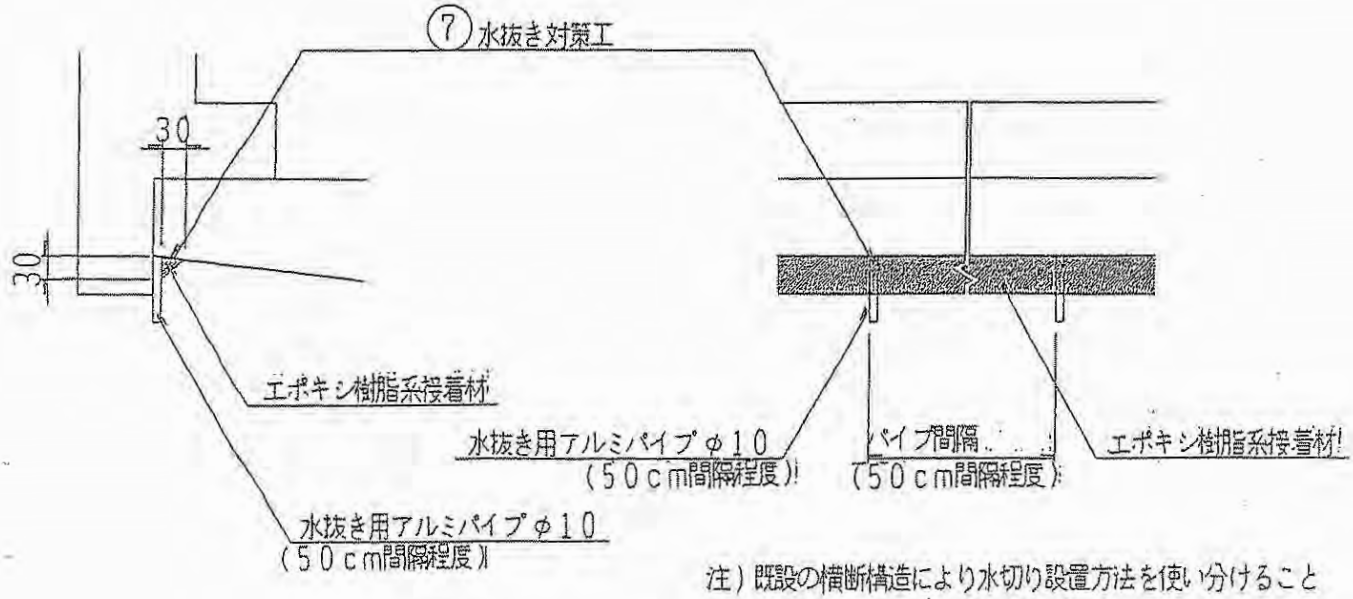


水抜きパイプ設置詳細図

（漏水を伴うひび割れや打ち継ぎ目部）



（既設の水切り部に沿って水抜きパイプを設置する場合）



注）既設の横断構造により水切り設置方法を使い分けること

ニュース リリース　大日本塗料株式会社

無機系はく落防止システム
「レジガードMHシステム」発売

－2004年4月5日リリース－

（レジガードMHシステム各製品の機能と特長）

（用　途）

（お問い合わせ）

前田工繊

工 法

コンクリート剥落防止対策工法

FF-VSE 工法

工法概要　　お問い合わせ

نج

Feature 工法概要

概要

ك ت

طه

施工手順

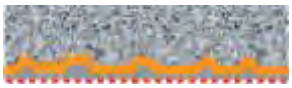
ؤ

لج لج طهي

لأ

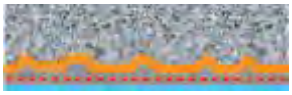
ث لجج ة

ة



ت

تث



特長

لأ

ط ذ ئو

تث طه بن

応用範囲

ه ـ ـ

لح

Materials 主要使用資材

FFシート（ビニロンメッシュシート）品番/規格

FFシート (ビニロンシート)					تخ	

FFプライマー（プライマー工使用材料）

		ذ			
FFプライマー		تخ	تخ	ذ	

FFダイン（エポキシ系樹脂）品番/規格

FFダイン		ث خ	ث خ	ث خ	ذ	

FFトップ（仕上工使用材料）品番/規格

FFトップ				ذ	

標準使用量

				و
プライマー工				
不陸調整兼シート貼付工	ز			
	ث			
仕上げ工				

ز ث لج

و

Specifications 規格・特性

FF-VSE工法性能

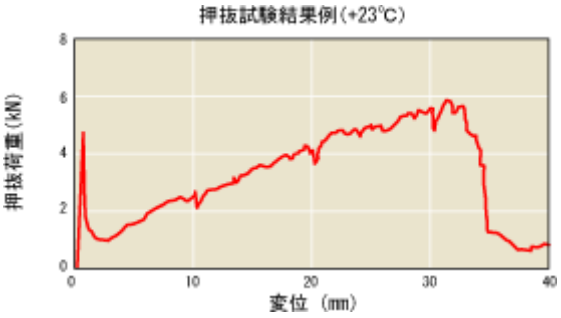
		تج لأ ى		ثم	
剥落防止性能（押抜試験結果）	試験温度 -30℃			ث خ	
		چ			
	試験温度 +23℃				
		چ			
	試験温度 +50℃				
		چ			
プライマーひび割れ含浸性能	試験温度 +23℃	تج لأ ى		خ ث	
		تج لأ ى			

			لأ ى تج		ثم	
			لأ ى تج			
耐久性能	付着強度	試験温度 -30℃			ثم ه كا	
		試験温度 +23℃				
		試験温度 +50℃				
	ひび割れ抵抗性	試験温度 -30℃				
		試験温度 +23℃				
		試験温度 +50℃				
	塩化物イオン透過性	試験温度 +23℃			ز خ	

ثم ه كا

押抜試験結果

ز



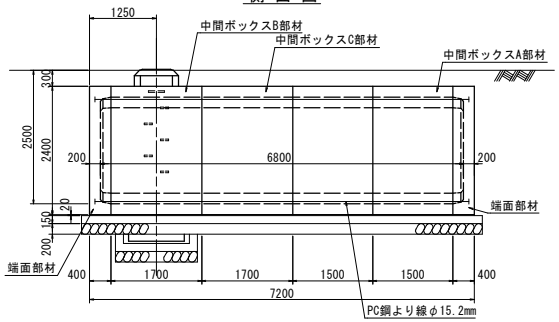
Copyright © Maeda Kosen Co., Ltd. All rights reserved.

防火水槽構造図

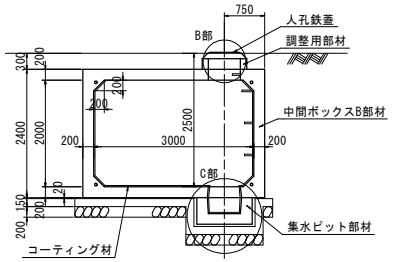
組立図

S=1：50

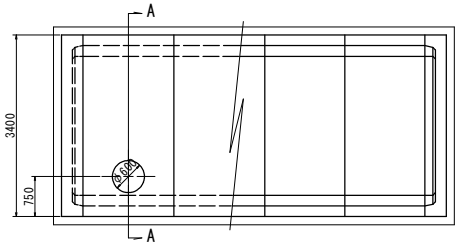
側面図



A-A 断面図



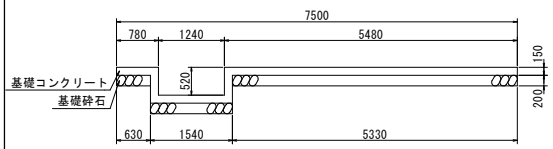
平面図



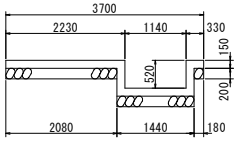
基礎図

S=1：50

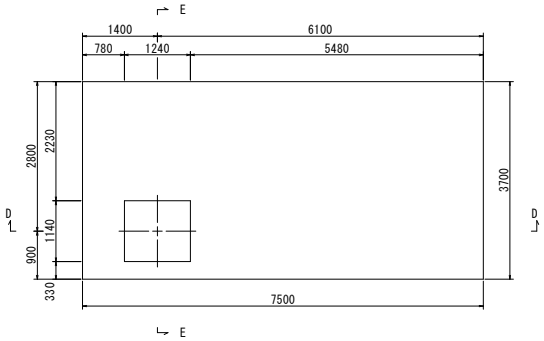
D-D 断面図



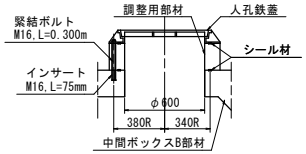
E-E 断面図



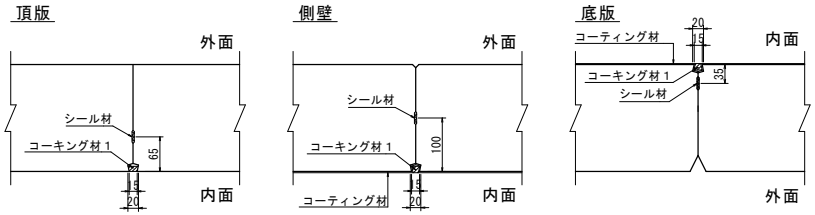
基礎平面図



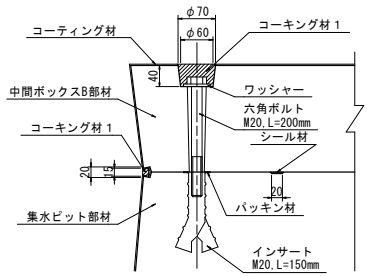
B部詳細図 S=1:20



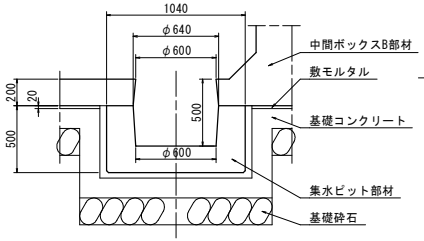
継手部詳細図 S=1:5



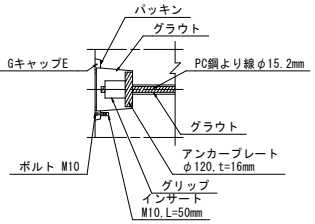
集水ピット連結部詳細図 S=1:5



C部詳細図 S=1:20



PC鋼より線定着部詳細図 S=1:10



[redacted]

止水仕様(防水工)材料表

	種別		算式	数量
本体	コーティング材		(2.60+2x1.60+4√2x0.20)x(6.40+2x0.20) + (3.00x2.00-4x0.20^2/2)x2 +0.60xπx0.50x 1 + (2.60+2x1.60+4√2x0.20)x 5x(0.0454-0.015) +0.60xπx 1x(0.0454-0.015)	61.0m2
	コーキング材1		(2x2.60+2x1.60+4√2x0.20) x 5+0.64xπx 1	49.7m
	シール材	中間ボックス、端面部材	(2x2.80+2x1.70+2xπx0.2)x5	51.3m
		集水ピット部材	(4x0.84+0.2)x 1	3.6m
		調整用部材	(2xπx0.34+0.2)x 2x 1	4.7m
集水ピット連結部	コーキング材1		0.04/3x(πx0.07^2/4+πx0.06^2/4+ √πx0.07^2/4xπx0.06^2/4) x 4	0.001m3
	パッキン材		——	4ケ

基礎数量表

種別	算式	数量	備考
基礎コンクリート	(7.50x3.70+(1.24+1.14+2x0.15)x0.52x2)x0.15	4.581m3	σck=18.0 N/mm2
基礎型枠	2x(7.50+3.70)x0.15+(4x(1.24+1.14)+8x0.15)x0.52	8.934m2	
基礎砕石	7.50x3.70	27.750m2	t=0.20m
敷モルタル	(7.20x3.40-1.24x1.14)x0.02	0.461m3	

防火水槽明細書

型式番号	耐-00001-1号		
型式記号	T40-Ⅰ-A-0.0/1.0		
容量	40.16m3		
設計荷重	10.0 kN/m2		
設置場所	Ⅰ型		
土被り厚	0.300 m		
形状	横置ボックスカルバート型		
材料	規格または算式	数量	備考
中間ボックスA部材	3.4m x 2.4m x 1.5m	2 個	
中間ボックスB部材	3.4m x 2.4m x 1.7m	1 個	
中間ボックスC部材	3.4m x 2.4m x 1.7m	1 個	
端面部材	3.4m x 2.4m x 0.4m	2 個	
集水ピット部材	PH500(1.04m x 1.04m x 0.50m)	1 個	
調整用部材	φ0.83m, RH200	1 個	
PC鋼より線	φ15.2mm, L= 7.8m	4 本	SWPR7B
定着具	アンカープレート, グリップ	8 組	端面部材用
グラウト	0.12/3xπx(0.08^2+0.08x0.07+0.07^2)x8 +0.02xπx0.08^2x8+6.920xπ/4x0.035^2x4	0.047 m3	σck=30 N/mm2
緊結ボルト	M16,L=0.300m(ナット, 座金付)	3 組	
人孔鉄蓋	φ600	1 組	
六角ボルト	M20,L=200mm(ワッシャー付)	4 組	
Gキャップ E	-	8 組	

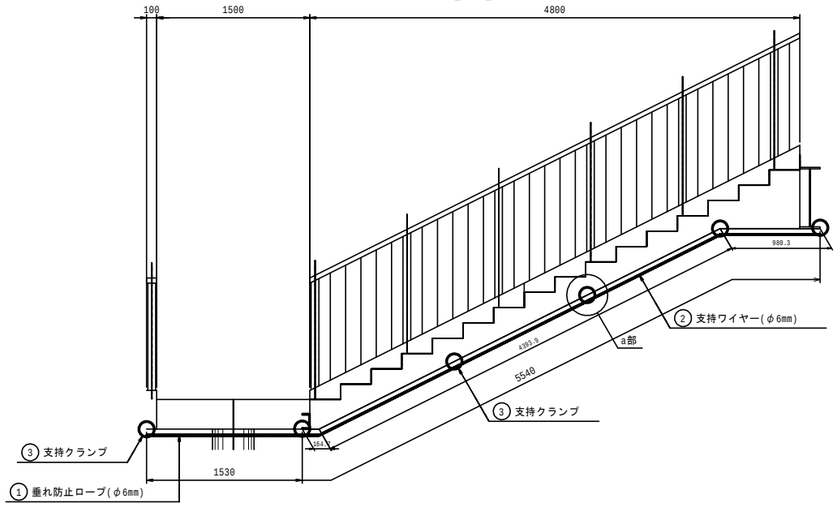
※内面防水は、コーティング仕様とする。

※日本消防設備安全センターの認定品である。

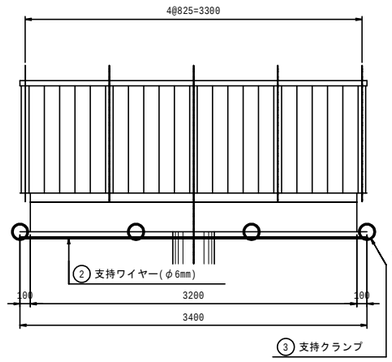
剥落防止ネット工計画図

断面図　S=1:30

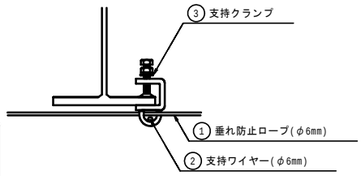
1 - 1



3 - 3



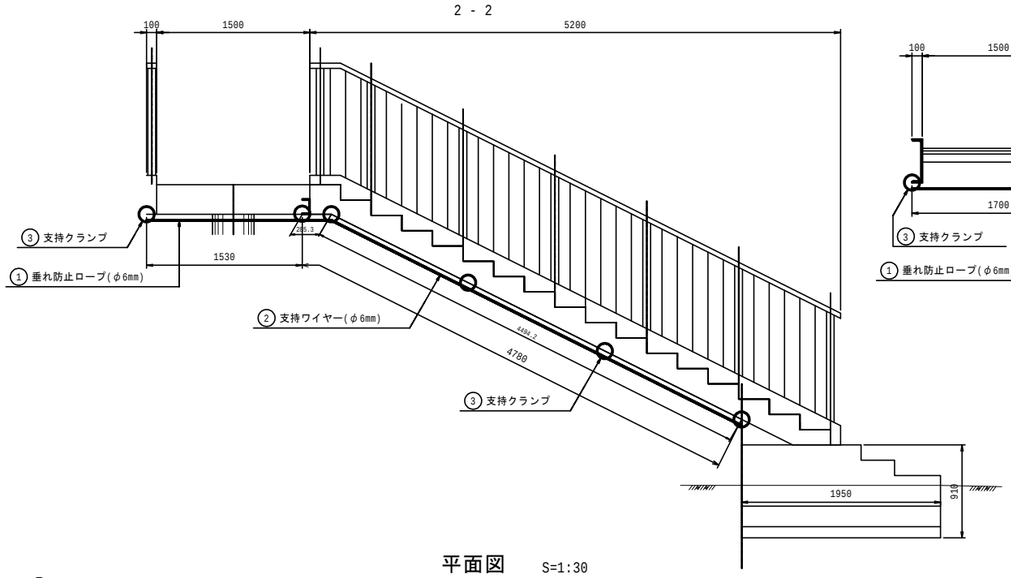
a部詳細



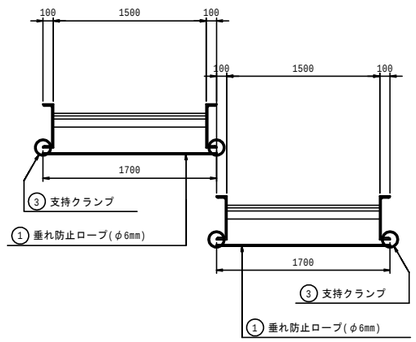
剥落防止ネット標準材料表

番号	材料名称	寸法	材質	単位	数量	摘要
①	垂れ防止ロープ	φ6(三つ打ち)	ナイロン　6mm	m	13.6	麻生中歩道橋
②	支持ワイヤー	φ6(4号6×24)	JIS G 3525 G種メッキ	m	37.3	麻生中歩道橋
③	支持クランプ			個	28	麻生中歩道橋
④	削孔式打込みアンカー	M10×70		本	――	――
⑤	支持アイボルト	M10(ネジ部18mm)		個	――	――
⑥	接続金具	φ6(内径50mm)	AK 1001	個	6	麻生中歩道橋
⑦	ワイヤークリップ	φ6(内径50mm)	JIS B 2809　メッキ	個	24	麻生中歩道橋
⑧	編み込みロープ	φ3.5(三つ打ち)		本	――	――
⑨	周囲ロープ	φ6(三つ打ち)	ナイロン　6mm	m	37.3	麻生中歩道橋
⑩	剥落防止ネット	10mm目合い(黒)	ナイロン(防炎加工) 1590dt/8本 10mm目	m2	22.7	麻生中歩道橋
⑪	干渉部緩和材	15R×30	発砲面木	m	――	――
⑫	発砲面木接着剤		エポキシ樹脂系接着剤	m	――	――

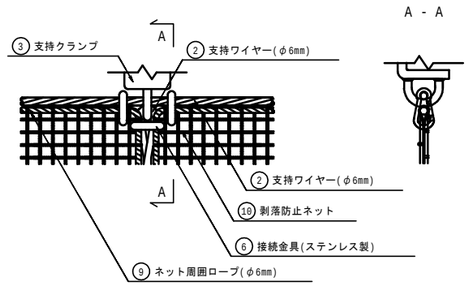
2 - 2



4 - 4

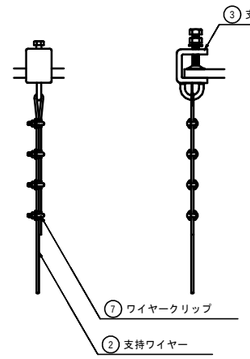


b部詳細

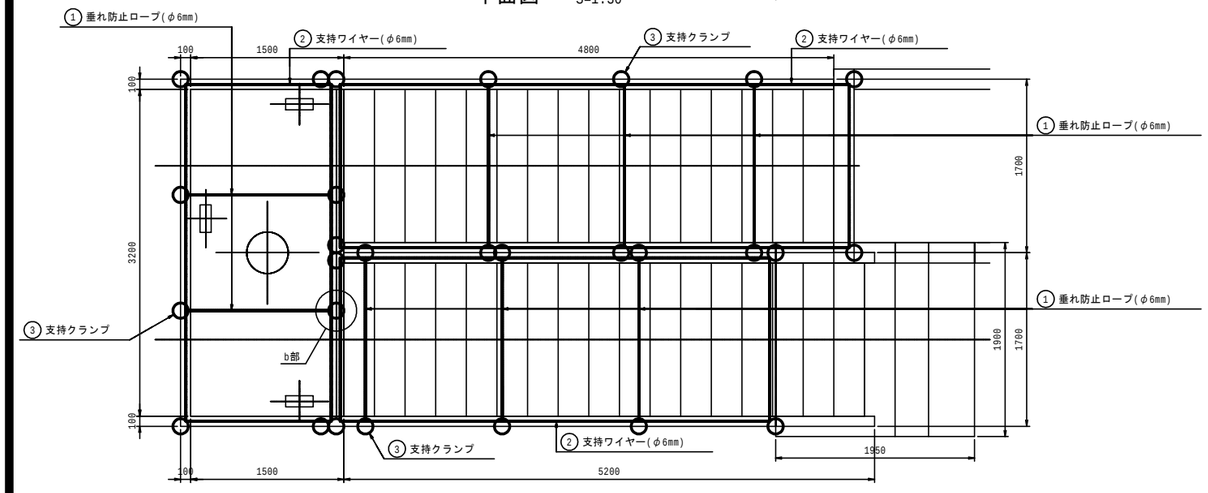


A - A

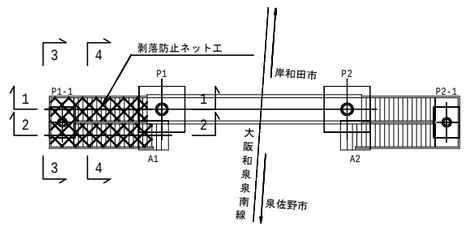
支持ワイヤー終末処理詳細



平面図　S=1:30



位置図　S=1:200



麻生中歩道橋
剥落防止ネット工数量表

		単位	海側
階段部	上段	m2	9.4
	下段	m2	8.1
踊場部		m2	5.2
合計		m2	22.7

注)この図面は、橋梁台帳および建設時一般図をもとに
構造寸法を再現したものである。

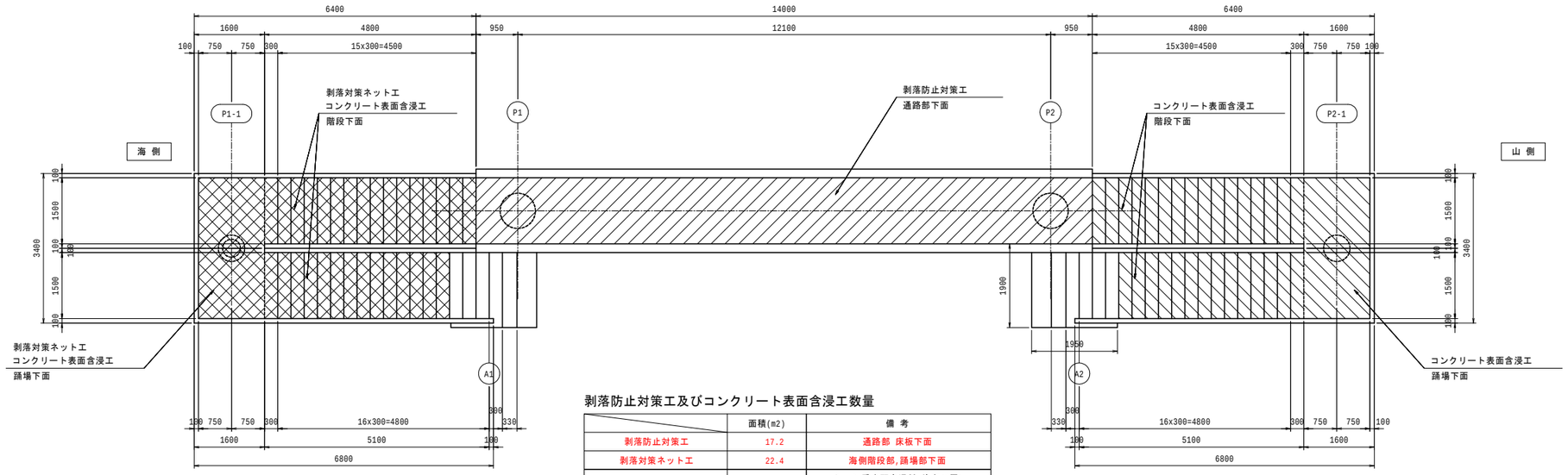
年度	平成　年度	事業名	
所属地名			
路線名			
委託名			
図面種別	剥落防止ネット工計画図		
設計	縮尺	番号	
	図示	／	
大阪府岸和田土木事務所		平成　年　月	

補修詳細図(その1)

S=1:60

剥落防止対策工及びコンクリート表面含浸工

平 面 図



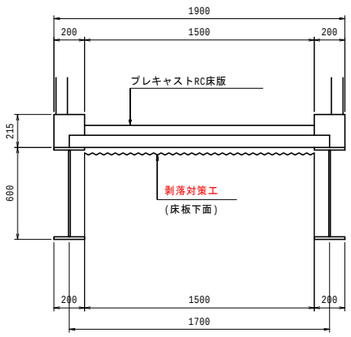
剥落防止対策工及びコンクリート表面含浸工数量

	面積(m2)	備 考
剥落防止対策工	17.2	通路部 床板下面
剥落対策ネット工	22.4	海側階段部,踊場部下面
コンクリート表面含浸工	35.2	シラン系表面含浸材 塗布(1層) 標準使用量 0.3リットル/m2

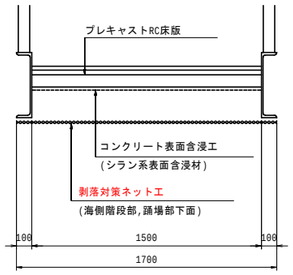
断 面 図

S=1:20

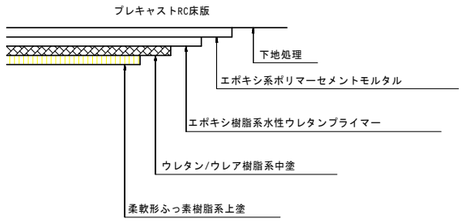
通路部



階段部,踊場部

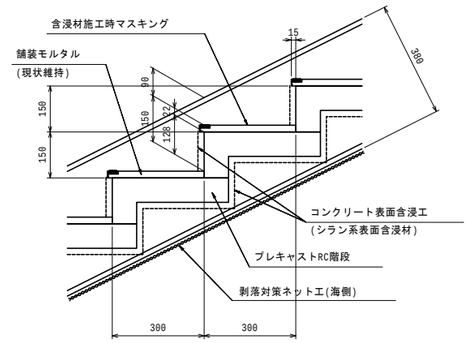


剥落対策工詳細図



コンクリート表面含浸工詳細図

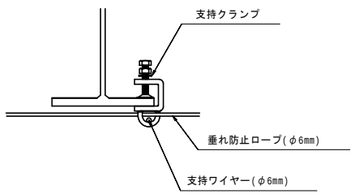
S=1:10

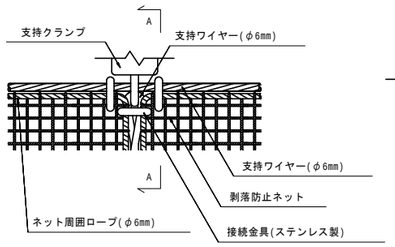


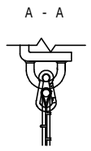
※プレキャストRC階段の断面修復後、
コンクリート表面含浸材を塗布する。

剥落防止ネット詳細図

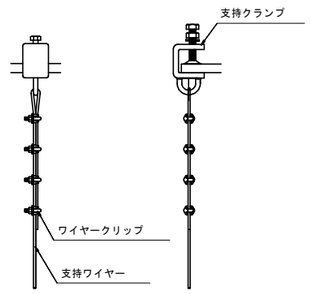
支持クランプ取付要領







支持ワイヤー終末処理詳細



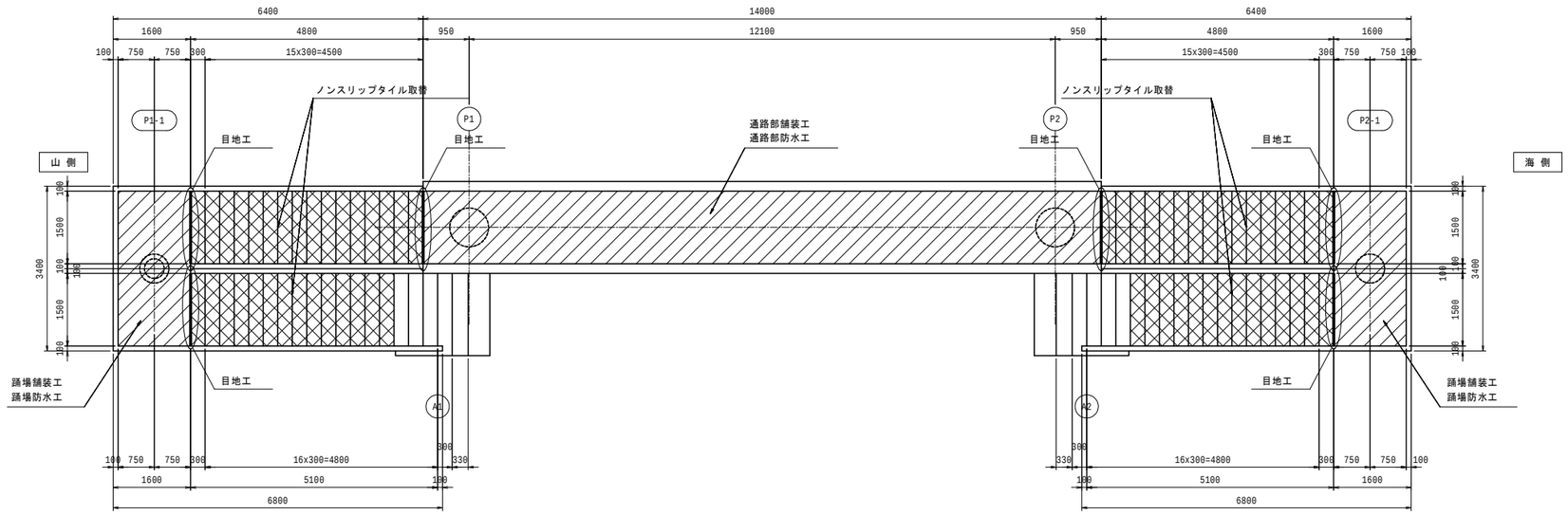
年 度	平成 年度	事 業 名	
所属地名			
路 線 名			
委 託 名			
図面種別	補修詳細図(その1)		
設 計	縮 尺	番 号	
	図 示	／	
大阪府岸和田土木事務所		平成 年 月	

補修詳細図(その2)

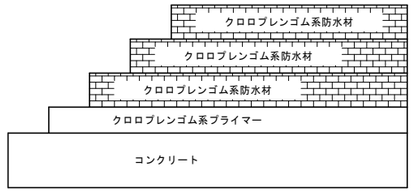
S=1:60

橋面防水工及びノンスリップタイル取替工

平 面 図



塗膜系床版防水層(ゴム溶剤型)の層構成

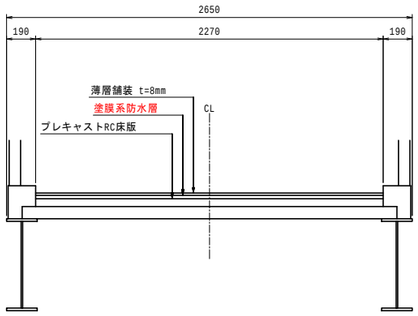


エポキシ樹脂薄層の層構成

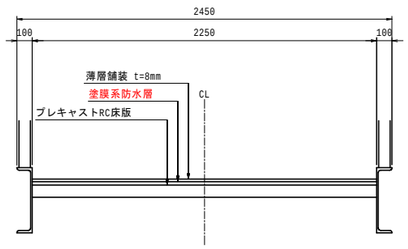
防水層範囲

S=1:20

通路部

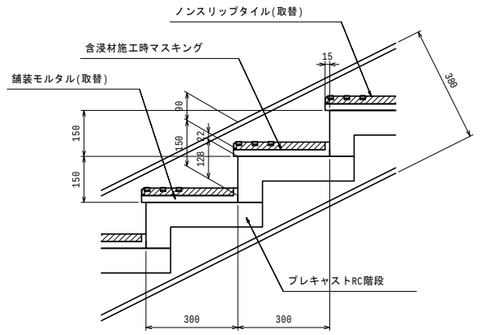


踊場部



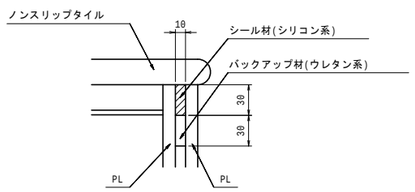
ノンスリップタイル取替工詳細図

S=1:10



階段取付部目地工詳細

S=1:3

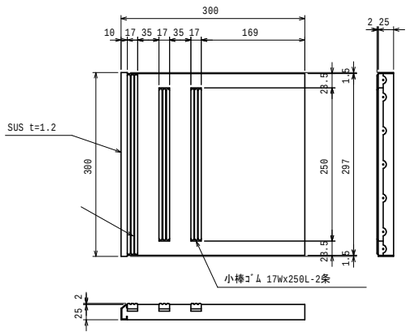


※構造目地部の漏水対策が必要な為、
建設時と同等の目地工を再建する

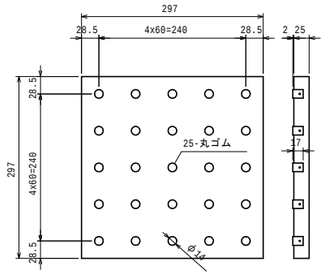
ノンスリップタイル詳細図

S=1:5

階段部



階段踊り場部



名　　称		単 位	数 量	備　　考
通路部舗装工面積		m2	20.6	
通路部防水層面積		m2	20.6	塗膜系
踊場舗装工面積		m2	9.5	
踊場防水層面積		m2	9.5	塗膜系
ノンスリップタイル取替		m2	27.0	
目地工	目地工延長	m	9.0	
	シール材体積	リットル	2.7	シリコン系,t=10mm(階段取付部)
	バックアップ材延長	リットル	2.7	ウレタン系,t=10mm(階段取付部)

注記

1,補修箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。

2,施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び数量を確認の上で行うこと。

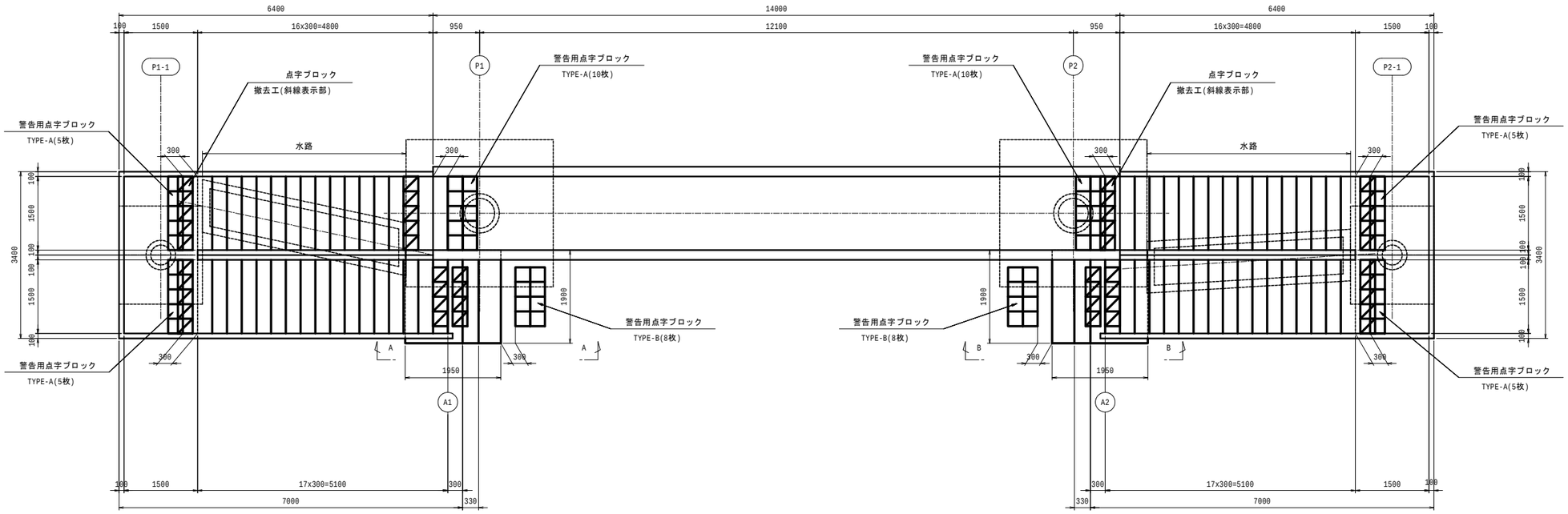
年 度	平成 年度	事 業 名	
所属地名			
路 線 名			
委 託 名			
図面種別	補修詳細図(その2)		
設 計	縮 尺	番 号	
	図 示	／	
大阪府岸和田土木事務所		平成 年 月	

補修詳細図(その4)

S=1:50

点字ブロック設置工

平面配置図

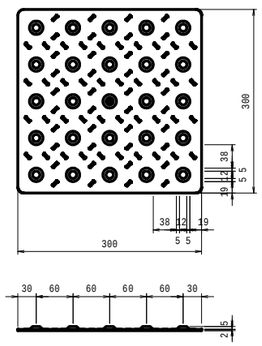


視覚障害者警告用点字ブロック

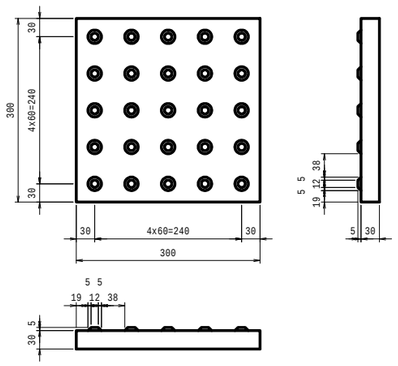
S=1:5

TYPE-A

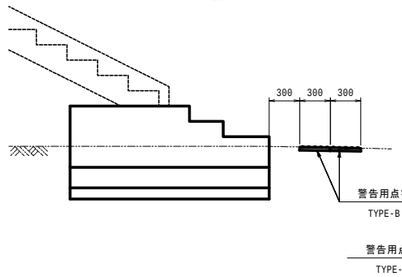
のり付点字タイル　　＜JIS規格適合製品＞



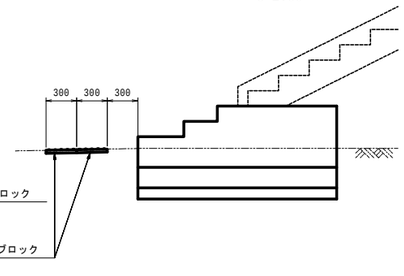
TYPE-B



A - A　S=1:30



B - B　S=1:30



注記

1,補修箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。

2,施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び数量を確認の上で行うこと。

点字ブロック数量

		数量(枚)	備　考
点字ブロック撤去工		46	既設部(平面配置図の斜線表示部)
点字ブロック設置工	TYPE-A	40	材質:合成ゴム(t=2mm),接着剤仕様
	TYPE-B	16	材質:コンクリート(t=30mm)

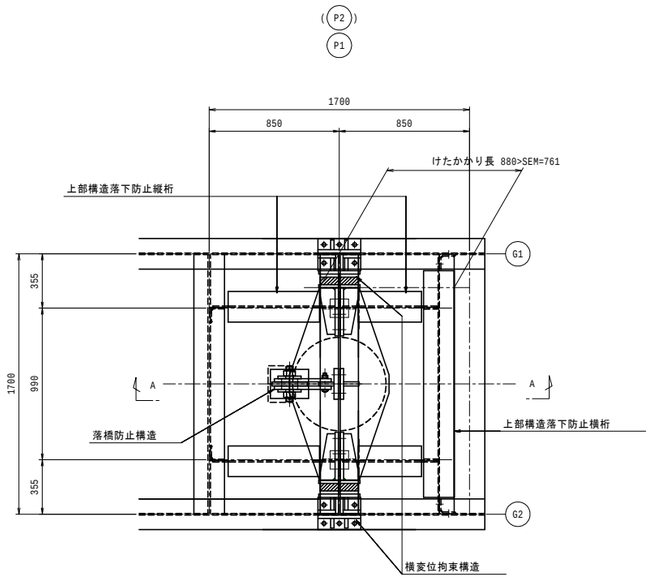
麻生中歩道橋

年　度	平成 年度	事 業 名	
所属地名			
路 線 名			
委 託 名			
図面種別	補修詳細図(その4)		
設　計	縮　尺	番　号	
	図　示	／	
大阪府岸和田土木事務所		平成　年　月	

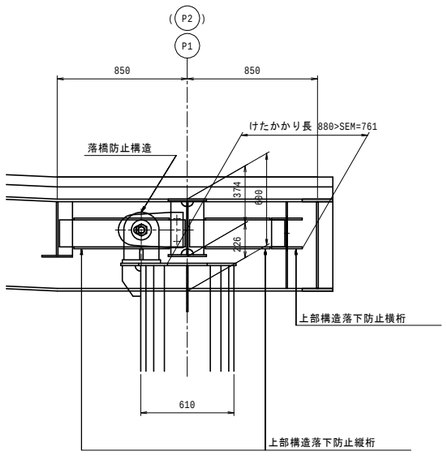
麻生中歩道橋 落橋防止システム構造図

S=1:20

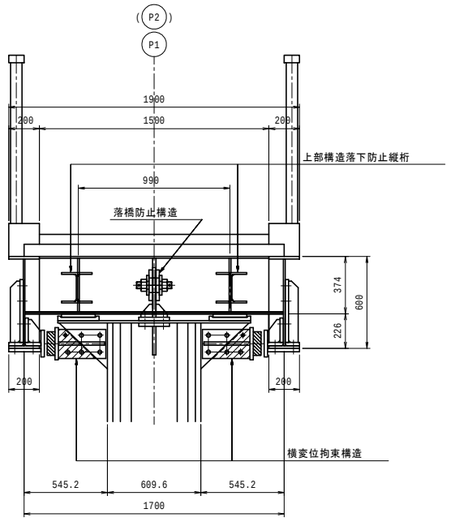
平 面 図



A - A



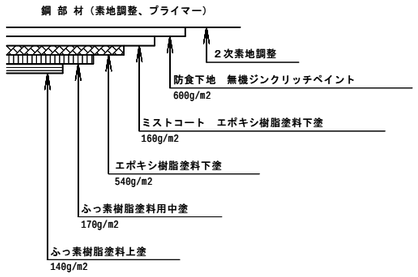
支点上断面図



塗装仕様

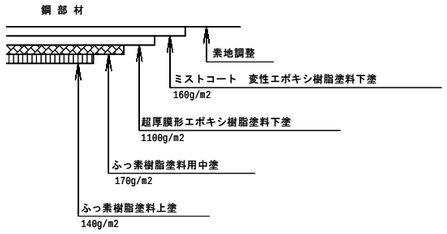
一般部外面塗装仕様

（Ｃ－５塗装系）



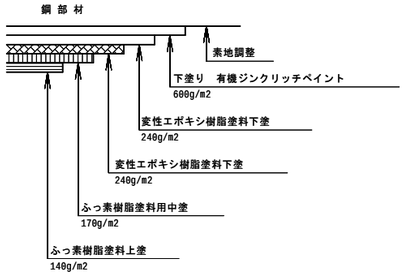
高力ボルト連結部塗装仕様

（Ｆ－１１塗装系）



溶接部塗装仕様

（Ｆ－１３塗装系）



注記

1,落橋防止システムを設置するうえで、
排水管が支障がある場合は撤去,復旧を行うこと。

麻生中歩道橋

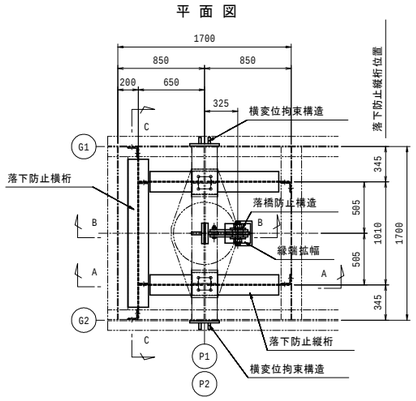
年 度	平成 年度	事 業 名	
所属地名	大阪府貝塚市麻生中		
路 線 名	主要地方道 大阪和泉泉南線		
委 託 名			
図面種別	落橋防止システム構造図		
設 計	縮 尺	番 号	
	図 示	／	
大阪府岸和田土木事務所		平成 年 月	

落橋防止システム詳細図(その1)

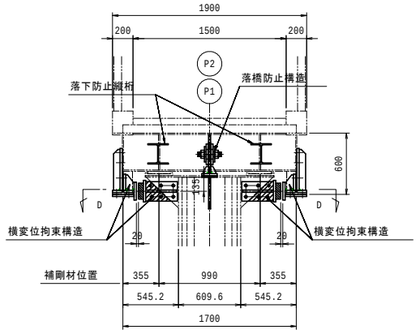
S=1:30

取 付 位 置 図

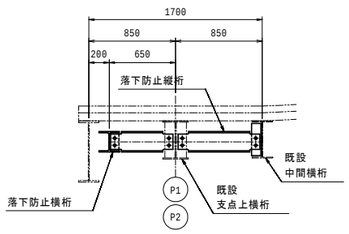
平 面 図



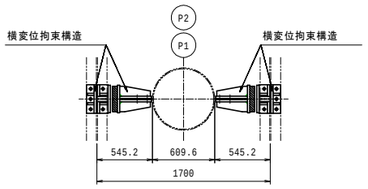
支点上断面



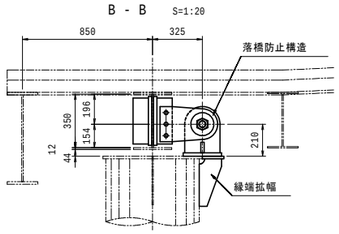
A - A



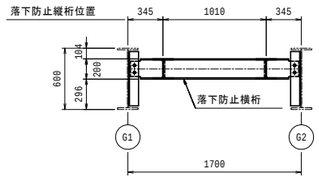
D - D



B - B S=1:20



C - C

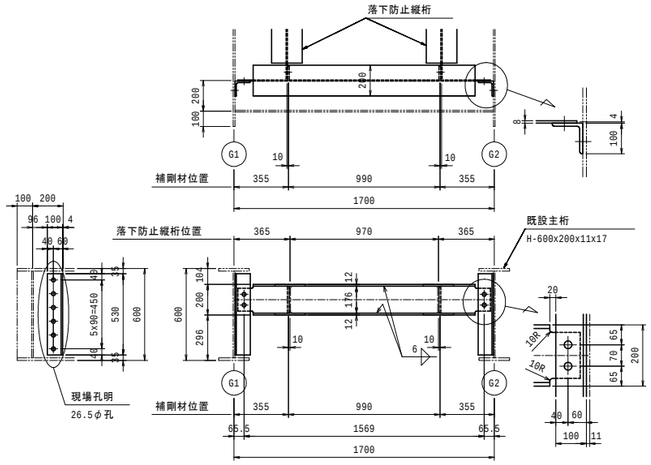


耐震補強工数量表

		単位	数量	備 考
現場溶接延長	実長	m	3.334	
	換算長	m	23.464	6mmすみ肉換算
現場孔明工	26.5φ	箇所	124	

落下防止横桁 S=1:20

(製作数:2)



1箇所当り

2-FLG PL 200x12x1449

1-WEB PL 176x8x1649

2-PL 90x12x176

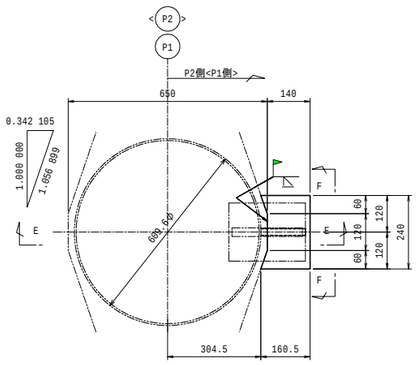
2-L 100x100x10x530(SS400)

4-TCB M22x55(S10T)

現場孔明(φ26.5) 12ヶ所

縁端拡幅 S=1:10

(製作数:2)

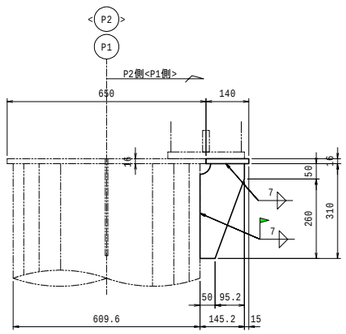


1箇所当り

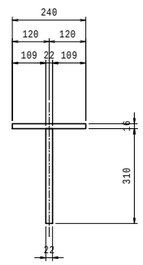
1-FLG PL 161x16x240

1-RIB PL 145x22x310

E - E S=1:10

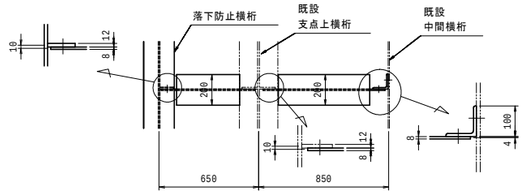


F - F S=1:10



落下防止縦桁 S=1:20

(製作数:4)



1箇所当り

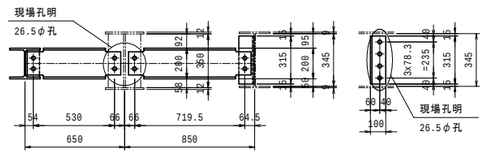
1-H 200x200x8x12x610(SS400)

1-H 200x200x8x12x800(SS400)

1-L 100x100x10x315(SS400)

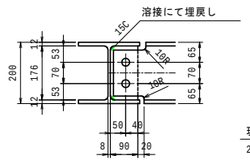
12-TCB M22x55(S10T)

現場孔明(φ26.5) 8ヶ所

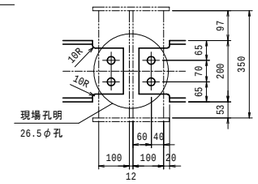


縦桁取付部詳細図 S=1:10

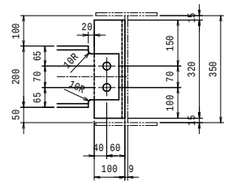
落下防止横桁



既設支点上横桁



既設中間横桁



注記

1,補強箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。

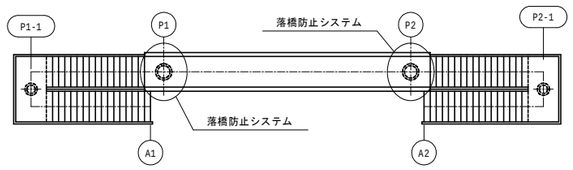
2,施工に際しては、必ず現地にて補強箇所及び数量を確認の上で行うこと。

3,特記なき材質は、全てSM400Aとする。

4,特記なきスカーラップは、35Rとする。

5, ◆印は、TCB M22(S10T)示す。

配 置 図



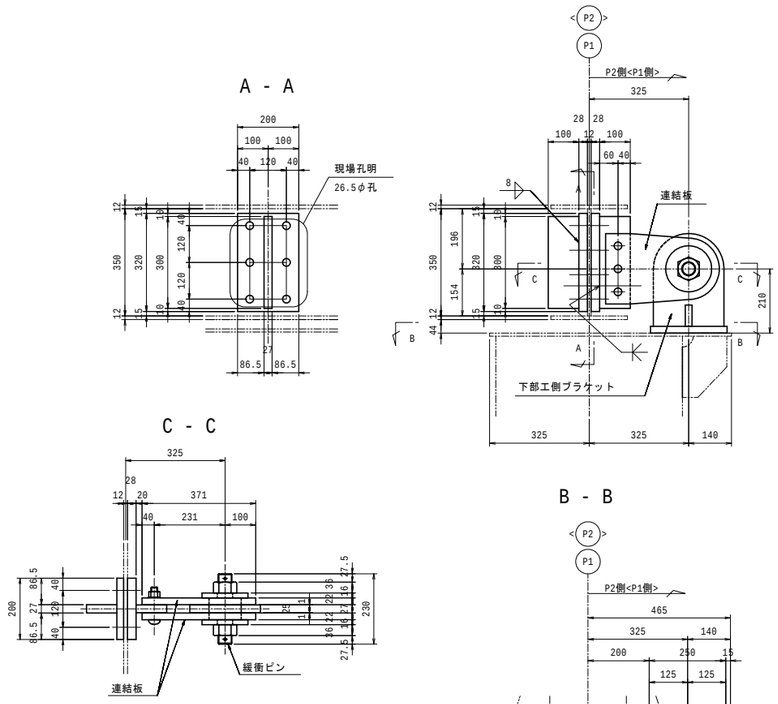
年 度	平成 年度	事 業 名	
所属地名			
路 線 名			
委 託 名			
図面種別	落橋防止システム詳細図(その1)		
設 計	縮 尺	番 号	
	図 示	／	
大阪府岸和田土木事務所		平成 年 月	

落橋防止システム詳細図(その2)

S=1:10

落橋防止構造詳細図

(製作数:2)



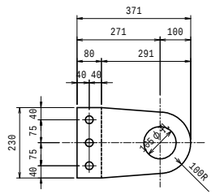
1箇所当り
2-BASE PL 200x28x320
2-PL 100x27x300
6-TCB M22x105(S10T)

現場孔明(φ26.5) 6ヶ所

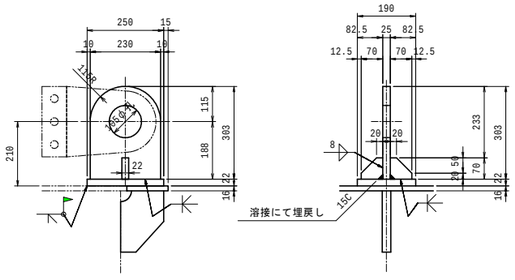
2-PL 230x22x371
1-PL 303x25x230
1-BASE PL 190x22x250
2-RIB PL 70x22x70
3-TCB M22x110(S10T)

1-緩衝ピン φ46x230(S45CN)
2-WASHER PL φ150x16(SS400)
2-NUT M45(1種)(SS400)
2-割りピン φ8×80(SUS304)

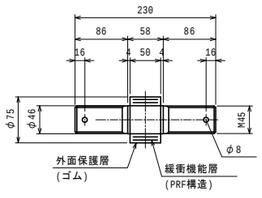
連 結 板



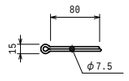
下部工側ブラケット詳細図



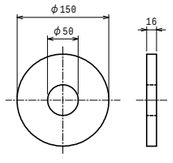
緩衝ピン詳細 S=1:5



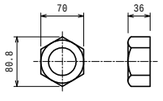
割りピン



座 金



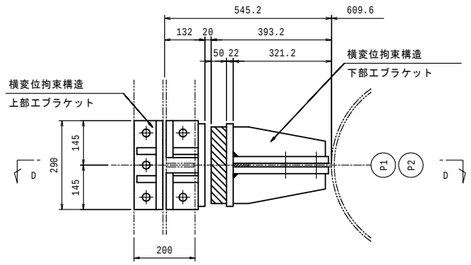
ナット



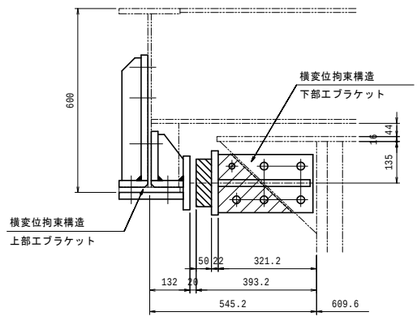
横変位拘束構造詳細図

(製作数:4)

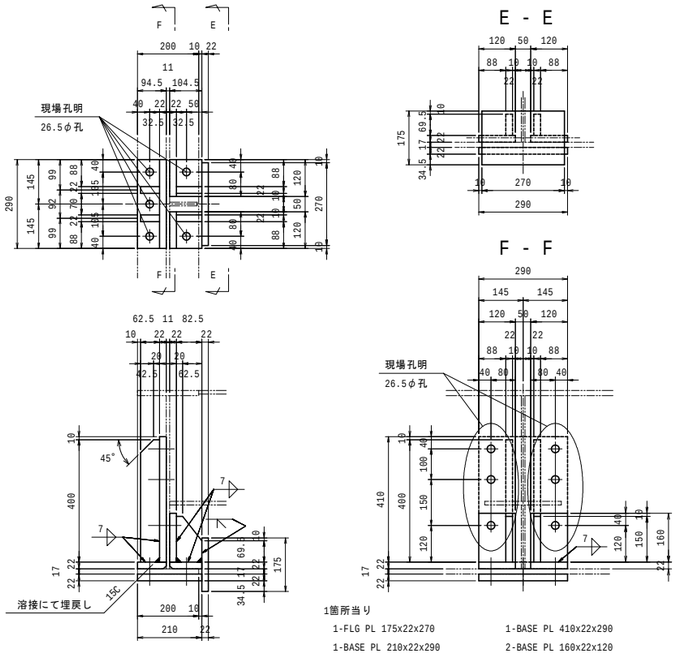
平 面 図



D - D



上部エブラケット詳細図



1箇所当り
1-FLG PL 175x22x270
1-BASE PL 210x22x290
1-BASE PL 95x22x290
2-BASE PL 105x22x120
1-BASE PL 410x22x290
2-BASE PL 160x22x120
2-RIB PL 63x22x400
2-RIB PL 83x22x150
4-TCB M22x70(S10T)
2-TCB M22x90(S10T)
5-TCB M22x100(S10T)

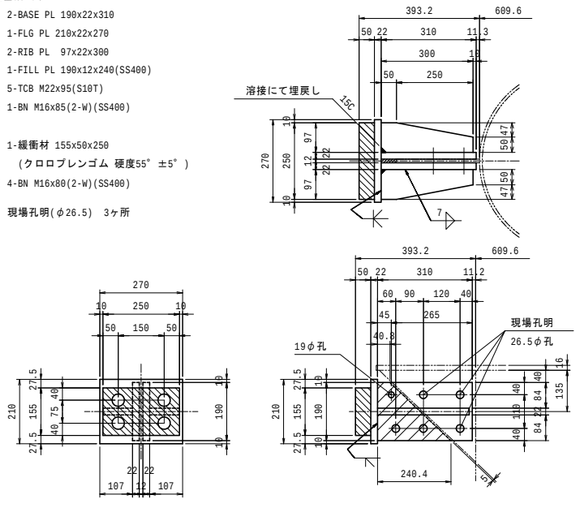
現場孔明(φ26.5) 11ヶ所

下部エブラケット詳細図

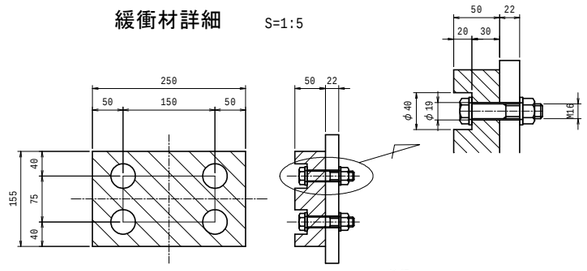
1箇所当り
2-BASE PL 190x22x310
1-FLG PL 210x22x270
2-RIB PL 97x22x300
1-FILL PL 190x12x240(SS400)
5-TCB M22x95(S10T)
※ 1-BN M16x85(2-W)(SS400)

1-緩衝材 155x50x250
(クロロプレンゴム 硬度55° ±5°)
※ 4-BN M16x80(2-W)(SS400)

現場孔明(φ26.5) 3ヶ所

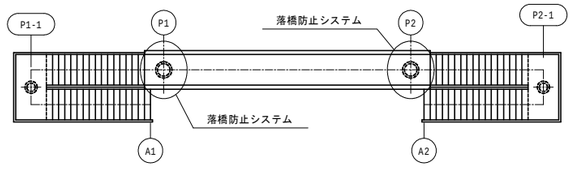


緩衝材詳細 S=1:5



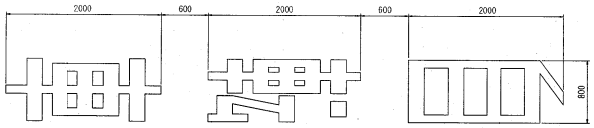
注記
1,補強箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。
2,施工に際しては、必ず現地にて補強箇所及び数量を確認の上で行うこと。
3,特記なき材質は、全てSM400Aとする。
4,特記なきスカーラップは、35Rとする。
5, ◆印は、TCB M22(S10T)示す。
6,※印付部材は、溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35とする。

配 置 図

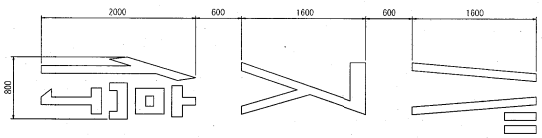


年 度	平成 年度	事 業 名	
所属地名			
路 線 名			
委 託 名			
図面種別	落橋防止システム詳細図(その2)		
設 計	縮 尺	番 号	
	図 示	／	
大阪府岸和田土木事務所		平成 年 月	

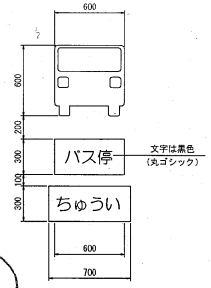
自転車文字 S=1:30
文字：白



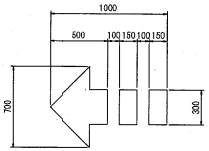
バス停文字 S=1:30
文字：白



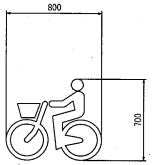
バス停注意記号 S=1:20
記号：白
文字：黒
下地：青



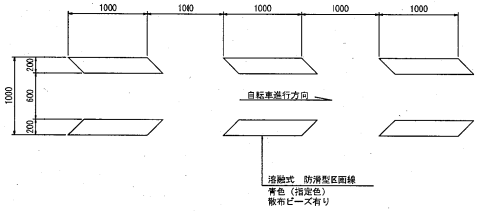
矢 印 S=1:20
文字：白



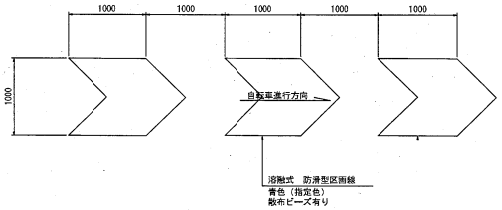
1
自転車記号 S=1:20
記号：白



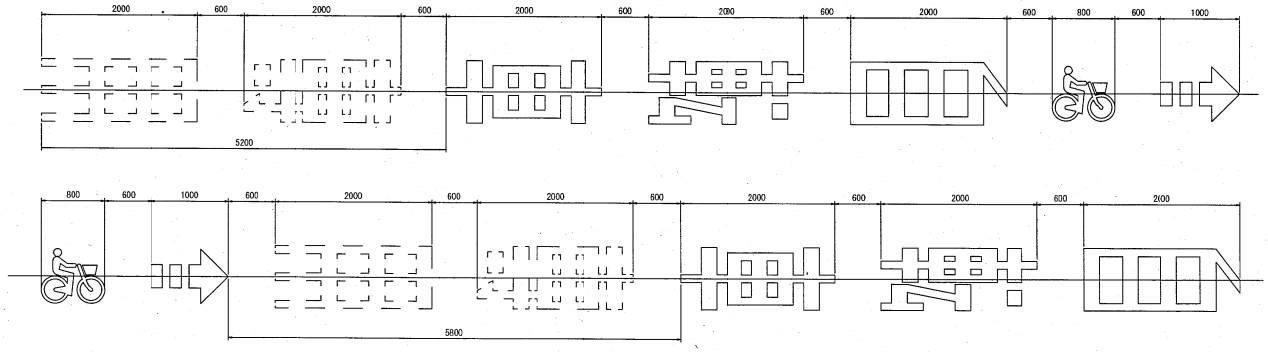
3
青矢羽マーク B S=1:30
破線：青



2
青矢羽マーク A S=1:30
破線：青



文字記号配置図 S=1:30



工事名	
場 所	
図面名称	構 造 図 (1)
縮 尺	図 示
図面番号	
作図 設計	平成25年 月

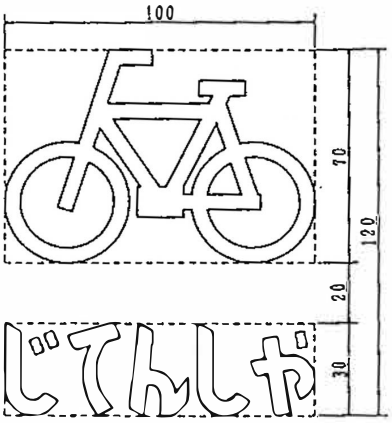
図 3.2－L

自転車図示標示と文字標示の組合せ

（東京警視庁指定）

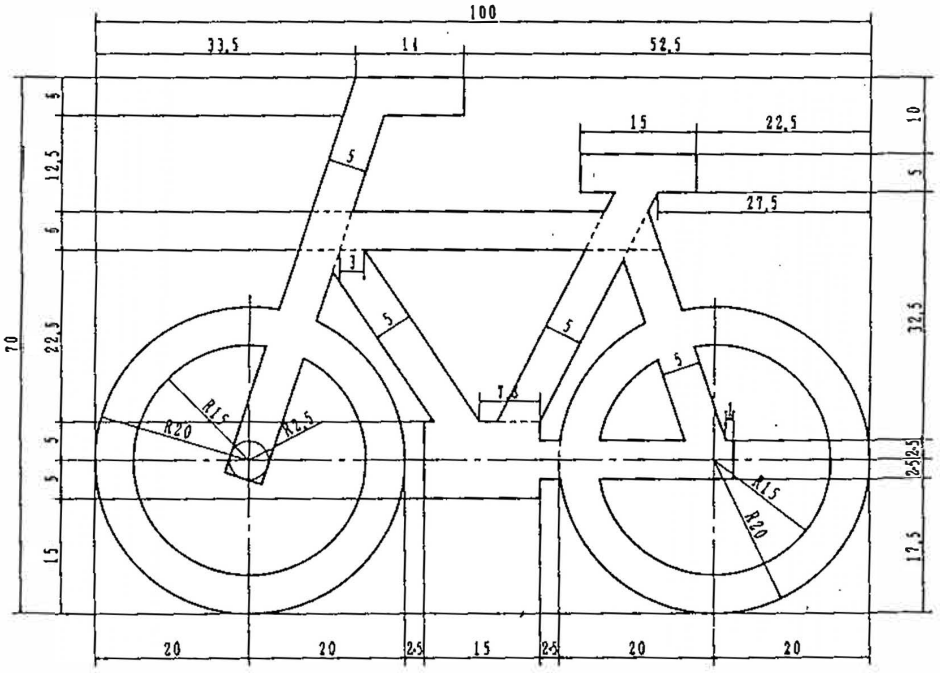
Le=2.27m

Lp=2.6m



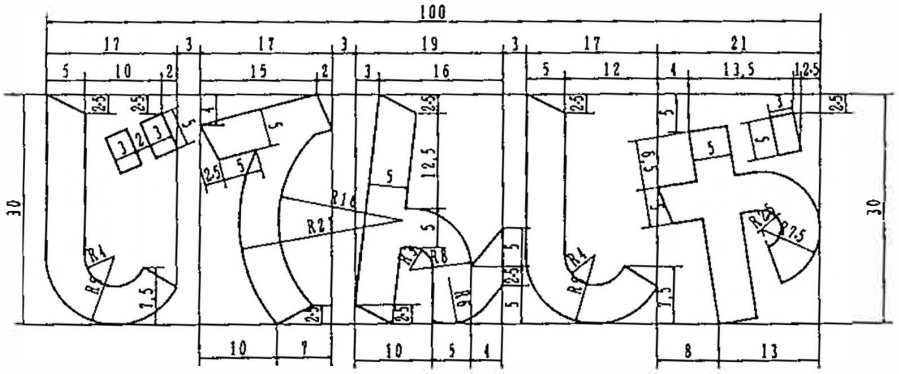
Le=1.53m

Lp1.8m



Le=0.74m

Lp=0.8m



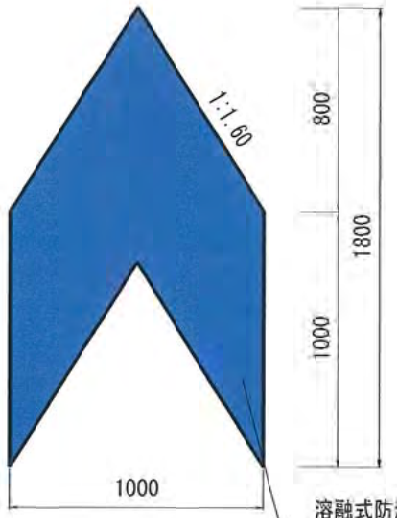
矢羽根等寸法図

Aタイプ

A2/19

青矢羽根マーク

S=1:10

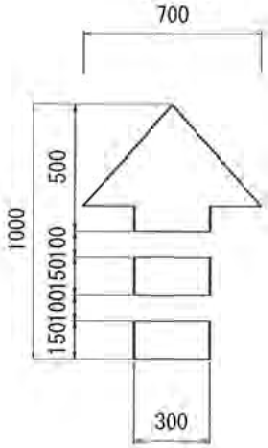


溶融式防滑型区画線
青色（指定色）
散布ビーズ有り

矢印

S=1:10

記号：白

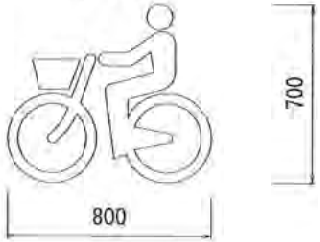


15cm換算長
L=0.26m2/0.15=1.73m

自転車マーク

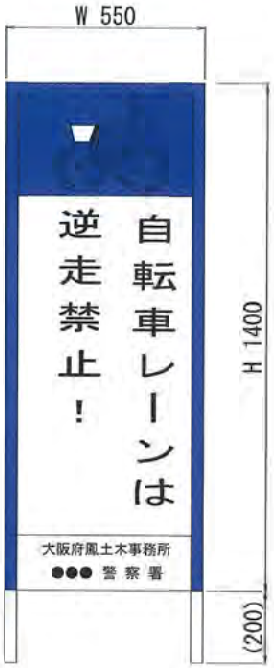
S=1:10

記号：白



15cm換算長
L=0.18m2/0.15=1.20m

逆走防止看板



参考：矢羽根、矢印自転車マーク、のり寸などは、次の資料による。

○矢羽根
・単路部：10m間隔　「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(H28.7)」E-7
　交差点部：2m間隔　「自転車通行を考慮した交差点設計の手引き」p107
・形状：府内施工済みに整合

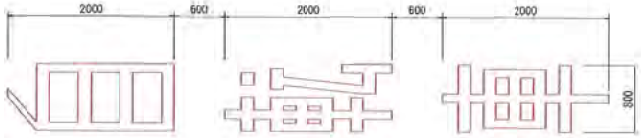
○自転車マーク、矢印
・単路部：30m間隔　「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(H28.7)」E-5参考
・交差点部：交差点前後に1箇所設置　「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(H28.7)」E-53
・形状：府内施工済みに整合

年度	平成29年度	図面番号	23 / 23
工事名	自転車通行空間整備工事		
施工箇所	豊中市岡町北町地内 外		
図面名	矢羽根寸法図		
縮尺	1:250	作成年月日	平成29年7月
大阪府　風土木事務所			

Bタイプ

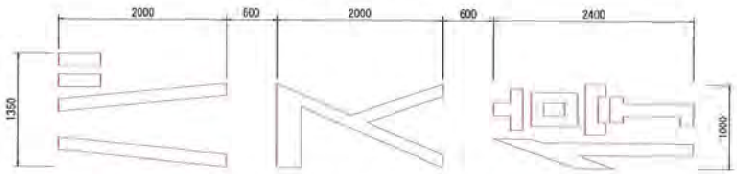
宮山台地区（宮山台茶山台線）
構　造　図（1）

自転車文字（標準） S=1:30
文字：白



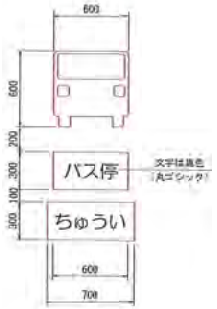
Le=14.6m Lp=17.5m (3文字)

バス停文字（標準） S=1:30
文字：白

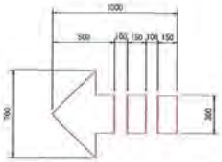


Le=16.5m Lp=19.8m (3文字)

バス停注意記号（標準） S=1:20
記号：白
文字：黒

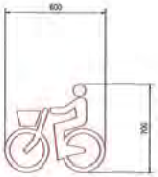


矢　印 S=1:20
文字：白



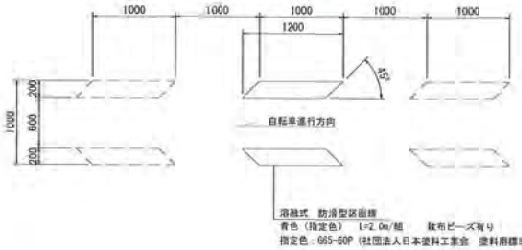
Le= 1.7m Lp= 2.1m

自転車記号（標準） S=1:20
記号：白



B タイプ

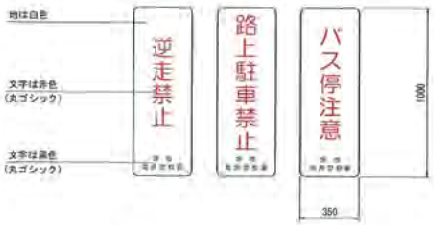
矢羽根B（標準） S=1:30
青（指定色）



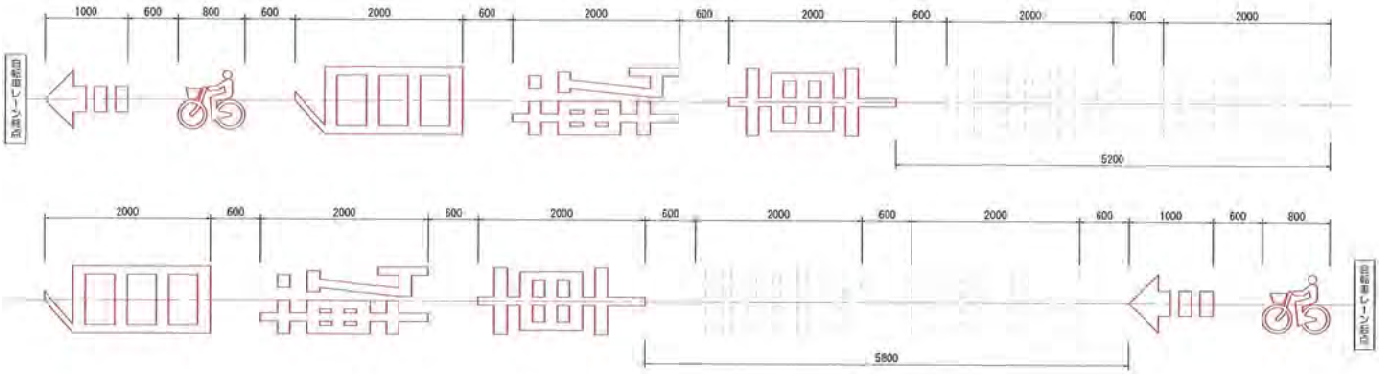
注意看板（標準） S=1:15

W350mm×H1000mm×厚み0.5mm
アルミニウム製、封入プリズム、ステンレスバンド3点締め

Aタイプ　Bタイプ　Cタイプ



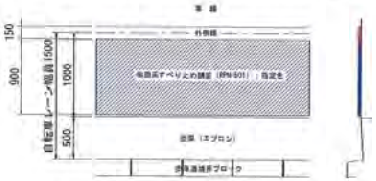
文字記号配置図（標準） S=1:30



路面着色（標準）（参考）※自転車レーン幅員1.5mの場合

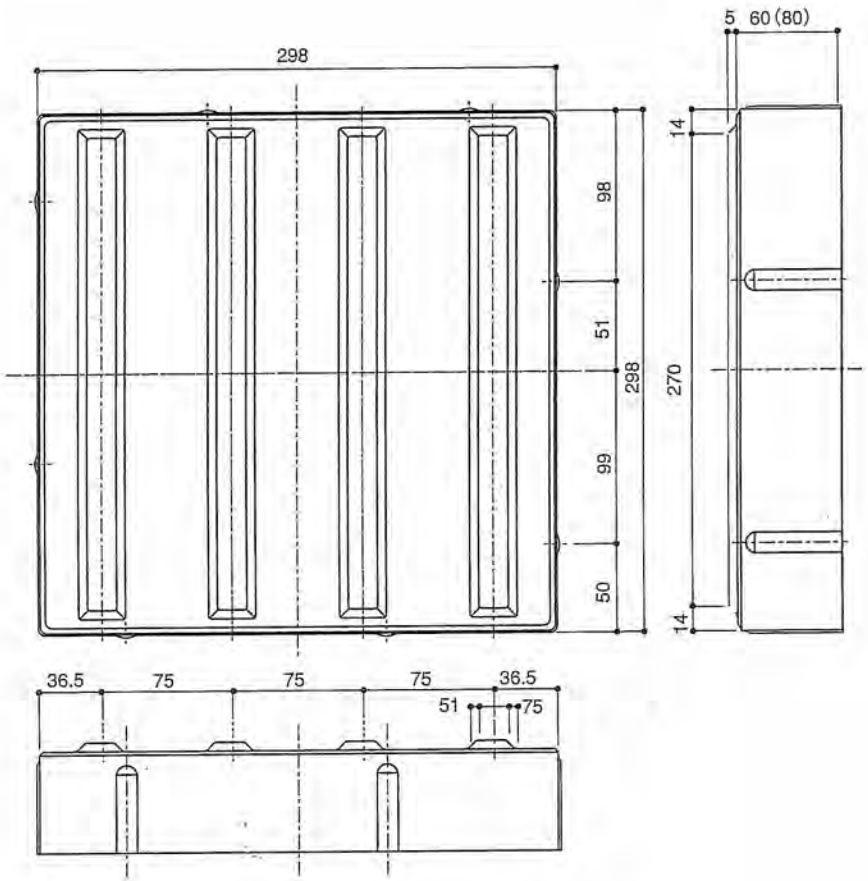
樹脂系すべり止め舗装 RPN-501

指定色：H65-60P（社団法人日本塗料工業会　塗料用標準色）



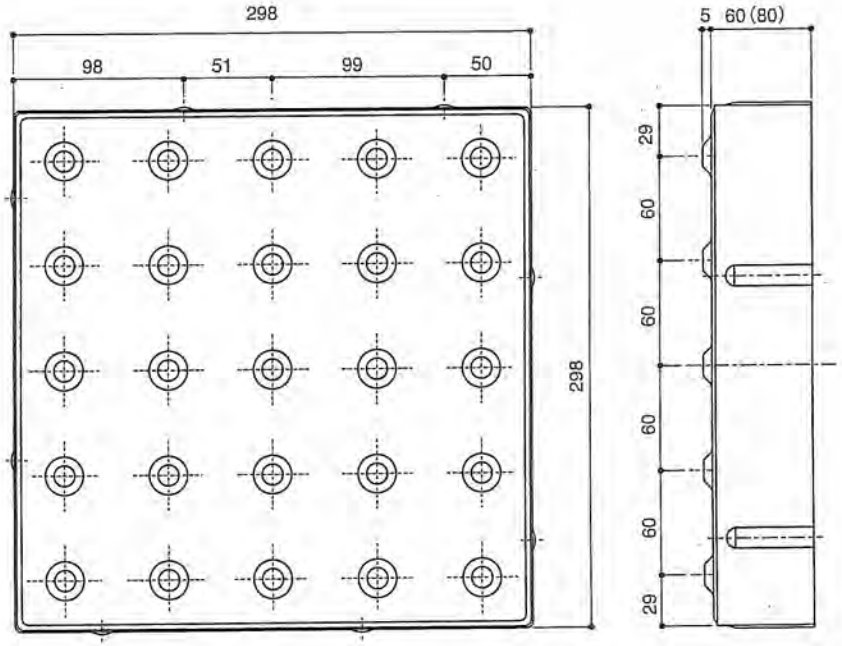
※用紙サイズがA3の場合、縮尺は表示の1/2

工事名	今池三国ヶ丘線外自転車通行環境整備工事						
場　所	【宮山台地区】南区宮山台ほか						
図面名称	構　造　図（1）					図面番号	7/9
縮　尺	図　示						
課長		課長補佐		係長		担当	
作図・設計	平成28年11月				自転車環境整備課		



誘導表示平板　NO．03-1（乾式成型不透水タイプ）

NO．04-1（乾式成型透水タイプ）



位置表示平板　NO．03-2（乾式成型不透水タイプ）

NO．04-2（乾式成型透水タイプ）

*JIS T9251:2001　による

⚠ 警告

施工の際は部材の固定を確実に行なってください。
固定が十分でないと、倒壊、欠落等の危険があります。

File name	Data
Scale=1/5	視覚障害者用誘導ブロック（乾式成型透水・不透水タイプ）

耐久性にすぐれた点字シートの貼付施工タイプ

ステップガイド点字シート

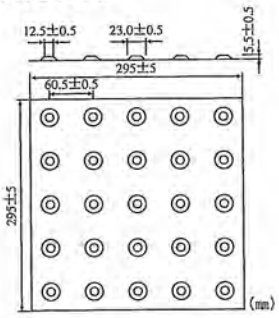
下地塗料（アクリダイトVH-Y）を塗布したあと、点字シートを設置する貼付タイプで、きれいに仕上がり、耐久性・強度ともにすぐれています。

点状●輪荷重による変形がなく、路面の凹凸にも追随し、美しく仕上げることができます。

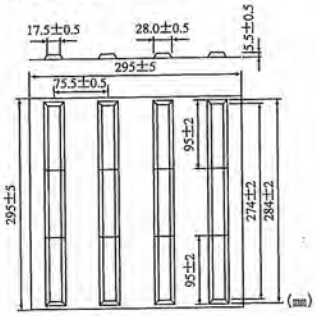
線状●輪荷重による変形がなく、狭い現場にも対応でき、しかもガス・水道工事などの道路復旧も容易に行えます。

形状・寸法及びその配列 ※製品寸法

●TJタイプ



●SJタイプ



製品規格

●点字シート

項　　目	品　質　規　格
密 度（23℃）	1.7 ±0.2g/cm³
圧縮強さ(23℃)	0.802kN/cm²以上
曲げ強度(23℃)	4.903MPa以上
引張強度(23℃)	2.942MPa以上
耐 摩 耗 性	200mg以下
すべり抵抗値	50（BPN）以上
耐　候　性	暴露12ヶ月の試験でしわ、割れを認めないこと
色　相（色差）	標準黄色見本との色差（ΔE）3.0以内

●アクリダイトVH-Y

項　　目	品　質　規　格
密 度（23℃）	1.7±0.2g/cm³
可使時間(23℃)	5～15分
硬化時間(23℃)	45分以内
圧縮強さ(23℃)	0.802kN/cm² 以上
粘 度（23℃）	3,000～7,000Pa·s
引張接着強さ	0.049kN/cm²以上
耐　候　性	暴露12ヶ月の試験でしわ、割れを認めないこと
色　相（色差）	標準黄色見本との色差（ΔE）3.0以内

●色　黄色を標準色とする。
[日塗工No.22-80V(No.308) マンセル値(参考)2.5Y8/12]

設置方法

下地施工

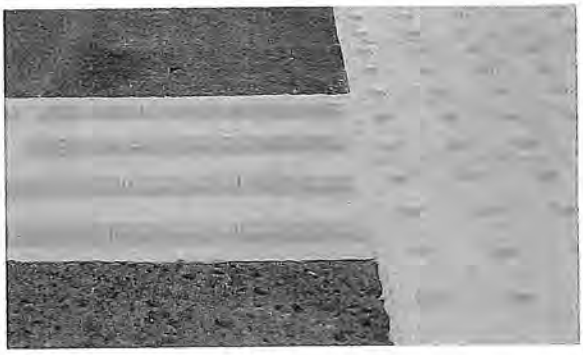
マスキング後、下地塗料をコテ等で塗布します。

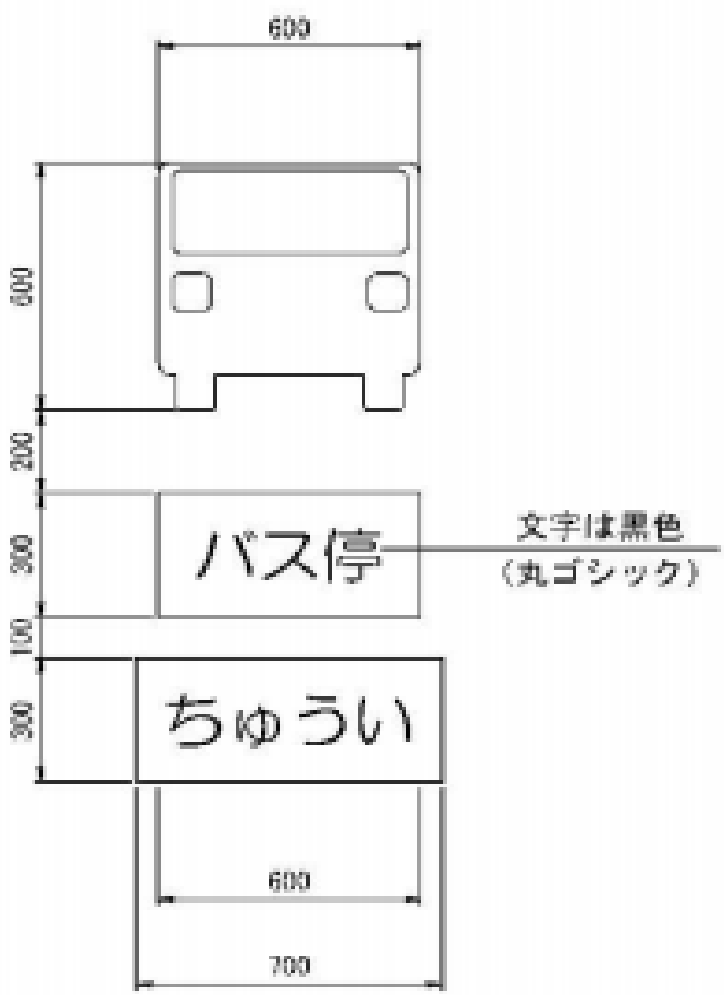
点字シート貼付

点字シートを貼付した後、刷毛等でなじませます。

完成

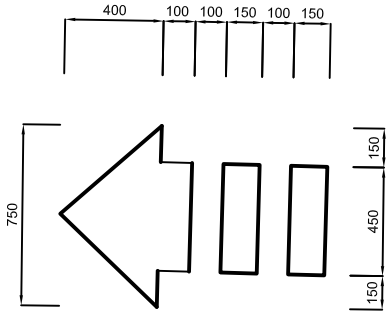
すみやかにテープを除去し、下地塗料の硬化を確認し、トップコートを上塗りして完成です。




600
600
200
300
100
300
バス停
ちゅうい
文字は黒色
（丸ゴシック）
600
700

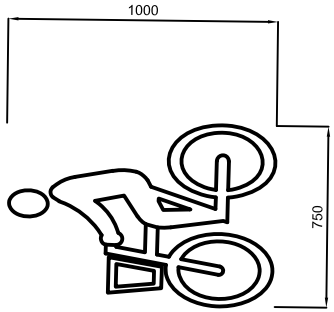
自転車マーク（矢印およびピクト）
（大阪府自転車通行空間法定外表示実施要領（改定版）H29.3版）

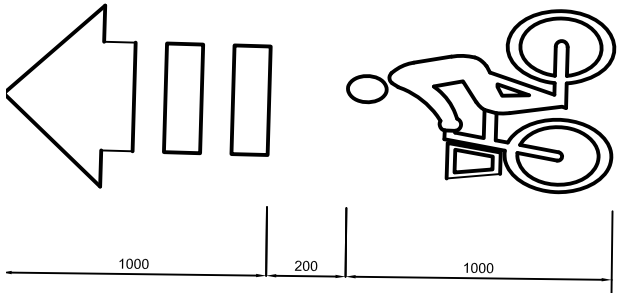
矢　印



15cm換算延長
L=0.33/0.15×1.2
=2.64m/箇所

ピクト

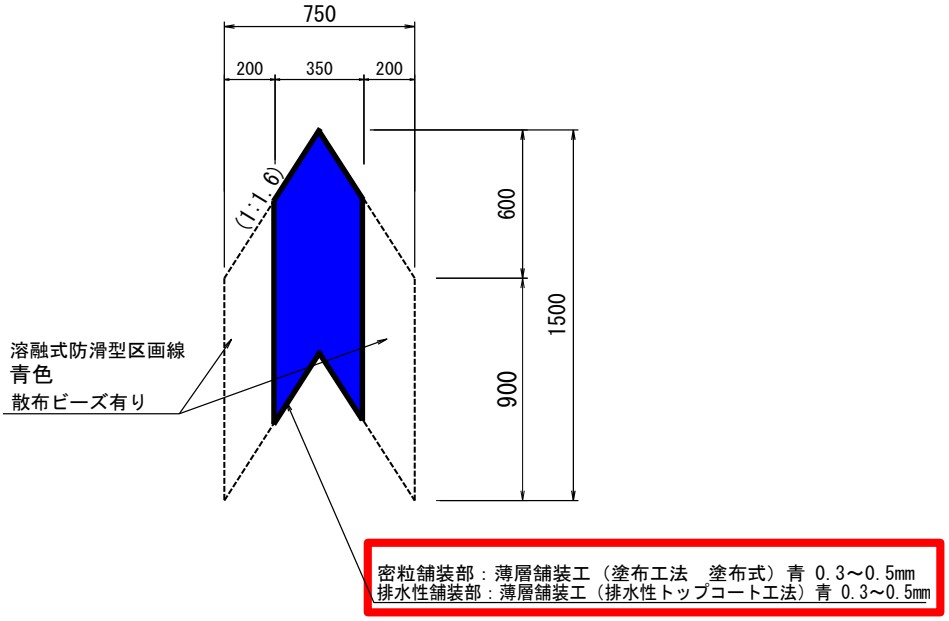




【青矢羽マーク概要】

・「排水性舗装の場合」と「排水性舗装でない場合」2種類の材工含む見積りを願います。
（別添「薄層カラー舗装の工法比較表」の囲い箇所を参考願います。工法は、1.塗布工法 塗布式と2.排水性トップコート工法 ※1をとします。）

・幅0.35mの青矢羽とする。



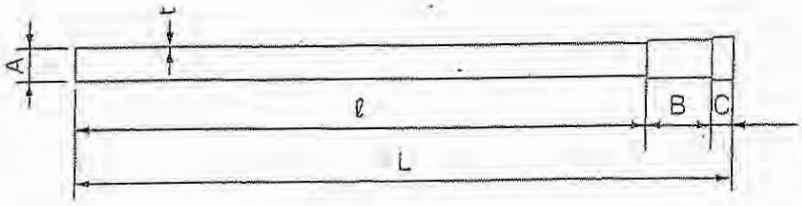
※実線で囲った箇所が、今回の見積依頼内容です

施工規模について

	施工延長（km）	個数	
		密粒（個）	排水性（個）
①	3	260	470
②	3	360	340

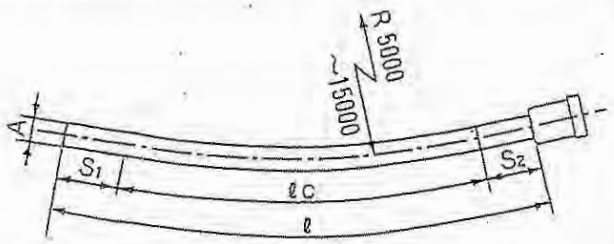
1 軽量ケーブル保護鋼管（KGP）・直管

寸法単位：mm



寸法 / 管の呼び径	管の外径	管の肉厚	接合部		有効長	全長	重量
	A	t	B	C	ℓ	L	kg/本
80	89.1	3.0	150	75	3,500	3,725	25.3
100	114.3	3.0	150	75	3,500	3,700	32.3
125	139.8	3.0	175	75	3,500	3,750	40.5
150	165.2	3.3	250	60	3,500	3,810	53.0

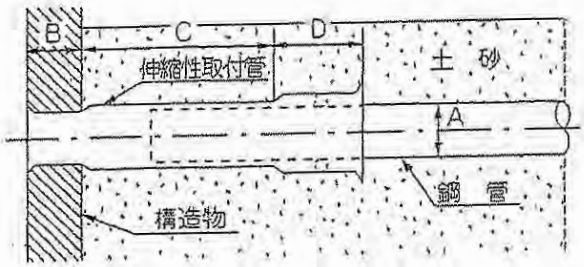
2 軽量ケーブル保護鋼管（KGP）・曲管



寸法 / 管の呼び径	管の外径	直線部		曲線部	有効長
	A	S_1	S_2	ℓc	ℓ
80	89.1	325	175	1,000	1,500
100	114.3	325	175	1,000	1,500
125	139.8	325	175	1,000	1,500
150	165.2	600	600	800	2,000

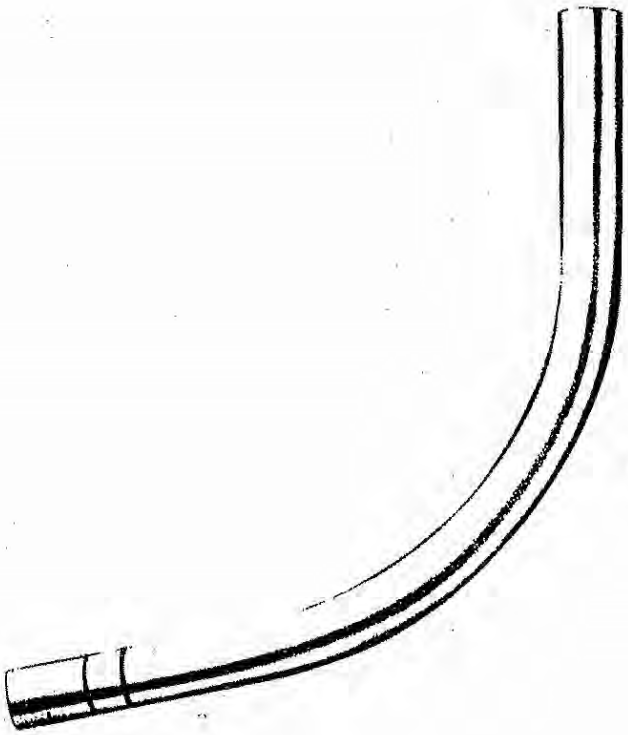
ケーブル保護伸縮性取付管（GPT）

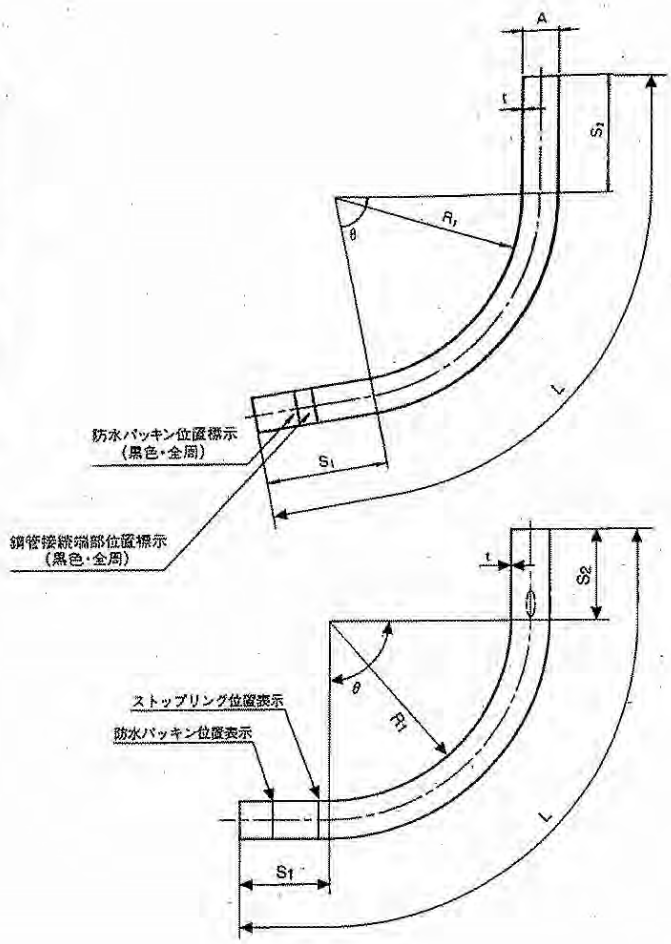
単位mm



管の呼び径	接続鋼管の外径	構造物取付部	伸縮部	防水パッキン移動部
	A	B	C	D
80	89.1	140	450	225
100	114.3	140	450	225
125	139.8	140	475	225

ケーブル保護ベンド管





寸法表

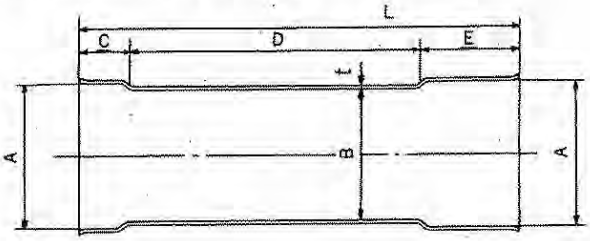
単位：mm

商品コード	寸法 / 管の呼び径	管の外径 A	直線部 S_1	直線部 S_2	曲げ半径 R_1	曲げ角度 θ°	管の厚さ t	有効長 L	メッキ付着量 g/m²	概算重量(メッキ含み) kg/m	規格仕様 関係電力
No.7 50730	[illegible]	89.1	300	300	600	90	2.3	1,612	600	5.2	関西
50737									550		CCBOX
50630	[illegible]	114.3	300	300	600	90	2.6	1,632	600	7.5	関西
No.6 50637			300	300	600				550		CCBOX
53380			500	500	800	90	3.3	2,346	600	8.6	受注生産扱い
50056	125	139.8	500	500	800	80	3.0	2,215	600	10.8	関西
50057									550		CCBOX
50058			300	500	500	90		1,695	600		受注生産扱い
50066			530	230	1,200			2,754	600		
56050	125	131.4	500	300	800	88	3.2	2,130	600	10.7	中部
特注	80	89.1	300	300	1,300	90	3.3	2,642	600	7.4	中国
53490	100	114.3	500	500				3,042		9.5	受注生産扱い
53690	150	165.2	800	800				3,642		13.9	
55030	100	114.3	250	250	1,200	90	3.3	1,385	600	7.4	四国
55040					1,300			2,542			受注生産扱い
55050					1,500			2,856			
55080	150	165.2	310	310	1,200			2,505		13.9	
55090					1,300			2,662			
55100					1,500			2,976			
53570	80	89.1	500	500	1,200	90	3	2,885	550	7.4	北陸
53560	100	114.3								8.6	受注生産扱い
53550	125	139.8								10.8	

(注) ベンド部については、ご要望に応じた半径(500R以上)、角度(θ)に加工いたします。

鋼管用継手

ケーブル保護鋼管用継手A



寸法表

単位：mm

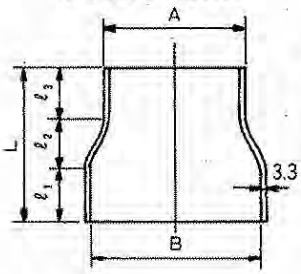
商品コード	寸法 / 管の呼び径	A	B	C	D	E	t	L	規格仕様 関係電力
50740	80	96.0	91.2	40	200	80	2.3	320	関　西 CCBOX
50640	100	123.4	116.4	50	250	100	2.6	400	関　西 CCBOX
50082	125	152.0	142.0	50	300	100	3.3	450	関　西 CCBOX

No.9

No.8

（注）継手には、各サイズに応じた防水パッキン、ストップリングが2組宛付属しています。（P30・31）
・配管用炭素鋼鋼管（SGP）とケーブル保護鋼管（KGP）の外径が同じですのでSGPとの接続も可能です。

ケーブル保護鋼管用継手B
（立上り管用）



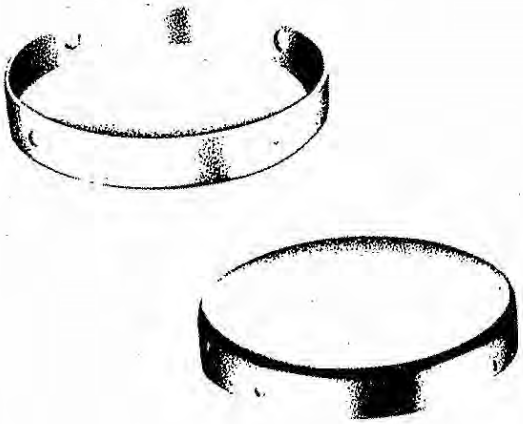
寸法表

単位：mm

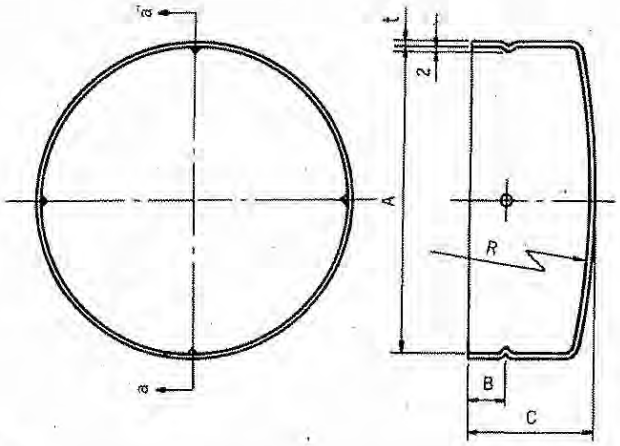
商品コード	寸法 / 管の呼び径	A	B	ℓ1	ℓ2	ℓ3	L	規格仕様 関係電力
50090	125－100	114.3	142	40	40	40	120	関　西

鋼管用キャップ

鉄製キャップ



a —a' 断面



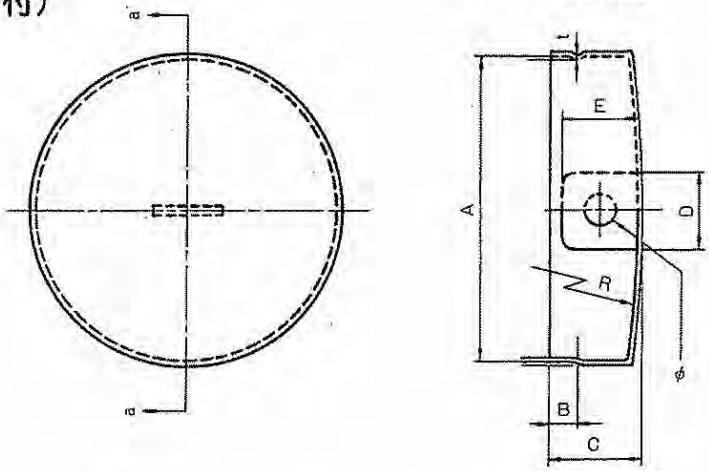
寸法表　　単位：mm

商品コード	寸法 管の呼び径	A	B	C	t	R	規格仕様 関係電力
56500	80	92	10	30	1.6	300	関　西
56520	100	118	15	50	1.6	300	
50120	125	142	10	30	1.6	300	関　西
53330	150	168	15	50	1.6	600	

No.15
No.14

鉄製キャップ（フック付）
（ケーブル引込用呼び線引留フック付）

a —a' 断面



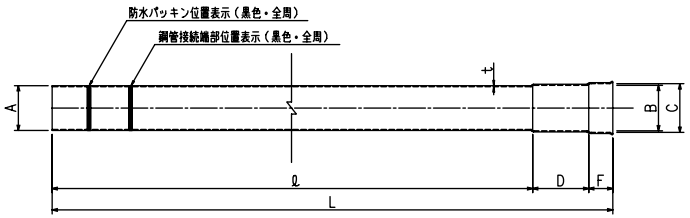
寸法表　　単位：mm

商品コード	寸法 管の呼び径	A	B	C	D	E	t	R	φ
56501	80	92	10	30	40	40	1.6	300	18
56521	100	118	15	50	40	40	1.6	500	18
56510	125	142	10	30	40	40	1.6	300	18
53331	150	168	15	50	40	40	1.6	600	18

管路材構造図（１）

（電力用亜鉛メッキ鋼管）

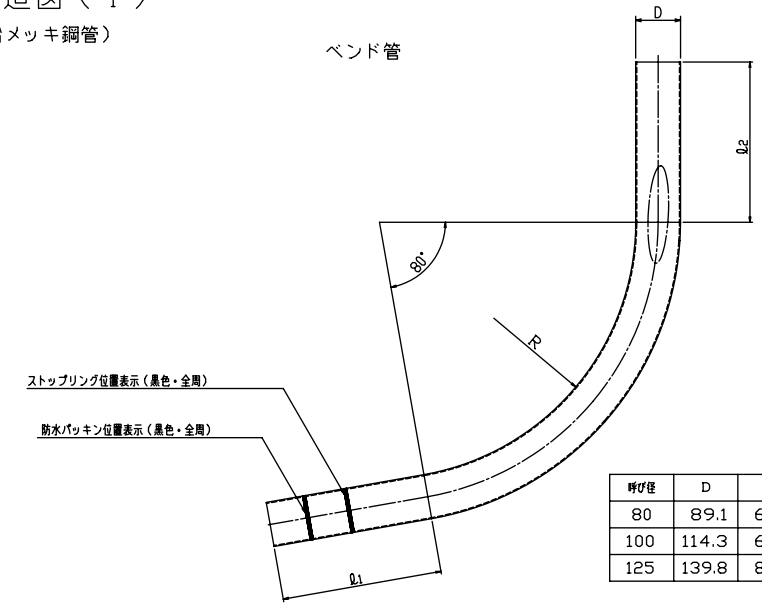
直　管



単位：mm

寸法 / 呼び径	管の外径 A	接合部 B	接合部 C	接合部 D	接合部 E	管の厚さ t	有効長 ℓ	全長 L	めっき付着量 g/m²
80	89.1	91.2	96.0	150	75	3.0	3500	3725	600
100	114.3	116.4	123.4	150	75			3700	550
125	139.8	142.0	152.0	175	75			3750	600

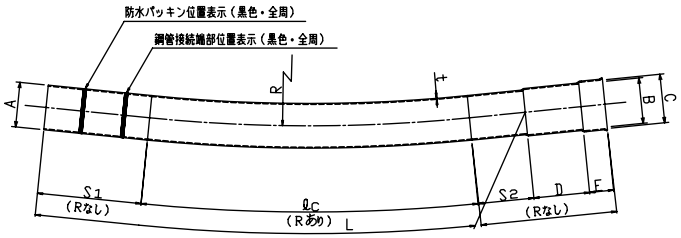
ベンド管



単位：mm

呼び径	D	R	ℓ1	ℓ2
80	89.1	600	300	300
100	114.3	600	300	300
125	139.8	800	500	500

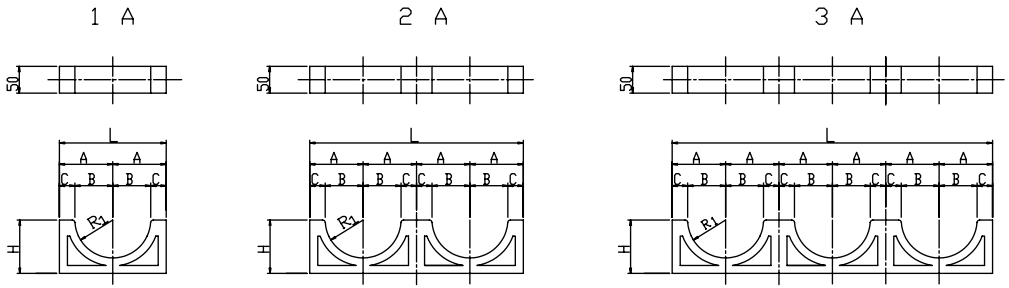
曲　管



単位：mm

寸法 / 呼び径	管の外径 A	接合部 B	接合部 C	接合部 D	接合部 E	直線部 S1	直線部 S2	管の厚さ t	曲げ半径 R	有効長 L
80	89.1	91.2	96.0	150	75	325	175	3.0	5000	1500
100	114.3	116.4	123.4	150	75					
125	139.8	142.0	152.0	175	75					

管　枕

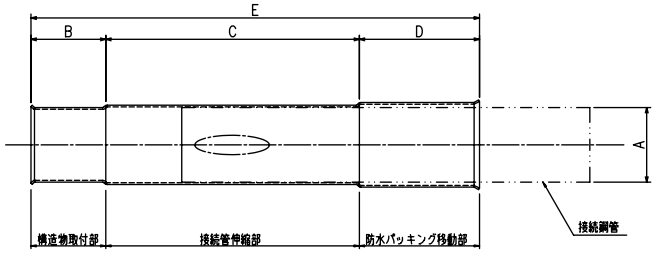


単位：mm

管の呼び径・型別 / 寸法		A	B	C	H	L	R_1
125	1 A	95	71	24	85	190	71
	2 A	95	71	24	85	380	71
	3 A	95	71	24	85	570	71

※　管枕の設置間隔は、管路１本当り２ヶ所設置を標準とする。

伸縮性取付管（ダクトスリーブ）



単位：mm

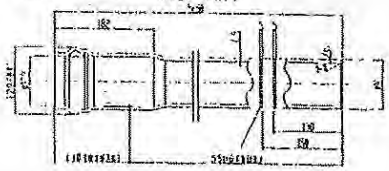
寸法 / 呼び径	接続鋼管 A	構造物取付部 B	接合鋼管伸縮部 C	防水パッキング移動部 D	全長 E
80	89.1	140	450	225	815
100	114.3	140	450	225	815
125	139.8	140	475	225	840

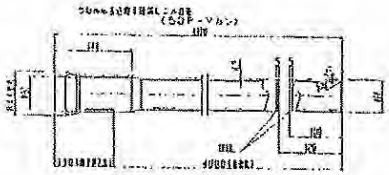
※　当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

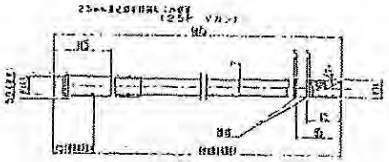
年　度	平成　年度	番　号	30/53
路線名	都市計画道路　枚方大和高田線　外		
工事名			
所属地名	枚方市　茄子作東町　外		
図面種別	管路材構造図(1)		
縮　尺	1:20	作成年月	平成18年3月
大阪府枚方土木事務所			

PV管 構造図-2

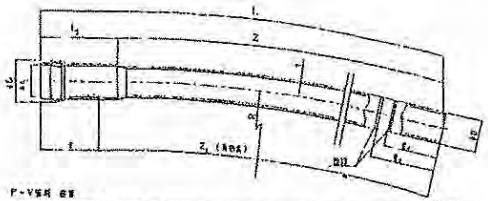
直管







曲管

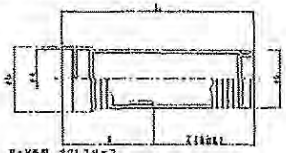


P-V管用 曲管

呼び径	D	G	d	L	L_1	Z	Z	i	I	I_1	d_1	R
50	60	84	67.0	110	144	900	1000	65	110	120	100	5000
75	90	120	97.3	140	182	950		65	140	150	130	10000

※50mm以上の場合、オモマントレバー(曲げテスト)は行いません。

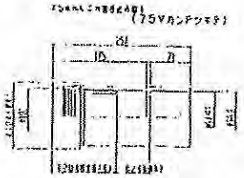
ダクトスリーブ

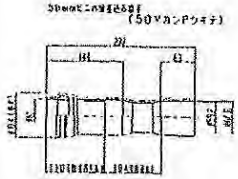


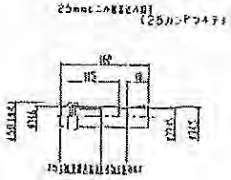
P-V管用 ダクトスリーブ

呼び径	d0	d1	d2	L	Z	t
25	48	52	40.0	258	110	113
50	76	83	65.3	325	150	140
75	110	124	112.0	360	190	170

V管P継手

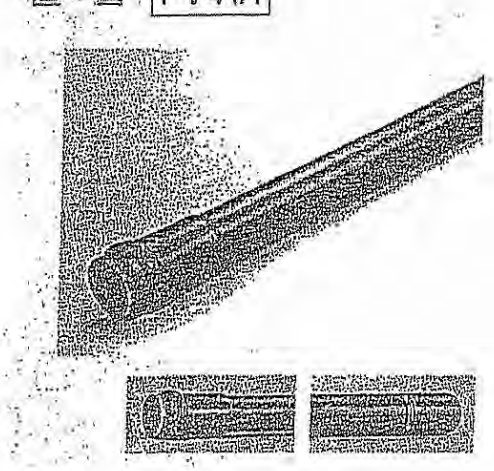


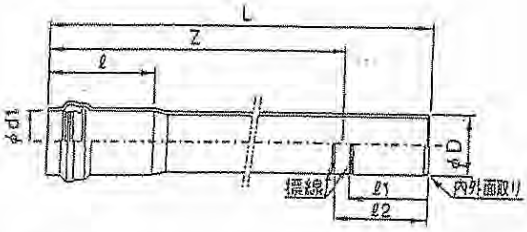




平成 14 年度		図面番号	18/24
発注者			
路線名	国道 30号		
工事名	地特 [illegible] 工事 (第2工区)		
施工場所	東大阪市長田東2丁目		
図面名	PV管 構造図-2	縮尺	—

直管 PV-RR

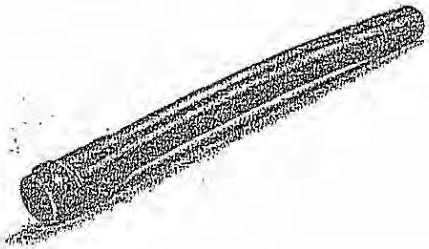


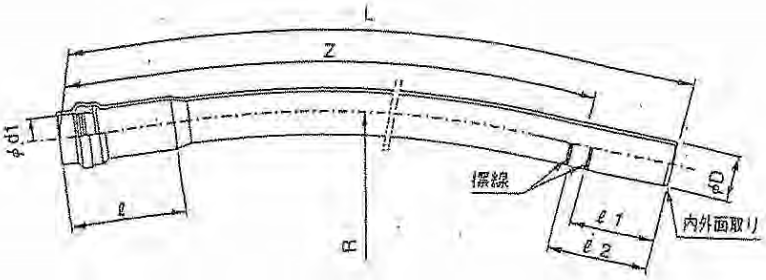


単位：mm

呼び径	受口内径	受口長さ	外径	標線までの長さ		有効長	全長	
	d1	ℓ	D	ℓ1	ℓ2	Z	L	許容差
50	61.0	144	60.0	90	110	1000 2000 5000	1100 2100 5100	+30 −10
75	97.3	182	96.0	130	150		1140 2140 5140	

曲管 PV-BR

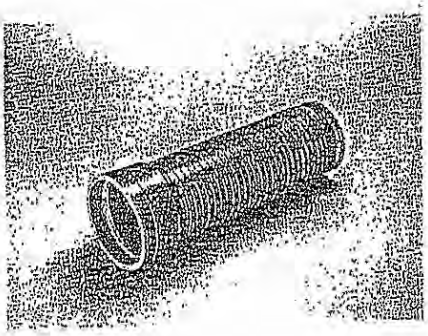


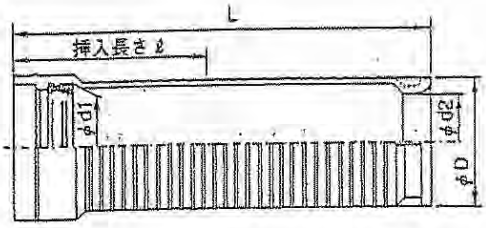


単位：mm

呼び径	受口内径	受口長さ	外径	曲率半径	標線までの長さ		有効長	全長	
	d1	ℓ	D	R(m)(参考)	ℓ1	ℓ2	Z	L	許容差
50	61.0	144	60.0	3,5,10	90	110	1000	1100	±15
75	97.3	182	96.0		130	150		1140	

ダクトスリーブ

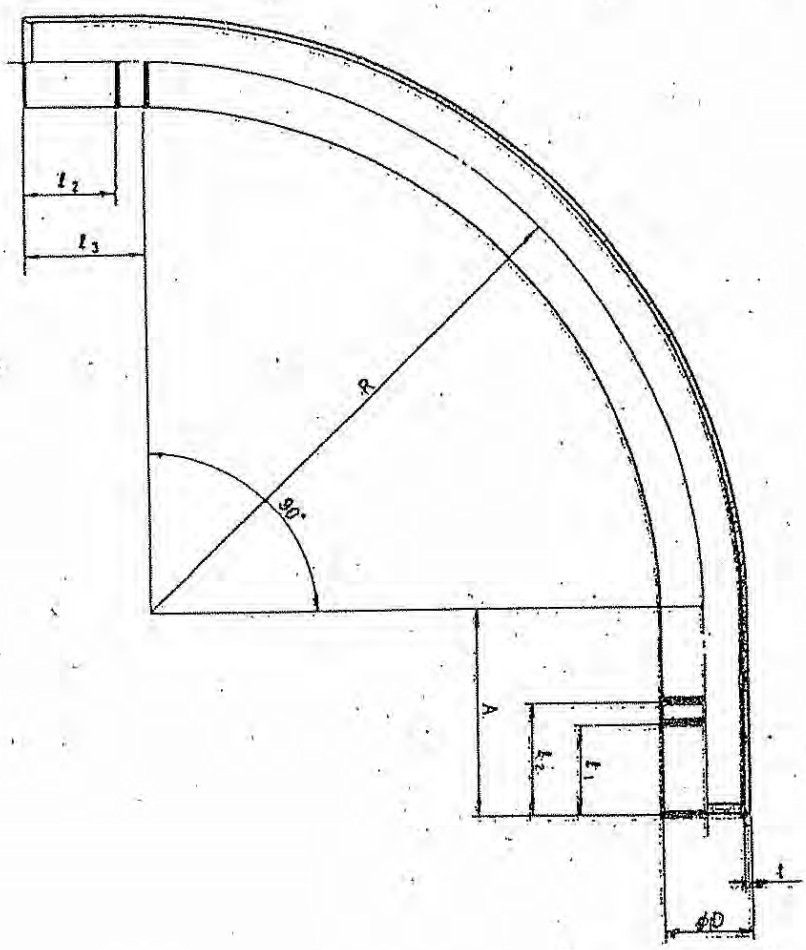




単位：mm

呼び径	全長	挿入長さ	外径	内径	
	L	ℓ	D	d1	d2
50	325	140	78	65	52.9
75	360	170	110	99	83.0

電共PV管



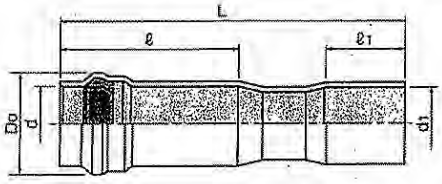
単位：mm

対象品	呼び径	D	t	A	l_1	l_2	l_3	R
	25	34.0±0.3	3.0±0.30	400	65	85	115	500
	50	60.0±0.5	4.5±0.40	400	100	120	150	500
	75	96.0±0.6	6.5±0.55	400	130	150	190	1000

備考：クボタ規格品。

Vカンpツギテ（ビニル管差込み継手）

品番8082



単位:mm

呼び径	ゴム輪受口部			接着受口部		全長
	Do（参考）	d（基本寸法）	ℓ（標準）	d1（基本寸法）	ℓ1（標準）	L（参考）
25	50	34.6	115	34.55	40	163
[illegible]	84	61.0	144	60.8	63	277
[illegible]	129	97.3	175	96.8	75	257

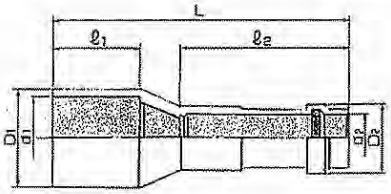
No. 13
No. 12

備考：1. 呼び径75は、日本通信電材（株）製で、上図と形状が異なります。
2. 呼び径25は、上図と形状が異なります。

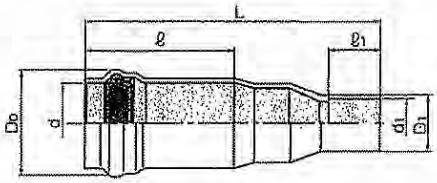
異径管差込み継手

品番8711

（25㎜−50㎜）



（75㎜−50㎜）



（25㎜−50㎜）

単位:mm

接着受口部			ゴム輪受口部			全長
D1（参考）	d1（基本寸法）	ℓ1（標準）	D2（参考）	d2（基本寸法）	ℓ2（標準）	L（参考）
70	60.8	63	50	34.6	122.5	214.5

（75㎜−50㎜）

単位:mm

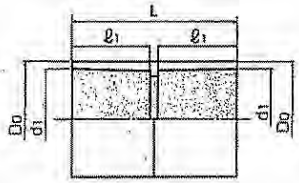
ゴム輪受口部			接着受口部			全長
Do（参考）	d（基本寸法）	ℓ（標準）	D1（参考）	d1（基本寸法）	ℓ1（標準）	L（参考）
129	97.3	182	70	60.8	63	360

備考：ゴム輪は75㎜差込み継手硬質塩化ビニル管（P−Vカン）のゴム輪と同じです。

75mmビニル管ソケット

品番8080

日本通信電材（株）製



単位:mm

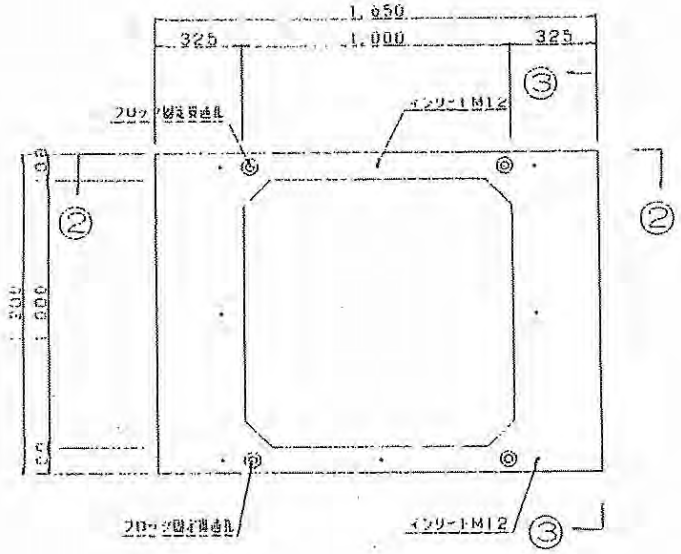
呼び径	Do（参考）	d1（基本寸法）	ℓ1（標準）	全長 L（参考）
75	110	96.8	75	157

※管枕などの関連部材はP.33以降に掲載しています。

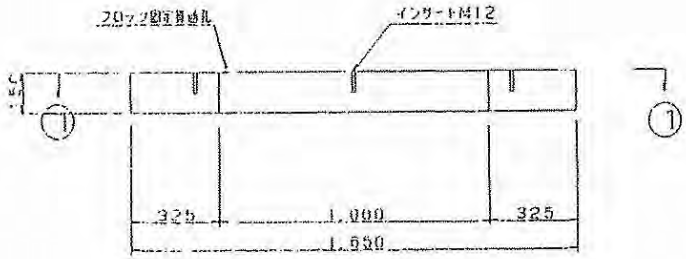
機器据付用ブロック(I-100)構造図 S=1/10

平面図

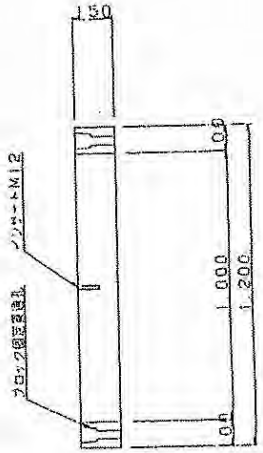
①－①



②－②

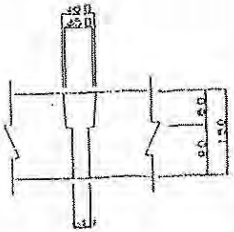


③－③



ブロック固定貫通孔詳細図

S＝1／5

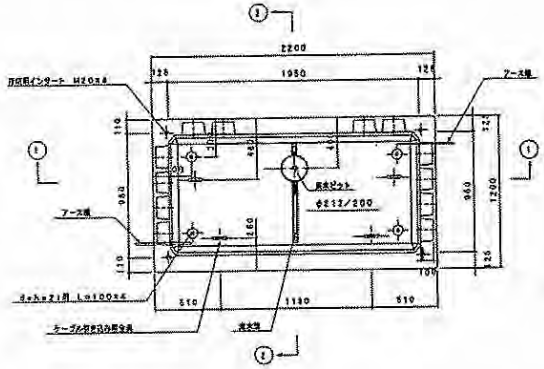


平成 14 年度		図面番号	10/24
事業名			
路線名	一般国道 308号		
工事名	電線共同溝整備工事（第2工区）		
施工地名	東大阪市長田東2丁目		
図面名	機器据付ブロック(I-100)構造図	縮尺	S=1/10

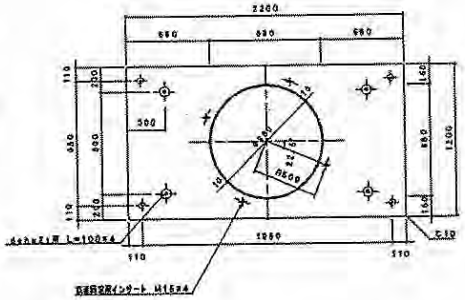
電力用桝構造図（1）　S＝1：20

（プレハブ基礎2型　950×1950×1100）

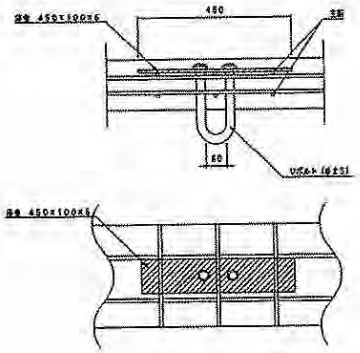
3－3断面図



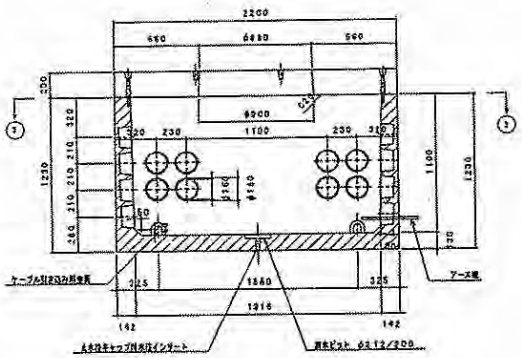
金具取付ブロック（ SG－88型 ）



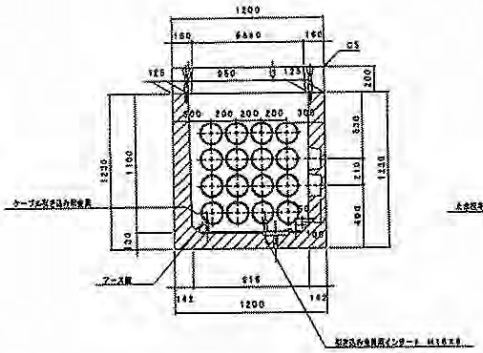
ケーブル引入れ金具取付詳細図　S＝1：5



1－1断面図

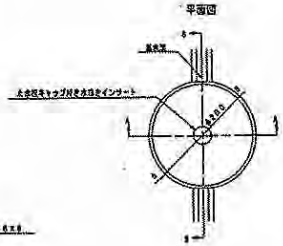


2－2断面図

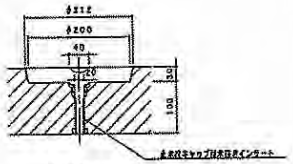


集水ピット部詳細図　S＝1：5

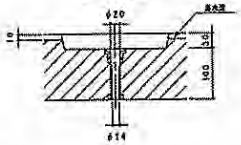
平面図



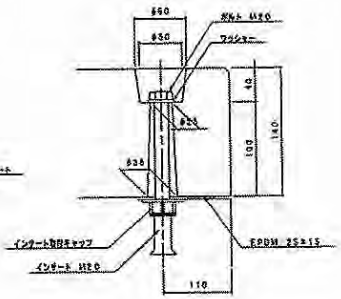
A－A断面図



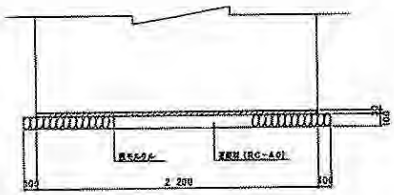
B－B断面図

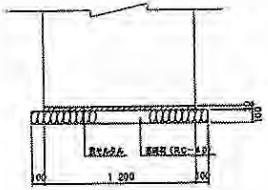


接続部詳細図　S＝1：3



基礎工





注）取付けブロック（電柱）の支柱の有効及び高さ設置は関西電力（株）と協議の上仕様とすること。

呼　称	参考質量 (kg)
金具取付ブロック（ S－88型 ）	1015
本体ブロック	3040
合　計	4055

設計条件

設計荷重	活荷重	上下床版：T－25　P＝60kN/輪
		側　壁：T－25　P＝50kN/輪
	震　度	上下床版：I＝0.1
		側　壁：I＝0.1
構造形式		鉄筋コンクリート箱型構造
内空寸法（幅×高）		0.95m×1.95m×1.10m
その他設計荷重（地下水位以上）		γs＝19kN/m³
土圧係数		Ka＝0.5
使用材料	コンクリート	σck＝35N/mm²
	鉄　筋	SD295A

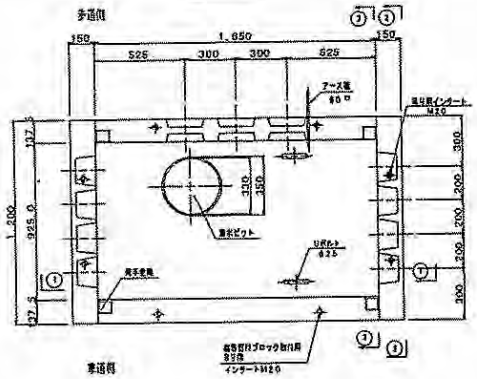
市　長		番　号	14／30
施設名 河川名			
工事名			
所在地名			
図面名	電力用桝構造図（1）		
縮　尺	図　示	作成年月	平成　年　月

参考②

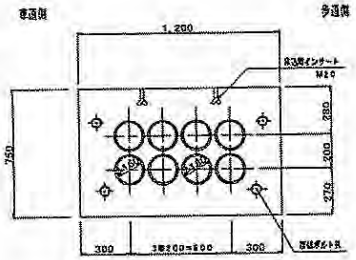
電力用桝構造図（1）　S＝1：15

（プレハブ基礎1型　900×1650×550）

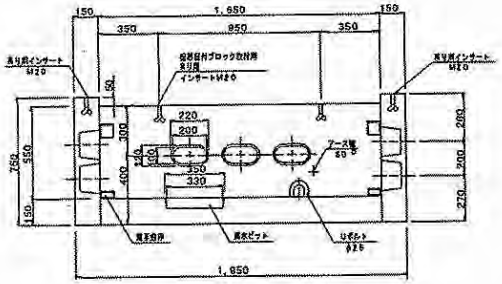
平面図



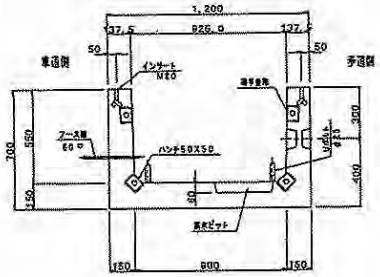
②—② 断面図



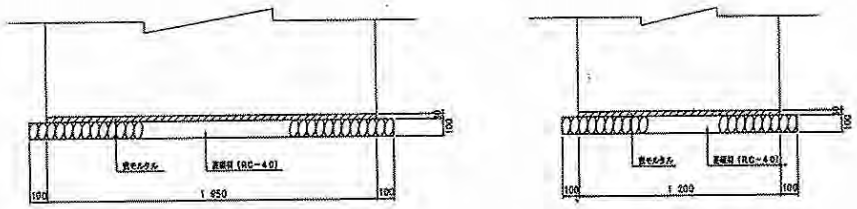
①—① 断面図



③—③ 断面図



基礎工



設計条件		
活荷重		245kN（P＝50kN）
衝撃係数		i＝0.1
土圧係数		k＝0.308
土被り		0.25m
構造		鉄筋コンクリートU形構造
（許容応力度）		
コンクリート	設計基準強度	σck＝ 30N/mm²
	曲げ圧縮応力度	σca＝ 11N/mm²
	剪断応力度	τa ＝ 0.5N/mm²
鉄筋	引張応力度	σsa＝160N/mm²

注）取付けブロック（後任）の支柱の有無及び高さ寸法は関西電力（株）と協議の上確認すること。

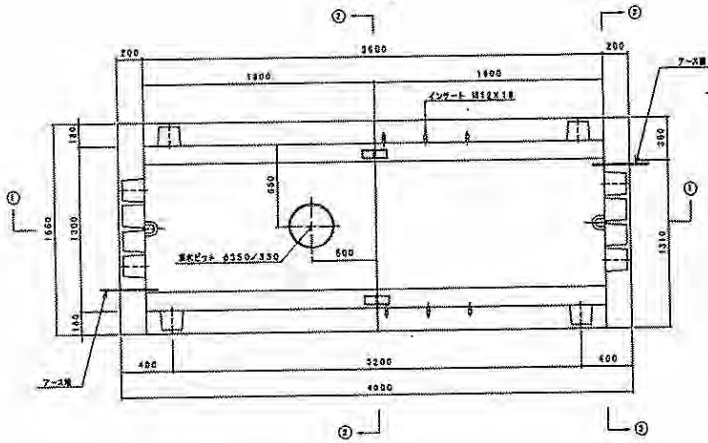
年度		書号	14／31
施設別用名			
工事名			
所属地名			
図面名	電力用桝構造図（1）		
縮尺	図番	作成年月	平成　年　月

参考 ③

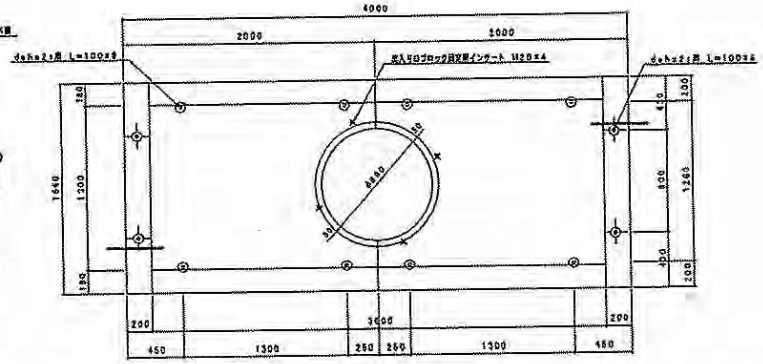
電力用桝構造図（3）　S＝1：20

（プレハブ入孔　1300×3600×1800）

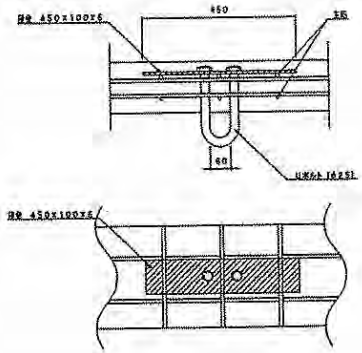
4－4断面図



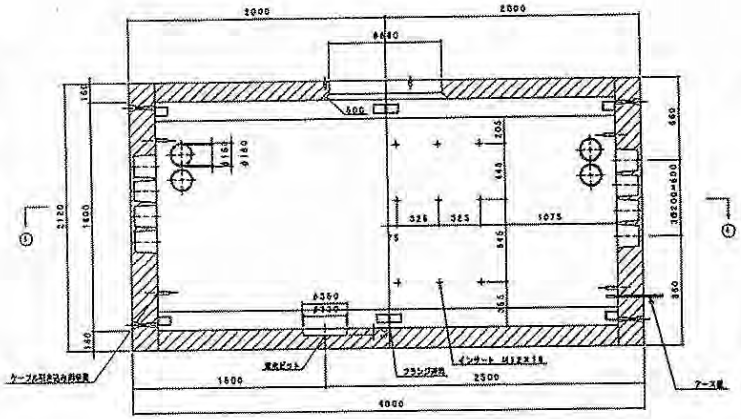
平面図



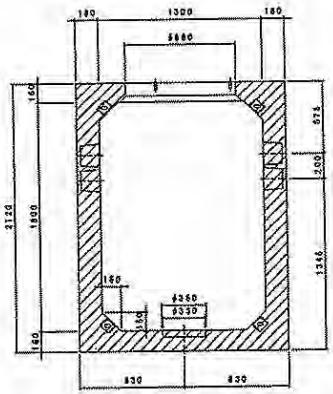
ケーブル引入れ金具取付詳細図　S＝1：5



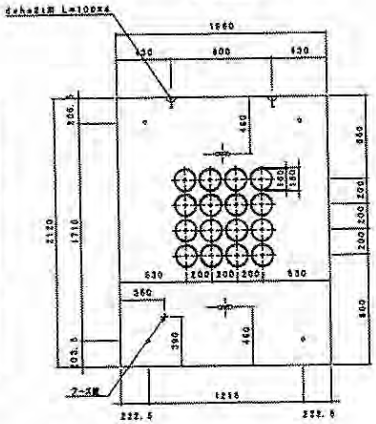
1－1断面図



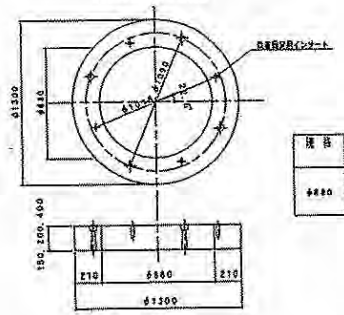
2－2断面図



3－3断面図

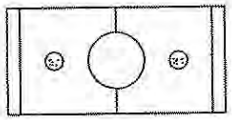


出入口ブロック詳細図



規格	高さ (mm)	質量 (kg)
φ880	150	270
	200	360
	400	720

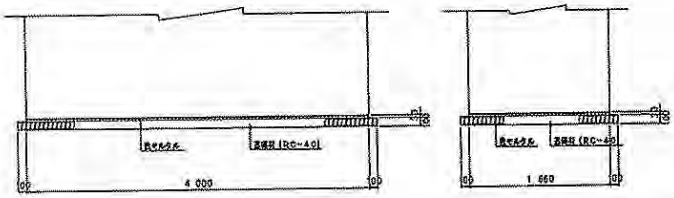
ブロック割付図



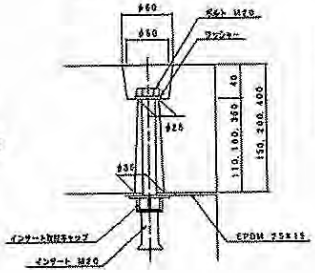
ブロック構成表

部材	質量 (kg)	数量 (個)
B1ブロック	5335	1
B2ブロック	5310	1
蓋受	1605	2
合計	13855	

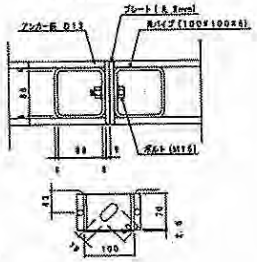
基礎工 S＝1：30



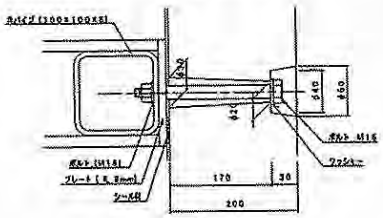
出入口ブロック接続部詳細図　S＝1：3



フランジ詳細図　S＝1：5



桝開閉蓋接続部詳細図　S＝1：3



設計条件

設計荷重	活荷重	上下荷重：T-25 P=100kN/輪
		側　圧：T-25 P= 50kN/輪
	衝撃	上下荷重：i=0.4
		側　圧：i=0.4
最小土被り		0.4m
構造形式		鉄筋コンクリート箱型構造
内空寸法（幅×高）		1.30m×3.60m×1.8m
土の単位体積重量（地下水位以上）		γ_t=19kN/m³
使用材料	コンクリート	σck=35N/mm²
	鉄筋	SD295A

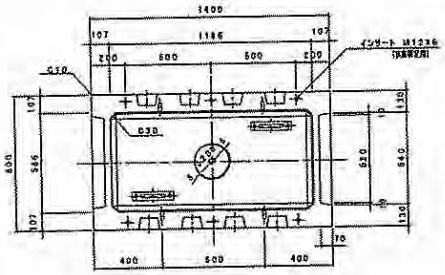
年度		番号	19／30
施設名 引用名			
工事名			
所属略名			
図面名	電力用桝構造図（3）		
縮尺	図名	作成年月	平成　年　月

参考④

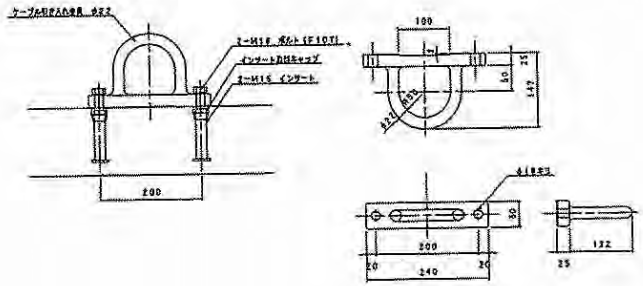
電力用桝構造図（2）　S＝1：15

（分岐桝　600×1200×550）

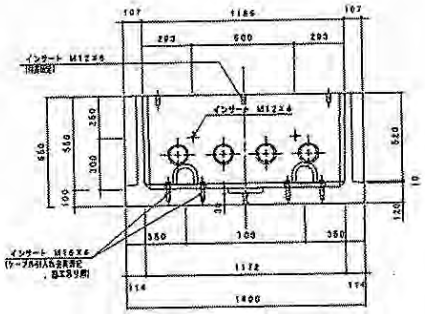
平面図



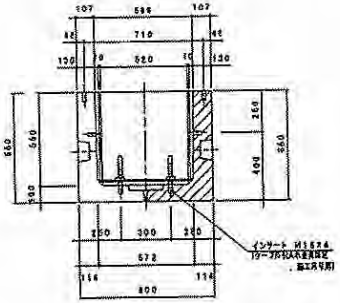
ケーブル引入れ金具取付詳細図　S＝1：5



側面図

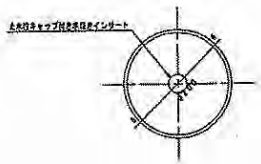


正面図

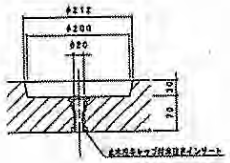


集水ピット部詳細図　S＝1：5

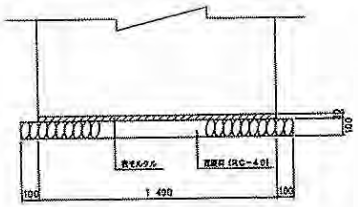
平面図

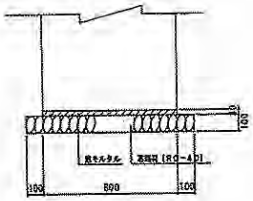


断面図



基礎工





部材	参考質量 (kg)
本体ブロック	790

設計条件

設計荷重	活荷重	上下荷重：T-25　P=50kN/輪
		側　型：T-25　P=50kN/輪
	衝撃	上下荷重：i=0.1
		側　型：i=0.0
構造形式		鉄筋コンクリートU型構造
内空寸法（幅×長×高）		0.60m×1.20m×0.55m
土の単位体積重量（地下水位以上）		γs=19kN/m³
土圧係数		Ks=0.308
使用材料	コンクリート	σck=35N/mm²
	鉄　筋	SD295A

注）取付けブロック（基礎）の支持の有無及び高さ調整は隣接電力（株）と協議の上相違ないこと。

年度		番号	15／30
路線別用名			
工事名			
所属対名			
図面名	電力用桝構造図（2）		
縮尺	図番	作成年月	作成者

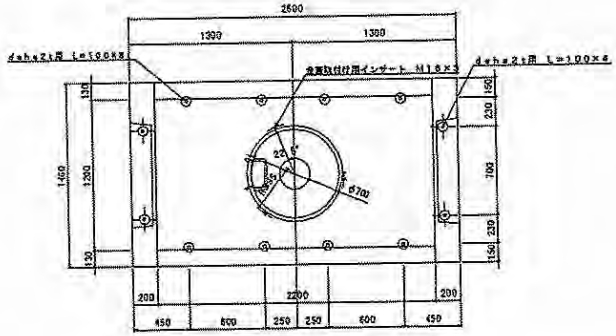
大阪府茨木土木事務所

茨木 5

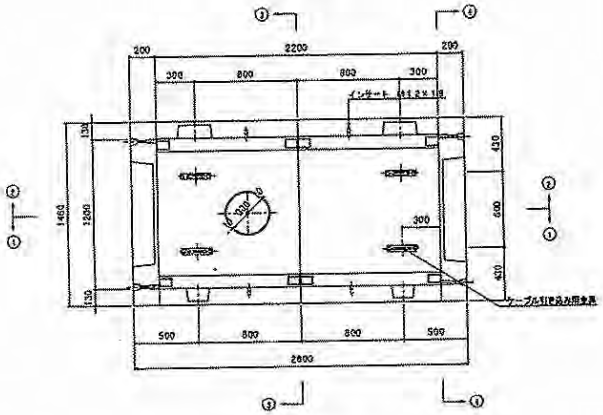
道路及び通信用合同桝構造図　S＝1：20

（車道・歩道部兼用　1200×2200×1500）

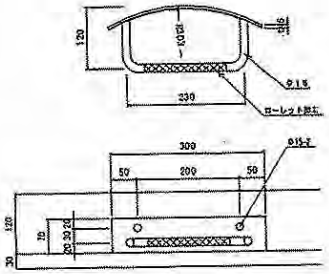
平面図



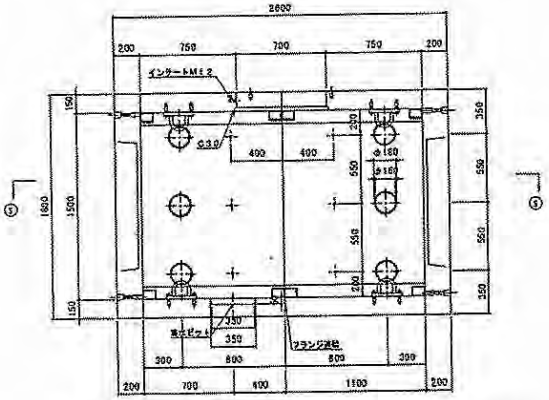
5－5断面図



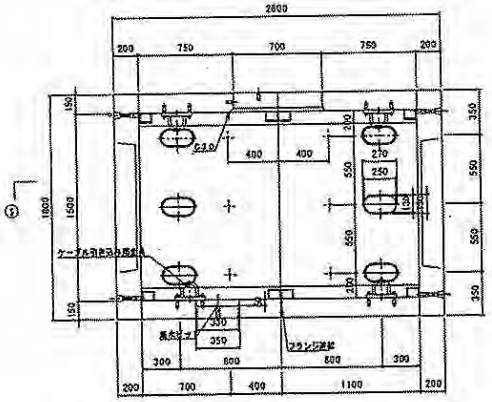
梯子用ステップS＝1：5



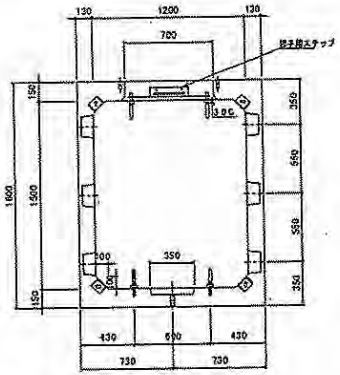
1－1断面図



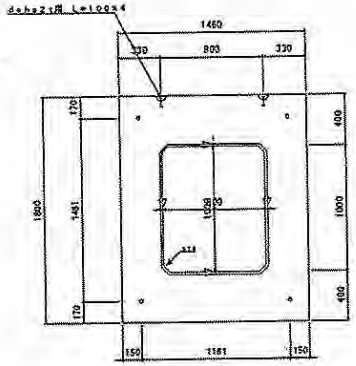
2－2断面図



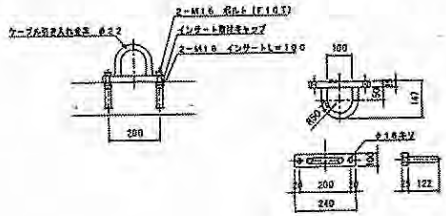
3－3断面図



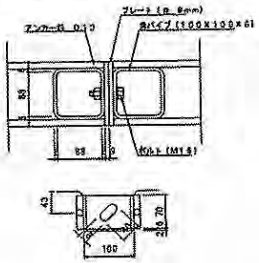
4－4側面図



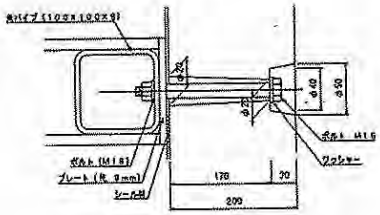
ケーブル引入れ金具取付詳細図　S＝1：10



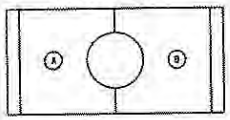
フランジ詳細図　S＝1：5



端面版接続部詳細図　S＝1：3



ブロック割付図



ブロック構成表

材料	容量 (kg)	数量 (個)
Aブロック	2200	1
Bブロック	2210	1
端部版	965	2
合計	6340	

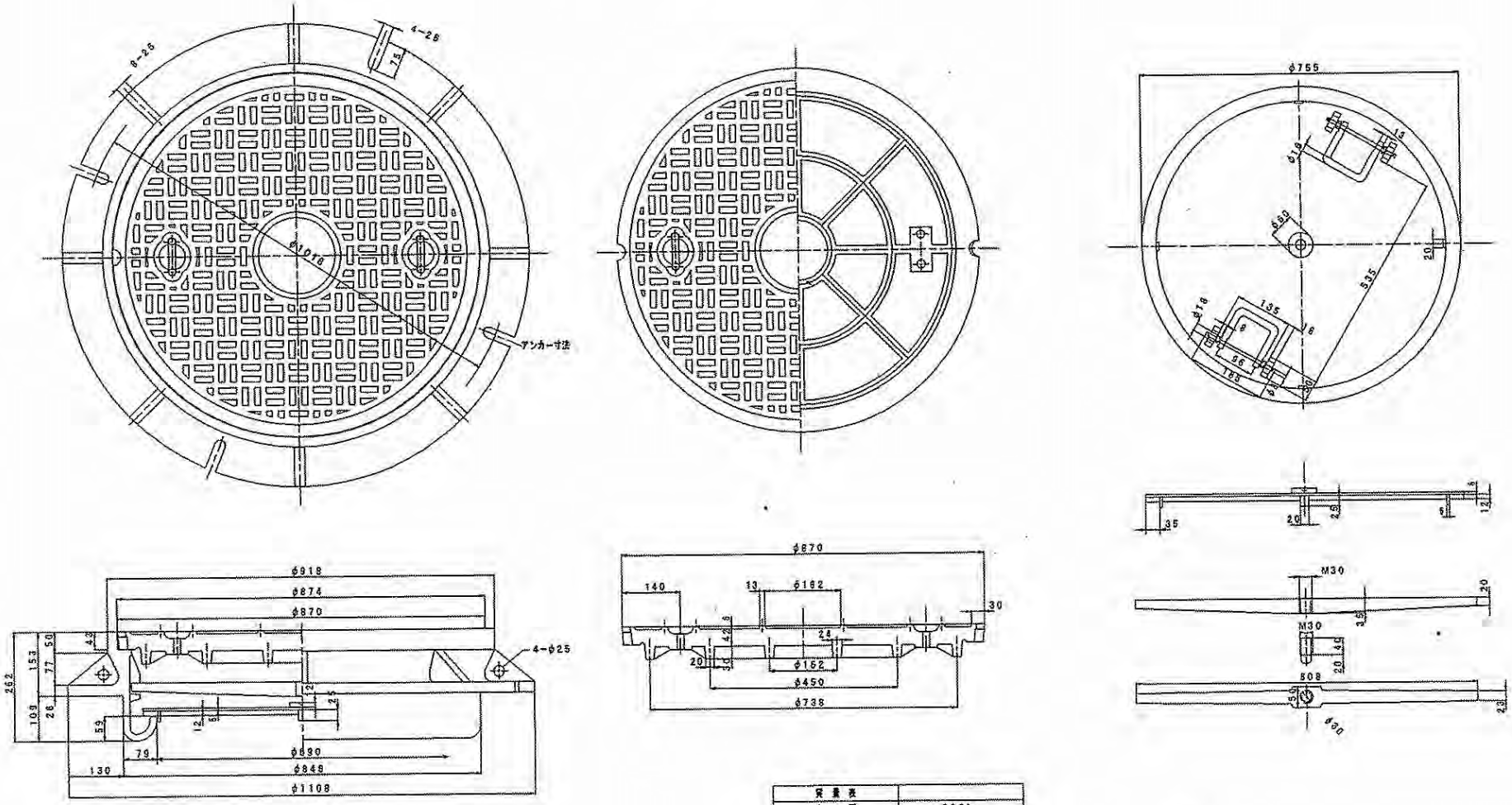
設計条件

設計荷重	活荷重	上下床版：T-25　P=100kN/輪
		側　壁：T-25　P= 60kN/輪
	土圧	上下床版：i=0.4
		側　壁：i=0.4
構造形式		鉄筋コンクリートBOX型構造
内空寸法（幅×高）		1.20m×2.20m×1.50m
土の単位体積重量（地下水位以上）		γt=19kN/m³
使用材料	コンクリート	σck=35N/mm²
	鉄筋	SD295A

住所		番号	18／30
所轄河川			
工事名			
所属地名	筑田市中の町一番地27号		
図面名	道路及び通信用合同桝構造図		
縮尺	図面	作成年月	平成　年　月

資料 6

電力用桝蓋構造図　S＝1：5
（歩道・車道部兼用）



質量表	
上　蓋	220kg
下枠（付属品含む）	250kg

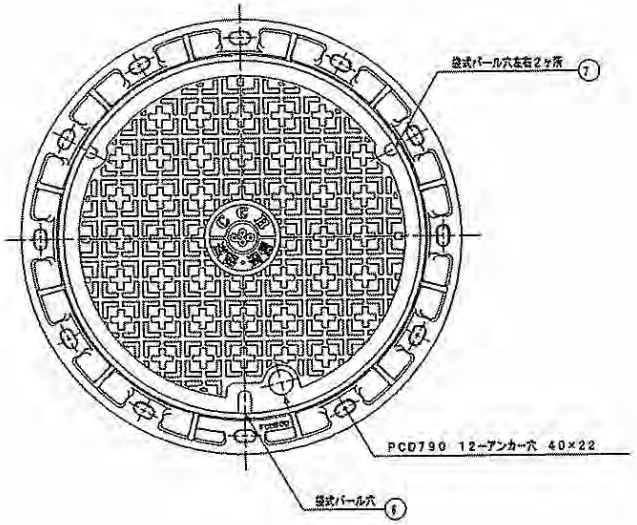
設計条件表

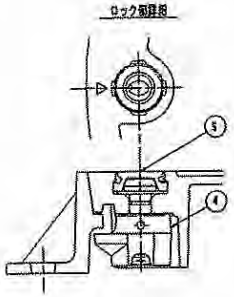
設計荷重	活荷重	245kN（25tf） 輪荷重98kN（10tf）
	衝　撃	I＝0.4
	支　間	L＝820mm
構造形式		鋳鉄製鉄蓋（FC）

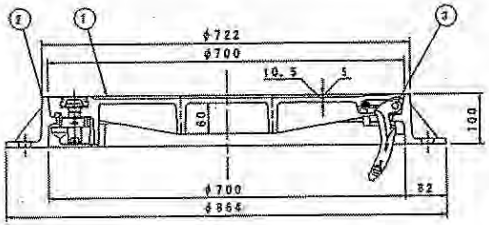
年　度		番　号	19／30
道路河川名			
工事名			
所属地名			
図面名	電力用桝蓋構造図		
縮　尺	図示	作成年月	平成　年　月

参考⑦

道路及び通信用桝蓋構造図　S＝1：5
（車道部）







基準　道　用：車道用 T-25
　　総荷重：98kN（10t）
　　衝撃係数：0.4
　　破壊荷重：700kN以上

7	ゴムキャップ	C R	2	CP2
6	ゴムキャップ	C R	1	CP1
5	ゴムキャップ	C R	1	R-1
4	ロック金具	FCD600 SUS304	1	O-86
3	縁部金物	FCD600	1	B7
2	受枠	FCD600	1	
1	蓋	FCD700	1	
品番	部品名称	材質	員数	備考

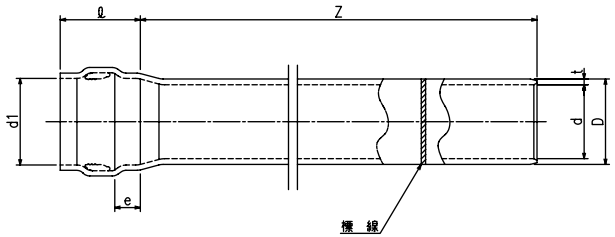
年度		番号	20／30
御建設局名			
工事名			
所属地名			
図面名	道路及び通信用桝蓋構造図		
縮尺	図番	作成年月	平成　年　月

⑧

管路材構造図（２）

（電力用合成樹脂管）

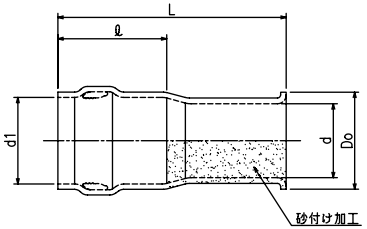
直　管



単位：mm

呼び径	D	d	d1	t	ℓ	e	Z
75	89.0	77	90.2	5.9	125	61	5000
100	114.0	100	115.5	7.1	135	64	
125	142.5	125	144.2	8.5	140	67	

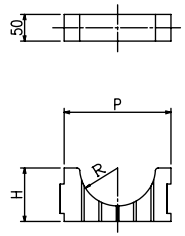
ダクトスリーブ



単位：mm

呼び径	d1	d	Do	ℓ	Z
75	90.2	77	100	260	450
100	115.5	100	130	280	
125	142.5	125	165	295	

管　枕

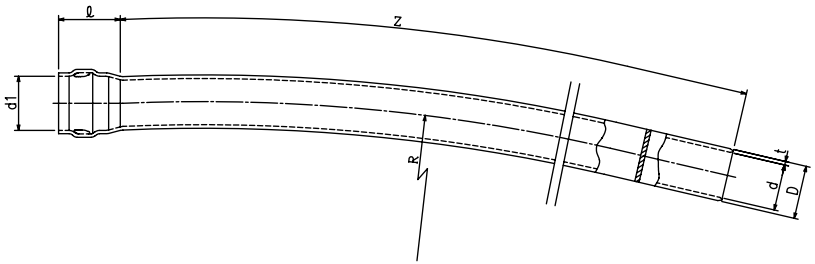


単位：mm

呼び径	形状	R	P	H
100	1A	71.5	185	92.5
125	1A	71.5	185	92.5

※　管枕の設置間隔は、管路１本当り２ヶ所設置を標準とする。

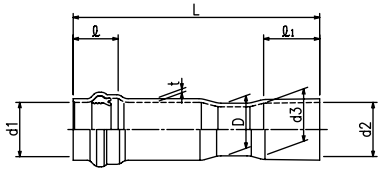
曲　管



単位：mm

呼び径	D	d	d1	t	ℓ	e	Z	R
75	89.0	77	90.2	5.9	125	61	1000	5000 10000
100	114.0	100	115.5	7.1	135	64		
125	142.5	125	144.2	8.5	140	67		

異種管継手



単位：mm

呼び径	L	ℓ	ℓ1	D	d1	d2	d3	t
75	400	120	150	89.0	90.2	91.3	89.3	5.9
100	655	130	210	114.0	115.5	117.7	113.5	7.1
125	655	135	210	142.5	144.2	142.4	138.2	8.5

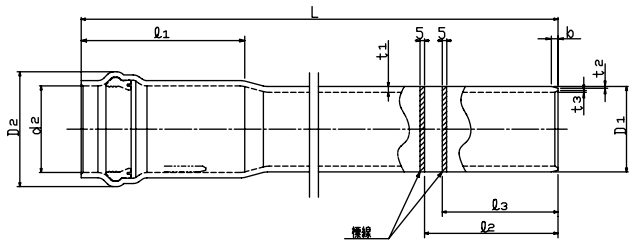
※　当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

年　度	平成　　年度	番　号	31/53
路 線 名	都市計画道路　枚方大和高田線　外		
工 事 名			
所属地名	枚方市　茄子作東町　外		
図面種別	管路材構造図(2)		
縮　尺	1:20	作成年月	平成18年3月
大阪府枚方土木事務所			

管路材構造図（3）

（通信、道路用ＰＶ管）

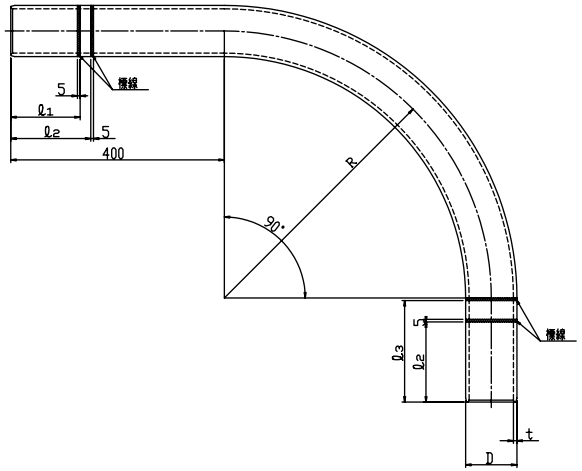
直　管



単位：mm

呼び径	管体部			受口部			差口部					参考質量 kg/本
	L	D1	t1	D2	d	ℓ1	b	ℓ2	ℓ3	t2	t3	
25	4075	34	3.0	50	34.6	115	6	85	65	1.5	1.0	1.8
50	4110	60	4.5	84	61.0	144	6	120	100	1.5	1.5	4.7
75	5690	96	6.5	129	97.3	182	8	150	130	2.0	2.0	15.0

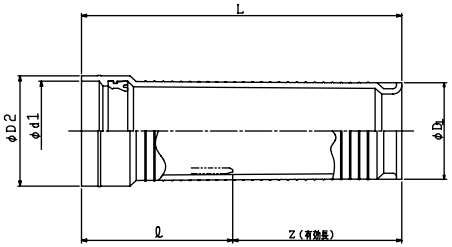
90P－V曲管



単位：mm

呼び径	D	t	ℓ1	ℓ2	ℓ3	R
25	34	3.0	65	85	115	500
50	60	4.5	100	120	150	500
75	96	6.5	130	150	190	1000

ダクトスリーブ

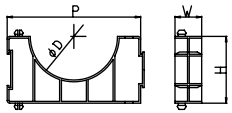


単位：mm

呼び径	φD1	φD2	φd1	L	Z	ℓ
25	28	36.5	37.0	258	140	110
50	78	83	65.3	325	160	140
75	110	124	112.0	360	190	170

管　枕

Ｐ－Ｖ管φ７５用

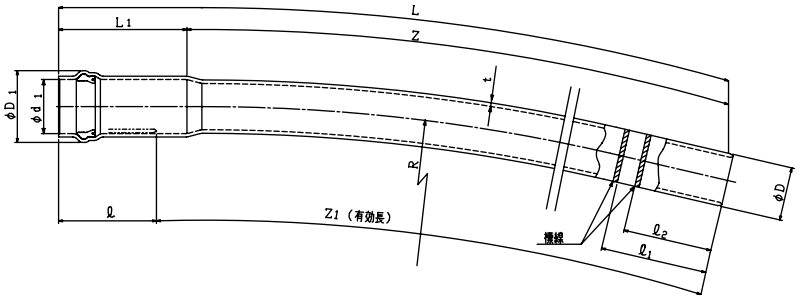


単位：mm

呼び径	D	P	W	H
75×130P	97	130	30	65
50×95P	61	95	30	47.5

※　管枕の設置間隔は、管路１本当り２ヶ所設置を標準とする。

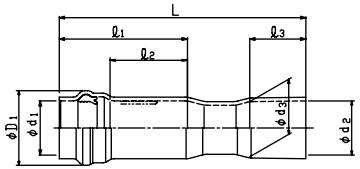
曲　管



単位：mm

呼び径	D	D1	d1	L	L1	Z	Z1	t	ℓ	ℓ1	ℓ2	R
50	60	84	61.0	1110	144	966	1000	4.5	110	120	100	5000
75	96	129	97.3	1140	182	958		6.5	140	150	130	10000

Ｖ管Ｐ継手



単位：mm

呼び径	L	D1	d1	d2	d3	ℓ1	ℓ2	ℓ3
50	277	84	61.0	60.3	59.2	144	63	63
75	257	129	97.3	96.8	94.9	175	75	75

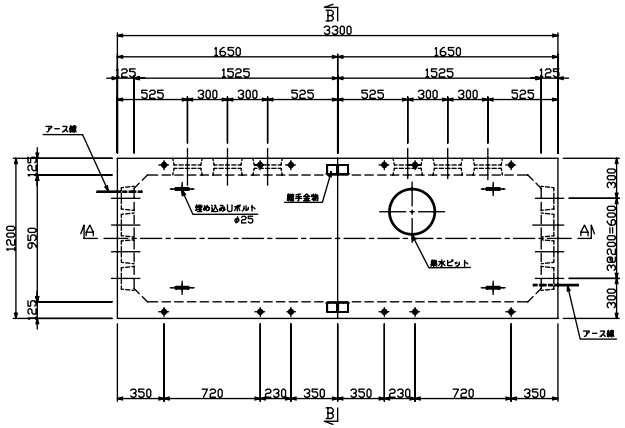
※　当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

年　度	平成　　年度	番　号	32/53
路線名	都市計画道路　枚方大和高田線　外		
工事名			
所属地名	枚方市　茄子作東町　外		
図面種別	管路材構造図(3)		
縮　尺	1:20	作成年月	平成18年3月
大阪府枚方土木事務所			

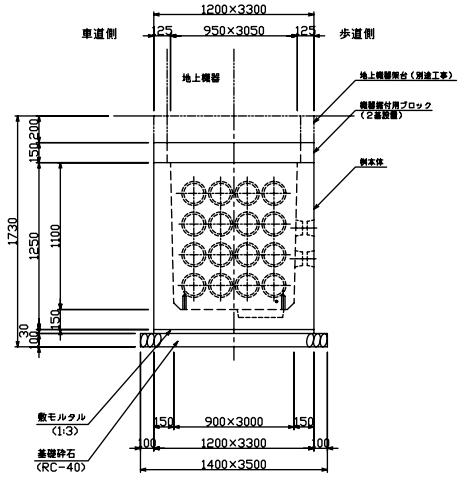
E 1 桝 構 造 図 S=1:20

（950×3050×1100 機器桝）

平 面 図

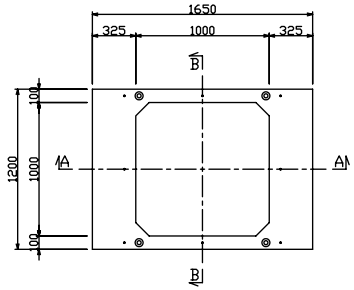


設 置 断 面 図

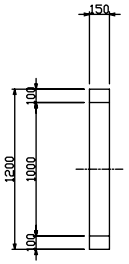


機 器 据 付 用 ブ ロ ッ ク

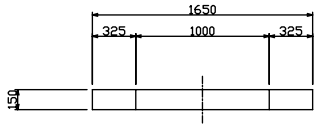
平 面 図



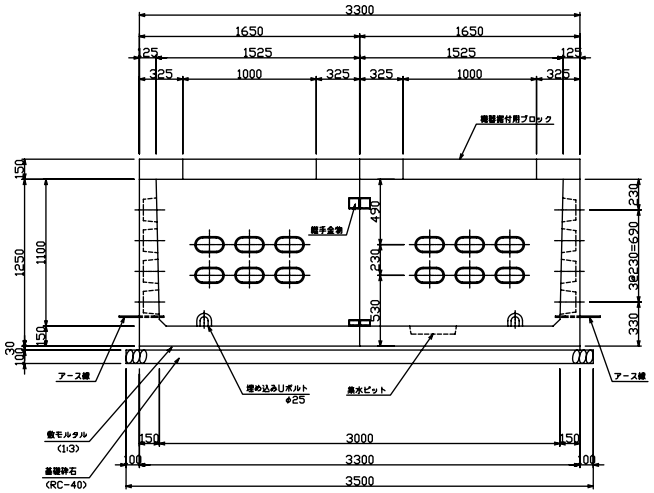
B － B 断 面 図



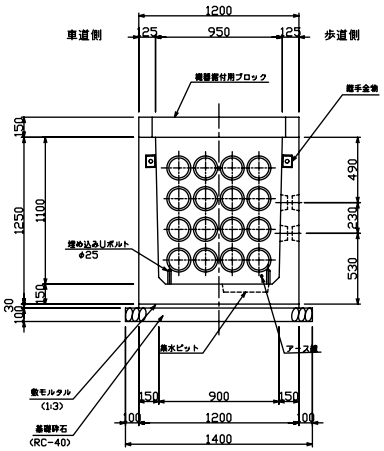
A － A 断 面 図



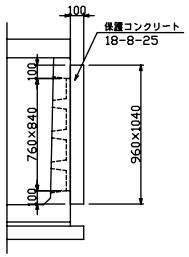
A － A 断 面 図



B － B 断 面 図



保護コンクリート



設計条件

活 荷 重		245kN (P=50kN)
衝 撃 係 数		歩道 I = 0.1
構 造 形 式		鉄筋コンクリートU形構造
内 空 寸 法		950^{W}× 3050^{L}× 1100^{H}
土 被 り		0.30m
土 圧 係 数		k = 0.308
（ 許 容 応 力 度 ）		
コンクリート	設計基準強度	σck = 30N/mm²
	曲げ圧縮応力度	σca = 11N/mm²
	せん断応力度	τa = 0.5N/mm²
鉄 筋	引張応力度	σsa = 180N/mm²

※ 特記事項

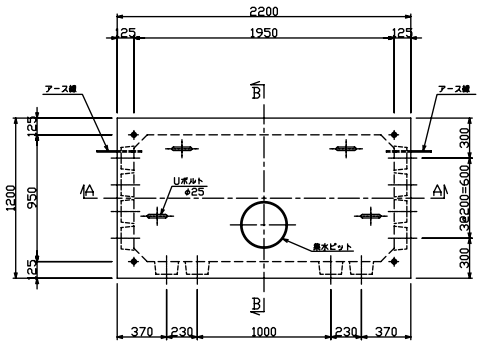
1． 桝本体のアース線2ヶ所に、A種及びB種接地に対応する接地棒をGL−75cmの深さ以上に設置すること。（10Ω以下）

年 度	平成 年度	番 号	34/53
路 線 名	都市計画道路 枚方大和高田線 外		
工 事 名			
所属地名	枚方市 茄子作東町 外		
図面種別	E1桝構造図		
縮 尺	1:20	作成年月	平成18年3月
大阪府枚方土木事務所			

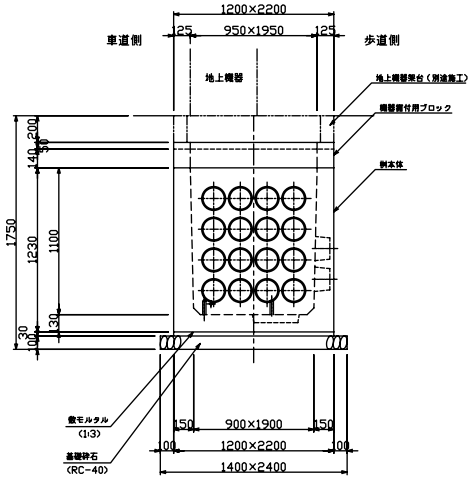
E 2 桝 構 造 図 S=1:20

（950×1950×1100　機器桝）

平 面 図

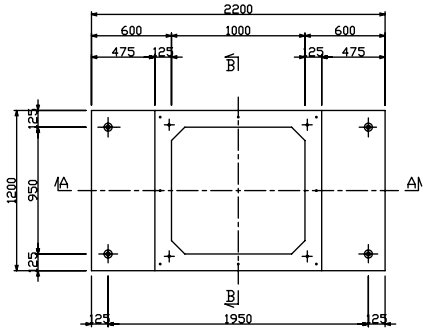


設 置 断 面 図

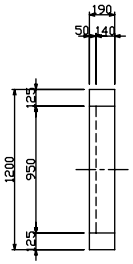


機 器 据 付 用 ブ ロ ッ ク

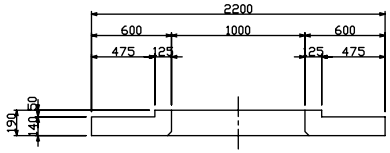
平 面 図



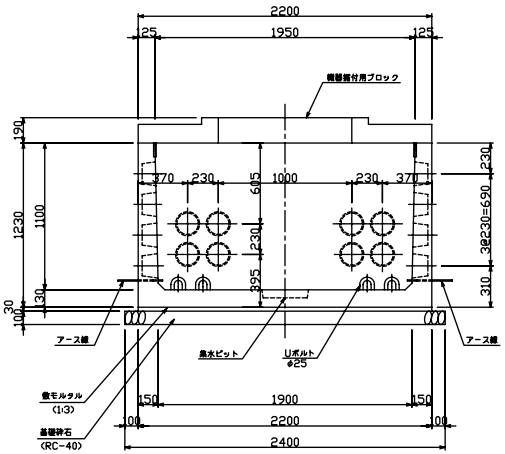
B − B 断 面 図



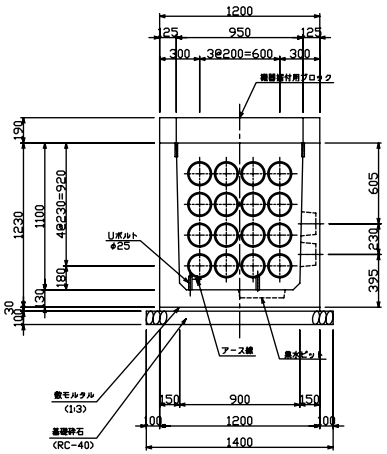
A − A 断 面 図



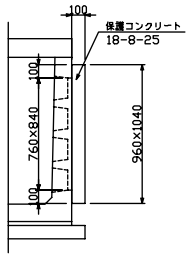
A − A 断 面 図



B − B 断 面 図



保護コンクリート



設計条件

活 荷 重		245kN (P=50kN)
衝 撃 係 数		歩道 i = 0.1
構 造 形 式		鉄筋コンクリート箱型構造
内 空 寸 法		950ᵛ× 1950ᴸ× 1100ᴴ
土 被 り		0.34m
土 圧 係 数		k = 0.5
（ 許 容 応 力 度 ）		
コンクリート	設計基準強度	σck = 30N/mm²
	曲げ圧縮応力度	σca = 11N/mm²
	せん断応力度	τa = 0.5N/mm²
鉄 筋	引張応力度	σsa = 180N/mm²

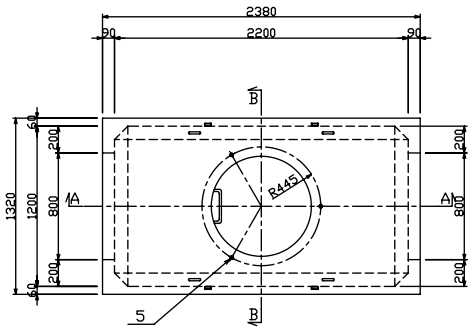
※ 特記事項

1． 桝本体のアース線2ヶ所に、A種及びB種接地に対応する接地棒をGL−75cmの深さ以上に設置すること。（10Ω以下）

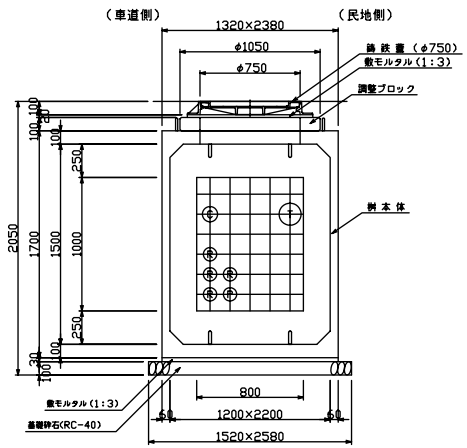
年 度	平成 年度	番 号	35/53
路 線 名	都市計画道路 枚方大和高田線 外		
工 事 名			
所属地名	枚方市 茄子作東町 外		
図面種別	E2桝構造図		
縮 尺	1:20	作成年月	平成18年3月
大阪府枚方土木事務所			

RT 桝 構 造 図 S=1:20
（1200×2200×1500　歩道用）

平 面 図

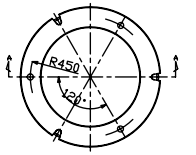


設 置 断 面 図

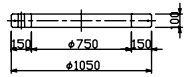


調 整 ブ ロ ッ ク

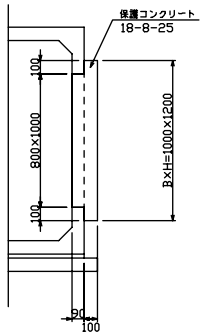
平 面 図



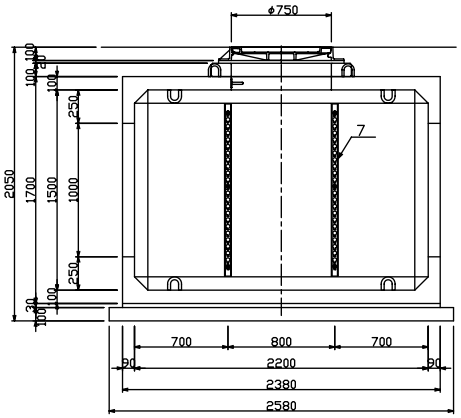
A−A 断面図



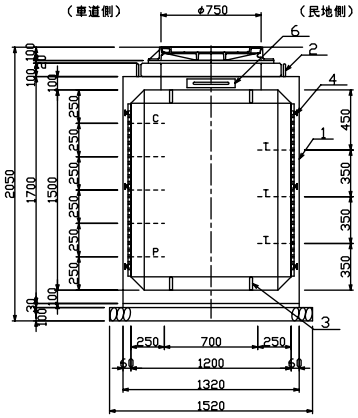
保護コンクリート



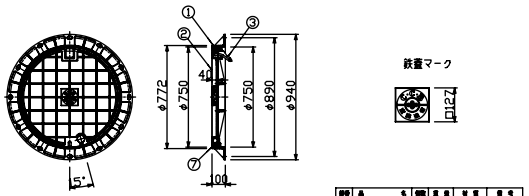
A − A 断 面 図



B − B 断 面 図



化 粧 鋳 鉄 蓋 構 造 図
（φ750　歩道用）



設 計 条 件	
蓋 種	T-25（歩道用）
輪 荷 重	1輪 5T（49KN）
衝 撃 係 数	i=0.1
等 価 荷 重	53.9KN
最 大 曲 げ 応 力	1.3m

重量表		
鋳鉄蓋品（枠部材）		47.2kg
枠）鋳鉄材質品（主部2、3）		35kg
鋳鉄蓋品（蓋部材全） 合計		82.2kg
受枠品量（1箇所）		45kg
総重量	蓋部材	92.2kg
	鋳鉄材全 合計	127.2kg

部番	品 名	個数	重 量	材 質	備 考
1	枠体	1	45	FCD600-3	
2	蓋	1	45.5	FCD700-2	
3	開閉金具	1	0.7	FCD450-18	
4	開閉フック	1	1.0	FCD450-18	
5	開閉ピン	1		SCS13	
6	ゴムキャップ	1		CR	
7	ゴムキャップ	1		CR	

設計条件

設計荷重	活荷重	1輪　50kN
	衝　撃	i = 0.1
構　造　形　式		工場製品　レジンコンクリート箱型構造
内　空　寸　法		$1200^{W} \times 2200^{L} \times 1500^{H}$
土の単位重量		$\gamma s = 19kN/m^3$
土　圧　係　数		Ka≦0.5
使用材料	レジンコンクリート	設計基準曲げ強度 σbk = 18.0MPa

符号	名　称	数量	規　格	備考
①	本　体	1	レジンコンクリート	
②	吊下げフック	4	レジンコンクリート	φ16
③	プーリングボルト	8	SS400亜鉛メッキ	φ22
④	筋金物取付用インサート	12	SUS304	M12
⑤	鉄蓋用 インサート	3	SUS304	M16
⑥	脱着式ステップ	1	SS400亜鉛メッキ	φ16
⑦	筋金物（L=1290）	4	SS400亜鉛メッキ	

参考質量：3200kg

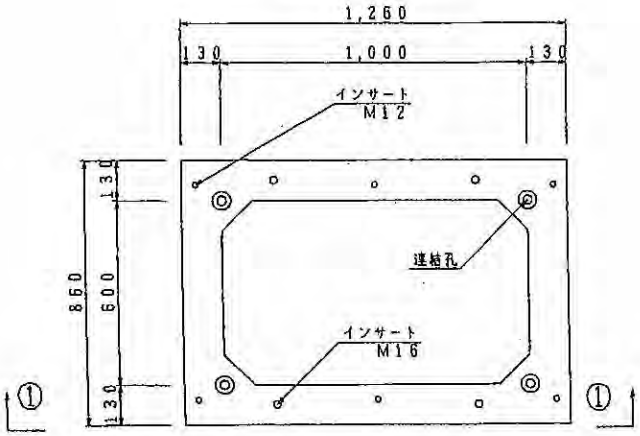
年　度	平成　年度	番　号	36/53
路 線 名	都市計画道路　枚方大和高田線　外		
工 事 名			
所属地名	枚方市　茄子作東町　外		
図面種別	RT桝構造図		
縮　尺	1:20	作成年月	平成18年3月
大阪府枚方土木事務所			

③

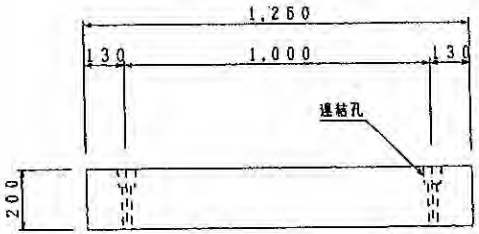
5 - 15

機器据付けブロックS－100
（H＝200）

平　面　図



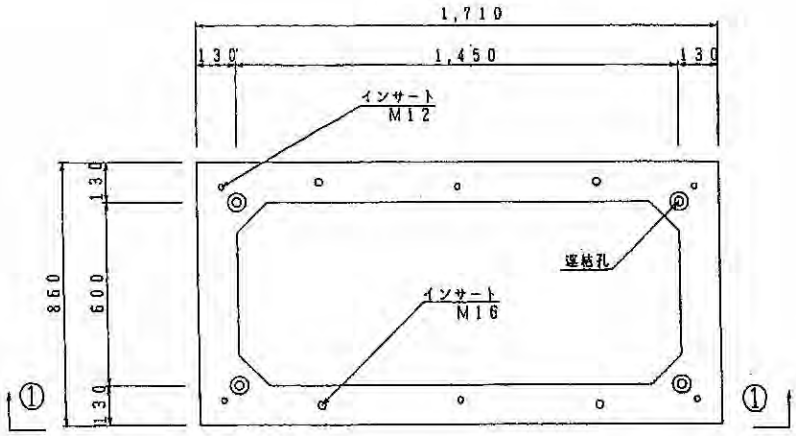
正面図 ①－①



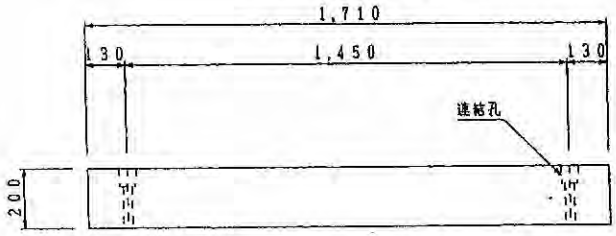
5 - 16

機器据付けブロックS－145
（H＝200）

平　面　図



正面図 ①－①



株式会社 日本ネットワークサポート

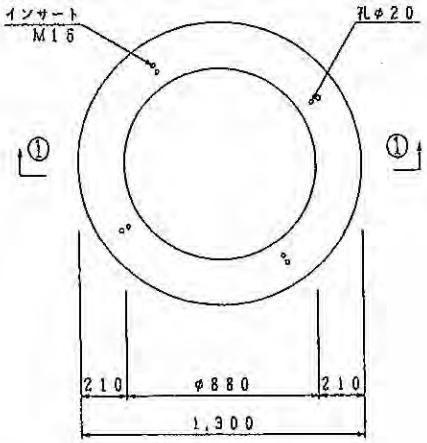
④

首座ブロック（配電用）

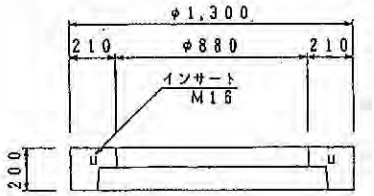
8 － 16
（H＝２００用）

8 － 17 8 － 18 8 － 19
（H＝４００，６００，８００用）

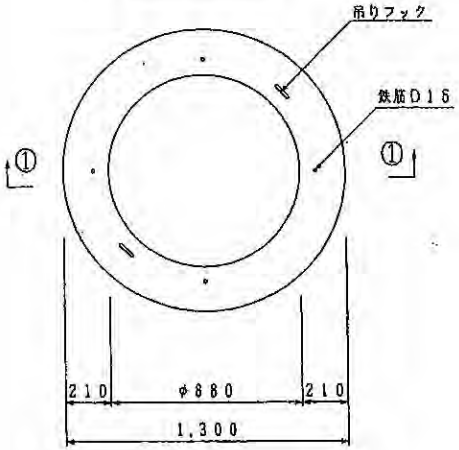
平　面　図



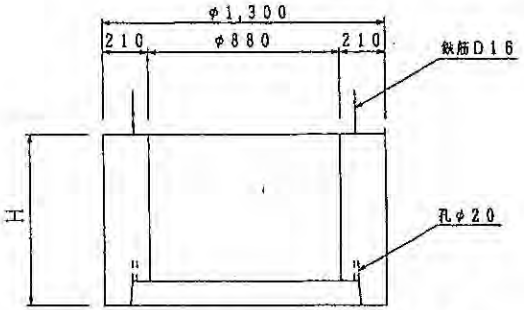
断面図 ①－①



平　面　図



断面図 ①－①



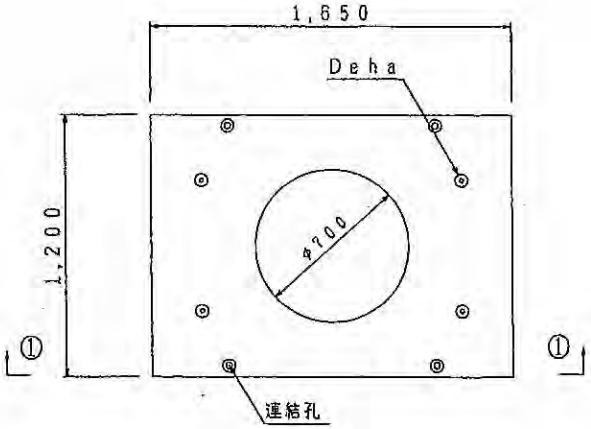
＊但し、H＝４００，６００，８００

株式会社　日本ネットワークサポート

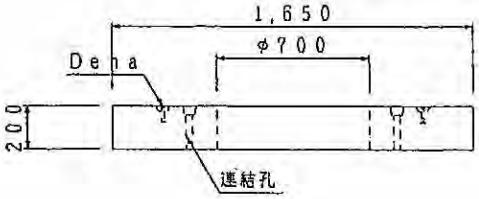
金蓋取付用ブロックⅠ－１００(φ700)構造図

1 － 23

平　面　図



正面図　①－①

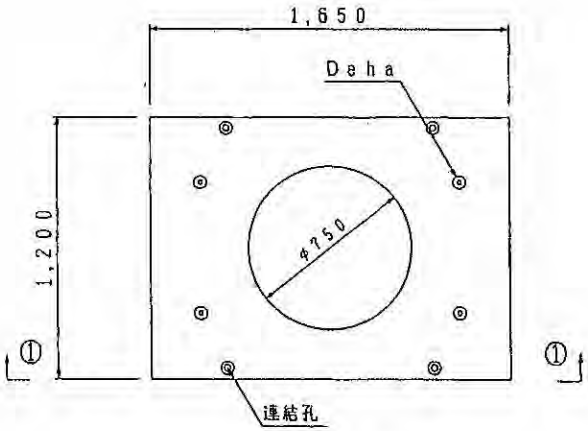


⑤

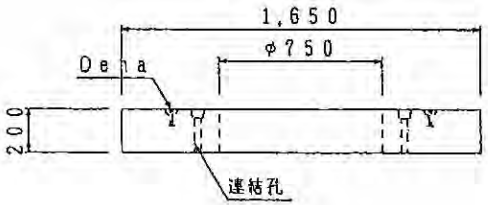
金蓋取付用ブロックⅠ－１００(φ750)構造図

1 － 24

平　面　図



正面図　①－①



株式会社　日本ネットワークサポート

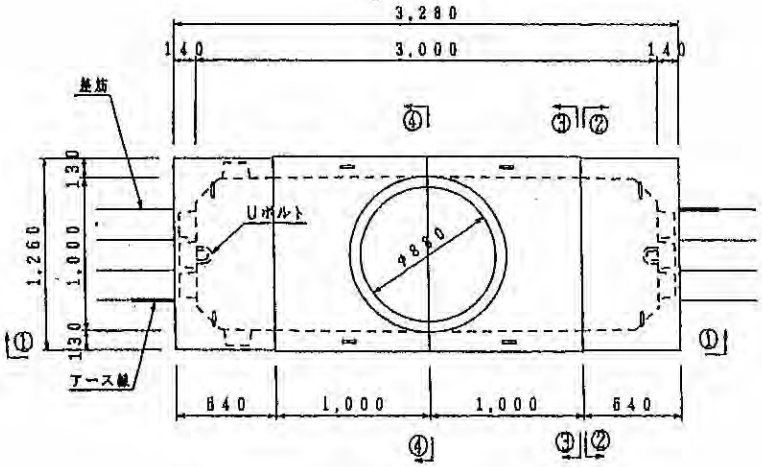
⑥

プレハブ人孔A5型構造図

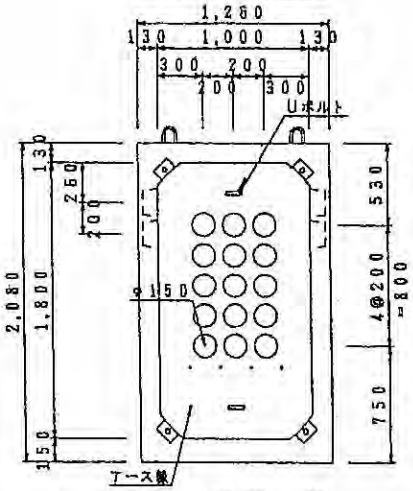
1.0X1.8X3.0m

設計条件		
活荷重		245kN(P=50kN)
衝撃係数		車道:i=1.1,歩道:i=1.1
土圧係数		k=0.5
土被り		0.4m~2.0m
構造		鉄筋コンクリート箱形構造
(許容応力度)		
コンクリート	設計基準強度	$\sigma_{ck}=30N/mm^2$
	曲げ圧縮応力度	$\sigma_{ca}=11N/mm^2$
	剪断応力度	$\tau_a=0.5N/mm^2$
鉄筋	引張応力度	$\sigma_{sa}=180N/mm^2$

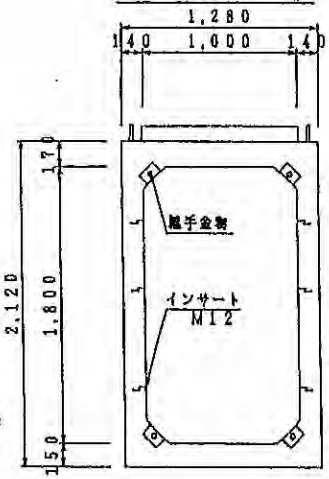
平面図



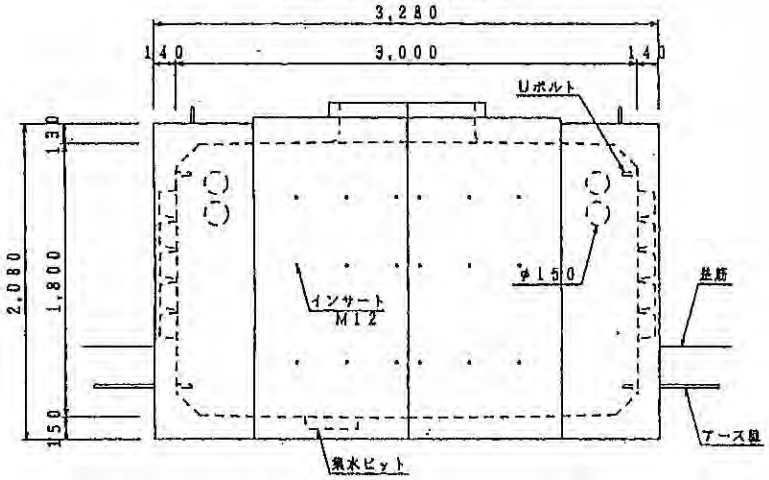
断面②-②



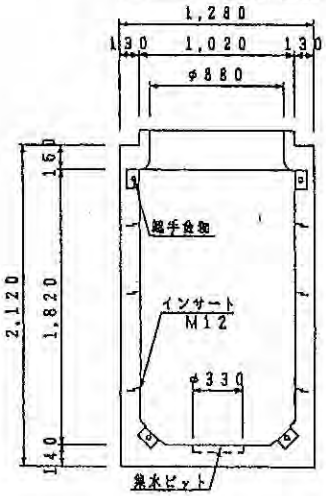
断面③-③



側面図 ①-①



断面④-④

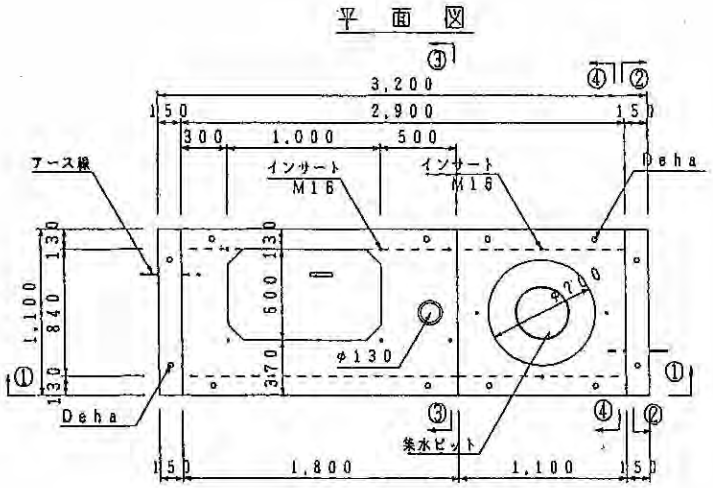


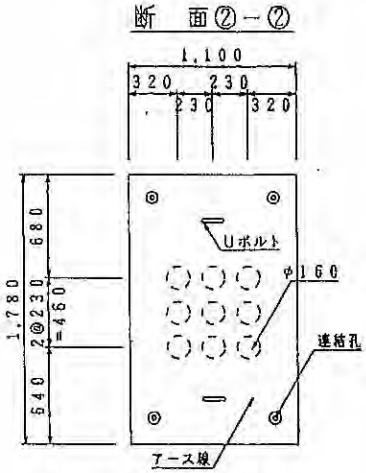
株式会社 日本ネットワークサポート

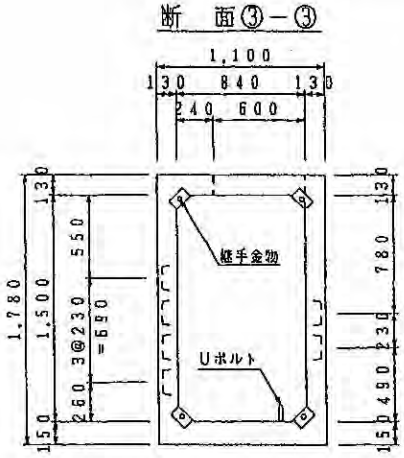
⑦

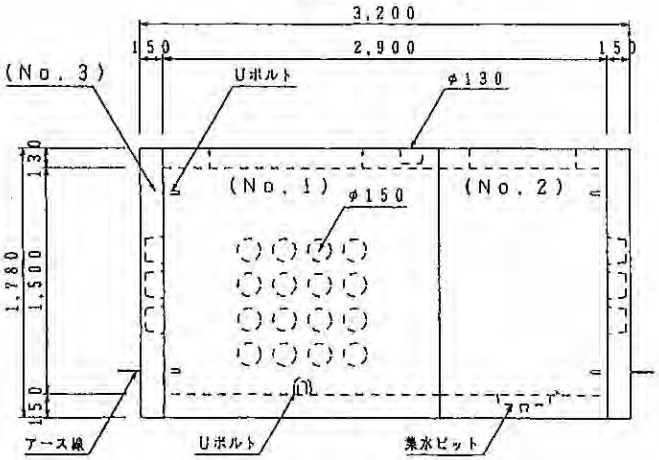
プレハブ基礎S1型

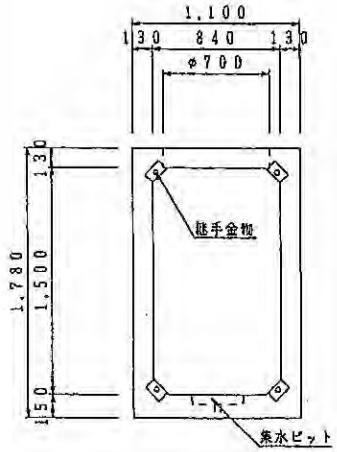
設計条件		
活荷重		245kN(P=50kN)
衝撃係数		歩道：i=0.1
土圧係数		k=0.5
土被り		0.30m
構造		鉄筋コンクリート箱形構造
(許容応力度)		
コンクリート	設計基準強度	$\sigma_{ck}=30N/mm^2$
	曲げ圧縮応力度	$\sigma_{ca}=11N/mm^2$
	剪断応力度	$\tau_a=0.5N/mm^2$
鉄筋	引張応力度	$\sigma_{sa}=180N/mm^2$











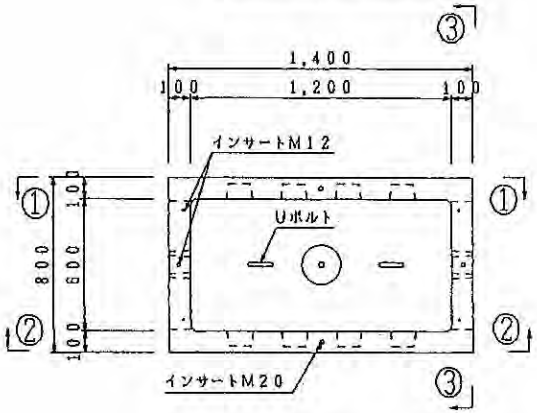
株式会社 日本ネットワークサポート

⑧

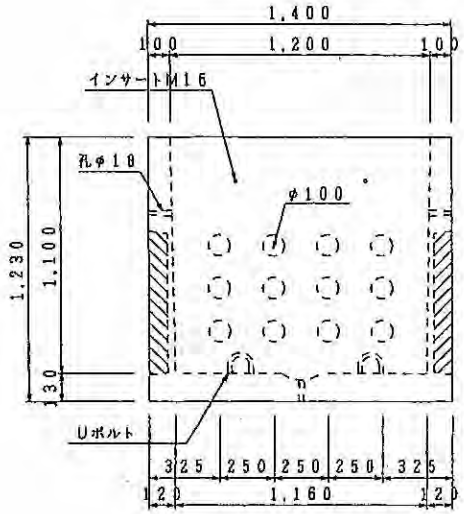
通信用ハンドホール（Type１４）構造図

設計条件		
活荷重		245kN(P=50kN)
衝撃係数		車道：i=0.4
土圧係数		k=0.308
土被り		0.15m
構造		鉄筋コンクリート箱型構造
（許容応力度）		
コンクリート	設計基準強度	σck=30N/mm2
	曲げ圧縮応力度	σca=11N/mm2
	剪断応力度	τa=0.5N/mm2
鉄筋	引張応力度	σsa=180N/mm2

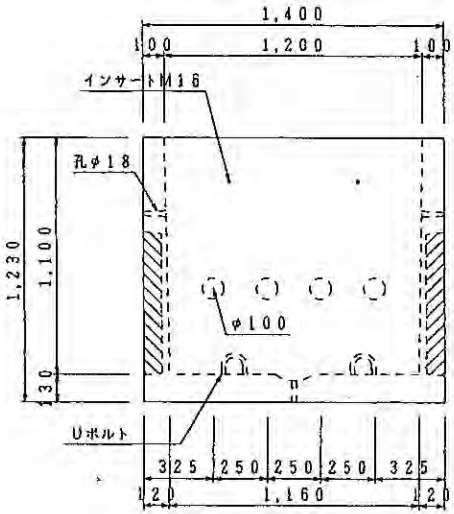
平面図



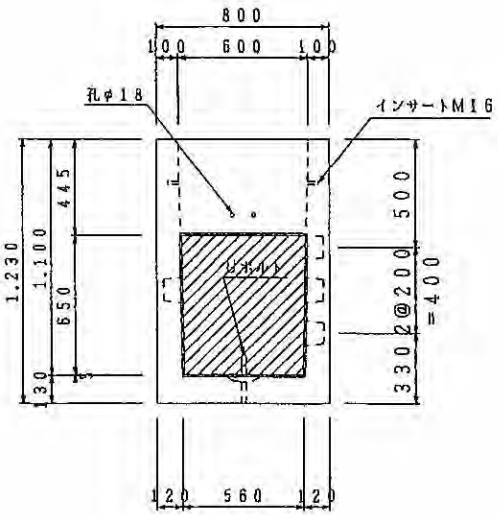
正面図 ①－①



正面図 ②－②



側面 ③－③

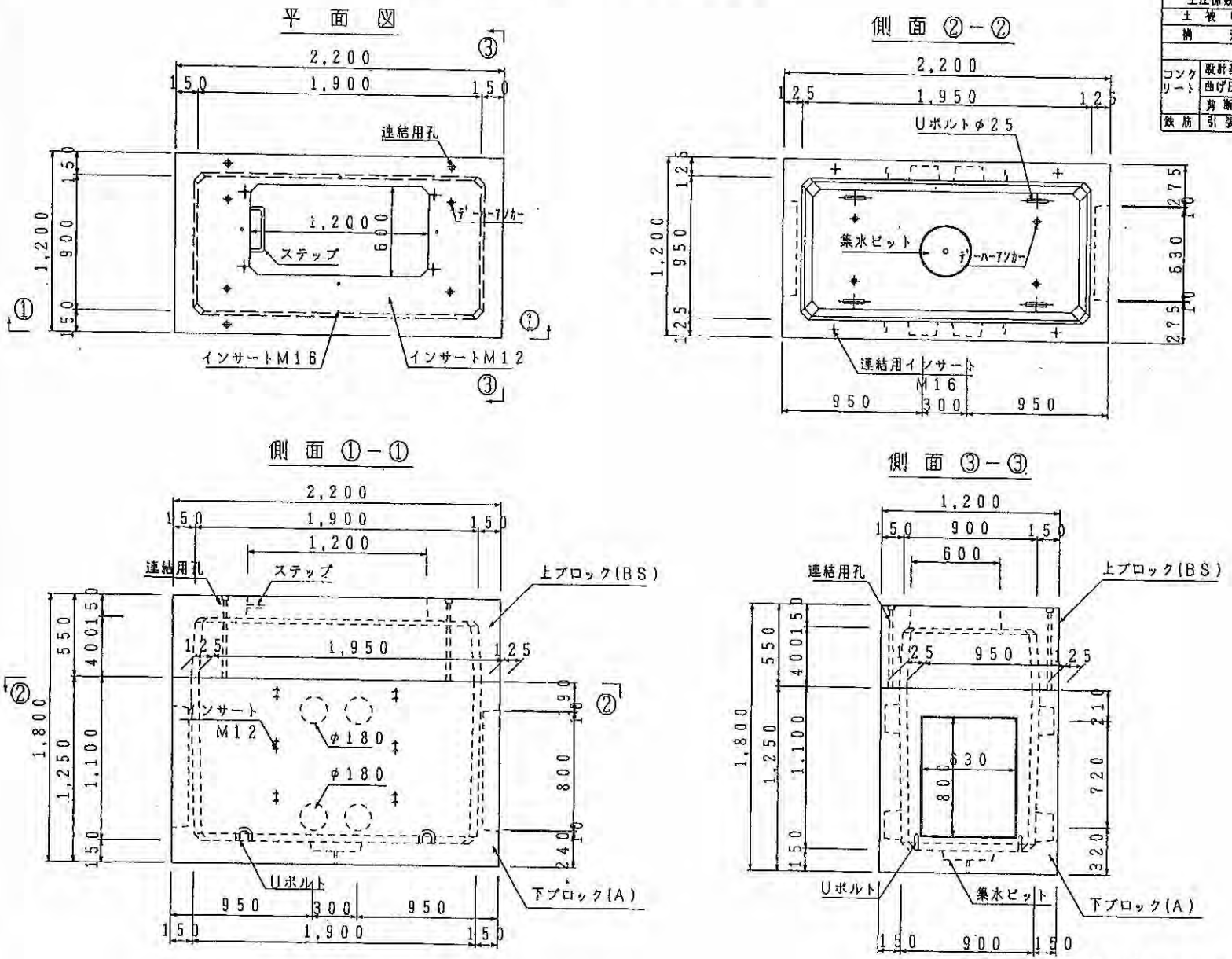


株式会社 日本ネットワークサポート

9

T桝（Type－4）構造図

設計条件		
活荷重		245kN（P＝50kN）
衝撃係数		歩道：i＝0.1 車道：i＝0.4
土圧係数		k＝0.50
土被り		
構造		
（許容応力度）		
コンクリート	設計基準強度	σck＝30N/mm2
	曲げ圧縮応力度	σca＝11N/mm2
	剪断応力度	τa＝0.5N/mm2
鉄筋	引張応力度	σsa＝180N/mm2



株式会社 日本ネットワークサポート

電力ケーブル用

SVP

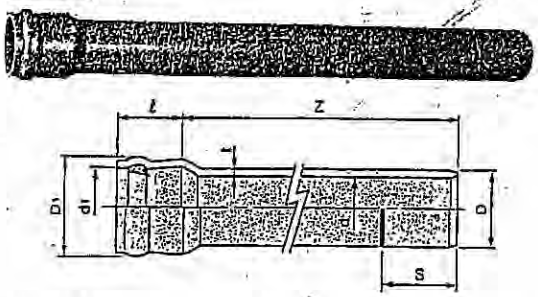
Super Impact Vinyl Pipe

耐熱・耐衝撃性硬質塩化ビニル管 SVP

電共 MCCP SVP管

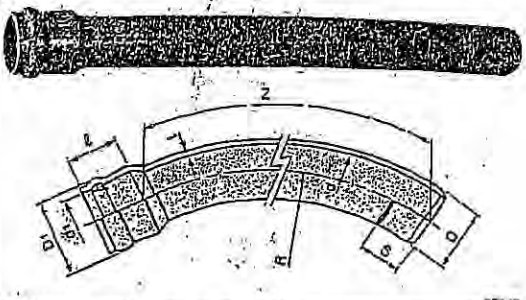
(11)

RR直管



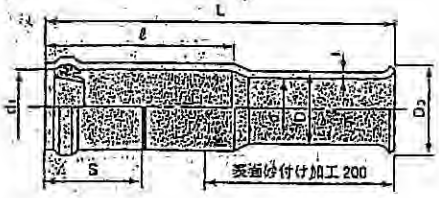
呼び径								
75	77	80.0	90.0	73.7	120	10.0	6.0	
100	100.2	115.5	114.0	100.0	130	13.2	7.1	5
125	125	144.4	142.5	127.4	135	13.2	8.5	6
150	150	169.7	167.5	187.0	138	13.8	9.9	10
150	150	172.2	170.5	213.0	142	15	10.0	

RR曲管



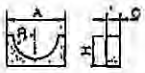
呼び径										
75	77	80.0	90.0	73.7	120	10.0	6.0			
100	100.2	115.5	114.0	100.0	130	13.2	7.1	5		
125	125	144.4	142.5	127.4	135	13.2	8.5	6	5	1
150	150	169.7	167.5	187.0	138	13.8	9.9	10		
150	150	172.2	170.5	213.0	142	15	10.0			

ダクトスリーブ



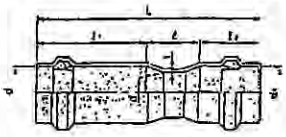
呼び径								
75	77	80.0	110	100	200	120	5.0	100
100	100	115.5	140	130	200	135	7.1	
125	125	144.4	142.5	160	200	138	8.5	
150	150	169.7	167.5	195	200	139	9.9	
150	150	172.2	170.5	195	200	145	10.0	

管台



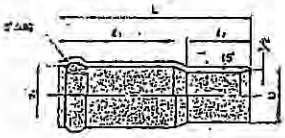
呼び径	ピッチ	A	B	C	H
75	P=150	150	210	80	75
100	P=200	200	210	100	100
125	P=200	200	210	100	100

ヤリトリ継手



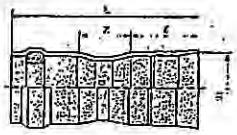
呼び径								
75	77	93.0	75.8	80		120	563
100	100	115.0	101	85		130	628
125	125	143.7	8.5	115	200	135	950
150	150	142.0	8.0	121		138	669
150	150	171.3	10.0	135		142	577

伸縮吸収継手



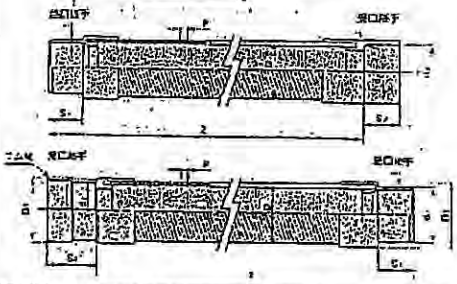
呼び径						
75	80.0	80.0		180	5.9	720
100	100.0	100.0		195	7.1	755
125	142.5	140.7		200	8.5	775
150	170.0	171.3		215	10.0	795

鋼管用異種継手



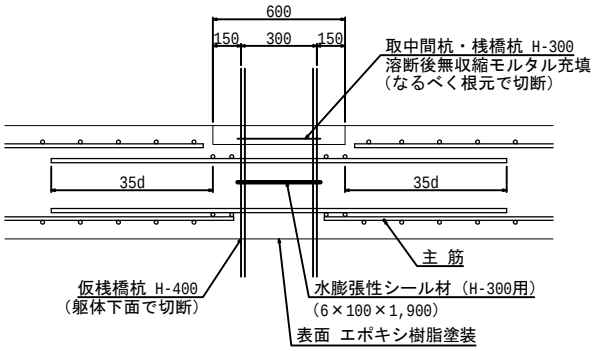
呼び径					
75 SGP 80	101	77		65	310
100×SGP 100	126.6	100		75	360
125×SGP 125	152	125	50	85	380
130×SGP 125	152	130		92	395
150×SGP 150	172.6	150		92	400

EFVP

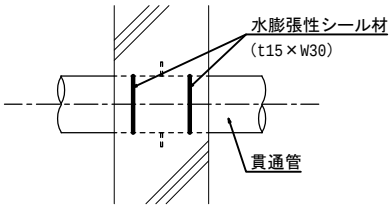


呼び径																	
75	80	110	80.0														
100	100	115			115	114	128.0	140.0			130	100	137				
	50	22		175.5													
125	125	17					122.0	140.0			138		132				
	50	22		140	130	122	155	170	79.5		138	36	130				
		17		175		140.6	140	160.6	79.5	5.0	74		145				
		22															
150		17		195	172.6	160.1	172.6	195	81.0	5.0	85	40	150				
	50	22															

Ｈ鋼躯体貫通部処理


600
150
300
150
取中間杭・桟橋杭 H-300
溶断後無収縮モルタル充填
（なるべく根元で切断）
35d
35d
主 筋
仮桟橋杭 H-400
（躯体下面で切断）
水膨張性シール材（H-300用）
（6×100×1,900）
表面 エポキシ樹脂塗装

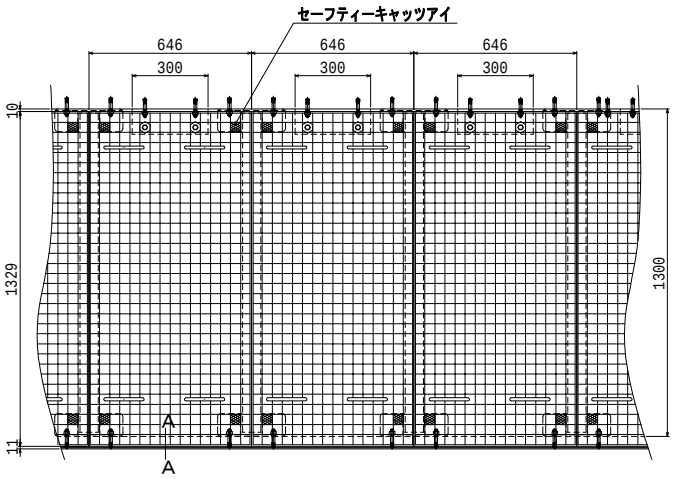
貫通管廻り止水工法



ＦＲＰグレーチング

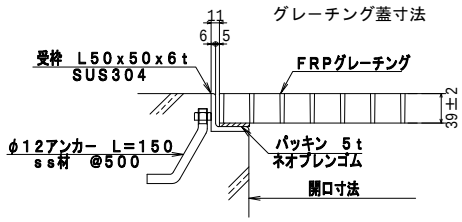
ＦＲＰグレーチング詳細図

S=1:15



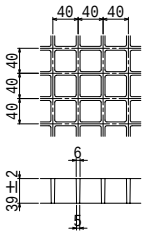
Ａ－Ａ断面詳細図

S=1:5



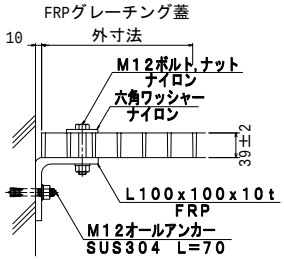
ＦＲＰグレーチング詳細図

S=1:6



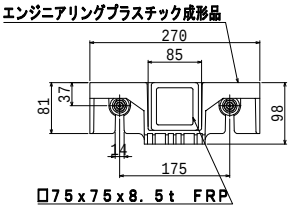
本体固定部断面詳細図

S=1:6



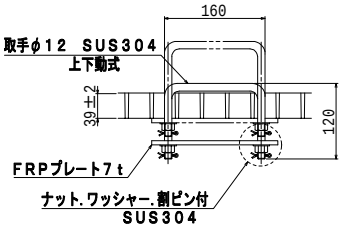
補強材受詳細図

S=1:6



取手詳細図

S=1:6

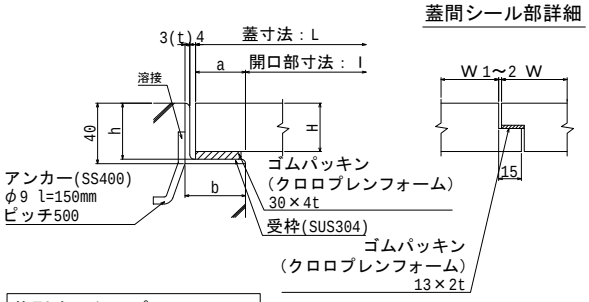


※指示なき公差は以下とする。

0～ 50	±1
51～100	±2
101～	±3

合成木材蓋：単板蓋タイプ

蓋型式：タイプI

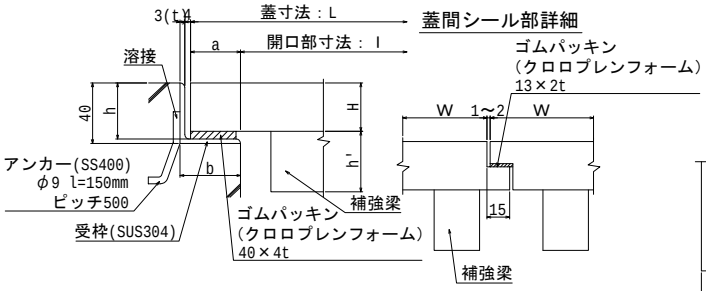


合成木製蓋（単板蓋タイプ）形式選定表

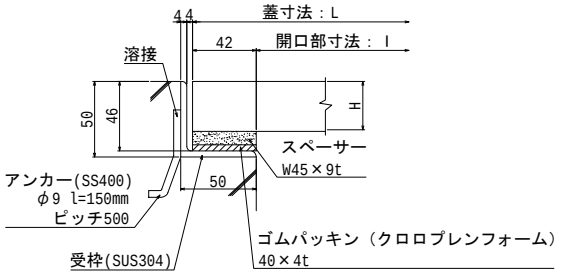
タイプ区分		蓋形式 (L×W×H)	開口部寸法 I (mm)	受枠寸法 a	h	h'	b	t	参考蓋重量 (kg/m²)
I	①	(　～1066)×600×33.5	～1000	33	37	—	40	3	20
	②	(1067～1266)×600×33.5	1001～1200	33	37	—	40	3	22
II 補強梁付	③	(1267～1666)×600×33.5	1201～1600	33	37	40	40	3	23
	④	(1667～2066)×600×33.5	1601～2000	33	37	60	40	3	24

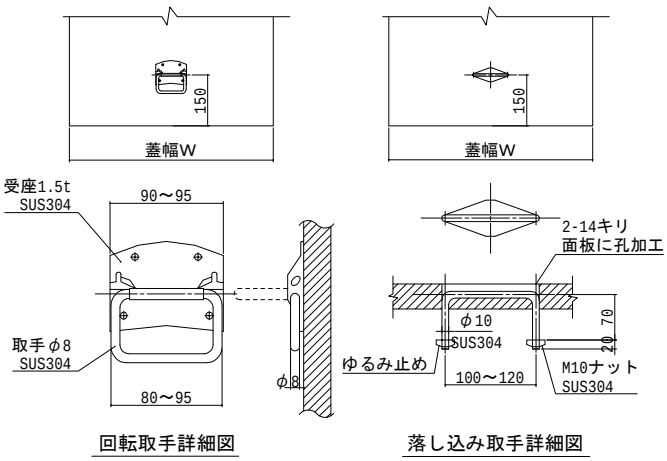
注　1)受枠寸法のｈにはパッキン厚を含む。
　　2)蓋幅は、標準600mmとし、調整用は300～600mmとする。
　　3)受枠がL50×50×4tの場合、蓋裏面にスペーサー(W45×9t)を接着して対応する。（参考図-1参照）
　　4)タイプ②については、補強梁付きも可能とする。（タイプII参照）

蓋型式：タイプII
単板蓋（補強梁付きの場合）



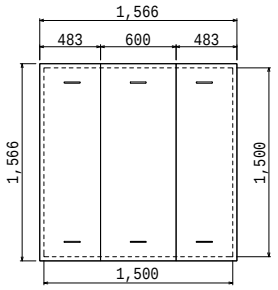
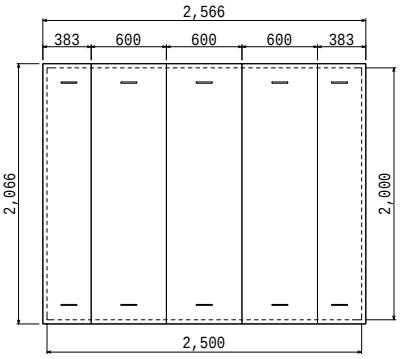
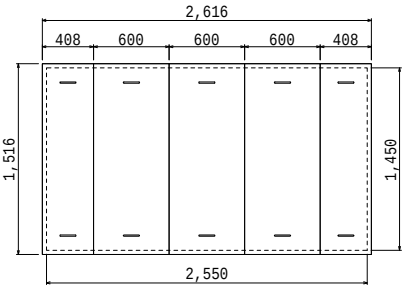
参考図－1
単板蓋（受枠50mmの場合）





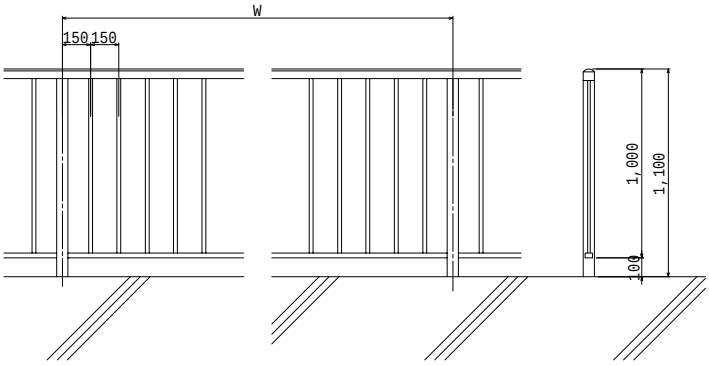
回転取手詳細図　　落し込み取手詳細図

合成木材蓋 リスト

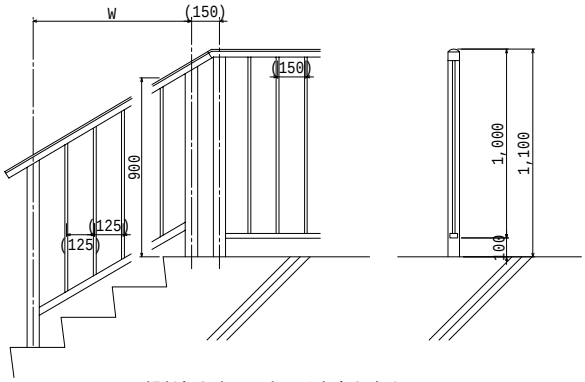
	F-1 , F-3	F-2	F-4
開口寸法	1500×1500	2000×2500	1450×2550
蓋 割付			

手すり：アルミニウム製（取合い）

アルミニウム製手摺り(一般部)

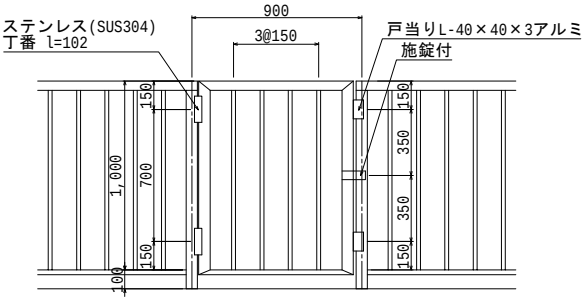


アルミニウム製手摺り(階段部)



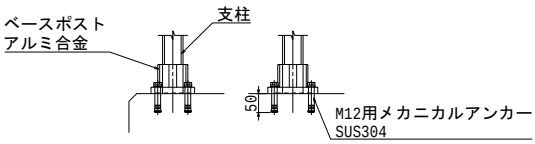
傾斜部と水平取合いは参考とする。

手摺り用扉



柱脚の定着方法

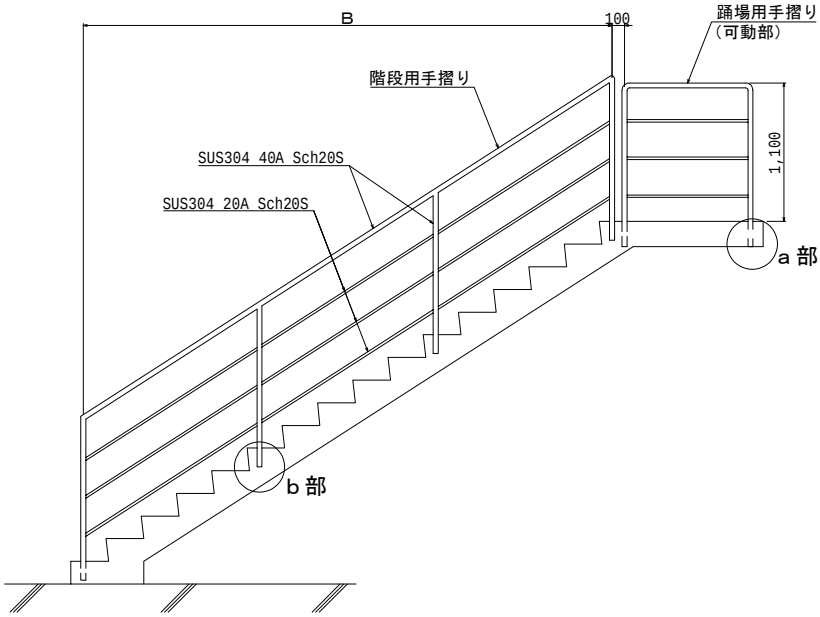
ベースポストタイプ



池内階段手摺り（SUS304）

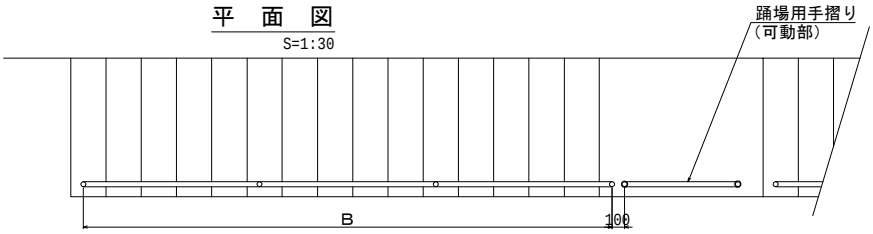
断　面　図

S=1:30



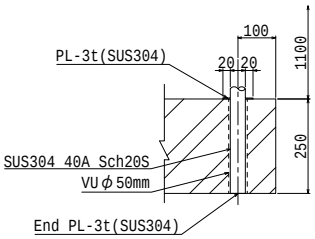
平　面　図

S=1:30



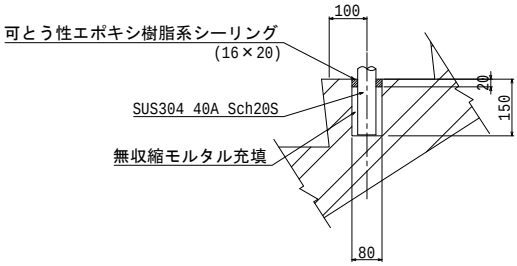
a 部詳細図（可動部）

S=1:10



b 部詳細図（固定部）

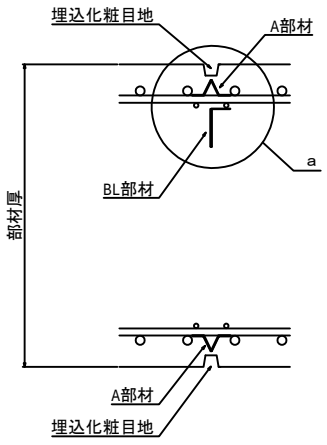
S=1:10



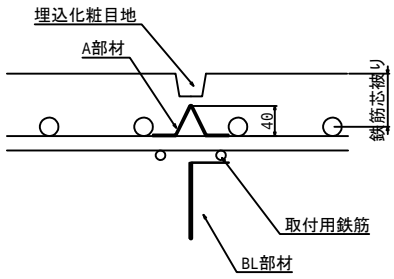
・手摺りのスパンは２ｍ未満とする。
・手摺りの支柱はＢ＜４ｍのとき１本，Ｂ≧４ｍのときは２本とし、支柱間隔は均等割とする。

誘発目地

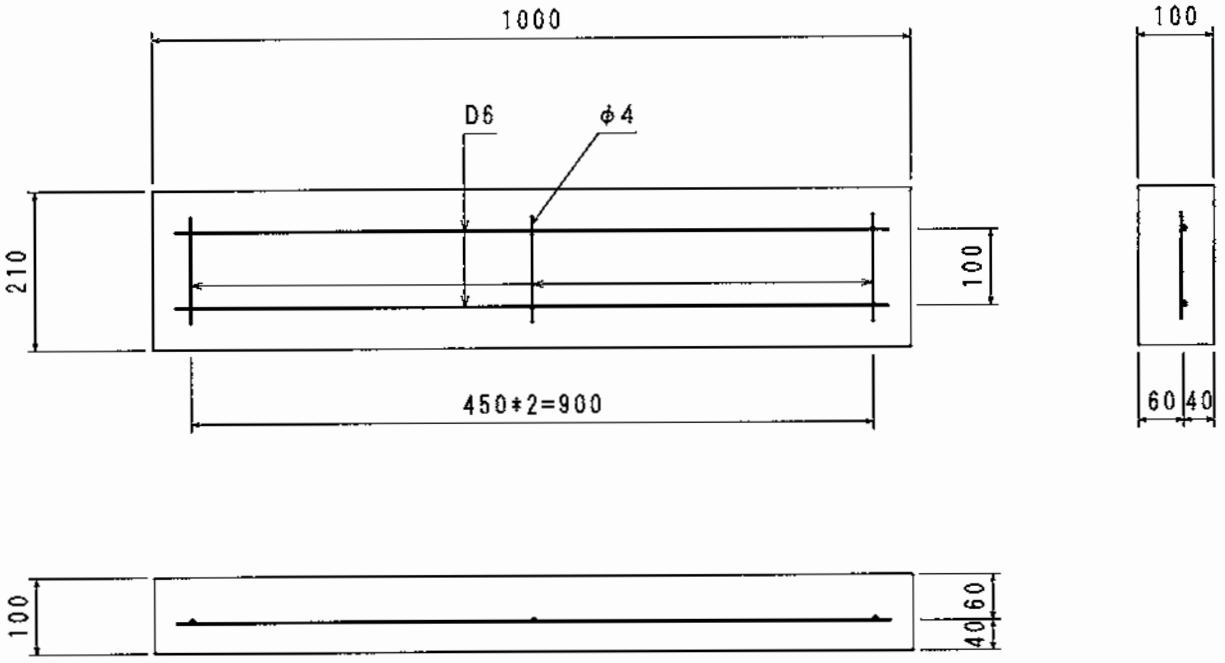
壁部断面図



a 部詳細図

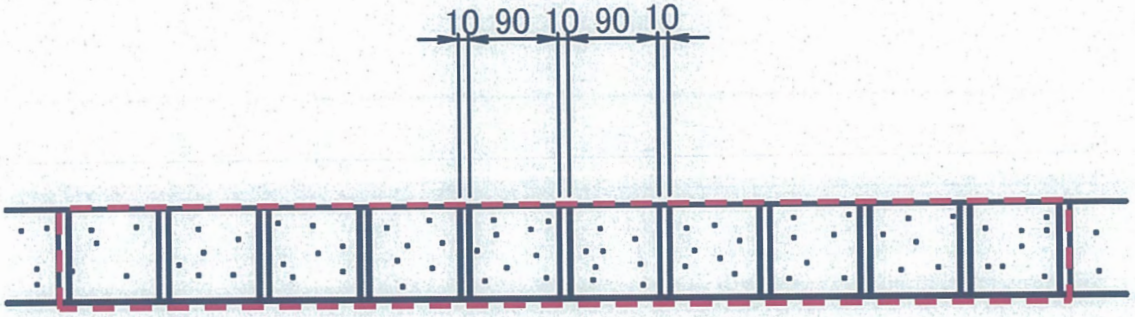


基礎ブロック 210*1000*100

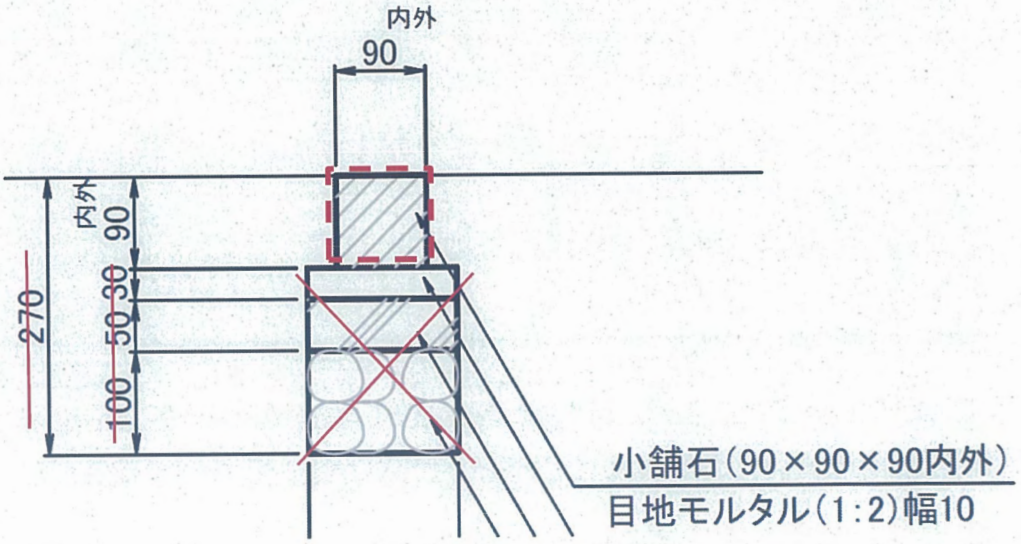


		参考重量	51 kg
		縮　尺	S＝1/10
名　称	基礎ブロック 210*1000*100		

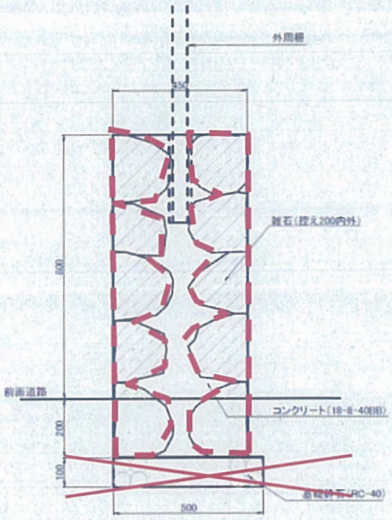
	小舗石


10 90 10 90 10

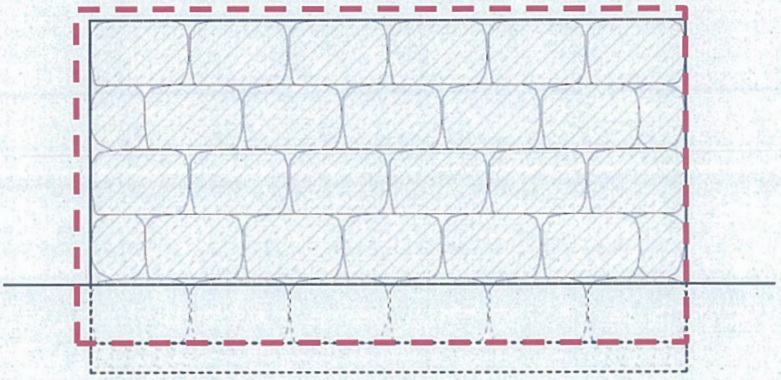
平面図 1:10


内外
90
内外
90
30
50
100
270
小舗石(90×90×90内外)
目地モルタル(1:2)幅10

雑石



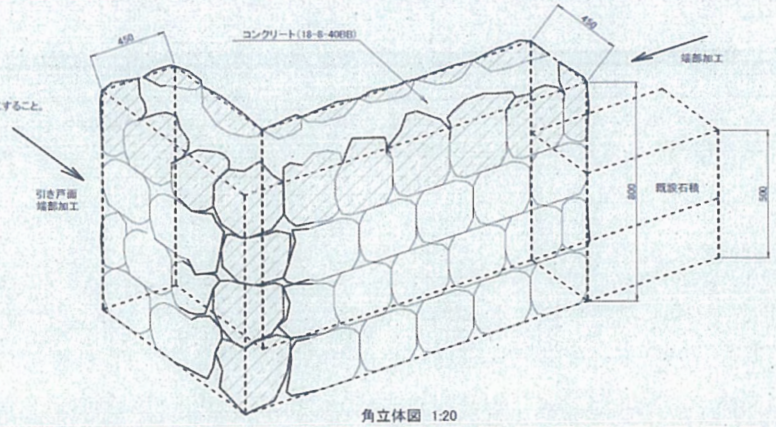
断面図 1:10



正面図 1:10

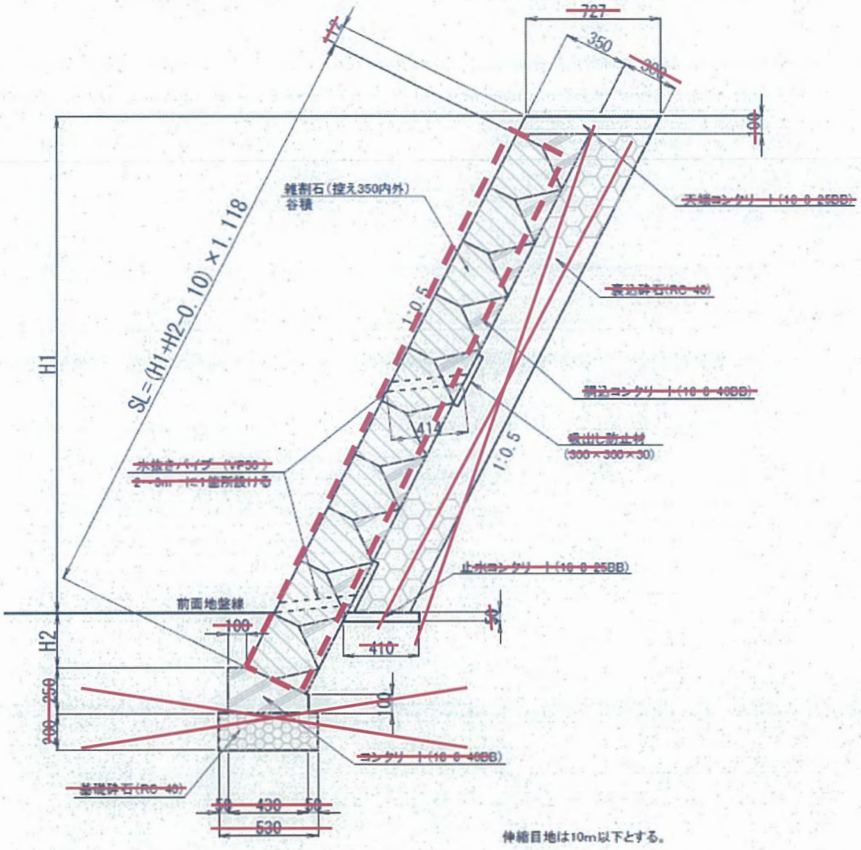
※ 石の積み方は既設部に合わせて行うこと。
※ 天端以外の石積(端部は、コンクリートが見えないよう規格加工すること。
※ 角石（隅角）部の仕上げは、専用角石等は使用せず同一規格の材料にて規格加工すること。

伸縮目地は10m以下とする。

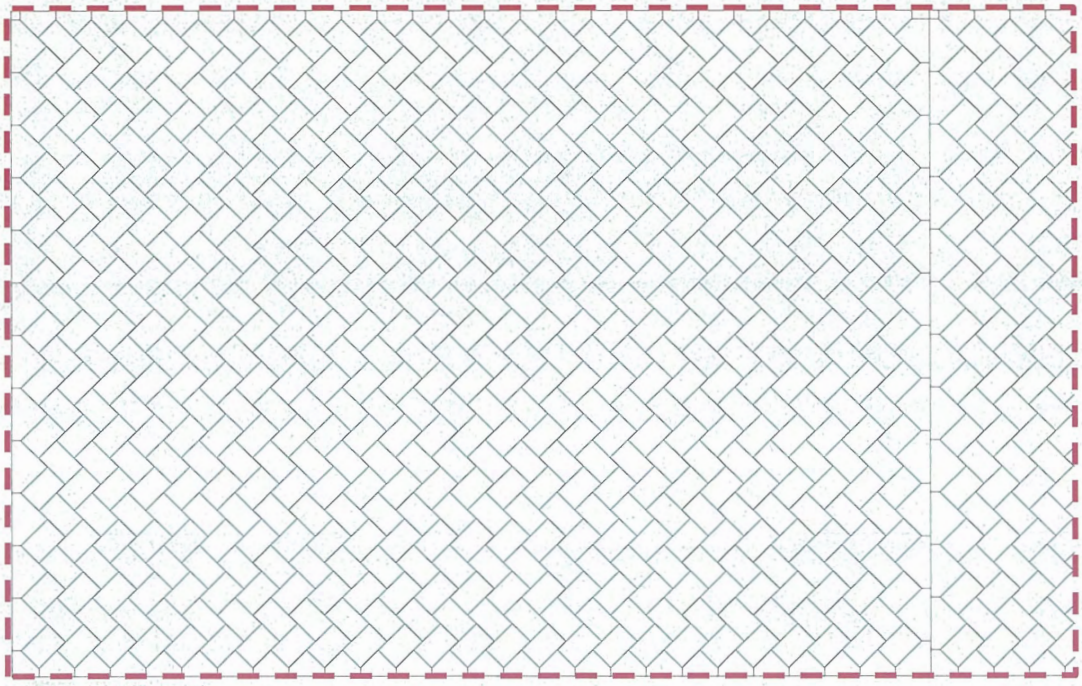


角立体図 1:20

雑割石

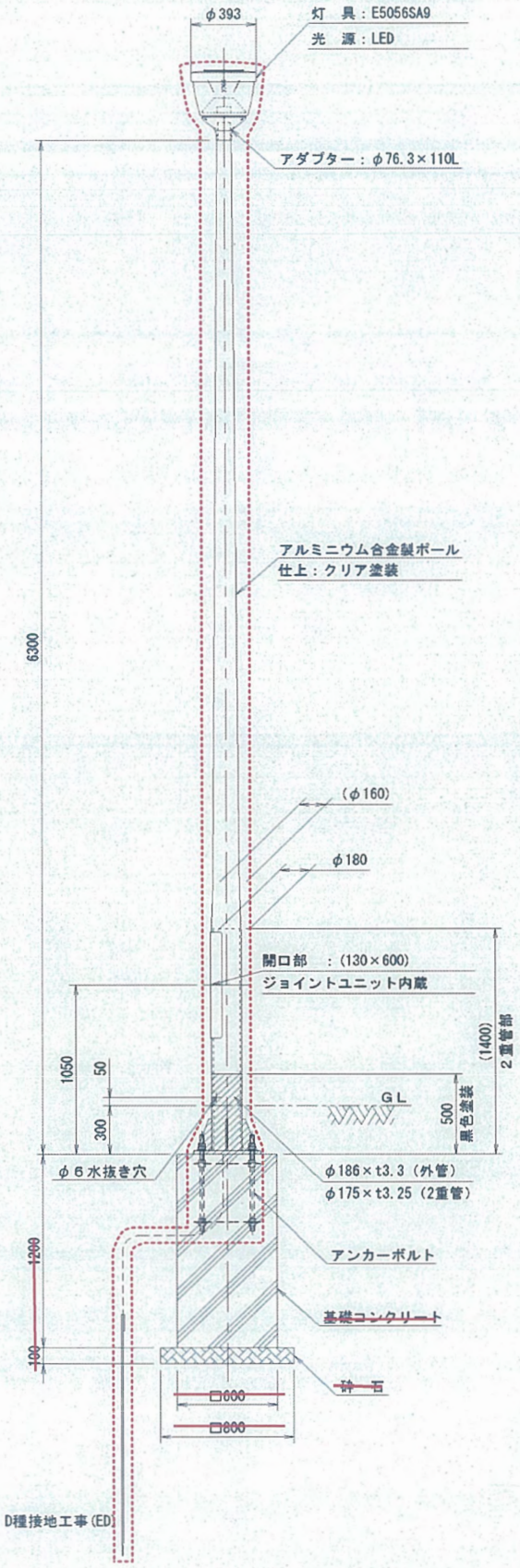


標準断面



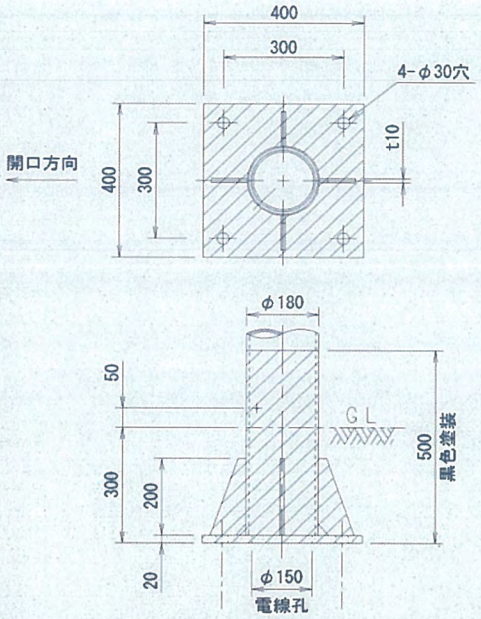
割付けイメージ

照明灯

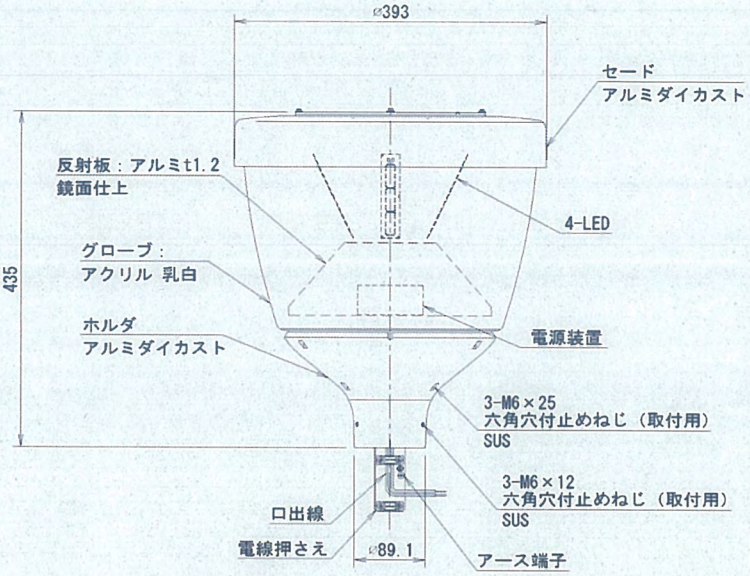

φ393
灯　具：E5056SA9
光　源：LED
アダプター：φ76.3×110L
アルミニウム合金製ポール
仕上：クリア塗装
6300
(φ160)
φ180
開口部　：(130×600)
ジョイントユニット内蔵
(1400)
2重管部
1050
50
300
GL
500
黒色塗装
φ6水抜き穴
φ186×t3.3（外管）
φ175×t3.25（2重管）
1200
アンカーボルト
基礎コンクリート
100
砕石
□600
□800
D種接地工事(ED)

照明灯

ベースプレート詳細図



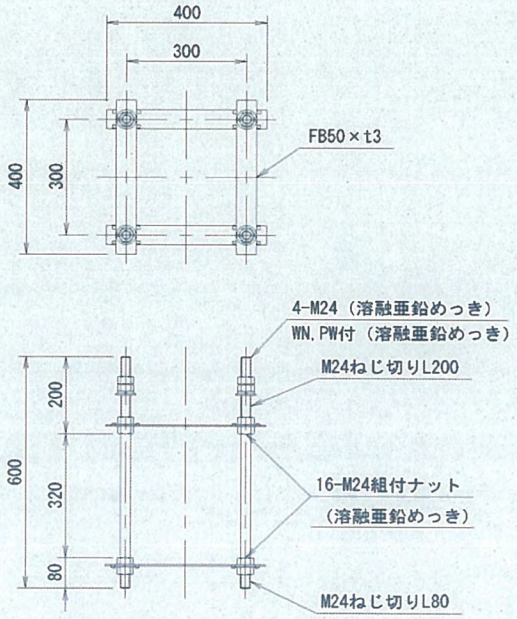
照明器具詳細図(E5056SA9)



仕　様

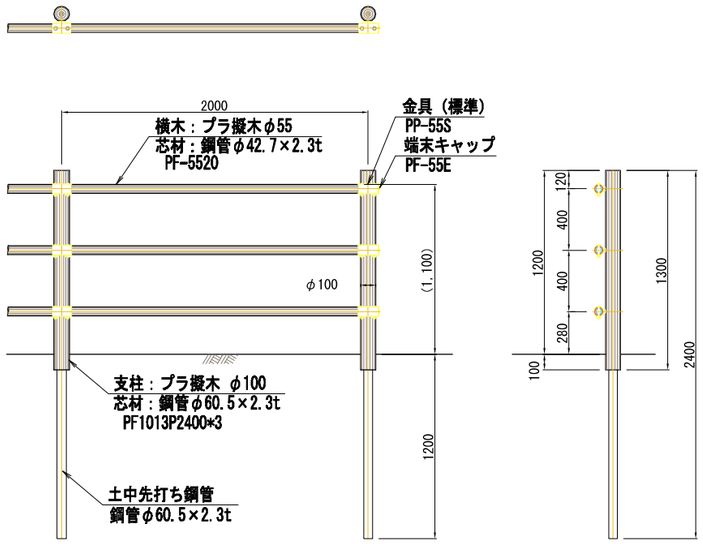
1. 防　水　性：防 沫 形
2. 仕　上　色：メタリックシルバー
3. 適合アダプタ：φ76.3×L110

電気特性	入力電圧（V）	100	200	242
	入力電力（W）	116	115	115
	入力電流（A）	1.17	0.59	0.50
	入力容量（VA）	117	117	121
	周波数（Hz）	50／60		



取付里道 構造図

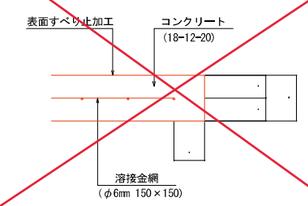
転落防止柵　S=1:20



材料表　10m当り

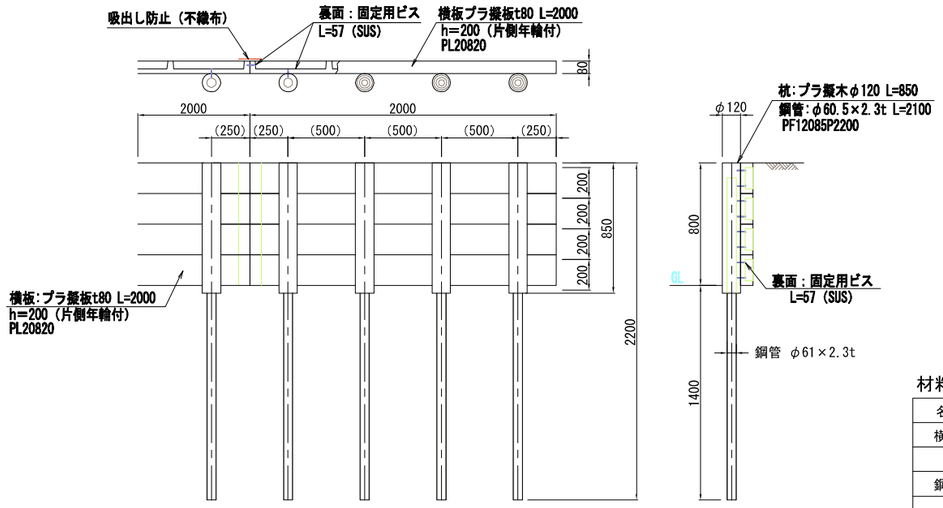
名　称	規　格	単位	数　量	備　考
転落防止柵	プラ擬 H=1200	m	10.00	土中用

コンクリート舗装構成図　S=1:10



土留め工　S=1:20

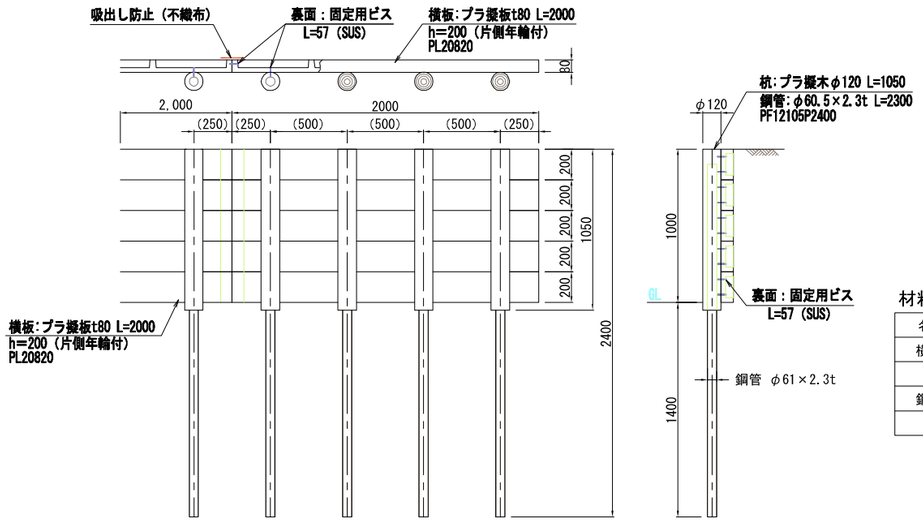
土留め工(A)



材料表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
横　板	プラ擬板t80 L=2000	枚	20.00	
杭	プラ擬木φ120 L=850	本	20.00	
鋼　管	φ60.5×2.3t L=2100	本	20.00	

土留め工(B)



材料表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
横　板	プラ擬板t80 L=2000	枚	25.00	
杭	プラ擬木φ120 L=1050	本	20.00	
鋼　管	φ60.5×2.3t L=2300	本	20.00	

[redacted]

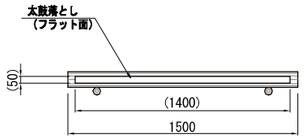
階段工構造図(6)

階段工(R)

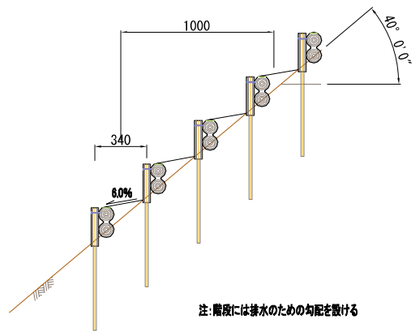
S=1:20

標準図

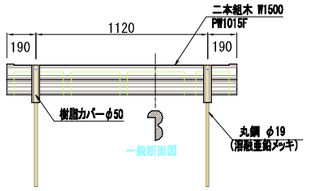
平面図



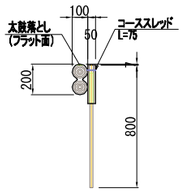
側面図



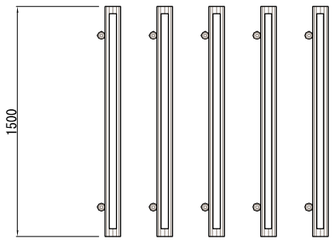
正面図



断面図



平面図



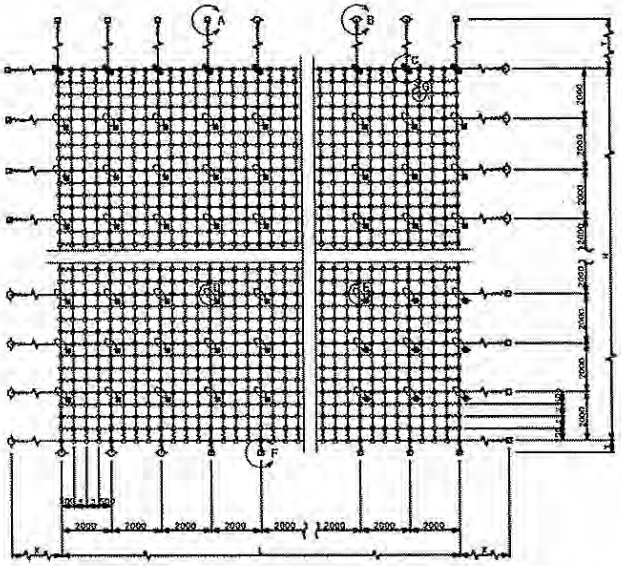
[redacted]

ロープネット工構造図

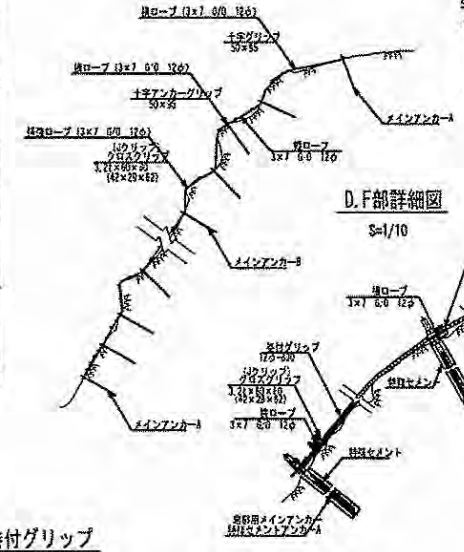
ロープネット（2×2-0.5×12）

標準構造展開図

S=1/100

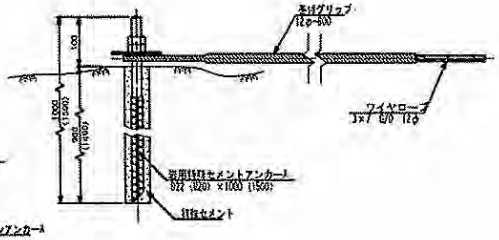


横断図



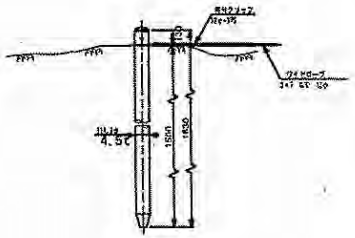
A部詳細図

S=1/5



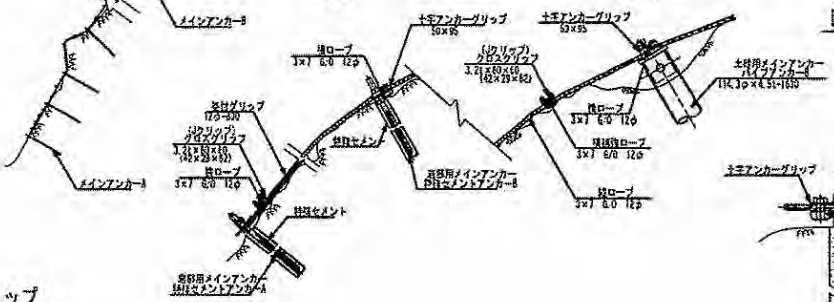
B部詳細図

S=1/20



D.F部詳細図

S=1/10

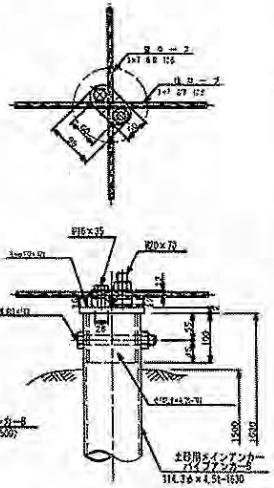


E.G部詳細図

S=1/10

D.E部詳細図

S=1/5

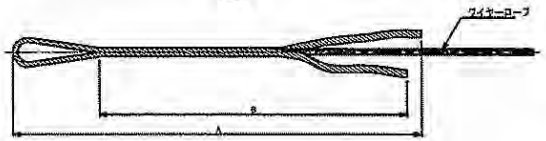


部品明細表

名称	仕様・寸法 (mm)	数量	記号
横ロープ	3×7 ⌀3.0 12ε	2A-180	
縦ロープ	3×7 ⌀3.0 12ε	2A-180	
縦補強ロープ	3×7 ⌀3.0 12ε	2A-180	
横補強ロープ	3×7 ⌀3.0 12ε	2A-180	
巻付グリップ(特殊セメントアンカー用)	12ε-800	2A-300	
巻付グリップ(パイプアンカー用)	12ε-400	2A-300	
巻付グリップ(補強ロープ用)	12ε-400	2A-300	
アンカー 岩用特殊セメントアンカーA	φ22 (φ20) ×1000 (1500)	0メッキ	異型棒鋼
岩用特殊セメントアンカーB	φ22 (φ20) ×1000 (1500)	0メッキ	
土砂用パイプアンカーA	114.3φ×4.5t-1500	0メッキ	
土砂用パイプアンカーB	114.3φ×4.5t-1000	0メッキ	
土被りアンカーA	φ22 (φ20) ×1500	0メッキ	
	φ9×3.2t×350×150	0メッキ	
土被りアンカーB	φ22 (φ20) ×1000	0メッキ	
	φ9×3.2t×200×150	0メッキ	
十字グリップ	50×95	0メッキ	特殊力240N以上
十字アンカーグリップ	50×95	0メッキ	
クロスクリップ	3.2t×60×60	0メッキ	
Jクリップ（小）	4.5t×42×62	0メッキ	
Jクリップ（大）	4.5t×55×78	0メッキ	

巻付グリップ

S=1/5

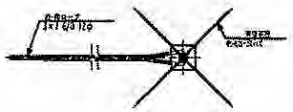


寸法表

名称 ＼ 寸法	特殊寸法	A	B	C
岩用セメントアンカーA 12ε用	12ε-620	630	625	70
パイプアンカーA 12ε用	12ε-475	975	700	140
補強ロープ 12ε用	12ε-439	850	926	φ

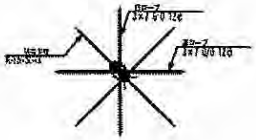
土被りAアンカー

S=1/10



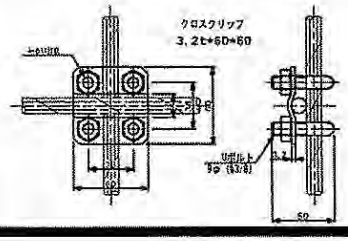
土被りBアンカー

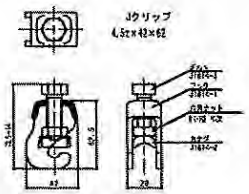
S=1/10



G部詳細図

S=1/2

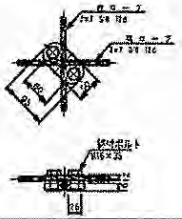


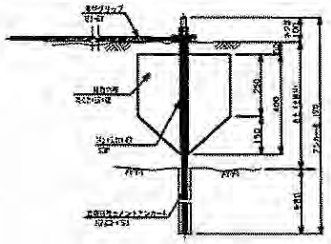


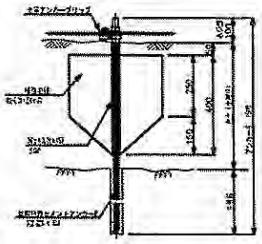
C部詳細図

S=1/5

十字グリップ 50×95







施工年度		縮尺	図面	図番	
路線名	主要地方道	泉中央岡線			
工事名					
図面名	ロープネット工構造図				
施工位置	泉佐野市笠松公園地内				
事務所名	大阪府池田土木事務所				

ロープ伏工展開図

S=1/100

(工区　1-2)

A=492.0　m²

高耐久仕様
ロープ伏工
(2×2−0.5×12間)

材料明細表

名称		仕様・寸法(mm)		単重(kg)	総重量(kg)	数量	単位	割増	記号
主ロープ	縦	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	163.8	327.6	m	312.0×1.05	
	横	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	173.3	346.5	m	330.0×1.05	
補強ロープ	縦	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	387.5	774.9	m	738.0×1.05	
	横	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	387.5	774.9	m	738.0×1.05	
巻付グリップ (E型)		12φ用-800	ZA-300	0.8 kg/本	182.4	254	本		
巻付グリップ (R型)		12φ用-975	ZA-300	0.9 kg/本	4.9	6	本		
岩部用TSKセメントアンカーA		D22(M20)×1000	Znめっき	5.7 kg/本	245.1	43	本		
		D22(M20)×1500	Znめっき	8.0 kg/本	96.0	12	本		
岩部用TSKセメントアンカーB		D22(M20)×1000	Znめっき	4.7 kg/本	371.3	79	本		
		D22(M20)×1500	Znめっき	7.0 kg/本	161.0	23	本		
土砂部用スウィングアンカー25A		114.3φ×4.5t-1350 310φ×430	Znめっき	26.8 kg/本	160.8	6	本		
土砂部用スウィングアンカー25B		114.3φ×4.5t-1350 310φ×430	Znめっき	26.4 kg/本	290.4	11	本		
十字グリップ		12φ用 50×95	Znめっき	0.9 kg/個	26.1	29	個		
十字アンカーグリップ		12φ用 50×95	Znめっき	0.7 kg/個	71.4	102	個		
Vクリップ		(大) 4.0t×109	Znめっき	0.3 kg/個	63.3	211	個		
		(小) 3.2t×92	Znめっき	0.2 kg/個	355.6	1783	個		
ロープネット材料		合	計		3111.3kg				

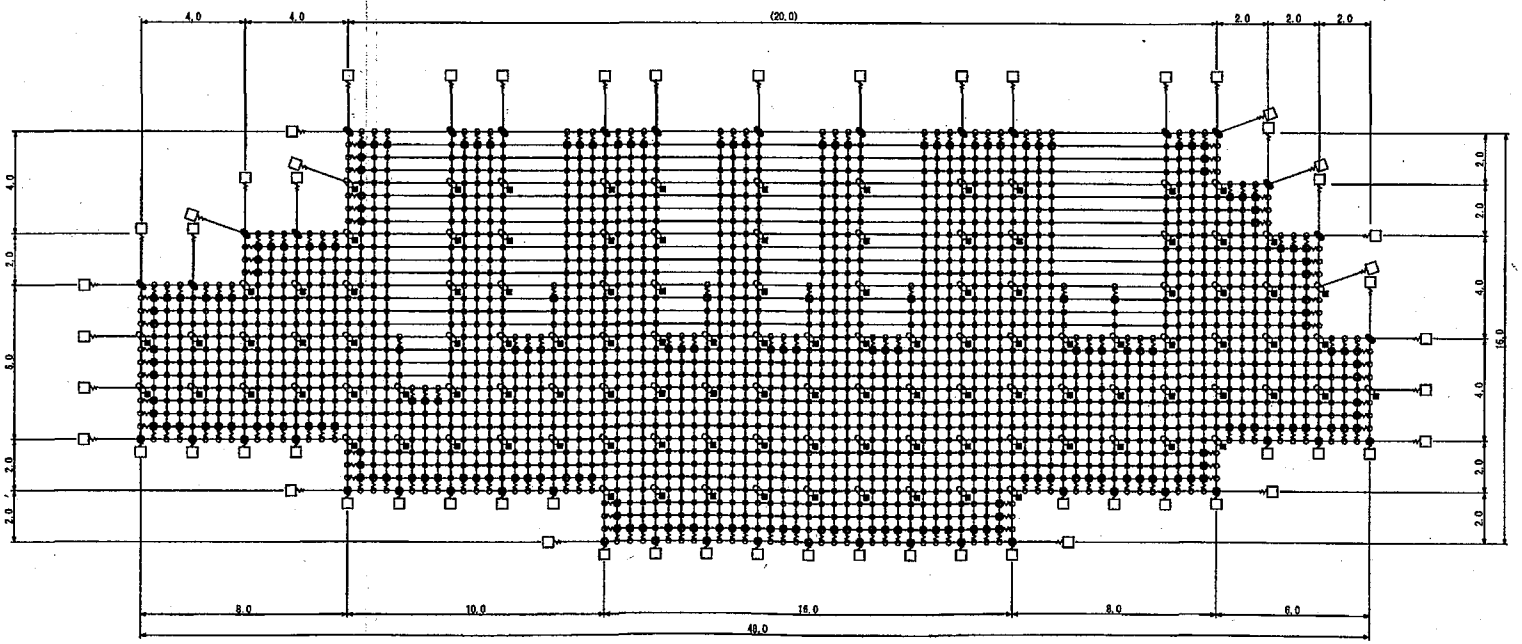
※ 下記割合にて数量算出。

アンカー(A, B共)
岩部用(1000)：岩部用(1500)：土砂部用：＝7：2：1

※ 図中アンカーはすべて岩部用にて表記。

※ アンカー種類は現地施工前に最終確認し決定すること。

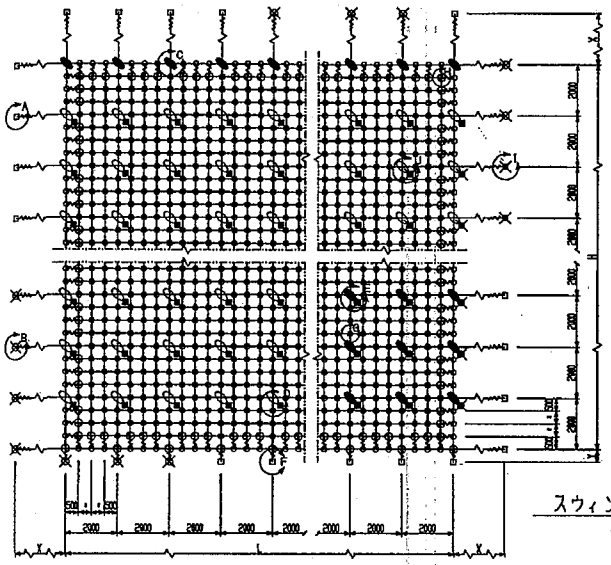
高耐久仕様　「亜鉛−10%アルミ合金めっき（ジンカールめっき）」
ロープ、巻付グリップは、高耐久仕様として、亜鉛−10%アルミ合金めっきとしています。
ただし、アンカー、クリップ類（めっき付着量350g/m²）は、溶融亜鉛めっきとしています。



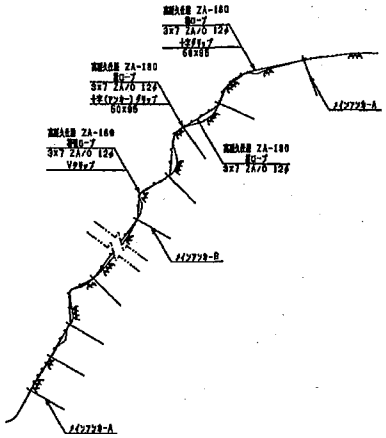
年度	21	事業名	
路線名			
工事名			
図面名	ロープ伏工展開図		
縮尺	1/200	番号	
作成月日	平成　年　月	14 / 23	

ロープ伏工構造図

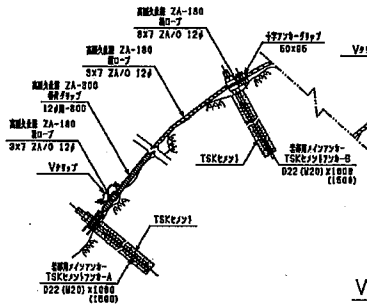
標準構造展開図
S=1/100



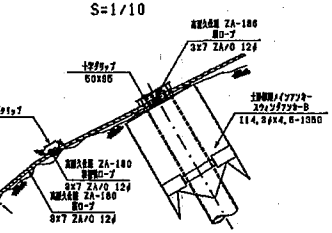
横断図
S=1/100



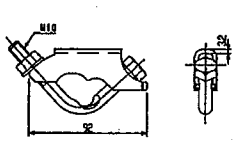
D・F部詳細図
S=1/10



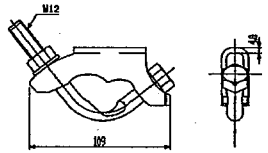
E・G部詳細図
S=1/10



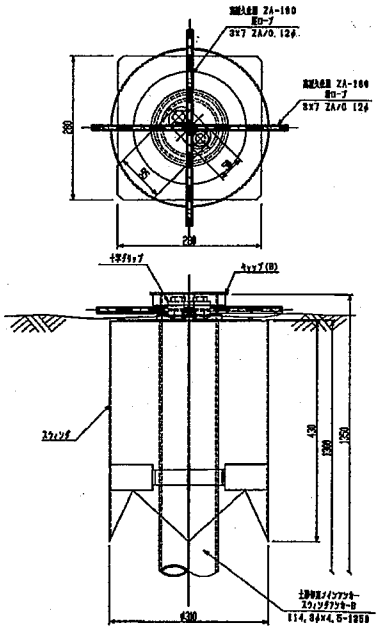
Vクリップ（小）
S=1/2 (G部)



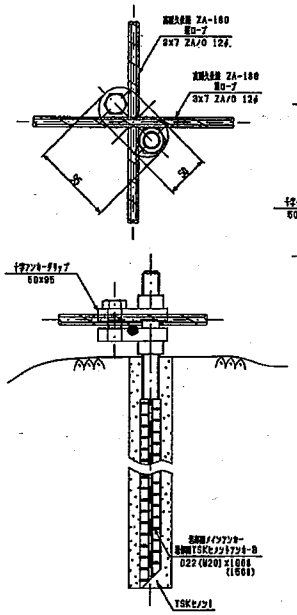
Vクリップ（大）
S=1/2 (H部)



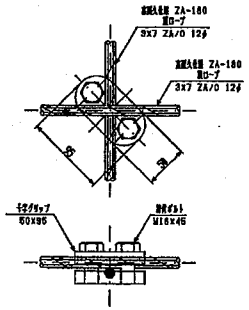
スウィングアンカー詳細図
S=1/5 (E部)



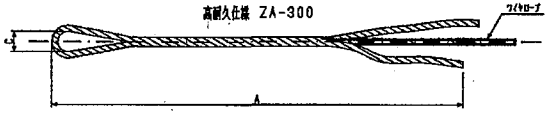
十字アンカーグリップ
S=1/3 (D部)



十字グリップ
S=1/3 (C部)



巻付グリップ
S=1/5
高耐久仕様 ZA-300



部品明細表

名称	仕様・寸法 (mm)	記号
主(縦・横)ロープ 補強(縦・横)ロープ	3×7 ZA/0 12φ (ZA-180)	
岩部用 TSKセメントアンカーA	D22 (M20) ×1000 D22 (M20) ×1500	
岩部用 TSKセメントアンカーB	D22 (M20) ×1000 D22 (M20) ×1500	
土砂部用 スウィングアンカー25A	114.3φ×4.5-1350 310φ×430	
巻付グリップ (E型) ：軟弱用	12φ用-800 (ZA-300)	
巻付グリップ (R型) ：パイプ用	12φ用-975 (ZA-300)	
Vクリップ	(大) 4.0t×109 (小) 3.2t×92	
十字アンカーグリップ	12φ用 50×95	
十字グリップ	12φ用 50×95	
土被り部用 TSKセメントアンカーA	D22 (M20) ×1500 310φ×430 D22 (M20) ×2000 310φ×430	
土被り部用 TSKセメントアンカーB	D22 (M20) ×1500 310φ×430 D22 (M20) ×2000 310φ×430	

※ 表記なき部材は全て亜鉛めっき仕様とする。

注1：十字グリップ及び
十字アンカーグリップの除荷力
除荷力≒24KN
(ワイヤロープの許容荷重以上)

注2：十字グリップ及び
十字アンカーグリップの適用箇所
十字グリップ：地上設置ロープ・岩ロープ交点部及び土砂部用Bアンカー部
十字アンカーグリップ：岩部及び土被り部用Bアンカー部

寸法表

名称	寸法	備考	寸法	備考
巻付グリップ (E型)	12φ用	ZA-300	800	
巻付グリップ (R型)	12φ用	ZA-300	975	
スウィングアンカー25A	114.3φ×4.5		1350	

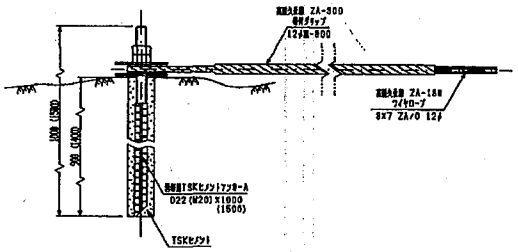
高耐久仕様 「亜鉛－10％アルミ合金めっき（ジンカールめっき）」
ロープ、巻付グリップは、高耐久仕様として、亜鉛－10％アルミ合金めっきとしています。
ただし、アンカー、クリップ類（めっき付着量350g/m²）は、溶融亜鉛めっきとしています。

年度	21	事業名	
路線名			
工事名			
図面名	ロープ伏工構造図		
縮尺	図示	番号	
作成月日	平成 年 月	15 / 23	

ロープ伏工構造図

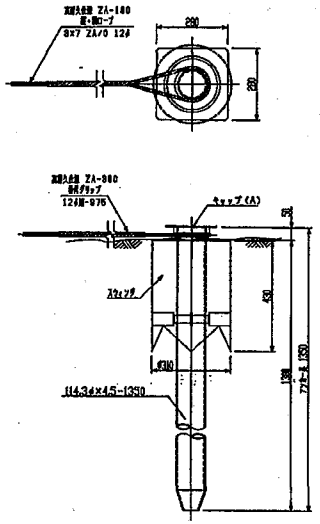
岩部用TSKセメントアンカーA

S=1/5 (A部)



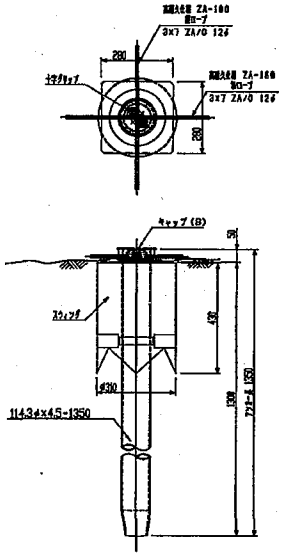
土砂部用 スウィングアンカー25A

S=1/10 (B部)



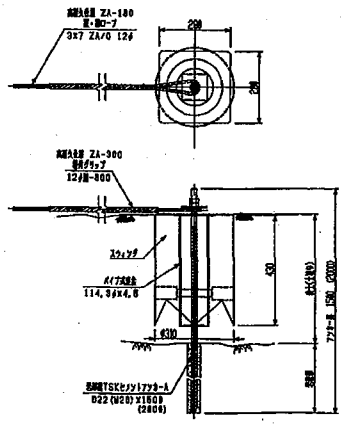
土砂部用 スウィングアンカー25B

S=1/10 (E部)



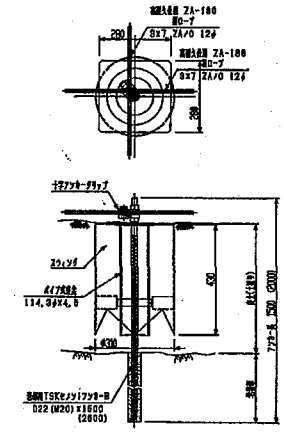
土被り部用 TSKセメントアンカーA

S=1/10 (I部)



土被り部用 TSKセメントアンカーB

S=1/10 (J部)



※ 表記なき部材は全て亜鉛めっき仕様とする。

高耐久仕様 「亜鉛－10%アルミ合金めっき（ジンカールめっき）」

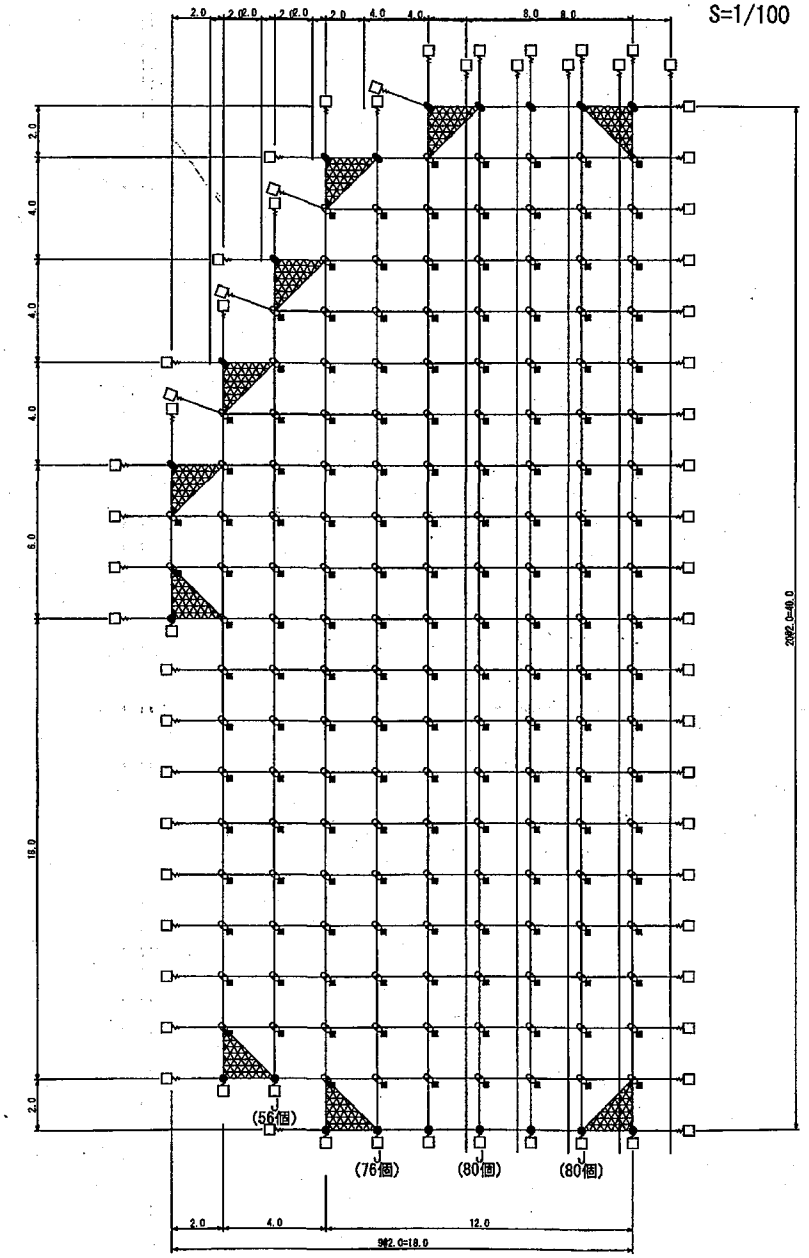
ロープ、巻付グリップは、高耐久仕様として、亜鉛－10%アルミ合金めっきとしています。
ただし、アンカー、クリップ類（めっき付着量350g/m²）は、溶融亜鉛めっきとしています。

年度	21	事業名	
路線名			
工事名			
図面名	ロープ伏工構造図(2)		
縮尺	図示		番号
作成月日	平成 年 月		16/23

ロープ伏工展開図

S=1/100

A=604.0 m²



高耐久仕様
ロープ伏工
(2×2−30×3.2袋)

材料明細表

名称		仕様・寸法 (mm)		単重(kg)	総質量(kg)	数量	単位	割増	記号
厚ネット		3.2φ×42×30	ZA-300	3.7 kg/㎡	2905.2	785.2	㎡	604.0 ×1.3	
主ロープ	縦	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	190.1	380.1	m	362.0×1.05	
	横	3×7 ZA/O 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	212.1	424.2	m	404.0×1.05	
巻付グリップ (E型)		12φ用-800	ZA-300	0.6 kg/本	33.6	56	本		
巻付グリップ (R型)		12φ用-975	ZA-300	0.8 kg/本	4.8	6	本		
岩部用TSKセメントアンカーA		D22(R20)×1000	Znめっき	5.7 kg/本	250.8	44	本		
		D22(R20)×1500	Znめっき	8.0 kg/本	96.0	12	本		
岩部用TSKセメントアンカーB		D22(R20)×1000	Znめっき	4.7 kg/本	531.1	113	本		
		D22(R20)×1500	Znめっき	7.0 kg/本	224.0	32	本		
土砂部用スウィングアンカー25A		114.3φ×4.5t−1350 310φ×430	Znめっき	26.8 kg/本	160.8	6	本		
土砂部用スウィングアンカー25B		114.3φ×4.5t−1350 310φ×430	Znめっき	26.4 kg/本	422.4	16	本		
十字形ピンアンカー	岩部用	9φ×200	Znめっき	0.10 kg/本	48.6	486	本	374 ×1.3	
	風化岩部用	13φ×300	Znめっき	0.30 kg/本	510.8	1702	本	1309 ×1.3	
	土砂部用	13φ×500	Znめっき	0.50 kg/本	121.5	243	本	187 ×1.3	
十字グリップ		12φ用 50×95	Znめっき	0.9 kg/個	23.4	26	個		
十字アンカーグリップ		12φ用 50×95	Znめっき	0.7 kg/個	101.5	145	個		
Yクリップ		(大) 4.0t×109	Znめっき	0.3 kg/個	3.0	10	個		
結合コイル		3.2φ×50×300	ZA-300	0.1 kg/個	133.8	1338	個	1274×1.05	
マイティーネット材料		合	計		5973.3kg				

結合コイル使用数量				
主ロープ	縦	1m	当り1個	342
	横	1m	当り2個	640
厚ネットジョイント(J)		1m	当り2個	292
			計	1274

※ 下記割合にて数量算出。

アンカー(A, B共)
岩部用(1000)：岩部用(1500)：土砂部用： = 7：2：1

十字形ピンアンカー
9φ×200：13φ×300：13φ×600： = 2：7：1

※ 図中アンカーはすべて岩部用にて表記。

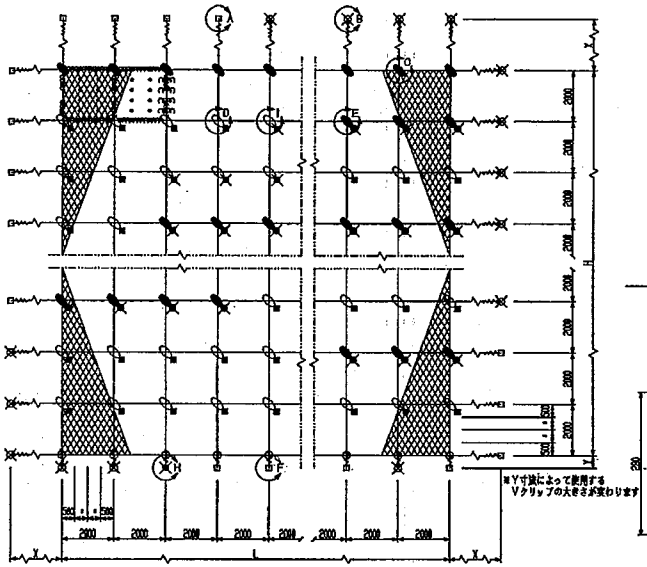
※ アンカー種類は現地施工前に最終確認し決定すること。

高耐久仕様 「亜鉛−10%アルミ合金めっき（ジンカールめっき）」
ロープ、巻付グリップは、高耐久仕様として、亜鉛−10%アルミ合金めっきとしています。
ただし、アンカー、クリップ類（めっき付着量350g/m²）は、溶融亜鉛めっきとしています。

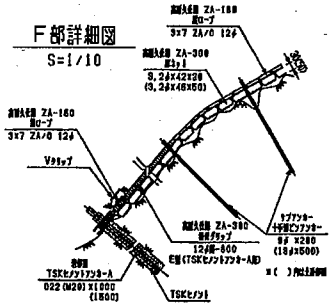
年度	21	事業名	
路線名			
工事名			
図面名	ロープ伏工展開図		
縮尺	1/100	番号	
作成月日	平成 年 月	17/23	

ロープ伏工構造図

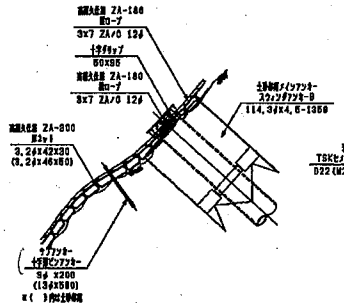
標準構造展開図
S=1/100



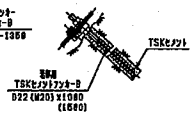
F部詳細図
S=1/10



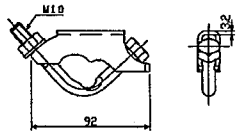
E部詳細図
S=1/10



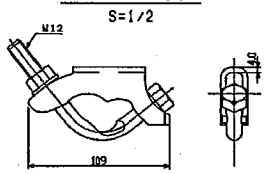
D部詳細図
S=1/10



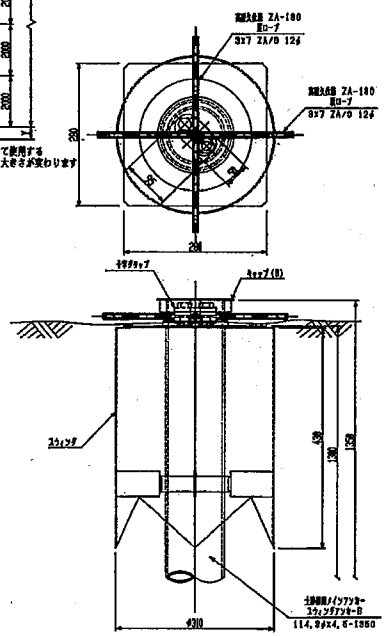
Vクリップ（小）
S=1/2



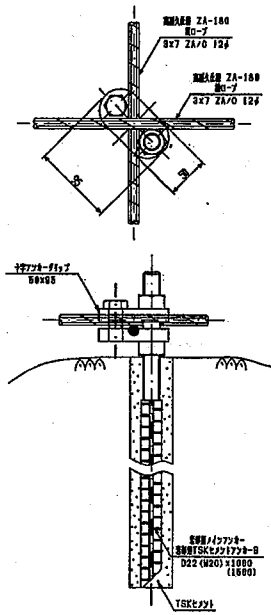
Vクリップ（大）
S=1/2



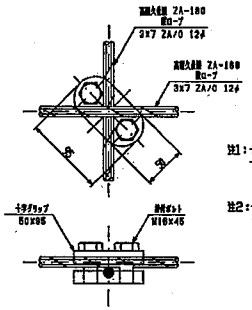
スウィングアンカー詳細図
S=1/5 (E部)



十字アンカーグリップ
S=1/3 (D部)



十字グリップ
S=1/3 (C部)



注1：十字グリップ及び十字アンカーグリップの抜出力
抜出力＝24KN
（ワイヤロープの許容荷重以上）

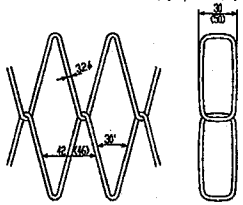
注2：十字グリップ及び十字アンカーグリップの使用箇所
十字グリップ：縦上段縦ロープ・縦主ロープ交点部及び土砂部用ロアンカー部
十字アンカーグリップ：岩部用及び土砂り部用ロアンカー部

巻付グリップ
S=1/5
高耐久仕様 ZA-300

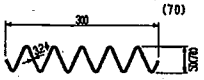
寸法表

区分 ＼ 寸法	呼称寸法	A	C
巻付グリップ（E型（TSKセメントアンカーA））12φ用	12φE-800	800	40
巻付グリップ（R型（スウィングアンカー25A））12φ用	12φR-975	975	120

厚ネット
S=1/2
高耐久仕様 ZA-300
3.2φx42x30
(3.2φx46x50)



結合コイル
S=1/5
高耐久仕様 ZA-300
3.2φx50x300
(70)



部品明細表

名称	仕様・寸法（mm）		記号
厚ネット	3.2φx42x30	(ZA-300)	
	3.2φx46x50	(ZA-300)	
主(縦・横)ロープ	3x7 ZA/0 12φ	(ZA-180)	
岩部用 TSKセメントアンカーA	D22(M20)x1000		□
	D22(M20)x1500		
岩部用 TSKセメントアンカーB	D22(M20)x1000		■
	D22(M20)x1500		
土砂部用 スウィングアンカー25A	114.3φx4.5-1350 310φx430		
土砂部用 スウィングアンカー25B	114.3φx4.5-1350 310φx430		
巻付グリップ（E型）：端末用	12φ用-800	(ZA-300)	
巻付グリップ（R型）：パイプ用	12φ用-975	(ZA-300)	
十字型ピンアンカー	9φx200		•
十字型ピンアンカー	13φx300		•
十字型ピンアンカー	13φx500		•
ネジリアンカー	6tx16x500		•
Vクリップ	(大) 4.0tx109		
	(小) 3.2tx92		
結合コイル	3.2φx50x300	(ZA-300)	
	3.2φx70x300	(ZA-300)	
十字アンカーグリップ	12φ用 60x95		
十字グリップ	12φ用 60x95		
土被り部用 TSKセメントアンカーA	D22(M20)x1500 310φx430		
	D22(M20)x2000 310φx430		
土被り部用 TSKセメントアンカーB	D22(M20)x1500 310φx430		
	D22(M20)x2000 310φx430		

※ 表記なき部材は全て亜鉛めっき仕様とする。

十字型ピンアンカー使用数量	
縦ロープ	■当U1本
横ロープ	■当U1本
厚ネット	■当U2本

結合コイル使用数量	
縦ロープ	■当U1個
横ロープ	■当U2個
厚ネットジョイント（J）	■当U2個

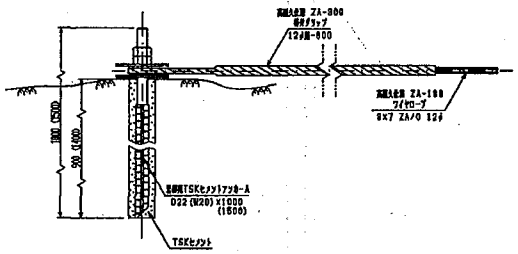
高耐久仕様 「亜鉛－10%アルミ合金めっき（ジンカールめっき）」
ロープ、巻付グリップは、高耐久仕様として、亜鉛－10%アルミ合金めっきとしています。
ただし、アンカー、クリップ類（めっき付着量350g/m²）は、溶融亜鉛めっきとしています。

年度	21	事業名	
路線名			
工事名			
図面名	ロープ伏工構造図		
縮尺	図示	番号	
作成月日	平成 年 月	18 / 23	

ロープ伏工構造図

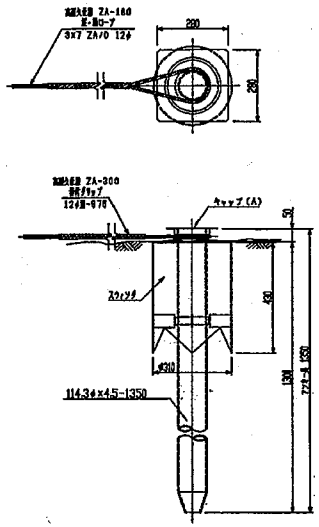
岩部用TSKセメントアンカーA

S=1/5 (A部)



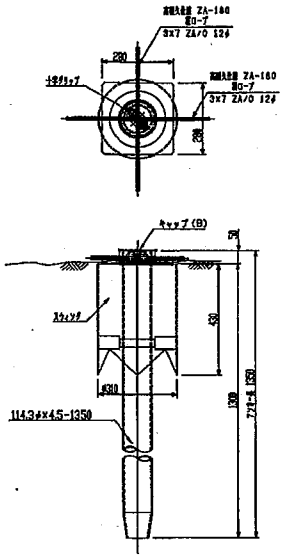
土砂部用 スウィングアンカー25A

S=1/10 (B部)



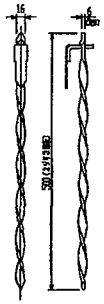
土砂部用 スウィングアンカー25B

S=1/10 (E部)



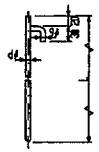
サブアンカー TSKネジリアンカー

S=1/5



サブアンカー 十手形ピンアンカー

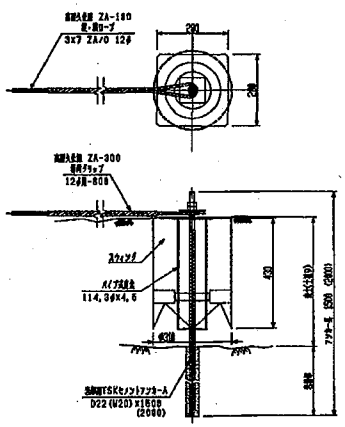
S=1/5



d6 (mm)	L (mm)
9	200
13	300
13	600

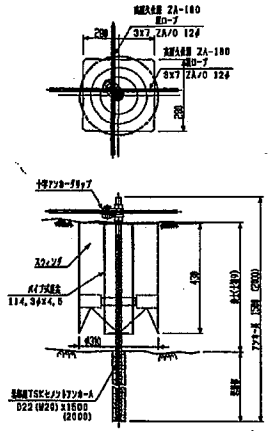
土被り部用 TSKセメントアンカーA

S=1/10 (H部)



土被り部用 TSKセメントアンカーB

S=1/10 (I部)



※ 表記なき部材は全て亜鉛めっき仕様とする。

高耐久仕様 「亜鉛－10%アルミ合金めっき（ジンカールめっき）」

ロープ、巻付グリップは、高耐久仕様として、亜鉛－10%アルミ合金めっきとしています。
ただし、アンカー、クリップ類（めっき付着量350g/m²）は、溶融亜鉛めっきとしています。

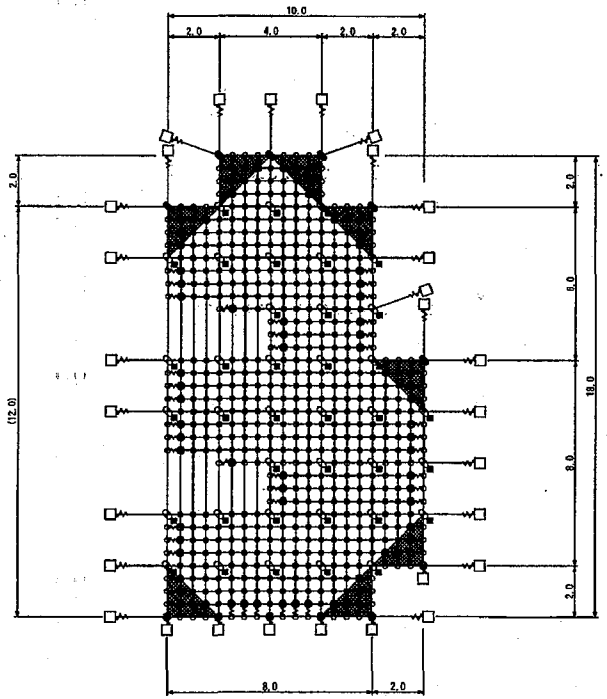
年度	21	事業名	
路線名			
工事名			
図面名	ロープ伏工構造図		
縮尺	図示	番号	
作成月日	平成 年 月	19 / 23	

ロープ伏工展開図

S=1/100

A=136.0 m²

※金網併用



高耐久仕様
ロープ伏工
(2×2−0.5×14型)

材料明細表

名称		仕様・寸法 (mm)		単重(kg)	総重量(kg)	数量	単位	割増	記号
主ロープ	縦	3×7 ZA/0 14φ	ZA-210	0.7 kg/m	72.0	102.9	m	98.0×1.05	
	横	3×7 ZA/0 14φ	ZA-210	0.7 kg/m	86.7	123.9	m	118.0×1.05	
補強ロープ	縦	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	107.1	214.2	m	204.0×1.05	
	横	3×7 ZA/0 12φ	ZA-180	0.5 kg/m	107.1	214.2	m	204.0×1.05	
巻付グリップ (E型)		12φ用-800	ZA-300	0.6 kg/本	50.4	84	本		
巻付グリップ (E型)		14φ用-1100	ZA-300	1.0 kg/本	29.0	29	本		
巻付グリップ (R型)		14φ用-1280	ZA-300	1.1 kg/本	3.3	3	本		
岩部用TSKセメントアンカーA		D25(D24)×1000	Znめっき	7.3 kg/本	153.3	21	本		
		D25(D24)×1500	Znめっき	10.0 kg/本	60.0	6	本		
岩部用TSKセメントアンカーB		D25(D24)×1000	Znめっき	5.7 kg/本	148.2	26	本		
		D25(D24)×1500	Znめっき	8.5 kg/本	59.5	7	本		
土砂部用スウィングアンカー35A		114.3φ×4.5t-1550 380φ×430	Znめっき	32.0 kg/本	96.0	3	本		
土砂部用スウィングアンカー35B		114.3φ×4.5t-1550 380φ×430	Znめっき	31.6 kg/本	126.4	4	本		
十字グリップ		14φ用 70×102	Znめっき	1.5 kg/個	15.0	10	個		
十字アンカーグリップ		14φ用 70×102	Znめっき	1.3 kg/個	42.9	33	個		
Vクリップ		(小) 3.2t×92	Znめっき	0.2 kg/個	96.4	482	個		
金網		3.2φ×50×50	ZA-300	2.6 kg/m²	408.6	156.4	m²	136.0×1.15	
結合コイル		3.2φ×50×300	ZA-300	0.1 kg/個	30.0	300	個		
ロープネット材料		合	計		1715.1kg				

結合コイル使用数量		
主ロープ	3φ 間リ2個	164
補強ロープ	4φ 間リ4個	136

※ 下記割合にて数量算出。

アンカー(A, B共)
岩部用(1000)：岩部用(1500)：土砂部用： = 7：2：1

※ 図中アンカーはすべて岩部用にて表記。

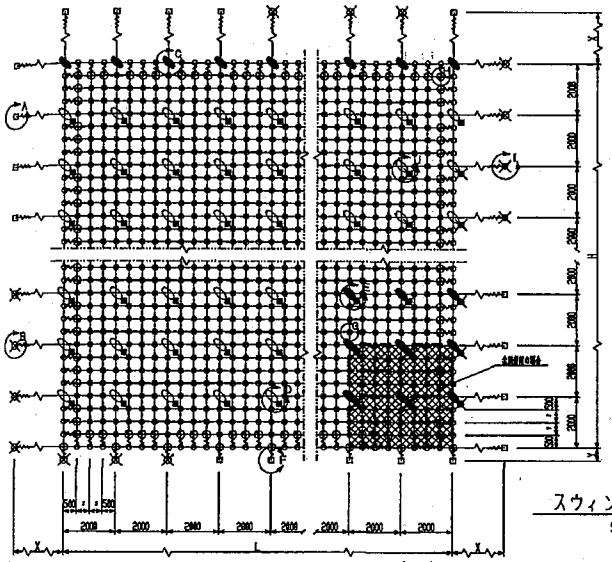
※ アンカー種類は現地施工前に最終確認し決定すること。

高耐久仕様 「亜鉛−10%アルミ合金めっき（ジンカールめっき）」
ロープ、巻付グリップは、高耐久仕様として、亜鉛−10%アルミ合金めっきとしています。
ただし、アンカー、クリップ類（めっき付着量350g/m²）は、溶融亜鉛めっきとしています。

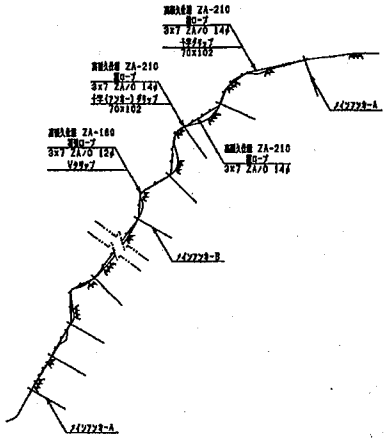
年度	21	事業名	
路線名			
工事名			
図面名	ロープ伏工展開図		
縮尺	1/100	番号	
作成月日	平成 年 月	20 / 23	

ロープ伏工構造図

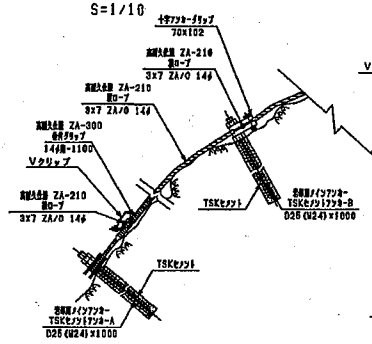
標準構造展開図
S=1/100



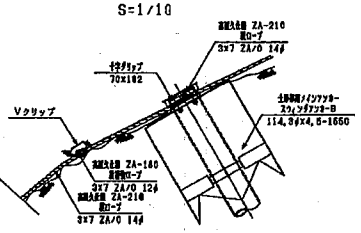
横断図
S=1/100



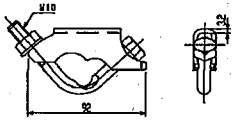
D・F部詳細図
S=1/10



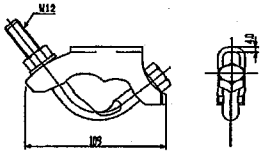
E・G部詳細図
S=1/10



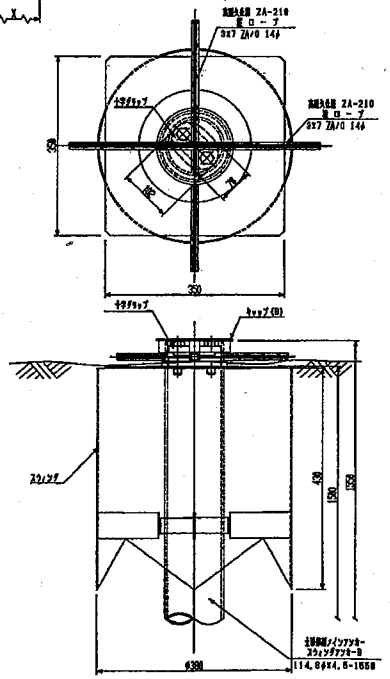
Vクリップ（小）
S=1/2 (G部)



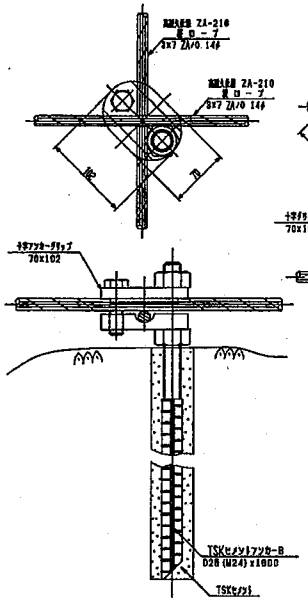
Vクリップ（大）
S=1/2 (H部)



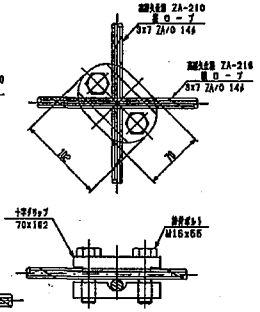
スウィングアンカー詳細図
S=1/5 (E部)



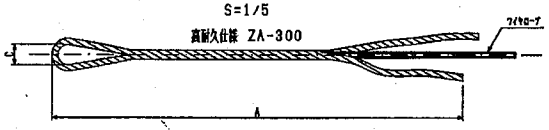
十字アンカーグリップ
S=1/3 (D部)



十字グリップ
S=1/3 (C部)



巻付グリップ
S=1/5
高耐久仕様 ZA-300



寸法表

区分	寸法	呼び寸法	A	C
巻付グリップ（E型（TSKセメントアンカーA））	14φ用	14φ用-1100	1100	40
巻付グリップ（R型（スウィングアンカー35A））	14φ用	14φ用-1280	1280	120
巻付グリップ（E型（補強ロープ））	12φ用	12φ用- 600	600	40

注1：十字グリップ及び
十字アンカーグリップの抜け出力
抜け出力=34KN
（ワイヤロープの許容荷重以上）

注2：十字グリップ及び
十字アンカーグリップの適用箇所
十字グリップ：地上表面ロープ・縦ストップ交点部及び土砂崩壊用Bフック部
十字アンカーグリップ：急斜地及び土砂り崩壊用Bフック部

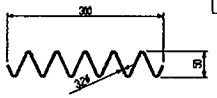
高耐久仕様 「亜鉛－10％アルミ合金めっき（ジンカールめっき）」
ロープ、巻付グリップは、高耐久仕様として、亜鉛－10％アルミ合金めっきとしています。
ただし、アンカー、クリップ類（めっき付着量350g/m²）は、溶融亜鉛めっきとしています。

部品明細表

名称	仕様・寸法（mm）	記号
主(縦・横)ロープ	3×7 ZA/0 14φ (ZA-210)	
補強（縦・横）ロープ	3×7 ZA/0 12φ (ZA-180)	
岩盤用 TSKセメントアンカーA	D25 (M24) ×1000	□
	D25 (M24) ×1500	
特殊用 TSKセメントアンカーB	D25 (M24) ×1000	■
	D25 (M24) ×1500	
土砂崩用 スウィングアンカー35A	114.3φ×4.5-1550 380φ×430	
土砂崩用 スウィングアンカー35B	114.3φ×4.5-1550 380φ×430	
巻付グリップ（E型）：縦木用	14φ用-1100 (ZA-300)	
巻付グリップ（R型）：パイプ用	14φ用-1280 (ZA-300)	
Vクリップ	(大) 4.0t×109	
	(小) 3.2t×92	
十字アンカーグリップ	14φ用 70×102	
十字グリップ	14φ用 70×102	
土嚢り部用 TSKセメントアンカーA	D25 (M24) ×1500 380φ×430	
	D25 (M24) ×2000 380φ×430	
土嚢り部用 TSKセメントアンカーB	D25 (M24) ×1500 380φ×430	
	D25 (M24) ×2000 380φ×430	
金網	3.2φ×50×50 (ZA-300)	
結合コイル	3.2φ×50×300 (ZA-300)	

※ 表記なき部材は全て亜鉛めっき仕様とする。

結合コイル 3.2φ
S=1/5
高耐久仕様 ZA-300



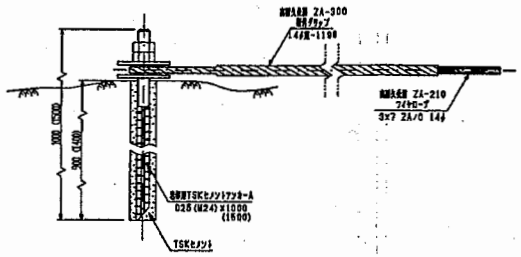
結合コイル使用数量	
主ロープ	2m当り2個
補強ロープ	4m当り4個

年度	21	事業名	
路線名			
工事名			
図面名	ロープ伏工構造図		
縮尺	図示	番号	
作成月日	平成 年 月	21 / 23	

ロープ伏工構造図

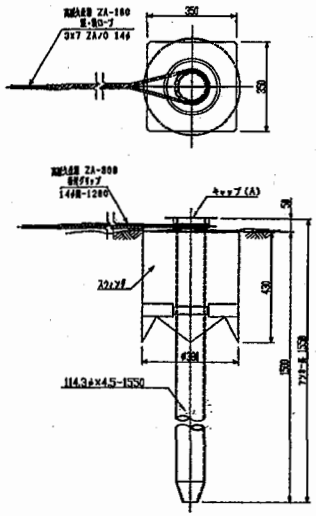
岩部用TSKセメントアンカーA

S=1/5 (A部)



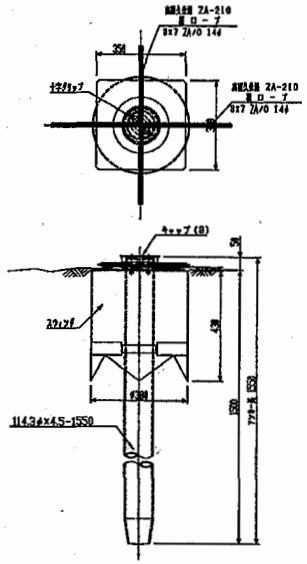
土砂部用 スウィングアンカー35A

S=1/10 (B部)



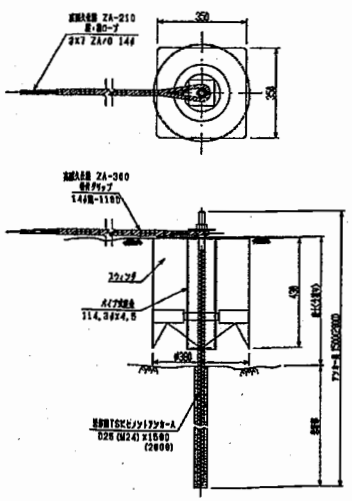
土砂部用 スウィングアンカー35B

S=1/10 (E部)



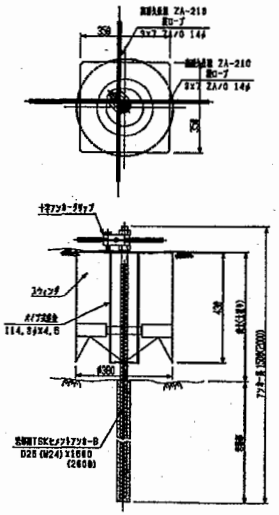
土被り部用 TSKセメントアンカーA

S=1/10 (I部)



土被り部用 TSKセメントアンカーB

S=1/10 (J部)



※ 表記なき部材は全て亜鉛めっき仕様とする。

高耐久仕様 「亜鉛－10%アルミ合金めっき（ジンカールめっき）」

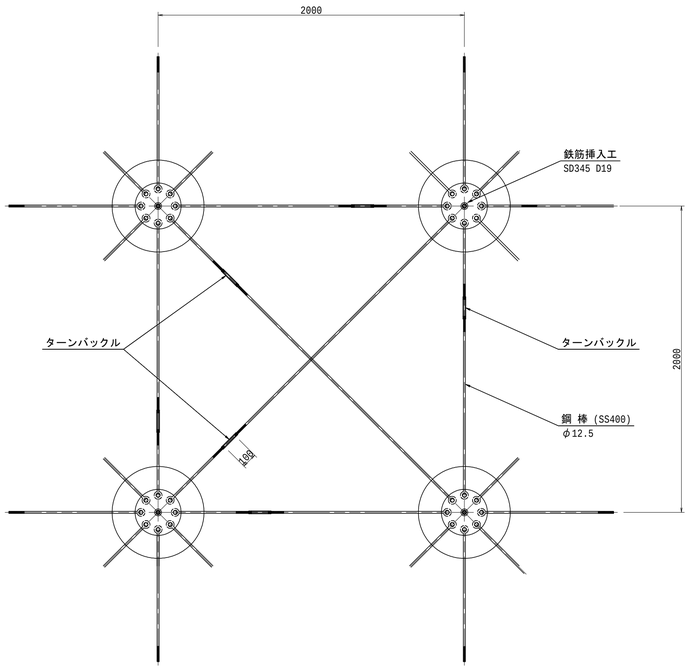
ロープ、巻付グリップは、高耐久仕様として、亜鉛－10%アルミ合金めっきとしています。
ただし、アンカー、クリップ類（めっき付着量350g/m²）は、溶融亜鉛めっきとしています。

年度	21	事業名	
路線名			
工事名			
図面名	ロープ伏工構造図		
縮尺	図示		番号
作成月日	平成 年 月		22/23

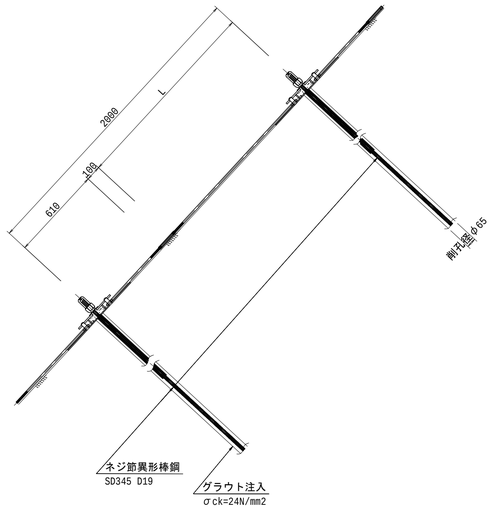
地山補強土工詳細図(その3)

(RB-D19タイプ) PN-φ600-φ12.5　SS400

正　面　図　S=1:20

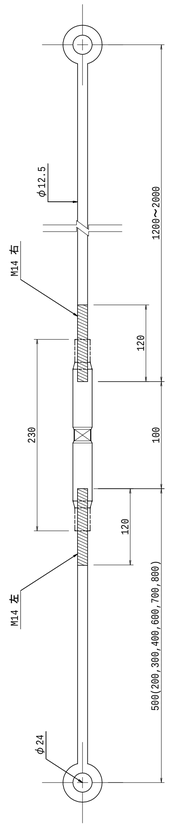


横　断　図　S=1:20

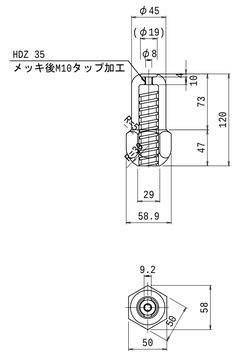


鋼 棒 (SS400)　S=1:4

亜鉛メッキ HDZ 55

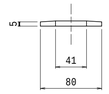


キャップナット(D19用)　S=1:4



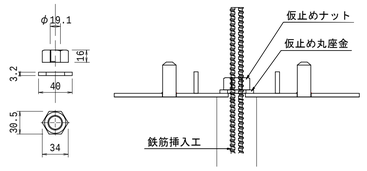
皿バネ 1枚使用（30kN対応）　S=1:4

(80*41*5.0)



仮止めナット(D19用)　S=1:4

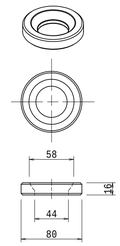
(仮止めナット、仮止め丸座金)



球面リング　S=1:4

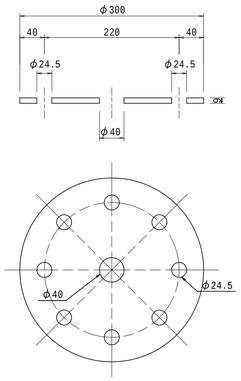
80×58×16

亜鉛メッキ HDZ55



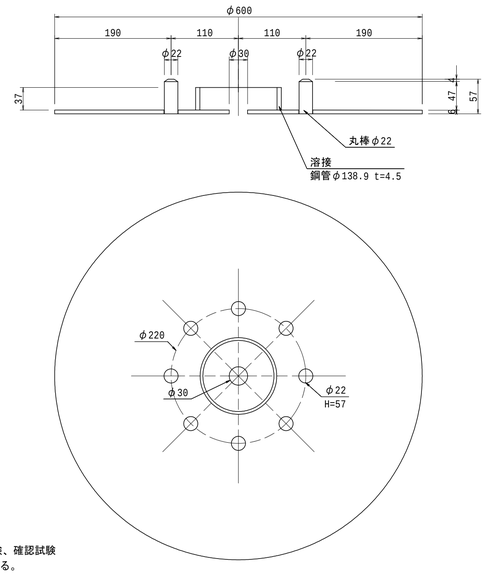
蓋プレート　φ300　t=9　S=1:5

(SS400相当) 亜鉛メッキ HDZ55

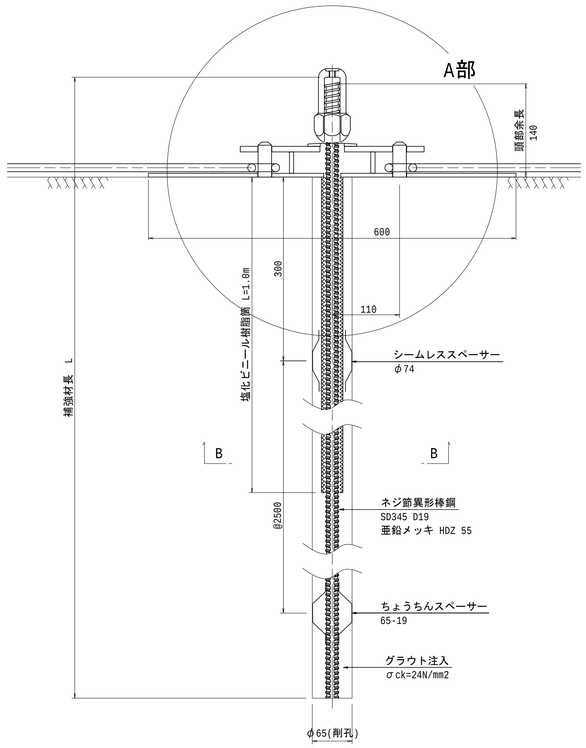


受圧板φ600　t=6　S=1:5

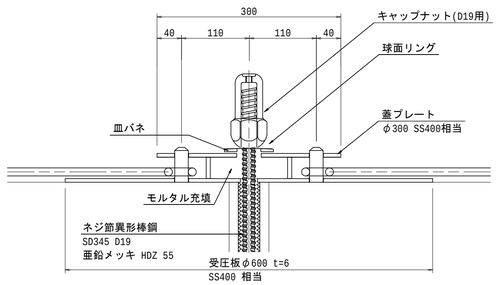
(SS400相当) 亜鉛メッキ HDZ55



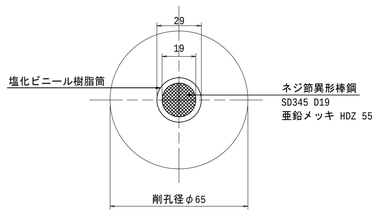
断　面　図　S=1:5



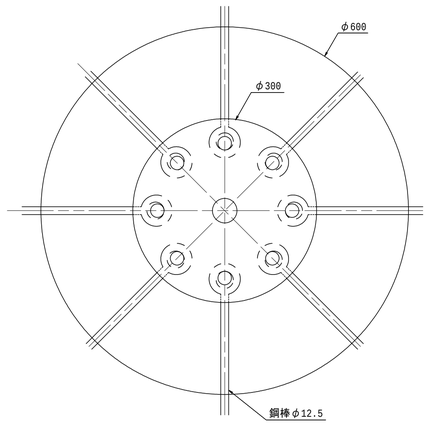
A部詳細図　S=1:5



B部詳細図　S=1:2



鋼棒取付詳細図　S=1:5



施工上の留意点

注1:　鉄筋挿入工の安全性は、引抜き試験、確認試験によって確認することを原則とする。

注2:　鉄筋挿入工の施工に際しては、ボーリング調査等により背面地山の状況を事前に確認し、鉄筋挿入工の補強対策に対する安全性を照査する必要がある。

注3:　スペーサーは最大ピッチ2.5mで最低2箇所以上設置する。

注4:　グラウト注入は注入ホースを孔底付近まで十分挿入して注入すること。

注5:　グラウトの標準配合は、NEXCO「切土補強土工法設計･施工要領」H19.1 を参考とする。

注6:　受圧版の許容地耐力は、150kN/m2としているが、現地にて載荷確認し不足するときはモルタルにて下地補強すること。

注入材の配合例

重量比	セメント	水(W/C)	砂
セメントミルク	1	0.40～0.50	
モルタル	1	0.42～0.45	1

σ28≧24N/mm2

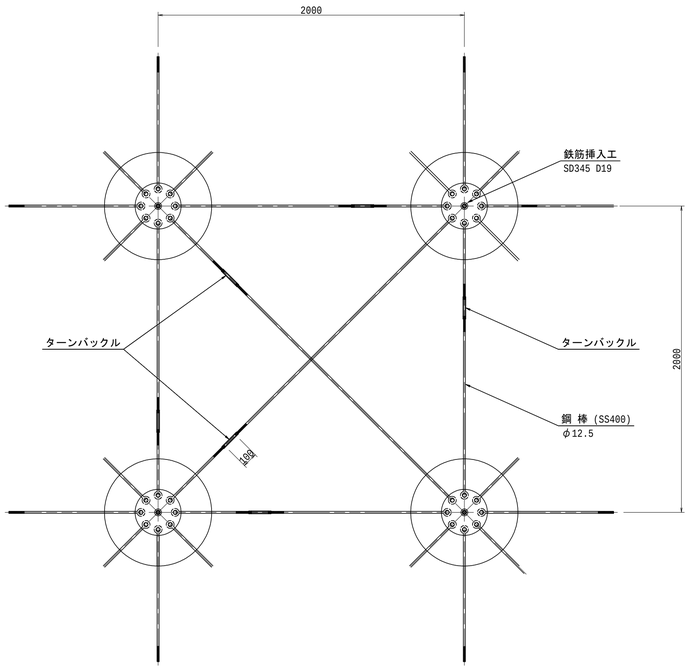
流下時間22秒以下(Pロート：JHS A313-1992準用)

(1N/mm2=10.2kgf/cm2)

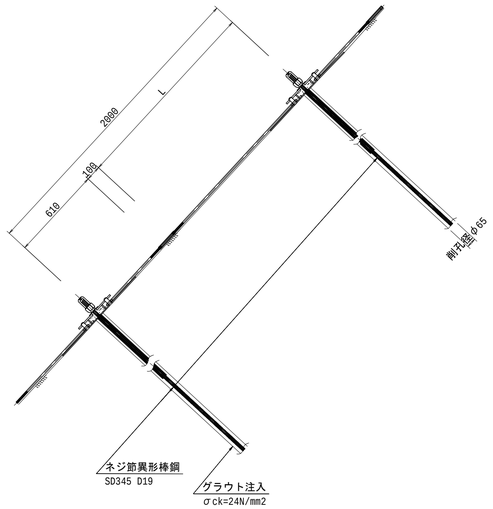
地山補強土工詳細図(その4)

(RB-D19タイプ) PN-φ700-φ12.5　SS400

正　面　図　S=1:20

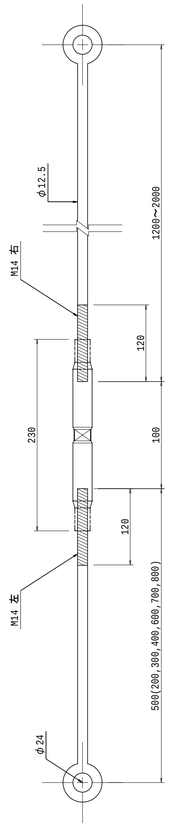


横　断　図　S=1:20

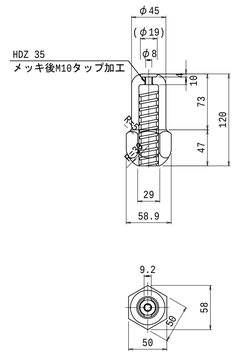


鋼 棒 (SS400)　S=1:4

亜鉛メッキ HDZ 55

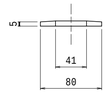


キャップナット(D19用)　S=1:4



皿バネ 1枚使用（30kN対応）　S=1:4

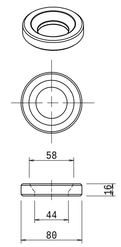
(80*41*5.0)



球面リング　S=1:4

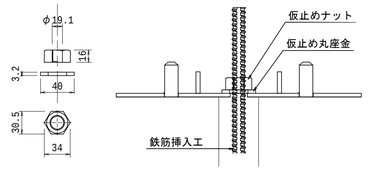
80×58×16

亜鉛メッキ HDZ55



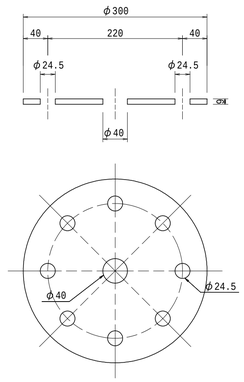
仮止めナット(D19用)　S=1:4

(仮止めナット、仮止め丸座金)



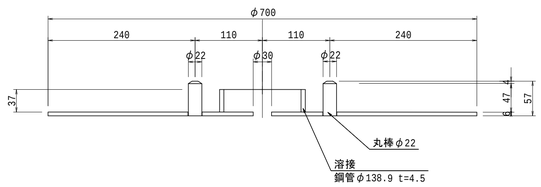
蓋プレート　φ300　t=9　S=1:5

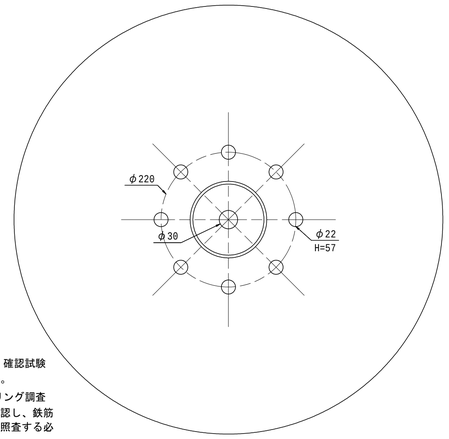
(SS400相当) 亜鉛メッキ HDZ55



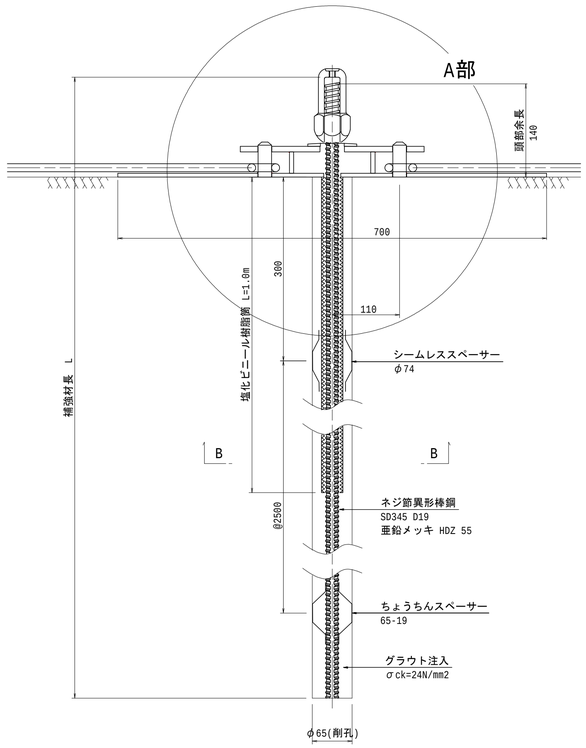
受圧板φ700　t=6　S=1:5

(SS400相当) 亜鉛メッキ HDZ55

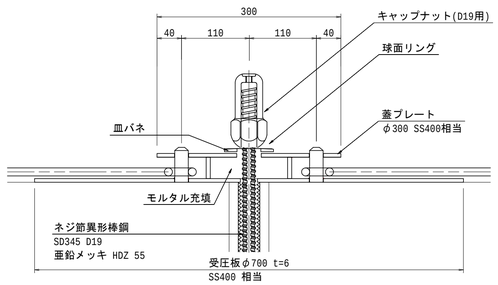




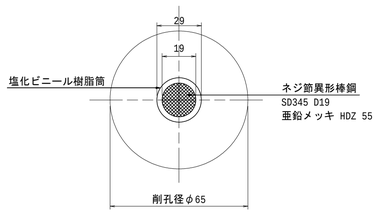
断　面　図　S=1:5



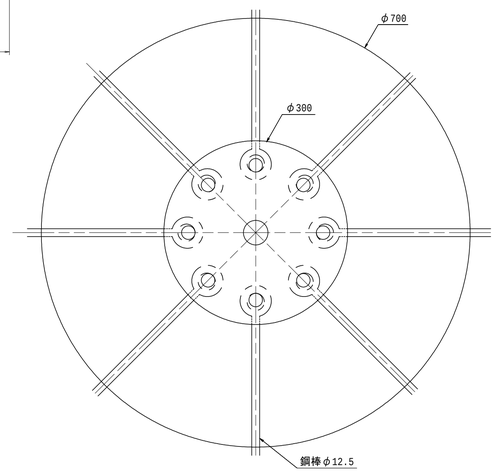
A部詳細図　S=1:5



B部詳細図　S=1:2



鋼棒取付詳細図　S=1:5



施工上の留意点

注1:　鉄筋挿入工の安全性は、引抜き試験、確認試験によって確認することを原則とする。

注2:　鉄筋挿入工の施工に際しては、ボーリング調査等により背面地山の状況を事前に確認し、鉄筋挿入工の補強対策に対する安全性を照査する必要がある。

注3:　スペーサーは最大ピッチ2.5mで最低2箇所以上設置する。

注4:　グラウト注入は注入ホースを孔底付近まで十分挿入して注入すること。

注5:　グラウトの標準配合は、NEXCO「切土補強土工法設計･施工要領」H19.1 を参考とする。

注6:　受圧版の許容地耐力は、150kN/m2としているが、現地にて載荷確認し不足するときはモルタルにて下地補強すること。

注入材の配合例

重量比	セメント	水(W/C)	砂
セメントミルク	1	0.40~0.50	
モルタル	1	0.42~0.45	1

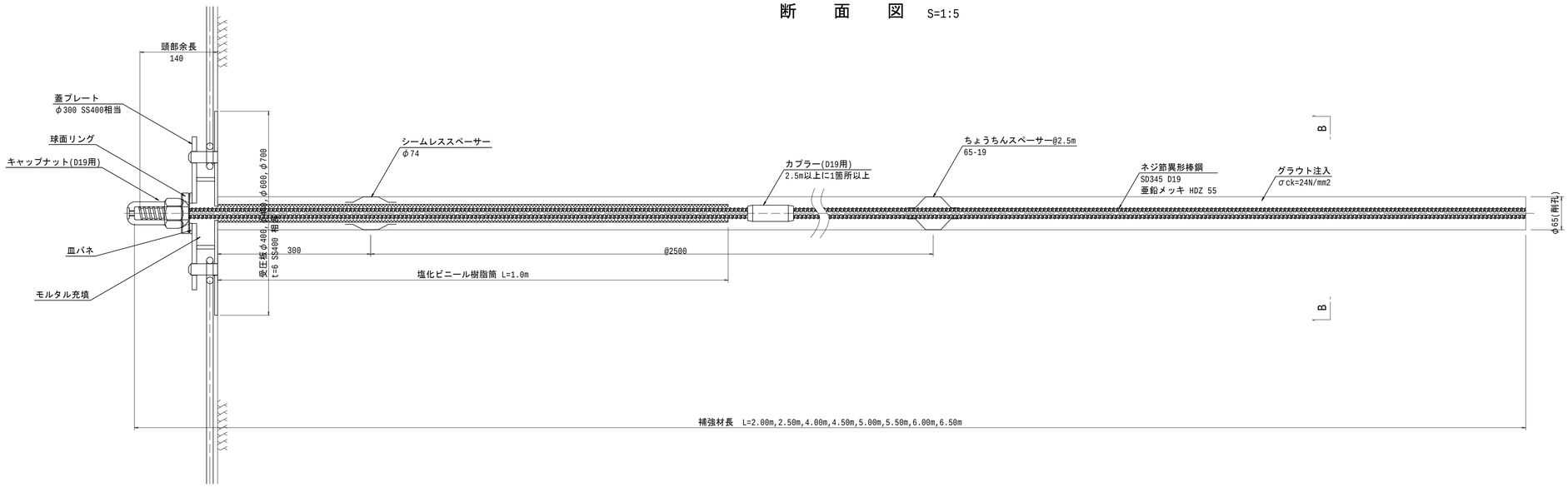
σ28≧24N/mm2

流下時間22秒以下(Pロート：JHS A313-1992準用)

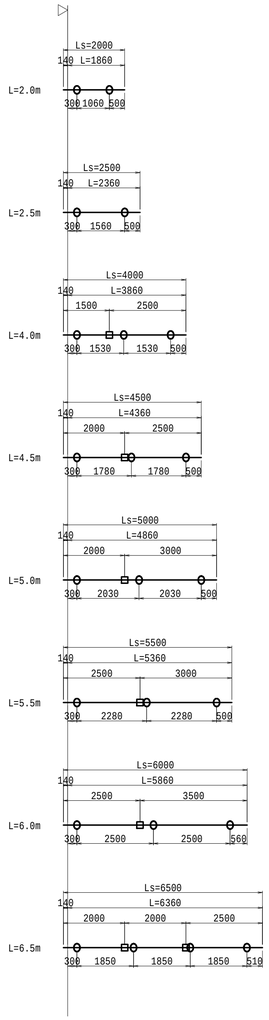
(1N/mm2=10.2kgf/cm2)

地山補強土工詳細図(その5)(参考図)

断　面　図　S=1:5



芯材組立図　S=1:100



鉄筋挿入工材料表

(1本当たり)

項　目	規 格・寸 法	単位	数量	摘　要
ネジ節異形棒鋼	SD345 D19 L=2.0m,2.5m	本	1	亜鉛メッキ HDZ55
球面リング	80×58×16	個	1	亜鉛メッキ HDZ55
キャップナット	D19用	個	1	亜鉛メッキ HDZ35
シームレススペーサー	φ74	個	1	
ちょうちんスペーサー	65-19	個	1	@2.5m
カプラー	D19用	個	0	亜鉛メッキ HDZ55

鉄筋挿入工材料表

(1本当たり)

項　目	規 格・寸 法	単位	数量	摘　要
ネジ節異形棒鋼	SD345 D19 L=4.0m,4.5m,5.0m,5.5m,6.0m	本	1	亜鉛メッキ HDZ55
球面リング	80×58×16	個	1	亜鉛メッキ HDZ55
キャップナット	D19用	個	1	亜鉛メッキ HDZ35
シームレススペーサー	φ74	個	1	
ちょうちんスペーサー	65-19	個	2	@2.5m
カプラー	D19用	個	1	亜鉛メッキ HDZ55

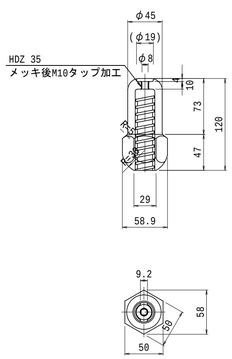
鉄筋挿入工材料表

(1本当たり)

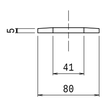
項　目	規 格・寸 法	単位	数量	摘　要
ネジ節異形棒鋼	SD345 D19 L=6.5m	本	1	亜鉛メッキ HDZ55
球面リング	80×58×16	個	1	亜鉛メッキ HDZ55
キャップナット	D19用	個	1	亜鉛メッキ HDZ35
シームレススペーサー	φ74	個	1	
ちょうちんスペーサー	65-19	個	3	@2.5m
カプラー	D19用	個	2	亜鉛メッキ HDZ55

部材詳細図　S=1:4

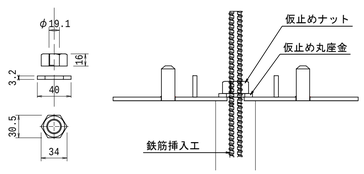
キャップナット(D19用)



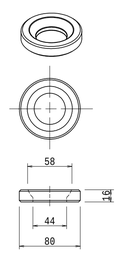
皿バネ 1枚使用 (30kN対応)
(80*41*5.0)



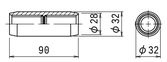
仮止めナット(D19用)
(仮止めナット、仮止め丸座金)



球面リング
80×58×16
亜鉛メッキ HDZ55



カプラー(D19用)
亜鉛メッキ HDZ55



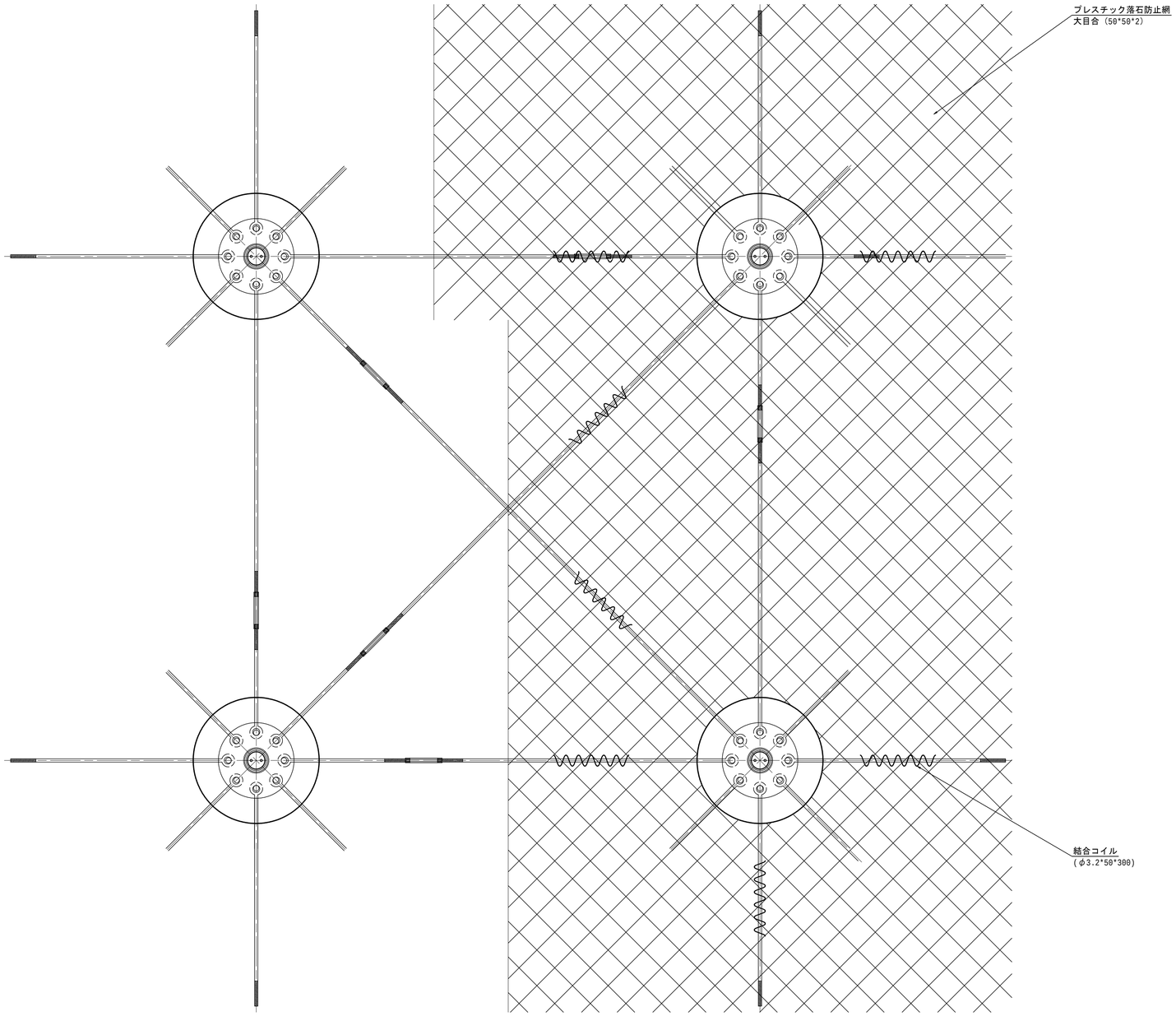
凡　例

Ls	芯 材 長
L	削 孔 長
○	スペーサー
□	カプラー
▽	削 孔 面

【特記事項】
※補強材の防食として亜鉛メッキ処理を以下の使用により行うこと。
　ナット　　：JIS H 8641,2種HDZ35
　カプラー、鉄筋：JIS H 8641,2種HDZ55
※スペーサー設置間隔は2.5mピッチとし、最低2箇所以上配置すること。
※補強材はネジ節異形棒鋼もしくは異形棒鋼と同等以上のものを使用すること。
※ 本体製品は(株)相建エンジニアリングの製品により積算しているが、契約上の製品を指定するものではない。

地山補強土工詳細図(その6)(参考図)

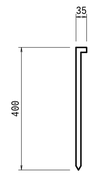
正　面　図　S=1:10



アンカーピン　S=1:10

D16　L=400

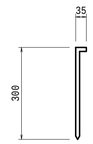
30本/100m²



補助アンカーピン　S=1:10

D13　L=300

150本/100m²



結合コイル　S=1:10

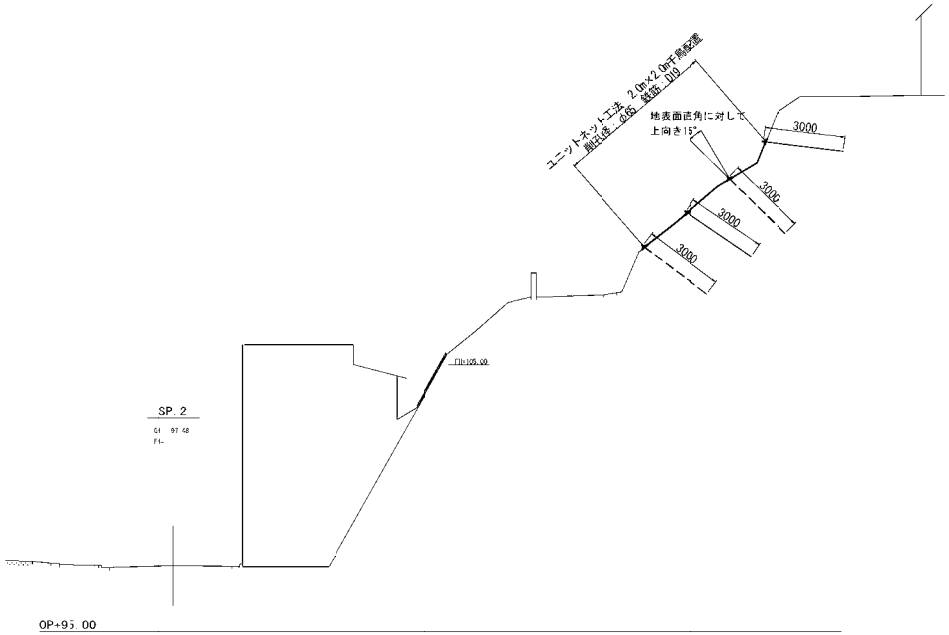
φ3.2*50*300

2個/連結鋼棒1本

※ 立木等がある場合は、立木部分の網を切り取り、立木周辺の網はアンカーピンで止めること。

※ 本体製品は(株)相建エンジニアリングの製品により積算しているが、契約上の製品を指定するものではない。

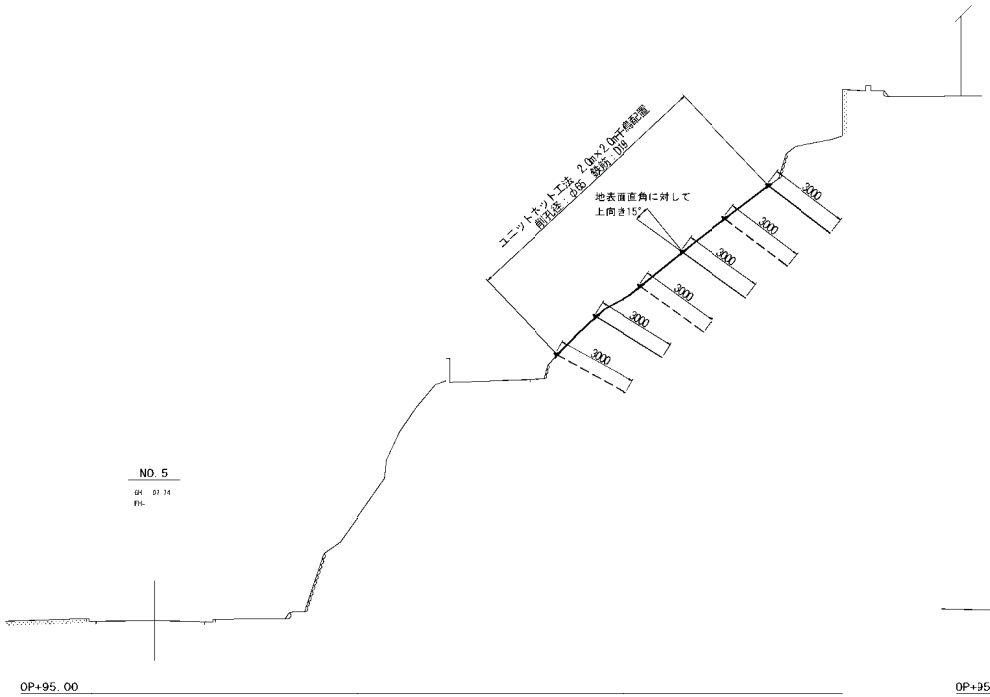
ユニットネット横断図(2ブロック)　(1/6)



※補強材の打設角度は地表面直角に対して上向き15°とする。
　ただし水平から下向き5°より小さくなる場合は、水平から下向き5°とする。

		図面番号	08/50
委託名	箕面(2)急傾斜地詳細設計委託		
委託箇所	箕面市箕面一丁目地内　外		
工事名			
図面名	ユニットネット横断図(2ブロック)(1/6)		
作成年月	平成30年3月	縮尺	1:100
大阪府池田土木事務所			

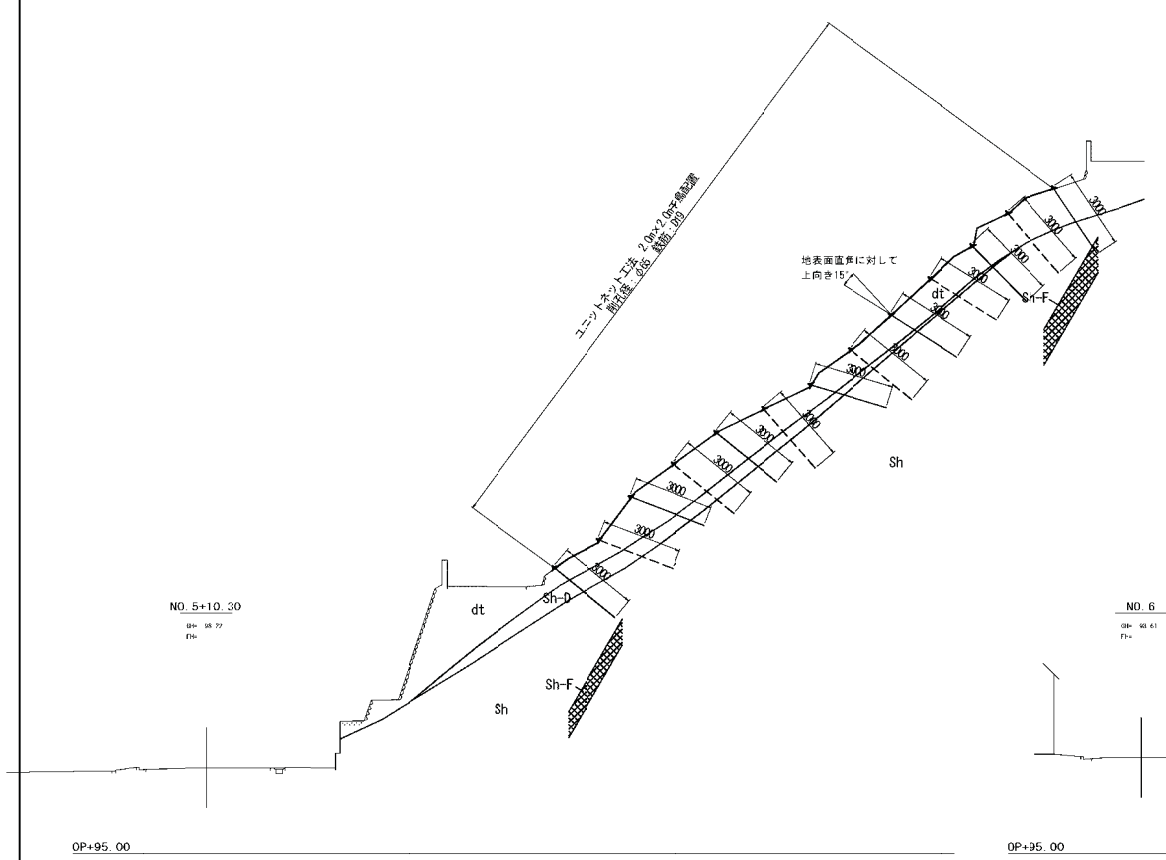
ユニットネット横断図(2ブロック)　(2/6)

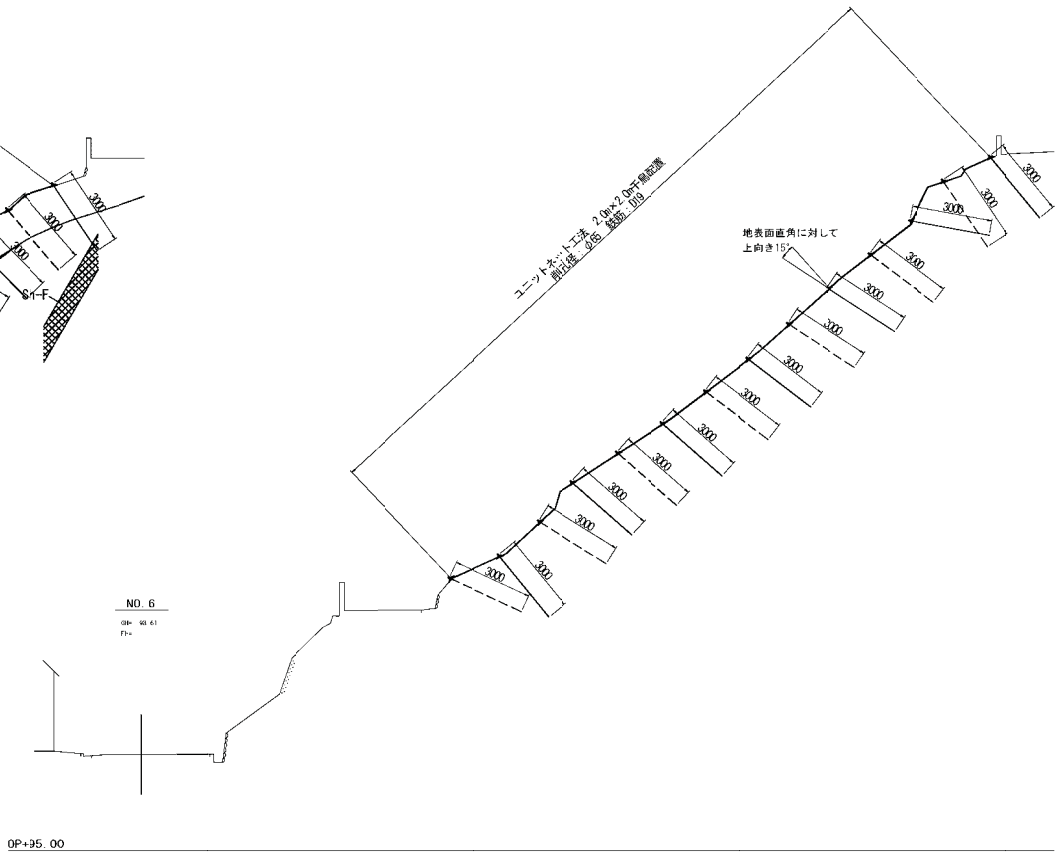


※補強材の打設角度は地表面直角に対して上向き15°とする。
　ただし水平から下向き5°より小さくなる場合は、水平から下向き5°とする。

		図面番号	09/50
委託名	箕面(2)急傾斜地詳細設計委託		
委託箇所	箕面市箕面一丁目地内　外		
工事名			
図面名	ユニットネット横断図(2ブロック)(2/6)		
作成年月	平成30年3月	縮尺	1:100
大阪府池田土木事務所			

ユニットネット横断図(2ブロック)　(3/6)



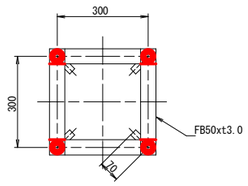


※補強材の打設角度は地表面直角に対して上向き15°とする。
　ただし水平から下向き5°より小さくなる場合は、水平から下向き5°とする。

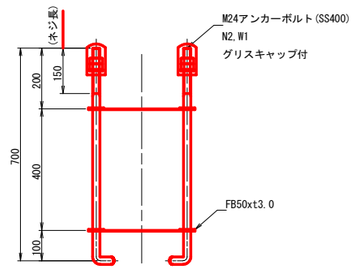
		図面番号	10/50
委託名	箕面(2)急傾斜地詳細設計委託		
委託箇所	箕面市箕面一丁目地内　外		
工事名			
図面名	ユニットネット横断図(2ブロック)(3/6)		
作成年月	平成30年3月	縮尺	1:100
大阪府池田土木事務所			

M24アンカーボルト　参考図

アンカーフレーム詳細　S=1:10

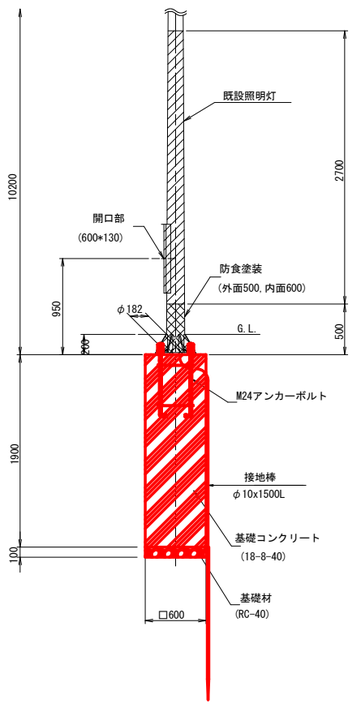


アンカーボルト詳細図　S=1:10



仕 上：ネジ部溶融亜鉛メッキ

（参考）照明灯基礎部　S=1:30

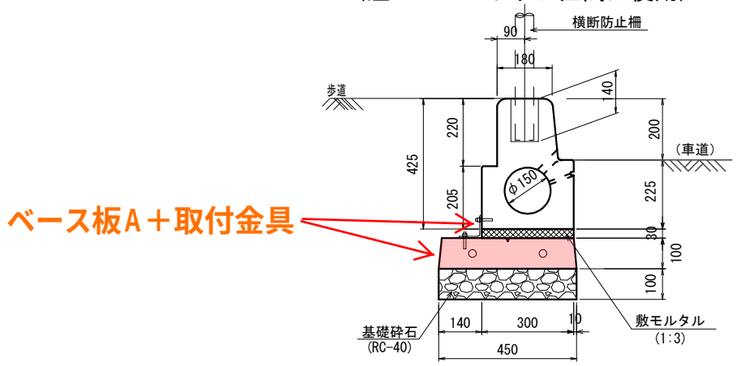


小構造物図(1/2)

ベース板A (取付金具込み)

φ150

(注：バスストップ区間に使用)



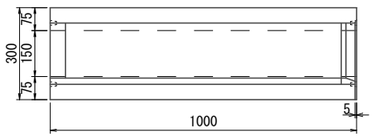
材 料 表 (10m当り)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎材	RC-40	m^2	4.50	
敷ﾓﾙﾀﾙ	1:3	m^2	3.00	
側 溝	縁石側溝φ150	個	10.0	L=1.00 F型
ベース版	A型	個	10.0	L=1.00
連結金具	A型	個	10.0	L-75×75×6×140

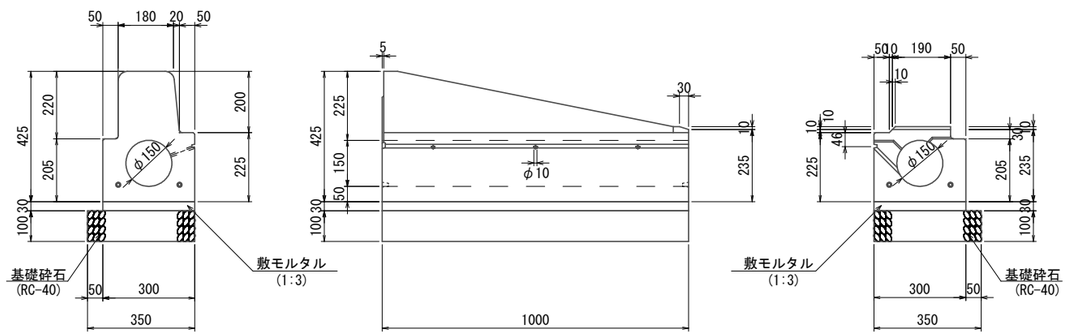
ライン導水ブロック擦付Ｂ（左）

φ150

平面図



左側面図　正面図　右側面図



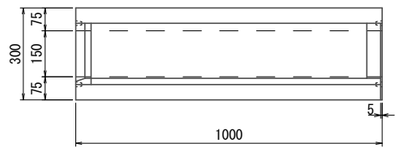
材 料 表 (10m当り)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎材	RC-40	m^2	3.50	
敷ﾓﾙﾀﾙ	1:3	m^2	3.00	
側 溝	歩道擦り付けφ150	個	10.0	

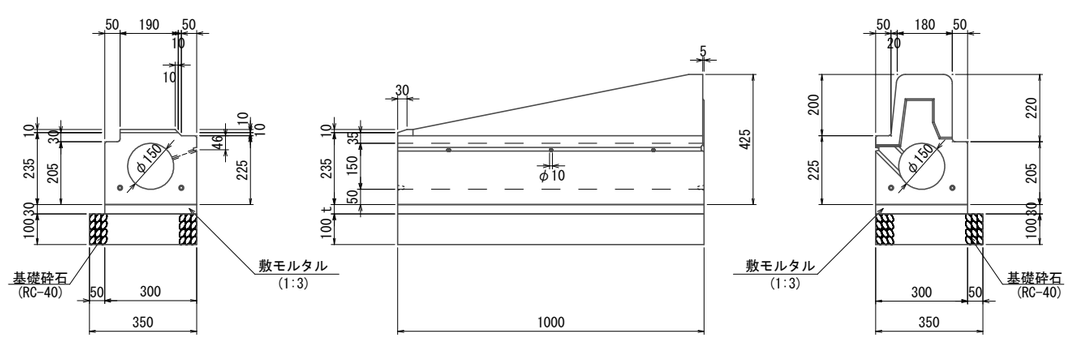
ライン導水ブロック擦付Ｂ（右）

φ150

平面図



左側面図　正面図　右側面図

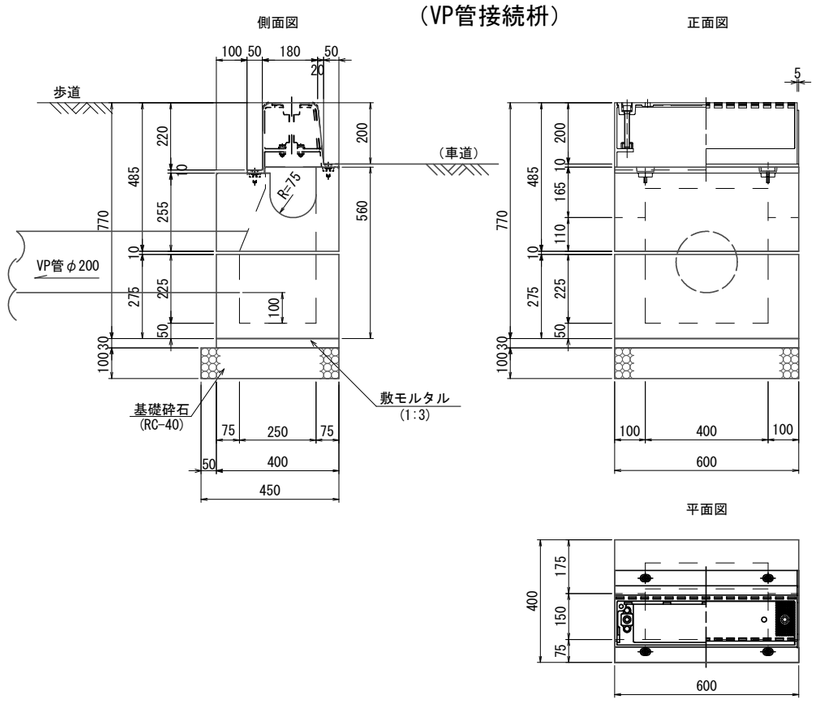


材 料 表 (10m当り)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎材	RC-40	m	3.50	
敷ﾓﾙﾀﾙ	1:3	m	3.00	
側 溝	歩道擦り付けφ150	個	10.0	

小構造物図(2/2)

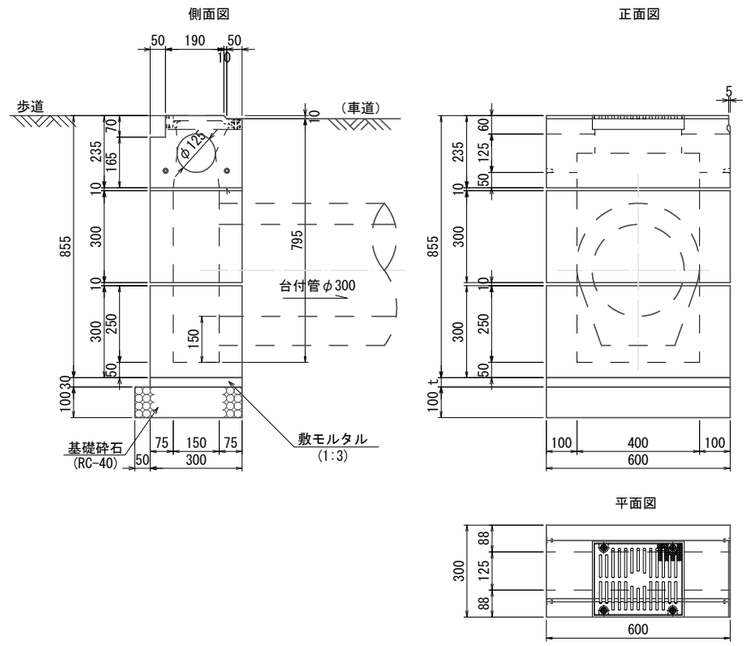
縁石桝B
（VP管接続桝）



材 料 表　(10箇所当り)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎材	RC-40	m^2	2.70	
敷ﾓﾙﾀﾙ	1:3	m^2	2.40	
上部ブロック	150用	個	10.0	
上部ブロック	150蓋用	個	10.0	
下部ブロック	底付	個	10.0	

歩道切下桝・調整ブロック
（台付管接続桝）



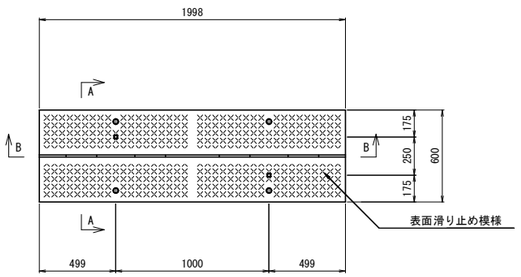
材 料 表　(10箇所当り)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
基礎材	RC-40	m^2	2.10	
敷ﾓﾙﾀﾙ	1:3	m^2	1.80	
上部ブロック	125用	個	10.0	
上部ブロック	歩道切下げ蓋用	個	10.0	
中間ブロック	調整ブロック	個	10.0	
下部ブロック	底付	個	10.0	

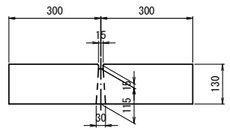
排 水 構 造 物 工 構 造 図 （ 参 考 図 ）

コンクリート蓋(スリット式) B300 L2000:標準

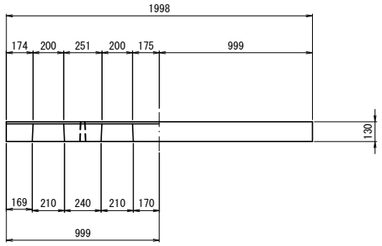
平面図 S=1:20



A-A断面図(スリット部) S=1:10



B-B断面図 S=1:20



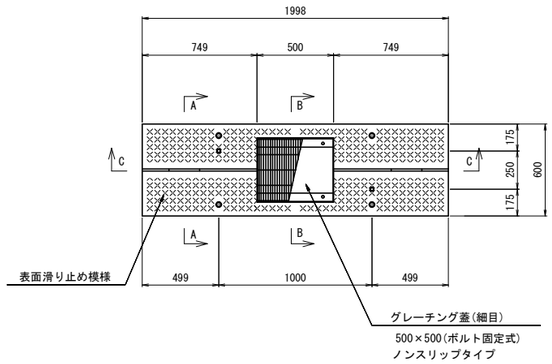
設計条件

規　格		車道縦断用（乗入兼用）
形　状		蓋固定式
自動車荷重	総　重　量	245ＫＮ
	後輪一輪荷重	50ＫＮ
	衝　撃　係　数	ｉ＝0.3
コンクリート	設計基準強度	35Ｎ/mm2
	設計圧縮応力度	12.5Ｎ/mm2
	設計せん断応力度	0.52Ｎ/mm2
鉄　筋	材　質	ＳＤ295Ａ同等以上
	許容引張応力応力度	176Ｎ/mm2
	許容せん断応力度	78Ｎ/mm2

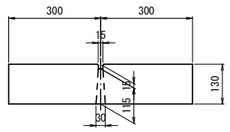
2.0m：製品参考質量　367ｋｇ

コンクリート蓋(スリット式) B300 L2000:管理孔付

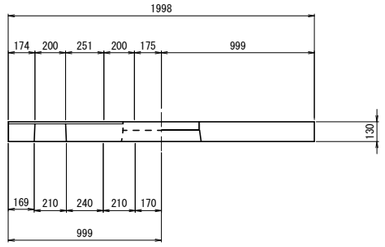
平面図 S=1:20



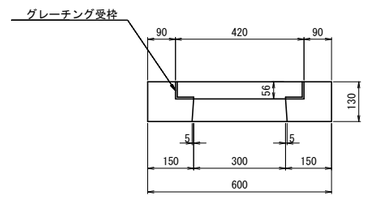
A-A断面図(スリット部) S=1:10



C-C断面図 S=1:20



B-B断面図(グレーチング部) S=1:10



設計条件

規　格		車道縦断用（乗入兼用）
形　状		蓋固定式
自動車荷重	総　重　量	245ＫＮ
	後輪一輪荷重	50ＫＮ
	衝　撃　係　数	ｉ＝0.3
コンクリート	設計基準強度	35Ｎ/mm2
	設計圧縮応力度	12.5Ｎ/mm2
	設計せん断応力度	0.52Ｎ/mm2
鉄　筋	材　質	ＳＤ295Ａ同等以上
	許容引張応力応力度	176Ｎ/mm2
	許容せん断応力度	78Ｎ/mm2

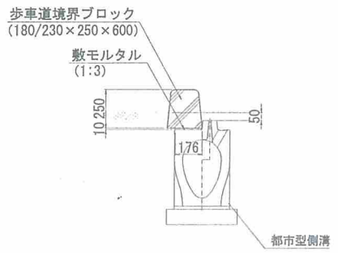
管理孔付：製品参考質量　315ｋｇ　　（グレーチング重量は含まず）

年　度		番　号	／
路 線 名			
工 事 名			
所 属 地 名			
図 面 名	排水構造物工構造図（参考図）		
縮　尺	図示	作成年月	

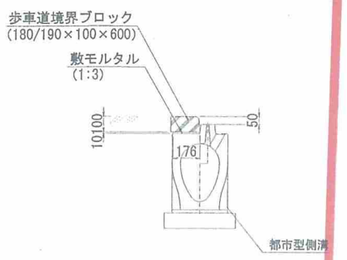
道路施設詳細図(3)

S=1:20

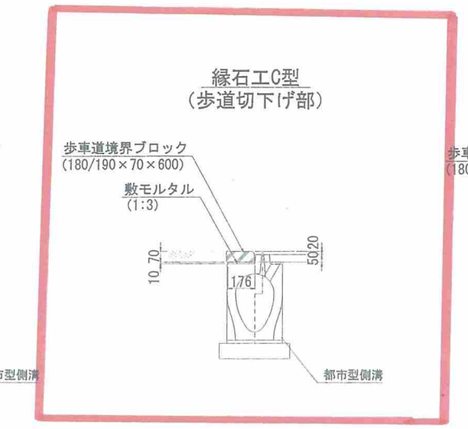
縁石工A型
(標準部(セミフラット))



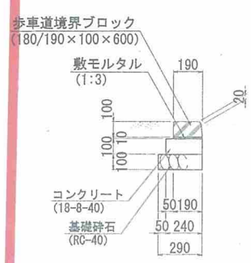
縁石工B型
(車両乗入部)



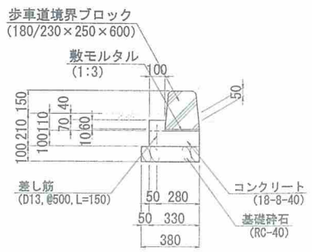
縁石工C型
(歩道切下げ部)



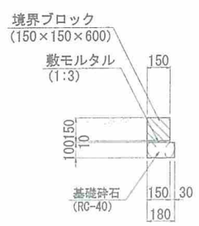
縁石工D型
(歩道切下げ部)



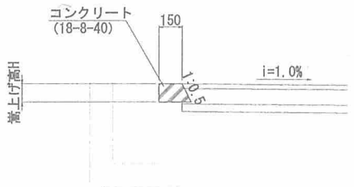
縁石工E型
(セミフラット)



地先境界工



嵩上げコンクリート

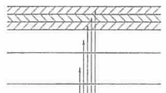


(m)

測　点	H	L
No. 7～No. 7+10. 7付近(左)	0. 118	10. 7
No. 9+8. 8～No. 10+10. 5付近(左)	0. 071	21. 6
No. 15～No. 16+7. 3付近(左)	0. 064～0. 140	27. 3
No. 2+16. 5～No. 3+12. 5付近(右)	0. 032	15. 9
No. 5+19. 2～No. 6+7. 2付近(右)	0. 069	8. 0

舗装構成図

＜車道舗装工＞



【車道舗装】

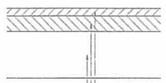
表　　層	開粒度アスファルトコンクリート	t= 5cm
中 間 層	密粒度アスファルトコンクリート	t= 5cm
基　　層	粗粒度アスファルトコンクリート	t= 5cm
上層路盤	水硬性粒度調整鉄鋼スラグ (HMS-25)	t=15cm
下層路盤	再生クラッシャーラン(RC-40)	t=20cm

＜歩道舗装工＞

【歩道舗装：透水性舗装】

表　　層	開粒度アスファルトコンクリート	t= 3cm
路 盤 工	再生クラッシャーラン(RC-30)	t=10cm
フィルター層	砂	t= 5cm

＜大型車車両乗入れ舗装工＞



【大型車車両乗入れ舗装】

表　　層	密粒度アスファルトコンクリート	t= 5cm
基　　層	粗粒度アスファルトコンクリート	t=10cm
路 盤 工	再生クラッシャラン(RC-30)	t=30cm

＜車両乗入れ舗装工＞

【車両乗入れ舗装】

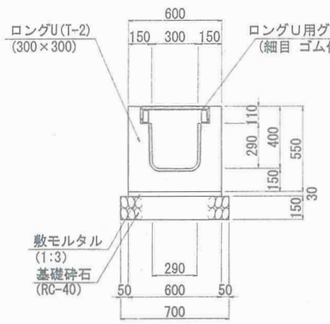
表　　層	密粒度アスファルトコンクリート	t= 5cm
路 盤 工	再生クラッシャラン(RC-30)	t=25cm

年　度	平成28年度	事業名	
路線名	主要地方道　岸和田港塔原線		
工事名			
地　名	岸和田市土生町地内		
図面名 縮　尺	道路施設詳細図(3)　1:20		
作　成 年　月	平成 29年 3月	巻　号 全 業 21	
大阪府岸和田土木事務所		の内 12 号	

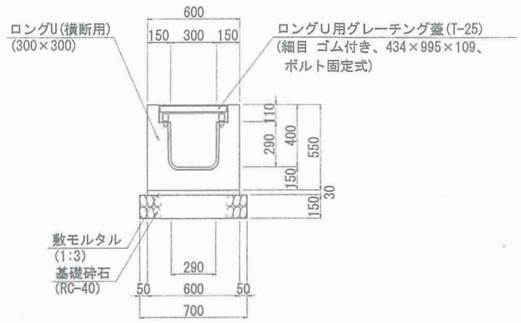
道路施設詳細図(2)

S=1:20

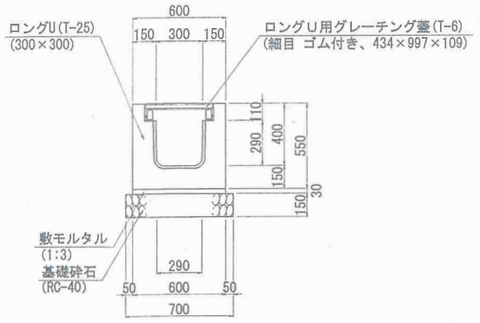
U型側溝(1)
(標準部)



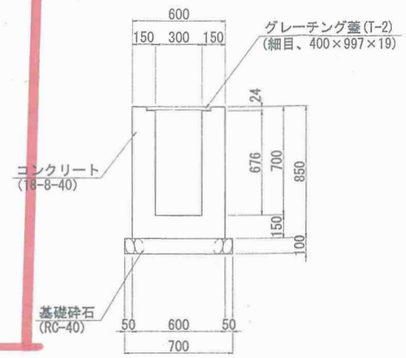
U型側溝(2)
(大型車車両乗入部)



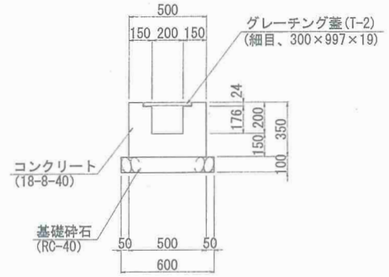
U型側溝(3)
(車両乗入部)



U型側溝(4)
(現場打ちU型側溝 300×700)

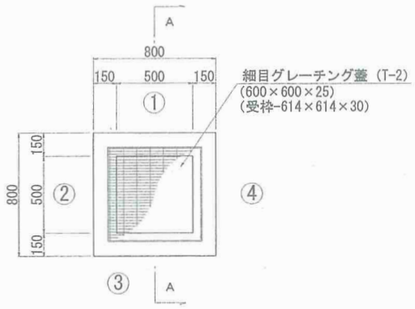


U-200×200
(現場打ちU型側溝)



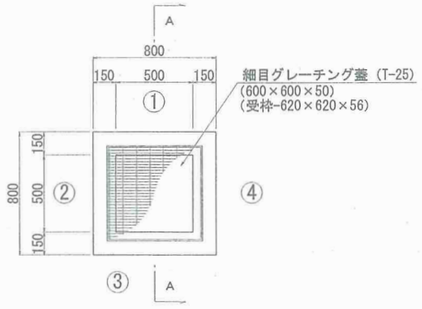
集水桝(1)

平 面 図

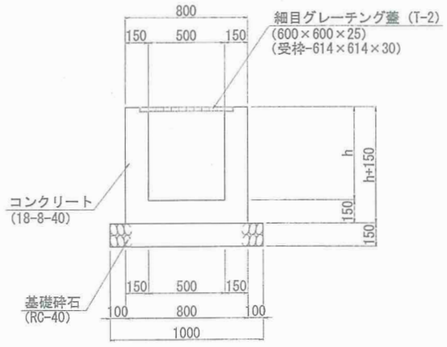


集水桝(2)

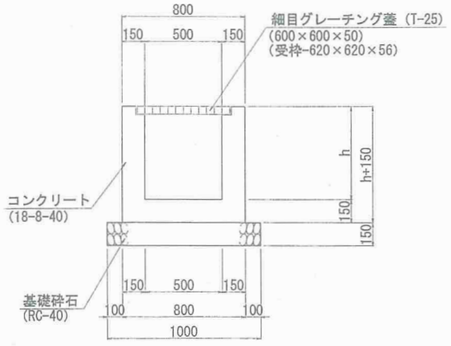
平 面 図



A－A



A－A



集水桝(1)

桝測点	呼び寸法	桝天端高 (m)	h (m)	開口部 ① 種 類 (底 高)	開口部 ② 種 類 (底 高)	開口部 ③ 種 類 (底 高)	開口部 ④ 種 類 (底 高)	摘 要
No. 6+7.65 (右側)	500×500×600	25.070	0.600	管渠工 HPφ300 (24.670) 下流			U型側溝(1) 300×300 (24.670)	
No. 8+8.93 (右側)	500×500×900	25.652	0.900	管渠工 HPφ300 (25.034)			U型側溝(4) 300×700 (24.952) 下流	
No. 15+5.92 (右側)	500×500×500	27.562	0.500		既設側溝 U-200×200 (27.362) 下流		現場打ち側溝 U-200×200 (27.362)	
No. 20+17.84 (右側)	500×500×600	29.623	0.600		U型側溝(1) 300×300 (29.223) 下流			

集水桝(2)

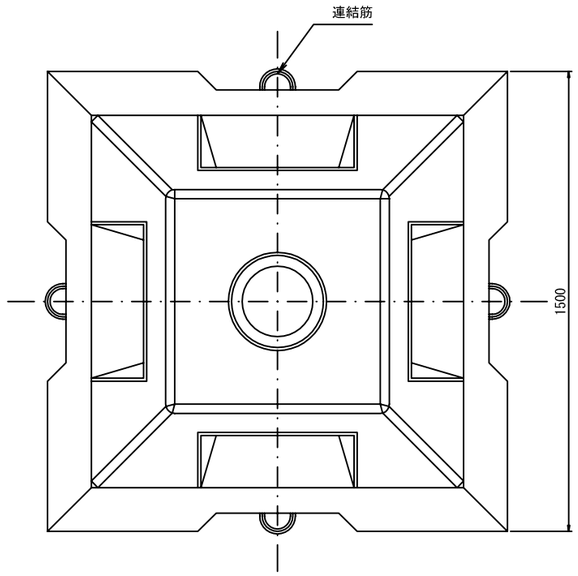
桝測点	呼び寸法	桝天端高 (m)	h (m)	開口部 ① 種 類 (底 高)	開口部 ② 種 類 (底 高)	開口部 ③ 種 類 (底 高)	開口部 ④ 種 類 (底 高)	摘 要
No. 8+5.09 (右側)	500×500×900	25.599	0.900	管渠工 HPφ300 (24.899) 下流			U型側溝(4) 300×700 (24.899)	
No. 15+12.83 (右側)	500×500×500	27.682	0.500		現場打ち側溝 U-200×200 (27.482) 下流		既設側溝 U-200×200 (27.482)	
No. 15+17.14 (右側)	500×500×600	27.758	0.600			既設側溝 U-300×300 (27.358) 下流	U型側溝(1) 300×300 (27.358)	

年 度	平成28年度	事業名	
路線名	主要地方道 岸和田港塔原線		
工事名			
地 名	岸和田市土生町地内		
図面名 縮 尺	道路施設詳細図(2)	1:20	
作 成 年 月	平成 29年 3月	巻 号 全 巻 21	
大阪府岸和田土木事務所		の内 11 号	

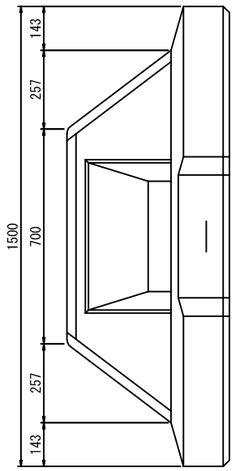
スクエア 製品図

1Ｔ型 1010kg

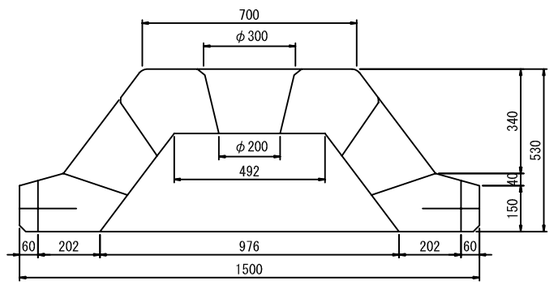
平面図



側面図

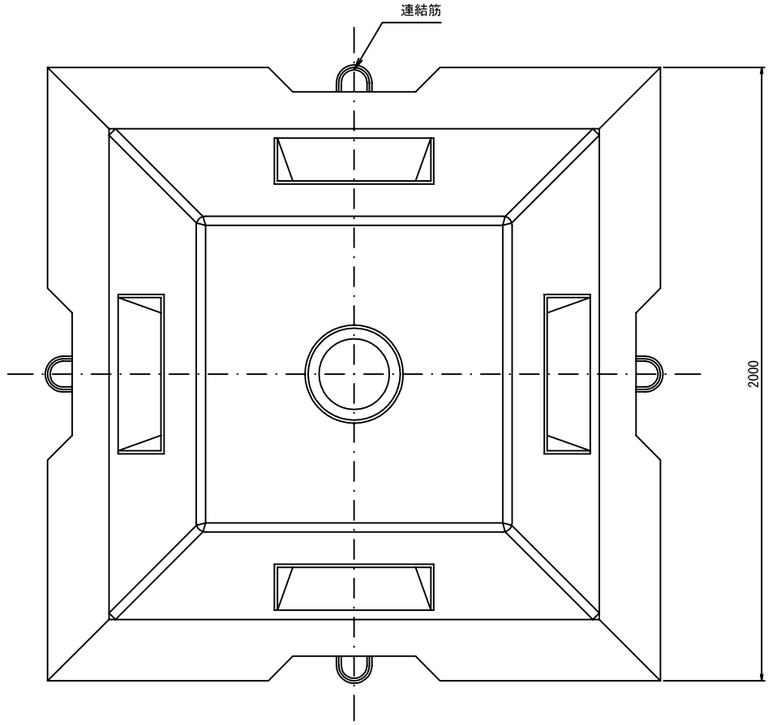


断面図

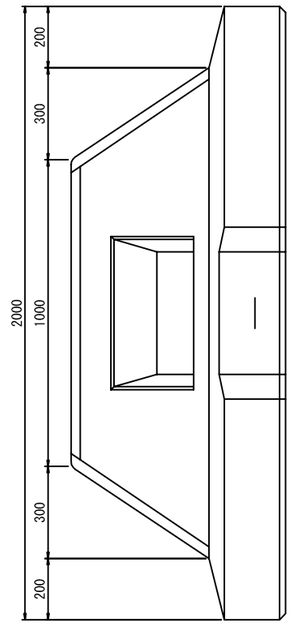


2Ｔ型 2010kg

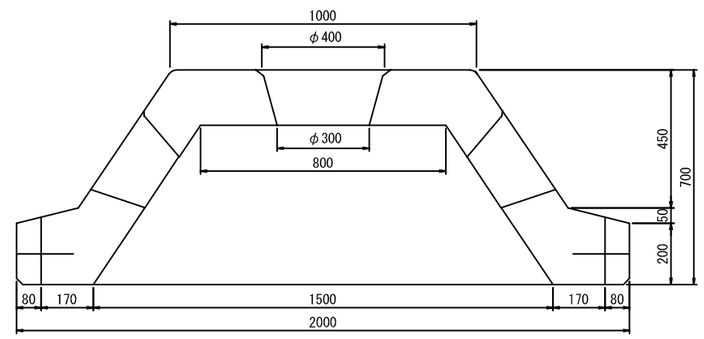
平面図



側面図



断面図



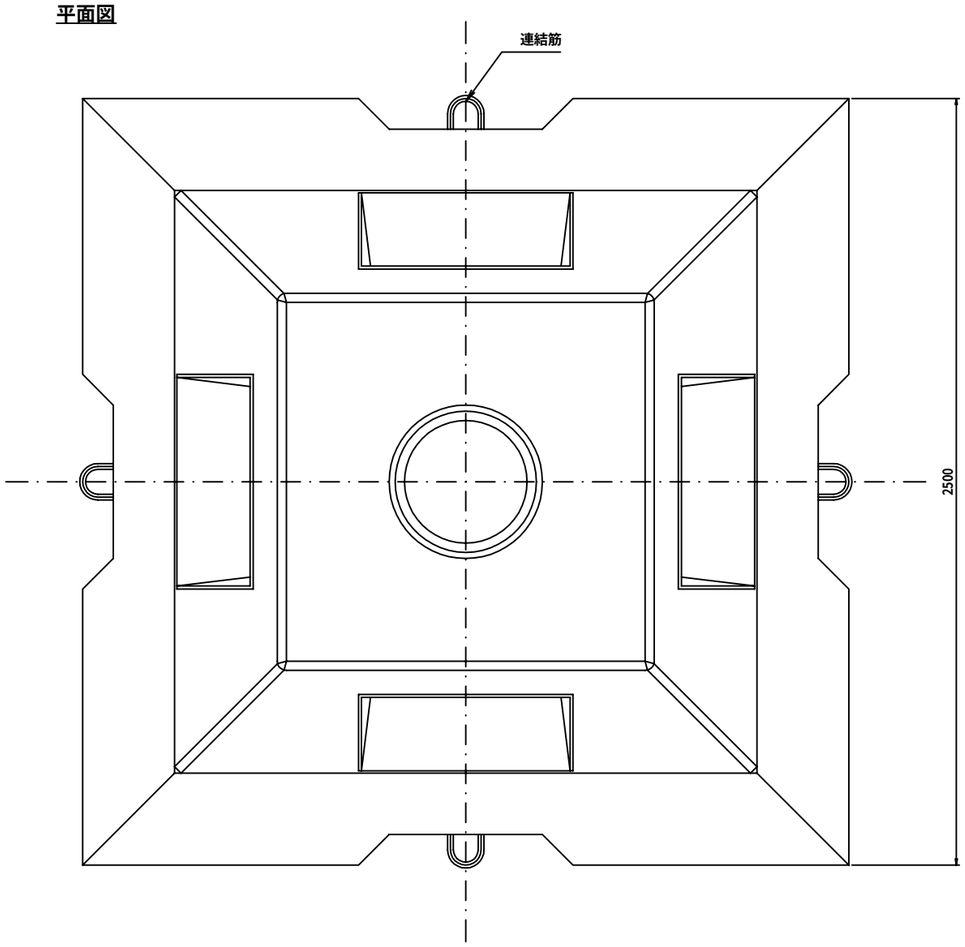
製品名	スクエア １Ｔ型・２Ｔ型		
図面名	製品図		
尺度	1:20		
年月日	2010年1月	図面番号	1
会社名	ランデス株式会社		
提供元	会員ＣＡＤダウンロードサービス		

※予告なく形状変更する場合があります。

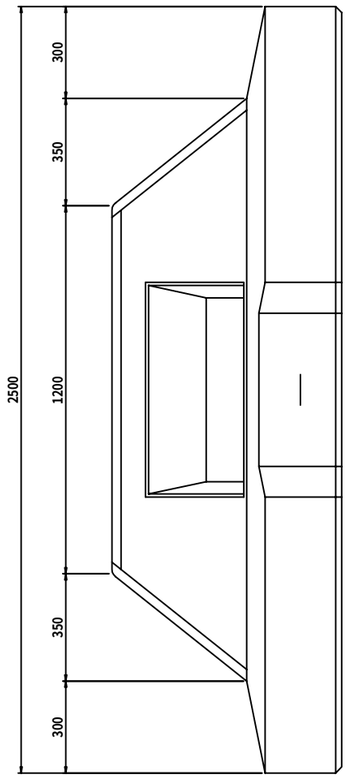
スクエア 製品図

３Ｔ型 3260kg

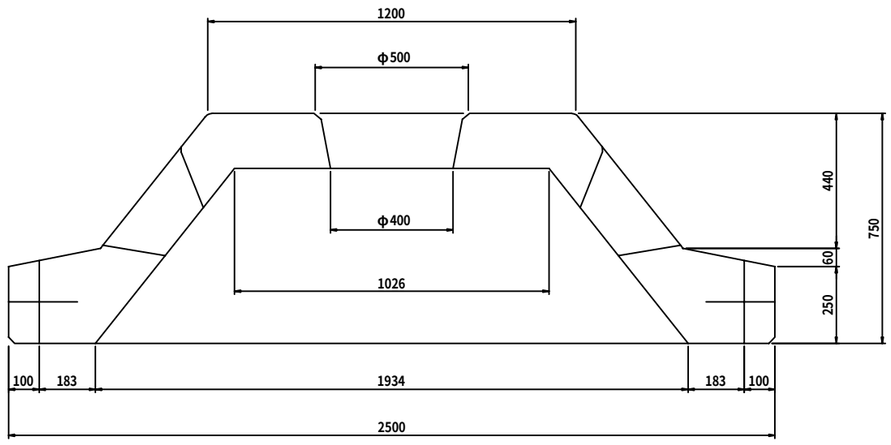
平面図



側面図



断面図



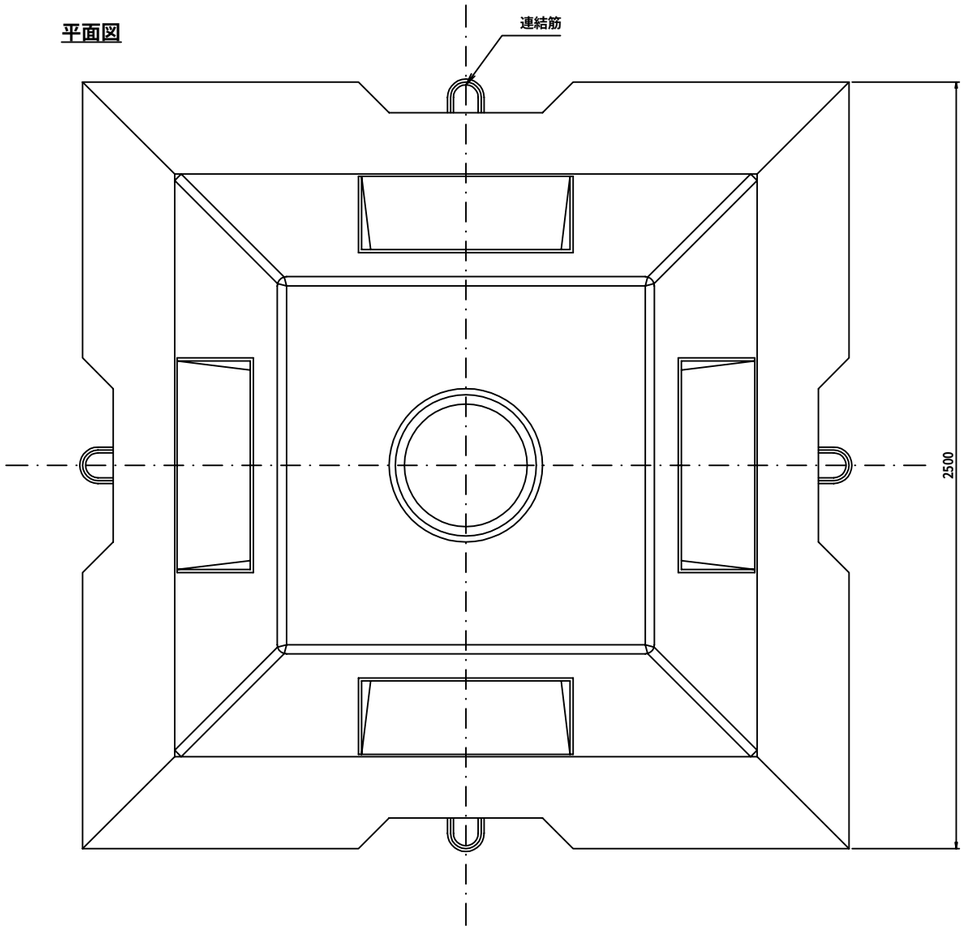
製品名	スクエア ３Ｔ型		
図面名	製品図		
尺度	1:20		
年月日	2010年1月	図面番号	1
会社名	ランデス株式会社		
提供元	会員ＣＡＤダウンロードサービス		

※予告なく形状変更する場合があります。

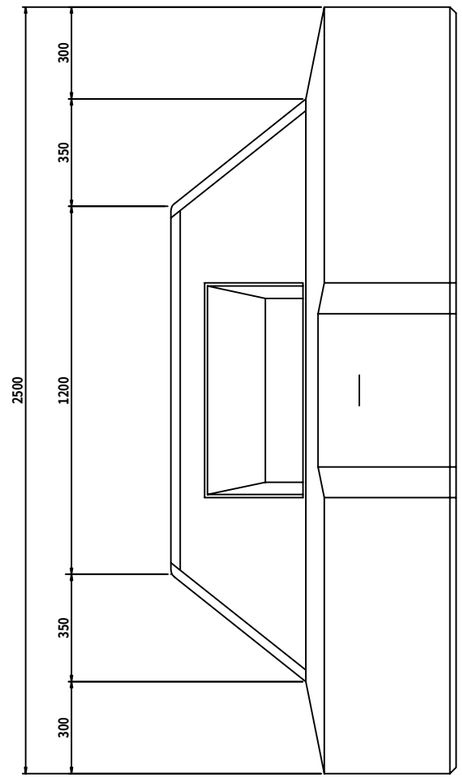
スクエア 製品図

4Ｔ型 4120kg

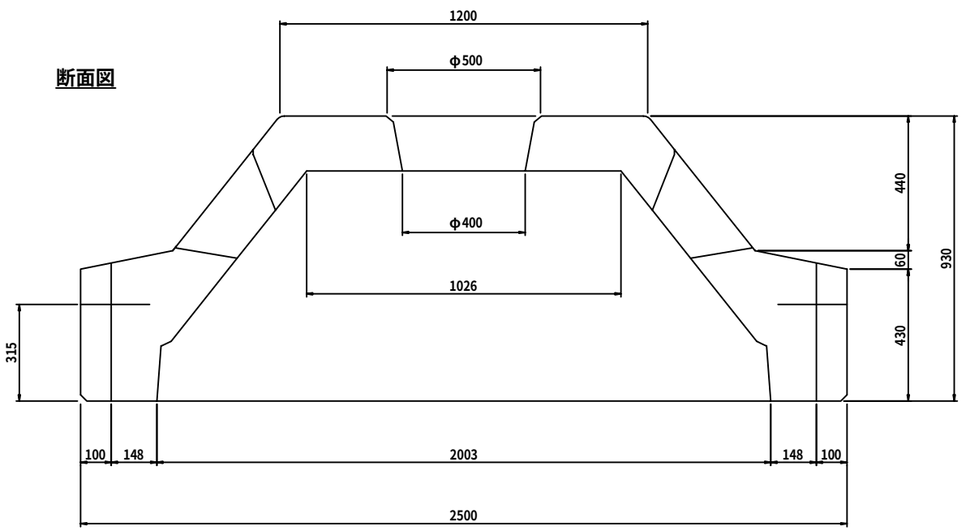
平面図



側面図



断面図



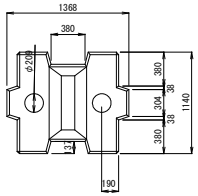
※予告なく形状変更する場合があります。

製品名	スクエア 4Ｔ型		
図面名	製品図		
尺度	1:20		
年月日	2010年1月	図面番号	1
会社名	ランデス株式会社		
提供元	会員ＣＡＤダウンロードサービス		

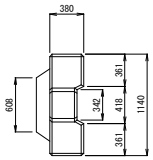
ストーンブロック1t突型　単体図 S=1:30

標 準 型

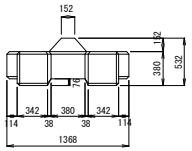
平面図



側面図

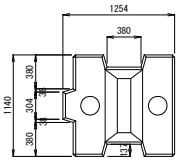


正面図

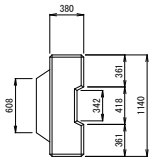


端 部 型

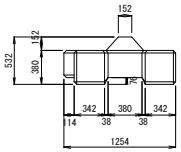
平面図



側面図



正面図

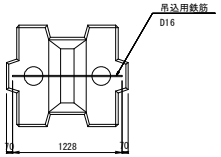


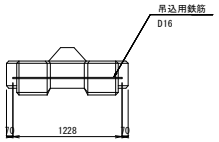
■数量表

規格	種類	質　量（ t ）	ｺﾝｸﾘｰﾄ体積（ m3 ）	型枠面積（ m2 ）	吊筋質量（ kg ）
1t突型	標準型	0.99	0.434	3.90	1.92
	端部型	0.97	0.423	3.82	1.92

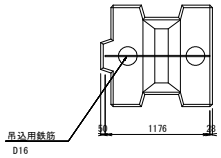
吊込用鉄筋詳細図

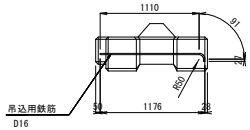
標 準 型





端 部 型





■吊鉄筋数量表

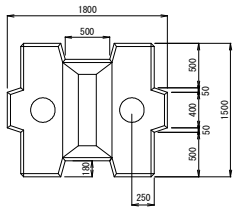
鉄筋の種類	径（ mm ）	鉄筋長（ m ）	単位質量 (kg/m)	質　量（ kg ）
異形	16	1.228	1.56	1.92

年　度		図面番号	/
河川名			
工事名			
所属地名			
図面名	ストーンブロック1t突型　単体図		
縮　尺		作成年月	
大阪府富田林土木事務所			

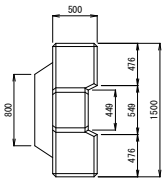
ストーンブロック2t突型　単体図 S=1:30

標 準 型

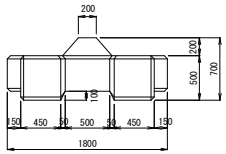
平面図



側面図

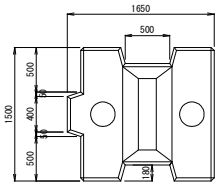


正面図

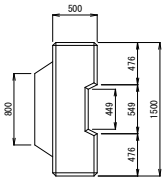


端 部 型

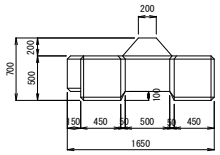
平面図



側面図



正面図

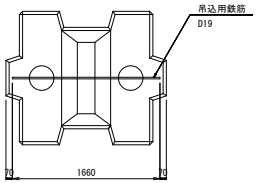


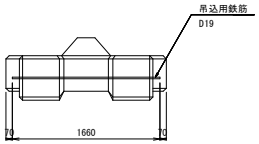
■数量表

規格	種類	質　量（ t ）	ｺﾝｸﾘｰﾄ体積（ m3 ）	型枠面積（ m2 ）	吊筋質量（ kg ）
2t突型	標準型	2.24	0.977	7.01	3.74
	端部型	2.18	0.950	6.86	3.74

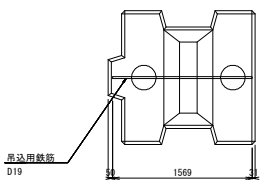
吊込用鉄筋詳細図

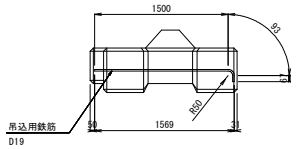
標 準 型





端 部 型





■吊鉄筋数量表

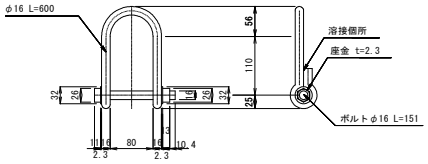
鉄筋の種類	径（ mm ）	鉄筋長（ m ）	単位質量 (kg/m)	質　量（ kg ）
異形	19	1.660	2.25	3.74

年　度		図面番号	/
河川名			
工事名			
所属地名			
図面名	ストーンブロック2t突型　単体図		
縮　尺	S=1:30	作成年月	
大阪府富田林土木事務所			

ストーンブロック用連結金具詳細図　φ16

※突型・平型とも連結方法は同じです
※端部型は挿入鉄筋の本数は3本となります

●連結金具詳細図　S=1:5

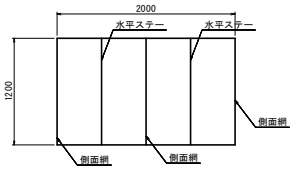


工事名			
図面名	ストーンブロック 用連結金具詳細図φ16		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	/
会社名			
事業者名	大阪府富田林土木事務所		

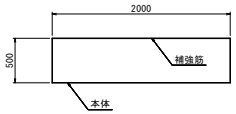
ハーパーマットKM型 単体図

S=1:30

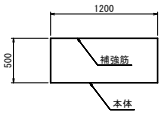
平面図



正面図



側面図

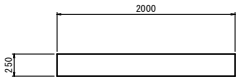


部材規格　　単位mm

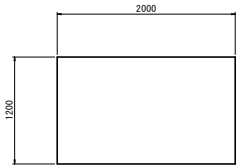
部材名	線径(網目)	仕様
本体・側面網	φ5×100×150	亜鉛アルミ合金先めっき溶接金網 付着量300g/m2以上 アルミ含有量10%以上
上蓋	φ5×100×150	
補強筋	φ6	亜鉛アルミ合金先めっき鉄線 付着量300g/m2以上 アルミ含有量10%以上
ステー	φ6	
コイル	φ5 L=500mm	

※本体と側壁網および蓋の連結はコイルで行う
※ステーでゆがみを防止する

中下段用蓋平面図



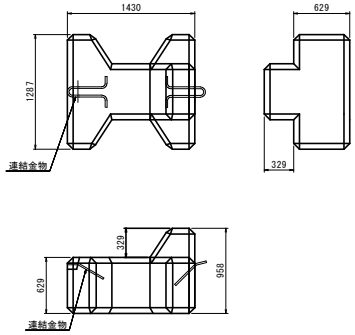
上段用蓋平面図



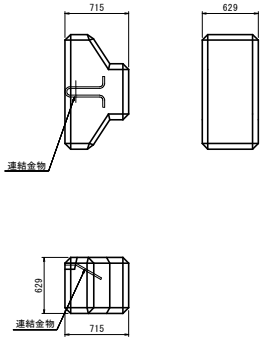
アクモン（十字平型・下半型）

S=1:30

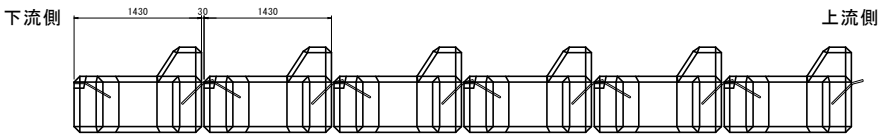
十字平型



下半型



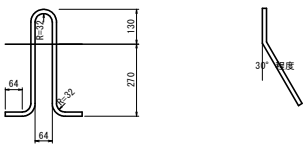
断面図



アクモン（連結金具）

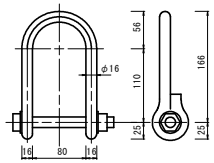
U2金具
Φ16、L=990mm、W=1.565kg

S=1:10



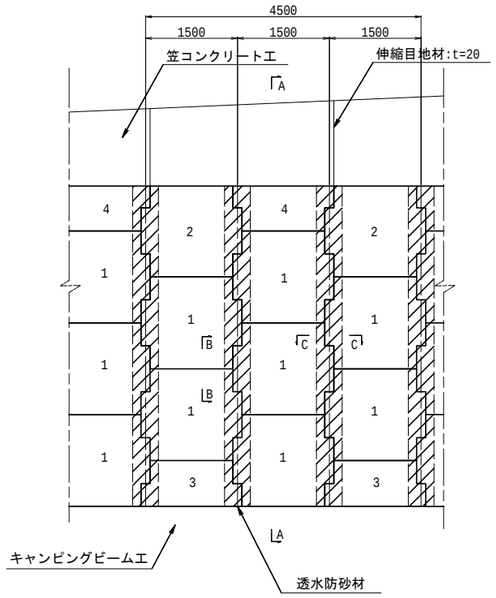
シャックル
Φ16

S=1:4

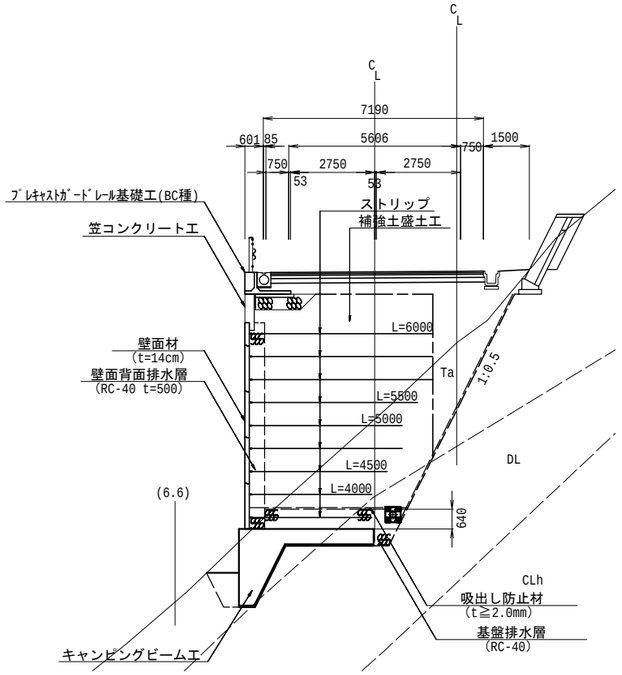


2号帯鋼補強土壁工構造図（1）

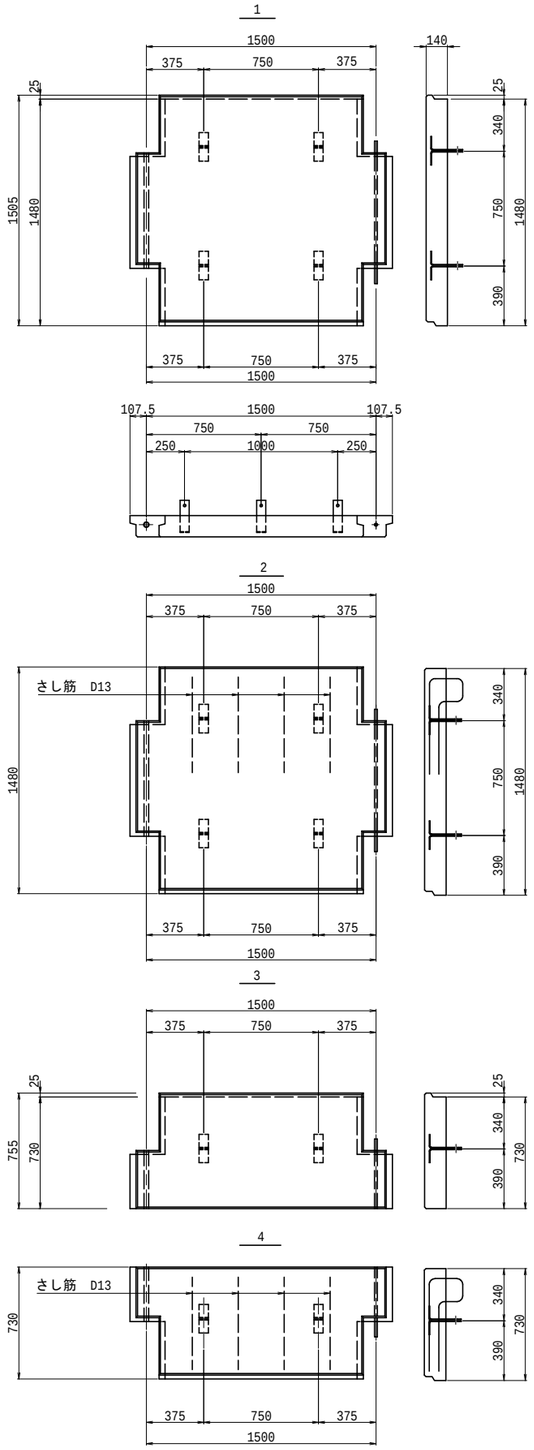
スキン組合せ一般図 S=1:50



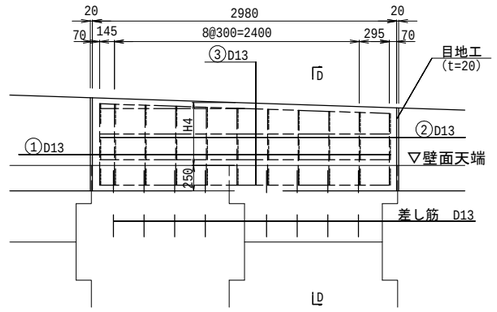
A-A断面図 S=1:100



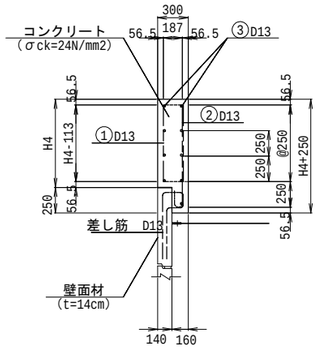
標準スキンタイプ S=1:20



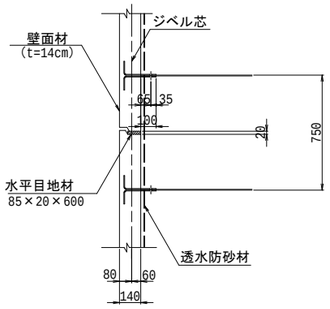
笠コンクリート工配筋図（背面）S=1:30



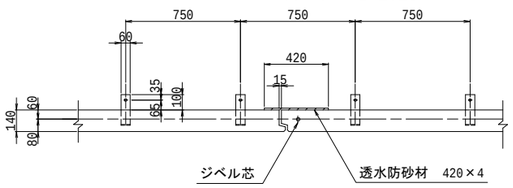
D-D断面図



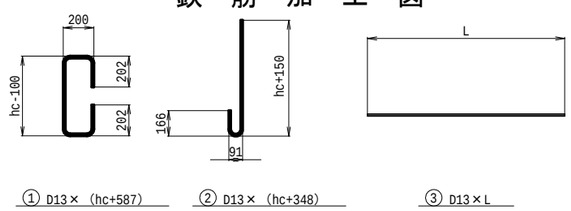
B-B断面図 S=1:20



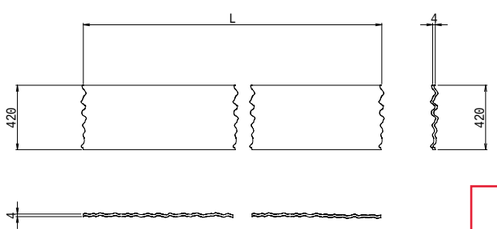
C-C断面図 S=1:20



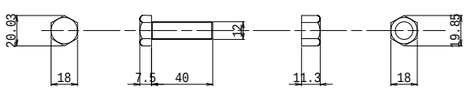
鉄 筋 加 工 図



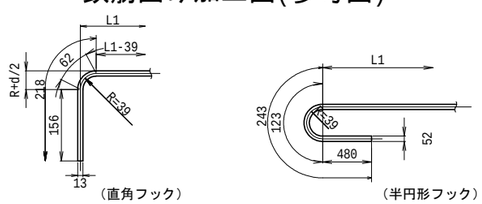
透水防砂材 S=1:20



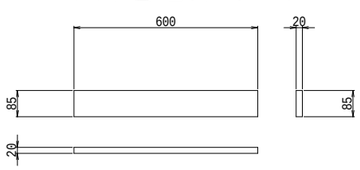
ボルト・ナット（M12×40）S=1:2



鉄筋曲げ加工図(参考図)

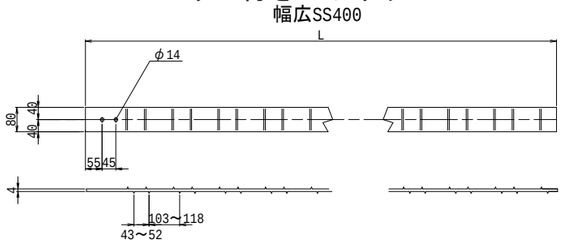


水平目地材 S=1:10



リブ付きストリップ S=1:10

幅広SS400

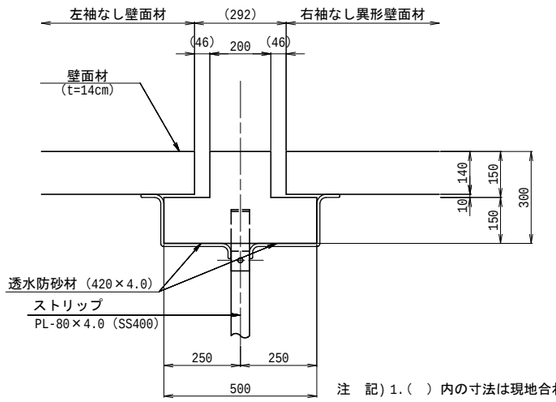


補強土壁詳細設計

平成 28 年度	図面番号	16 / 27	
河川路線名	安威川ダム左岸道路		
工事名	安威川ダム左岸道路詳細設計委託		
施工地名	茨木市大字生保地内 外		
図面名	2号帯鋼補強土壁工 構造図 (1)	縮尺	図示
大阪府安威川ダム建設事務所			

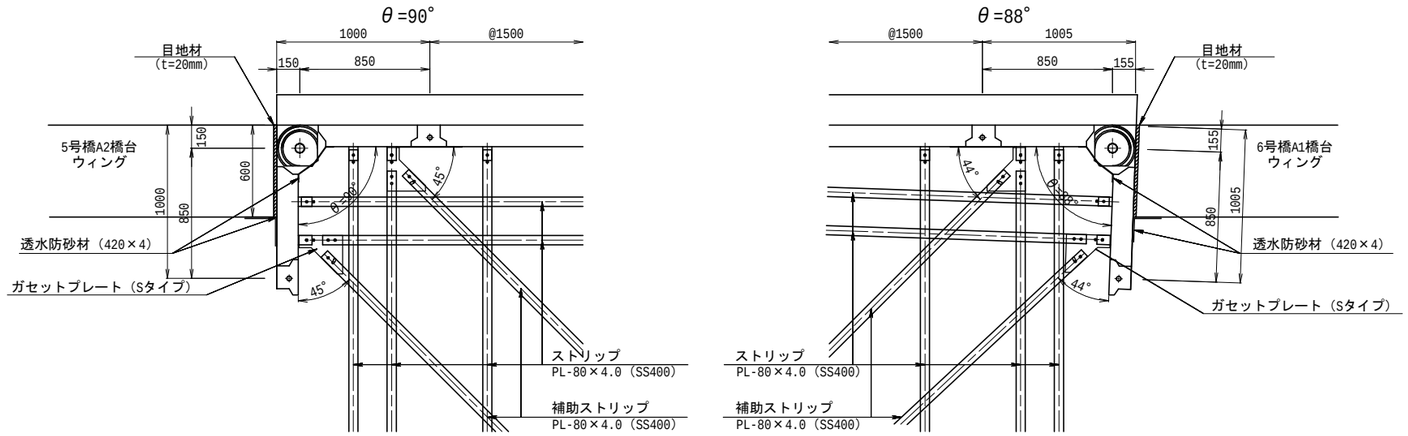
2号帯鋼補強土壁工構造図（2）

鉛直目地材用壁面材詳細図 S=1:10

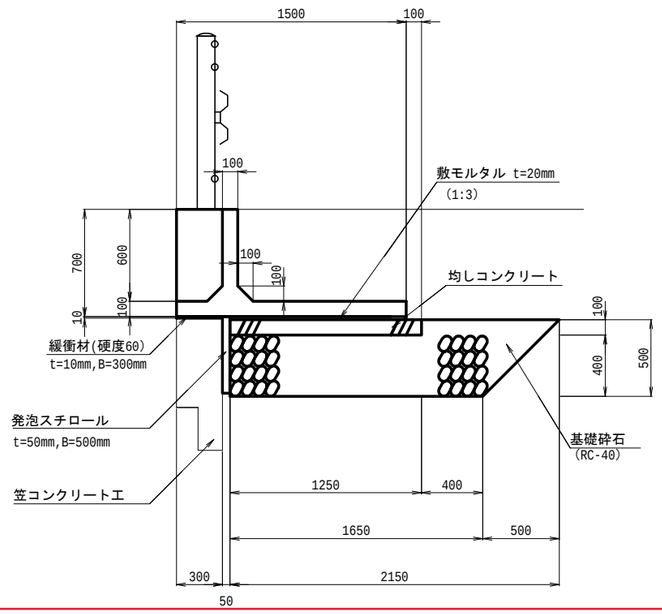


注　記）1.（　）内の寸法は現地合わせとする。

コーナー壁面材詳細図 S=1:20

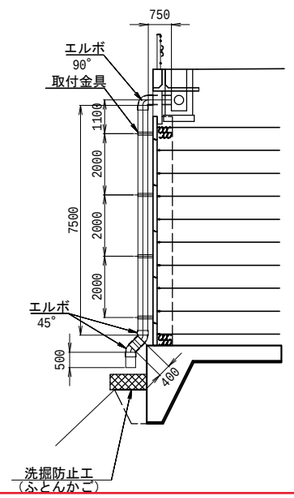


プレキャストガードレール基礎工詳細図 S=1:20

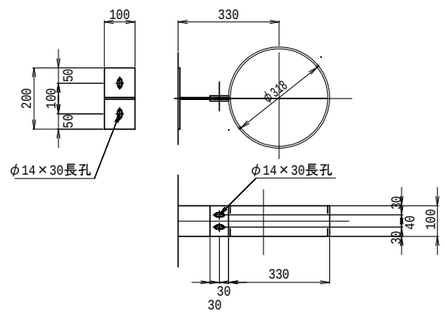


縦排水工詳細図

断面図 S=1:100



取付金具部材図 S=1:10



1-FB 100×6×1138	5.36 kg
1-FB 100×6×165	0.78 kg
2-BN M12×40	0.15 kg
1-FB 100×6×200	0.94 kg
2-ホールインボルト(HB12)	0.32 kg
ΣW=	7.55 kg

寸法・材料表　　防護柵種別 B,C種

材料表（10m当り）							
ブロック長	基礎ブロック（本）	均しコンクリート（m3）	均しコンクリート型枠（m2）	基礎砕石（m3）	緩衝材（m2）	発泡スチロール（m3）	レキ青繊維質板（m2）
		σck=18N/mm2		RC-40	t=10mm,B=300mm	t=50mm,B=500mm	t=10mm
2000	5.0	1.25	1.00	8.25	3.00	0.25	0.22

数　量　表　　1式当り

名　称	規　格	単位	縦排水管	摘　要
直管	VPφ300	m	9.2	0.75+7.50+0.40+0.50
90° エルボ	VPφ300用	個	1	
45° エルボ	〃	個	2	
取付金具	〃	kg	30.2	4箇所
ふとんかご	高50cm×幅120cm	m	2.0	

＊鋼材には全て亜鉛メッキHDZ55を施す

補強土壁詳細設計

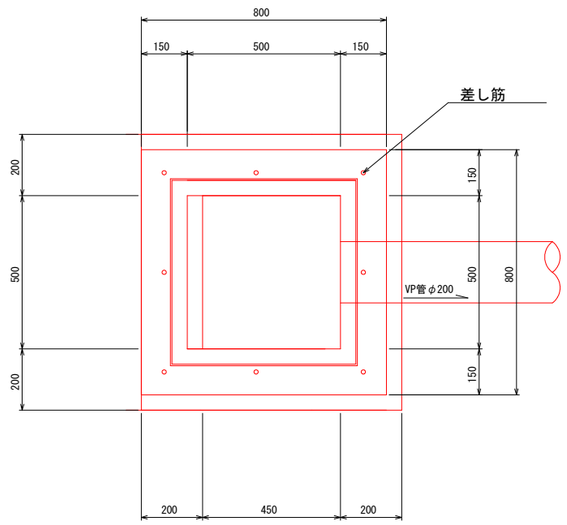
平成 28 年度	図面番号	17 / 27	
河川路線名	安威川ダム左岸道路		
工事名	安威川ダム左岸道路詳細設計委託		
施工地名	茨木市大字生保地内　外		
図面名	2号帯鋼補強土壁工構造図（2）	縮尺	図示
大阪府安威川ダム建設事務所			

グレーチング蓋　参考図

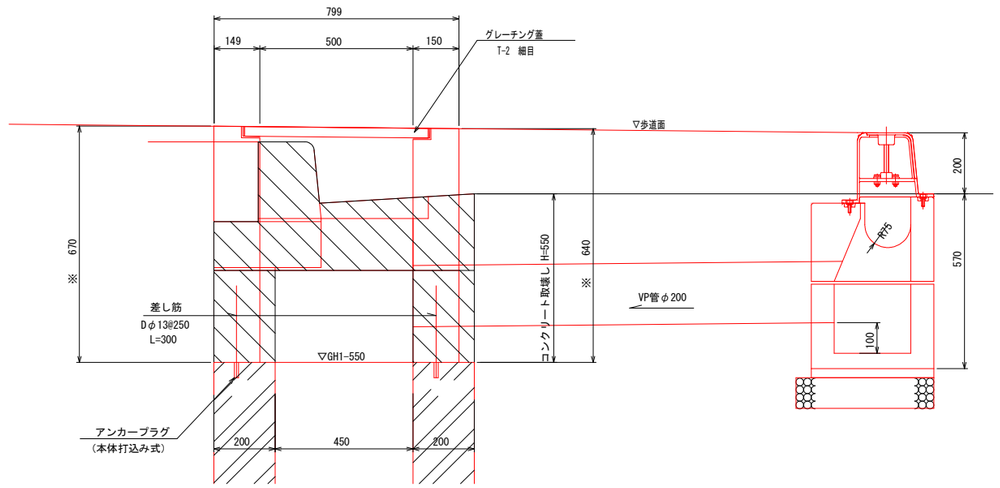
嵩上げ桝用グレーチング蓋

500×500(T-2)細目

平面図



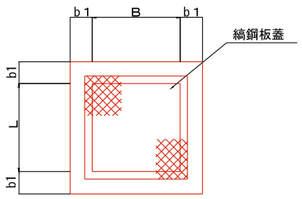
側面図　(参考)



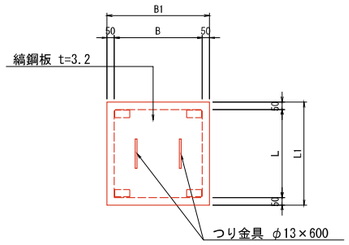
※は参考値(現況及び計画より確認)

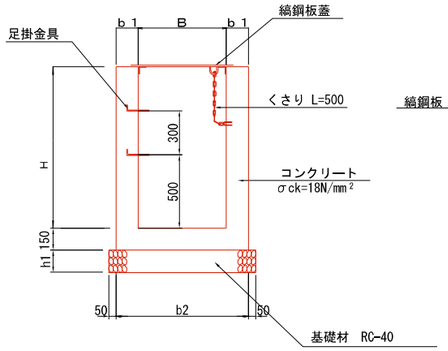
排水工構造図(8) S=1:20

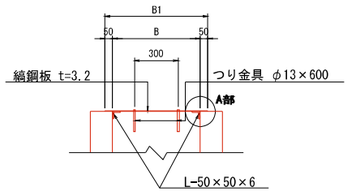
集 水 桝
G2 型



縞 鋼 板



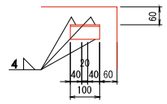




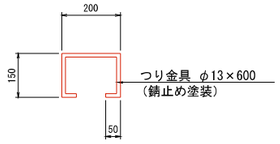
縞鋼板蓋寸法表

記号（L－B）	B	L	B1	L1
G2-B500-L500-H	500	500	600	600
G2-B800-L800-H	800	800	900	900

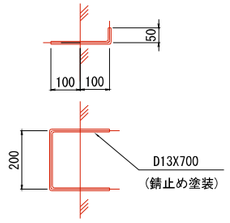
A部詳細図 S=1:10



つり金具 S=1:10



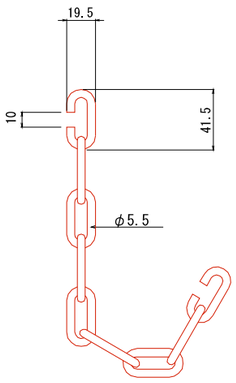
足掛金具 S=1:10

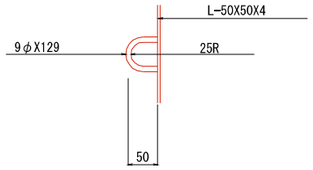


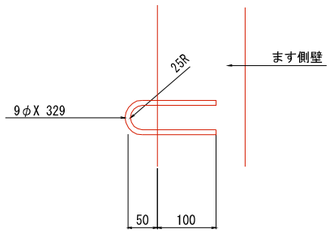
H=1.0m以上に使用

く さ り の 詳 細 図 S=1:5

S=1:2



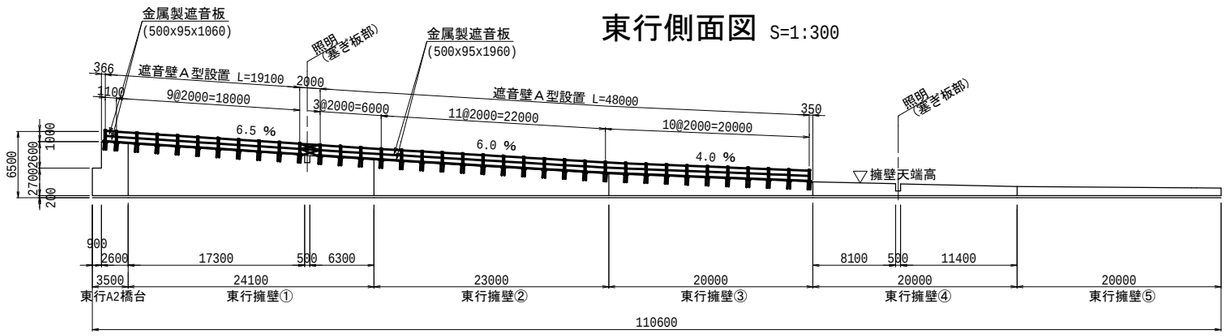




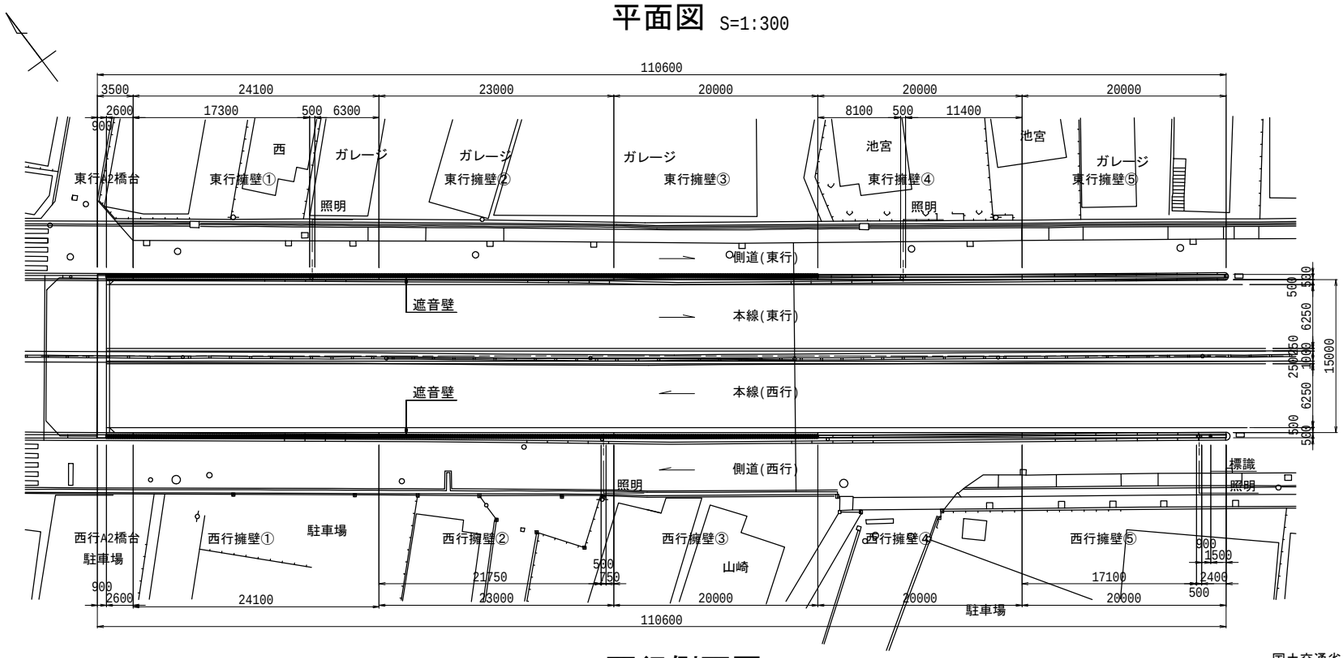
年 度	平成29年度	番 号	79 / 133
路 線 名	安威川ダム左岸道路		
工 事 名	安威川ダム 左岸道路詳細設計委託		
工事場所	茨木市大字生保地内 外		
図 面 名	排水工構造図(8)		
縮 尺	1:20	作成年月	平成 30年 3月
大阪府安威川ダム建設事務所			

補修図【遮音壁設置工】

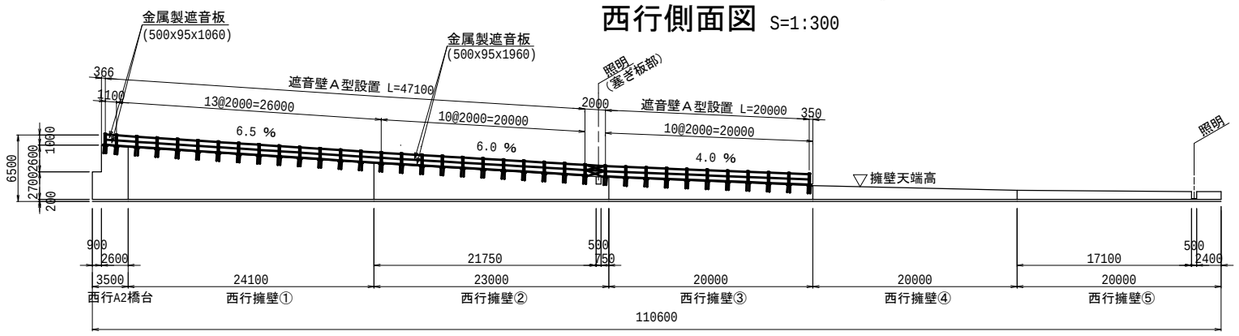
東行側面図 S=1:300



平面図 S=1:300



西行側面図 S=1:300



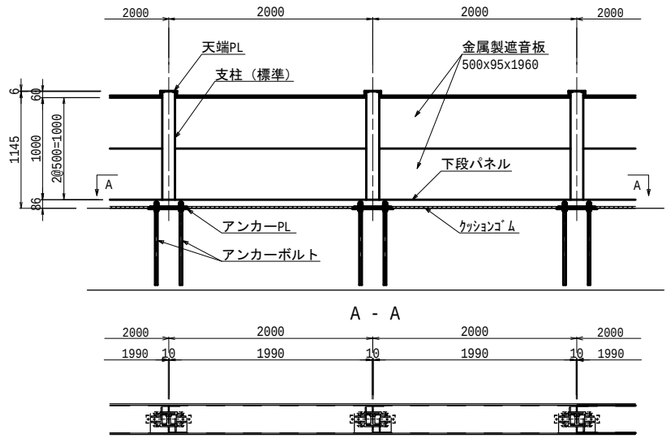
遮音壁設置工

(1橋当り)

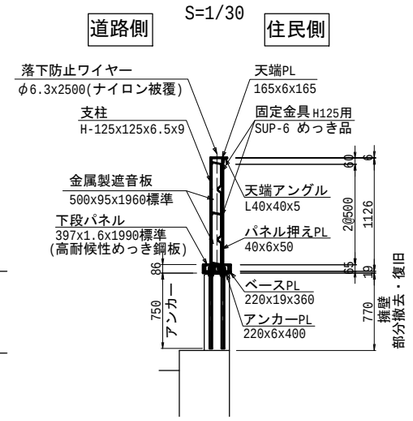
名　称	仕様・寸法	単位	数　量	備　考
設置延長		m	134.2	
遮音板設置工	2-500x95x1960 (標準)	枚	132	
		m2	129.4	
	2-500x95x1060 (端尺)	枚	4	
		m2	2.1	

遮音壁Ａ型(H=1.0m)構造図

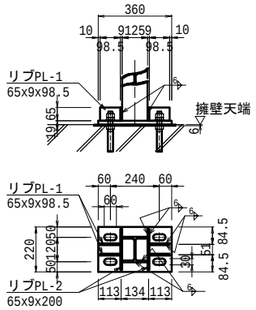
正 面 図
S=1/30



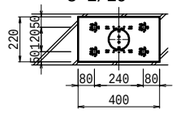
断 面 図
S=1/30



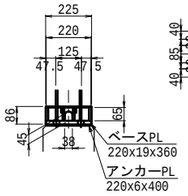
ベースPL(標準支柱)
S=1/15



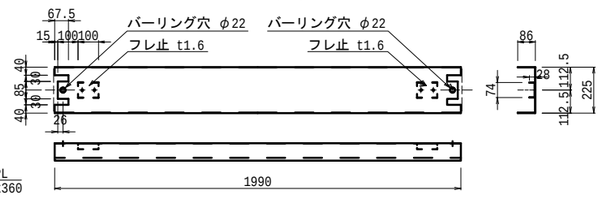
アンカーPL(標準支柱)
S=1/15



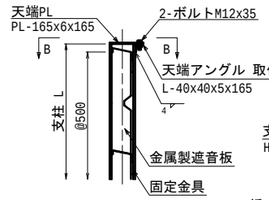
下段取付詳細図
S=1/15



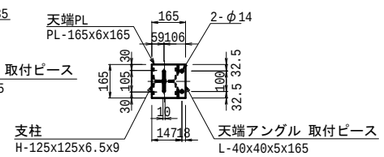
下段パネル詳細図 S=1/15



支柱頭部詳細図
S=1/15



B - B



国土交通省　遮音壁Ａ型(H=1.0m)　(1橋当り)

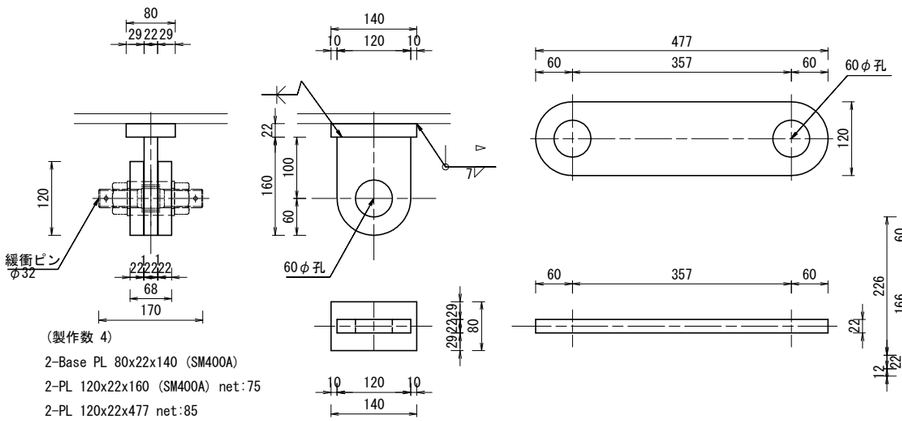
部材名称	種類	規格寸法	長さ	数量	単位質量	質量	材質・表面処理
支柱	H	125×125×6.5×9	1126	72	23.6 kg/m	1913.3	SS400 HDZ-55
						1913.3 kg	
支柱取付部	PL	220× 19	360	72	149.2 kg/m2	850.8	SS400 HDZ-55
	〃	220× 6	400	72	47.1 kg/m2	298.4	〃
	〃	65× 9	98.5	288	70.65 kg/m2	130.3	〃
	〃	65× 9	200	144	70.65 kg/m2	132.3	〃
	ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	D25 (ネジ部M22)	810	288	3.98 kg/m	928.5	SD345 HDZ-35
	ナット	M22 ﾄﾘﾌﾟﾙﾅｯﾄ	-	288	0.256 kg/組	73.7	SS400 HDZ-35
						2414.0 kg	
下段パネル	PL	397× 1.6(標準)	1990	66	12.56 kg/m2	654.9	高耐候性めっき鋼板
	〃	397× 1.6(端尺)	1090	2	12.56 kg/m2	10.9	〃
	〃	397× 1.6	100	136	12.56 kg/m2	22.2	〃
						688.0 kg	
支柱頭部	PL	165× 6	165	72	47.1 kg/m2	92.3	SS400 HDZ-55
	L	40× 40×5	165	72	2.95 kg/m	35.0	〃
	BN	M12	35	144	0.073 kg/組	10.5	SS400 HDZ-35
						137.8 kg	
遮音板	金属板	500× 95(標準)	1960	132	30 kg/m2	3880.8	アイボルト付き,勾配用
	〃	500× 95(端尺)	1060	4	30 kg/m2	63.6	〃
	固定金具	H-125用	-	272			SUP-6 めっき品
						3944.4 kg	
落下防止ﾜｲﾔｰ		φ6.3 6x19G/O	2500	72			黒ナイロン被覆
ｸｯｼｮﾝｺﾞﾑ	ゴム板	150× 20(標準)	1675	66			
		150× 20(端尺)	775	2			

注）1.施工時においては、現地詳細調査を行い図面と照合のこと。
2.土木工事標準設計図集(A型)をベースに作成。アンカー筋の長さ等は遮音壁タイプに合わせて変更のこと。
3.遮音壁アンカー筋と壁高欄主筋が重ならないように支柱位置を決定すること。
4.鋼材の表面仕上げは溶融亜鉛メッキとし、JIS H8641 HDZ55とする。
5.ボルト・ナット及び座金の表面仕上げは溶融亜鉛メッキとし、JIS H8641 HDZ55とする。

年度		図面番号	／
路線名			
工事名			
所属地名			
図面名	補修図【遮音壁設置工】		
縮尺	図示	作成年月日	R1.5
事務所名	大阪府 岸和田土木事務所		

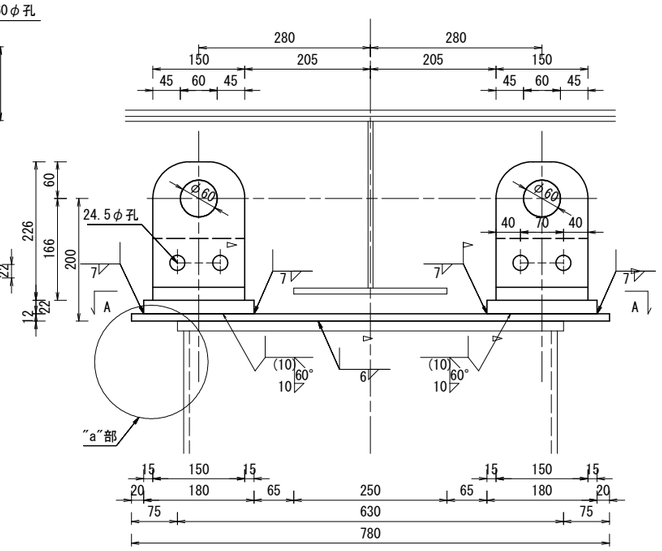
江の木歩道橋　落橋防止構造（その２）S=1:5

落橋防止装置 type-A



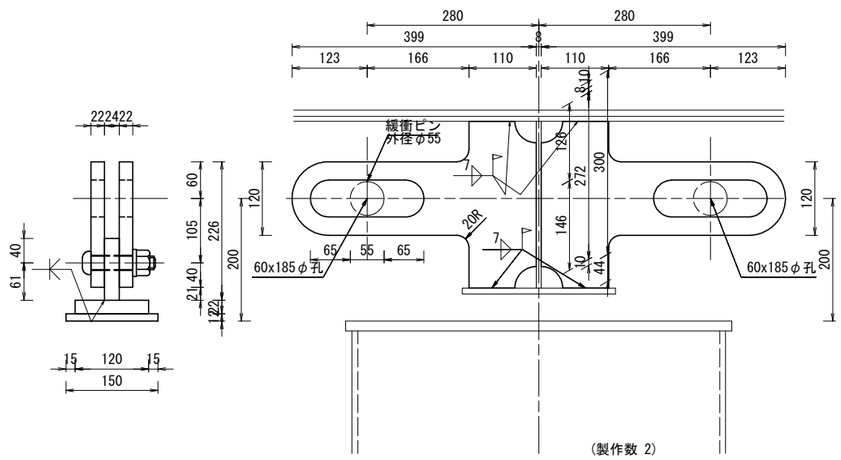
(製作数 4)
2-Base PL 80x22x140 (SM400A)
2-PL 120x22x160 (SM400A) net:75
2-PL 120x22x477 net:85

脚付ブラケット

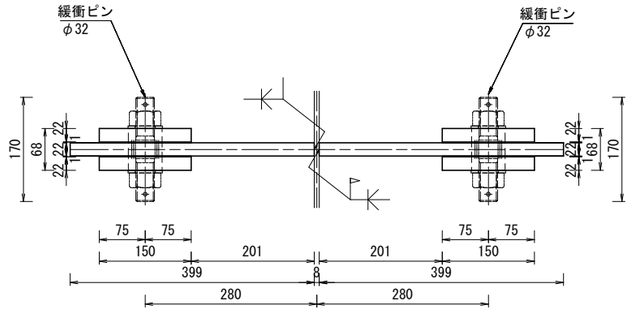


落橋防止装置 type-B

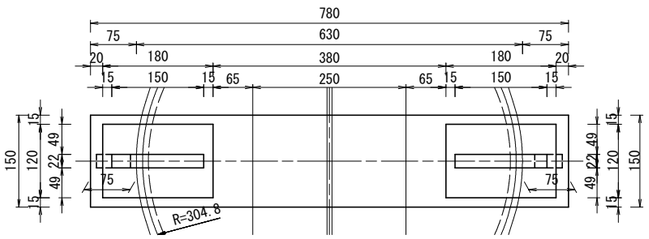
桁付ブラケット



(製作数 2)
2-PL 272x22x399 (SM400A) net:50

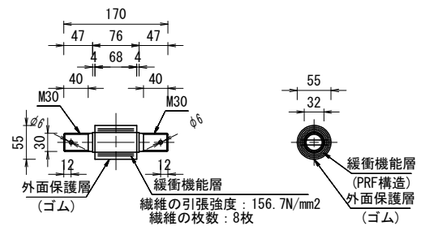


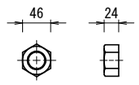
A － A



緩衝ピン詳細

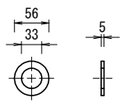
φ32 (製作数 12)



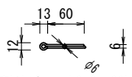


2-ナット(一種) M30 (SS400)

1-緩衝ピン φ32×170L(S45CN)

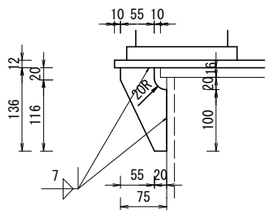


2-ワッシャー M30 (SS400)



2-割りピン φ6.3×60L(SUS304)

"a"部詳細



(製作数 2)
1-PL 150x12x780 (SM400A)
2-Base PL 120x22x180 (SM400A)
4-PL 150x22x205 (SM400A) net:85
2-PL 150x24x101(SM400A) net:95
2-PL 75x22x136 (SM400A) net:65
4-TCB M22x105(S10T)

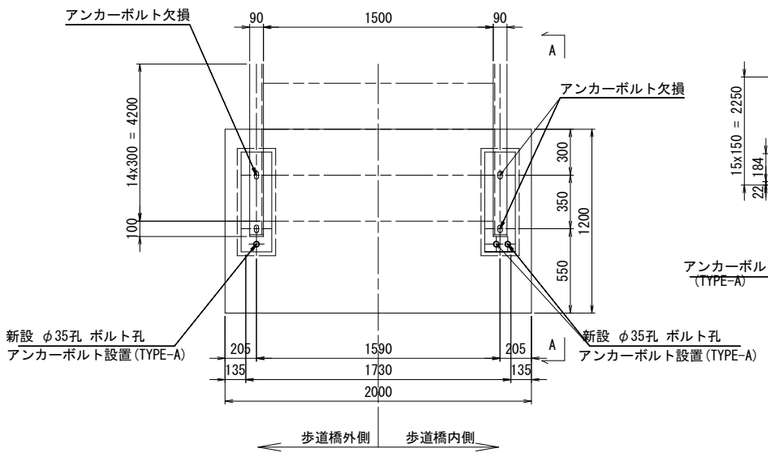
注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
3. 寸法のない開先溶接の表示のある箇所は、完全溶込み溶接(FP)を用いること。
   部分溶込み溶接(PP)のルート間隔は全て0mmとする。
4. 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
   寸法を変更する場合は、必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
5. 緩衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
   寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
   なお、ピン本体と緩衝部は加硫接着したものを使用すること。
6. 緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
   寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。

平成 29 年度	図面番号	5 / 13	
事 業 名	一般国道４２３号 江の木歩道橋耐震補強設計委託		
路 線 名	一般国道４２３号		
工 事 名			
施工地名	吹田市江の木町地内		
図 面 名	落橋防止構造（その2）	縮尺	1:5
大阪府茨木土木事務所			

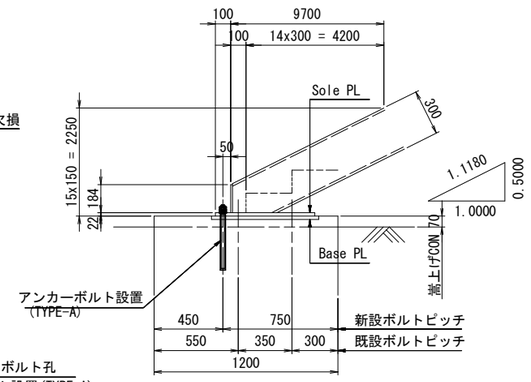
江の木歩道橋　階段部支承補強工　S=1:20

A1,A2 階段部

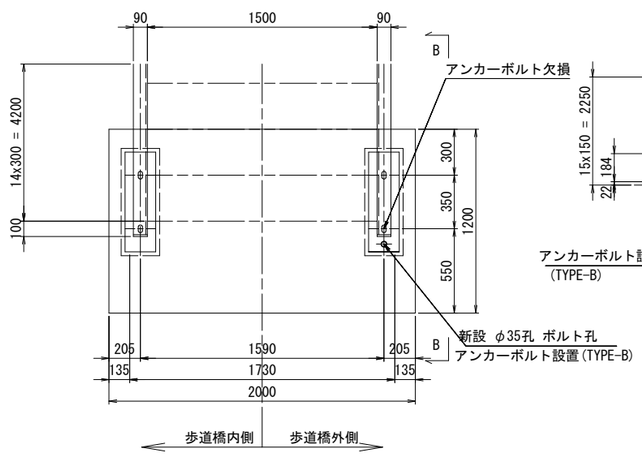
A1



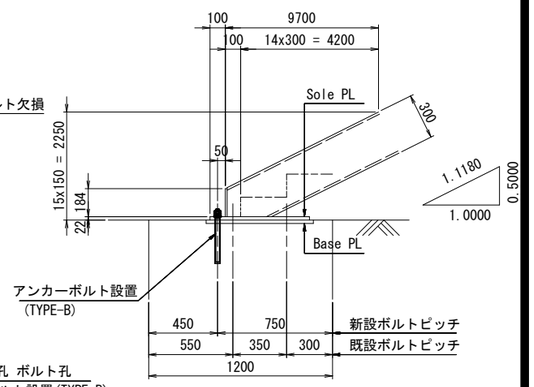
A － A



A2

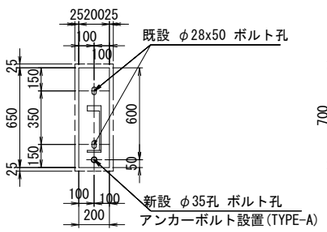


B － B

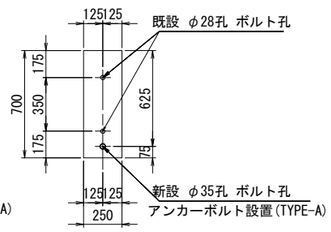


A1　左側

Sole PL 詳細

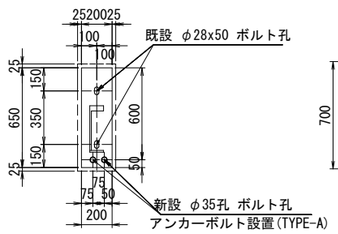


Base PL 詳細

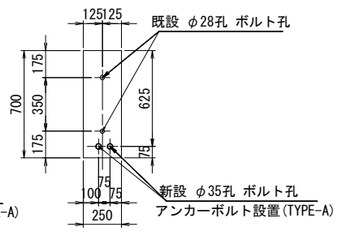


A1　右側

Sole PL 詳細

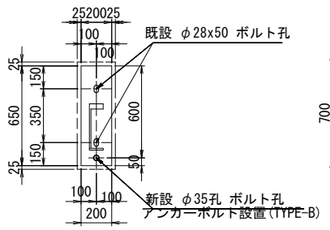


Base PL 詳細

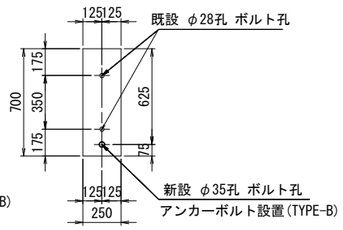


A2　右側

Sole PL 詳細

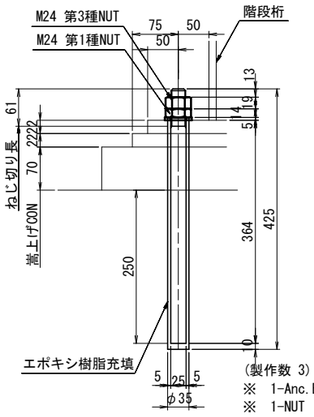


Base PL 詳細



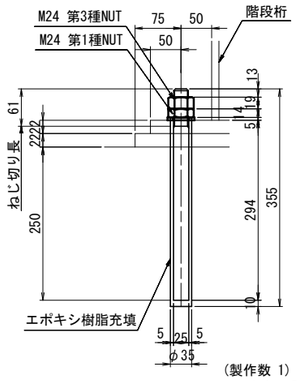
アンカーボルト詳細　S=1:5

TYPE-A



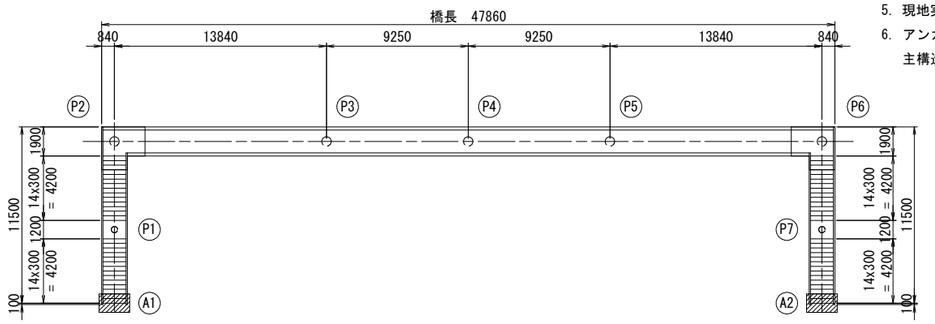
(製作数 3)
※ 1-Anc.Bolt D25 x 415 (SD345)
※ 1-NUT M24 (第1種) (SS400)
※ 1-NUT M24 (第3種) (SS400)
※ 1-座金 M24 (SS400)

TYPE-B



(製作数 1)
※ 1-Anc.Bolt D25 x 345 (SD345)
※ 1-NUT M24 (第1種) (SS400)
※ 1-NUT M24 (第3種) (SS400)
※ 1-座金 M24 (SS400)

配置図　S=1:200



注記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
3. 寸法のない開先溶接の表示のある箇所は、完全溶込み溶接(FP)を用いること。
   部分溶込み溶接(PP)のルート間隔は全て0mmとする。
4. ※印付の鋼材は全て溶融亜鉛メッキ処理を施す。
   亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55 とする。
   但し、ボルト、ナットの付着量は JIS H8641 HDZ35 とする。
5. 現地実測を行い、図面に反映すること。
6. アンカーボルトは、嵩上げコンクリート高さを確認の上、
   主構造であるフーチングから10D以上を確保すること。

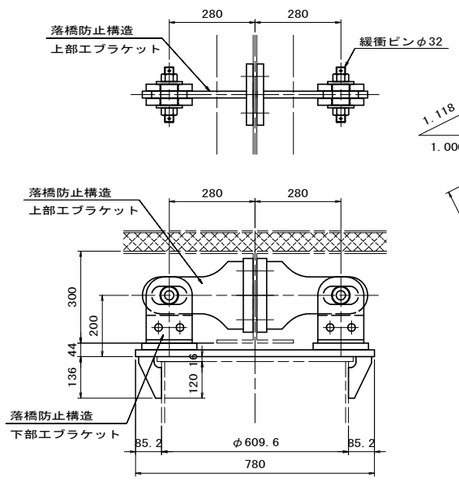
平成 29 年度	図面番号	6 / 13	
事業名	一般国道４２３号 江の木歩道橋耐震補強設計委託		
路線名	一般国道４２３号		
工事名			
施工地名	吹田市江の木町地内		
図面名	階段部支承補強工	縮尺	1:20
大阪府茨木土木事務所			

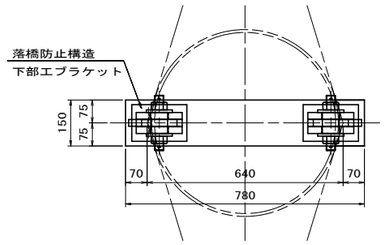
落橋防止システム詳細図（その1） S=1:10

P2, P6橋脚部

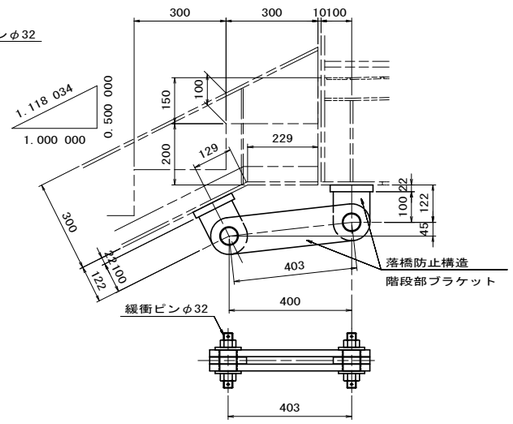
落橋防止構造

通路部



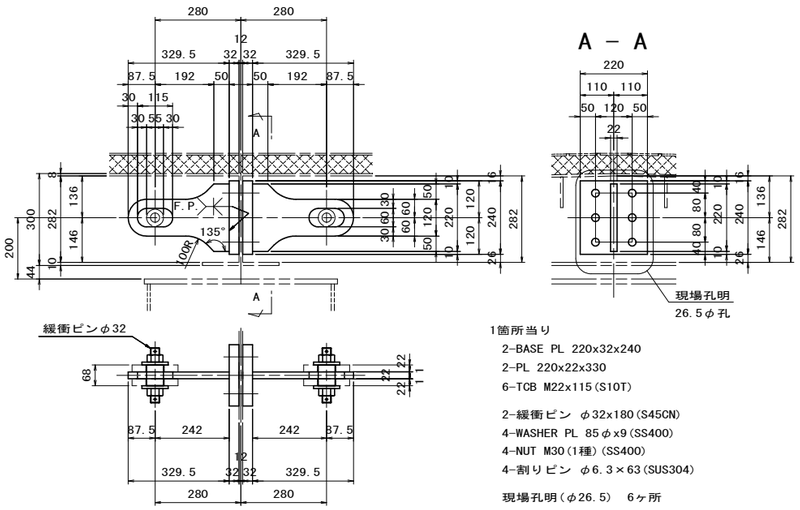


階段部



上部エブラケット

（製作数：各1）



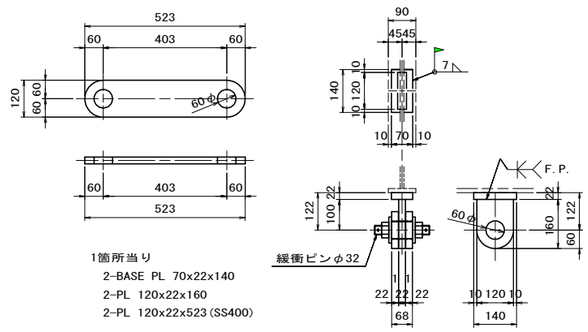
1箇所当り
2-BASE PL 220x32x240
2-PL 220x22x330
6-TCB M22x115(S10T)

2-緩衝ピン φ32x180(S45CN)
4-WASHER PL 85φx9(SS400)
4-NUT M30(1種)(SS400)
4-割りピン φ6.3×63(SUS304)

現場孔明(φ26.5) 6ヶ所

階段部ブラケット

（製作数：各2）

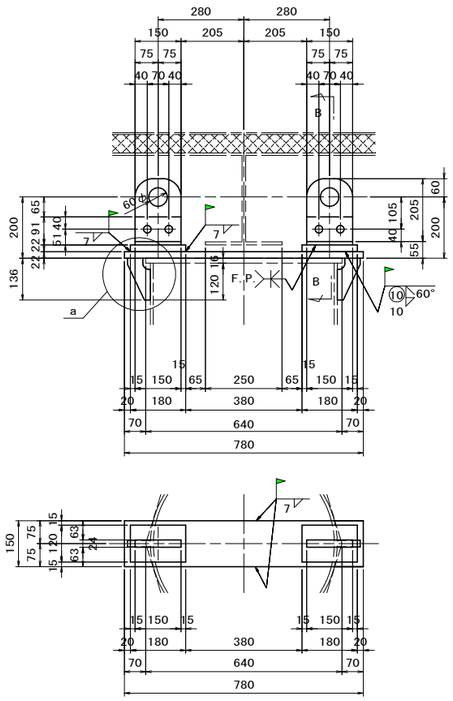


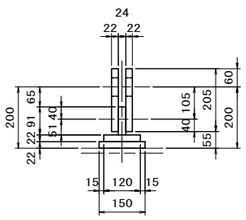
1箇所当り
2-BASE PL 70x22x140
2-PL 120x22x160
2-PL 120x22x523(SS400)

2-緩衝ピン φ32x180(S45CN)
4-WASHER PL 85φx9(SS400)
4-NUT M30(1種)(SS400)
4-割りピン φ6.3×63(SUS304)

下部エブラケット

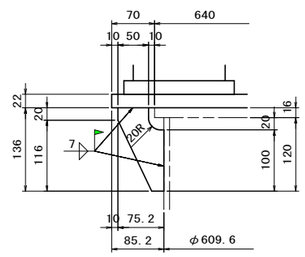
（製作数：各1）



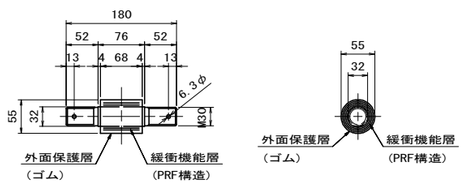


1箇所当り
1-PL 150x22x780
2-BASE PL 120x22x180
4-PL 150x22x205(SS400)
2-PL 150x24x 91
2-PL 75x22x136
4-TCB M22x105(S10T)

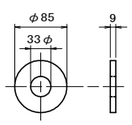
a部詳細 S=1:5



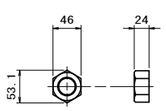
緩衝ピン詳細 S=1:5



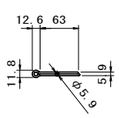
座 金



ナット



割りピン



注記

1. 本図面は、既存資料を基に現地計測やスケールアップ等にて 図化したものである。
2. 詳細な寸法等に不明箇所があるため、必要に応じて再計測等を実施すること。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
4. ⊥ 印は、TCB M22(S10T)を示す。

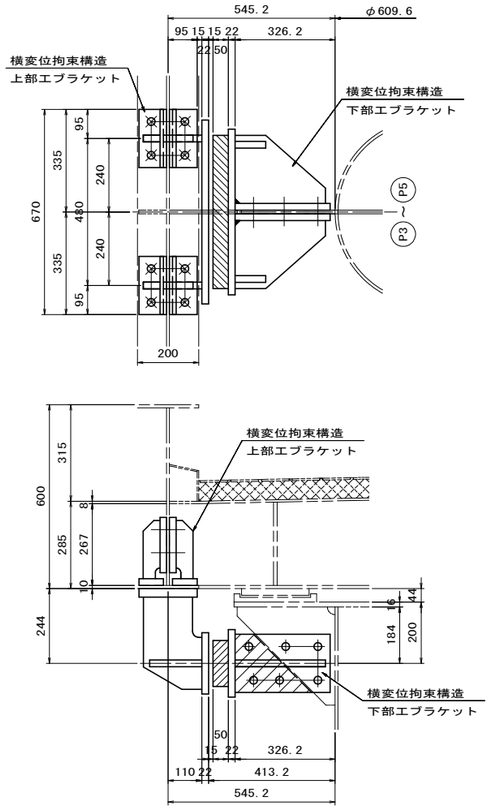
平成 30 年度	図面番号		
事 業 名	一般国道４２３号 豊津歩道橋耐震補強設計委託		
路 線 名	一般国道４２３号		
工 事 名			
施工地名	吹田市豊津町地内		
図 面 名	落橋防止システム詳細図(その1)	縮尺	図示
大阪府茨木土木事務所			

落橋防止システム詳細図（その2） S=1:10

P3～P5橋脚部

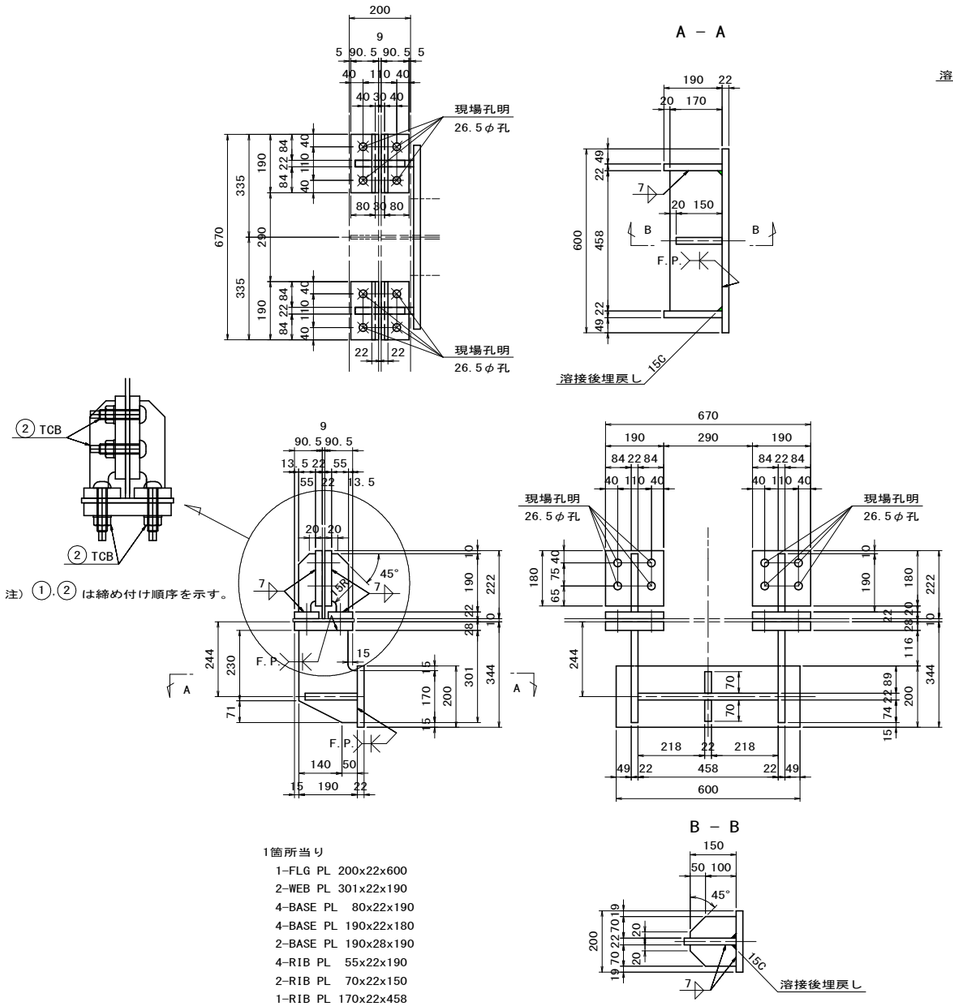
横変位拘束構造

平 面 図



上部エブラケット詳細図

（製作数：各2）

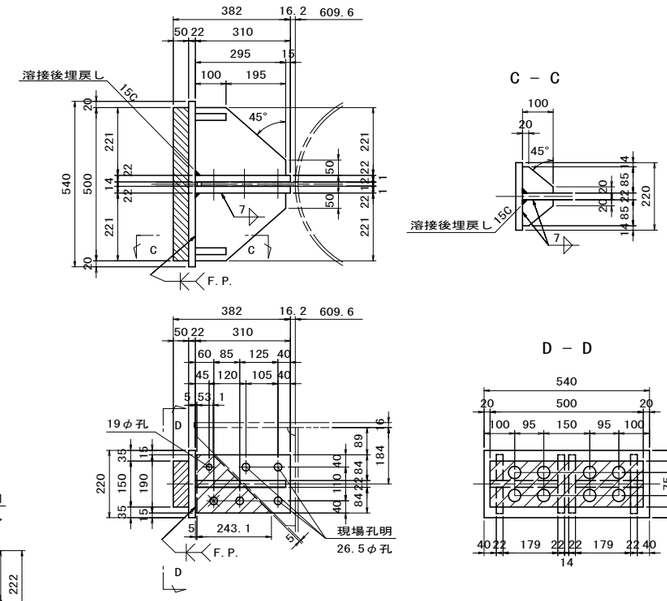


1箇所当り
- 1-FLG PL 200x22x600
- 2-WEB PL 301x22x190
- 4-BASE PL 80x22x190
- 4-BASE PL 190x22x180
- 2-BASE PL 190x28x190
- 4-RIB PL 55x22x190
- 2-RIB PL 70x22x150
- 1-RIB PL 170x22x458
- 8-TCB M22x 95(S10T)
- 8-TCB M22x 90(S10T)

現場孔明（φ26.5） 16ヶ所

下部エブラケット詳細図

（製作数：各2）

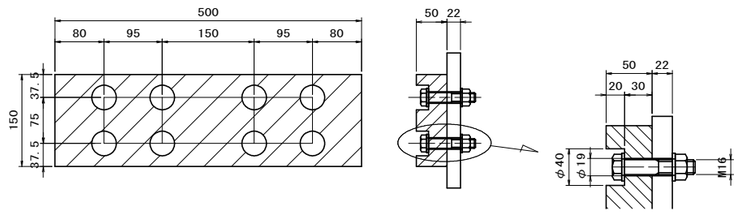


1箇所当り
- 1-FLG PL 220x22x540
- 2-BASE PL 190x22x310
- 2-RIB PL 221x22x295
- 2-RIB PL 85x22x100
- 1-FILL PL 190x14x243(SS400)
- 4-TCB M22x 95(S10T)
- 1-HTB M22x100(F10T)
- 1-BN M16x85(2-W)(SS400)
- 1-緩衝材 150x50x500 （ネオプレンゴム 硬度55° ±5°）

※ 8-BN M16x80(2-W)(SS400)

現場孔明（φ26.5） 3ヶ所

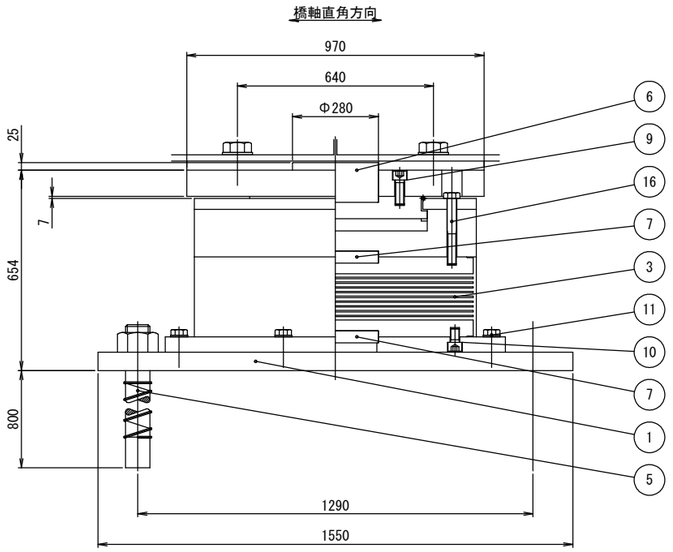
緩衝材詳細 S=1:5

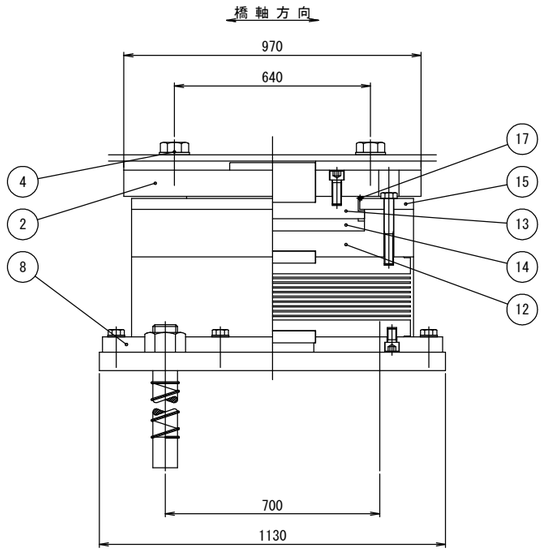


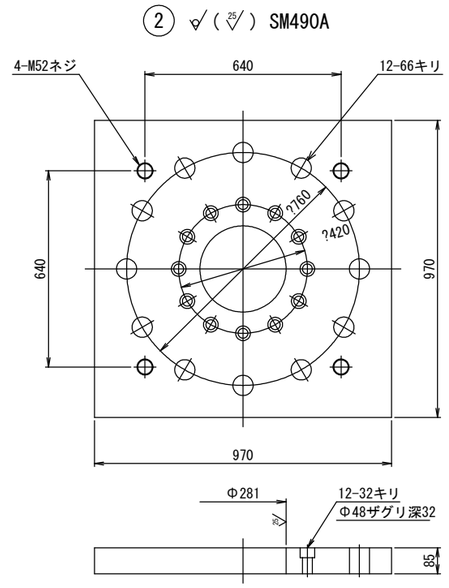
注記
1. 本図面は、既存資料を基に現地計測やスケールアップ等にて 図化したものである。
2. 詳細な寸法等に不明箇所がある為、必要に応じて再計測等を実施すること。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
4. ┼ 印は、TCB M22(S10T)を示す。
5. ✳ 印は、HTB M22(F10T)を示す。
6. ※印部材は、全て溶融亜鉛メッキを施す。亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35とする。

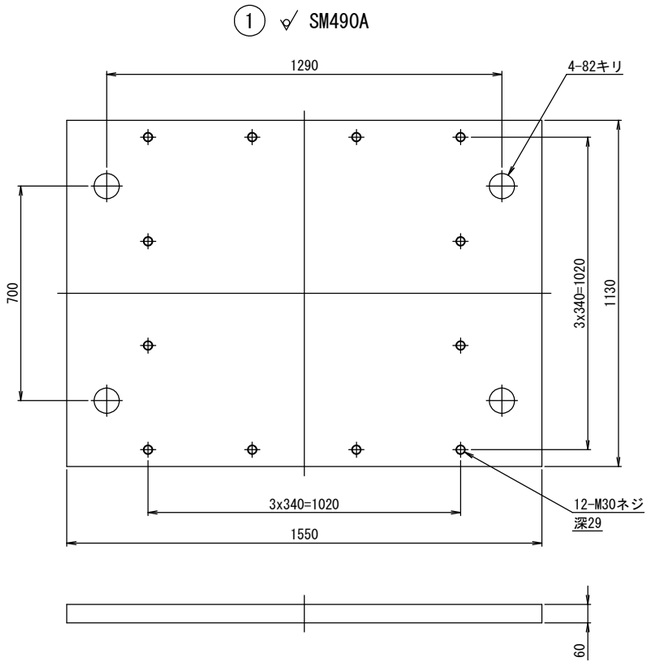
平成 30 年度	図面番号		
事 業 名	一般国道４２３号 豊津歩道橋耐震補強設計委託		
路 線 名	一般国道４２３号		
工 事 名			
施工地名	吹田市豊津町地内		
図 面 名	落橋防止システム詳細図(その2)	縮尺	図示
大阪府茨木土木事務所			

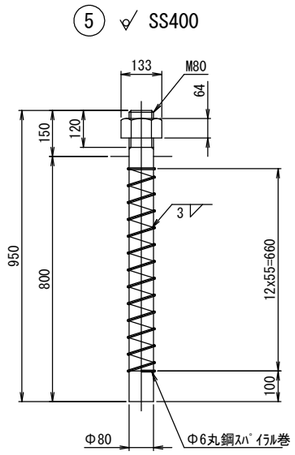
A1・A2 支承詳細図（その1） S=1:10

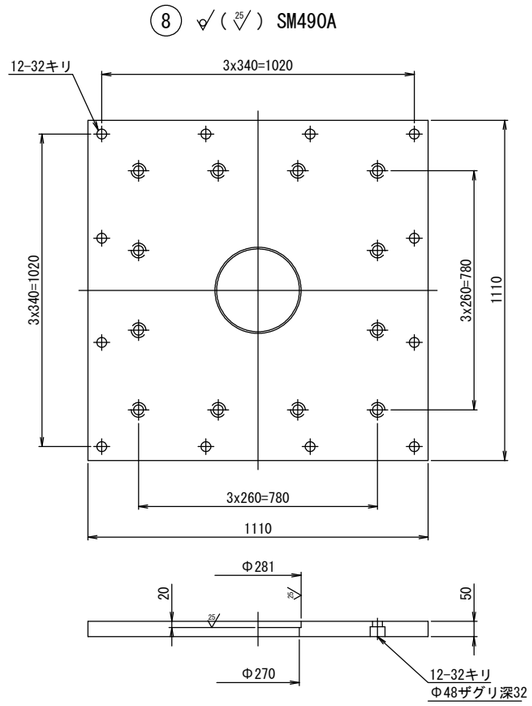












免震支承設計条件

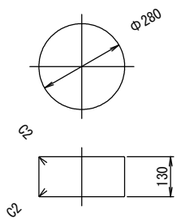
反　　力		
全　反　力	R	2600 kN
死荷重反力	Rd	1700 kN
橋軸方向水平力　(地震時)	Rh1e	2050 kN
橋軸直角方向水平力 (地震時)	Rh2e	1800 kN
上　揚　力 (地震時)	V	510 kN
移　動　量		
最大変位量 (地震時)	UB	± 227 mm
ゴ　ム　沓		
せん断弾性係数	Ge	1.2 N/mm²
破断ひずみ	γu	550 %
試験変位量	ΔL	± 193 mm
等価剛性	KB	8.884 kN/mm
等価減衰定数	hB	16.9 %
許容せん断ひずみ	γs	250 %
2 次形状係数	S2	8.18
照査荷重	R1L	500 kN
照査荷重時圧縮変位量	δcL	0.061 mm
支承部支持条件		
橋軸方向 : 免震	橋軸直角方向 : 免震	

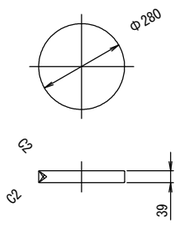
注）上記の等価剛性・等価減衰定数は試験変位量に対する値を示す。

材 料 表

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
①	ベースプレート	SM490A	1	813.1	
②	上沓	SM490A	1	543.9	
3	ゴム沓	HDR-S+SM490A +SS400	1	1047.5	
④	六角ボルト･座金	———	4	14.8	JIS B 1180
⑤	アンカーボルト･ナット	SS400	4	163.4	
⑥	せん断キー	SM490A	1	62.8	
⑦	せん断キー	SM490A	2	37.7	
⑧	下沓	SM490A	1	449.8	
9	六角穴付ボルト	———	12	8.4	JIS B 1176
10	六角穴付ボルト	———	12	6.3	JIS B 1176
⑪	六角ボルト･座金	———	12	8.6	JIS B 1180
⑫	ポット	SM490A	1	852.9	
⑬	中間プレート	S45CN	1	136.6	
14	ゴムプレート	クロロプレンゴム	1	14.7	圧縮リング付
⑮	ピンチプレート	SM490A	1	163.7	
⑯	六角ボルト	———	12	16.9	JIS B 1180
17	シールリング	クロロプレンゴム	1	0.1	
全重量		4341.2		(kg)	
一般外面の防食処理					
溶融亜鉛めっき	材料表部番の○印部品をめっきのこと。				
	付着量550g/m² 以上、350g/m² 以上(ﾎﾞﾙﾄ類)				

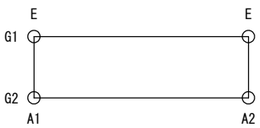
注１）製作会社において、不要な場合は設けなくてもよい。
注２）必要に応じて吊り用のネジ穴を設けてもよい。
注３）ゴム支承の上下鋼鈑露出部は、有機ジンクリッチペイント処理とする。
注４）六角穴付ボルトは黒色酸化皮膜処理ボルトを使用し、締付け後、高濃度亜鉛末塗料を塗布のこと。
注５）部番4の六角ボルト・座金の重量は、参考値とする。
注６）ゴム沓側面は、クロロスルホン化ポリエチレン系塗料（K-Coat-R）を塗布のこと。





④	六角ボルト　中（平座金付き）	M52x	8.8
⑨	六角穴付ボルト	M30x80	10.9
⑩	六角穴付ボルト	M30x45	10.9
⑪	六角ボルト　中（平座金付き）	M30x80	8.8
⑯	六角ボルト　中	M30x215	8.8

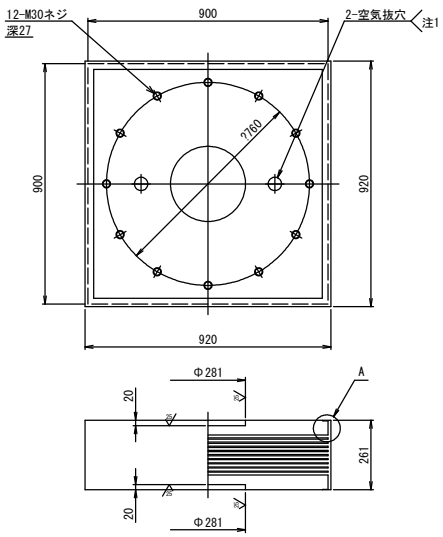
配 置 図

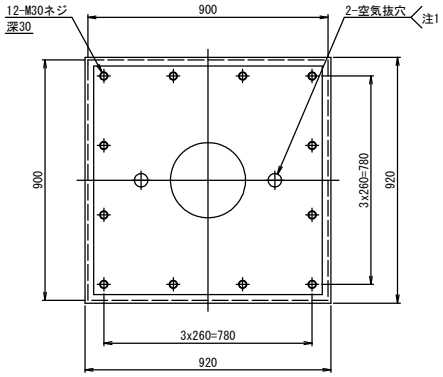


工事名	主要地方道茨木亀岡線外橋梁詳細設計委託		
図面名	A1・A2 支承詳細図（その1）		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	22 ／ 66
会社名	株式会社　ＣＰＣ		
事業者名	茨木土木事務所		

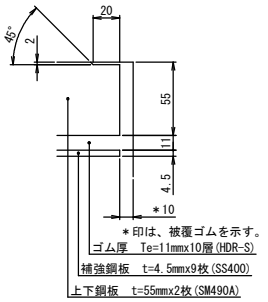
A1・A2 支承詳細図（その2） S=1:10

③ ▽（▽）HDR-S+SM490A+SS400

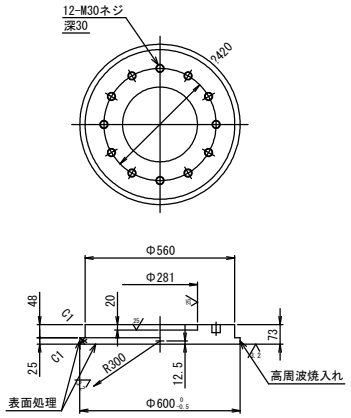




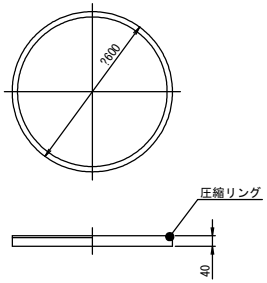
A部詳細図 S=1:2



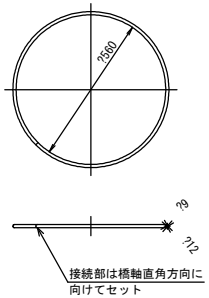
⑬ （▽）S45CN



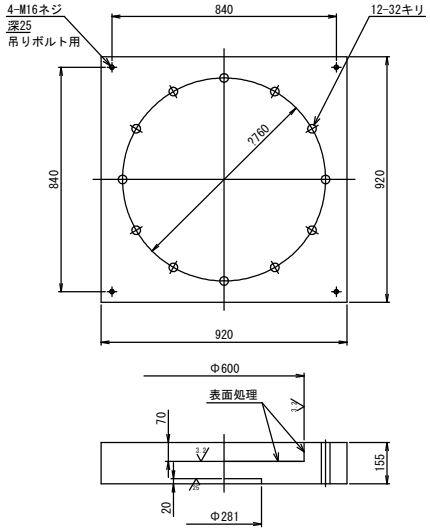
⑭ クロロプレンゴム



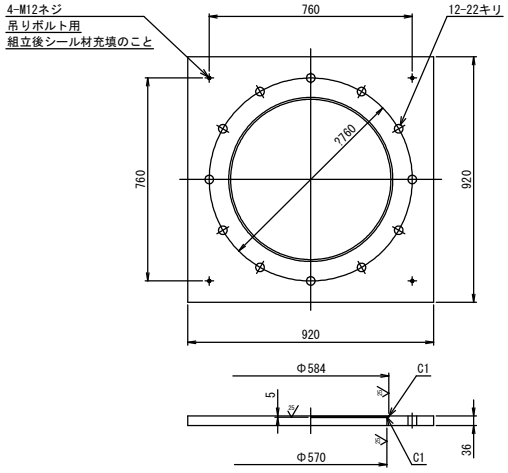
⑰ クロロプレンゴム



⑫ （▽）SM490A



⑮ （▽）SM490A

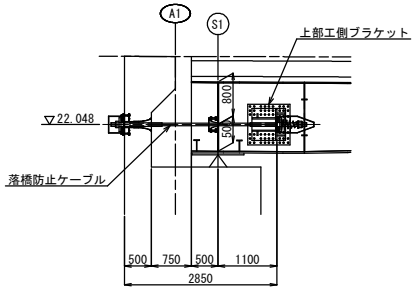


工事名	主要地方道茨木亀岡線外橋梁詳細設計委託		
図面名	A1・A2 支承詳細図（その2）		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	23 ／ 66
会社名	株式会社 ＣＰＣ		
事業者名	茨木土木事務所		

落橋防止構造(その1) S=1:50

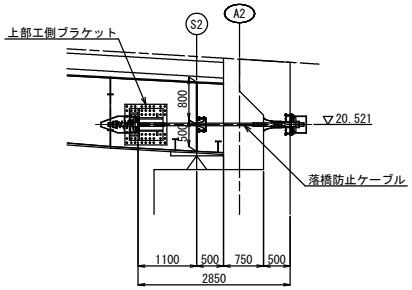
A1(S1)側

側 面 図

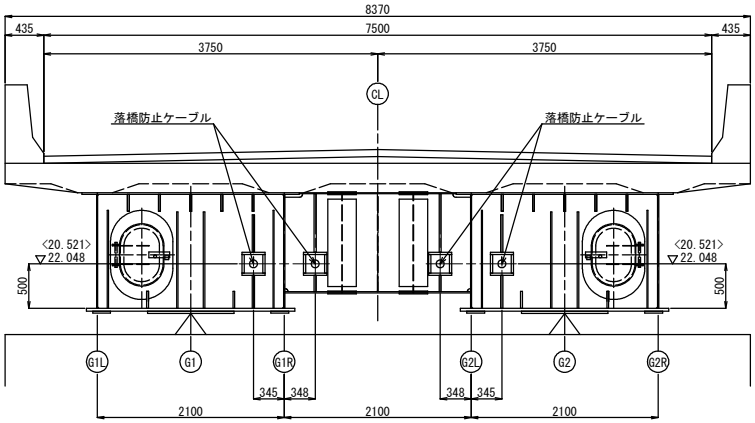


A2(S2)側

側 面 図

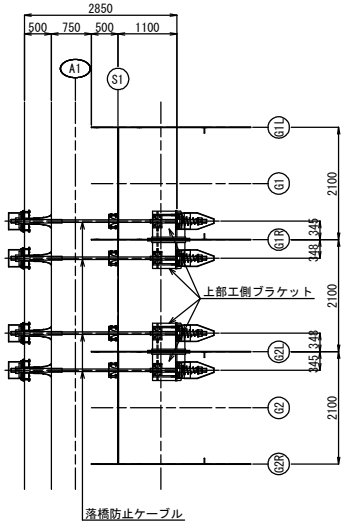


S1,S2上 断面図 S=1:30

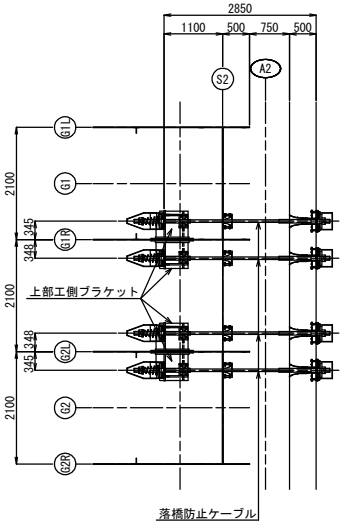


注) < >は、A2側を示す。

平 面 図



平 面 図



注記)
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、おこなうこと。

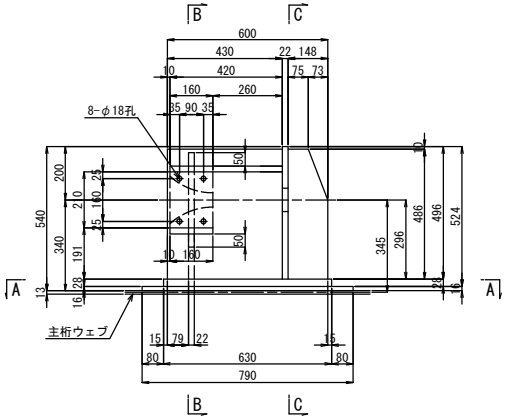
工事名	主要地方道茨木亀岡線外橋梁詳細設計委託		
図面名	落橋防止構造(その1)		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	24 ／ 66
会社名	株式会社 ＣＰＣ		
事業者名	茨木土木事務所		

落橋防止構造(その2) S=1:10

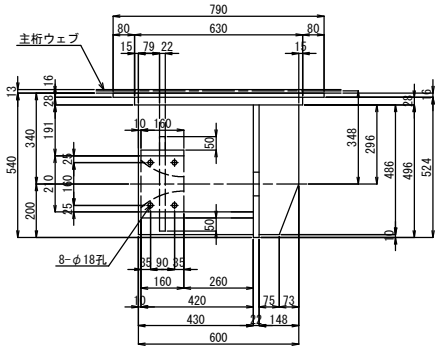
ブラケット詳細図

側 面 図

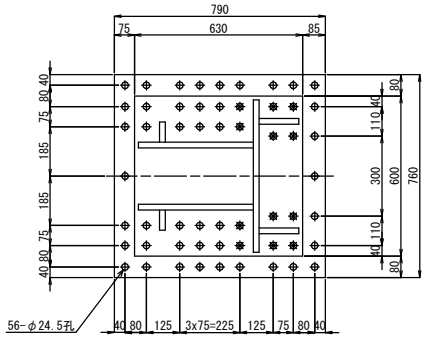
箱内側



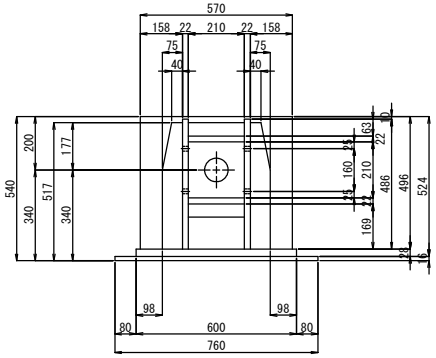
箱外側



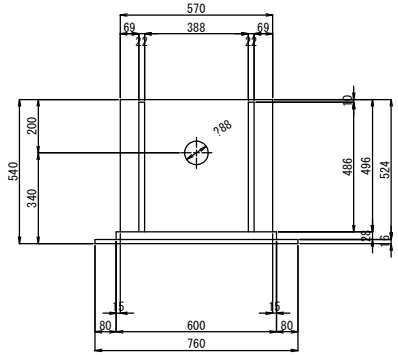
A － A



B － B



C － C



箱内
ブラケット1基当り(製作数：4基)

2-PL 148x22x486
2-PL 430x22x486
2-PL 75x22x517
2-PL 50x22x210
1-PL 210x22x420
1-PL 160x22x210
1-PL 496x22x570
1-PL 600x28x630
1-PL 790x16x760(SM490YA)

ブラケット2基当り(製作数：4基)

12-TCB M22x145(S10TW)
16-TCB M22x140(S10TW)
28-TCB M22x 80(S10TW)

箱外
ブラケット1基当り(製作数：4基)

2-PL 148x22x486(SMA490BW)
2-PL 430x22x486(SMA490BW)
2-PL 75x22x517(SMA490BW)
2-PL 50x22x210(SMA490BW)
1-PL 210x22x420(SMA490BW)
1-PL 160x22x210(SMA490BW)
1-PL 496x22x570(SMA490BW)
1-PL 600x28x630(SMA490BW)
1-PL 790x16x760(SMA490AW)

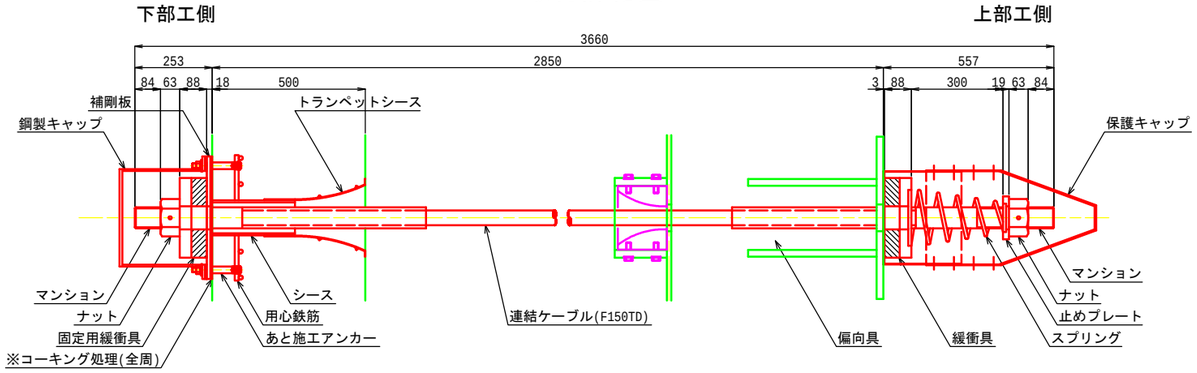
注記)
1. 特記なき材質は全てSM490YBとする。
2. 溶接交点部は全て溶接後埋戻しとする。
3. ❋ の高力ボルトは2-W付きとする。

工事名	主要地方道茨木亀岡線外橋梁詳細設計委託		
図面名	落橋防止構造(その2)		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	25 ／ 26
会社名	株式会社 ＣＰＣ		
事業者名	茨木土木事務所		

落橋防止構造(その3) S=1:10

ケーブル詳細図

取付詳細図

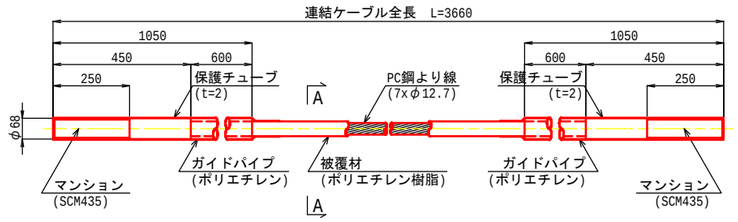


材 料 表（落橋防止構造1組当たり）

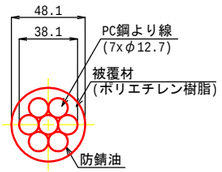
全8組

名　　称	規　　格	単位	数量	摘　　要
連結ケーブル	F150TD L=3660mm	本	1	PC鋼より線,ポリエチレン被覆
（マンション）	F150TD用 標準	個	2	SCM435,ネジきり標準 <ケーブルに組込>
（ガイドパイプ）	F150TD用 600mm	本	2	ポリエチレン <ケーブルに組込>
ナット	F150TD用	個	2	S45C;亜鉛めっき(HDZ55)
止めプレート	F150TD用	個	1	SS400相当品;亜鉛めっき(HDZ55)
スプリング	F150TD用 L=450	個	1	SW-C;亜鉛めっき,クロメート処理
緩衝具	F150TD用	個	1	SS400相当品;亜鉛めっき(HDZ55) + 合成ゴム
固定用緩衝具	F150TD用	個	1	SS400相当品;亜鉛めっき(HDZ55) + 合成ゴム
偏向具	F150TD用	個	1	ポリエチレン
（取付ボルト）	M16x50 1W付	本	8	SS400相当品;亜鉛めっき(HDZ35) 接着剤付
保護キャップ	F150TD用	組	1	ポリエチレン;8-止めビス付
鋼製キャップ	F150TD用 L=270	個	1	SS400,STK400;亜鉛めっき(HDZ55) ゴムパッキン付
補剛板	F150TD用	枚	1	SS400相当品;亜鉛めっき(HDZ55) ゴムパッキン付
あと施エアンカー	M16x160 1W,1SW付	本	4	SS400相当品;亜鉛めっき(HDZ35)
下部工 トランペットシース	TR116	個	1	ポリエチレン
下部工 シース	VP100 L=370	本	1	
下部工 用心鉄筋	SD345 D13x410	本	8	

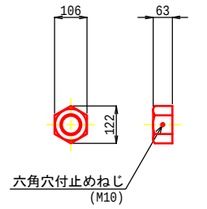
連結ケーブル



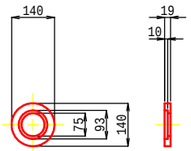
A-A断面図 S=1:2



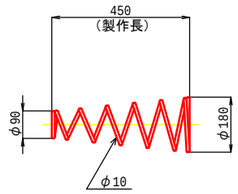
ナット
(S45C:亜鉛めっき)



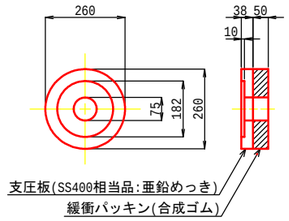
止めプレート
(SS400相当品:亜鉛めっき)



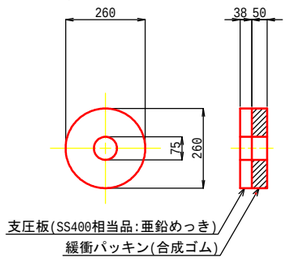
スプリング
(SW-C:亜鉛めっき,クロメート処理)



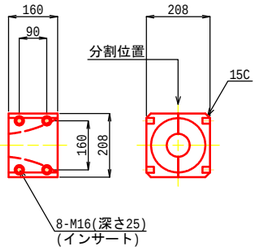
緩 衝 具
(支圧板+緩衝パッキン)



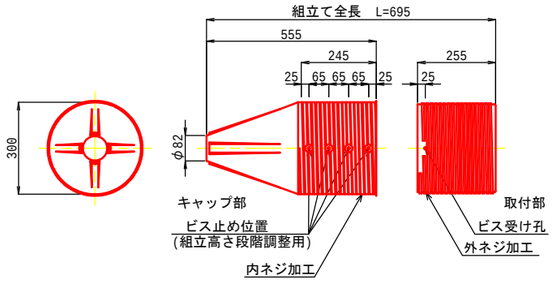
固定用緩衝具
(支圧板+緩衝パッキン)



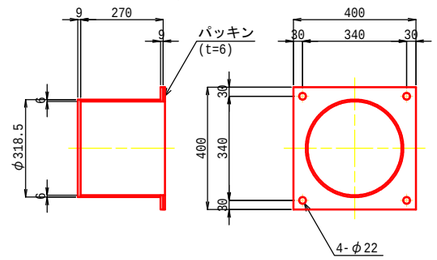
偏 向 具
(ポリエチレン)



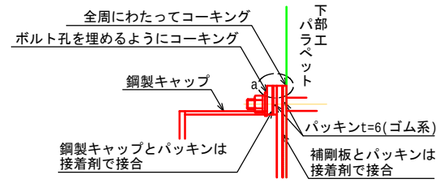
保護キャップ
(ポリエチレン)



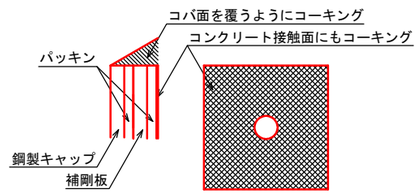
鋼製キャップ
(SS400,STK400:亜鉛めっき)



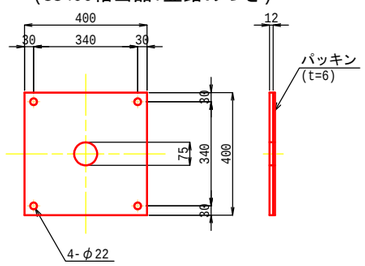
落橋防止構造の止水処理(橋台側)



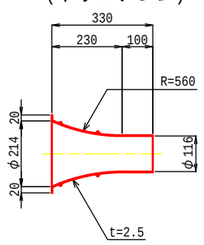
a部詳細



補 剛 板
(SS400相当品:亜鉛めっき)

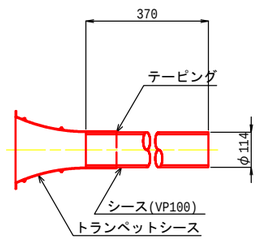


トランペットシース
(ポリエチレン)



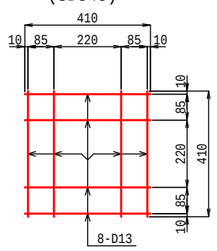
※トランペットシースはコンクリート打設前にセットする。
※端部の処理は箱抜き詳細図を参照のこと。

箱抜き詳細図



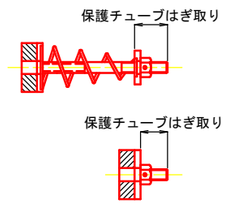
※シースはコンクリート打設前にセットする。
※端部はコンクリート端にあわせて、現場で切断する。

用心鉄筋
(SD345)



※用心鉄筋はコンクリート打設前にセットする。

マンション端部処理



※取付前に保護チューブをはぎ取る。
取付後はマンション先端ねじ部に
防錆処理をおこなうこと。

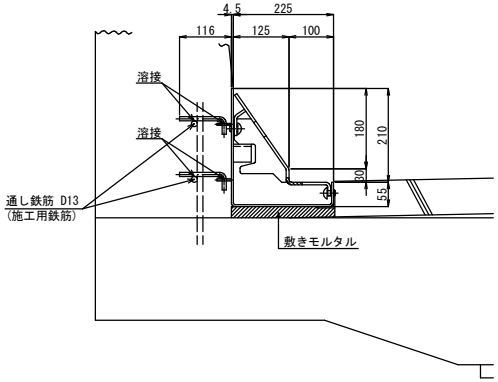
注記)
1.連結ケーブルの製作は、現場にて取付間
距離を確認のうえ、おこなうこと。

工事名	主要地方道茨木亀岡線外橋梁詳細設計委託		
図面名	落橋防止構造(その3)		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	26 ／ 66
会社名	株式会社　ＣＰＣ		
事業者名	茨木土木事務所		

鋼製排水溝(その2)

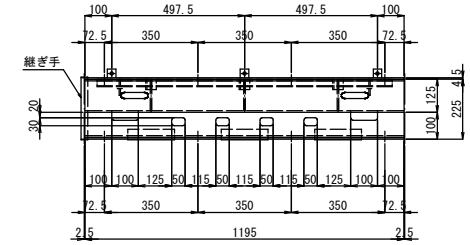
鋼製排水溝断面図 S=1:6

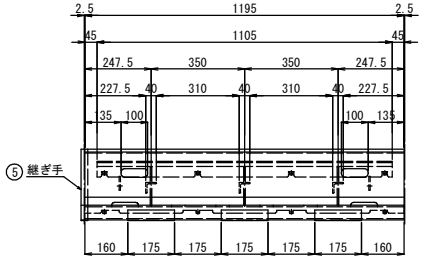
標準部



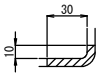
鋼製排水溝詳細図 S=1:10

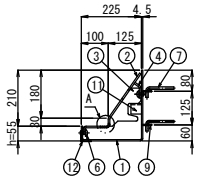
A-225x210x1200
h=55 標準部



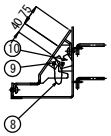


A部詳細図



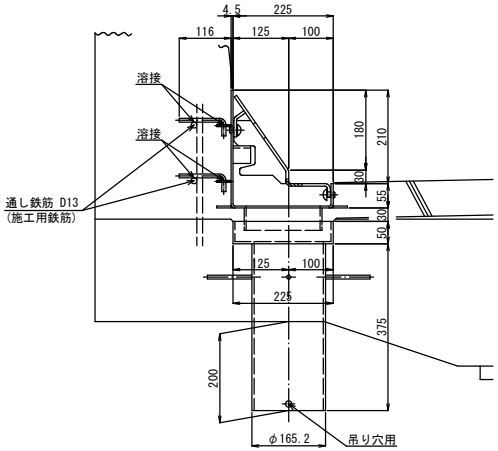


チェーン詳細



鋼製排水溝断面図 S=1:6

流末部 Dr1,Dr2



材料表 A-225x210x1200 h=55

符号	寸法	重量(Kg)
1	1-PL 549.5x4.5x1195	23.2
2	1-PL 358.5x6.0x1195	20.2
3	3-PL 142x6.0x117	1.02
4	1-PL 71x6.0x1105	3.48
5	1-PL 25x3.0x549.5	0.32
6	8-Bolt M12x18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.24
7	6-RB φ9x135	0.40
8	1-Chain φ4x200 シャックル付(SUS)	0.11
9	7-PL 32x4.5x32	0.28
10	2-PL 50x4.5x56	0.13
11	3-L 40x40x5x40	0.35
12	3-L 40x40x3x175	0.96
総重量		50.7
m重量		42.3

※ A1-225x210x1200 h=55・・・ 50.7kg(42.3kg/m)
A1は、Aに対して線対称とする。

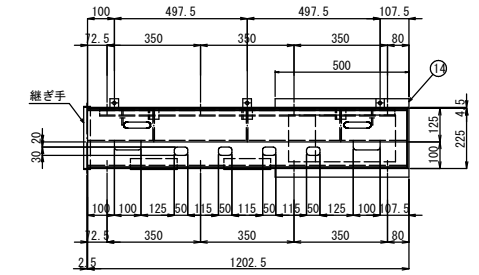
注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 寸法表記のPLは、FBを含む。
3. アンカーバーは黒皮とする。

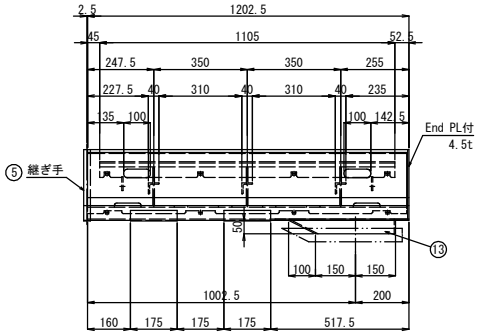
工事名	主要地方道茨木亀岡線外橋梁詳細設計委託		
図面名	鋼製排水溝(その2)		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	29 ／ 66
会社名	株式会社 ＣＰＣ		
事業者名	茨木土木事務所		

鋼製排水溝(その3)

鋼製排水溝詳細図 S=1:10

B-225x210x1205
h=55 流末部



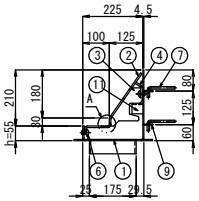


※二点鎖線は流末管を示す。

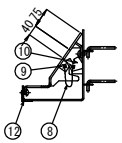
材料表 B-225x210x1205 h=55

符号	寸法	重量(Kg)
1	1-PL 549.5x4.5x1202.5(End PL付)	24.3
2	1-PL 358.5x6.0x1195	20.2
3	3-PL 142x6.0x117	1.02
4	1-PL 71x6.0x1105	3.48
5	1-PL 25x3.0x549.5	0.32
6	8-Bolt M12x18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.24
7	6-RB φ9x135	0.40
8	1-Chain φ4x200 シャックル付(SUS)	0.11
9	7-PL 32x4.5x32	0.28
10	2-PL 50x4.5x56	0.13
11	3-L 40x40x5x40	0.35
12	2-L 40x40x3x175	0.64
13	PL 400x175x50x4.5	2.24
14	2-PL 32x4.5x500	1.14
総重量		54.9
m重量		45.6

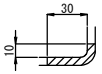
※ B1-225x210x1205 h=55・・・ 54.9kg(45.6kg/m)
B1は、Bに対して線対称とする。



チェーン詳細

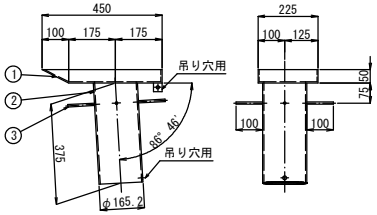


A部詳細図



流末管詳細図 S=1:10

流末管 Dr1

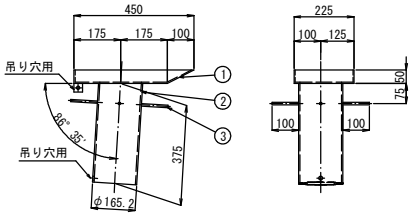


材料表 流末管 Dr1

符号	寸法	重量(Kg)
1	PL 450x225x50x4.5	5.49
2	1-GP φ165.2x5.0x375(150A:SGP)	7.43
3	4-RB φ9x100	0.20
総重量		13.1

流末管詳細図 S=1:10

流末管 Dr2



材料表 流末管 Dr2

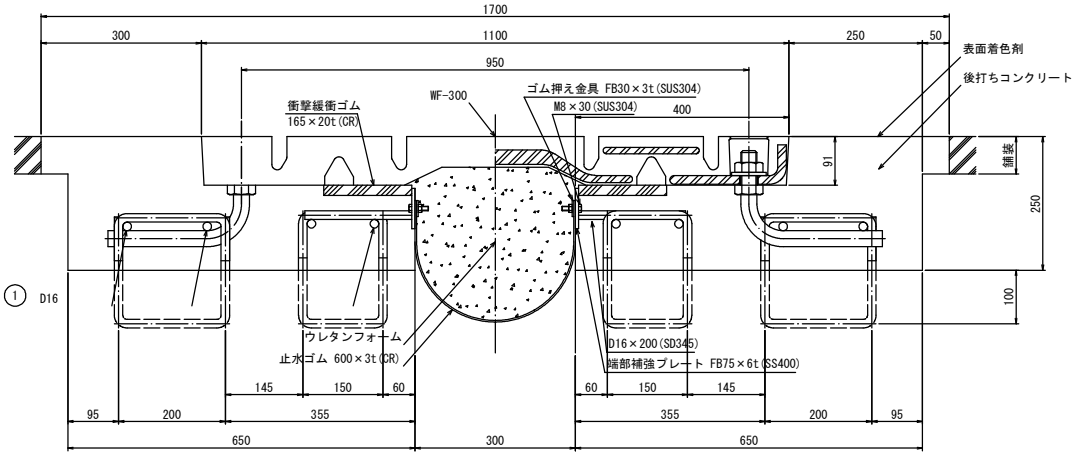
符号	寸法	重量(Kg)
1	PL 450x225x50x4.5	5.49
2	1-GP φ165.2x5.0x375(150A:SGP)	7.43
3	4-RB φ9x100	0.20
総重量		13.1

注記)
1.特記なき材質は全てSS400とする。
2.寸法表記のPLは、FBを含む。
3.アンカーバーは黒皮とする。

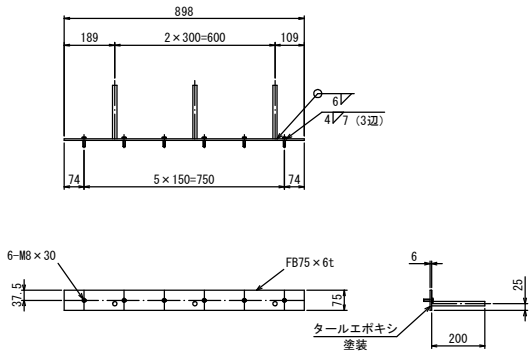
工事名	主要地方道茨木亀岡線外橋梁詳細設計委託		
図面名	鋼製排水溝(その3)		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	30 ／ 66
会社名	株式会社 ＣＰＣ		
事業者名	茨木土木事務所		

伸縮装置詳細図

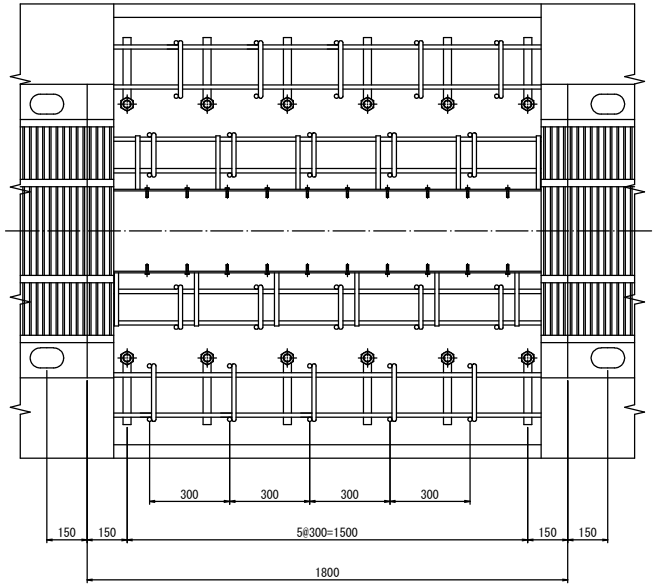
断面図 S=1:5



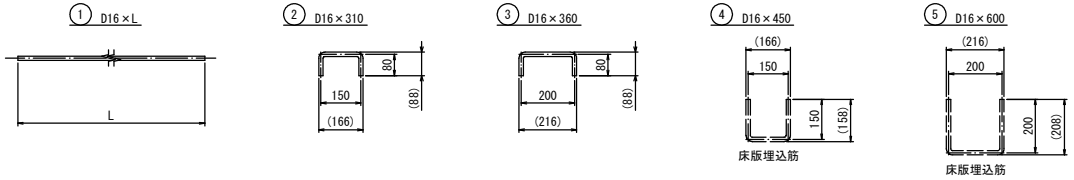
端部補強板 S=1:10



平面図 S=1:10



補強鉄筋加工図 S=1:10



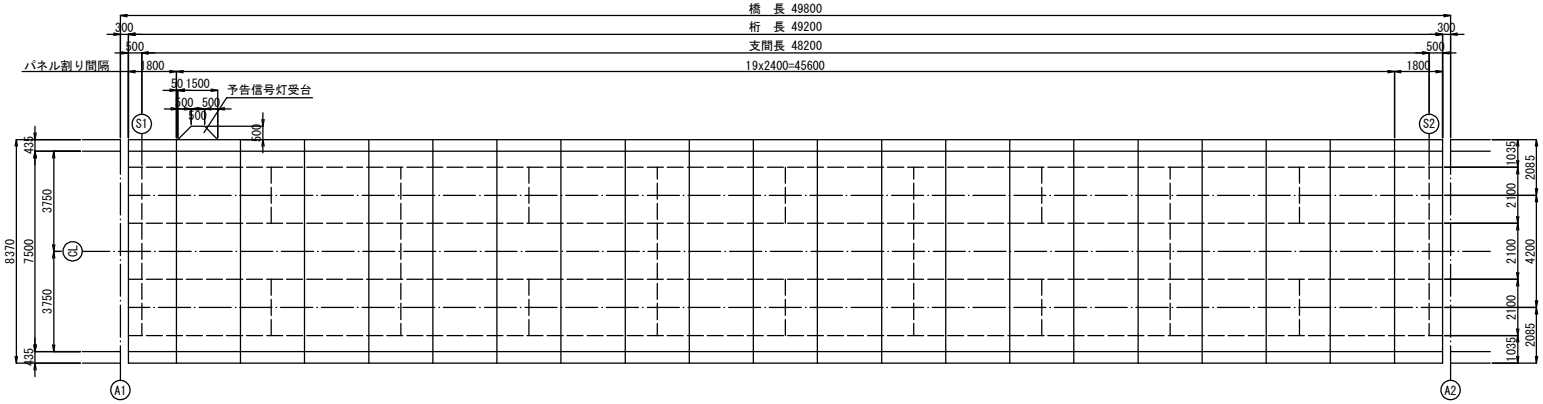
材料表

品名	仕様、規格	単位	10m当り	備考
ワンダーフレックス	WF-300 (重量 452.6kg/1.8m)	m	10.0	
アンカーボルト	φ30	Set	66	
シーラント	ジョイント用	kg	87.3	2液シーラント 8.73kg/m
補強鉄筋	① 8-D16×10000	kg	124.8	1.56kg/m
	② 67-D16×310	kg	32.4	〃
	③ 67-D16×360	kg	37.6	〃
	④ 67-D16×450	kg	47.0	1.56kg/m(伸縮施工範囲外)
	⑤ 67-D16×600	kg	62.7	1.56kg/m(伸縮施工範囲外)
後打ちコンクリート	生コンクリート（早強）	m^3	2.5	σck=35N/mm²(推奨)
端部補強板	FB75 × 6t	m	20.0	D16アンカー付(ゴム押え金具含む)
衝撃緩衝ゴム	165 × 20t	m	20.0	
止水ゴム	600 × 3t	m	10.0	補強材入り
ウレタンフォーム	400 × 300	m	10.0	

工事名	主要地方道茨木亀岡線外橋梁詳細設計委託		
図面名	伸縮装置詳細図		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	21 ／ 66
会社名	株式会社 ＣＰＣ		
事業者名	茨木土木事務所		

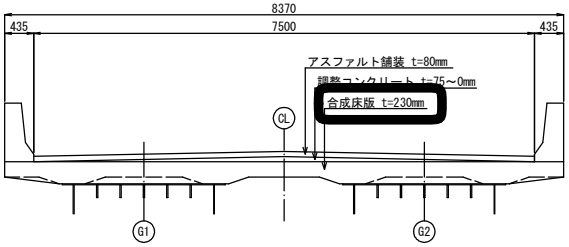
合成床版パネル割付図 S=1:100

平　面　図

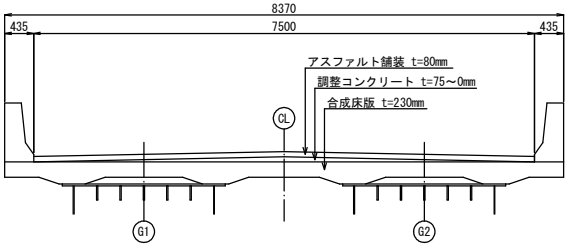


断 面 図 S=1:40

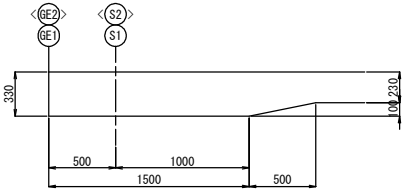
端支点部 S1,S2



一 般 部



端部打ち下ろし部側面図 S=1:20



非鋼材数量総括表

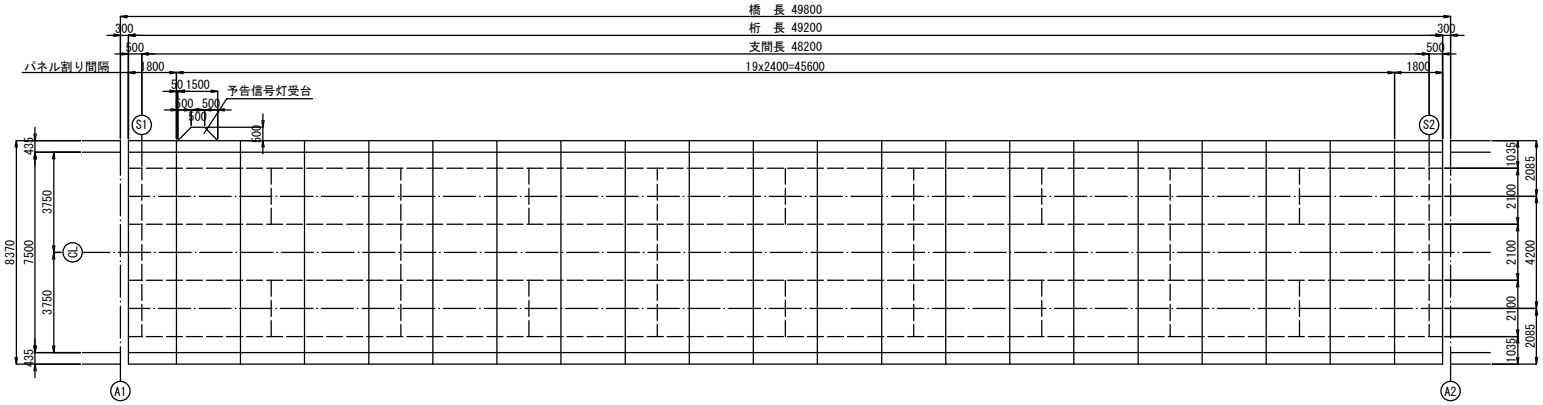
床版部	橋面積		m2	411.8	
	アスファルト舗装面積		m2	369.0	t=80mm
	防水層面積		m2	369.0	シート系
	コンクリート体積	床版部 （ 膨張材使用 ）	m3	106.1	σck=30N/mm2
	パネル数		パネル	20	(2.4m幅)
	シール材延長	主桁上シール材	m	394	
		合成床版接合部シール材	m	184	
高欄部	側鋼板延長	L側 (H= 1.130 m)	m	49	鋼製型枠兼用
		R側 (H= 1.130 m)	m	49	〃
	シール材延長	合成床版と側鋼板取合部シール材	m	197	

注記)
1. 排水装置やその他橋面工との取り合いを考慮してパネル割付をすること。
2. 床版コンクリートの設計基準強度は σck=30N/mm2 とする。(膨張コンクリート)
3. 床版設置方法は、架設方法を確認のうえ決定すること。
4. 床版パネルの防錆は「塗装仕様」とする。
5. 鉄筋の材質は全てSD345とし、全てエポキシ樹脂塗装鉄筋を使用する。

工事名	主要地方道茨木亀岡線外橋梁詳細設計委託		
図面名	合成床版パネル割付図		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	19 ／ 66
会社名	株式会社　ＣＰＣ		
事業者名	茨木土木事務所		

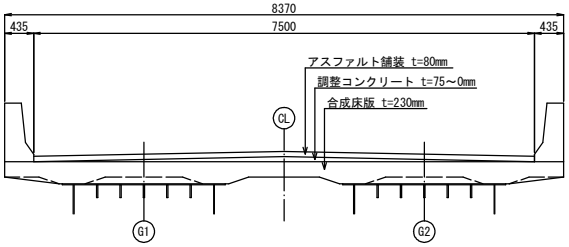
合成床版パネル割付図 S=1:100

平　面　図

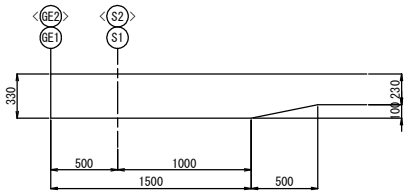


断 面 図 S=1:40

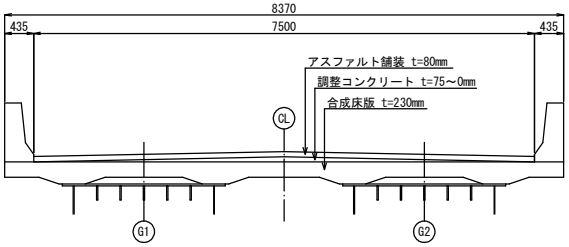
端支点部 S1,S2



端部打ち下ろし部側面図 S=1:20



一 般 部



非鋼材数量総括表

項　目			単 位	数 量	備 考
床版部	橋面積		m2	411.8	
	アスファルト舗装面積		m2	369.0	t=80mm
	防水層面積		m2	369.0	シート系
	コンクリート体積	床版部 （ 膨張材使用 ）	m3	106.1	σck=30N/mm2
	パネル数		パネル	20	(2.4m幅)
	シール材延長	主桁上シール材	m	394	
	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高欄部	側鋼板延長	L側 (H= 1.130 m)	m	49	鋼製型枠兼用
		R側 (H= 1.130 m)	m	49	〃
	シール材延長	合成床版と側鋼板取合部シール材	m	197	

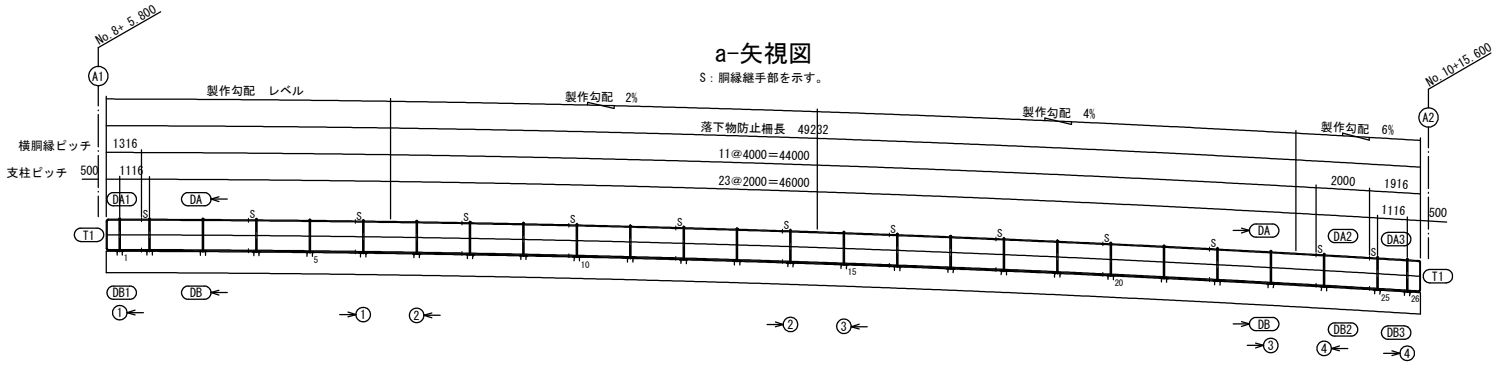
注記)
1. 排水装置やその他橋面工との取り合いを考慮してパネル割付をすること。
2. 床版コンクリートの設計基準強度は σck=30N/mm2 とする。(膨張コンクリート)
3. 床版設置方法は、架設方法を確認のうえ決定すること。
4. 床版パネルの防錆は「塗装仕様」とする。
5. 鉄筋の材質は全てSD345とし、全てエポキシ樹脂塗装鉄筋を使用する。

工事名	主要地方道茨木亀岡線外橋梁詳細設計委託		
図面名	合成床版パネル割付図		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	19 ／ 66
会社名	株式会社　ＣＰＣ		
事業者名	茨木土木事務所		

落下物防止柵（その1） S=1:100

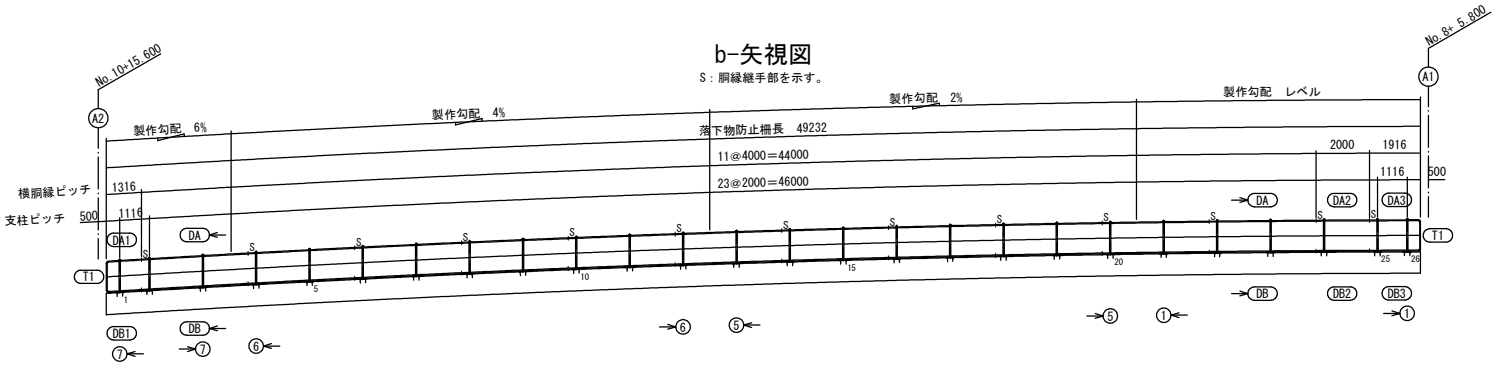
a-矢視図

S：胴縁継手部を示す。



b-矢視図

S：胴縁継手部を示す。

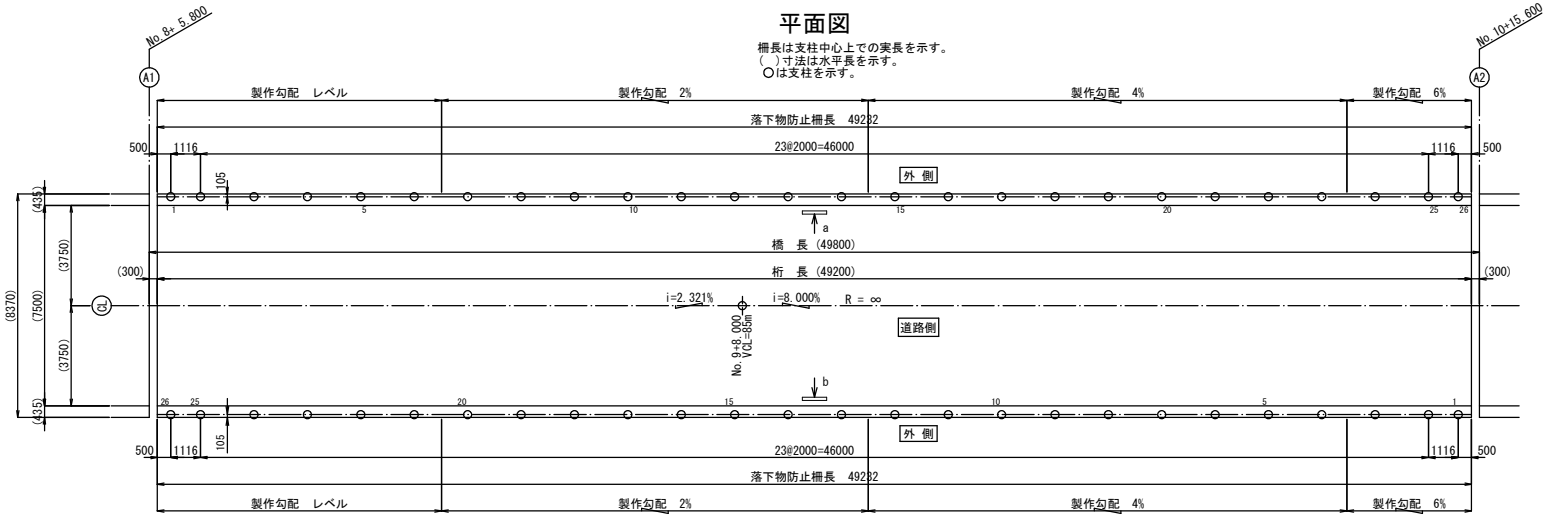


＝マーキング＝

- ⊛ ：支柱
- DA⊛：上段横胴縁
- DB⊛：下段横胴縁
- T⊛：竪胴縁
- C⊛：裾隠し板
- H⊛：伸縮プレート

平面図

柵長は支柱中心上での実長を示す。
（　）寸法は水平長を示す。
○は支柱を示す。

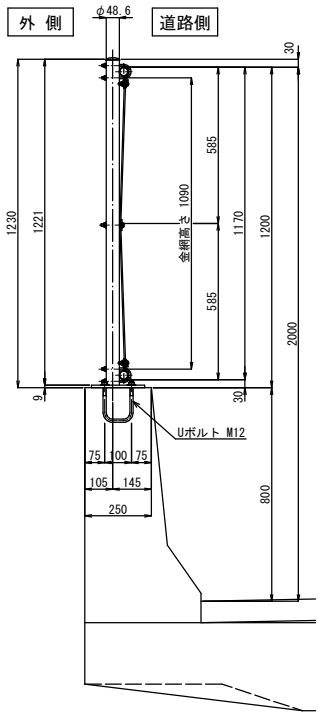


注記）
1. a-矢視図、b-矢視図は、道路側から見た図とする。

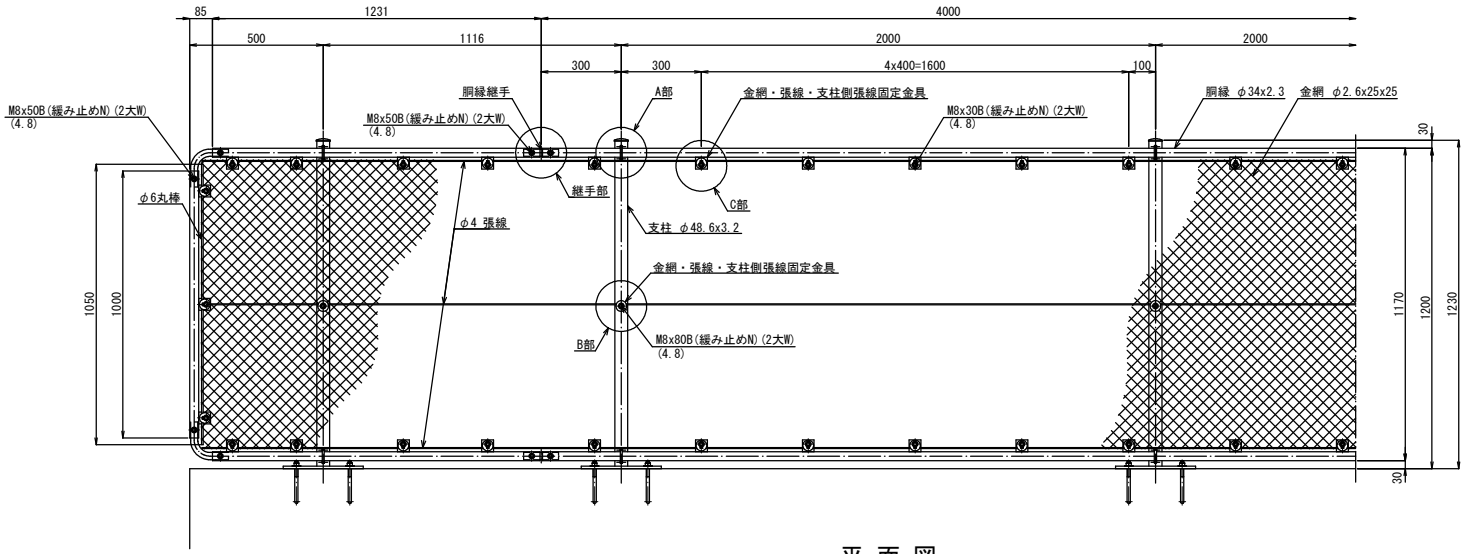
工事名	主要地方道茨木亀岡線外橋梁詳細設計委託		
図面名	落下物防止柵（その1）		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	34 ／ 66
会社名	株式会社　ＣＰＣ		
事業者名	茨木土木事務所		

落下物防止柵(その2) S=1:10

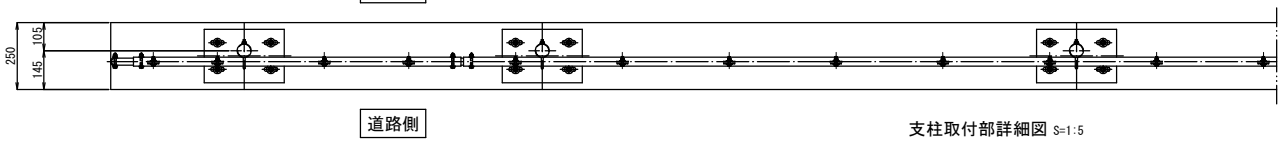
断面図



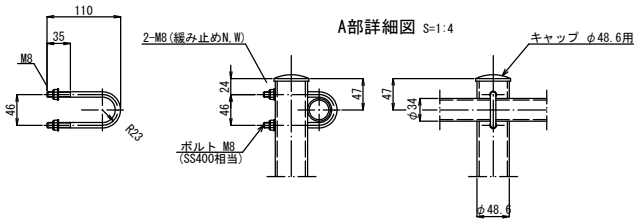
正面図



平面図

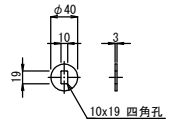


A部詳細図 S=1:4

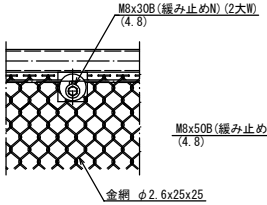


B部詳細図 S=1:4

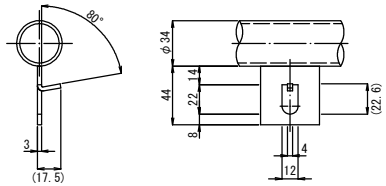
金網・張線・支柱側張線固定金具 S=1:4



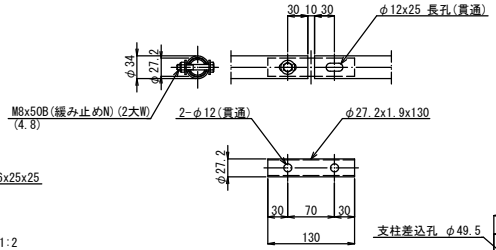
C部詳細図 S=1:4



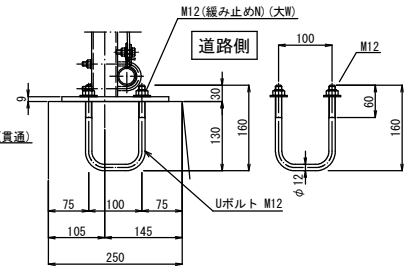
胴縁側金具詳細図 S=1:2



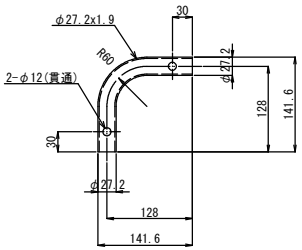
継手部詳細図 S=1:4



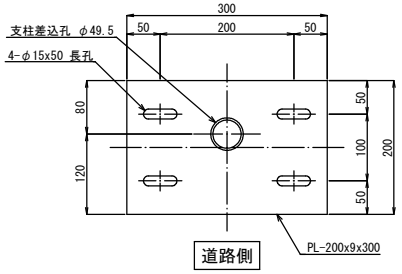
支柱取付部詳細図 S=1:5



端部胴縁継手 S=1:4



ベースプレート詳細図 S=1:4

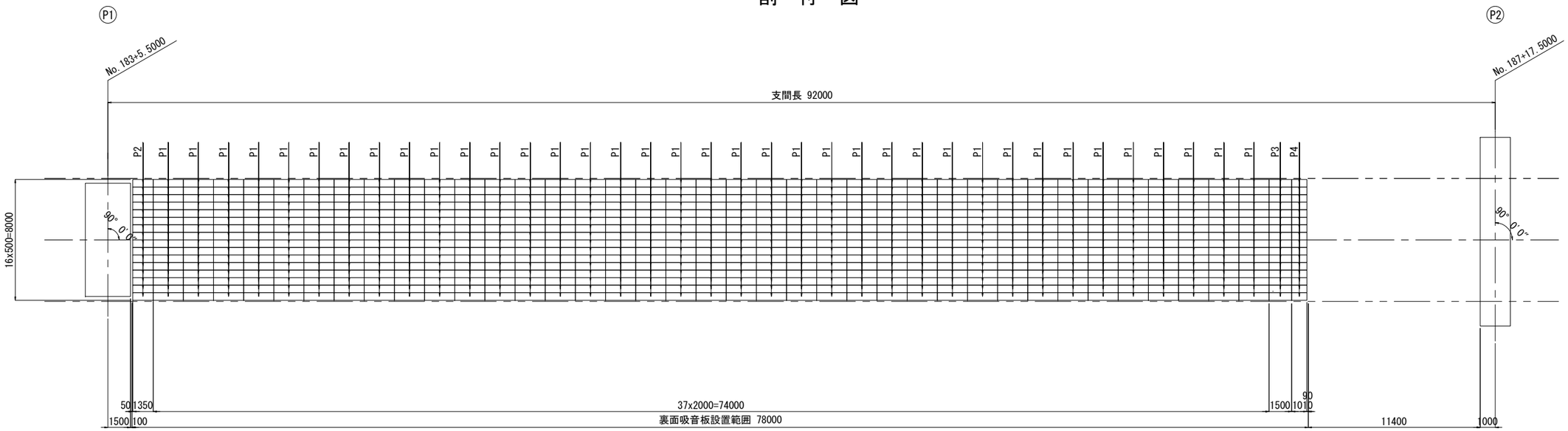


注記)
1.正面図は道路側から見た図とする。

工事名	主要地方道茨木亀岡線外橋梁詳細設計委託		
図面名	落下物防止柵(その2)		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図示	図面番号	35 ／ 66
会社名	株式会社 ＣＰＣ		
事業者名	茨木土木事務所		

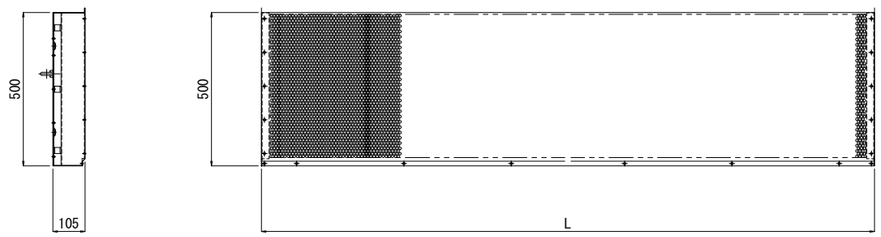
裏面吸音板詳細図　S=1:150

割　付　図



裏面吸音板外形詳細図 S=1:10

（製作数 n組）



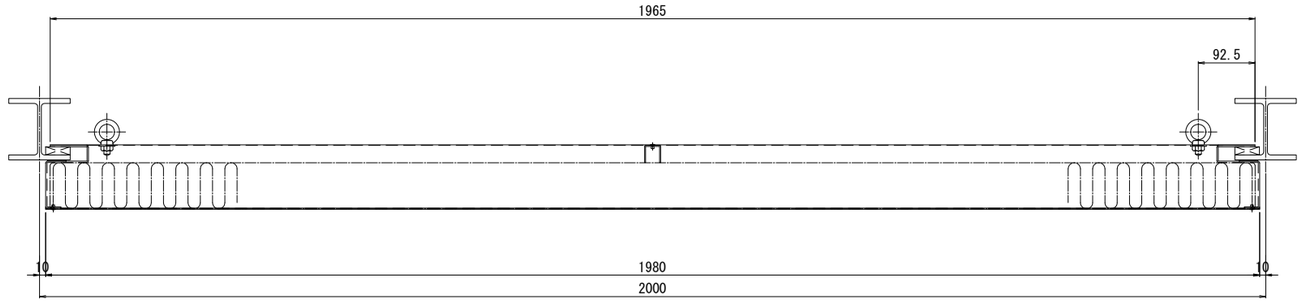
	L	n
P1	1980	592
P2	1330	16
P3	1480	16
P4	990	16

※裏面吸音板は、横梁差し込み方式（ボルトレス）とする。

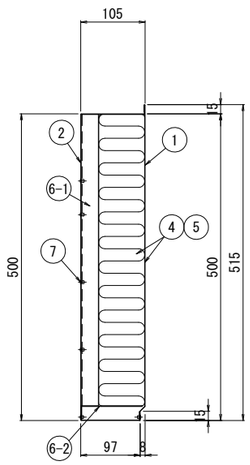
平成27年度		図面番号	108／130
路線名	都市計画道路十三高槻線		
業務名			
場　所	吹田市吹東町地内～吹田市南正雀3丁目地内		
図面名	裏面吸音板詳細図	縮尺	S=1:150
大阪府茨木土木事務所			

裏面吸音板標準構造図（その１）　S=1:5

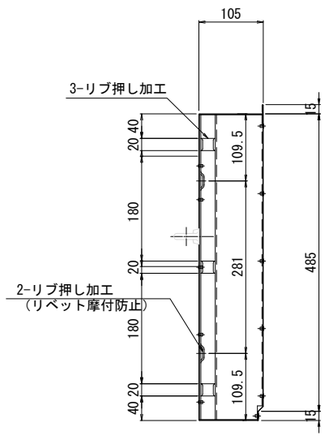
平　面　図



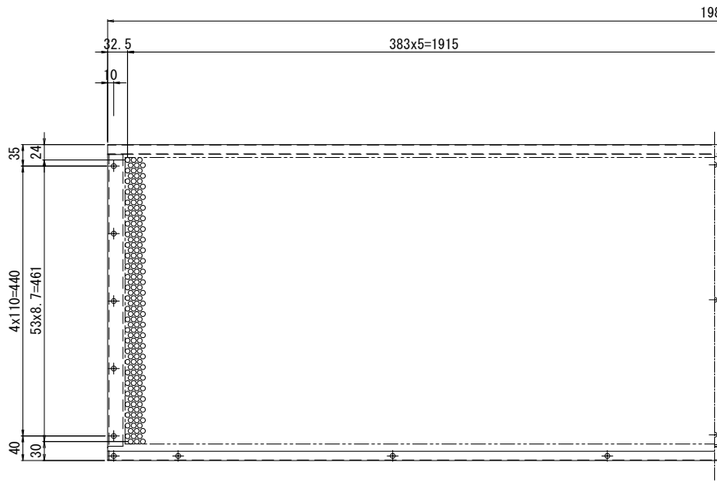
断面詳細図



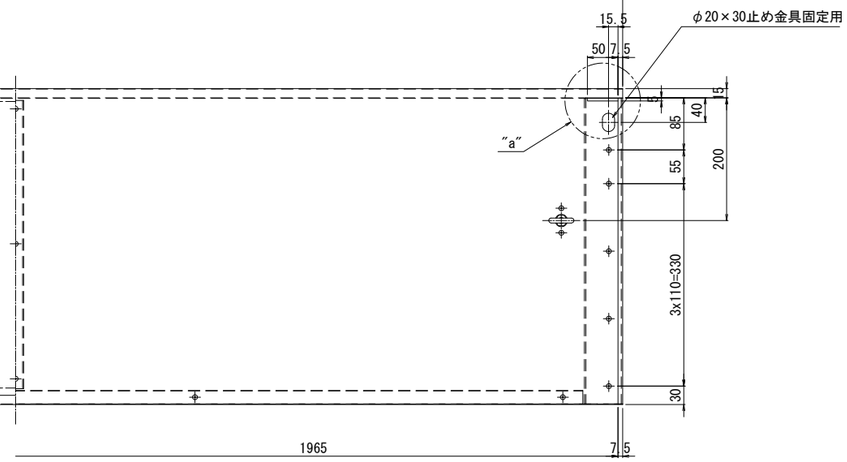
側　面　図



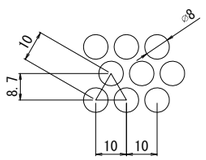
正　面　図



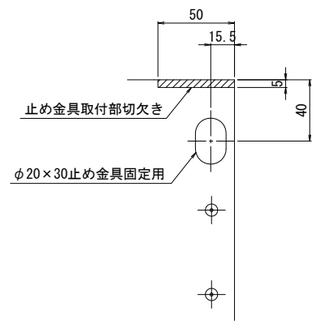
背　面　図



パンチング詳細 S=1:1



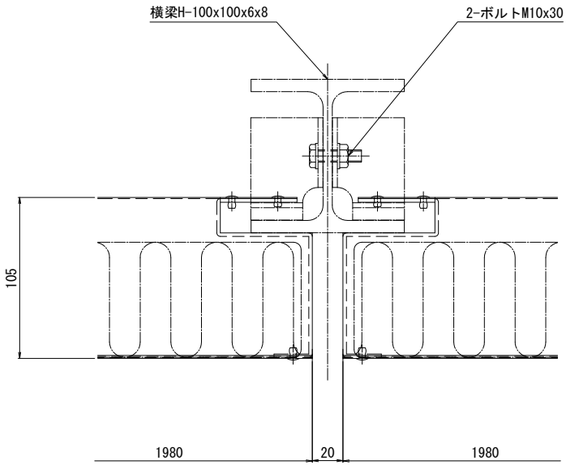
"a"部詳細図 S=1:2

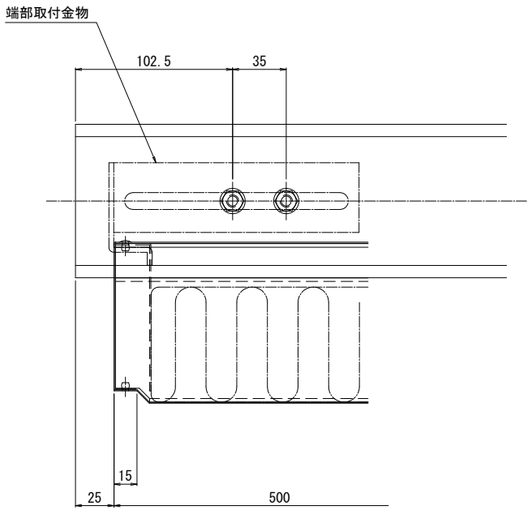


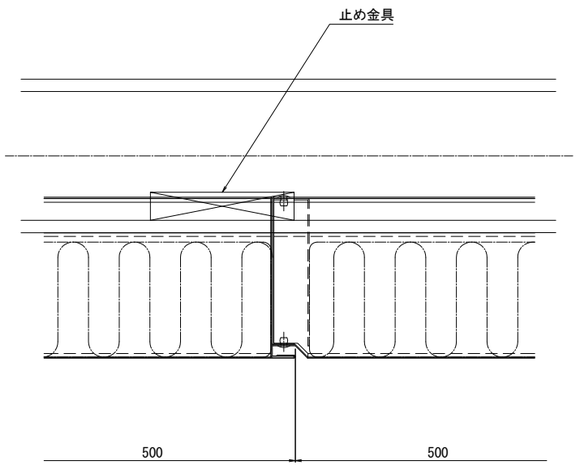
平成27年度		図面番号	109／130
路線名	都市計画道路十三高槻線		
業務名			
場　所	吹田市吹東町地内～吹田市南正雀３丁目地内		
図面名	裏面吸音板標準構造図（その1）	縮尺	S=1:5
大阪府茨木土木事務所			

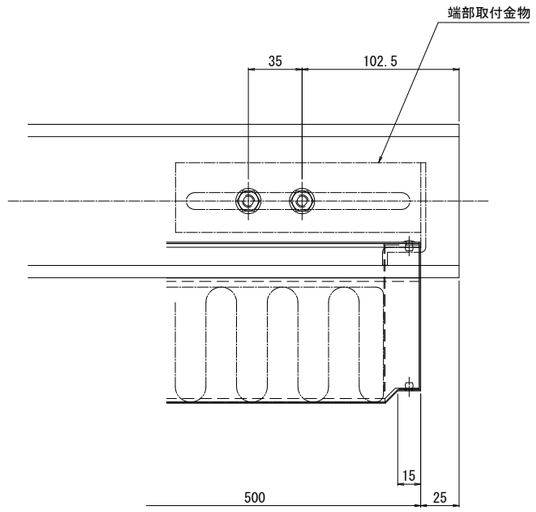
裏面吸音板端部取付金物詳細図　S=1:2

取付断面詳細図

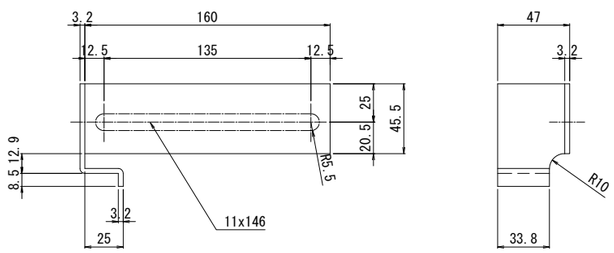








端部取付金物詳細図
（＋－100m/m対応型）



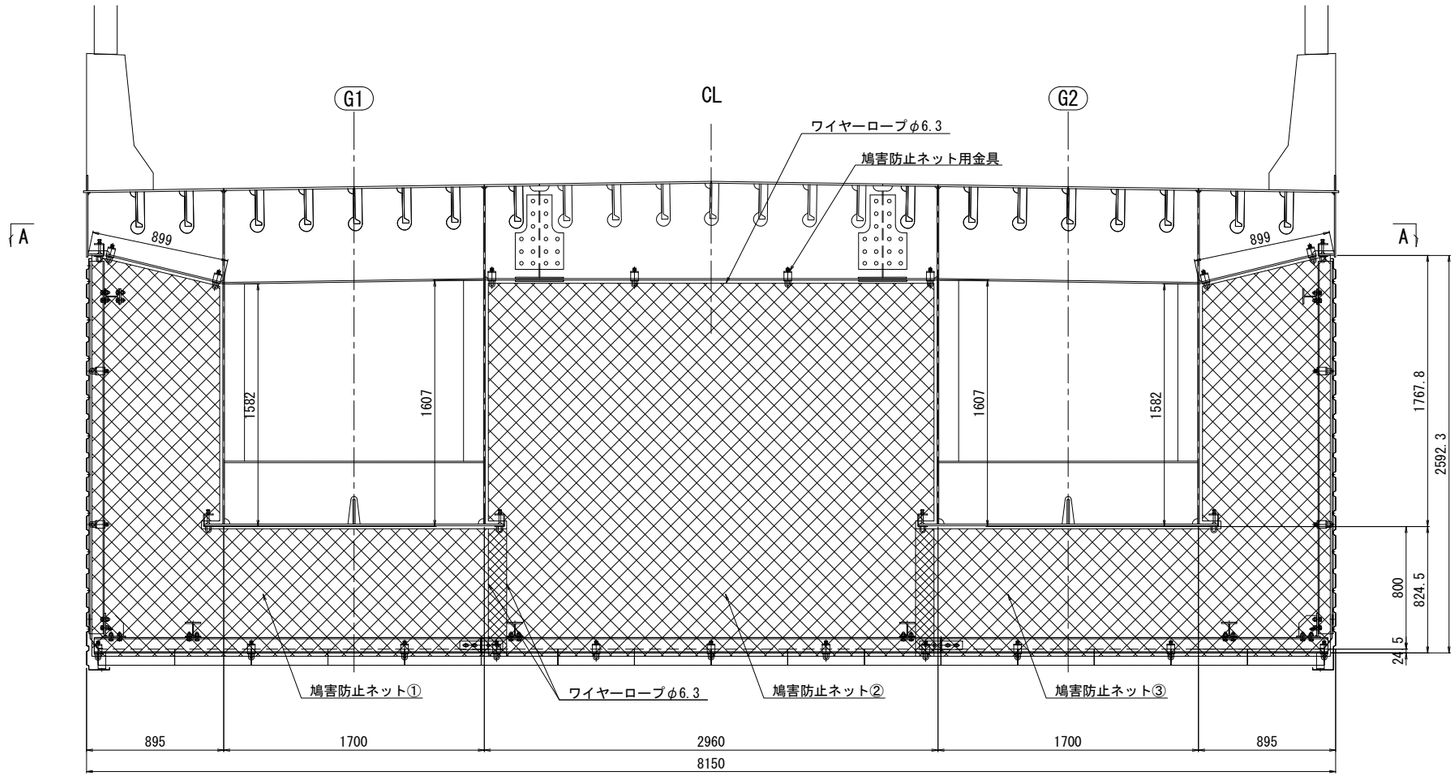
高耐候性めっき鋼板 t ＝3.2

数 量 表　（1箇所あたり）

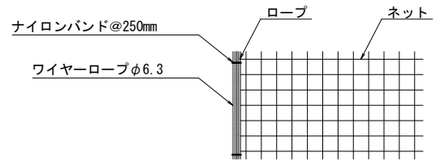
番号	種　別	寸　法	単位	数量	単位重量	重量	材　質	摘　要
1	端部取付金物	t=3.2	ヶ	2	－	－	SGH400相当　高耐候性メッキ鋼板	
2	ボルト・ナット	M10x45,1ｺﾙﾐ止めN,2W	組	2	－	－	SUS304	

平成27年度	図面番号	111／130	
路線名	都市計画道路十三高槻線		
業務名			
場　所	吹田市吹東町地内～吹田市南正雀3丁目地内		
図面名	裏面吸音板端部取付金物詳細図	縮尺	S=1:2
大阪府茨木土木事務所			

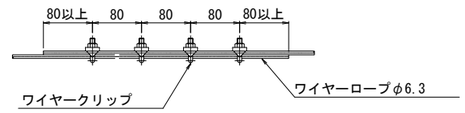
裏面吸音板起点側端部鳩害防止ネット詳細図　S=1:20



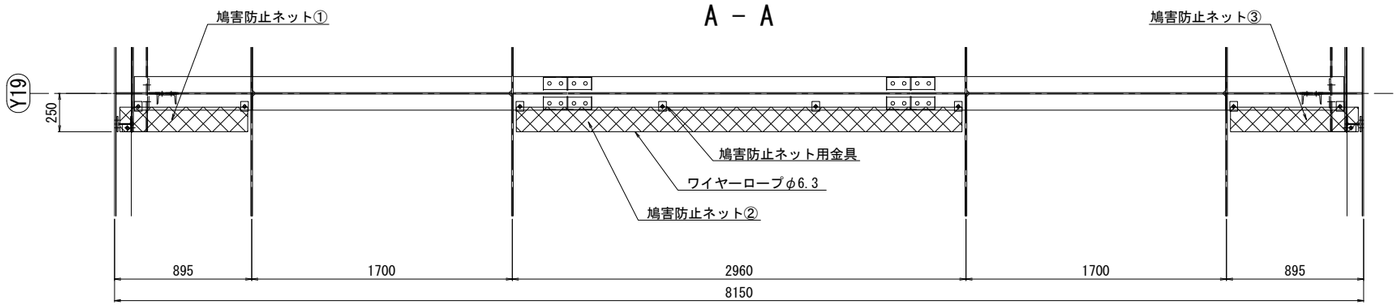
ネット取付詳細　S=1:5



ワイヤーロープ固定詳細　S=1:5



A－A

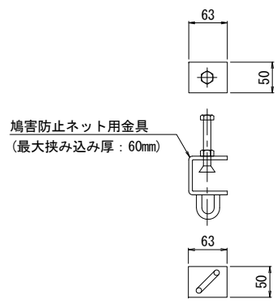


数量集計表

1箇所当り

項　　目	単位	数　量	備　考
ネット　（再生ポリエステル製　網目25mm　250デニール　46本より線　無結節タイプ）	㎡	14.1	
ワイヤーロープφ6.3（6x19 G/O）（ナイロン被覆）	m	25.9	JIS G 3525
鳩害防止ネット用金具	個	29	溶融亜鉛メッキ

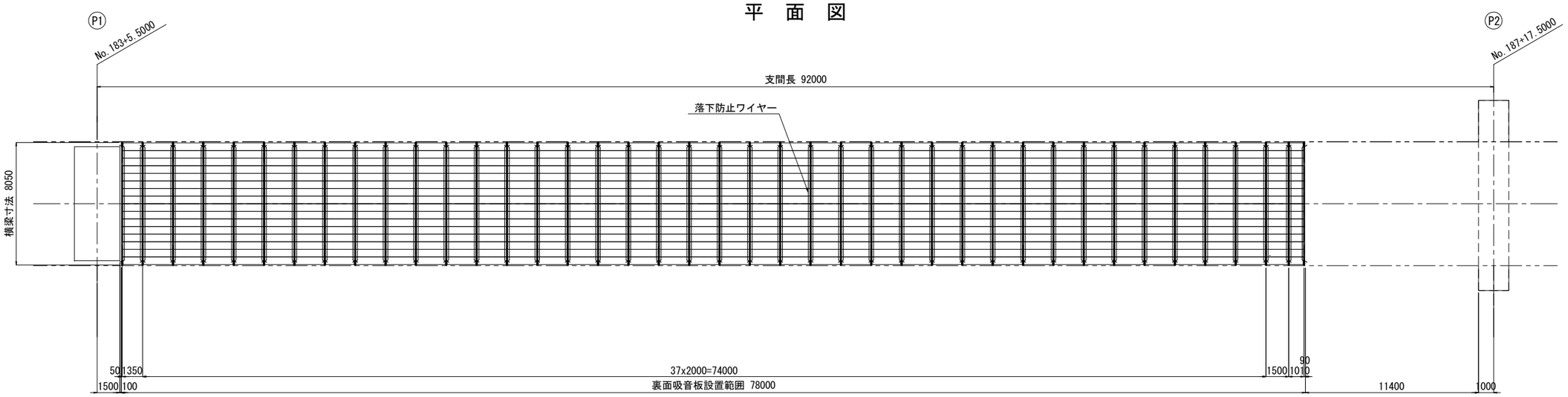
鳩害防止ネット用金具詳細 S=1:5



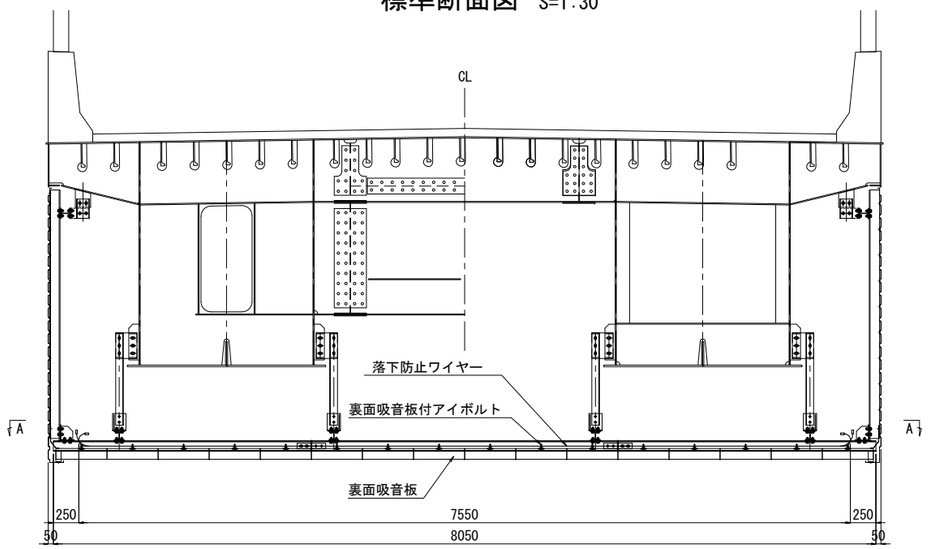
平成27年度	図面番号	116/130	
路線名	都市計画道路十三高槻線		
業務名			
場　所	吹田市吹東町地内～吹田市南正雀3丁目地内		
図面名	裏面吸音板起点側端部鳩害防止ネット詳細図	縮尺	S=1:20
大阪府茨木土木事務所			

裏面吸音板落下防止ワイヤー詳細図　S=1:150

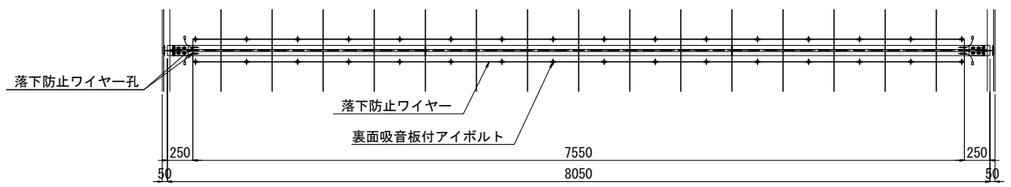
平　面　図



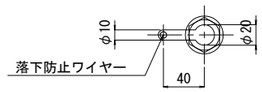
標準断面図　S=1:30



A － A　S=1:30



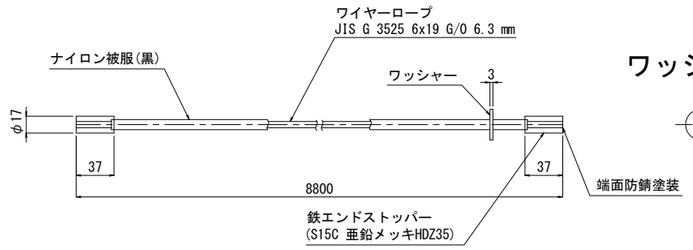
落下防止ワイヤー取付詳細　S=1:3



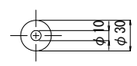
82-BN M16 x 40 (UN,2W付)

落下防止ワイヤー　S=1:3

（製作数 80本）



ワッシャー　S=1:3

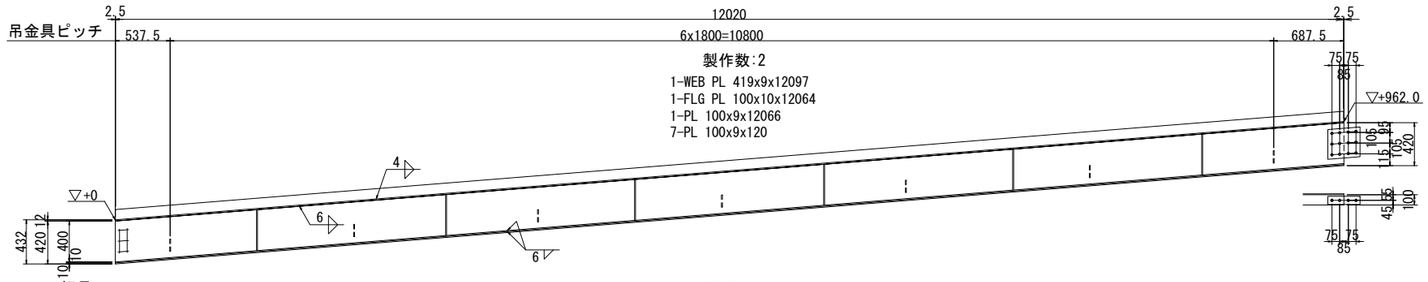


注記）

1. 特記なき材質はすべてSS400とする。
2. 特記なき材料は、溶融亜鉛めっきを施す。
   付着量は、以下の通りとする。
   ボルト・ナット：JIS H8641 HDZ35
   鋼　　材：JIS H8641 HDZ55
3. 普通ボルトは全て緩み止めナットを使用する。

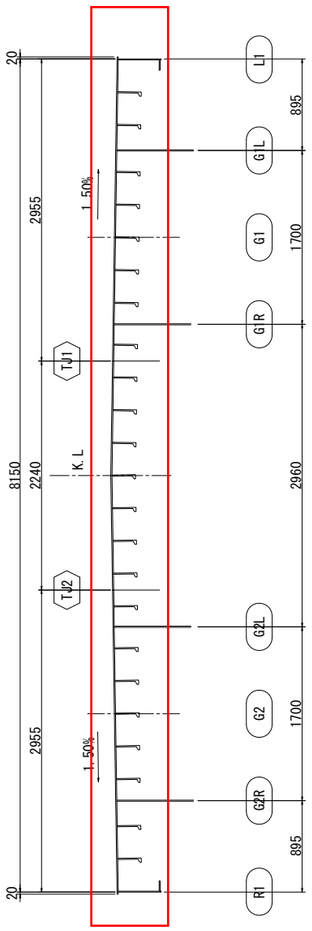
平成27年度	図面番号	112／130	
路線名	都市計画道路十三高槻線		
業務名			
場　所	吹田市吹東町地内～吹田市南正雀3丁目地内		
図面名	裏面吸音板落下防止ワイヤー詳細図	縮尺	S=1:150
大阪府茨木土木事務所			

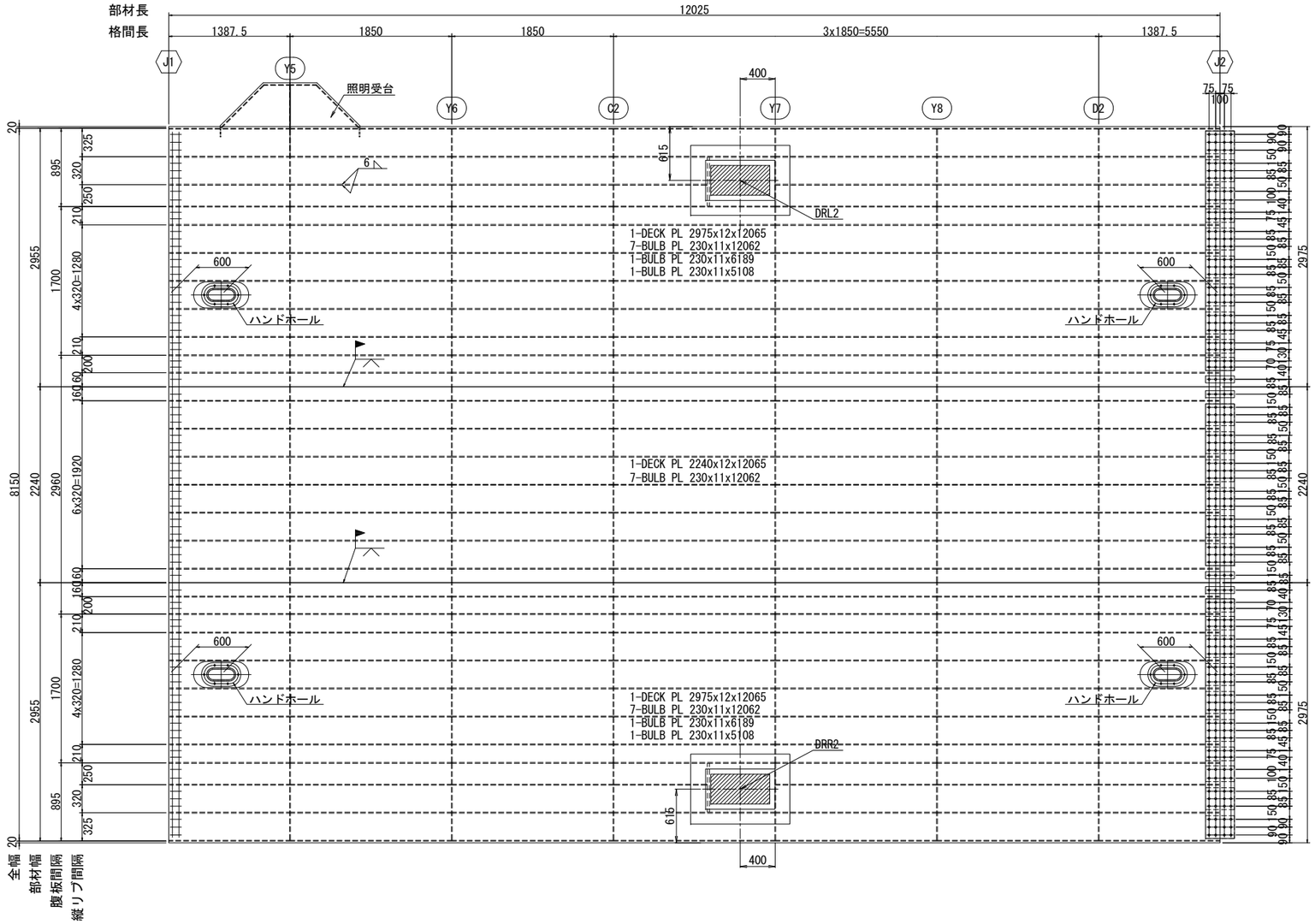
鋼床版（その2）　S=1:30



製作数:2
2-SPL PL 315x14x315(SS400)
12-TCB M22x75(S10T)
2-SPL PL 80x9x315(SS400)
4-TCB M22x65(S10T)

ハンドホール材料
製作数:4
1-PL 270x9x450(SS400)
1-PL 300x12x630
※ 6-BN M16x55(SS400)





L1～TJ1

J2デッキ（上面）
- 1-SPL PL 2740x9x330(SS400)
- 1-SPL PL 80x9x330(SS400)

（下面）
- 1-SPL PL 260x9x330(SS400)
- 5-SPL PL 250x9x330(SS400)
- 1-SPL PL 180x9x330(SS400)
- 2-SPL PL 155x9x330(SS400)
- 1-SPL PL 150x9x330(SS400)
- 1-SPL PL 80x9x330(SS400)
- 108-TCB M22x65(S10T)

縦リブ添接（製作数:8）
- 2-SPL PL 160x22x540(SS400)
- 10-TCB M22x90(S10T)

TJ1～TJ2

J2デッキ（上面）
- 1-SPL PL 1850x9x330(SS400)
- 2-SPL PL 80x9x330(SS400)

（下面）
- 6-SPL PL 250x9x330(SS400)
- 2-SPL PL 80x9x330(SS400)
- 80-TCB M22x65(S10T)

縦リブ添接（製作数:7）
- 2-SPL PL 160x22x540(SS400)
- 10-TCB M22x90(S10T)

TJ2～R1

J2デッキ（上面）
- 1-SPL PL 2740x9x330(SS400)
- 1-SPL PL 80x9x330(SS400)

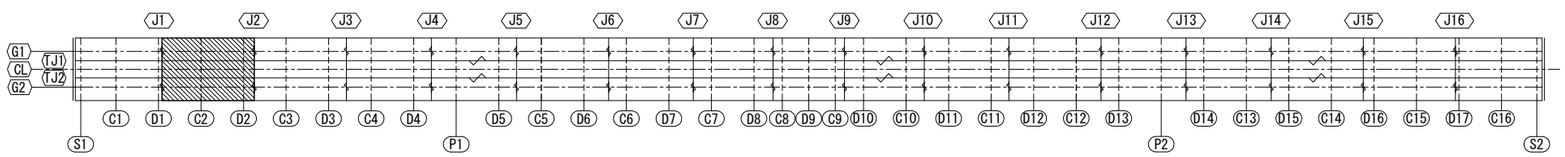
（下面）
- 1-SPL PL 150x9x330(SS400)
- 2-SPL PL 155x9x330(SS400)
- 5-SPL PL 250x9x330(SS400)
- 1-SPL PL 180x9x330(SS400)
- 1-SPL PL 260x9x330(SS400)
- 1-SPL PL 80x9x330(SS400)
- 108-TCB M22x65(S10T)

縦リブ添接（製作数:8）
- 2-SPL PL 160x22x540(SS400)
- 10-TCB M22x90(S10T)

注記）

1. 特記なき材質はすべてSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、35Rとする。
3. ⊕ 印は、T.C.B M22（S10T）を示す。
4. 詳細は、共通詳細図参照のこと。
5. 縦ﾘﾌﾞ添接ﾎﾞﾙﾄ孔は、鋼床版ｴﾝﾄﾞPL 全てφ26.5とする。
6. 部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35～HDZ55とする。
   但し、鋼材については、
   板厚　6mm以上の鋼材及び形鋼類并びに高力ボルト等はHDZ55
   板厚　3.2mm以上6mm以下の部材はHDZ45
   板厚　3.2mm未満の部材及びボルトナット類はHDZ35とする。

配　置　図



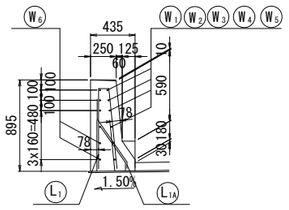
平成27年度	図面番号	12 / 130	
路線名	都市計画道路十三高槻線		
業務名			
場　所	吹田市吹東町地内～吹田市南正雀3丁目地内		
図面名	鋼床版（その2）	縮尺	S=1:30
大阪府茨木土木事務所			

壁高欄（その3）　S=1:30

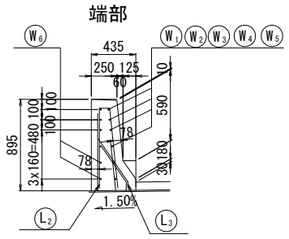
断面図

一般部

中間部

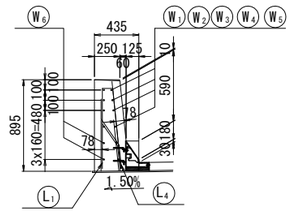


端部

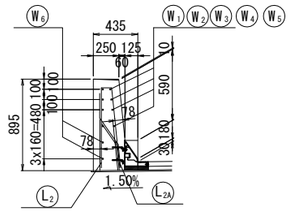


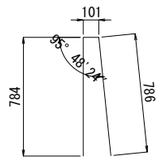
鋼製排水溝部

中間部

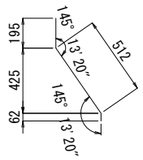


端部

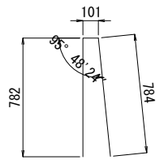




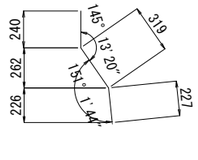
L1　1148-D13x1670



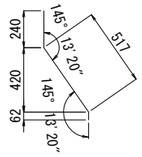
L1A　595-D13x770



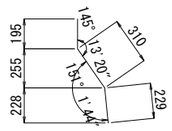
L2　378-D16x1670



L2A　194-D16x790

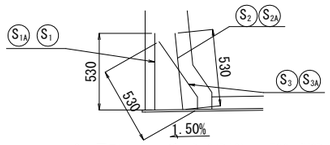


L3　184-D16x820



L4　553-D13x730

異形スタッド



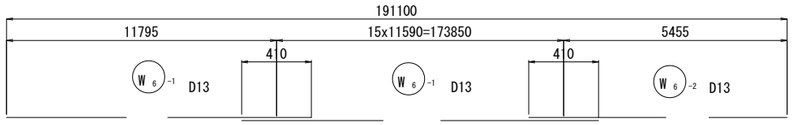
3- 異形スタッド　D16<D13> x 530 (NSD400)

S1　595-D13 x 530 (NSD400)

S1A　184-D16 x 530 (NSD400)

S2　595-D13 x 530 (NSD400)

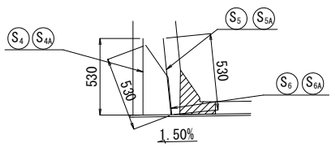
S2A　184-D16 x 530 (NSD400)



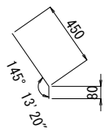
W6-1　64-D13x12000

W6-2　4-D13x5660

鋼製排水溝部



3- 異形スタッド　D16<D13> x 530 (NSD400)



S3　595-D13 x 530 (NSD400)

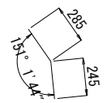
S3A　184-D16 x 530 (NSD400)

S4　194-D16 x 530 (NSD400)

S4A　553-D13 x 530 (NSD400)

S5　194-D16 x 530 (NSD400)

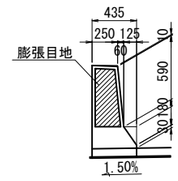
S5A　553-D13 x 530 (NSD400)

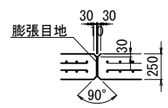


S6　194-D16 x 530 (NSD400)

S6A　553-D13 x 530 (NSD400)

目地詳細図



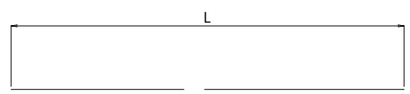


鉄　筋　表 (L1側,R1側各1箇所)

種別	径	長　さ (mm)	本数	単位重量 (kgf/m)	1本当り重量 (kgf)	重　量 (kgf)	摘　要
L1	D13	1650	1148	0.995	1.64	1883	|||
L1A	D13	810	595	0.995	0.81	482	\
L2	D16	1650	378	1.56	2.57	971	|||
L2A	D16	780	194	1.56	1.22	237	\
L3	D16	760	184	1.56	1.19	219	\
L4	D13	730	553	0.995	0.73	404	\
W1	D13	4625	16	0.995	4.60	74	——
W2	D13	9800	128	0.995	9.75	1248	——
W3	D13	4800	8	0.995	4.78	38	——
W4	D13	6800	8	0.995	6.77	54	——
W5	D13	9450	8	0.995	9.40	75	——
W6-1	D13	12000	64	0.995	11.94	764	——
W6-2	D13	5660	4	0.995	5.63	23	——
鉄筋重量合計							
				D16	1427	kgf	
				D13	5045	kgf	
				合　計	6472	kgf	

異形スタッド　鉄　筋　表 (L1側,R1側各1箇所)

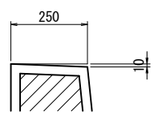
種別	径	長　さ (mm)	本数	単位重量 (kgf/m)	1本当り重量 (kgf)	重　量 (kgf)	摘　要
S1	D13	530	595	0.995	0.53	315		
S1A	D16	530	184	1.56	0.83	153		
S2	D13	530	595	0.995	0.53	315		
S2A	D16	530	184	1.56	0.83	153		
S3	D13	530	595	0.995	0.53	315	\
S3A	D16	530	184	1.56	0.83	153	\
S4	D16	530	194	1.56	0.83	161		
S4A	D13	530	553	0.995	0.53	293		
S5	D16	530	194	1.56	0.83	161		
S5A	D13	530	553	0.995	0.53	293		
S6	D16	530	194	1.56	0.83	161	\
S6A	D13	530	553	0.995	0.53	293	\
鉄筋重量合計							
				D16	942	kgf	
				D13	1824	kgf	
				合　計	2766	kgf	



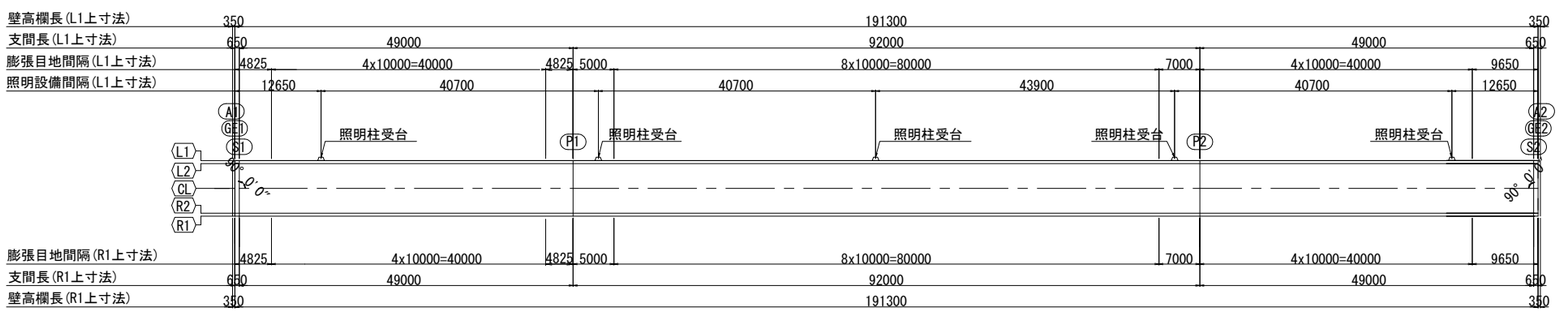
Wn　N-D13x L

	L	N
W 1	4625	16
W 2	9800	128
W 3	4800	8
W 4	6800	8
W 5	9450	8

壁高欄天端詳細　S=1:10



配　置　図



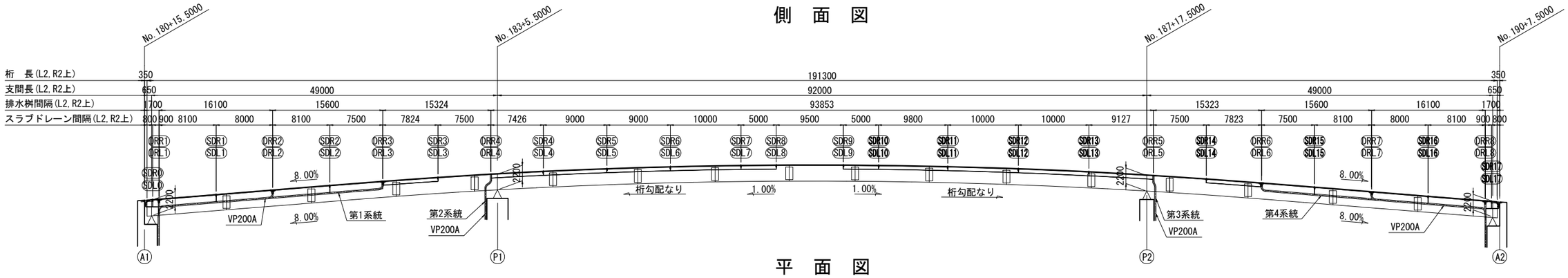
注記

1. 特記なき材質は全て以下の通りとする。
   鉄筋：SD345
   異形スタッド鉄筋：NSD400
   コンクリート強度：σck=24N/mm2
2. 鋼床版現場継手附近の異形スタッドピッチは、添接板ボルトの取合いを考慮し,適宜に調整すること。異形スタッドは現場溶接とする。

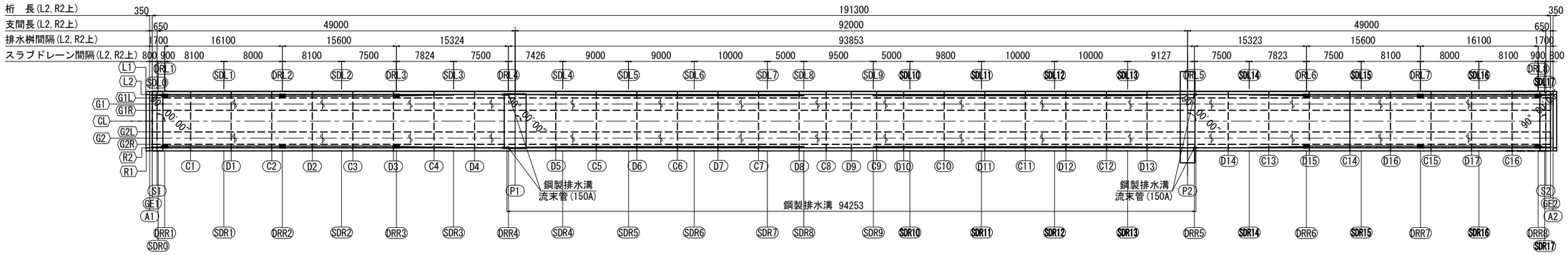
平成27年度		図面番号	59 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線		
業務名			
場　所	吹田市吹東町地内～吹田市南正雀３丁目地内		
図面名	壁高欄（その3）	縮尺	S=1:30
大阪府茨木土木事務所			

上部工排水装置（その1） S=1:300

側 面 図

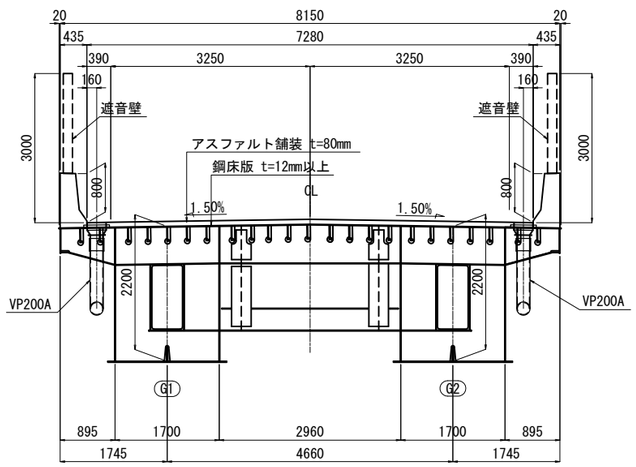


平 面 図

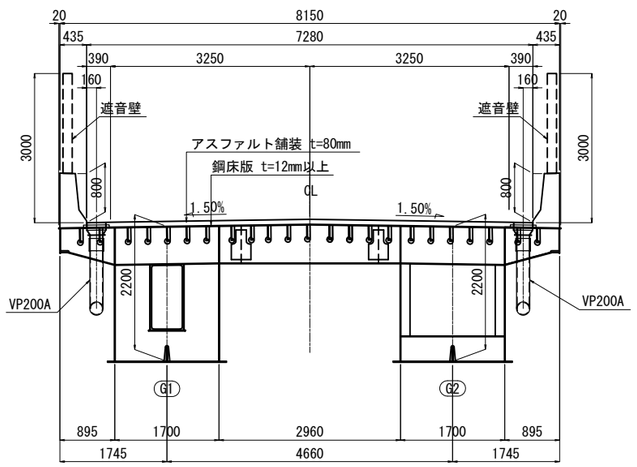


断 面 図 S=1:50

横桁

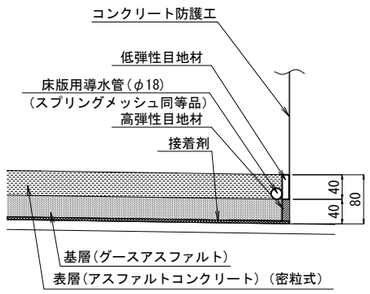


ダイヤフラム　　横リブ

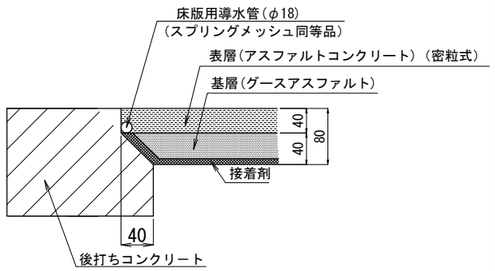


防水層詳細 S=1:5

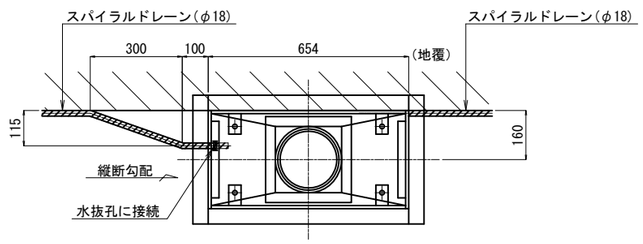
車道部



桁 端 部



排水桝部詳細図 S=1:10



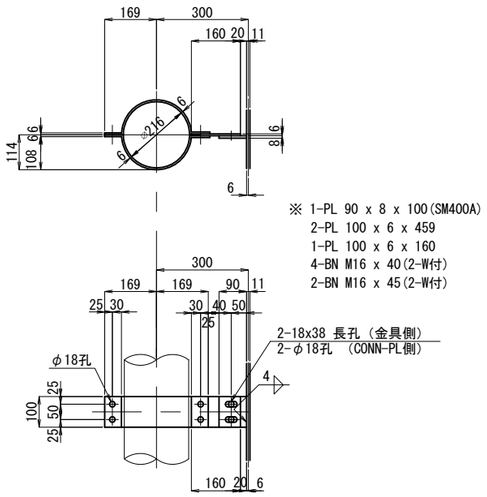
平成27年度	図面番号	68 / 130	
路線名	都市計画道路十三高槻線		
業務名			
場 所	吹田市吹東町地内～吹田市南正雀3丁目地内		
図面名	上部工様水装置（その1）	縮尺	S=1:300
大阪府茨木土木事務所			

上部工排水装置（その8） S=1:10

取付金具詳細図

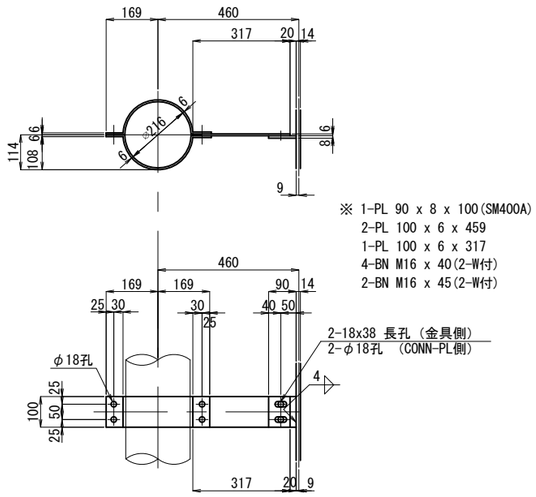
S1

製作数 ： 8個



S2

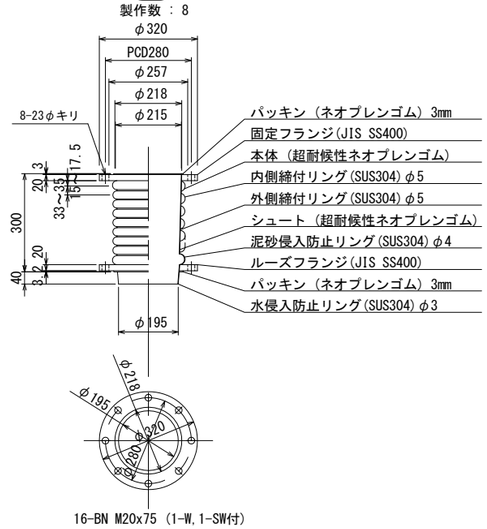
製作数 ： 8個



伸縮管詳細

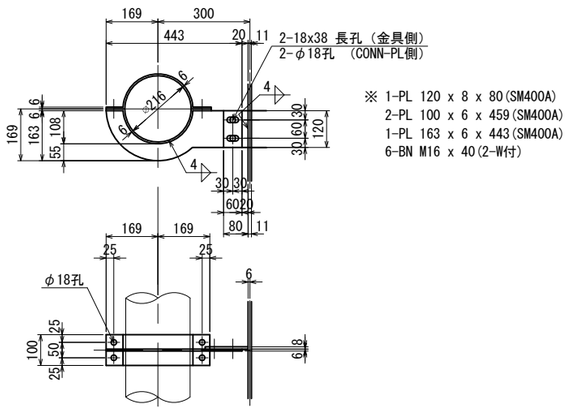
EX1

製作数 ： 8



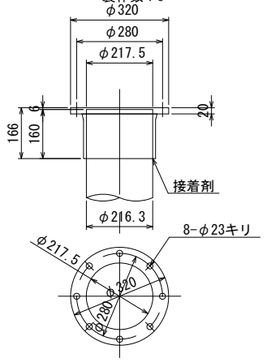
B1

製作数 ： 84個



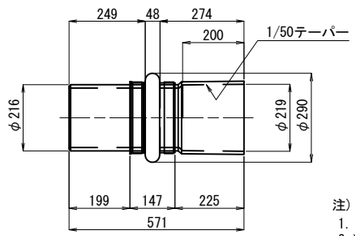
VP用継手フランジ

JIA SKタイプ　材質PVC
重量 3.4kgf
製作数：8



EX2

製作数 ： 8



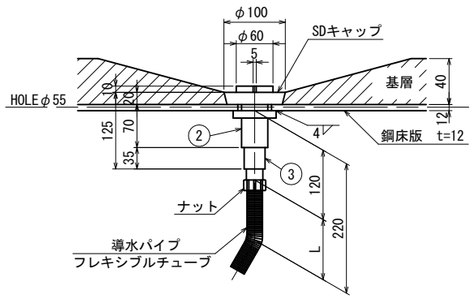
注）
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35～HDZ55とする。
但し、鋼材については、
板厚　6mm以上の鋼材及び形鋼類并びに高力ボルト等はHDZ55
板厚　3.2mm以上6mm以下の部材はHDZ45
板厚　3.2mm未満の部材及びボルトナット類
はHDZ35とする。
3. ナットは，全て緩み止めナットを使用すること。

平成27年度	図面番号	75／130	
路線名	都市計画道路十三高槻線		
業務名			
場　所	吹田市吹東町地内～吹田市南正雀3丁目地内		
図面名	上部工排水装置（その8）	縮尺	S=1:10
大阪府茨木土木事務所			

上部工排水装置（その12）S=1:5

スラブドレーン詳細

製作数:36組

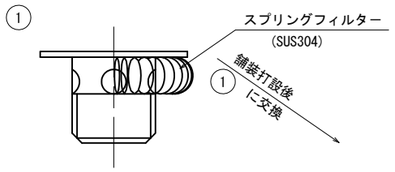


注 記

施工時は、ＳＤキャップを舗装打設後 ① に交換する。

② は工場溶接とし、③ を現場で接続とする。

路肩部については、直接 ① を接続する。



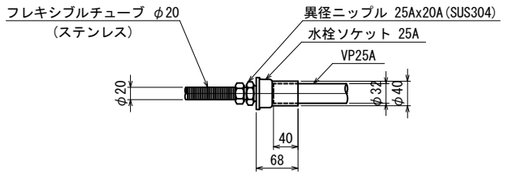
スラブドレーン部材表

部 材 名		寸 法	備 考
本体構成部品	①	φ34.0 x 35	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)キャップ付(2.3txφ60)
本体構成部品	②	φ42.7 x 70	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)つ ば 付(12ｔxφ70)
本体構成部品	③	φ40.0 x 80	樹脂性
目詰り防止フィルター			スプリングフィルター (SUS304)
ＳＤキャップ (耐熱用)		φ100 x 45	66ナイロン 34グラスファイバー

ソケット詳細図

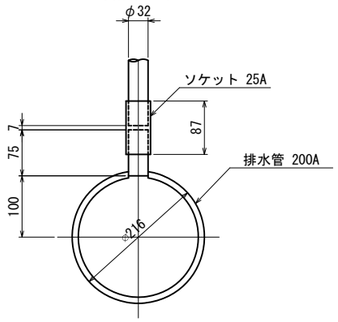
異径ニップル+水栓ソケット 25A

製作数:8組



排水管接続部

製作数:12組

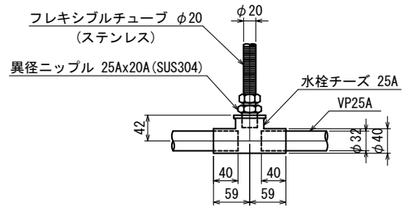


橋面排水管接続部詳細

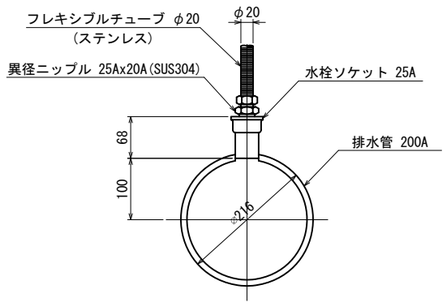
Tチーズ詳細図

異径ニップル+水栓チーズ 25A

製作数:20組

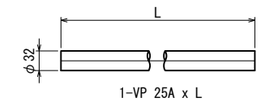


製作数:8組



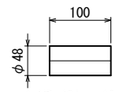
直管詳細図

製作数:n本



1-VP 25A x L

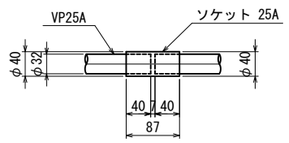
製作数:4本



1-VP 40A x 100

ソケット 25A

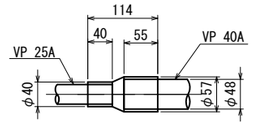
製作数:50組



	L	n
①	4000	34
②	3477	2
③	3228	2
④	956	2
⑤	952	2
⑥	1969	2
⑦	1796	4
⑧	3000	2
⑨	3028	2
⑩	1750	2
⑪	1953	2
⑫	1957	2
⑬	926	2
⑭	699	4

径違いソケット VP 40x25

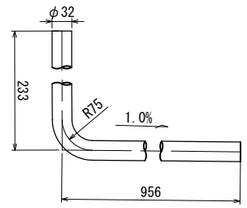
製作数:4個



加工管詳細

R8

製作数:4本

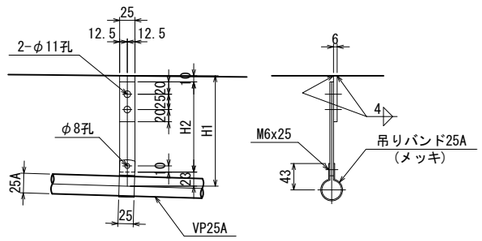


1-VP 25A x 1189

取付金具詳細図(VP25A)

SBn

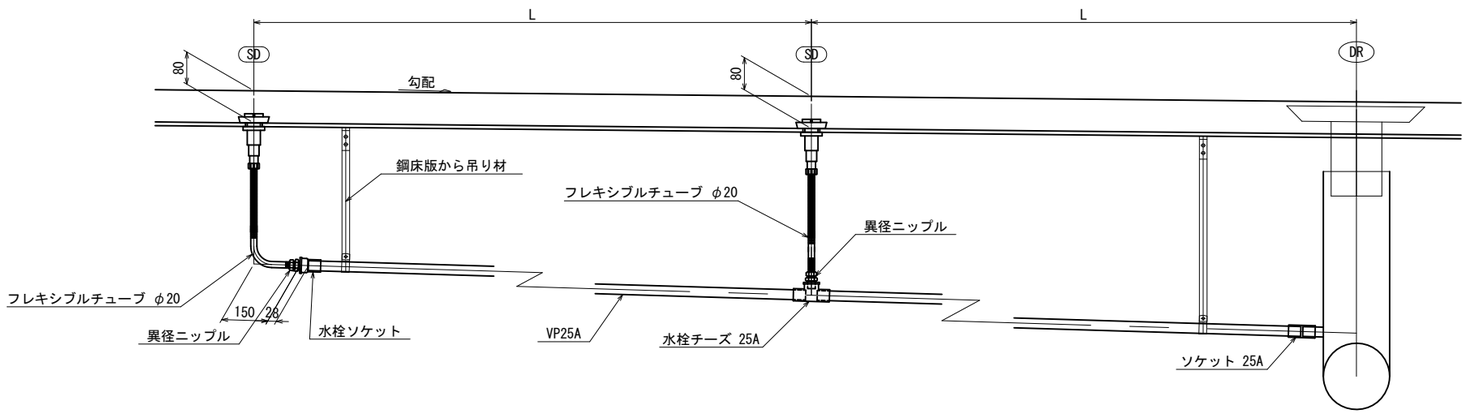
製作数:n個



1組当り
1-PL 25x6x 75 (SM400A)
1-PL 25x6x H2
2-BN M8x25 (1-W付)
1-吊バンド25A (A10157同等品) (メッキ)(M6x25付き)

SBn	H1	H2	n
SB1	688	655	104
SB2	686	653	40
SB3	683	650	22
SB4	684	651	6
SB5	685	652	6
SB6	681	648	2
SB7	678	645	2
SB8	682	649	2
SB9	795	762	4
SB10	818	785	4
SB11	963	930	4
SB12	981	948	4

水抜き管接続詳細(標準部) S=1:10



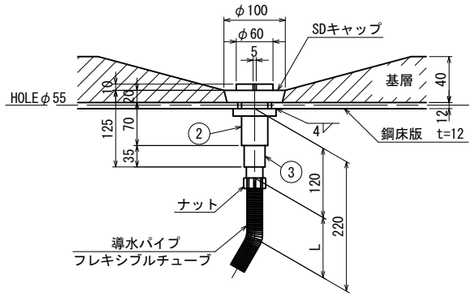
注)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35～HDZ55とする。
但し、鋼材については、
板厚 6mm以上の鋼材及び形鋼類并びに高力ボルト等はHDZ55
板厚 3.2mm以上6mm以下の部材はHDZ45
板厚 3.2mm未満の部材及びボルトナット類
はHDZ35とする。
3. ナットは、全て緩み止めナットを使用すること。

平成27年度	図面番号	79 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名		
場 所	吹田市吹東町地内～吹田市南正雀3丁目地内	
図面名	上部工排水装置 (その12)	縮尺 S=1:5
大阪府茨木土木事務所		

上部工排水装置（その12）S=1:5

スラブドレーン詳細

製作数:36組

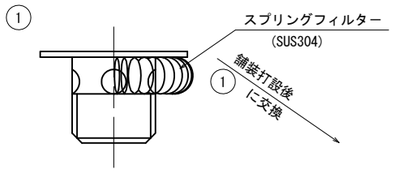


注 記

施工時は、ＳＤキャップを舗装打設後 ① に交換する。

② は工場溶接とし、③ を現場で接続とする。

路肩部については、直接 ① を接続する。



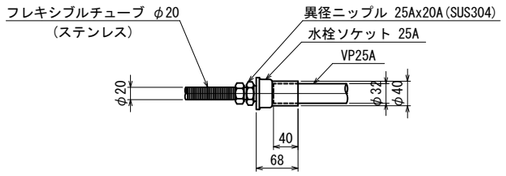
スラブドレーン部材表

部 材 名		寸 法	備 考
本体構成部品	①	φ34.0 x 35	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)キャップ付(2.3txφ60)
本体構成部品	②	φ42.7 x 70	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)つ ば 付(12ｔxφ70)
本体構成部品	③	φ40.0 x 80	樹脂性
目詰り防止フィルター			スプリングフィルター (SUS304)
ＳＤキャップ (耐熱用)		φ100 x 45	66ナイロン 34グラスファイバー

ソケット詳細図

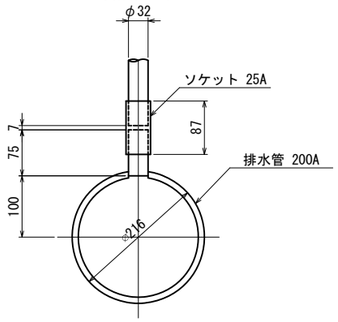
異径ニップル+水栓ソケット 25A

製作数:8組



排水管接続部

製作数:12組

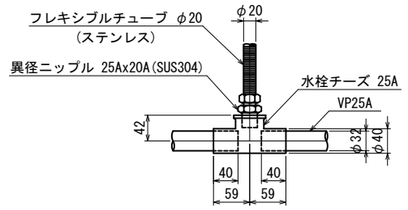


橋面排水管接続部詳細

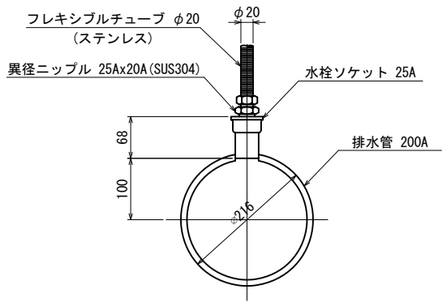
Tチーズ詳細図

異径ニップル+水栓チーズ 25A

製作数:20組

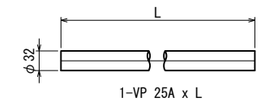


製作数:8組



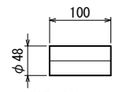
直管詳細図

製作数:n本



1-VP 25A x L

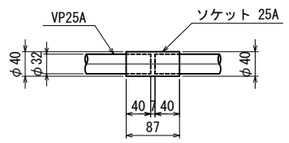
製作数:4本



1-VP 40A x 100

ソケット 25A

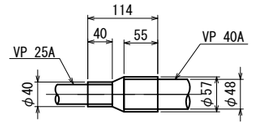
製作数:50組



	L	n
①	4000	34
②	3477	2
③	3228	2
④	956	2
⑤	952	2
⑥	1969	2
⑦	1796	4
⑧	3000	2
⑨	3028	2
⑩	1750	2
⑪	1953	2
⑫	1957	2
⑬	926	2
⑭	699	4

径違いソケット VP 40x25

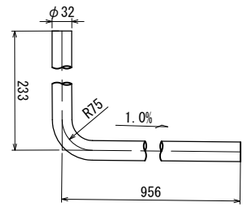
製作数:4個



加工管詳細

R8

製作数:4本

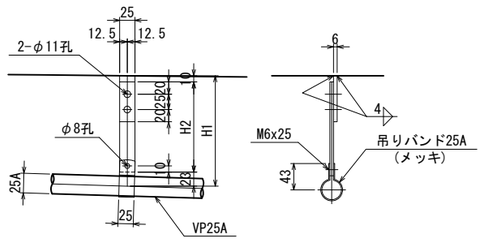


1-VP 25A x 1189

取付金具詳細図(VP25A)

SBn

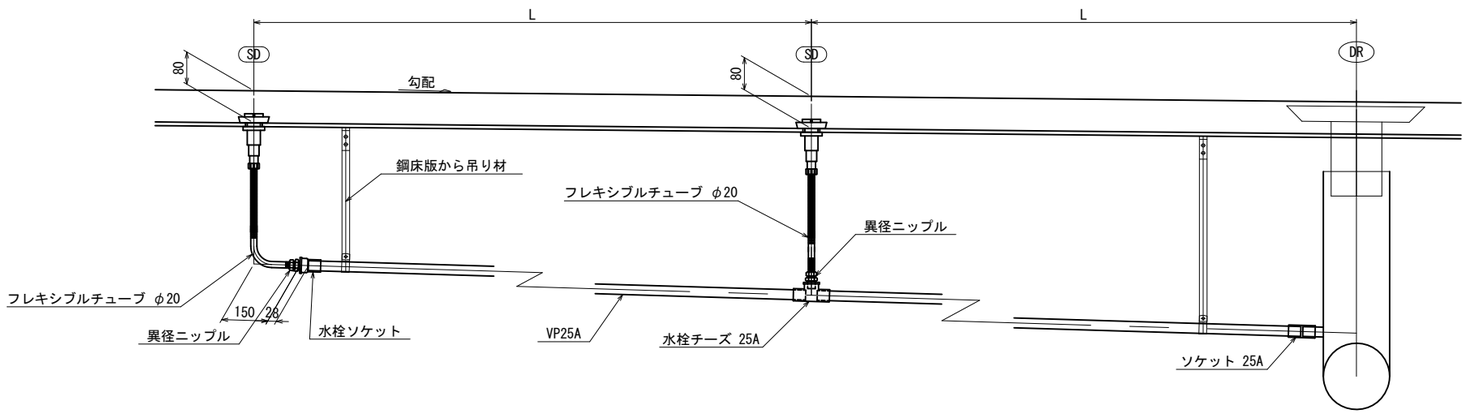
製作数:n個



1組当り
1-PL 25x6x 75 (SM400A)
1-PL 25x6x H2
2-BN M8x25 (1-W付)
1-吊バンド25A (A10157同等品) (メッキ)(M6x25付き)

SBn	H1	H2	n
SB1	688	655	104
SB2	686	653	40
SB3	683	650	22
SB4	684	651	6
SB5	685	652	6
SB6	681	648	2
SB7	678	645	2
SB8	682	649	2
SB9	795	762	4
SB10	818	785	4
SB11	963	930	4
SB12	981	948	4

水抜き管接続詳細(標準部) S=1:10



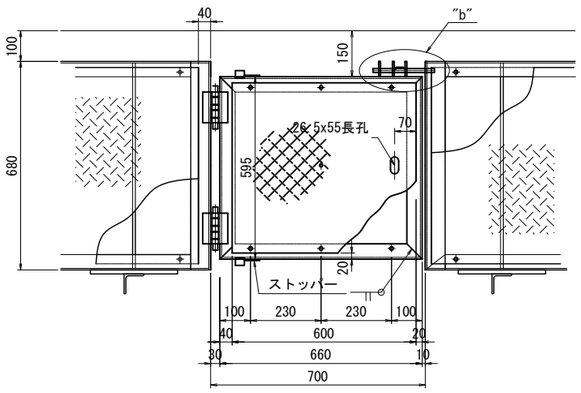
注)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35～HDZ55とする。
但し、鋼材については、
板厚 6mm以上の鋼材及び形鋼類并びに高力ボルト等はHDZ55
板厚 3.2mm以上6mm以下の部材はHDZ45
板厚 3.2mm未満の部材及びボルトナット類
はHDZ35とする。
3. ナットは、全て緩み止めナットを使用すること。

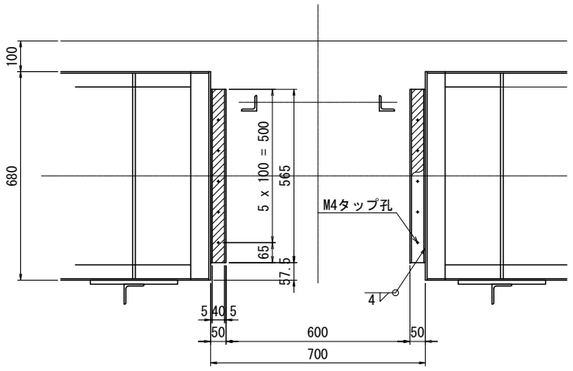
平成27年度	図面番号	79 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名		
場 所	吹田市吹東町地内～吹田市南正雀3丁目地内	
図面名	上部工排水装置 (その12)	縮尺 S=1:5
大阪府茨木土木事務所		

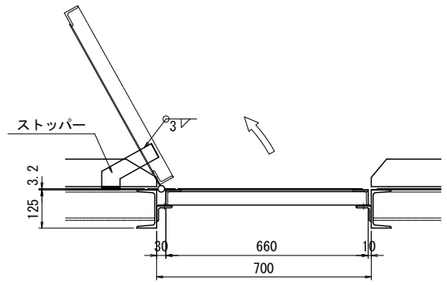
下部工検査路(その6) S=1:10

マンホール詳細

製作数 : 3





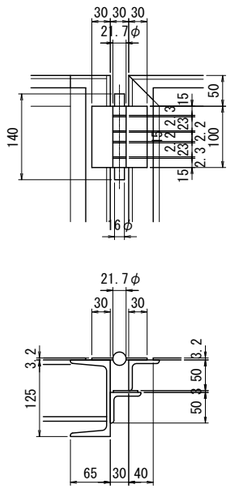


2 - L 50 x 50 x 6 x 660
2 - L 50 x 50 x 6 x 595
1 - Ch.Pl 555 x 3.2 x 600(SS400相当品)
6 - B.N M10 x 30 (2-W)

1 - L 50 x 50 x 6 x 565
1 - ゴム 40 x 3 x 565
(エチレンプロピレンゴム)
5 - 皿ネジ M4 x 8

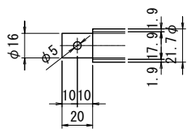
1 - L 50 x 50 x 6 x 565
1 - ゴム 40 x 3 x 565
(エチレンプロピレンゴム)
5 - 皿ネジ M4 x 8
2 - F.B 50 x 6 x 50
1 - F.B 50 x 6 x 50

蝶番詳細 S=1:5

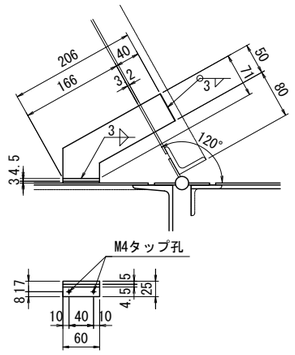


1箇所当り部材 (設置数 : 2箇所)
2 - Pl 30 x 3.2 x 100 (SM400A)
3 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 15 (STK400)
2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 23 (STK400)
1 - RB φ16 x 140(SS400)
2 - 割りピン φ5 x 36 (SWRM8)

ピン端部詳細 S=1:2

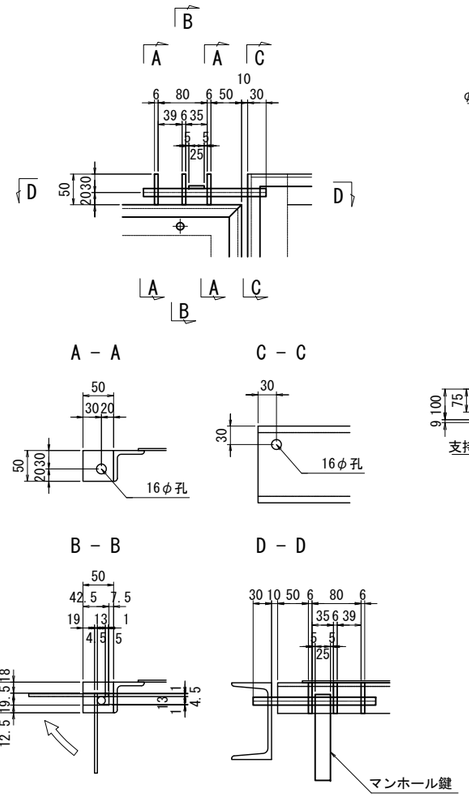


ストッパー部詳細 S=1:5

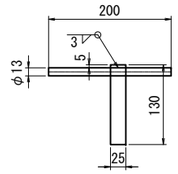


1箇所当り部材 (設置数 : 2箇所)
1 - Pl 25 x 4.5 x 60 (SM400A)
1 - Pl 206 x 4.5 x 71 (SM400A)
1 - ゴム 25 x 3 x 60 (エチレンプロピレンゴム)
2 - 皿ネジ M4 x 8

"b"部詳細 S=1:5

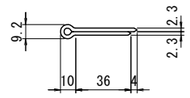


マンホール鍵詳細 S=1:5



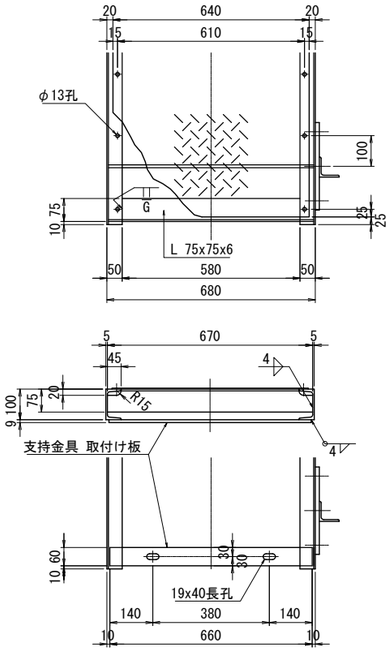
1 - RB φ13 x 200
1 - FB 25 x 4.5 x 130

割りピン詳細 S=1:2

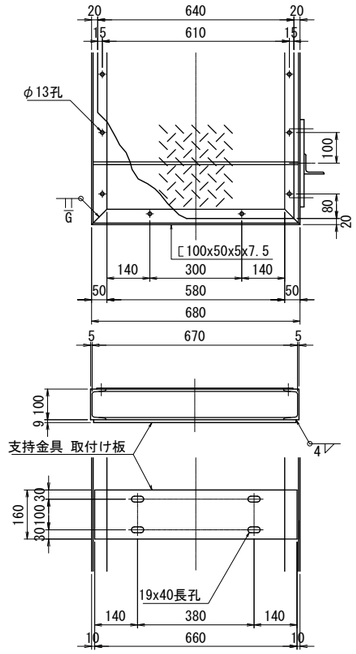


歩廊端部詳細

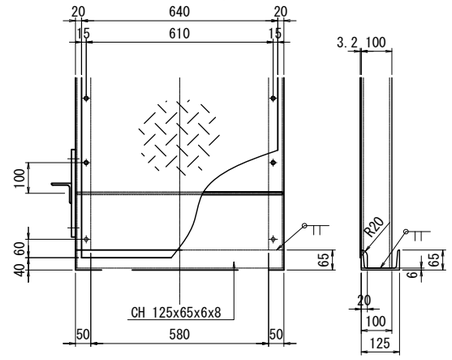
架け違い部



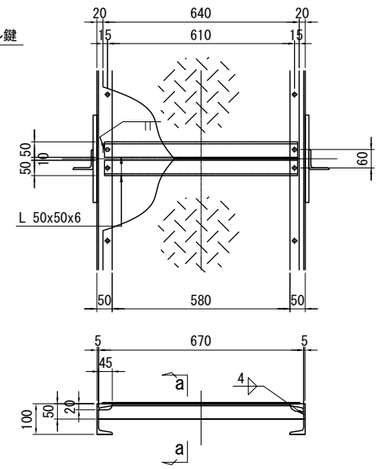
端 部



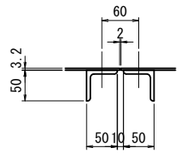
マンホール部



"a"部詳細



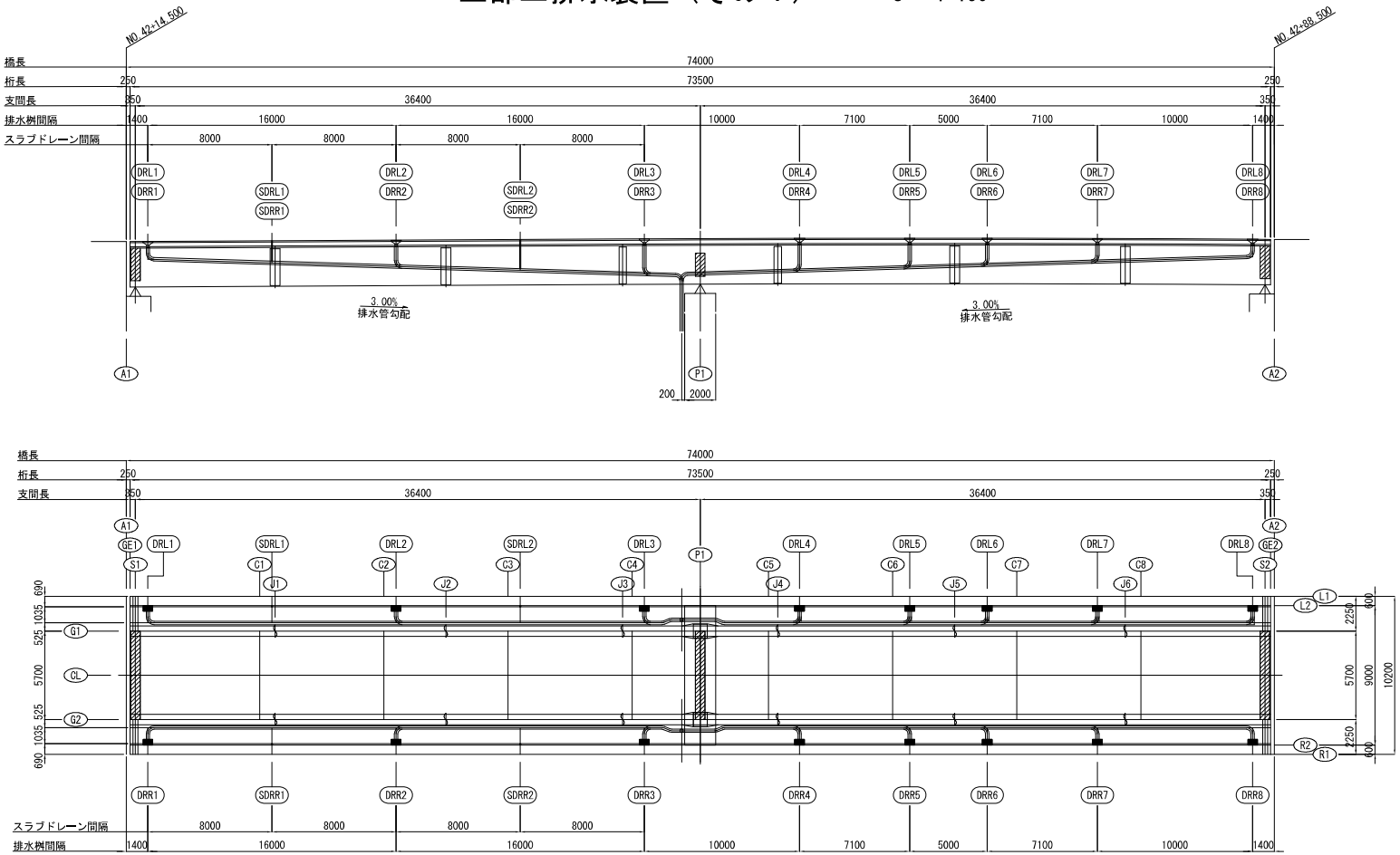
a - a S=1:5



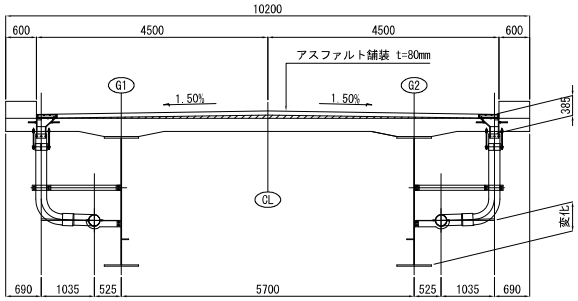
注記
1. 特記なき材質は, 全てSS400とする.
2. Uボルト付き以外のナットは, 全て緩み止め
ナットを使用すること.
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35～HDZ55とする。
但し、鋼材については、
板厚 6mm以上の鋼材及び形鋼類并びに高力ボルト等はHDZ55
板厚 3.2mm以上6mm以下の部材はHDZ45
板厚 3.2mm未満の部材及びボルトナット類
はHDZ35とする。

平成27年度	図面番号		
路線名	都市計画道路十三高槻線		
業務名			
場 所	吹田市吹東町地内～吹田市南正雀3丁目地内		
図面名	下部工検査路(その6)	縮尺	S=1:10
大阪府茨木土木事務所			

上部工排水装置（その１）　S = 1:150



断面図　S=1:50



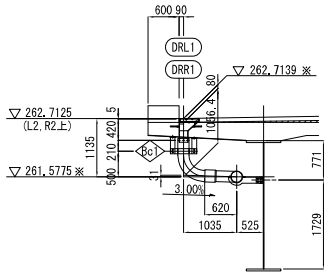
注　記

1．G2桁は、CLに線対称とする。

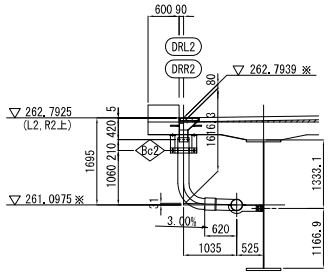
年　度	平成27年	番　号	38/153
路線 河川 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	上部工排水装置（その１）		
縮　尺	図　示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

上部工排水装置（その２）　S = 1:50

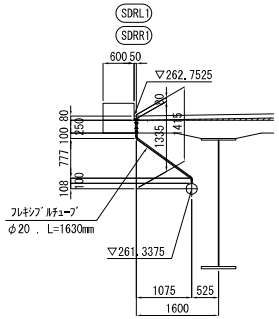
a － a

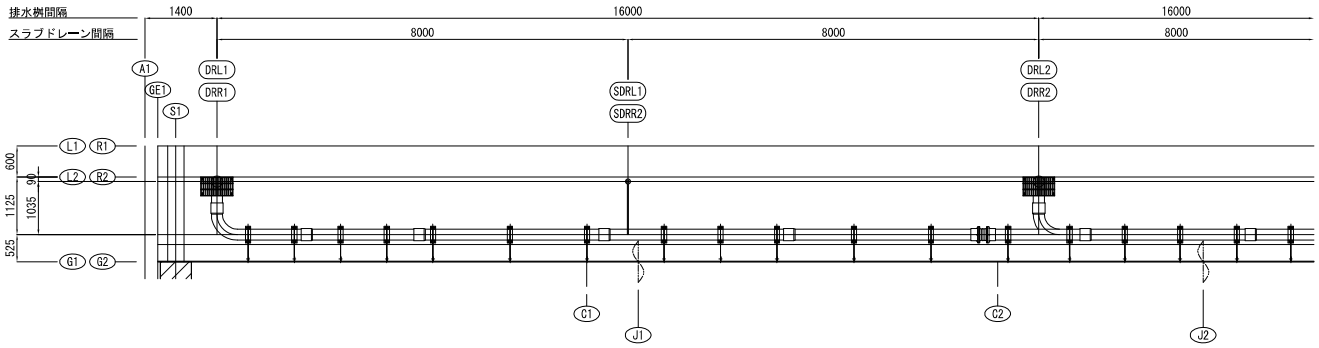


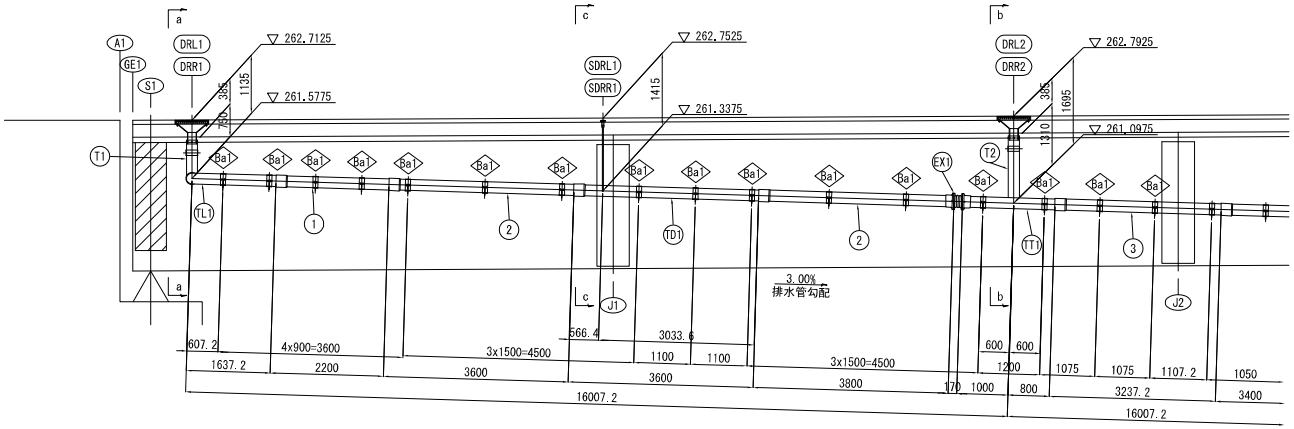
b － b



c － c







<排水数量 L側,R側>

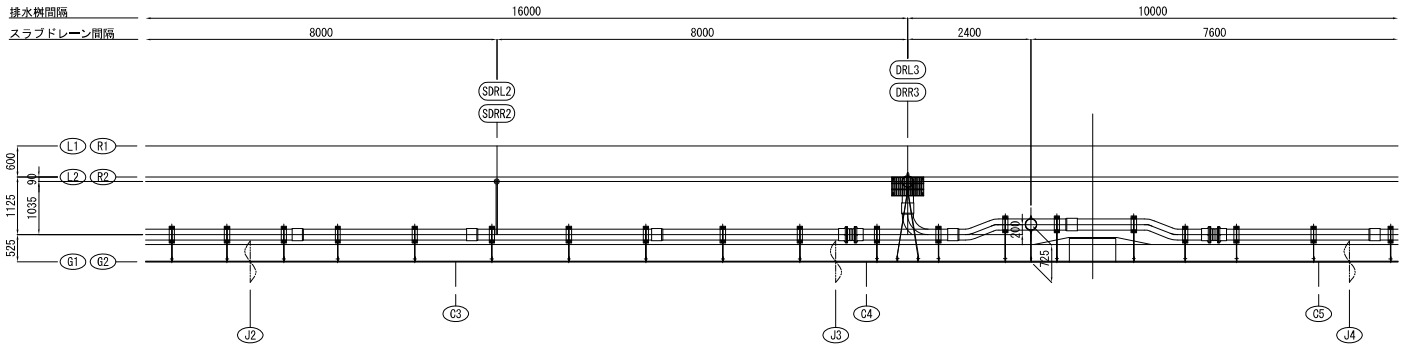
直管		加工管		伸縮管		取付金具	
①	2－VP　200A x　2400（スリーブ付）	T1	：　2 個	EX1	：　2 個	Ba1	：　32 個
②	4－VP　200A x　3800（スリーブ付）	T2	：　2 個	VP用TSフランジ ： 4 個		Bc1	：　2 個
③	2－VP　200A x　3437（スリーブ付）	TL1	：　2 個			Bc2	：　2 個
		TT1	：　2 個				
		TD1	：　2 個				

注　記

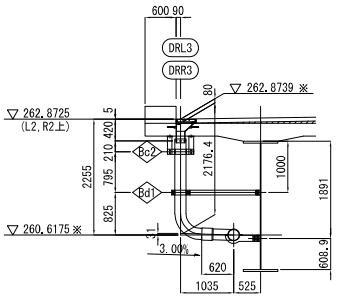
1．※印付標高は、排水管中心の標高を示す。

年　度	平成27年	番　号	39/153
路線 河川 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	上部工排水装置（その２）		
縮　尺	1:50	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

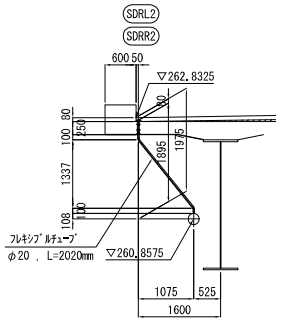
上部工排水装置（その３）　S = 1:50

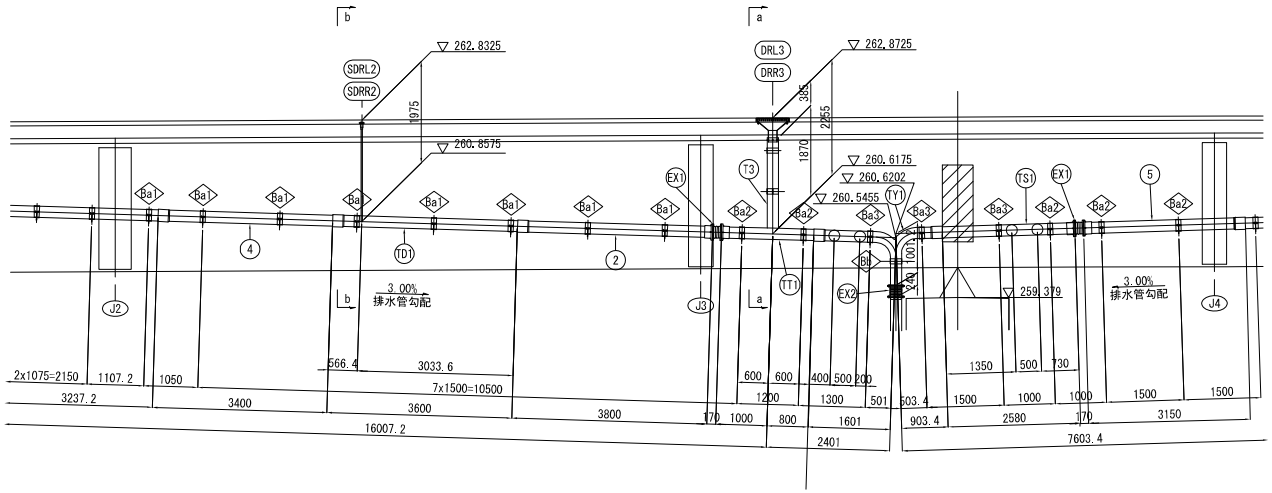


a － a



b － b





<排水数量 L側,R側>

直管		加工管		伸縮管		取付金具	
②	2－VP　200A x　3800（スリーブ付）	T3	： 2 個	EX1	： 4 個	Ba1	： 16 個
④	2－VP　200A x　3600（スリーブ付）	TT1	： 2 個	VP用TSフランジ	： 8 個	Ba2	： 10 個
⑤	2－VP　200A x　3150（スリーブ付）	TY1	： 2 個			Ba3	： 6 個
		TD1	： 2 個			Bc	： 2 個
		TS1	： 2 個			Bc2	： 2 個
						Bd1	： 2 個

注　記

1．※印付標高は、排水管中心の標高を示す。

年　度	平成27年	番　号	40/153
路線 河川 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	上部工排水装置（その３）		
縮　尺	1:50	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

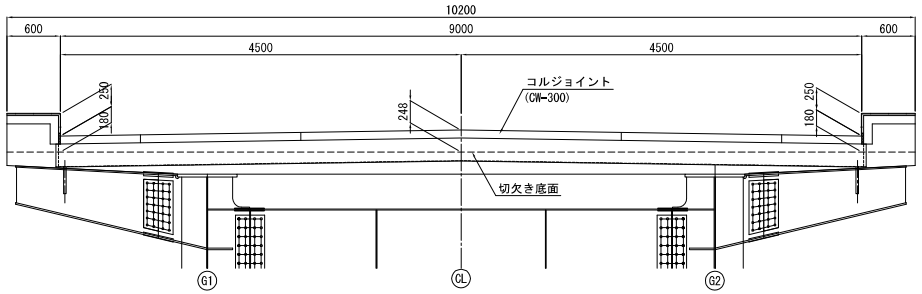
伸縮継手装置（その1）

S = 1:30

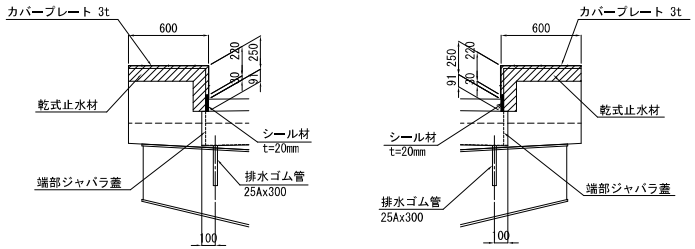
A1 A2

（二次止水対策済）

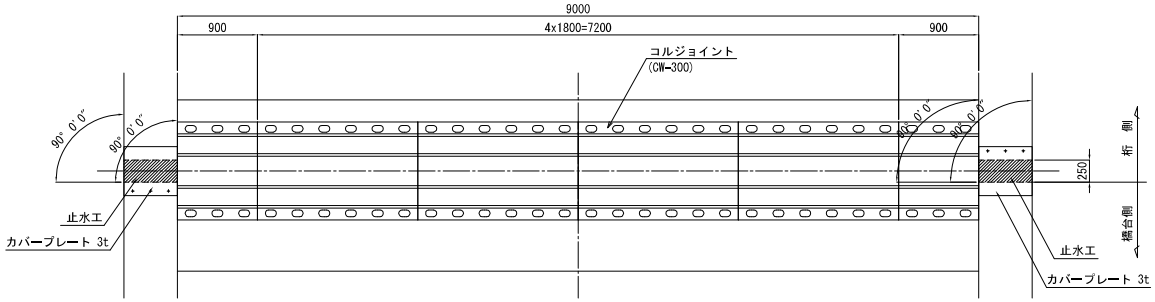
横断面図



地覆部止水工 S=1:20

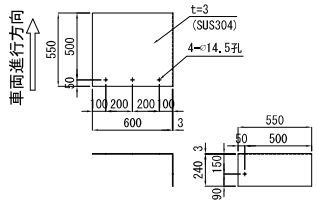


伸縮装置平面割付図

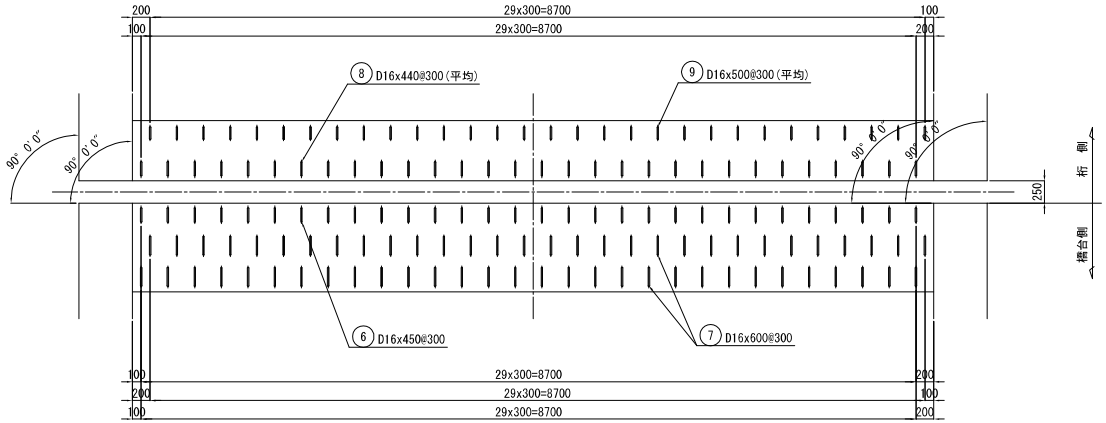


カバープレート詳細図 S=1:20

（製作数：2）

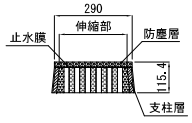


補強鉄筋⑥⑦⑧⑨平面割付図

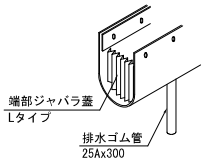


乾式止水材 S=1:10

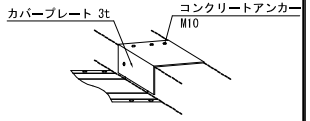
No.28



端部ジャバラ蓋詳細図



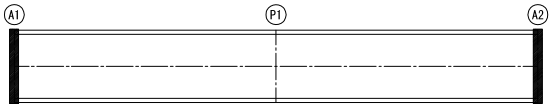
地覆部姿図



注 記

1. 各部詳細図及び材料表は、「伸縮装置詳細図(その2)参照。

配 置 図

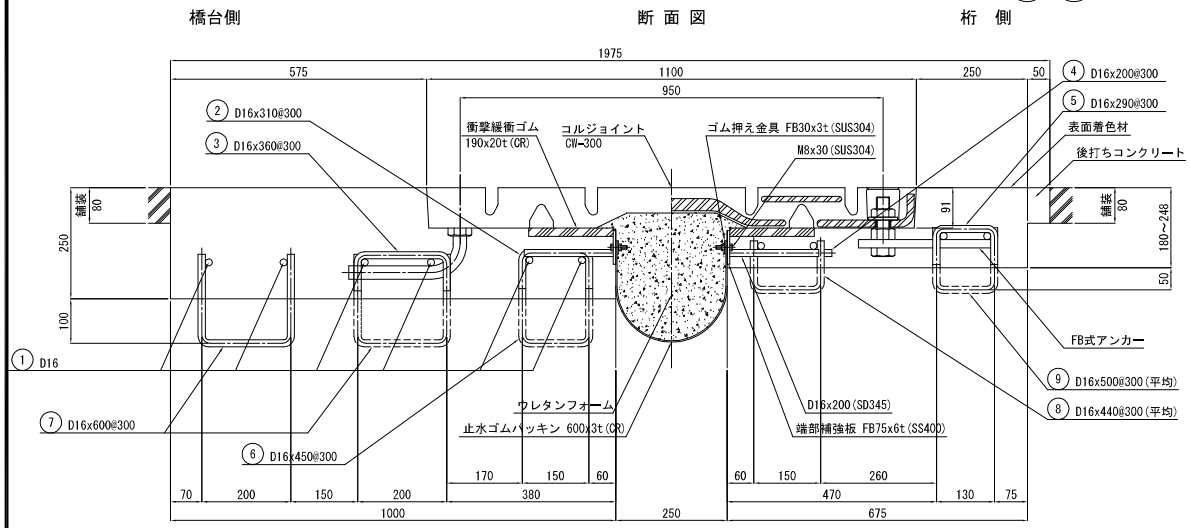


年 度	平成27年	番 号	53/153
路線 河川 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	伸縮継手装置（その１）		
縮 尺	図 示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

伸縮継手装置（その２）

S = 1:6

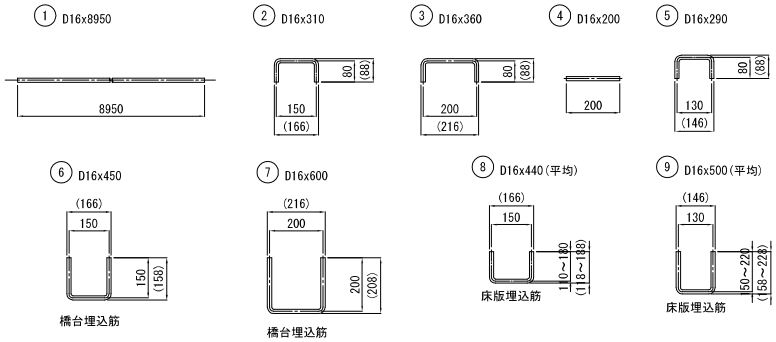
(A1) (A2)



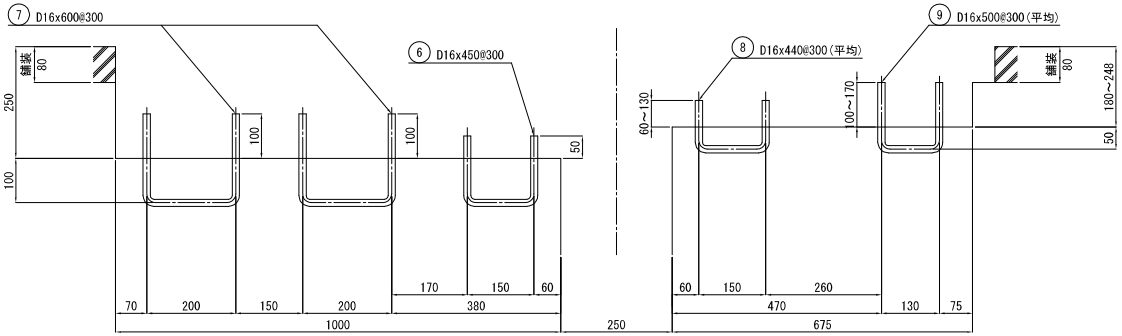
材 料 表

品 名	仕 様、規 格	単位	A1	A2	備 考
コルジョイント	CW-300(重量 452.6kg/1.8m)	m	9.000	9.000	本体
アンカーボルト	φ30	Set	30	30	
FB式アンカー	M30	Set	30	30	
2液シーラント	ジョイント用	kg	78.6	78.6	2液シーラント 8.73kg/m
補強鉄筋	① 10-D16x8950	kg	140	140	
	② 30-D16x 310	kg	15	15	
	③ 30-D16x 360	kg	17	17	
	④ 30-D16x 200	kg	9	9	
	⑤ 30-D16x 290	kg	14	14	
	⑥ 30-D16x 450	kg	21	21	下部工施工
	⑦ 60-D16x 600	kg	56	56	下部工施工
	⑧ 30-D16x 440(平均)	kg	21	21	上部工施工
	⑨ 30-D16x 500(平均)	kg	23	23	上部工施工
後打ちコンクリート	生コンクリート(早強)	m^3	2.9	2.9	σck = 36/mm^2(推奨)
表面着色剤	3.0kg/m^2	kg	23.6	23.6	
端部補強板	F.B 75 x 6t	m	18.000	18.000	D16アンカー付(ゴム押え金具含む)
衝撃緩衝ゴム	190 x 20t	m	18.000	18.000	
止水ゴムパッキン	600 x 3t	m	9.100	9.100	補強材入り
ウレタンフォーム	400 x 300	m	9.100	9.100	
端部ジャバラ蓋	Lタイプ	枚	2	2	
排水ゴム管	25A x 300	本	2	2	
地覆部シール工	乾式止水材	m	1.9	1.9	No.28
	シール材	L	1.2	1.2	t=20mm
カバープレート	550 x 840 x 3t	枚	2	2	SUS304
コンクリートアンカー	M10	本	8	8	ホールインアンカー

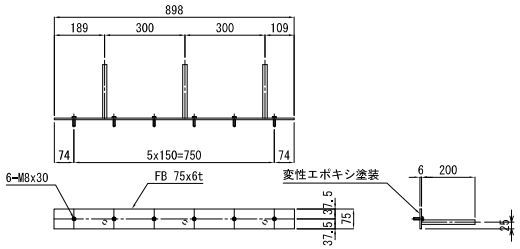
補強鉄筋加工図 S=1:10



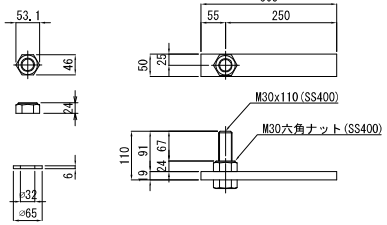
橋台側 床版箱抜及び補強鉄筋 ⑥⑦⑧⑨ 設置図 桁 側



端部補強板 S=1:10



FB式アンカー



注 記

1. 配置図は、「伸縮装置詳細図(その1)」参照。
2. 橋の変形の経時変化による影響を考慮して必要な初圧縮量を確保した状態で伸縮継手装置を設定する必要がある。
   (予備剪断可能な伸縮継手装置を選定すること。)
3. 雨水等の浸水に対して水密性を有するものとする。
   (２次止水対策を施した伸縮継手装置とする)
4. 施工、維持管理及び補修の容易さに配慮した構造とする。
   (伸縮継手本体のみ取替え可能なアンカーボルト、ナット、ワッシャー方式の伸縮継手装置とする。)

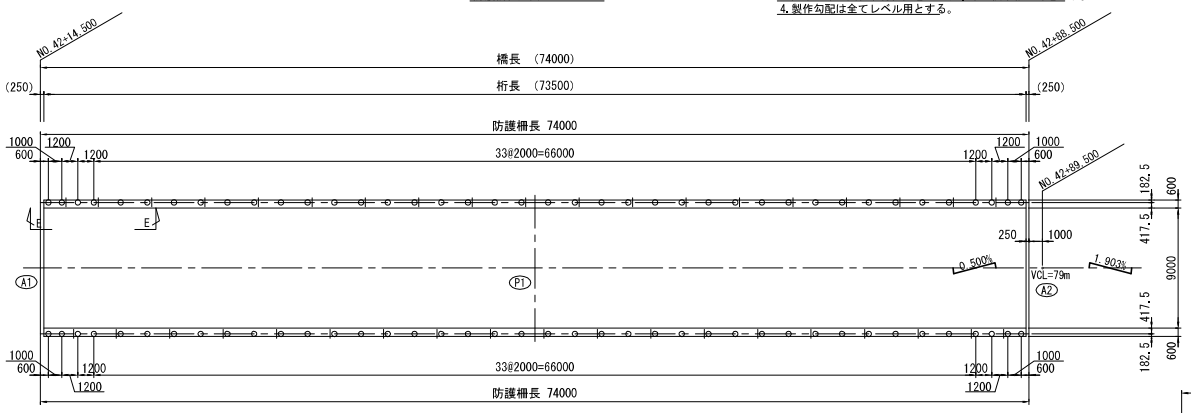
年 度	平成27年	番 号	54/153
路線 河川 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	伸縮継手装置（その２）		
縮 尺	図 示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

防護柵

平　面　図　S=1/200

防護柵総延長：148M000

注記
1. 記入寸法はアンカーセンター押えとし、実長で示す。
2. （　）内寸法は水平長を示す。
3. 図中○印は支柱取付位置を示し、┃印は横梁継手部を示す。
4. 製作勾配は全てレベル用とする。

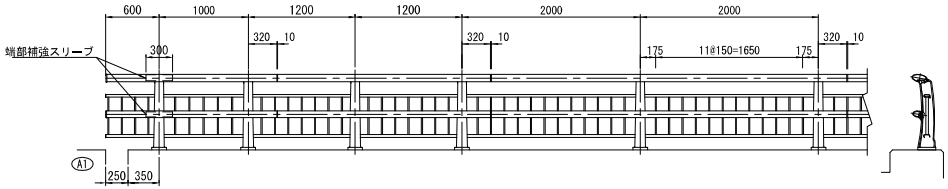


材料表

（12M当たり）

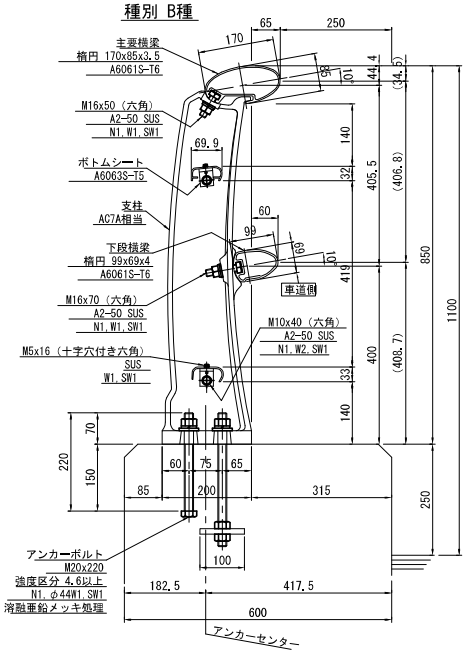
部番	名　称	寸　度	数 量	単　重	1本当	総重量	材　質	備　考
1	主要横梁	3990.0	3	4.925	19.65	59.0	A6061S-T6	170x85x3.5
2	下段横梁	3990.0	3	3.394	13.54	40.6	A6061S-T6	99x69x4
3	支柱		6		10.02	60.1	AC7A相当	
4	主要スリーブ	340.0	3	4.667	1.59	4.8	A6061S-T6	
5	下段スリーブ	300.0	3	3.195	0.96	2.9	A6061S-T6	
6	ボトムレールA	1940.0	6	1.145	2.22	13.3	A6063S-T5	70x32
7	ボトムレールB	1880.0	6	0.461	0.87	5.2	A6063S-T5	57x3
8	ボトムレールC	1940.0	6	0.929	1.80	10.8	A6063S-T5	70x32
9	バラスター	421.0	72	0.369	0.16	11.5	A6063S-T5	30x12
10	ボトムシート	30.0	24	1.171	0.04	1.0	A6063S-T5	L-47x40
11	甲丸ボルト	M16x35	12		0.11	1.3	A2-70 SUS	W1,SW1
12	〃	M12x30	12		0.05	0.6	A2-70 SUS	W1,SW1
13	六角ボルト	M16x50	12		0.17	2.0	A2-50 SUS	N1,W1,SW1
14	〃	M16x70	12		0.20	2.4	A2-50 SUS	N1,W1,SW1
15	〃	M10x40	12		0.06	0.7	A2-50 SUS	N1,W2,SW1
16	十字穴付き六角ボルト	M5x16	24		0.004	0.1	SUS	W1,SW1
17	なべタッピンネジ（2種）	M4x20	288		0.002	0.6	SUS	
18	トラスタッピンネジ	M4x16	48		0.002	0.1	SUS	
19	アンカーボルト	M20x300	12		0.89	10.7	SCM435	N3,φ44W1,SW1
20	〃	M20x220	12		0.68	8.2	強度区分4.6以上	N1,φ44W1,SW1
21	アンカープレート	t=12	6		1.88	11.3	SS400	100x200x12
					総重量	247.2	Kg/12M	
					M当り	20.6	Kg/M（端部は除く）	

姿図（E-E）　S=1/30

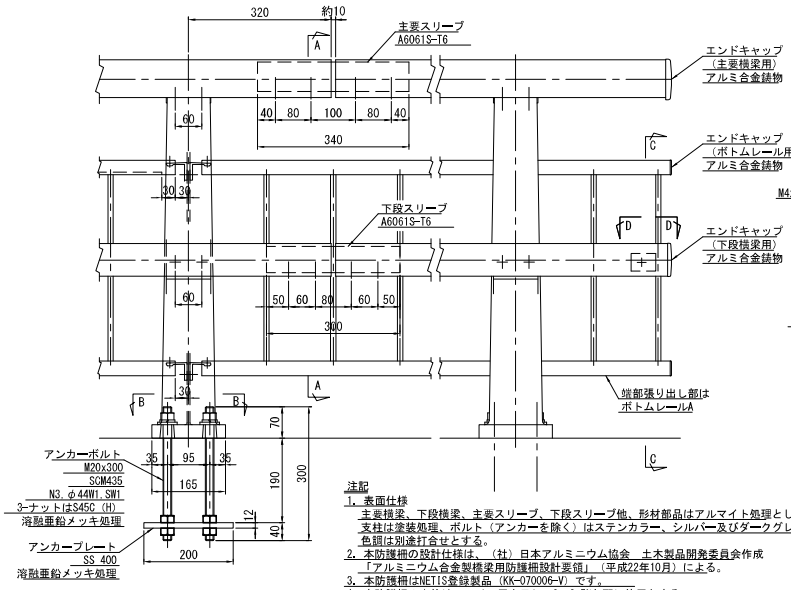


高欄兼用 車両防護柵取付詳細図　S=1/6

種別 B種



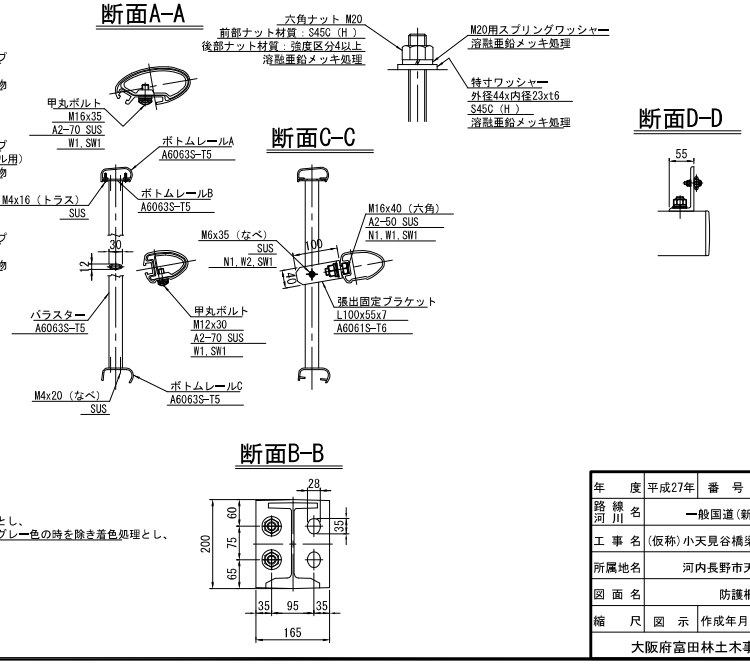
継手部　端　部



注記
1. 表面仕様
主要横梁、下段横梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、
支柱は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、
色調は別途打合せとする。
2. 本防護柵の設計仕様は、（社）日本アルミニウム協会　土木製品開発委員会作成
「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」（平成22年10月）による。
3. 本防護柵はNETIS登録製品（KK-070006-V）です。
4. 本防護柵の支柱は、レベル用を示し、0～2.5%勾配に使用とする。

コンクリート強度 σck=21N/mm² 以上

アンカーナット締め付け部　S=1/3

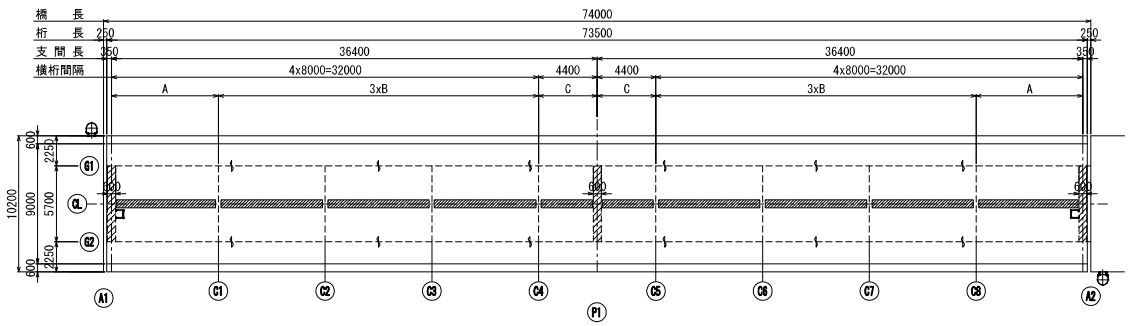


年　度	平成27年	番　号	55/153
路線 河川 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	防護柵		
縮　尺	図　示	作成年月	平成29年2月

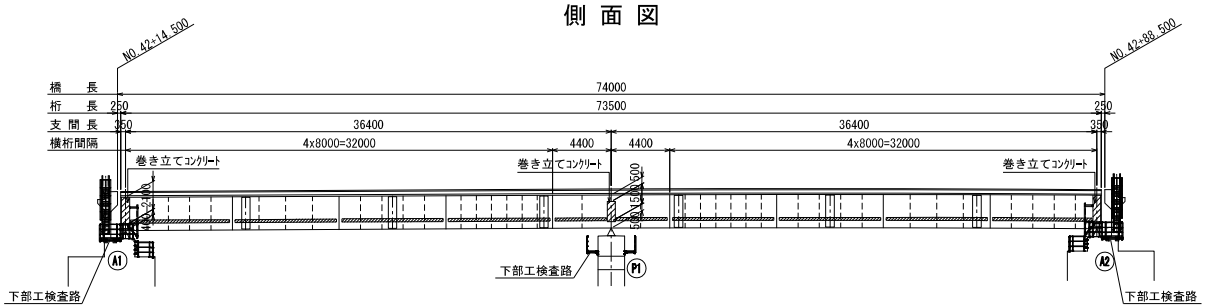
大阪府富田林土木事務所

上部工検査路（その１） S = 1:200

平 面 図



側 面 図

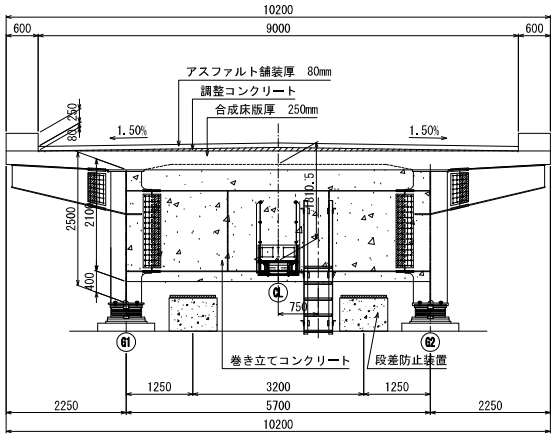


タイプ	数量	長さ
A	2	7430
B	6	7600
C	2	3830
合計	10	

断 面 図 S = 1:50

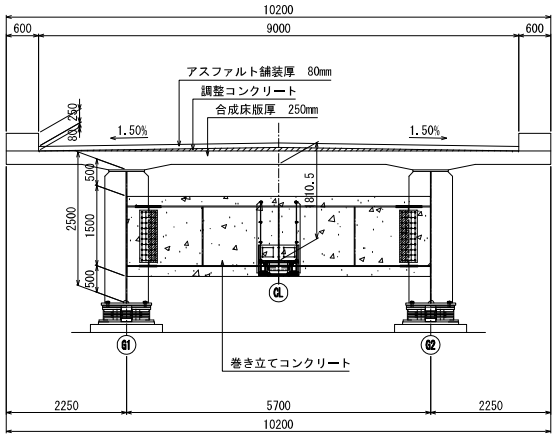
端支点部

S1,<S2>

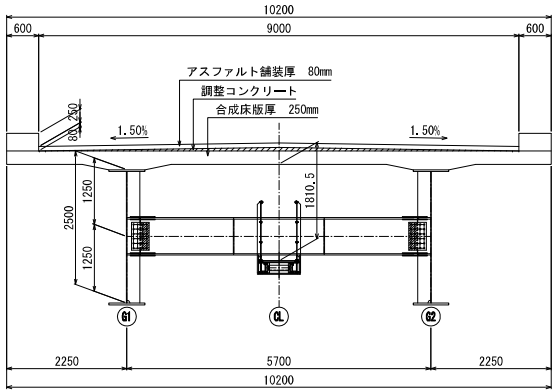


中間支点部

P1



中間部



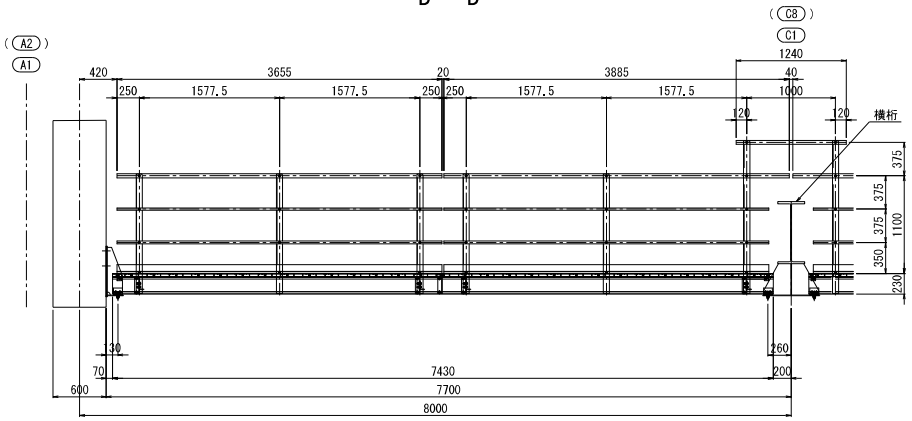
年 度	平成27年	番 号	26/153
路線 河川 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	上部工検査路（その１）		
縮 尺	図 示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

上部工検査路（その２）S = 1:30

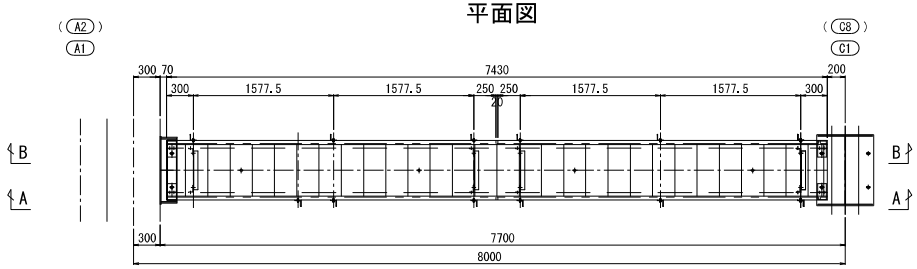
端支点部

タイプ A

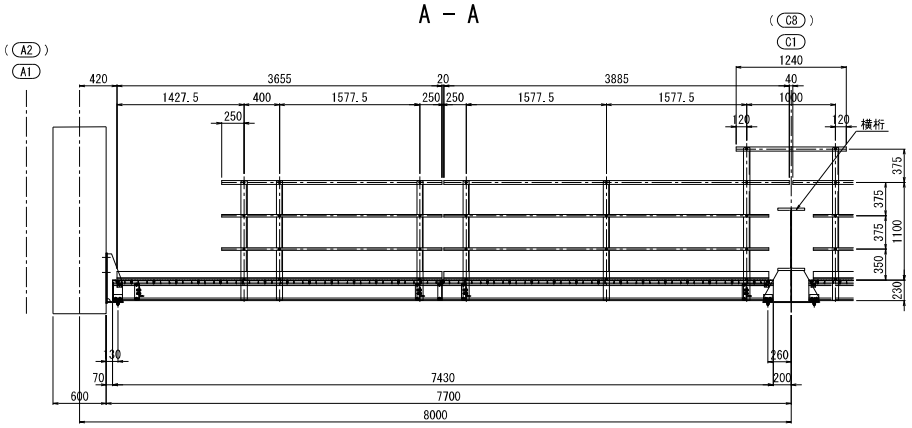
B － B



平面図

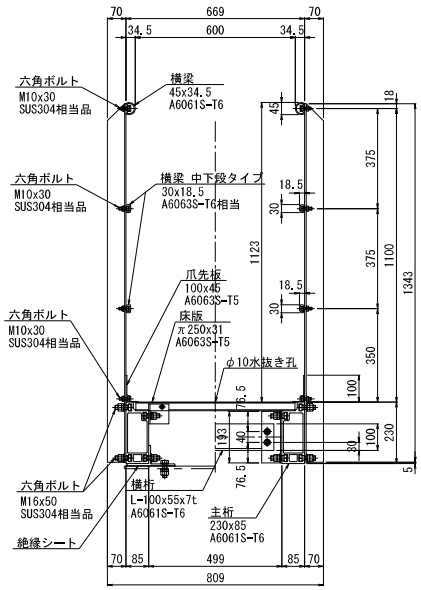


A － A



標準断面図 S=1:10

端 部　　支柱部



注記）
1.本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
2.ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3.ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。

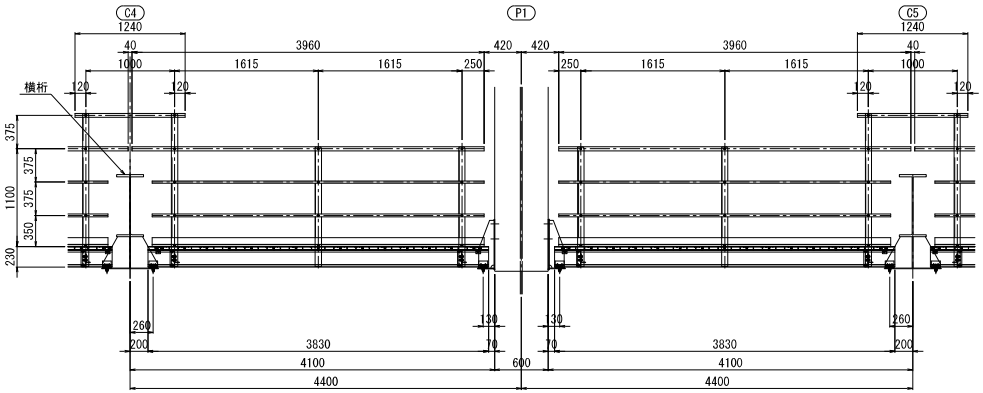
年　度	平成27年	番　号	27/153
路線 河川 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	上部工検査路(その２)		
縮　尺	図　示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

上部工検査路（その３）S = 1:30

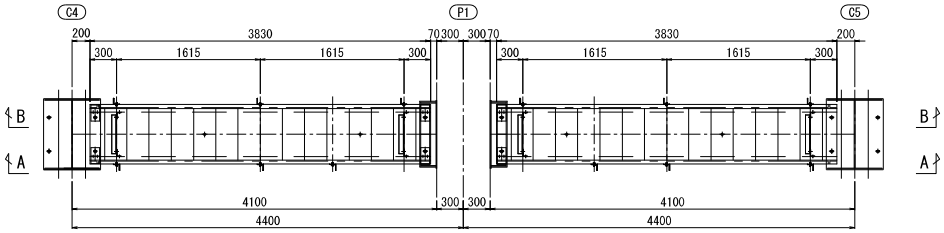
中間支点部

タイプ C　　タイプ C

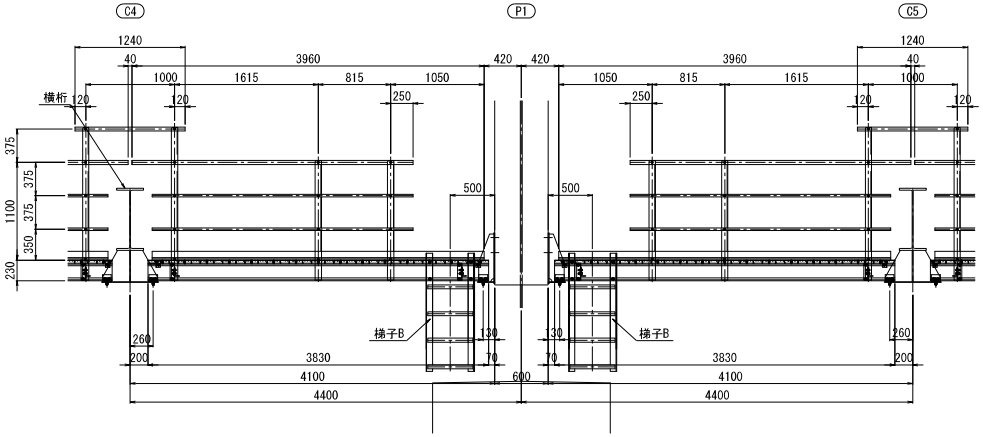
B － B



平面図

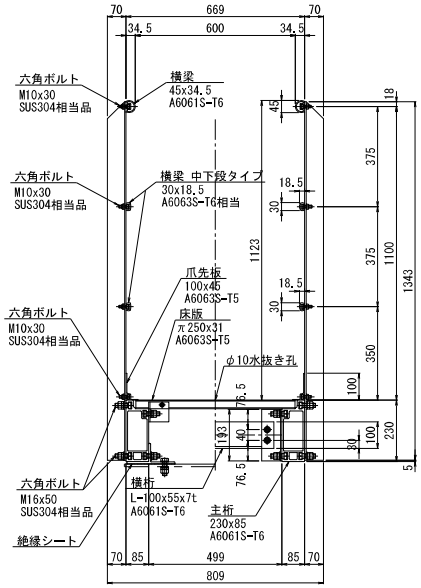


A － A



標準断面図 S=1:10

端部　　支柱部



注記）
1.本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
2.ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3.ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。

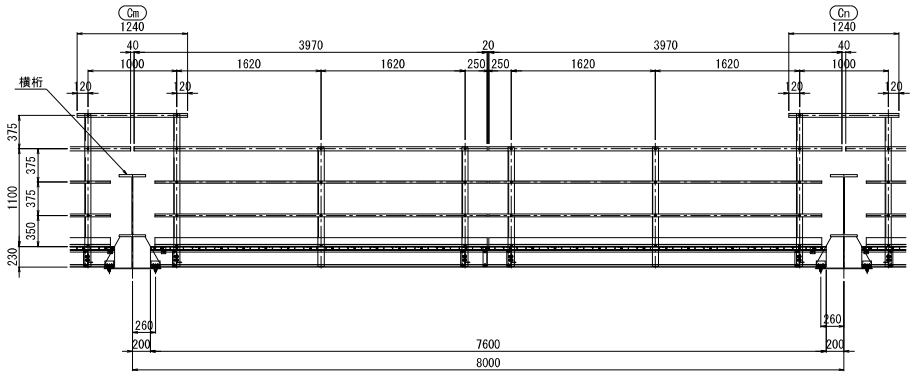
年　度	平成27年	番　号	28/153
路線 河川 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	上部工検査路(その３)		
縮　尺	図　示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

上部工検査路（その４）S = 1:30

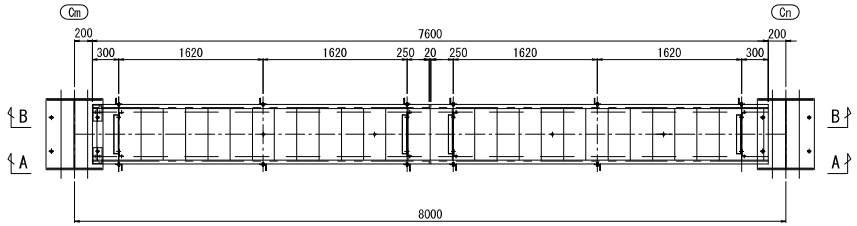
中間部

タイプ B

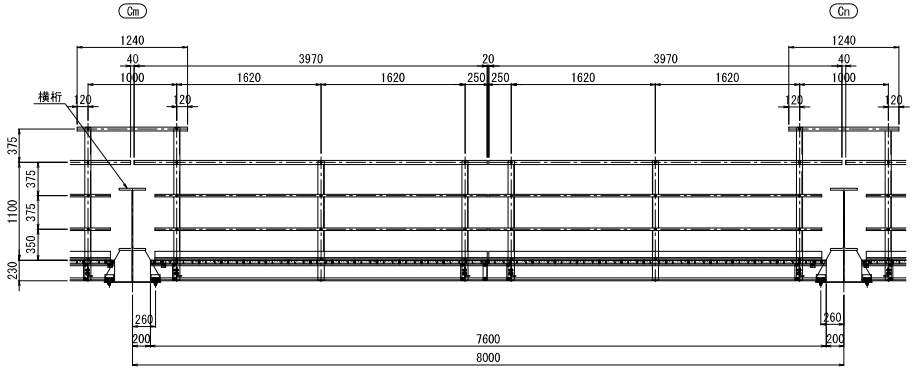
B － B



平面図

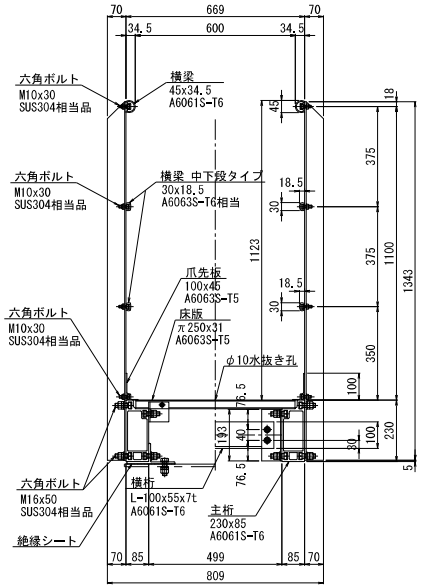


A － A



標準断面図 S=1:10

端 部　　支柱部



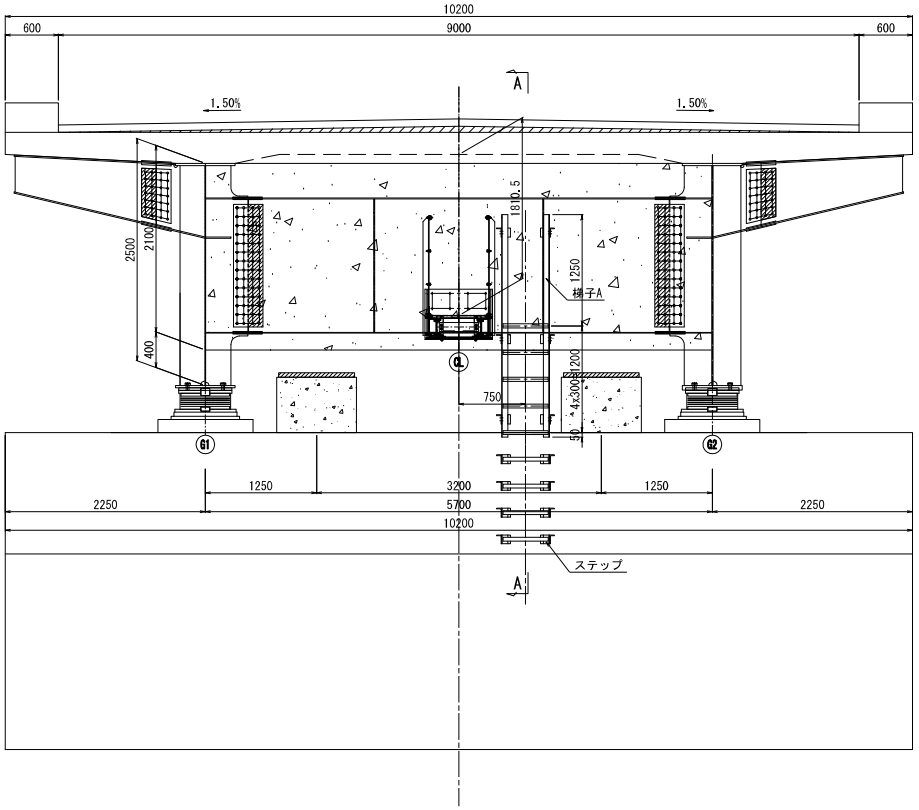
注記）
1.本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
2.ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3.ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。

年　度	平成27年	番　号	29/153
路線 河川 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	上部工検査路(その４)		
縮　尺	図　示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

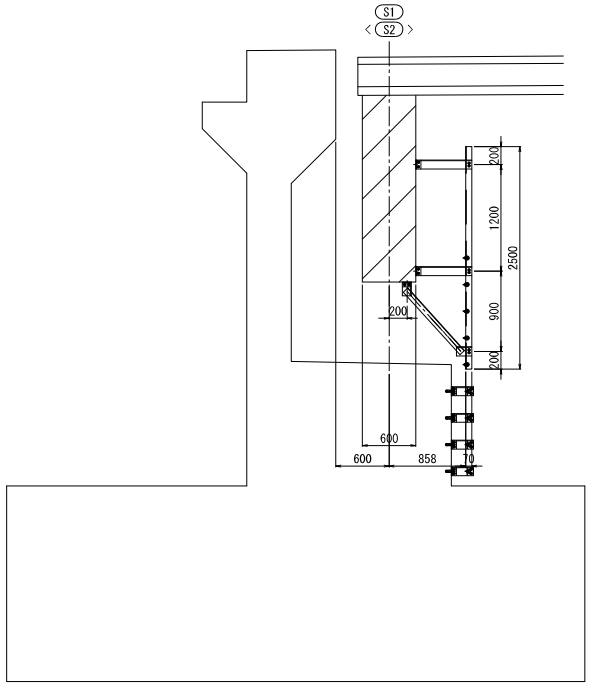
上部工検査路（その５）S = 1:30

端支点上横桁部

S1,<S2>



A － A



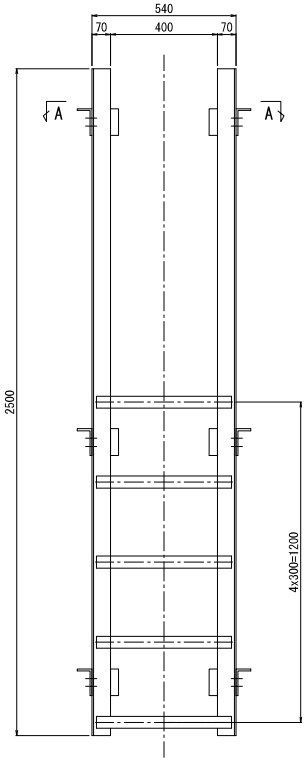
注記）
1.本図はS1側を示しており。
S2側のステップ段数は、3段である。

年　度	平成27年	番　号	30/153
路線 河川名	一般国道(新)371号		
工事名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図面名	上部工検査路(その５)		
縮　尺	1:30	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

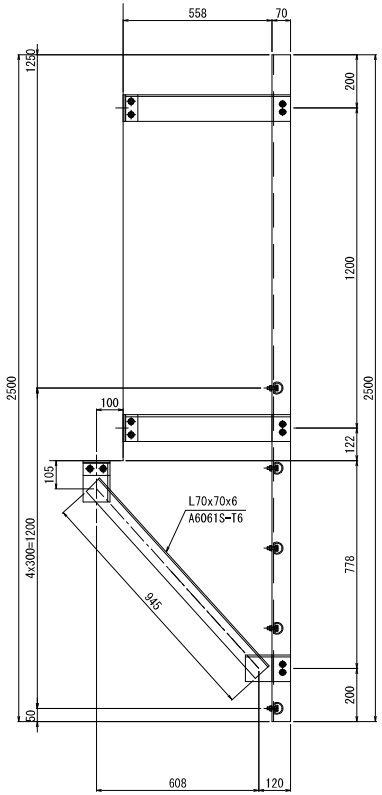
上部工検査路（その６）S = 1:10

梯子A
製作数:2組

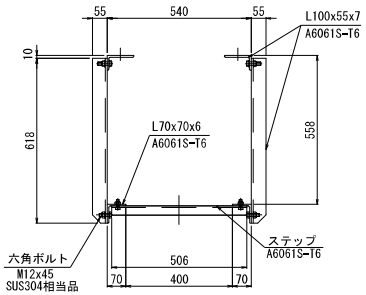
正 面 図



側 面 図

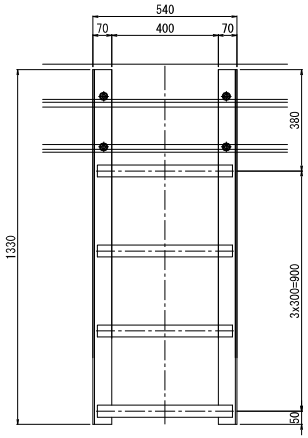


A － A

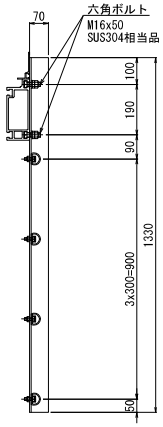


梯子B
製作数:2組

正 面 図



側 面 図



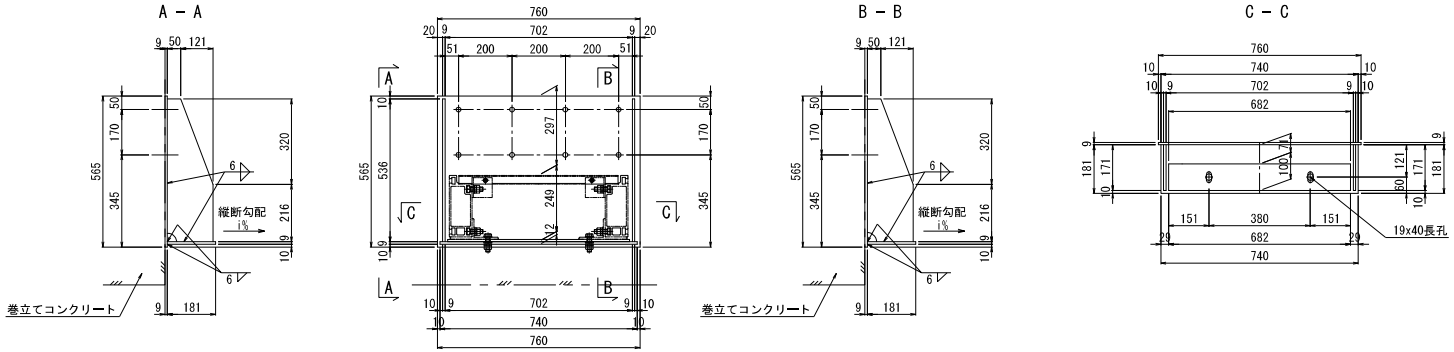
注記）
1. 本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3. ナットはダブルナット部を除き独み止めナットとする。
4. ボルトの取合いは、現地測量後決定のこと。

年　度	平成27年	番　号	31/153
路線 河川 名	一般国道（新）371号		
工 事 名	（仮称）小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	上部工検査路（その６）		
縮　尺	1:10	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

上部工検査路（その７）S = 1:10

巻立て部受け台詳細

S1,S2,P1 製作数: 4組



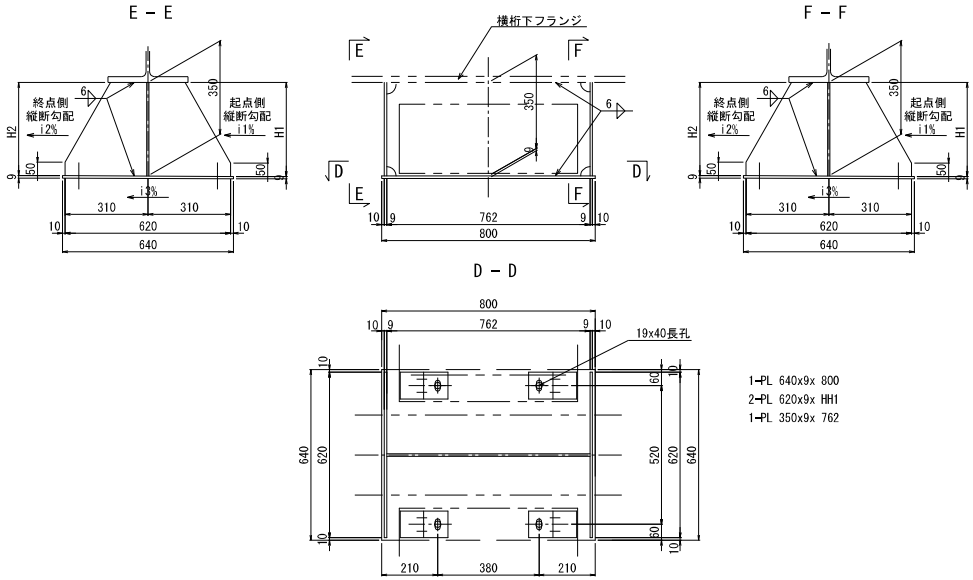
	i %
S1	0.500
P1 起点側	0.493
P1 終点側	0.386
S2	-0.531

※ 1 － PL 565 x 9 x 760 (SM400A)
※ 2 － PL 168 x 9 x 536 (SM400A)
※ 1 － PL 181 x 9 x 740 (SM400A)
※ 1 － PL 100 x 9 x 682 (SM400A)

※ 8 － ANC M16 x 100 (N1,3N1,W1付)(SS400相当品)

中間横桁部受け台詳細

製作数: 8組



1-PL 640x9x 800
2-PL 620x9x HH1
1-PL 350x9x 762

	i1 %	i2 %	i3 %	H1	H2	HH1
C1	0.500	0.500	0.500	351.6	348.5	352
C2	0.500	0.500	0.500	351.6	348.5	352
C3	0.500	0.500	0.500	351.6	348.5	352
C4	0.500	0.493	0.497	351.5	348.5	352
C5	0.386	0.199	0.293	350.9	349.1	351
C6	0.199	-0.044	0.078	350.2	349.8	350
C7	-0.044	-0.289	-0.167	349.5	350.5	351
C8	-0.289	-0.531	-0.410	348.7	351.3	351

注) i3%は、i1%とi2%の平均勾配とする。

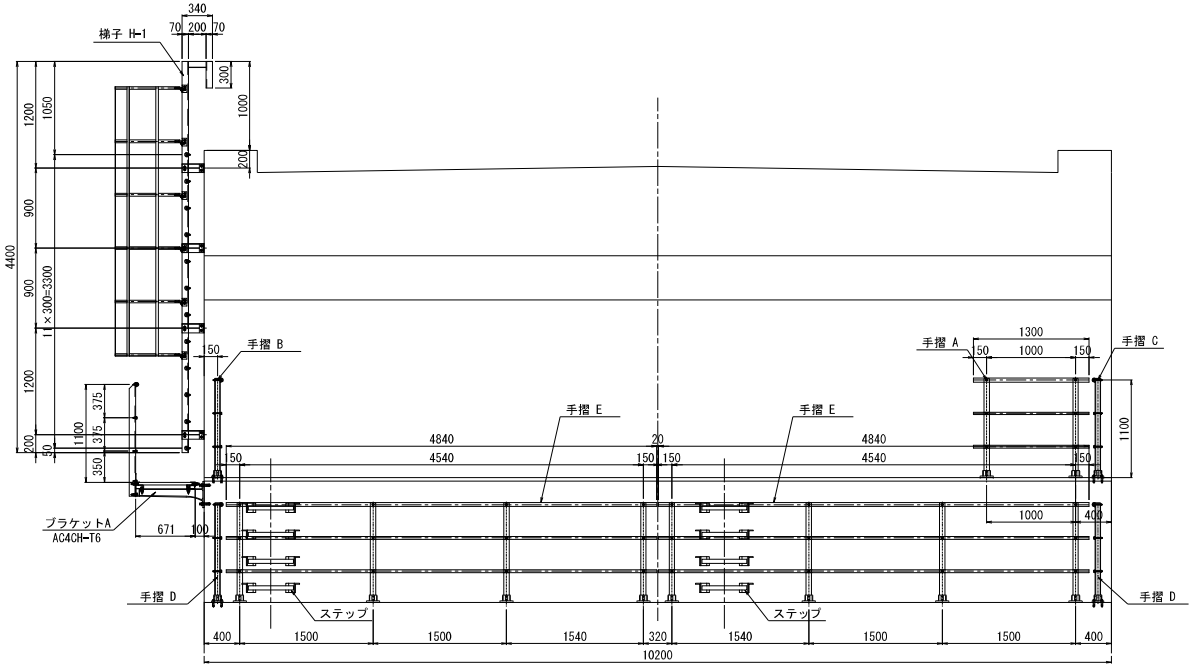
注記
1. 特記なき材質は、全てSMA400AWとする。
2. ※印付の部材は、全て亜鉛メッキ仕上げとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、板厚3.2mm以上、6mm未満の部材は
HDZ45とし、ボルト・ナットおよび
板厚3.2mm未満の部材は、HDZ35とする。
3. ボルトの取合いは、現地測量後決定のこと。
4. ナットは全て、弛み止めナットを使用すること。
5. 本図の受け台(鋼製)はアルミ検査路範囲外とする。

年　度	平成27年	番　号	32/153
路線 河川 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	上部工検査路(その７)		
縮　尺	1:10	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

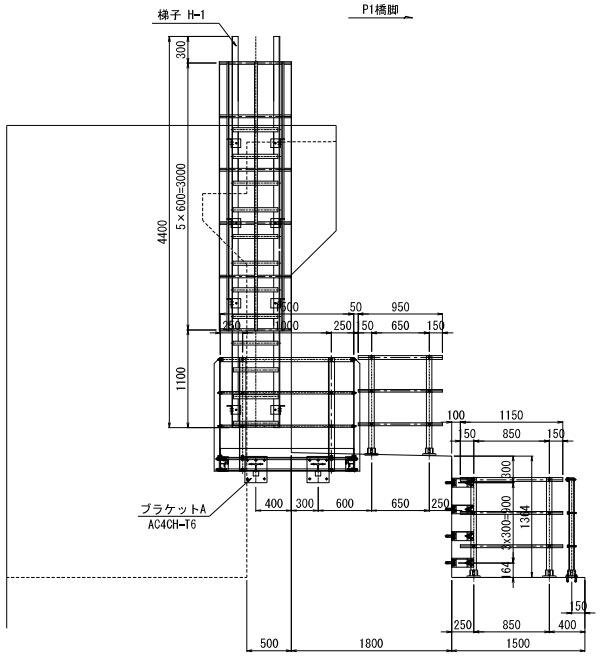
下部工検査路（その１）S = 1:30

A1橋台

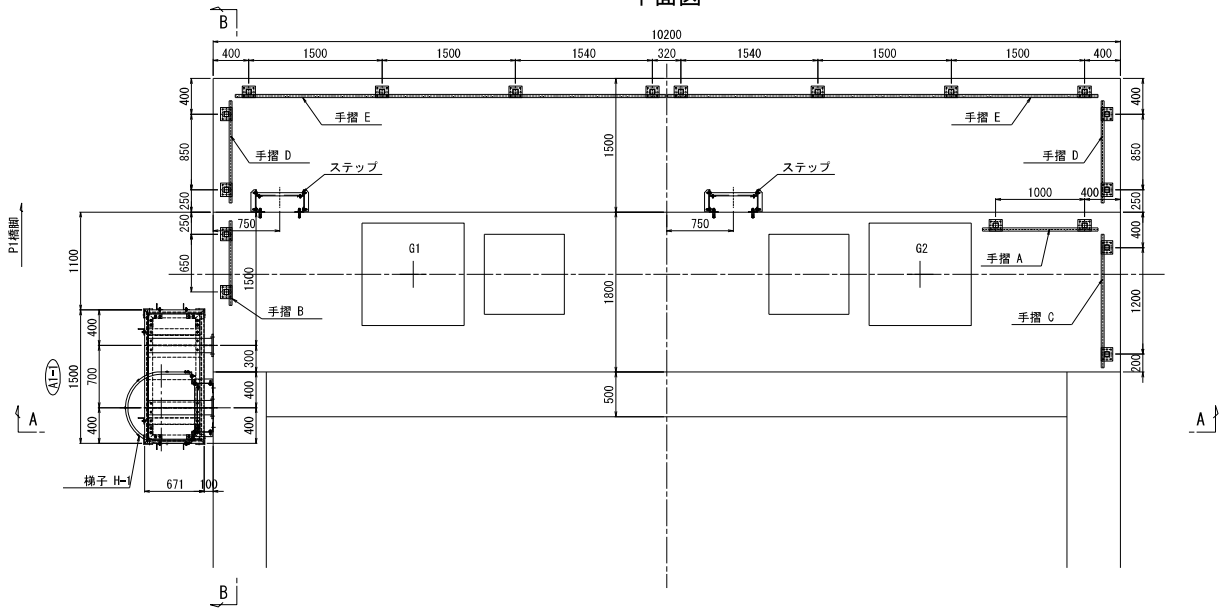
A － A



B － B



平面図



【検査路ユニット総括表】

	ユニット番号	ユニット長 (mm)	ユニット幅 (mm)	ユニット数 (基)
1	A1-1	1500	671	1

【ブラケット総括表】

		ブラケット数 (本)	アンカー本数 (本)
1	ブラケットA	2	10

【梯子総括表】

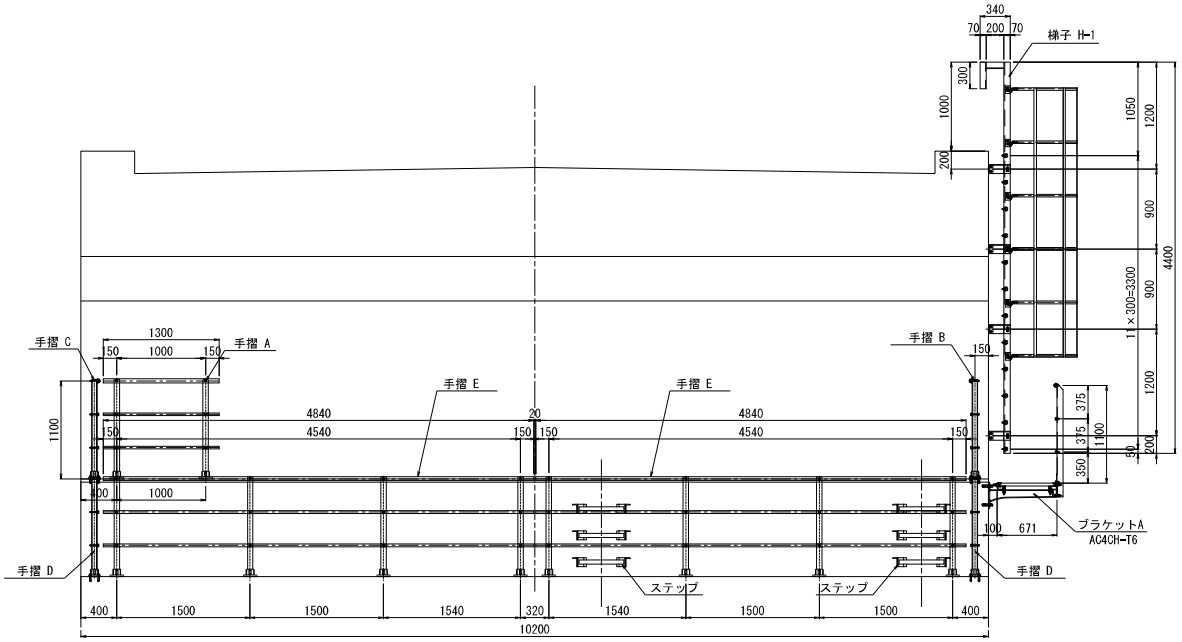
		梯子長 (mm)	梯子数 (基)	アンカー本数 (本)
1	梯子		1	8
2	手摺		7	72
3	ステップ		8	16

年　度	平成27年	番　号	33/153
路線 河川 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	下部工検査路(その１)		
縮　尺	1:30	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

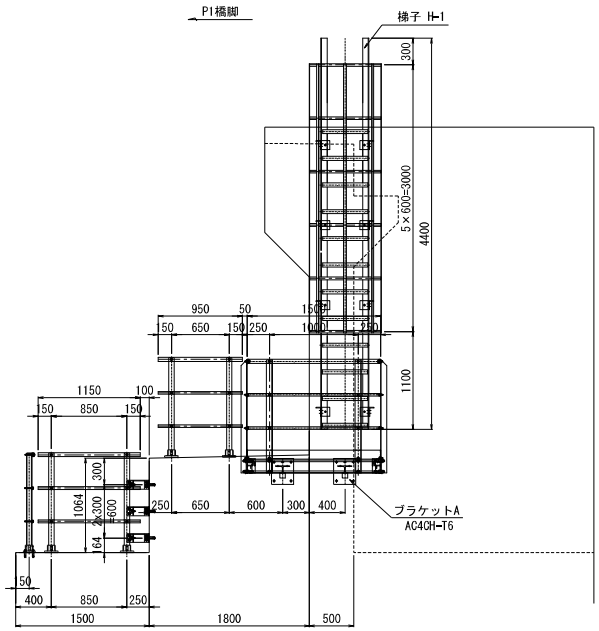
下部工検査路（その２）S = 1:30

A2橋台

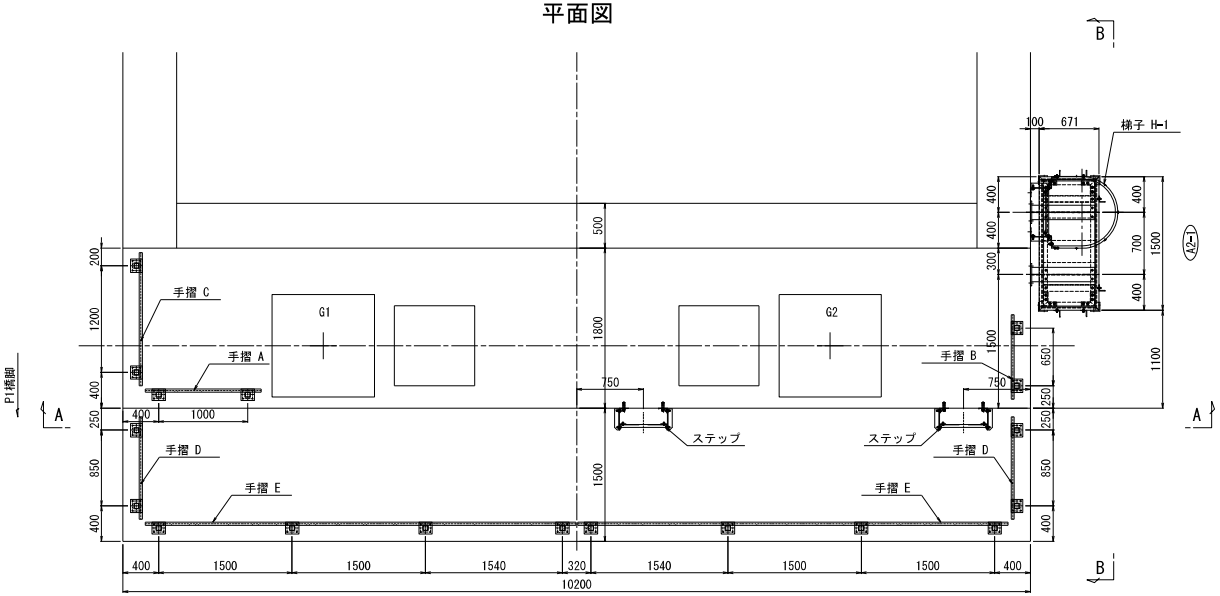
A － A



B － B



平面図



【検査路ユニット総括表】

	ユニット番号	ユニット長 (mm)	ユニット幅 (mm)	ユニット数 (基)
1	A2-1	1500	671	1

【ブラケット総括表】

		ブラケット数 (本)	アンカー本数 (本)
1	ブラケットA	2	10

【梯子総括表】

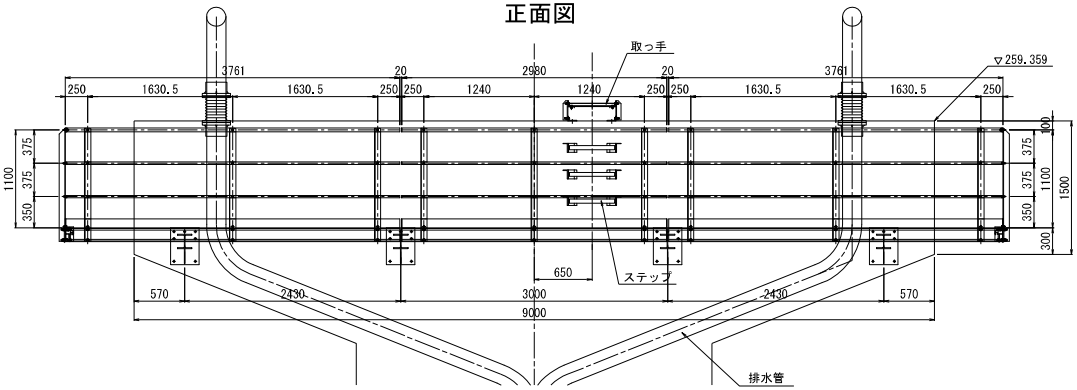
		梯子長 (mm)	梯子数 (基)	アンカー本数 (本)
1	梯子		1	8
2	手摺		7	72
3	ステップ		6	12

年　度	平成27年	番　号	34/153
路線 河川 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	下部工検査路(その２)		
縮　尺	1:30	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

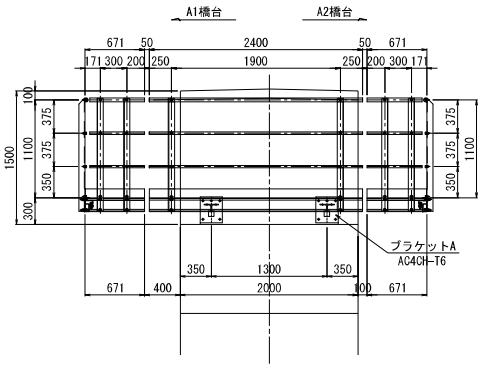
下部工検査路（その3） S = 1:30

P1橋脚

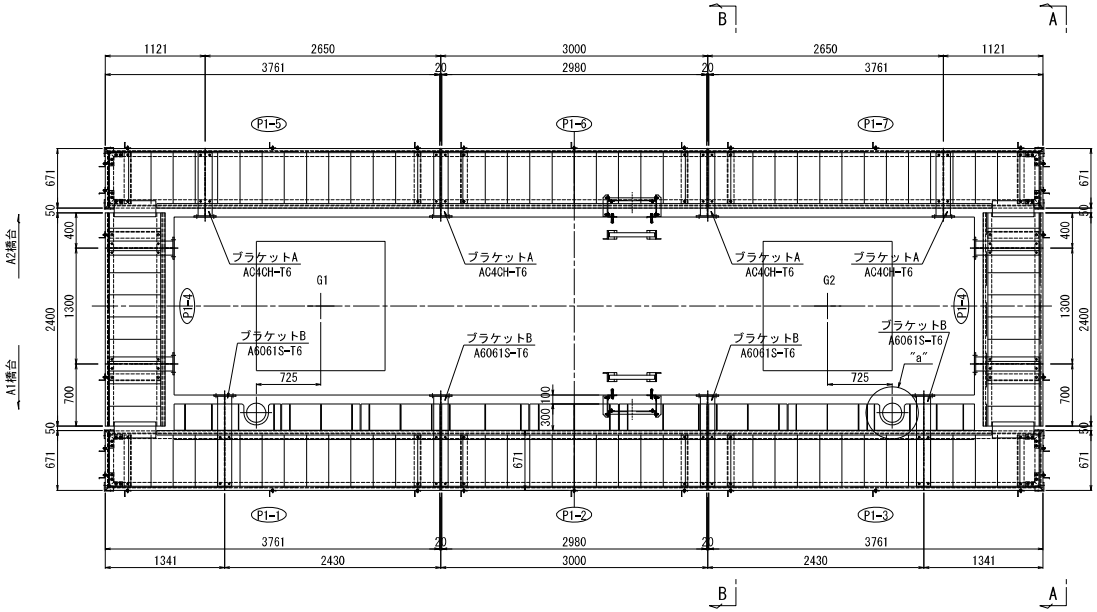
正面図



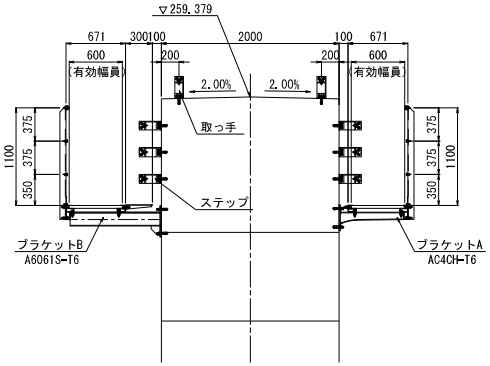
A － A



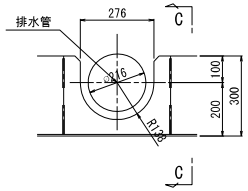
平面図



B － B

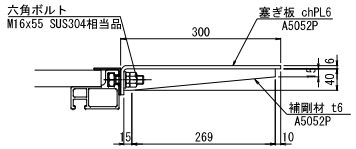


"a"部詳細 S=1:10



塞ぎ板詳細 S=1:5

C － C



【検査路ユニット総括表】

	ユニット番号	ユニット長 (mm)	ユニット幅 (mm)	ユニット数 (基)
1	P1-1	3761	971	1
2	P1-2	2980	971	1
3	P1-3	3761	971	1
4	P1-4	2400	671	2
5	P1-5	3761	671	1
6	P1-6	2980	671	1
7	P1-7	3761	671	1

【ブラケット総括表】

		ブラケット数 (本)	アンカー本数 (本)
1	ブラケットA	8	40
2	ブラケットB	4	28

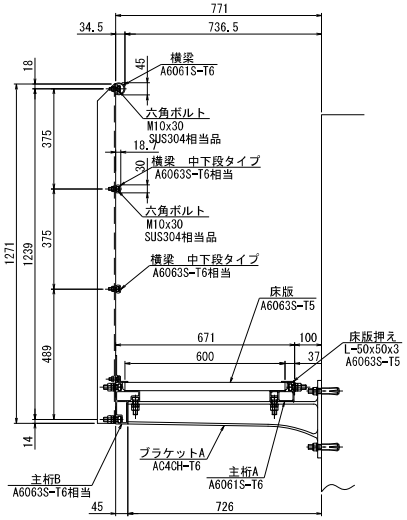
【梯子総括表】

		梯子長 (mm)	梯子数 (基)	アンカー本数 (本)
1	ステップ		6	12
2	取っ手		2	4

年度	平成27年	番号	35/153
路線 河川名	一般国道(新)371号		
工事名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図面名	下部工検査路(その3)		
縮尺	図示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

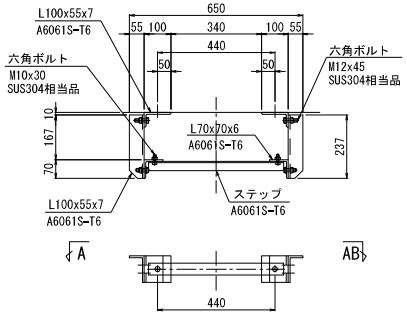
下部工検査路（その４）S = 1:10

標準断面図



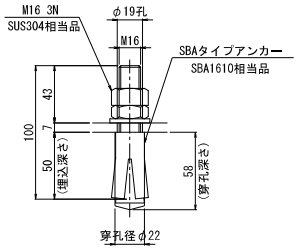
ステップ、取っ手詳細

A － A

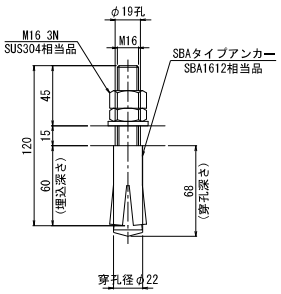


アンカー S=1:2

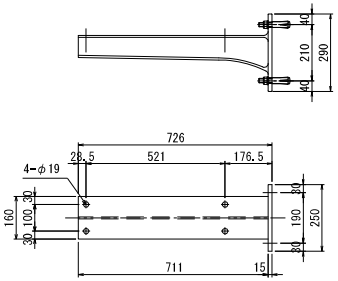
ステップ、取っ手用



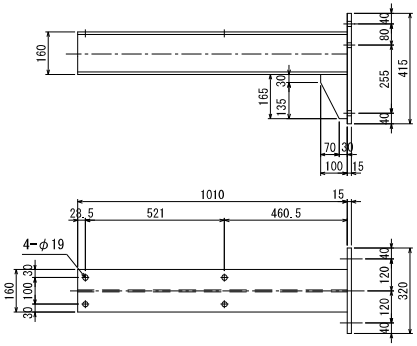
ブラケット用



ブラケットA

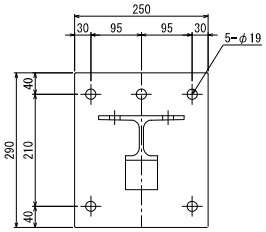


ブラケットB

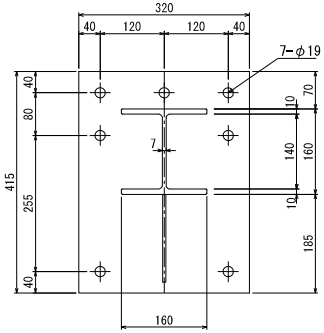


ブラケットベース S=1:5

ブラケットA



ブラケットB

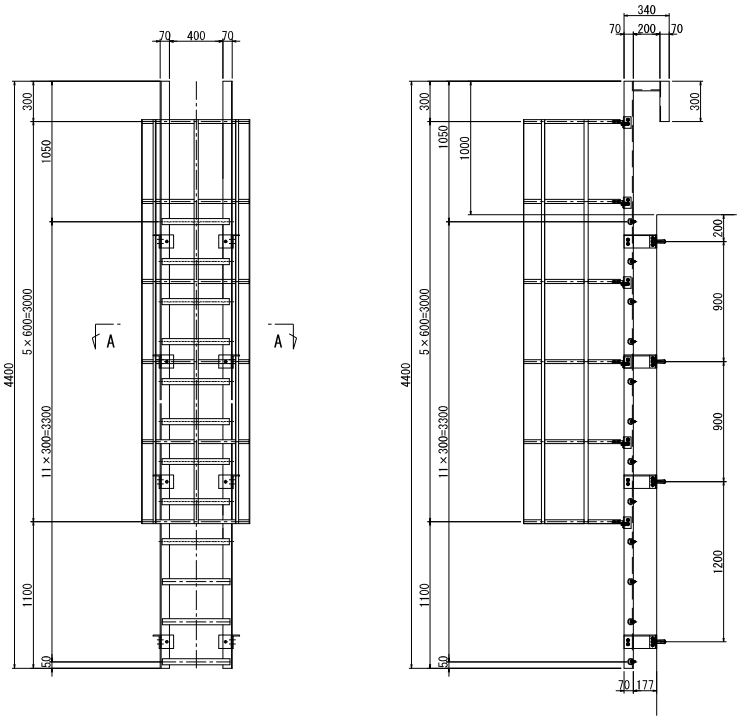


注記
1. 本検査路の表面処理はアルマイト（A2シルバー色）とする。
   但し，ブラケット、補剛材は塗装処理とする。
2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3. ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。
4. 部材はすべて現場実測後、製作のこと。

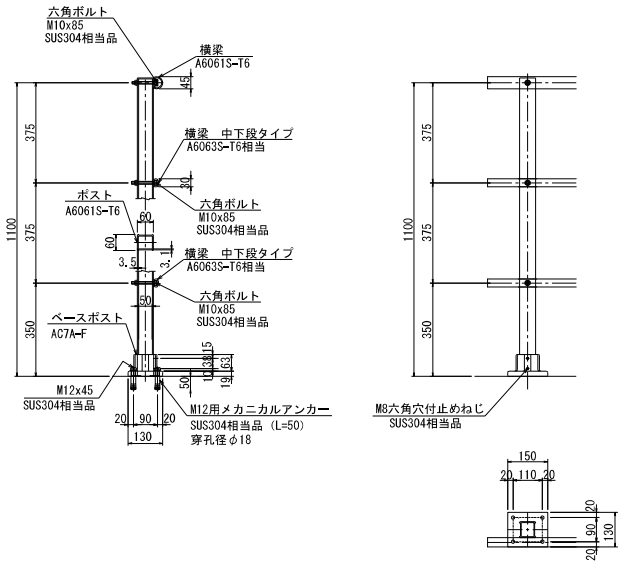
年　度	平成27年	番　号	36/153
路線 河川 名	一般国道(新)371号		
工 事 名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	下部工検査路(その４)		
縮　尺	図　示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

下部工検査路（その５）S = 1:20

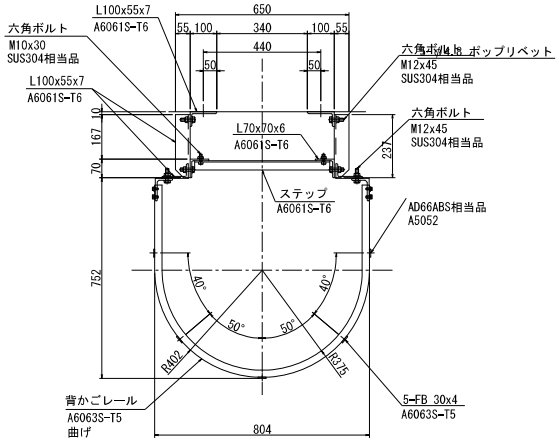
昇降梯子 H-1



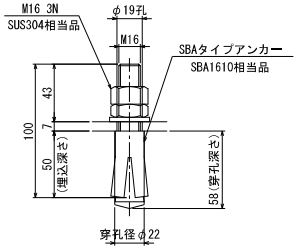
手摺 詳細 S=1:10



A − A S=1:10



アンカー S=1:2



注記
1.梯子、手摺の表面処理はアルマイト(A2 シルバー色)とする。
2.ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3.ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。
4.部材はすべて現場実測後、製作のこと。

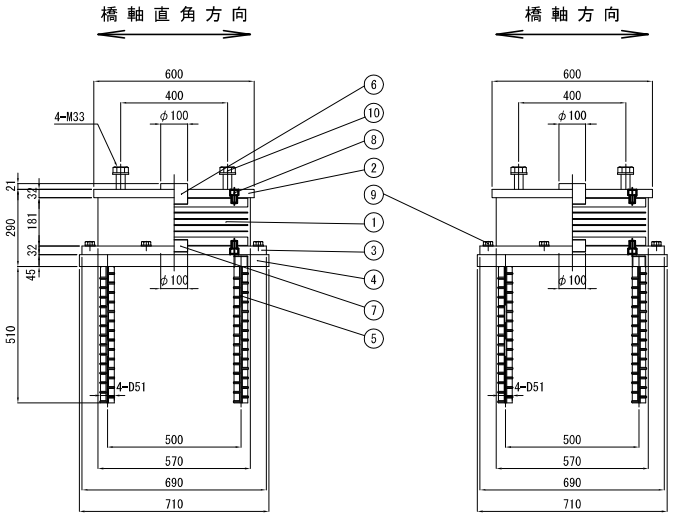
年度	平成27年	番号	37/153
路線 河川名	一般国道(新)371号		
工事名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図面名	下部工検査路(その５)		
縮尺	図示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

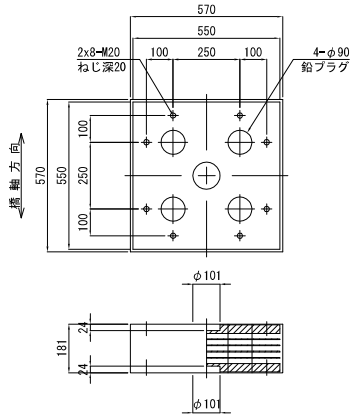
支承（その１）

S = 1:10

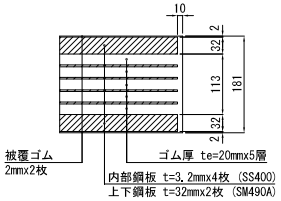
A1, A2

① ゴム支承(NR+SS400+SM490A+Pb)

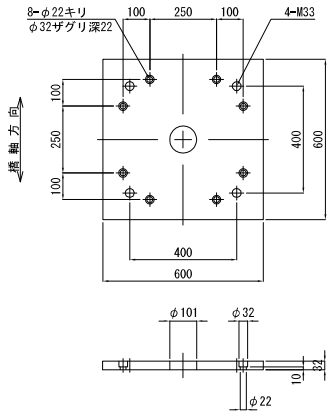




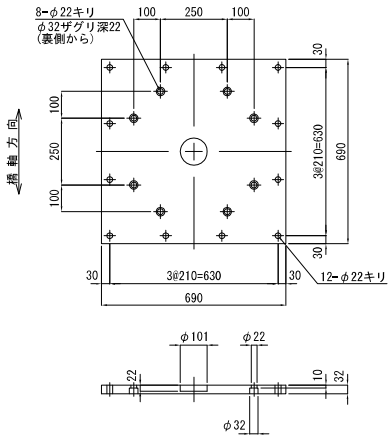
積層詳細図 S=1:5



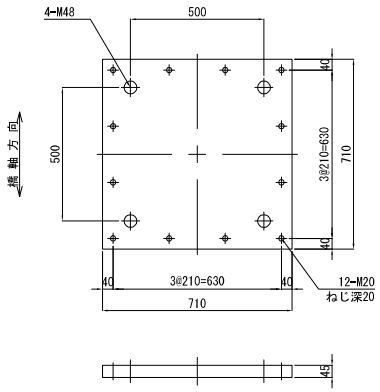
② 上 沓 (SM490A)



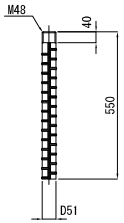
③ 下 沓 (SM490A)



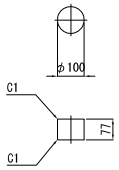
④ ベースプレート(SM490A)



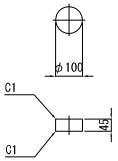
⑤ アンカーボルト (SD345)



⑥ 上側せん断キー (SM490A)



⑦ 下側せん断キー (SM490A)



設計条件

支承タイプ			レベル２対応支承　免震
最大反力		Rmax	1880 KN
最大反力　回転照査用		Rmax2	1200 KN
最大死荷重反力		R_d	1000 KN
最大活荷重反力		R_{L+I}	880 KN
照査荷重時変位量 (RL+I/2)		δcI	0.56 mm
回転変位量		δr	0.92 mm
二次形状係数	橋軸方向	S2	5.50
	橋軸直角方向	S2	5.50
許容せん断ひずみ		γse	33.9 %
水平変位量	常時 橋軸方向	ΔL1	21.8 mm
	地震時 橋軸方向	ΔLe1	218 mm
	地震時 橋軸直角方向	ΔLe2	190 mm
性能	試験変位量（１７５％）	U_B	175 mm
	等価剛性	K_B	3.134 KN/mm
	等価減衰定数	h_B	21.8 %
	圧縮ばね定数	K_V	785 KN/mm

材料表 (1支承当り)

部番	品名	材質	個数	質量 (kg)	備考
1	ゴム支承	NR+SS400+SM490A+Pb	1	264.0	Ge=1.0N/mm2
②	上沓	SM490A	1	86.2	
③	下沓	SM490A	1	115.8	
④	ベースプレート	SM490A	1	175.8	
⑤	アンカーボルト	SD345	4	35.0	
⑥	上側せん断キー	SM490A	1	4.7	
⑦	下側せん断キー	SM490A	1	2.8	
8	六角穴付きボルト	―――	16	2.2	
⑨	六角ボルト	―――	12	2.6	平座金付き
⑩	セットボルト	―――	4	―	座金付き
	全質量 (kg)			689.1	

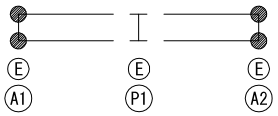
注）１．○印はＳＧめっき仕様とする（付着量350g/m2以上とする）
注）２．部番8は黒色酸化皮膜処理とし、締付後高濃度亜鉛末塗布
注）３．ゴム支承本体の質量は参考質量とする
注）４．吊り作業用として必要に応じタップ加工を施してよい。

⑧ 六角穴付ボルト　M20x30　強度区分 12.9

⑨ 六角ボルト　M20x55　強度区分 8.8
平座金　22H

⑩ セットボルト　M33xL　強度区分 8.8
平座金　22H

配置図



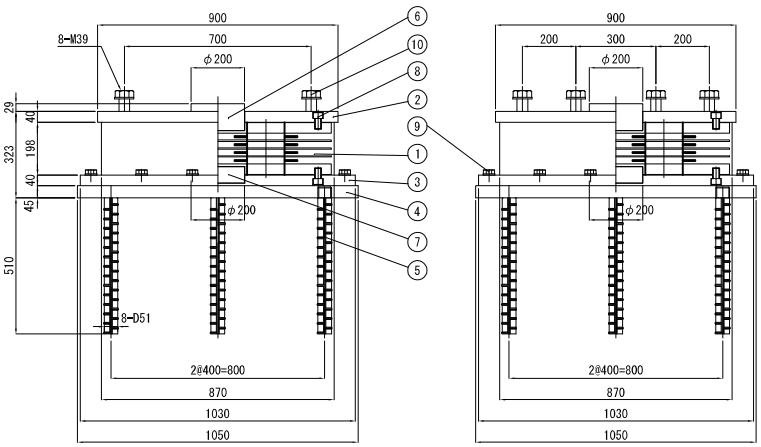
年度	平成27年	番号	49/153
路線名 河川名	一般国道(新)371号		
工事名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図面名	支承（その１）		
縮尺	図示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

支承（その２）

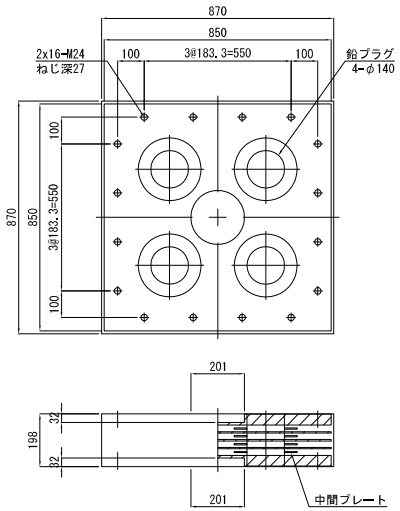
S = 1:10

P1

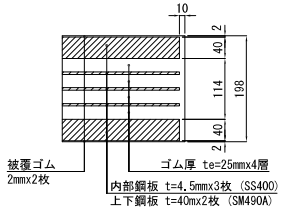
橋軸直角方向　　橋軸方向



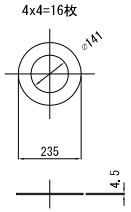
① ゴム支承(NR+SS400+SM490A+Pb)



積層詳細図　S=1:5



中間プレート (SS400)



設計条件

支承タイプ			レベル２対応支承　免震
最大反力		Rmax	4570 KN
最大反力　回転照査用		Rmax2	3570 KN
最大死荷重反力		R_d	3000 KN
最大活荷重反力		R_{L+I}	— KN
照査荷重時変位量 (RL+I/2)		δcl	— mm
回転変位量		δr	0.94 mm
二次形状係数	橋軸方向	S2	8.50
	橋軸直角方向	S2	8.50
許容せん断ひずみ		γse	11.4 %
水平変位量	常時　橋軸方向	ΔL1	0 mm
	地震時　橋軸方向	ΔLe1	110 mm
	地震時　橋軸直角方向	ΔLe2	153 mm
性能	試験変位量（175%）	U_B	175 mm
	等価剛性	K_B	8.811 KN/mm
	等価減衰定数	h_B	19.3 %
	圧縮ばね定数	Kv	2775 KN/mm

材料表　(1支承当り)

部番	品名	材質	個数	質量 (kg)	備考
1	ゴム支承	NR+SS400+SM490A+Pb	1	731.4	Ge=1.2N/mm2
②	上沓	SM490A	1	236.5	
③	下沓	SM490A	1	317.5	
④	ベースプレート	SM490A	1	382.9	
⑤	アンカーボルト	SD345	8	70.0	
⑥	上側せん断キー	SM490A	1	24.9	
⑦	下側せん断キー	SM490A	1	15.0	
8	六角穴付きボルト	———	32	8.0	
⑨	六角ボルト	———	20	7.2	平座金付き
⑩	セットボルト	———	8	—	座金付き
全質量 (kg)			1793.4		

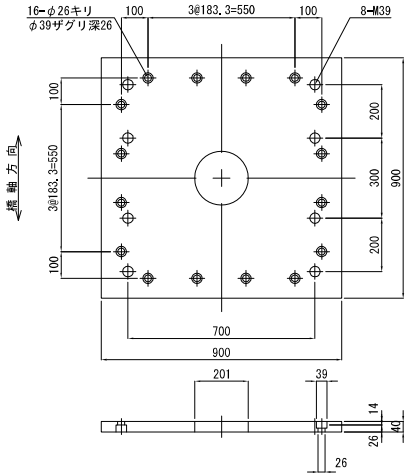
注）1．○印はＳＧめっき仕様とする（付着量350g/m2以上とする）
注）2．部番8は黒色酸化皮膜処理とし、締付後高濃度亜鉛末塗布
注）3．ゴム支承本体の質量は参考質量とする
注）4．吊り作業用として必要に応じタップ加工を施してよい。

⑧ 六角穴付ボルト　M24x40　強度区分 10.9

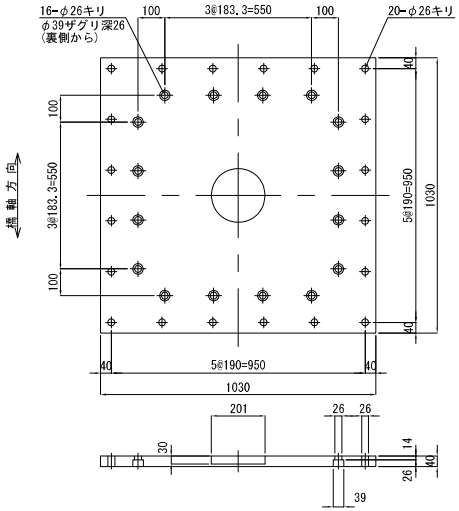
⑨ 六角ボルト　M24x65　強度区分 8.8
平座金　22H

⑩ セットボルト　M39xL　強度区分 8.8
平座金　22H

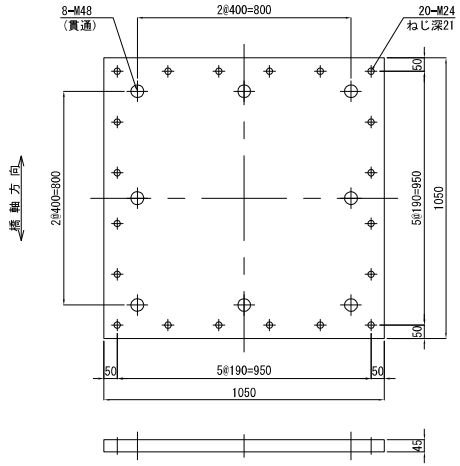
② 上沓 (SM490A)



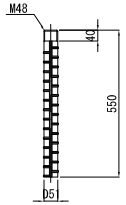
③ 下沓 (SM490A)



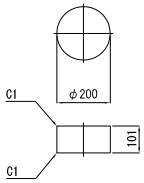
④ ベースプレート(SM490A)



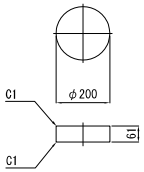
⑤ アンカーボルト (SD345)



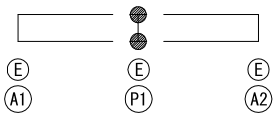
⑥ 上側せん断キー (SM490A)



⑦ 下側せん断キー (SM490A)



配置図



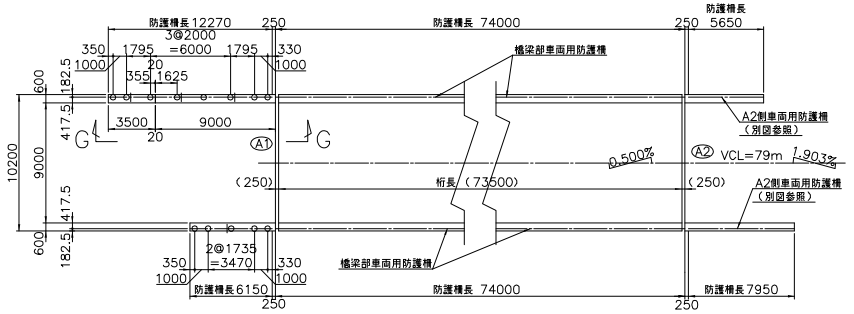
年度	平成27年	番号	50/153
路線名 河川名	一般国道(新)371号		
工事名	(仮称)小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図面名	支承（その２）		
縮尺	図示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

Ａ１橋台防護柵

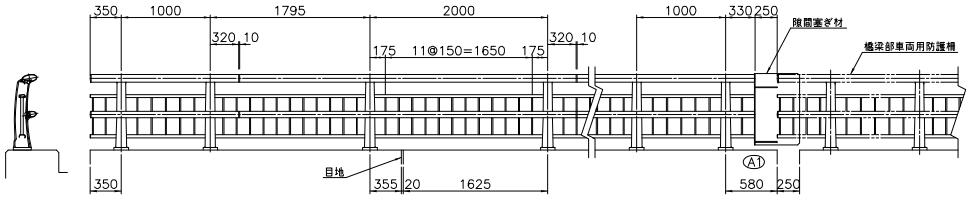
平　面　図　S=1/200

注記
1.記入寸法はアンカーセンター押えとし、実長で示す。
2.(　)内寸法は水平長を示す。
3.図中○印は支柱取付位置を示し、十印は橋梁継手部を示す。
4.製作勾配は全てレベル用とする。

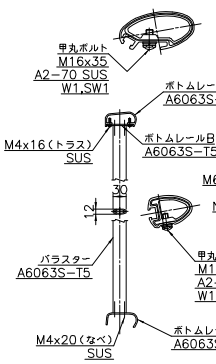
防護柵総延長：18M420
（A1側）



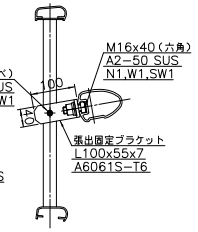
姿図（G−G）　S=1/30



断面A−A



断面C−C

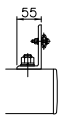


材料表

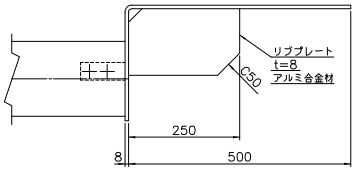
（12M当たり）

部番	名　称	寸　度	数量	単　重	1本当	総重量	材　質	備　考
1	主要横梁	3990.0	3	4.925	19.65	59.0	A6061S−T6	170x85x3.5
2	下段横梁	3990.0	3	3.394	13.54	40.6	A6061S−T6	99x69x4
3	支柱		6		10.02	60.1	AC7A相当	
4	主要スリーブ	340.0	3	4.667	1.59	4.8	A6061S−T6	
5	下段スリーブ	300.0	3	3.195	0.96	2.9	A6061S−T6	
6	ボトムレールA	1940.0	6	1.145	2.22	13.3	A6063S−T5	70x32
7	ボトムレールB	1880.0	6	0.461	0.87	5.2	A6063S−T5	57x3
8	ボトムレールC	1940.0	6	0.929	1.80	10.8	A6063S−T5	70x32
9	バラスター	421.0	72	0.369	0.16	11.5	A6063S−T5	30x12
10	ボトムシート	30.0	24	1.171	0.04	1.0	A6063S−T5	L−47x40
11	甲丸ボルト	M16x35	12		0.11	1.3	A2−70 SUS	W1,SW1
12	〃	M12x30	12		0.05	0.6	A2−70 SUS	W1,SW1
13	六角ボルト	M16x50	12		0.17	2.0	A2−50 SUS	N1,W1,SW1
14	〃	M16x70	12		0.20	2.4	A2−50 SUS	N1,W1,SW1
15	〃	M10x40	12		0.06	0.7	A2−50 SUS	N1,W2,SW1
16	十字穴付き六角ボルト	M5x16	24		0.004	0.1	SUS	W1,SW1
17	なべタッピンネジ（2種）	M4x20	288		0.002	0.6	SUS	
18	トラスタッピンネジ	M4x16	48		0.002	0.1	SUS	
19	アンカーボルト	M20x300	12		0.89	10.7	SCM435	N3,φ44W1,SW1
20	〃	M20x220	12		0.68	8.2	強度区分4.6以上	N1,φ44W1,SW1
21	アンカープレート	t=12	6		1.88	11.3	SS400	100x200x12
					総重量	247.2	Kg/12M	
					M当り	20.6	Kg/M（端部は除く）	

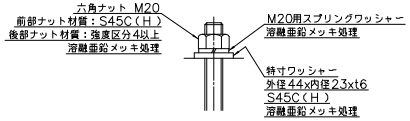
断面D−D



矢視F−F

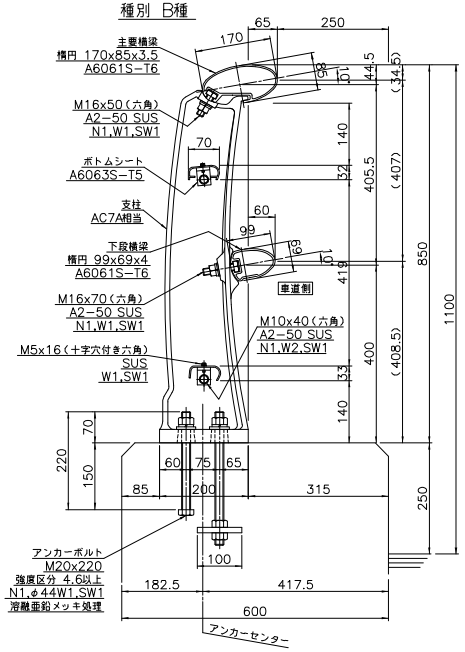


アンカーナット締め付け部　S=1/3

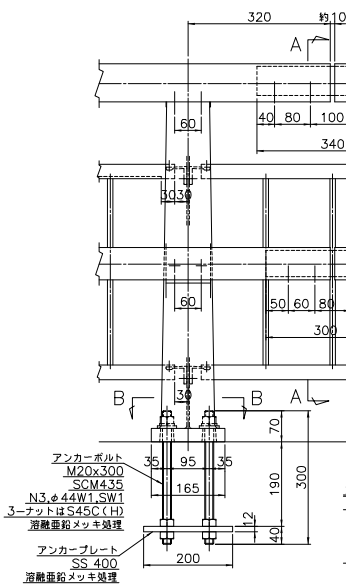


高欄兼用車両防護柵取付詳細図　S=1/6

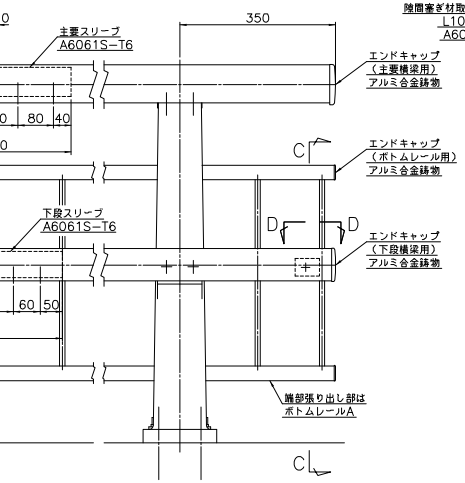
種別　B種



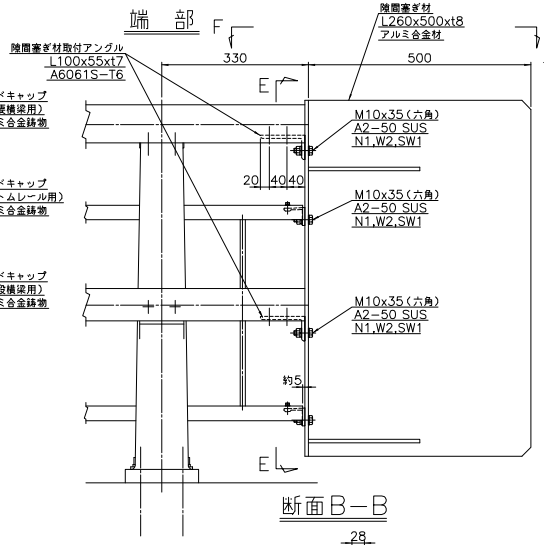
継手部



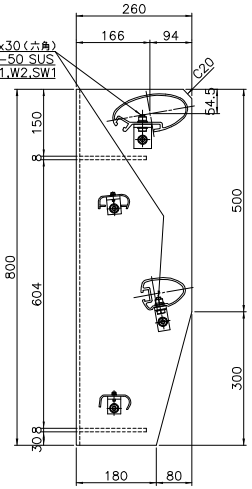
端　部



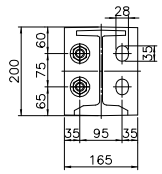
端　部



断面E−E



断面B−B



注記
1. 表面仕様
主要横梁、下段横梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、
支柱は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、
色調は別途打合せとする。
2. 本防護柵の設計仕様は、（社）日本アルミニウム協会　土木製品開発委員会作成
「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」（平成22年10月）による。
3. 本防護柵はNETIS登録製品（KK−070006−V）です。
4. 本防護柵の支柱は、レベル用を示し、0〜2.5%勾配に使用とする。

コンクリート強度　σck=21N/mm² 以上

年　度	平成27年	番　号	107/153
路線 河川 名	一般国道（新）371号		
工 事 名	（仮称）小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	Ａ１橋台防護柵		
縮　尺	図　示	作成年月	平成29年2月

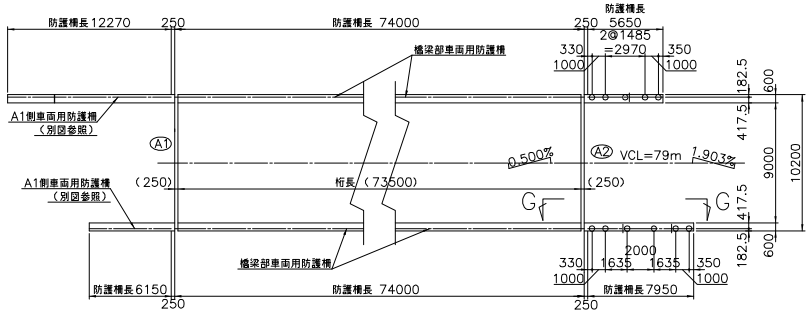
大阪府富田林土木事務所

Ａ２橋台防護柵

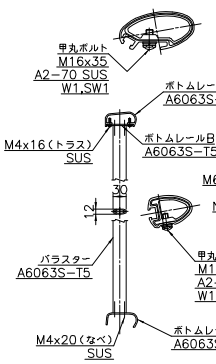
平　面　図　S=1/200

注記
1.記入寸法はアンカーセンター押えとし、実長で示す。
2.(　)内寸法は水平長を示す。
3.図中○印は支柱取付位置を示し、十印は橋梁継手部を示す。
4.製作勾配は全てレベル用とする。

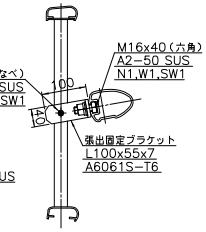
防護柵総延長：13M600
（A2側）



断面A−A



断面C−C

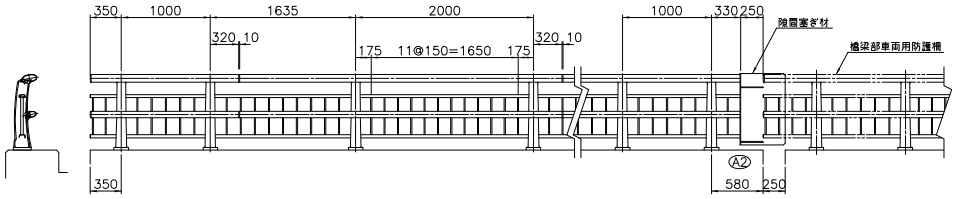


材料表

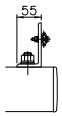
（12M当たり）

部番	名　称	寸　度	数量	単　重	1本当	総重量	材　質	備　考
1	主要横梁	3990.0	3	4.925	19.65	59.0	A6061S−T6	170x85x3.5
2	下段横梁	3990.0	3	3.394	13.54	40.6	A6061S−T6	99x69x4
3	支柱		6		10.02	60.1	AC7A相当	
4	主要スリーブ	340.0	3	4.667	1.59	4.8	A6061S−T6	
5	下段スリーブ	300.0	3	3.195	0.96	2.9	A6061S−T6	
6	ボトムレールA	1940.0	6	1.145	2.22	13.3	A6063S−T5	70x32
7	ボトムレールB	1880.0	6	0.461	0.87	5.2	A6063S−T5	57x3
8	ボトムレールC	1940.0	6	0.929	1.80	10.8	A6063S−T5	70x32
9	バラスター	421.0	72	0.369	0.16	11.5	A6063S−T5	30x12
10	ボトムシート	30.0	24	1.171	0.04	1.0	A6063S−T5	L−47x40
11	甲丸ボルト	M16x35	12		0.11	1.3	A2−70 SUS	W1,SW1
12	〃	M12x30	12		0.05	0.6	A2−70 SUS	W1,SW1
13	六角ボルト	M16x50	12		0.17	2.0	A2−50 SUS	N1,W1,SW1
14	〃	M16x70	12		0.20	2.4	A2−50 SUS	N1,W1,SW1
15	〃	M10x40	12		0.06	0.7	A2−50 SUS	N1,W2,SW1
16	十字穴付き六角ボルト	M5x16	24		0.004	0.1	SUS	W1,SW1
17	なべタッピンネジ（2種）	M4x20	288		0.002	0.6	SUS	
18	トラスタッピンネジ	M4x16	48		0.002	0.1	SUS	
19	アンカーボルト	M20x300	12		0.89	10.7	SCM435	N3,φ44W1,SW1
20	〃	M20x220	12		0.68	8.2	強度区分4.6以上	N1,φ44W1,SW1
21	アンカープレート	t=12	6		1.88	11.3	SS400	100x200x12
					総重量	247.2	Kg/12M	
					M当り	20.6	Kg/M（端部は除く）	

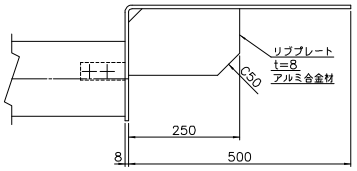
姿図（G−G）　S=1/30



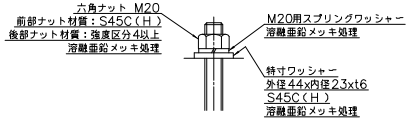
断面D−D



矢視F−F

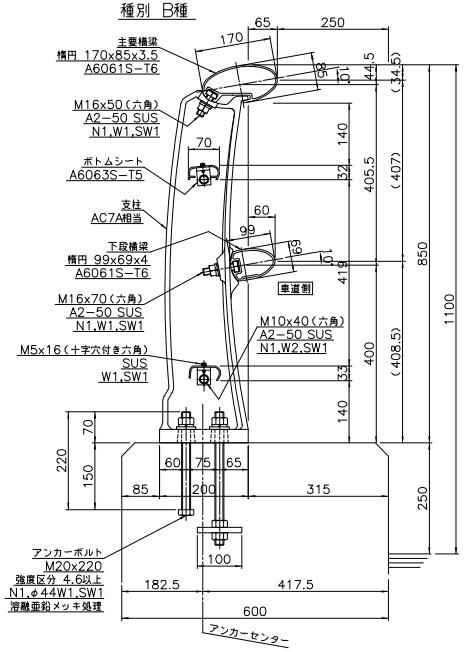


アンカーナット締め付け部　S=1/3

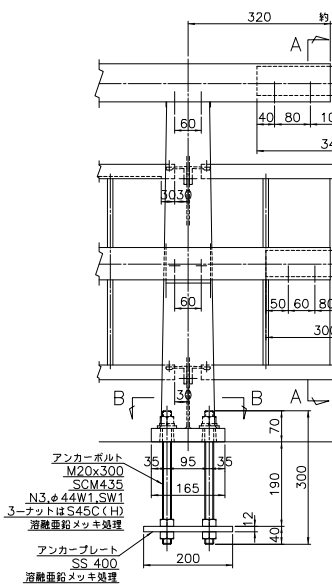


高欄兼用 車両防護柵取付詳細図　S=1/6

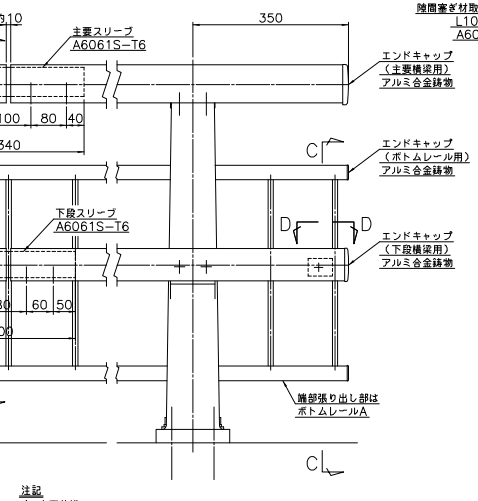
種別 B種



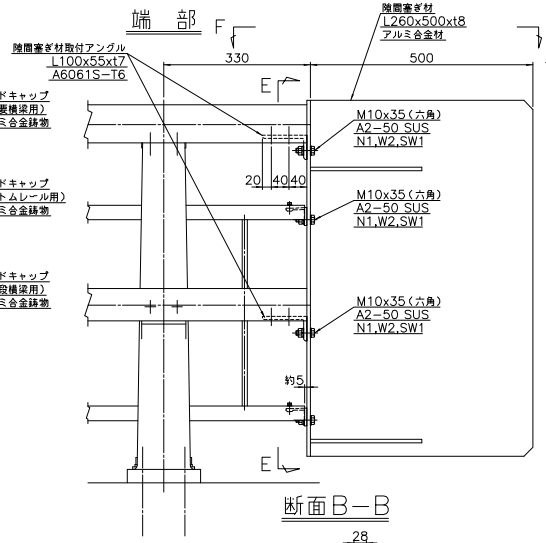
継手部



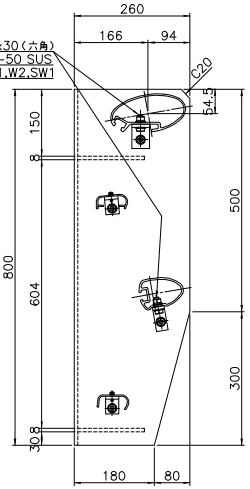
端　部



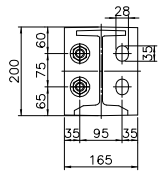
端　部



断面E−E



断面B−B



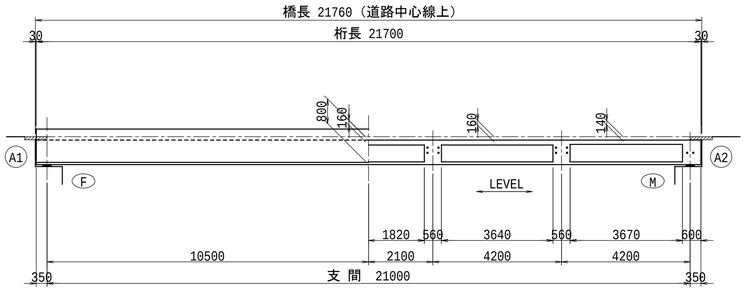
注記
1. 表面仕様
主要横梁、下段横梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、
支柱は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、
色調は別途打合せとする。
2. 本防護柵の設計仕様は、（社）日本アルミニウム協会　土木製品開発委員会作成
「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」（平成22年10月）による。
3. 本防護柵はNETIS登録製品（KK−070006−V）です。
4. 本防護柵の支柱は、レベル用を示し、0〜2.5%勾配に使用とする。

コンクリート強度　σck=21N/mm^2 以上

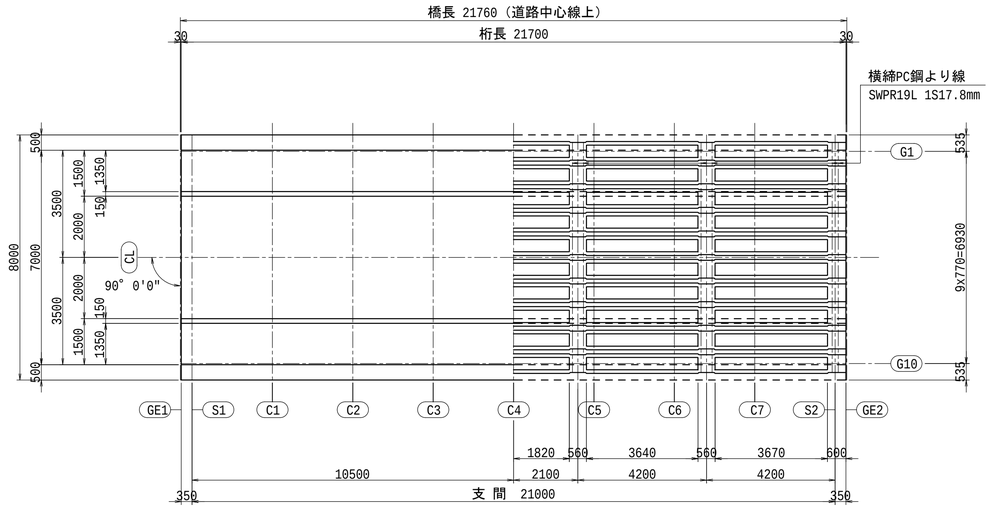
年　度	平成27年	番　号	108/153
路線 河川 名	一般国道（新）371号		
工 事 名	（仮称）小天見谷橋梁詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地内		
図 面 名	Ａ２橋台防護柵		
縮　尺	図　示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

管理橋 上部工構造一般図

側 面 図 S=1/100

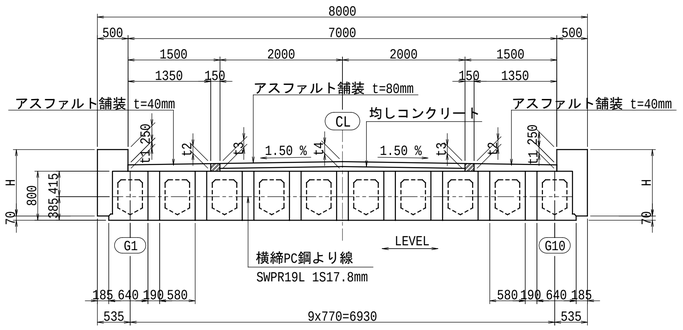


平 面 図 S=1/100

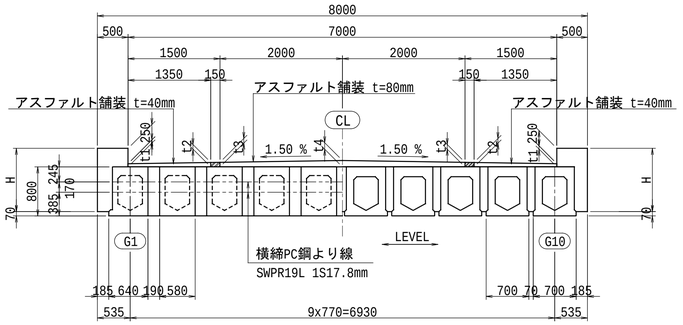


断 面 図 S=1/50

端支点部



中間横桁部　　標準部



設 計 条 件

種別	プレストレストコンクリート道路橋
型式	プレテンション方式PC単純床版橋
活荷重	A活荷重
衝撃係数	i=10/(25+l)...L荷重
橋長	21.760 m （道路中心線上）
桁長	21.700 m
支間	21.000 m
幅員構成	0.500m+1.500m(歩道)+4.000m(車道)+1.500m(歩道)+0.500m (法線方向)
斜角	A1側 90° 0'0"　A2側 90° 00'00"

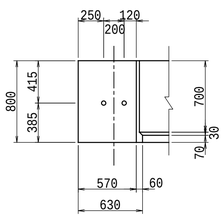
材 料 強 度 及 び 許 容 応 力 度

コンクリート			単位	主桁	床版・横桁
設計基準強度			N/mm²	50.0	30.0
プレストレス導入時圧縮強度			N/mm²	35.0	25.0
許容曲げ圧縮応力度	導入直後		N/mm²	20.0	15.0
	設計荷重		N/mm²	16.0	12.0
許容曲げ引張応力度	導入直後		N/mm²	-1.80	0.00
	死荷重時		N/mm²	0.00	0.00
	設計荷重		N/mm²	-1.80	0.00
平均せん断応力度	設計荷重		N/mm²	0.65	0.45
	終局荷重時	せん断又はねじりのみ	N/mm²	6.00	4.00
		せん断・ねじり	N/mm²	6.80	4.80
許容斜引張応力度	死荷重時	せん断又はねじりのみ	N/mm²	-1.20	-0.80
		せん断・ねじり	N/mm²	-1.50	-1.10
	設計荷重時	せん断又はねじりのみ	N/mm²	-2.30	-1.70
		せん断・ねじり	N/mm²	-2.80	-2.20
PC鋼材				SWPR7BL 1S15.2	SWPR19L 1S17.8
引張強度			N/mm²	1850	1850
降伏点応力度			N/mm²	1600	1600
許容引張 応力度	導入時		N/mm²	1440	1440
	導入直後		N/mm²	1295	1295
	設計荷重		N/mm²	1110	1110
鉄筋				SD345	
降伏点応力度			N/mm²	345.0	
許容引張 応力度	主桁		N/mm²	-	
	床版		N/mm²	140.0	
	横桁		N/mm²	200.0	

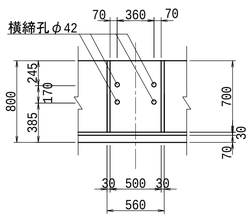
地覆コンクリート強度　σck＝24 N/mm²

横締め位置詳細図 S=1/30

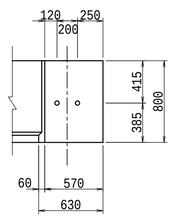
S1支点部



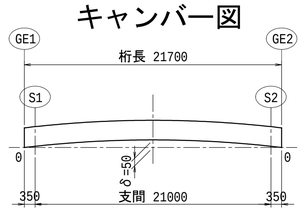
中間横桁部



S2支点部



キャンバー図



δは、主桁製作後９０日のそり量である。
架設に当たっては、各工場のそり測定結果を基にして、
設計計画に合うように、舗装厚等を調整する必要がある。

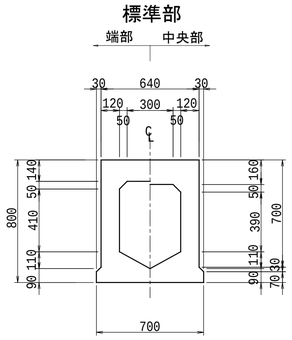
舗装厚・地覆高表

（単位：mm）

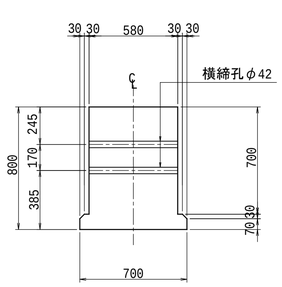
	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	S2	GE2	平均
t1	108	104	86	70	61	58	61	70	86	104	108	75
t2	128	125	106	90	81	78	81	90	106	125	128	95
t3	130	127	108	93	83	80	83	93	108	127	130	97
t4	160	157	138	123	113	110	113	123	138	157	160	127
H	1088	1084	1066	1050	1041	1038	1041	1050	1066	1084	1088	1055

主桁断面図 S=1/20

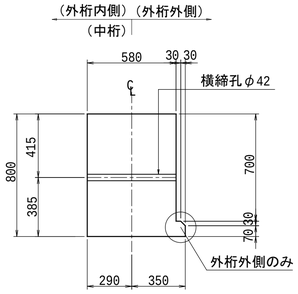
標準部



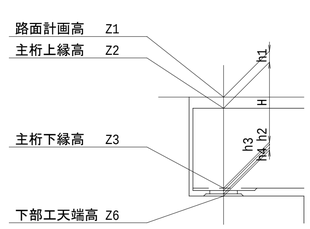
AS21相当 中間横桁部



支点横桁部



支承部構造高表

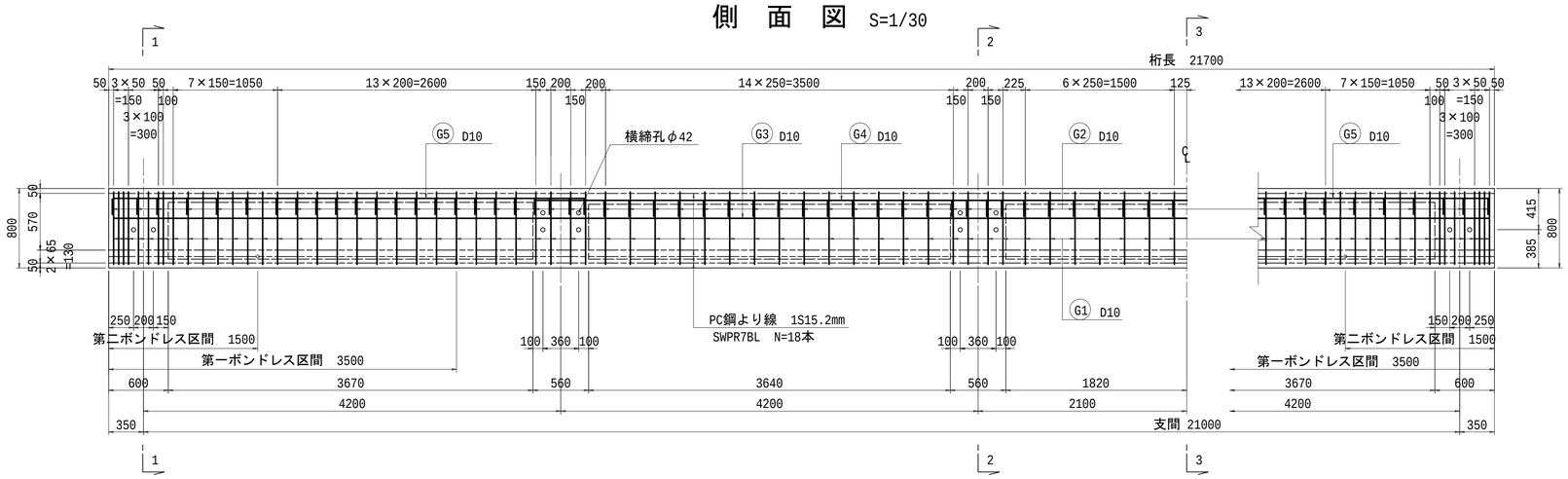


（単位：m）

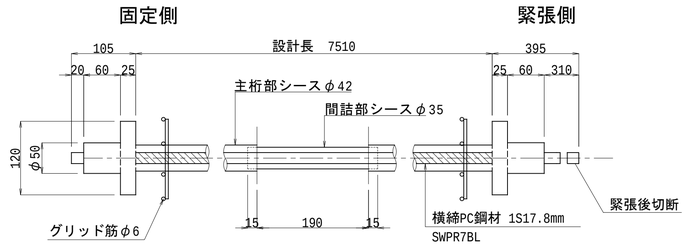
		A1橋台			A2橋台		
		S1 支点上			S2 支点上		
		G1桁	CL	G10桁	G1桁	CL	G10桁
路面計画高	Z1	131.448	131.500	131.448	131.448	131.500	131.448
舗装厚	h1	0.105	0.157	0.105	0.105	0.157	0.105
主桁上縁高	Z2	131.343	131.343	131.343	131.343	131.343	131.343
桁高	H	0.800	0.800	0.800	0.800	0.800	0.800
主桁下縁高	Z3	130.543	130.543	130.543	130.543	130.543	130.543
レアー厚	h2	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
支承厚	h3	0.079	0.079	0.079	0.079	0.079	0.079
沓座厚	h4	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030
下部工天端高	Z4	130.434	130.434	130.434	130.434	130.434	130.434

管理橋 主桁配筋図

側 面 図 S=1/30



横 締 定 着 詳 細 図 S=1/5



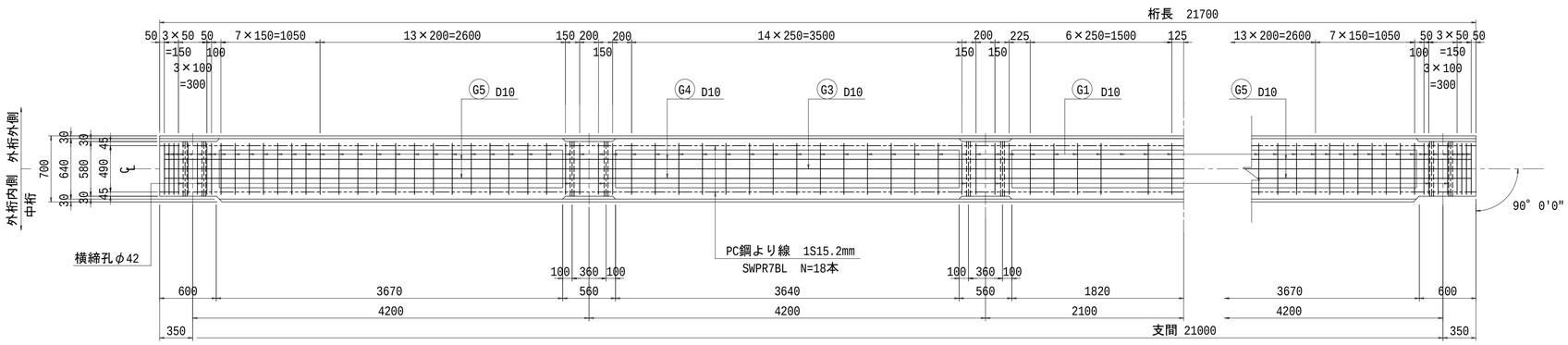
鉄 筋 表

（主桁１本当り）

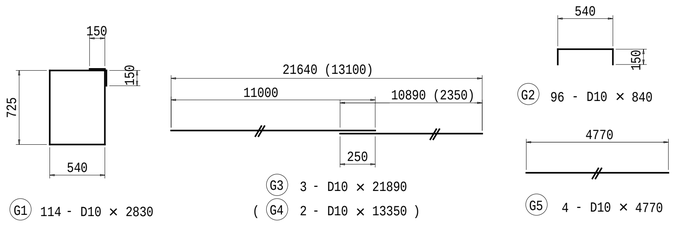
記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	１本当質量	質 量	摘 要
G 1	D10	2830	114	0.560	1.58	180	
2	〃	840	96	〃	0.47	45	
3	〃	21890	3	〃	12.26	37	
4	〃	13350	2	〃	7.48	15	
5	〃	4770	4	〃	2.67	11	
	φ6	1200	20	0.222	0.27	5	

主桁1本当り		
D10	288	kg
主桁全 10本		
合計	2880	kg
グリッド筋 φ6	5	kg
外桁全 2本	10	kg

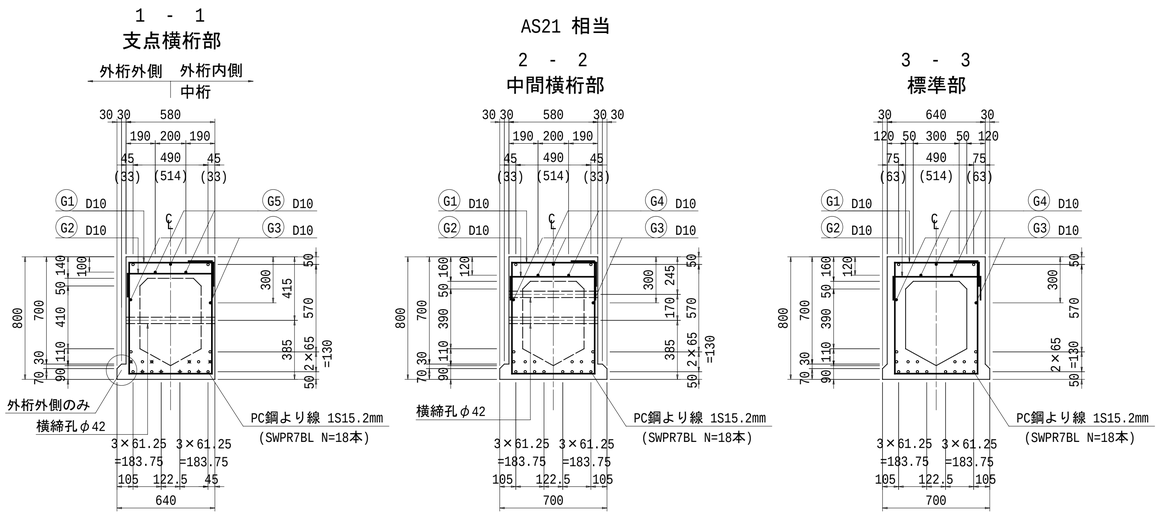
平 面 図 S=1/30



横締定着詳細図 S=1/5

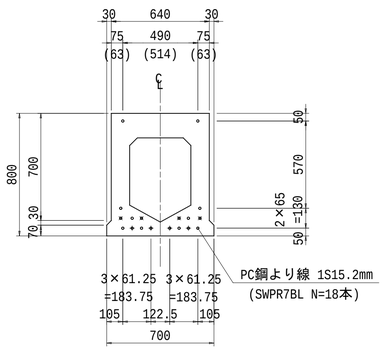


断 面 図 S=1/20



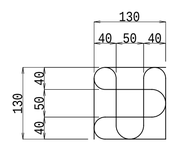
※（ ）内寸法は、最下段及び最上段以外の
ＰＣ鋼より線の水平距離を示す。

ＰＣ鋼材配置図 S=1:20



◦ Ｐ Ｃ 鋼 材 (N=18本)
＋ 第一ポンドコントロール鋼材 (N=4本)
× 第二ポンドコントロール鋼材 (N=4本)

グリット筋

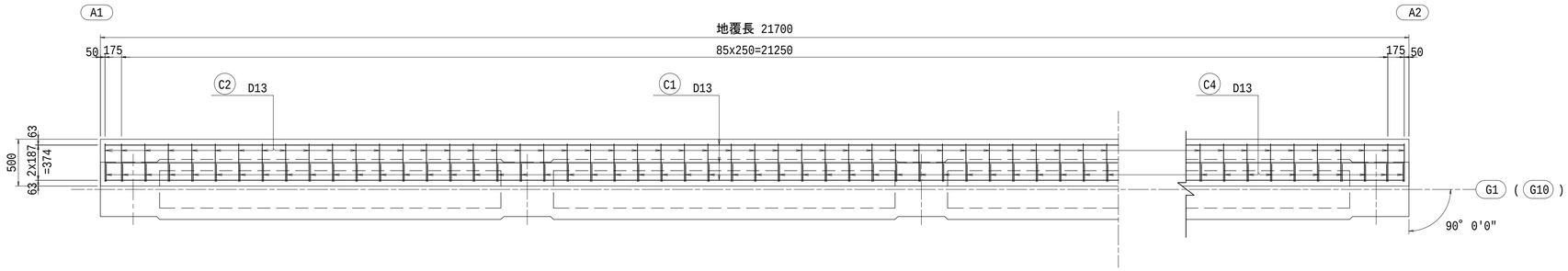


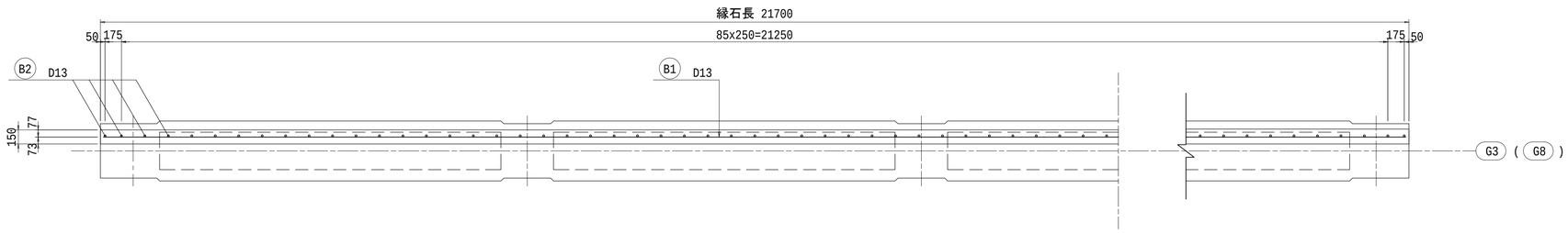
20 - φ6 X 1200 （外桁のみ）

注）横締めは、フレシネ工法を参照したものである。

管理橋 地覆配筋図

平 面 図 S=1/30



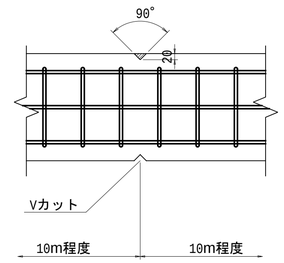


鉄 筋 表

(1橋当り)

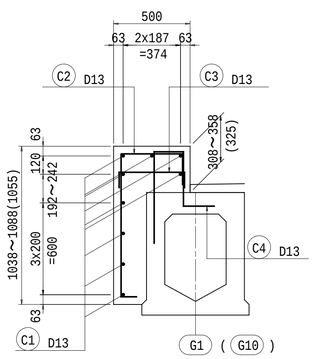
記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当質量	質 量	摘 要
地覆							
C 1	D13	22040	18	0.995	21.93	395	
2	〃	1700	176	〃	1.69	297	(平均長)
3	〃	630	176	〃	0.63	111	
4	〃	1390	176	〃	1.38	243	<主桁埋込> (平均長)
			SD345	D13	243 kg	(主桁埋込筋)	
				D13	803 kg		
				合計	1046 kg		
縁石(場所打ち部)							
E 1	D13	22040	2	0.995	21.93	44	
2	〃	350	176	〃	0.35	62	<主桁埋込> (平均長)
			SD345	D13	62 kg	(主桁埋込筋)	
				D13	44 kg		
				合計	106 kg		

Vカット詳細図 S=1/20

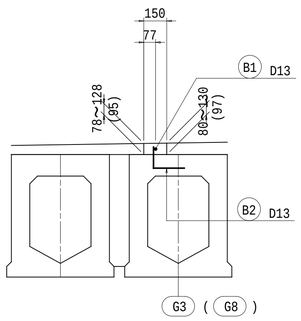


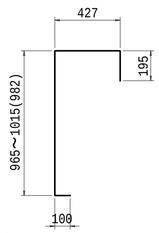
断 面 図 S=1/20

地覆部

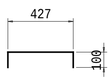


縁石(場所打ち部)

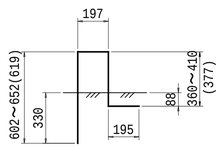




C2 176 - D13 x 1700(平均長)

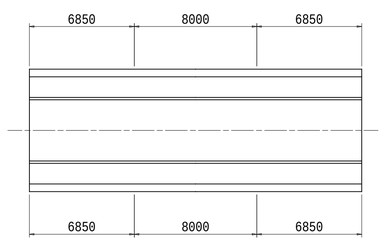


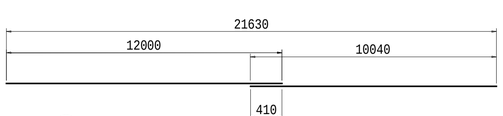
C3 176 - D13 x 630



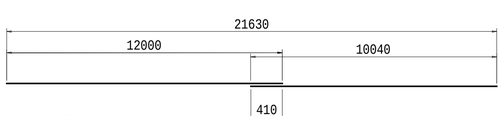
C4 176 - D13 x 1390(平均長)

地覆Vカット位置図

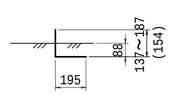




C1 18 - D13 x 22040



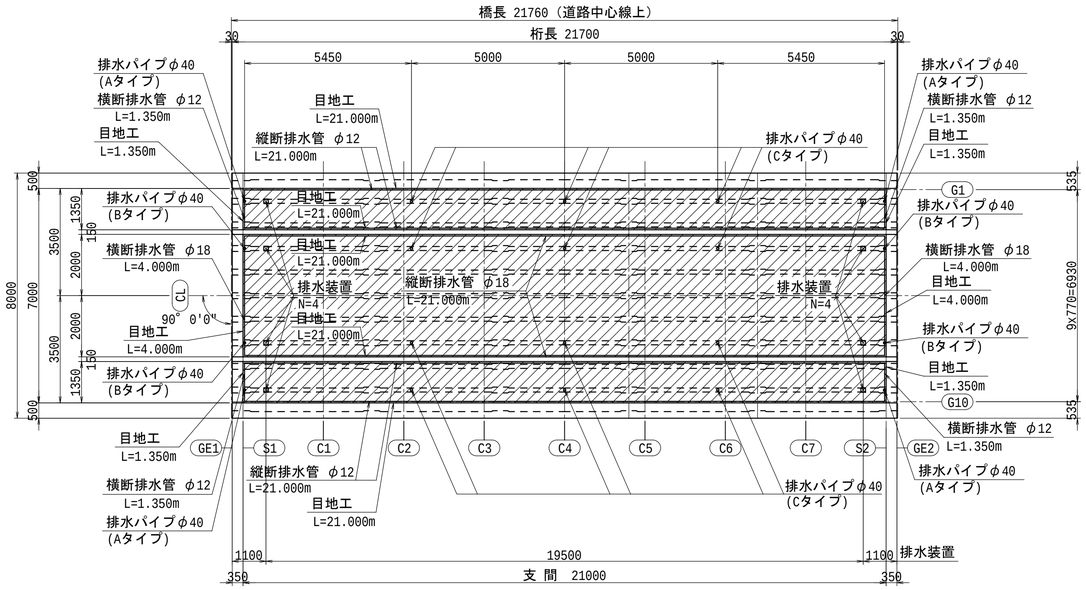
B1 2 - D13 x 22040



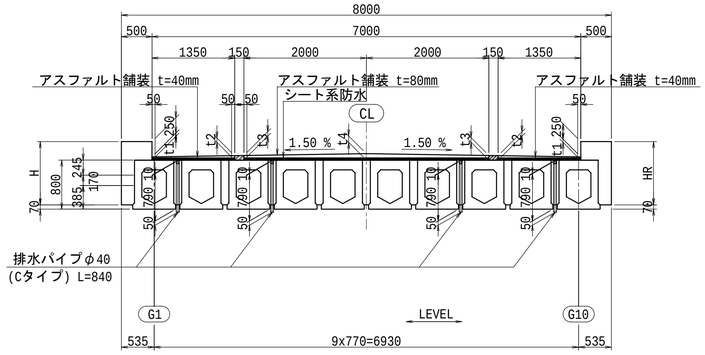
B2 176 - D13 x 350 (平均長)

管理橋 橋面防水詳細図

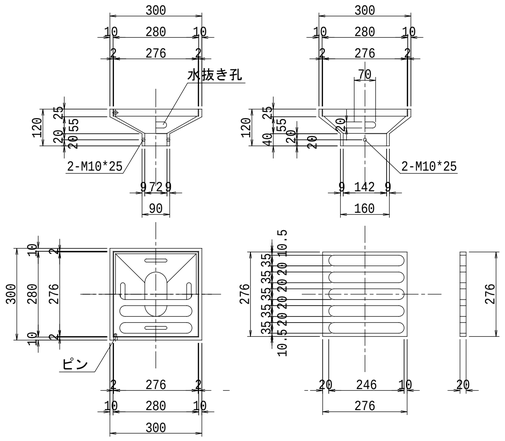
平 面 図 S=1/100



断 面 図 S=1/50



排水装置 S=1/10



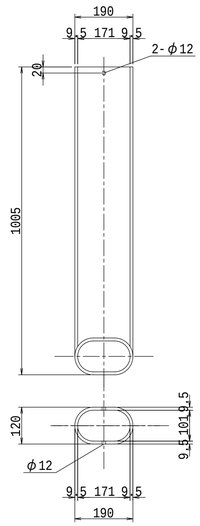
※ふたはボルトによる取付けとする。

舗装厚・地覆高表

（単位：mm）

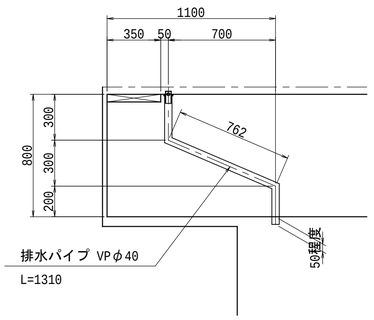
	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	S2	GE2	平 均
t1	108	104	86	70	61	58	61	70	86	104	108	75
t2	128	125	106	90	81	78	81	90	106	125	128	95
t3	130	127	108	93	83	80	83	93	108	127	130	97
t4	160	157	138	123	113	110	113	123	138	157	160	127
H	1088	1084	1066	1050	1041	1038	1041	1050	1066	1084	1088	1055

排水装置 (VP150)

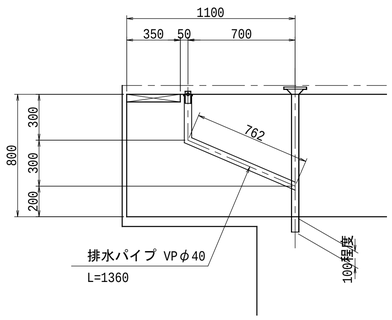


排水パイプ取付図 S=1/20

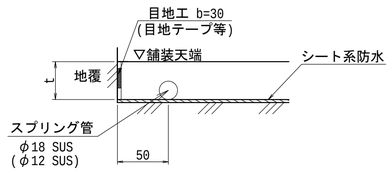
歩道用 Aタイプ



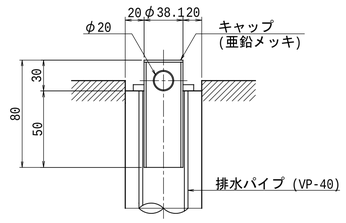
車道部 Bタイプ



縦断排水,地覆部防水詳細図

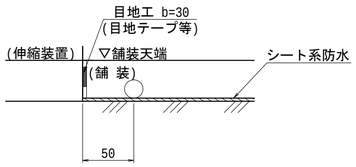


排水パイプ詳細図 S=1/2

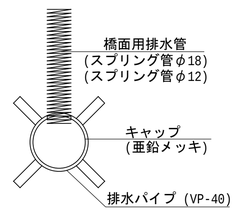


横断排水,端部防水詳細図

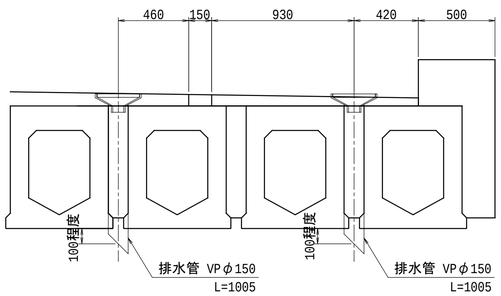
伸 縮 装 置 部



※伸縮装置を後施工する場合は遮断シートが必要。



排水装置取付図 S=1/20



材料表

（1ケ所当り）

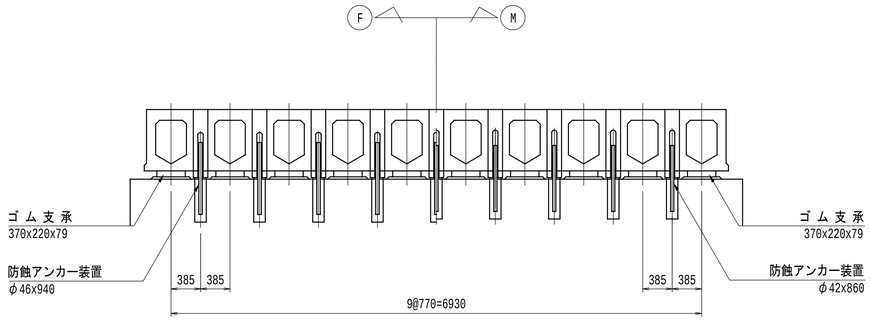
品 名	材 質	数量	質量(kg)	備 考
本 体	FC250	1	12.9	
ボルト	SS400	2	0.1	亜鉛メッキ
ボルト	SS400	2	0.1	亜鉛メッキ
1組分 合 計			13.1 kg/組	

材料表

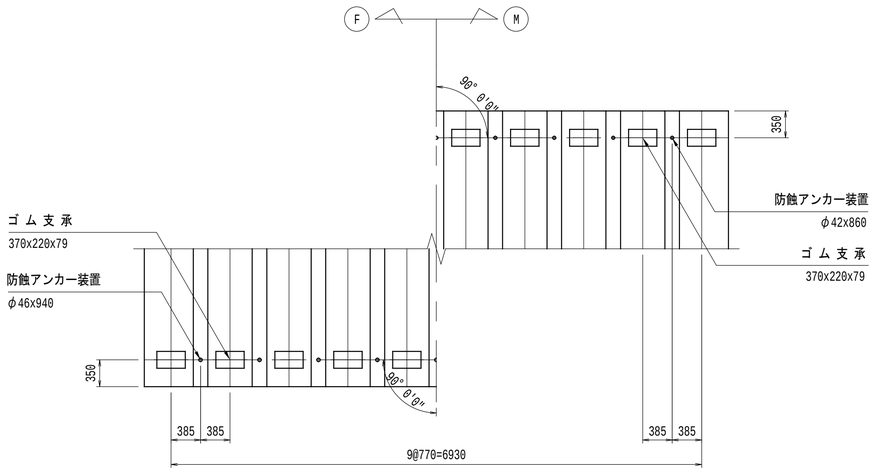
名 称	規 格,寸法	単位	数 量	備 考
防水層	シート系	m2	84.0	車道部
			56.7	歩道用
スプリング管	φ18	m	50.0	車道部
	φ12		89.4	歩道用
目地工	目地テープ b=30	m	139.4	
キャップ	亜鉛メッキ	個	20	
排水パイプ (VP40)	Aタイプ L=1310	m	5.2	N=4
	Bタイプ L=1360		5.4	N=4
	Cタイプ L=840		10.1	N=12

管理橋 支承詳細図

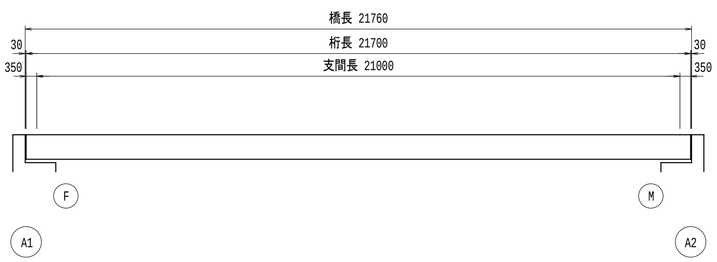
断　面　図　S=1:40



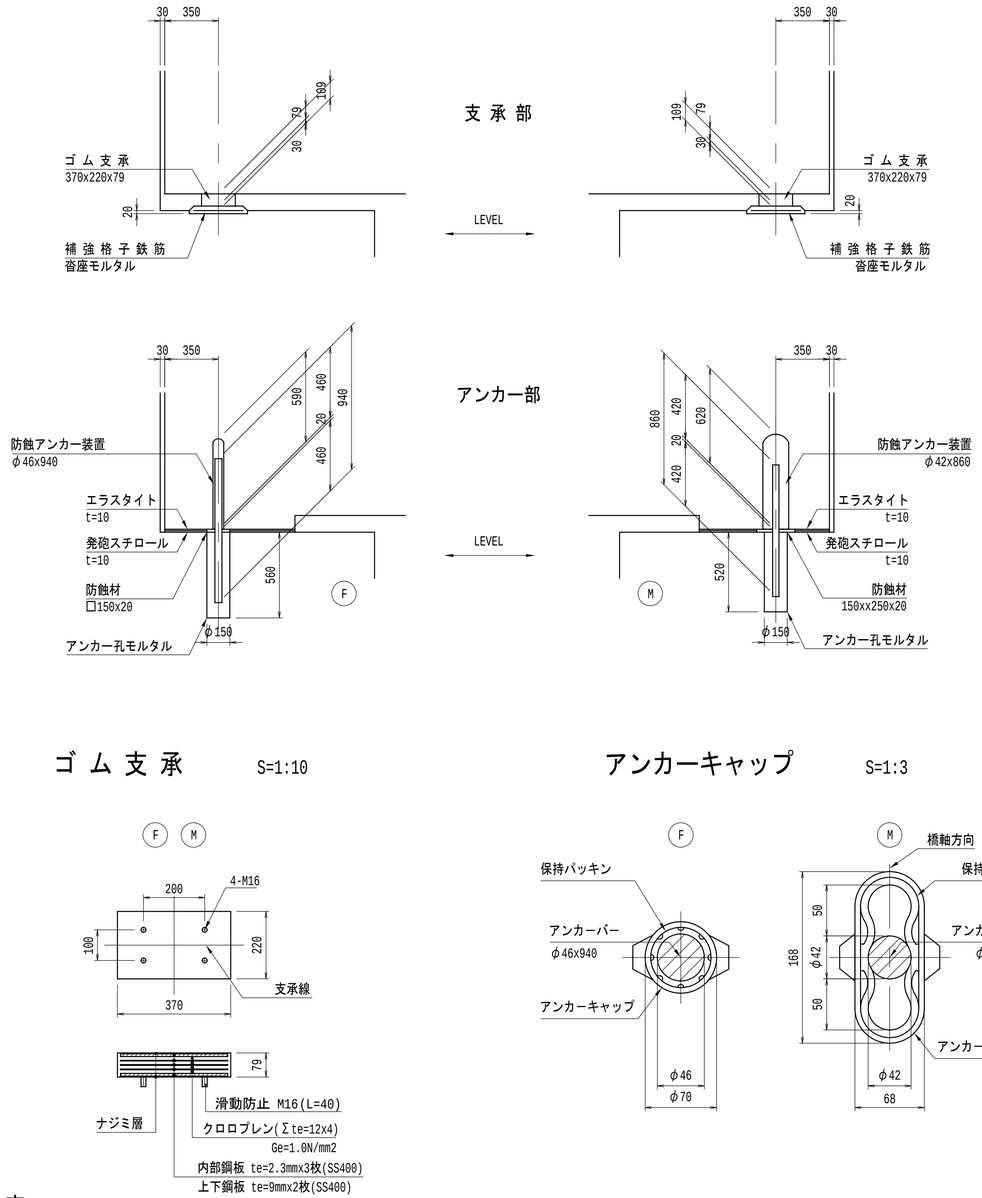
平　面　図　S=1:40



配　置　図　S=1:100

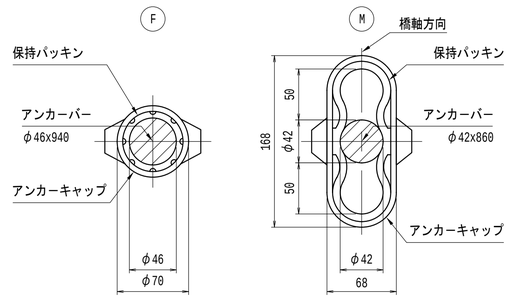


側　面　図　S=1:20



ゴ ム 支 承　S=1:10

アンカーキャップ　S=1:3



材　料　表

名　称	寸　法	材　質	単位	数　量			備　考
				Ｆｉｘ	Ｍｏｖ	合計	
ゴム支承	370x220x79	図　示	枚	10		10	
〃	370x220x79	〃	〃		10	10	
防蝕アンカー装置	PF46D	S35CN ポリエチレン又はFRP合成ゴム	組	9		9	
〃	PM42D	〃	〃		9	9	
防 蝕 材	□150x20	CRスポンジ	枚	9		9	
〃	150x250x20	〃	〃		9	9	
補強格子鉄筋	400x250	SD345	kg	26.0	26.0	52.0	D10x50x50
沓座モルタル		無収縮モルタル	m3	0.090	0.090	0.180	
アンカー孔モルタル		無収縮モルタル	m3	0.082	0.077	0.159	

§１　数量総括表

（　その１　）

工種	種別		仕様		単位	数量	摘要	
主桁製作工	プレテン桁購入工		AS21準用		本	10	L=　21.700　m	
	コンクリート		σck=50N/mm²		m³	74.4	V= 7.434　m³/本	中桁
					〃	―――	V= 7.441　m³/本	外桁
	質量				t	185.9	W= 18.585　t/本	中桁
					〃	―――	W= 18.603　t/本	外桁
	型枠		側枠		m²	353.6		
			端枠		m²	9.3		
			内型枠		m²	329.2		
	鉄筋		SD345 D10		kg	2880		
	ＰＣ鋼より線		SWPR7BL 1S15.2	延長	m	3906.0		
				質量	kg	4300.5		
			ボンドレス鋼材		m	400.0		
	横締めシース		Φ42		m	116.0		
横組工	コンクリート		σck=30N/mm²		m³	19.8		
	型枠		間詰め型枠		m²	12.9		
			横桁型枠		〃	4.9		
	ＰＣ鋼材	ＰＣ鋼より線	SWPR19L 1S17.8	延長	m	150.2		
				質量	kg	248.1		
		シース	φ３５		m	39.6		
		グラウト	φ３５		m	150.2		
		定着具	1S17.8用 標準ﾌﾟﾚｰﾄ		組	40	θ=90° 00′ 00″	
		ケーブル組立工	1S17.8用		m	150.2		
		緊張工	1S17.8用		本	20		
	側部足場工				m	43.5		
地覆工	コンクリート		σck=24N/mm²		m³	14.0		
	型枠				m²	69.347		
	鉄筋		SD345	D13	kg	243	主桁埋込筋	
				D13	〃	803		
				合計	〃	1046		
	Vカット				箇所	4		

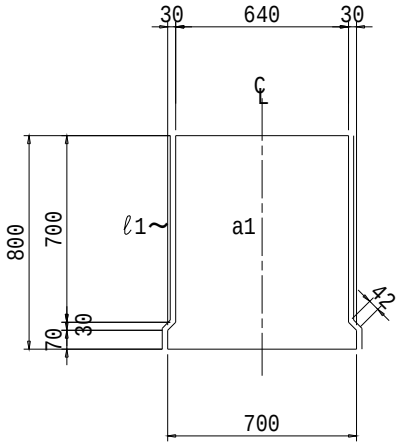
桁１本当り数量

種　　別	仕　　様		単位	数　　量		
				中　桁	外　桁	合計
プレテン桁購入	JIS5373-2004 AS21準用		本	8	2	10
コンクリート	σck=50N/mm^2		m^3	7.434	7.441	74.354
質　　量			t	18.585	18.603	185.886
型　　枠	側　　枠		m^2	35.346	35.396	353.560
	端　　枠		m^2	0.928	0.939	9.302
	内　型　枠		m^2	32.921	32.921	329.210
鉄　　筋	SD345 D10		kg	288	288	2880
ＰＣ鋼より線	SWPR7BL 1S15.2	延　長	m	390.600	390.600	3906.000
		質　量	kg	430.051	430.051	4300.510
	ボンドレス鋼材		m	40.000	40.000	400.000
横締めシース	φ４２		m	11.600	11.600	116.000

§２　主桁製作工
２．１　プレテン桁購入工

AS21準用

標準部



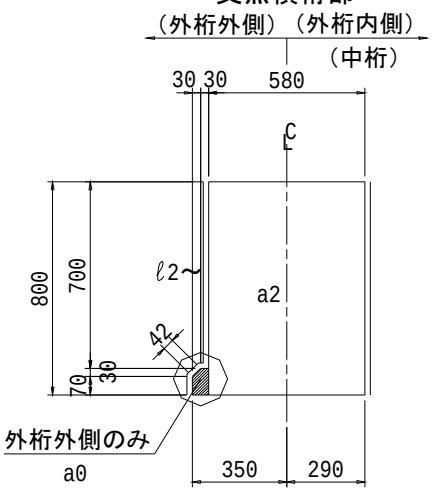
断面積

a1 ＝ 0.640 × 0.700
　　＋ 1/2 × (0.640 ＋ 0.700)
　　× 0.030
　　＋ 0.700 × 0.070
　＝ 0.5171 m^2

周長

l1 ＝ (0.700 ＋ 0.042
　　＋ 0.070) × 2
　＝ 1.624 m

支点横桁部



断面積

a2 ＝ 0.580 × 0.800
　＝ 0.4640 m^2

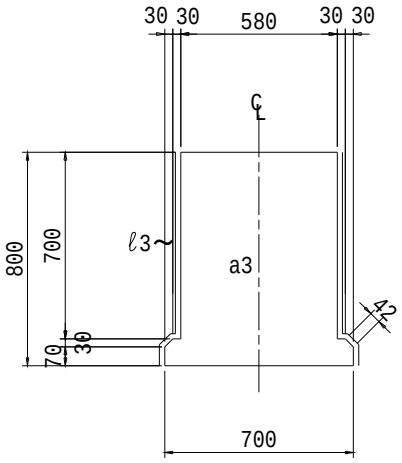
a0 ＝ 0.060 × 0.100
　　－ 1/2 × 0.030 × 0.030
　＝ 0.0056 m^2

周長

l2 ＝ 0.800 ＋ 0.800
　＝ 1.600 m

l2' ＝ 0.700 ＋ 0.030 ＋ 0.042
　　＋ 0.070 ＋ 0.800
　＝ 1.642 m

中間横桁部

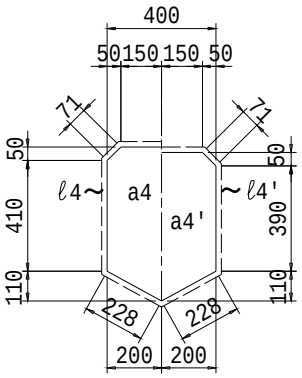


断面積

a3 ＝ 0.580 × 0.700
　　＋ 1/2 × (0.640 ＋ 0.700)
　　× 0.030
　　＋ 0.700 × 0.070
　＝ 0.4751 m^2

周長

l3 ＝ (0.700 ＋ 0.030
　　＋ 0.042 ＋ 0.070) × 2
　＝ 1.684 m



断面積

a4 ＝ 0.400 × 0.570
　　－ 0.050 × 0.050
　　－ 0.200 × 0.110
　＝ 0.2035 m^2

a4'＝ 0.400 × 0.550
　　－ 0.050 × 0.050
　　－ 0.200 × 0.110
　＝ 0.1955 m^2

周長

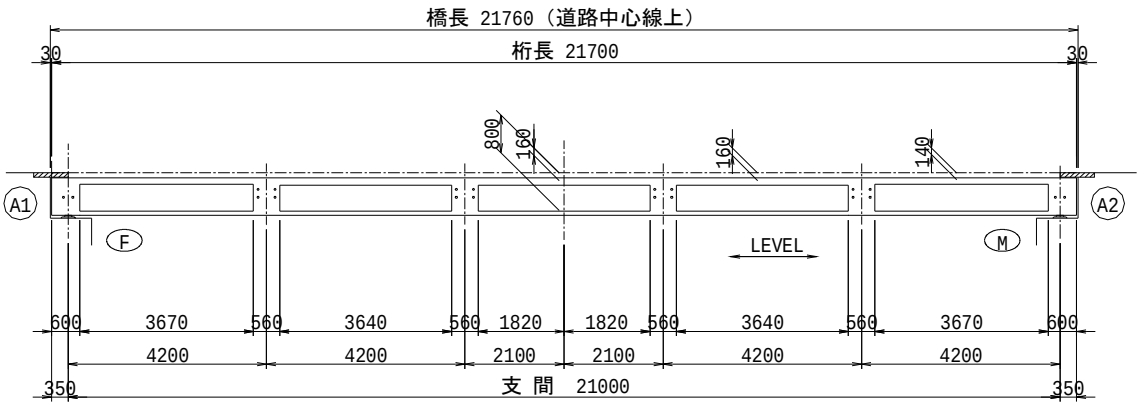
l4 ＝ (0.150 ＋ 0.071
　　＋ 0.410 ＋ 0.228) × 2
　＝ 1.718 m

l4'＝ (0.150 ＋ 0.071
　　＋ 0.390 ＋ 0.228) × 2
　＝ 1.678 m

桁本数

N ＝ 10 本

斜　比 ： 1.000000



２．２ コンクリート　（σck = 50N/mm²）

中　桁

標準部

a1　桁長　支点横桁厚　中間横桁厚

V1 ＝ 0.5171 × { 21.700 -(0.600 × 2 ＋ 0.560 × 4)}　＝ 9.442 m^3

支点横桁部

a2　支点横桁厚

V2 ＝ 0.4640 × 0.600 × 2　＝ 0.557 m^3

中間横桁部

a3　中間横桁厚

V3 ＝ 0.4751 × 0.560 × 4　＝ 1.064 m^3

ボイド控除部

a4

－ V4 ＝ 0.2035 × 3.670 × 2　＝ -1.494 m^3

a4'

－ V4 ＝ 0.1955 × (3.640 ＋ 1.820) × 2　＝ -2.135 m^3

ΣV ＝ 7.434 m^3

１本当たり体積

中　桁

V ＝ 7.434　＝ 7.434 m^3 /本

外　桁

a0　支点横桁厚

V ＝ 7.434 ＋ 0.0056 × 0.600 × 2　＝ 7.441 m^3 /本

１本当たり質量

中　桁

ΣV　単位質量

W ＝ 7.434 × 2.5　＝ 18.585 t /本

外　桁

ΣV　単位質量

W ＝ 7.441 × 2.5　＝ 18.603 t /本

１橋当り

V　中桁本数　V　外桁本数

ΣV ＝ 7.434 × 8 ＋ 7.441 × 2　＝ 74.354 m^3 /橋

W　中桁本数　W　外桁本数

ΣW ＝ 18.585 × 8 ＋ 18.603 × 2　＝ 185.886 t /橋

２．３ 型　枠

２．３．１ 側　枠

中　桁

標準部

$$A1 = \overset{l1}{1.624} \times \{ \overset{桁長}{21.700} - (\overset{支点横桁厚}{0.600} \times 2 + \overset{中間横桁厚}{0.560} \times 4)\} = 29.654 \ m^2$$

支点横桁部

$$A2 = \overset{l2}{1.600} \times \overset{支点横桁厚}{0.600} \times 2 = 1.920 \ m^2$$

中間横桁部

$$A3 = \overset{l3}{1.684} \times \overset{中間横桁厚}{0.560} \times 4 = 3.772 \ m^2$$

$$\Sigma A1 = 35.346 \ m^2$$

中桁１本当たり

$$\Sigma A = \overset{\Sigma A1}{35.346} = 35.346 \ m^2/本$$

外　桁

$$\Sigma A2 = \overset{\Sigma A1}{35.346} + (\overset{l2'}{1.642} - \overset{l2}{1.600}) \times \overset{支点横桁厚}{0.600} \times 2 = 35.396 \ m^2/本$$

１橋当り

$$\Sigma A = \overset{\Sigma A1}{35.346} \times \overset{中桁本数}{8} + \overset{\Sigma A2}{35.396} \times \overset{外桁本数}{2} = 353.560 \ m^2/橋$$

２．３．２ 端　枠

中　桁

$$A1 = \overset{a2}{0.4640} \times \overset{斜\ 比}{1.000000} \times 2 = 0.928 \ m^2$$

外　桁

$$A2 = (\overset{a2}{0.4640} + \overset{a0}{0.0056}) \times \overset{斜\ 比}{1.000000} \times 2 = 0.939 \ m^2$$

１橋当り

$$\Sigma A = \overset{\Sigma A1}{0.928} \times \overset{中桁本数}{8} + \overset{\Sigma A2}{0.939} \times \overset{外桁本数}{2} = 9.302 \ m^2/橋$$

２．３．３ 内型枠

a4　　斜 比

A1 ＝ 0.2035 × 1.000000 × 2 × 2

l4　　ボイド長

＋ 1.718 × 3.670 × 2　　＝ 13.424 m^2

a4'　　斜 比

A2 ＝ 0.1955 × 1.000000 × 2 × 3

l4'　　ボイド長

＋ 1.678 × 3.640 × 3　　＝ 19.497 m^2

∑A1 ＝ 32.921 m^2

１橋当り

A　　桁本数

∑A ＝ 32.921 × 10　　＝ 329.210 m^2 /橋

２．４ 鉄　筋　（ SD345 ）

D10　　288　kg/本

１橋当り

w　　桁本数

∑W ＝ 288 × 10　　＝ 2880 kg /橋

２．５ ＰＣ鋼より線　（ SWPR7BL 1S15.2 ）　W ＝ 1.101 kg/m

１）鋼材長

実桁長　　鋼材本数

L ＝ 21.700 × 18　　＝ 390.600 m

L　　桁本数

∑L ＝ 390.600 × 10　　＝ 3906.000 m /橋

２）鋼材質量

L　　単位質量

W ＝ 390.600 × 1.101　　＝ 430.051 kg

L　　桁本数

∑W ＝ 430.051 × 10　　＝ 4300.510 kg /橋

３）ボンドレス鋼材長

ボンドレス長　　鋼材本数　　ヶ所数　　ボンドレス長　　鋼材本数　　ヶ所数

L ＝ 3.500 × 4 × 2 ＋ 1.500 × 4 × 2　　＝ 40.000 m

L　　桁本数

∑L ＝ 40.000 × 10　　＝ 400.000 m /橋

２．６ 横締めシース （ φ 42 ）

中 桁

ウェブ幅　斜 比

L ＝ 0.580 × 1.000000

本数　ヶ所数　本数　ヶ所数

× (2 × 2 ＋ 4 × 4) ＝ 11.600 m

外 桁

ウェブ幅　斜 比

L ＝ 0.580 × 1.000000

本数　ヶ所数　本数　ヶ所数

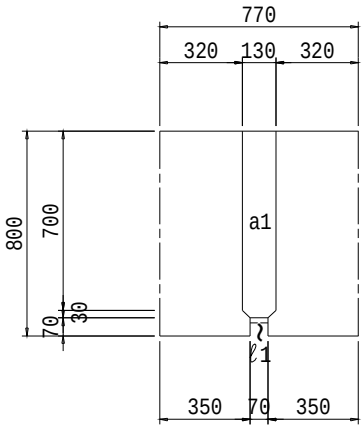
× (2 × 2 ＋ 4 × 4) ＝ 11.600 m

L　中桁本数　L　外桁本数

∑L ＝ 11.600 × 8 ＋ 11.600 × 2 ＝ 116.000 m /橋

§３　横　組　工

標準部



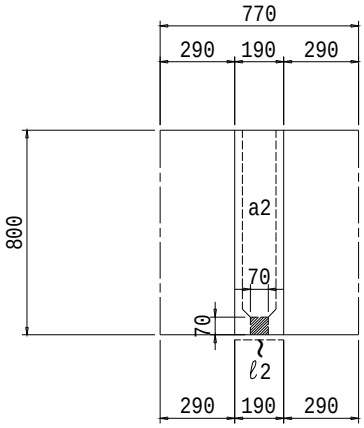
断面積

a1 ＝ 0.130 × 0.730
　　－ 0.030 × 0.030
　　＝ 0.0940 m^2

周　長

l1 ＝ 0.070 m

支点横桁部



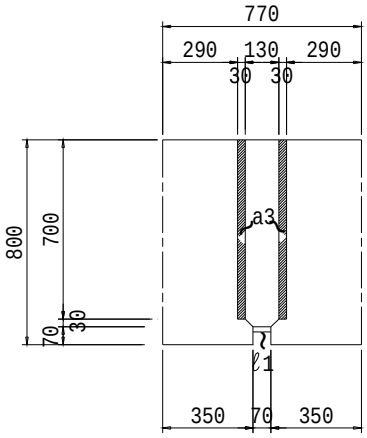
断面積

a2 ＝ 0.190 × 0.800
　　＝ 0.1520 m^2

周　長

l2 ＝ 0.190 m

中間横桁部



断面積

a3 ＝ 0.030 × 0.700 × 2
　　＝ 0.0420 m^2

３．１　コンクリート　（σck = 30N/mm^2）

標準部

a1　桁長　支点横桁厚　桁間数

V1 ＝ 0.0940 × (21.700 － 0.600 × 2) × 9 ＝ 17.343 m^3

支点横桁部

a2　支点横桁厚　桁間数

V2 ＝ 0.1520 × 0.600 × 2 × 9 ＝ 1.642 m^3

中間横桁部

a3　中間横桁厚　桁間数

V3 ＝ 0.0420 × 0.560 × 4 × 9 ＝ 0.847 m^3

Σ V ＝ 19.832 m^3

３．２　型　　枠

３．２．１　間詰型枠

l1　桁長　支点横桁厚　桁間数

A ＝ 0.070 × (21.700 － 0.600 × 2) × 9 ＝ 12.915 m^2

３．２．２　横桁型枠

l2　支点横桁厚　桁間数

A1 ＝ 0.190 × 0.600 × 2 × 9 ＝ 2.052 m^2

a2　l1　桁間数

A2 ＝ (0.1520 ＋ 0.070 × 0.070) × 2 × 9

斜　比

× 1.000000 ＝ 2.824 m^2

Σ A ＝ 4.876 m^2

３．３　ＰＣ鋼より線

SWPR19L 1S17.8　　（余長を含まず）　(W=　1.652 kg/m)

延　長

標準部

鋼材長　本数

L ＝ 7.510 × 20 ＝ 150.200 m

質　量

標準部

W ＝ 150.200 × 1.652 ＝ 248.130 kg

３．４　シース （ φ３５ ）

本数　桁間数

L ＝ (0.015 ＋ 0.190 ＋ 0.015) × 20 × 9 ＝ 39.600 m

３．５　グラウト

Ｌ ＝　　＝　150.200　m

３．６　定着具　（標準プレートθ＝90°00′00″）

本数

Ｎ ＝　20　×　2　　＝　40　組

３．７　ケーブル組立工

Ｌ ＝　150.200　m

３．８　緊張工

Ｎ ＝　　＝　20　本

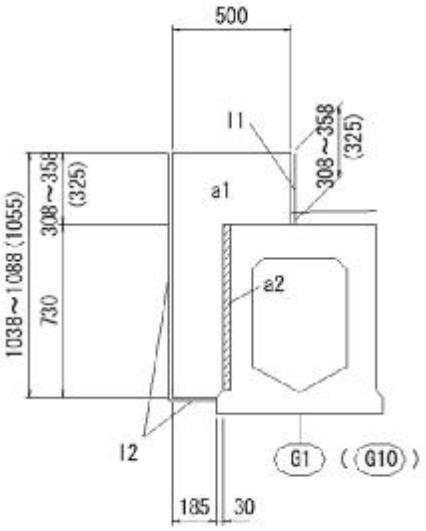
３．９　側 部 足 場 工

橋長

Ｌ ＝ 21.760 × 2　　＝ 43.520 m

§４　地　覆　工

断面形状



地覆長 ＝　21.700　m

平均地覆高の計算

左側 ＝　　舗装計算よりL2(平均)+250　　＝　0.325　m

右側 ＝　　舗装計算よりL2(平均)+250　　＝　0.325　m

断面積

a1 ＝　0.325　×　0.500　＋　0.215　×　0.730　－　1/2 ×　0.030　×　0.030
＝　0.3190　m^2

a2 ＝　0.700　×　0.030　　＝　0.0210　m^2

周長

l1 ＝　0.325　m

l2 ＝　1.055　＋　0.185　　＝　1.240　m

４．１　コンクリート　（σck = 24N/mm^2）

a1　　地覆長

V1 ＝ 0.3190 × 21.700 × 2 ＝ 13.845 m^3

a2　　端横桁幅　　ヶ所数　　中間横桁幅　　ヶ所数

V2 ＝ 0.0210 × (0.600 × 4 ＋ 0.560 × 8) ＝ 0.144 m^3

Σ V ＝ 13.989 m^3

４．２　型　　枠

l1　　地覆長

A1 ＝ 0.325 × 21.700 × 2 ＝ 14.105 m^2

l2　　地覆長

A2 ＝ 1.240 × 21.700 × 2 ＝ 53.816 m^2

桁端部

A3 ＝ (0.358 × 0.500 ＋ 0.215 × 0.730 － 1/2 × 0.030

a2　　斜　比

× 0.030 ＋ 0.0210) × 1.000000 × 4 ＝ 1.4260 m^2

Σ A ＝ 69.347 m^2

４．３　鉄　筋　(SD345)

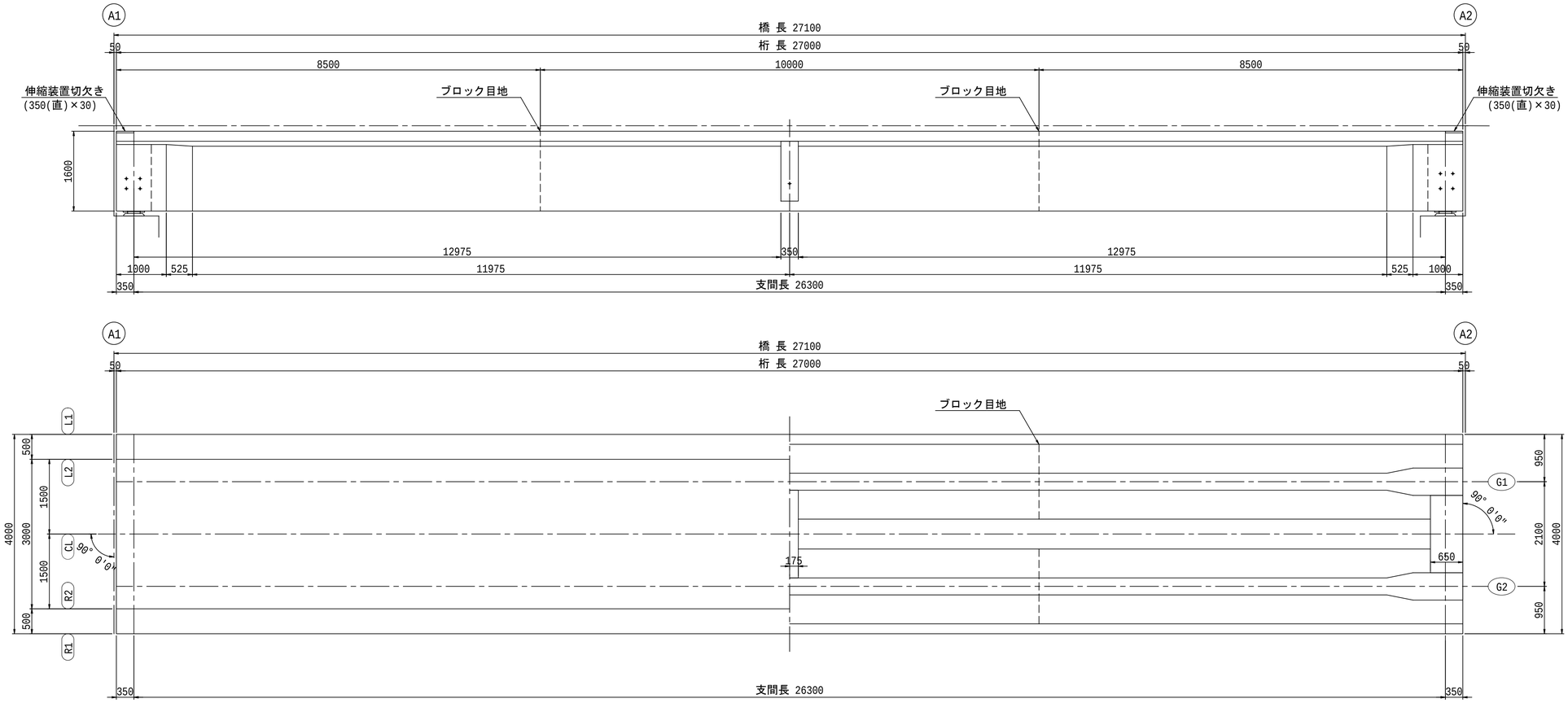
D13	243	kg	（桁埋込筋）
D13	803	kg	
合 計	1046	kg	

４．４　Ｖカット

Ｎ　＝　4　ヶ所

下流管理橋　上部工構造一般図

側　面　図　S=1:50



設 計 条 件

構造形式	ポストテンション方式PC単純T桁橋(セグメント工法)
橋長	27.100m
桁長	27.000m
支間	26.3000m
幅員構成	0.500m+3.000m+0.500m=4.000m
荷重	A 活 荷 重
衝撃係数	i=20/(50+SPAN)(T荷重) i=10/(25+SPAN)(L荷重)
斜角	右 90° 00′ 00″　左 90° 00′ 00″

材料強度及び許容応力度

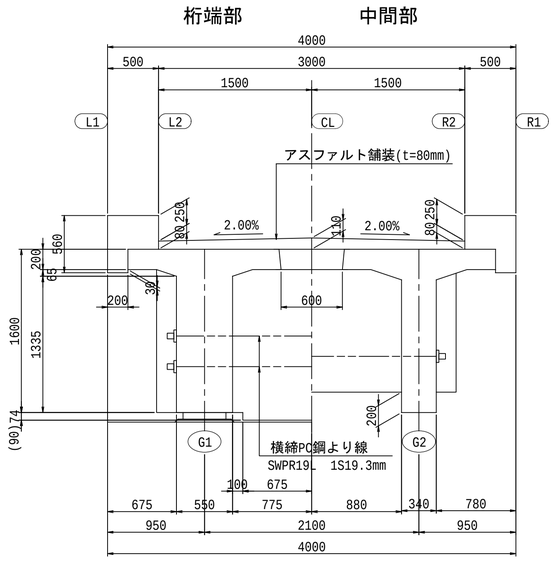
コンクリート		単位	主 桁	場所打ち
設計基準強度		N/mm²	50.00	30.00
許容曲げ圧縮応力度	プレストレス導入直後	〃	21.00	14.00
	設計荷重時	〃	16.00	11.00
許容曲げ引張応力度	プレストレス導入直後	〃	-1.80	0.00
	全死荷重時	〃	0.00	0.00
	設計荷重時	〃	-1.80	0.00
平均せん断応力度	設計荷重時	〃	0.65	0.45
	終局荷重時	〃	6.00	4.00
	終局荷重時(せん断+ねじり)	〃	6.80	4.80
許容斜引張応力度	死荷重時	〃	-1.20	-0.80
	死荷重時(せん断+ねじり)	〃	-1.50	-1.10
	設計荷重時	〃	-2.30	-1.70
	設計荷重時(せん断+ねじり)	〃	-2.80	-2.20
プレストレス導入時圧縮強度		〃	35.00	25.00

ＰＣ鋼材		単位	主 桁	横桁床版
ＰＣ鋼材の種類			12S12.7B	1S19.3
ＰＣ鋼材の材質			SWPR7BL	SWPR19L
引張強度		N/mm²	1850.0	1850.0
降伏点応力度		〃	1600.0	1600.0
許容引張応力度	設計荷重時	〃	1110.0	1110.0
	プレストレス導入直後	〃	1295.0	1295.0
	緊張作業時	〃	1440.0	1440.0

鉄　筋	単位	一 般	床 版
		SD345	SD345
許容引張応力度	N/mm²	180.0	140.0
降伏点応力度	〃	345.0	345.0

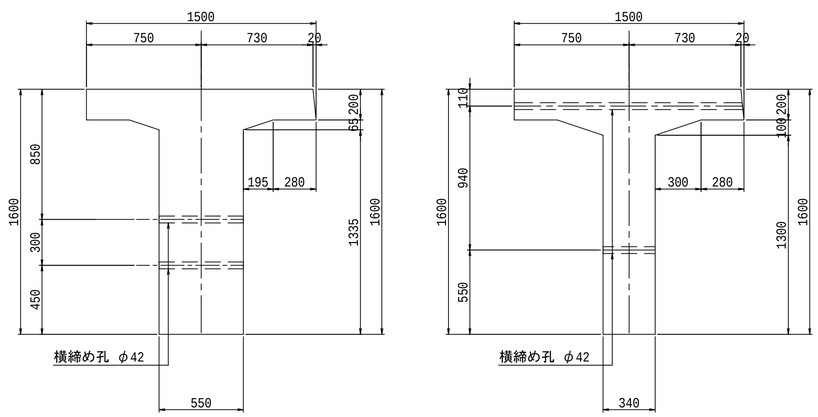
※ 床版の許容値については、140N/mm2に対して20N/mm2程度余裕を持たせる。

断　面　図　S=1:30



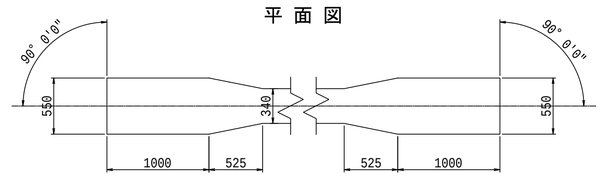
注記：( )内寸法はA2側の数値を示す。

主桁断面図　S=1:20



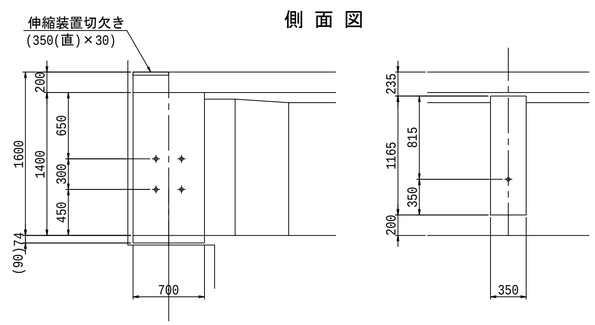
桁端部形状図　S=1:30

平 面 図



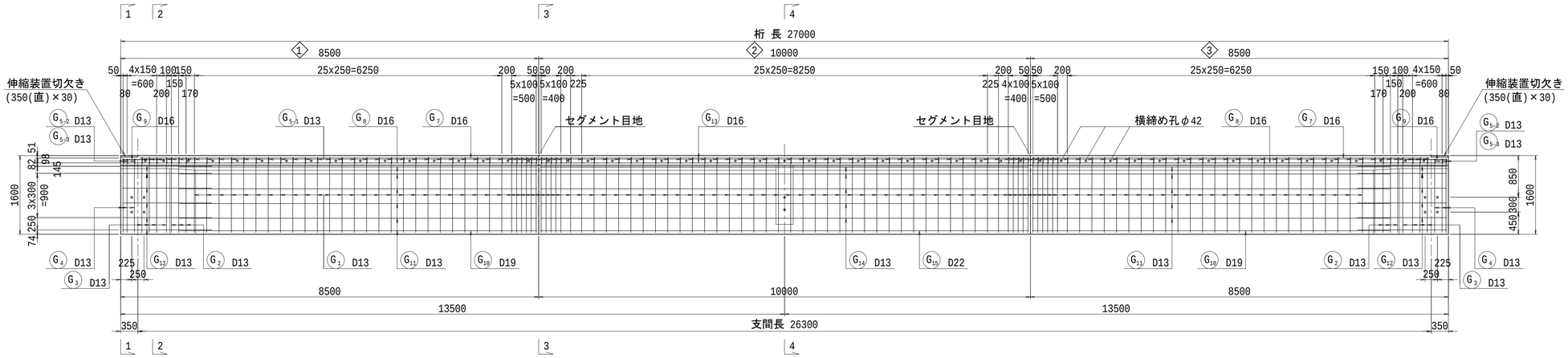
横桁部詳細図　S=1:30

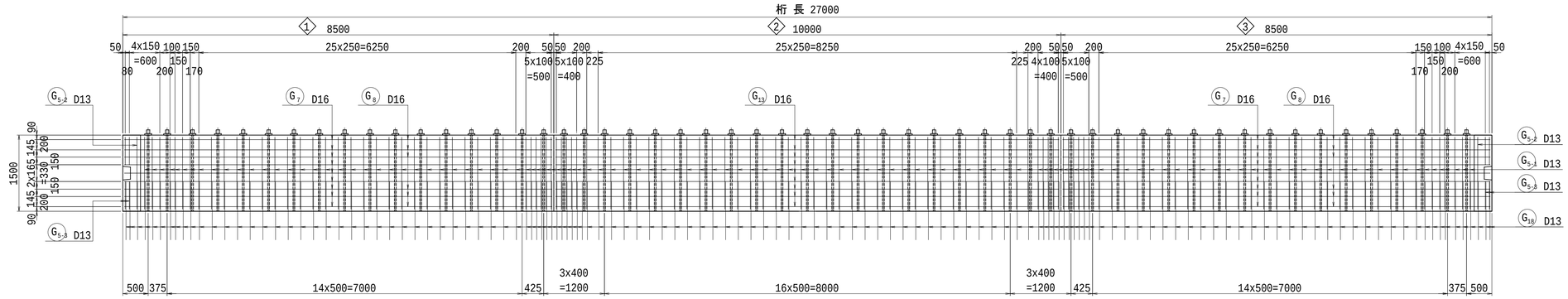
側 面 図



下流管理橋　主桁配筋図（その1）

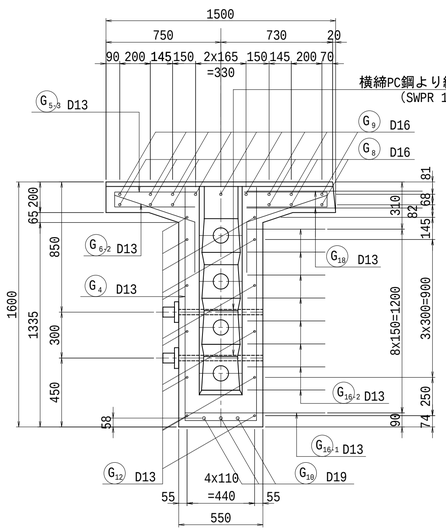
側 面 図 S=1:50



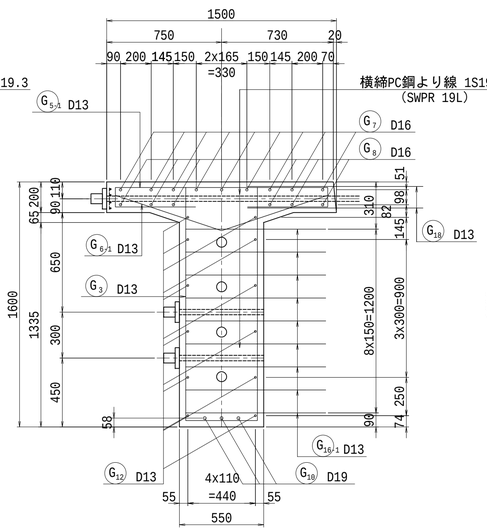


断 面 図 S=1:20

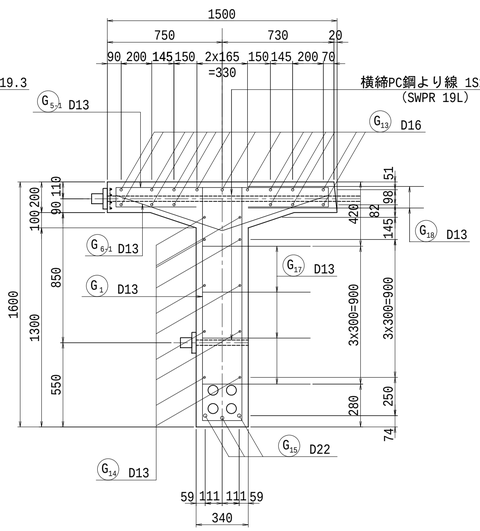
1 - 1



2 - 2

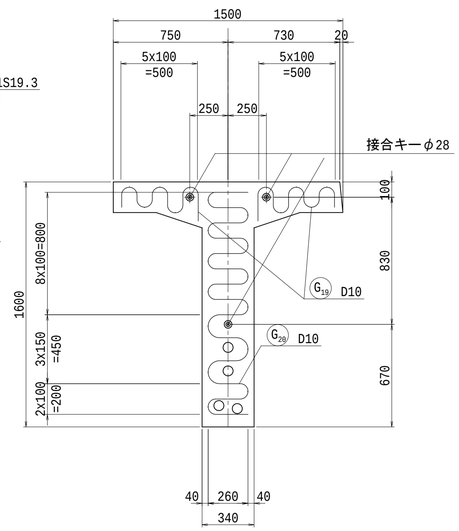


4 - 4



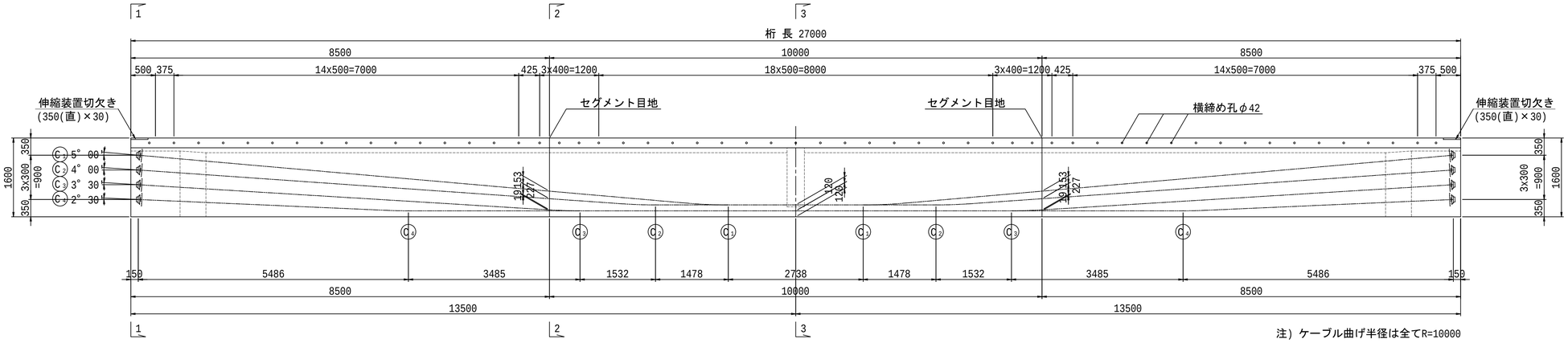
セグメント目地部補強図

3 - 3



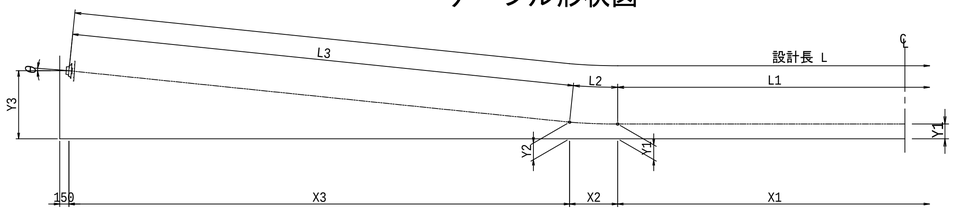
下流管理橋　PC鋼材配置図

側　面　図　S=1:50



注）ケーブル曲げ半径は全てR=10000

ケーブル形状図



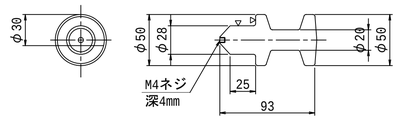
ケーブル形状表（桁１本当り）

ケーブル番号	X1	Y1	X2	Y2	X3	Y3	R	θ 1	L1	L2	L3	設計長L	摘　要
C1	2738	240	872	278	11109	1250	10000	5° 00'00"	2738	873	11152	26787	
C2	5695	240	698	264	9805	950	10000	4° 00'00"	5695	698	9829	26749	
C3	8758	120	610	139	8360	650	10000	3° 30'00"	8758	611	8376	26732	
C4	15728	120	436	130	5050	350	10000	2° 30'00"	15728	436	5055	26710	
												106.978 m	
鋼材質量　W =180.376 × 9.288 = 1675.3 kg													

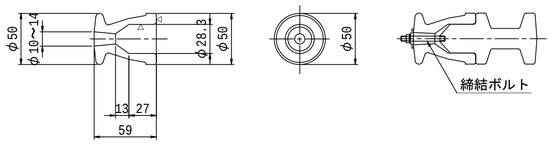
接合キー詳細図　S=1:3

φ28

オス型キー



メス型キー　　桁接合時



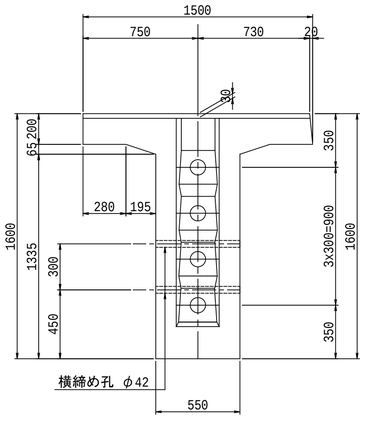
接合キー材料表　φ28

（一組当たり）

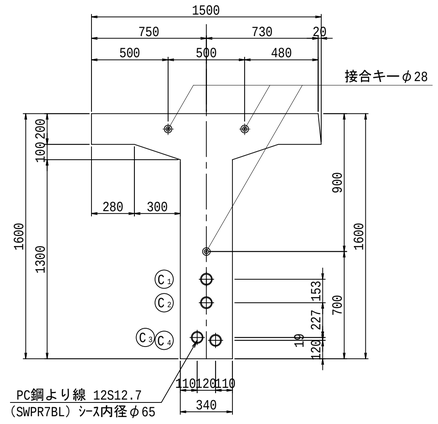
名　称	材　質	数　量	摘　要
オス型キーφ28用	FCD450	1	
メス型キーφ28用	FCD450	1	
ボルト　M4	SS400	1	両端ネジ切り
ナット　M4	SS400	2	
スプリングワッシャー	SS400	2	
座　金	ナイロン樹脂	1	

主桁断面図　S=1:20

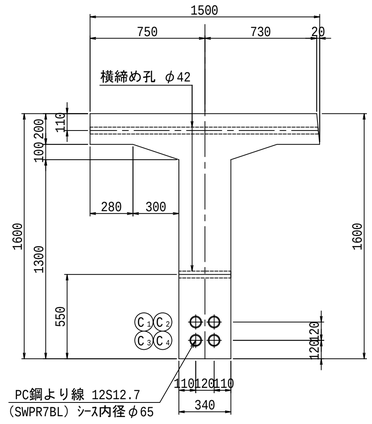
1 - 1



2 - 2

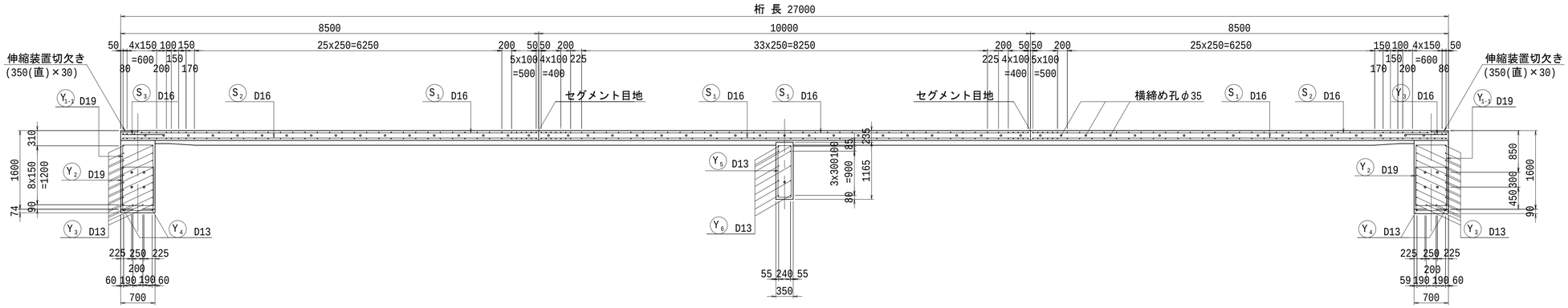


3 - 3



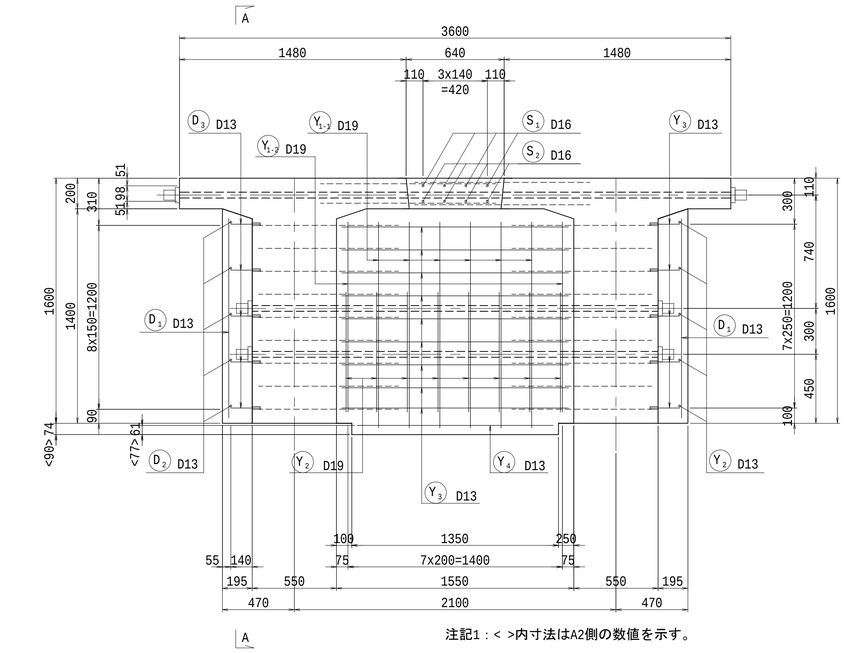
下流管理橋 横組配筋図（その1）

側 面 図 S=1:50



断 面 図 S=1:20

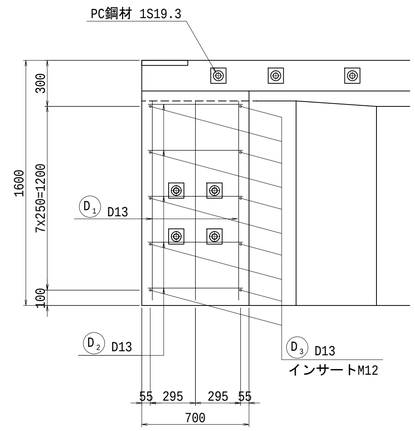
端支点横桁



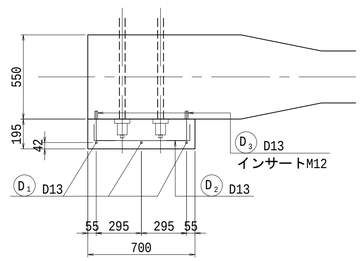
注記1：< >内寸法はA2側の数値を示す。

ダイヤフラム詳細図 S=1:20

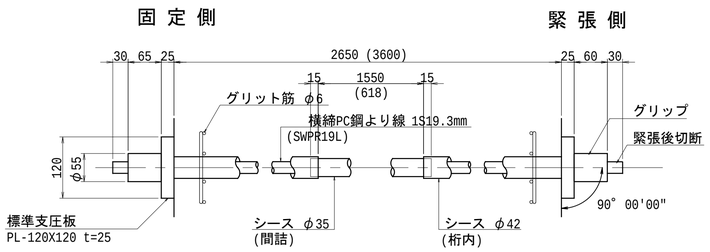
側 面 図 (A - A)



平 面 図

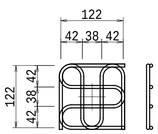


横締定着具詳細図 S=1:6



注記2：( )内寸法は床版部の数値を示す。

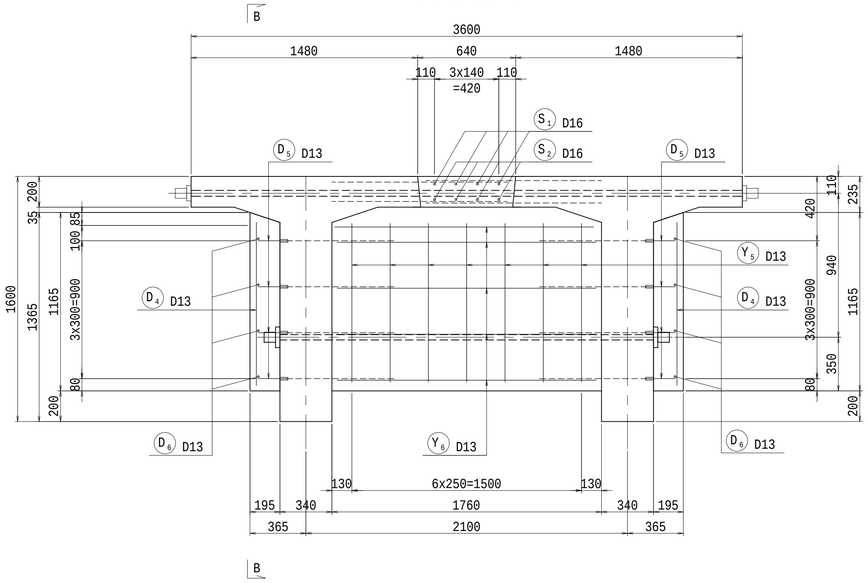
グリッド筋 S=1:6



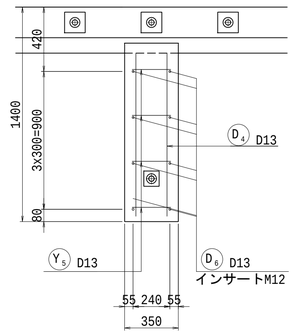
2-φ6x960 (1ヶ所当り)

下流管理橋 横組配筋図（その2）

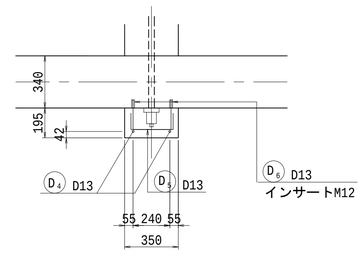
断 面 図 S=1:20
中間横桁部



ダイヤフラム詳細図 S=1:20
側 面 図 (B - B)



平 面 図

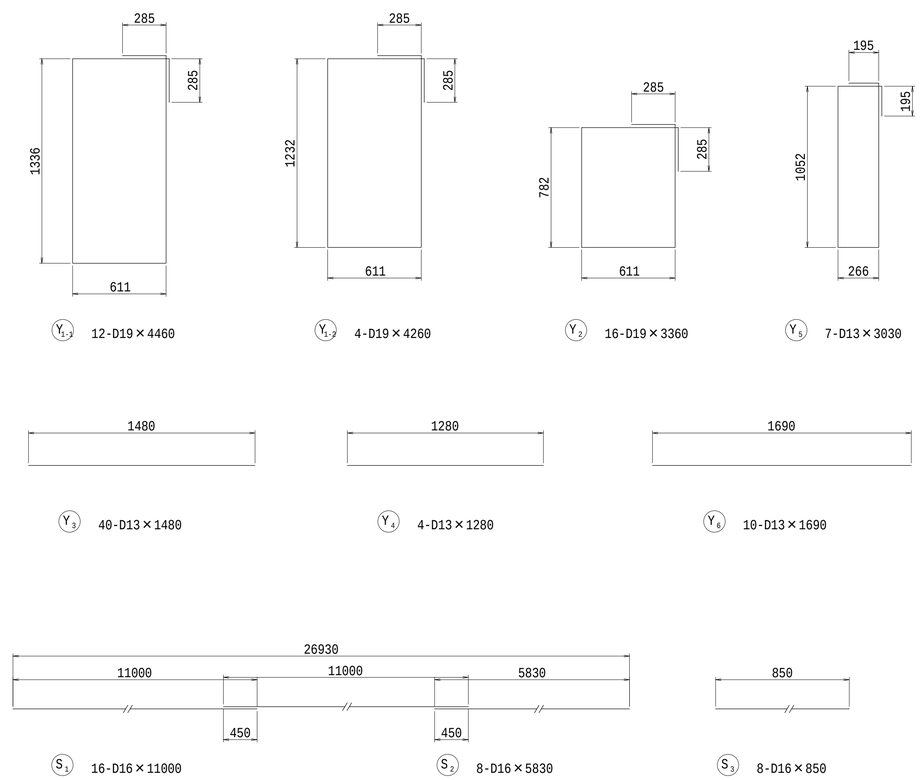


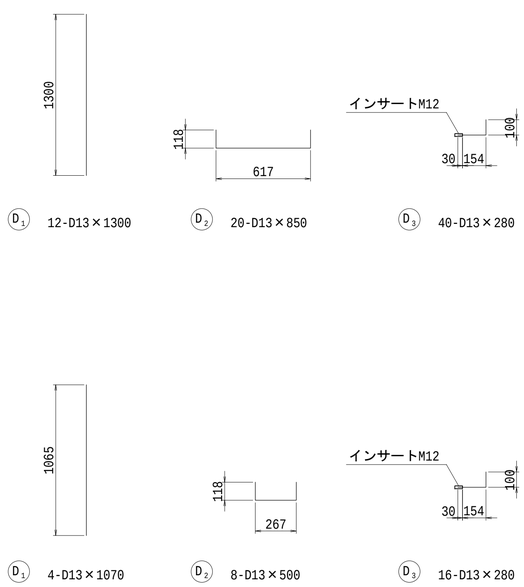
鉄筋表

(1橋当り)

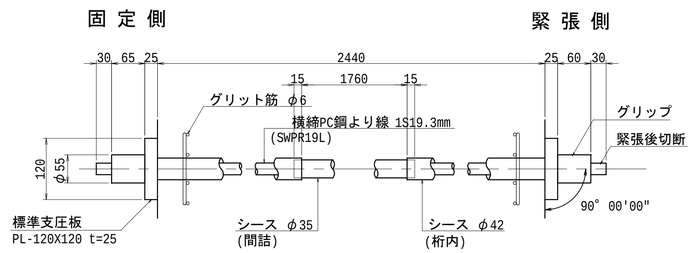
記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (Kg/m)	1本当り質量 (Kg/本)	質量 (Kg)	形状	摘要
S 1	D16	11000	16	1.560	17.16	275	──	
2	D16	5830	8	1.560	9.09	73	〃	
3	D16	850	8	1.560	1.33	11	〃	
Y 1-1	D19	4460	12	2.250	10.04	120	□	
1-2	D19	4260	4	2.250	9.59	38	〃	
2	D19	3360	16	2.250	7.56	121	〃	
3	D13	1480	40	0.995	1.47	59	──	
4	D13	1280	4	0.995	1.27	5	〃	
5	D13	3030	7	0.995	3.01	21	□	
6	D13	1690	10	0.995	1.68	17	──	
D 1	D13	1300	12	0.995	1.29	15	│	
2	D13	850	20	0.995	0.85	17	┐	
3	D13	280	40	0.995	0.28	11	┘	(ねじ切り)
4	D13	1070	4	0.995	1.06	4	│	
5	D13	500	8	0.995	0.50	4	┐	
6	D13	280	16	0.995	0.28	4	┘	(ねじ切り)

D19 279 Kg
D16 359 Kg
D13 157 Kg
合計 795 Kg
インサート M12 N=56個

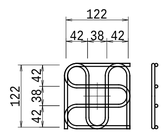




横締定着具詳細図 S=1:6

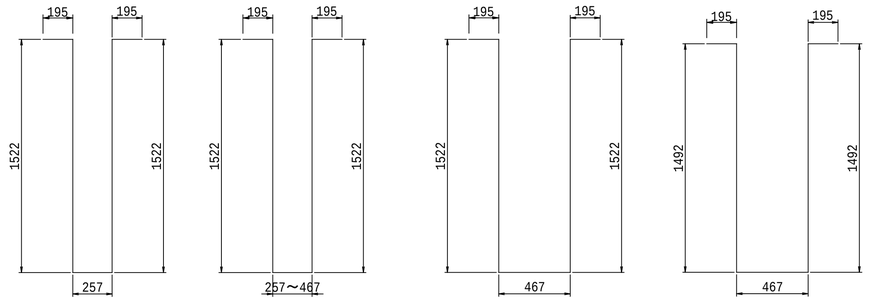


グリッド筋 S=1:6



2-φ6x960 (1ヶ所当り)

下流管理橋　主桁配筋図（その2）



G_1 N - D13 x 3690

	N
1	32
2	46
3	32

G_2 N - D13 x 3800（平均長）

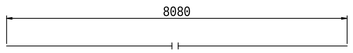
	N
1	3
3	3

G_3 N - D13 x 3900

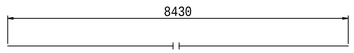
	N
1	4
3	4

G_4 N - D13 x 3840

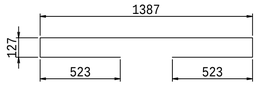
	N
1	3
3	3



G_7 9 - D16 x 8080 1 3

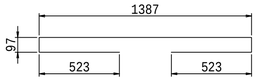


G_8 6 - D16 x 8430 1 3



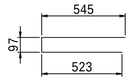
G_{5-1} N - D13 x 2690

	N
1	39
2	46
3	39



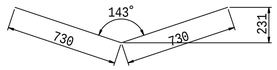
G_{5-2} N - D13 x 2630

	N
1	1
3	1



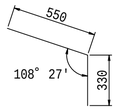
G_{5-3} N - D13 x 1170

	N
1	4
3	4



G_{6-1} N - D13 x 1460

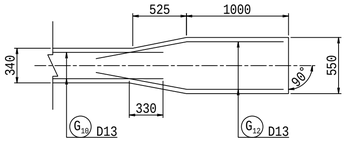
	N
1	39
2	46
3	39



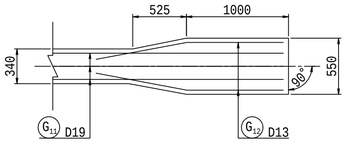
G_{6-2} N - D13 x 880

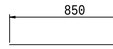
	N
1	4
3	4

（ウ エ ブ）

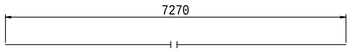


（下　縁）

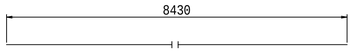




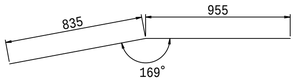
G_9 9 - D16 x 850 1 3



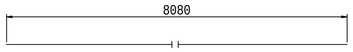
G_{10} 12 - D13 x 7270 1 3



G_{11} 3 - D19x 8430 1 3



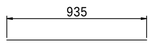
G_{12} 12 - D13 x 1790 1 3



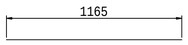
G_{13} 15 - D16 x 9930 2

G_{14} 10 - D13 x 9930 2

G_{15} 3 - D22 x 9930 2

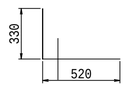


G_{16-1} 12 - D13 x 940 1 3

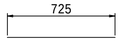


G_{18} N - D13 x 1170

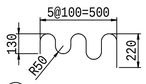
	N
1	84
2	92
3	84



G_{16-2} 8 - D13 x 850 1 3

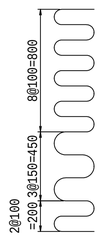


G_{17} 8 - D13 x 730 2



G_{19} N - D10 x 1230

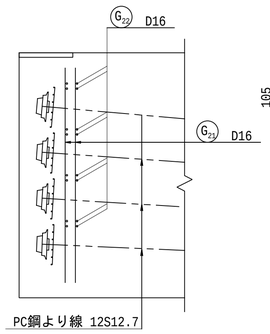
	N
1	2
2	4
3	2

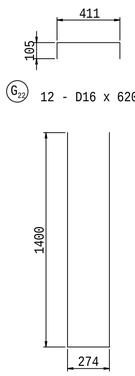


G_{20} N - D10 x 4470

	N
1	1
2	2
3	1

縦締ケーブル補強

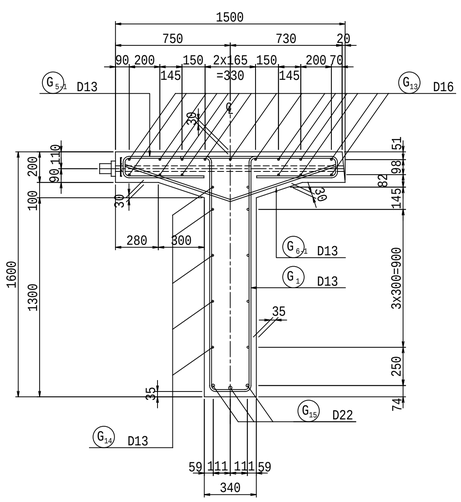




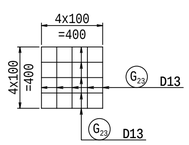
G_{22} 12 - D16 x 620 1 3

G_{23} 4 - D16 x 3070 1 3

主 桁 断 面 詳 細 図　S=1/20



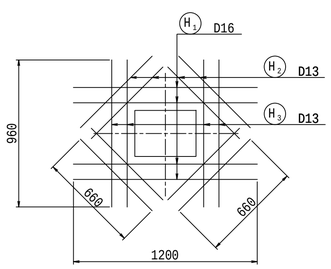
沓 座 補 強 筋



1箇所当り

G_{23} 10 - D13 x 400 1 3

排水補強筋



1箇所当り

H_1 16 - D16 x 1200 1 3

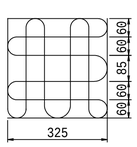
H_2 8 - D13 x 960 1 3

H_3 8 - D13 x 660 1 3

グ リ ッ ト 筋

縦 締 め 用

12S12.7

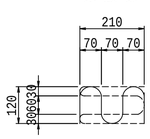


8 - D10 x 2140

横 締 め 用

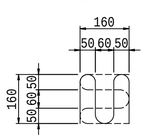
1S19.3

床 版 部



55 - φ9 x 880

横 桁 部



6 - φ9 x 730

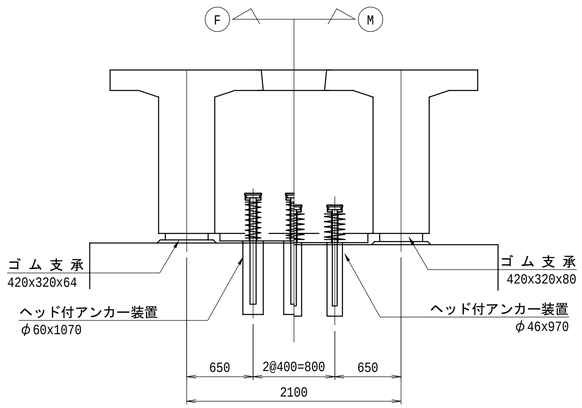
鉄 筋 表

（1桁当り）

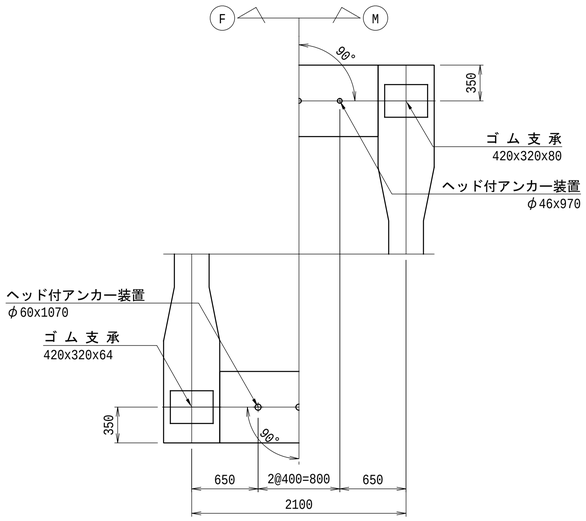
記号	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
1 3 ブロック							
G 1	D 13	3690	32	0.995	3.67	117	
2	D 13	3800	3	0.995	3.78	11	（平均長）
3	D 13	3900	4	0.995	3.88	16	
4	D 13	3840	3	0.995	3.82	11	
5-1	D 13	2690	39	0.995	2.68	105	
5-2	D 13	2630	1	0.995	2.62	3	
5-3	D 13	1170	4	0.995	1.16	5	
6-1	D 13	1460	39	0.995	1.45	57	
6-2	D 13	880	4	0.995	0.88	4	
7	D 16	8080	9	1.560	12.60	113	
8	D 16	8430	6	1.560	13.15	79	
9	D 16	850	9	1.560	1.33	12	
10	D 13	7270	12	0.995	7.23	87	
11	D 19	8430	3	2.250	18.97	57	
12	D 13	1790	12	0.995	1.78	21	
16-1	D 13	940	12	0.995	0.94	11	
16-2	D 13	850	8	0.995	0.85	7	
18	D 13	1170	84	0.995	1.16	97	
19	D 10	1230	2	0.560	0.69	1	
20	D 10	4470	1	0.560	2.50	3	
21	D 16	3070	4	1.560	4.79	19	
22	D 16	620	12	1.560	0.97	12	
23	D 13	400	10	0.995	0.40	4	
H 1	D 16	1200	16	1.560	1.87	30	
2	D 13	960	8	0.995	0.96	8	
3	D 13	960	8	0.995	0.96	8	
						898 kg	
					D 19	57 kg	
					D 16	265 kg	
					D 13	572 kg	
					D 10	4 kg	
					合計	898 kg	
2 ブロック							
G 1	D 13	3690	46	0.995	3.67	169	
5-1	D 13	2690	46	0.995	2.68	123	
6-1	D 13	1460	46	0.995	1.45	67	
13	D 16	9930	15	1.560	15.49	232	
14	D 13	9930	10	0.995	9.88	99	
15	D 22	9930	3	3.040	30.19	91	
17	D 13	730	8	0.995	0.73	6	
18	D 13	1170	92	0.995	1.16	107	
19	D 10	1230	4	0.560	0.69	3	
20	D 10	4470	2	0.560	2.50	5	
						902 kg	
					D 22	91 kg	
					D 16	232 kg	
					D 13	571 kg	
					D 10	8 kg	
					合計	902 kg	
				主桁1本当り	D 22	91 kg	
					D 19	114 kg	
					D 16	762 kg	
					D 13	1715 kg	
					D 10	16 kg	
					合計	2698 kg	

下流管理橋　支承詳細図

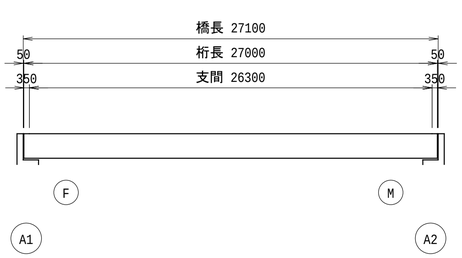
断　面　図　S＝ 1:30



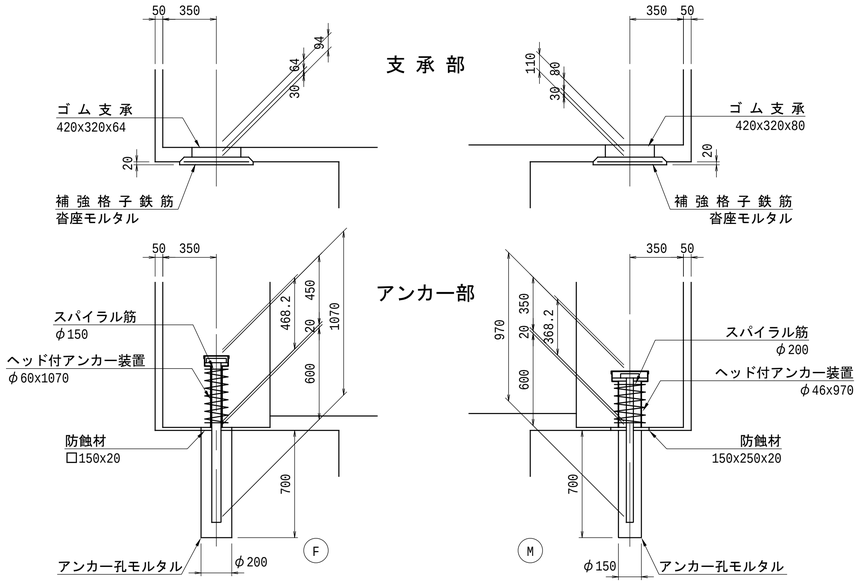
平　面　図　S＝ 1:30



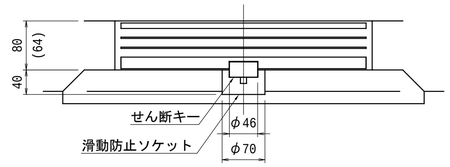
配　置　図　S＝ 1:200



側　面　図　S＝ 1:20

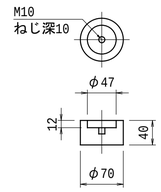


取付詳細図　S＝ 1:5

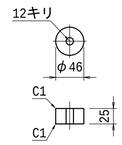


注）(　)内寸法は固定側を示す。

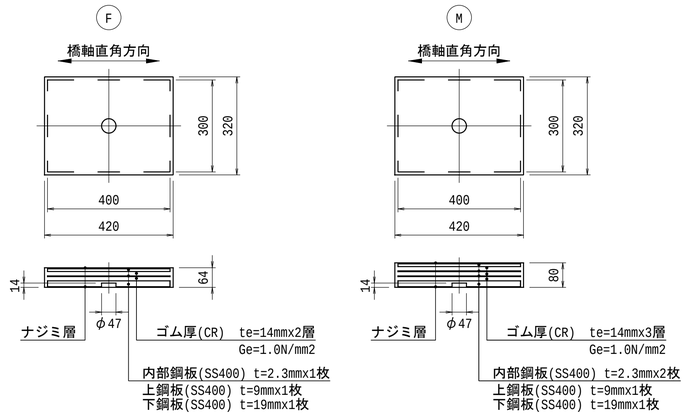
滑動防止ソケット　(SS400,ST-SG)　S＝1:5



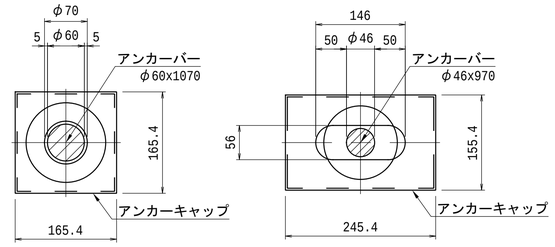
せん断キー　(SS400,ST-SG)　S＝1:5



ゴム支承　S＝ 1:10



ヘッド付アンカー装置　S＝ 1:5



材　料　表

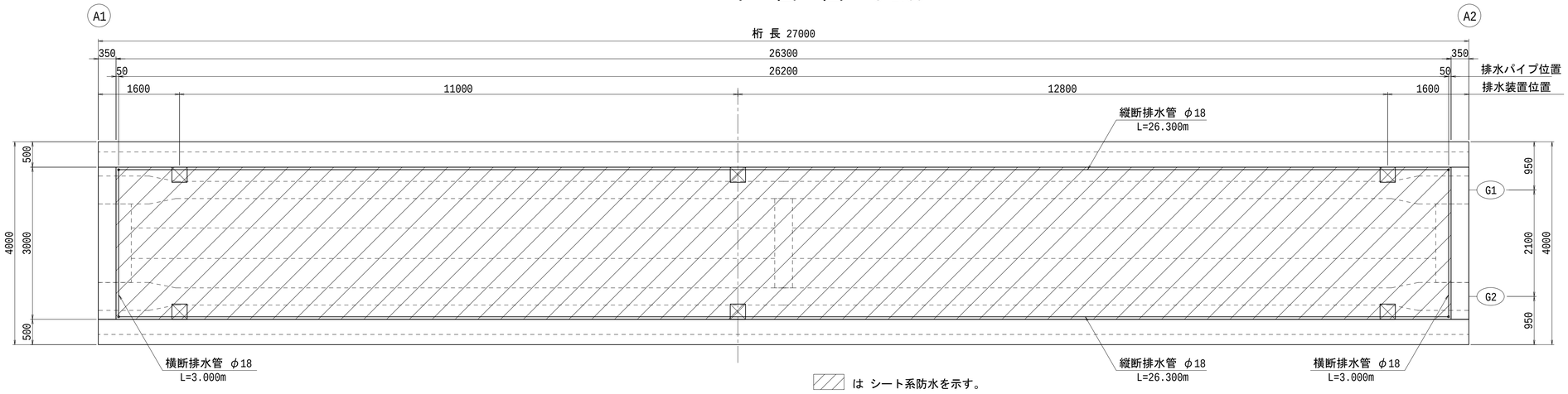
名　称	寸　法	材　質	単位	数　量			備　考
				Ｆｉｘ	Ｍｏｖ	合計	
ゴム支承	420x320x80	図　示	枚		2	2	DSFパッド,滑動防止装置付
〃	420x320x64	〃	〃	2		2	〃
ヘッド付アンカー装置	M46D	下表参照	組		3	3	ST-SG
〃	F60D	〃	〃	3		3	〃
防 蝕 材	150x250x20	CRスポンジ	枚		3	3	
〃	□150x20	〃	〃	3		3	
補強格子鉄筋	500x400	SD345	kg	10.0	10.0	20.0	D10x50x50
沓座モルタル		無収縮モルタル	m3	0.026	0.026	0.052	
アンカー孔モルタル		無収縮モルタル	m3	0.061	0.034	0.095	

ヘッド付アンカー材料表(1組当り)

名　称	材　質	数 量	備　考
アンカーバー	S35CN	1	ST-SG
アンカーキャップ	SS400	1	ST-SG
支圧板	SM490A	1	ST-SG
セット用スポンジ	CRスポンジ	1	
スパイラル筋	SR235	1	

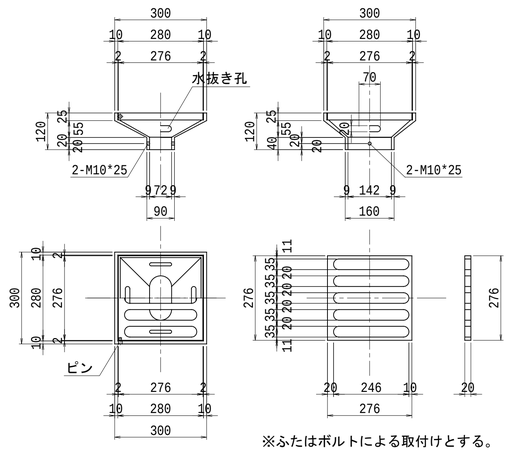
下流管理橋　橋面防水詳細図

平　面　図　S=1:50



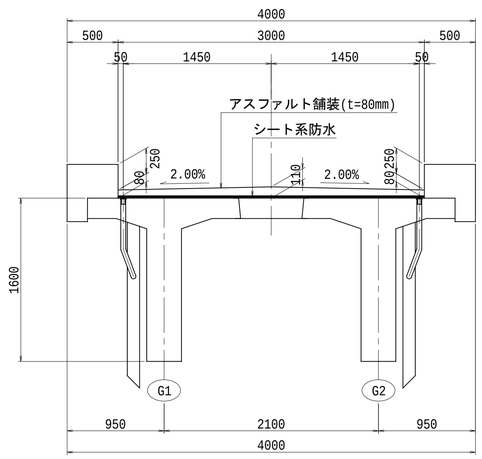
は シート系防水を示す。

排水装置　S=1/10

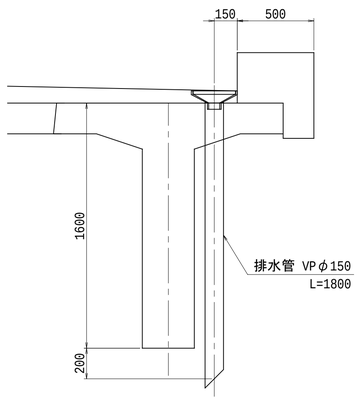


※ふたはボルトによる取付けとする。

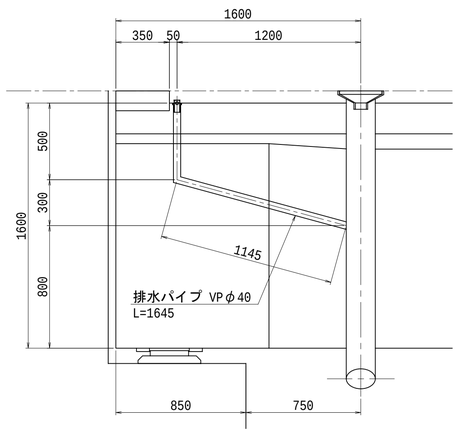
断　面　図 S=1:30



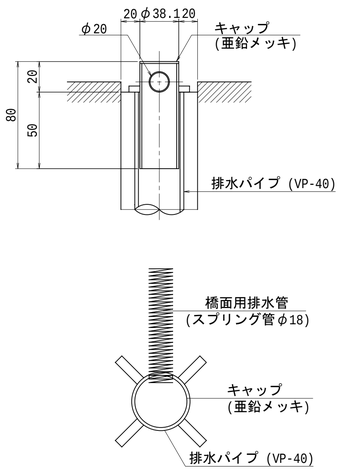
排水装置取付図　S=1/20



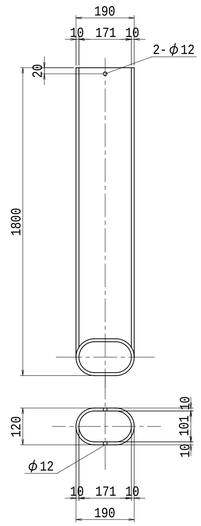
排水パイプ取付図　S=1/20



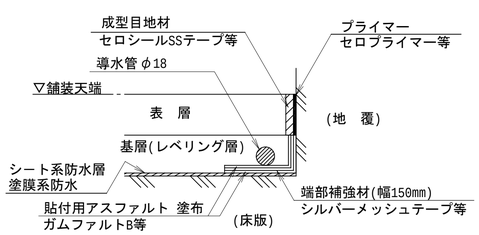
排水パイプ詳細図　S=1/2



排水装置
(VP150)

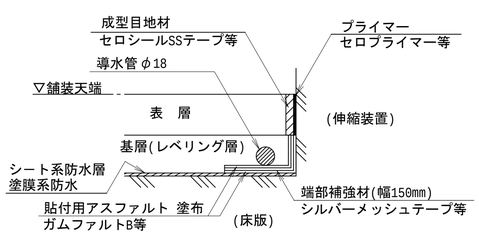


縦断排水,地覆部防水詳細図



※　防水層は、基層部まで立ち上げる。
※　目地材は、表層部に設置する。
※　スパイラルパイプは、基層部に設置する。

横断排水,端部防水詳細図



※　防水層は、基層部まで立ち上げる。
※　目地材は、表層部に設置する。
※　スパイラルパイプは、基層部に設置する。

材料表

(１ケ所当り)

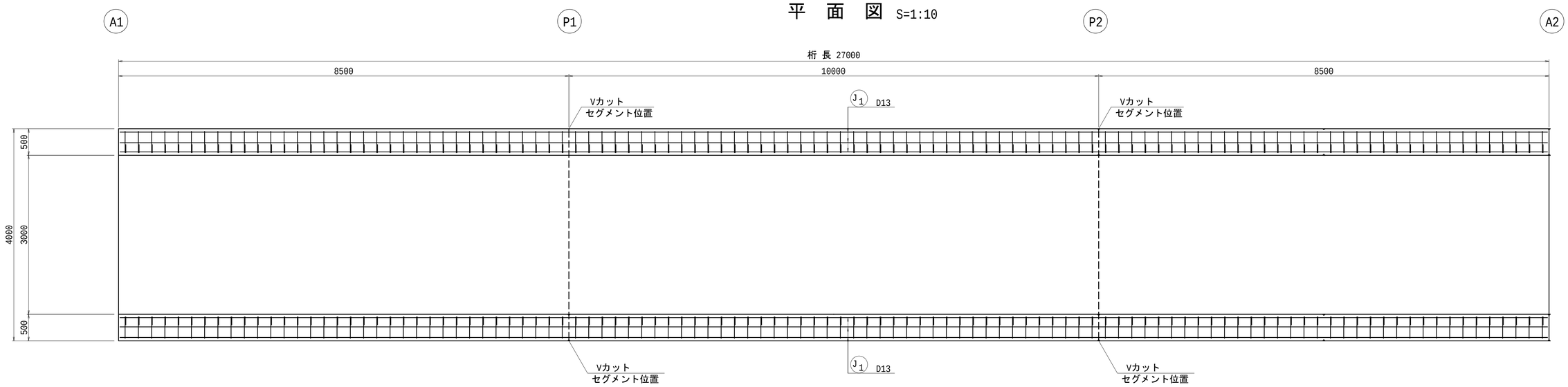
品　名	材　質	数量	質量(kg)	備　考
本　体	FC250	1	24.4	
ボルト	SS400	2	0.1	亜鉛メッキ
ボルト	SS400	2	0.1	亜鉛メッキ
1組分　合 計			24.6 kg/組	

材料表

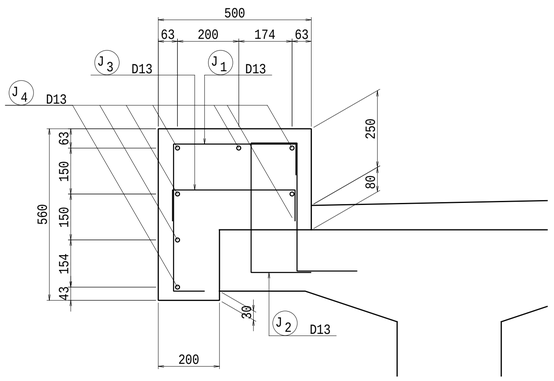
名　称	規　格,寸法	単位	数　量	備　考
防水層	シート系	m2	78.9	
導水管	φ18	m	58.6	
成型目地材	セロシールSSテープ等	m	58.6	
端部補強材(幅150mm)	シルバーメッシュテープ等	m	58.6	
キャップ	亜鉛メッキ	個	4	
排水パイプ(VP40)	Aタイプ L=1310	m	6.6	N=4

下流管理橋 地覆配筋図

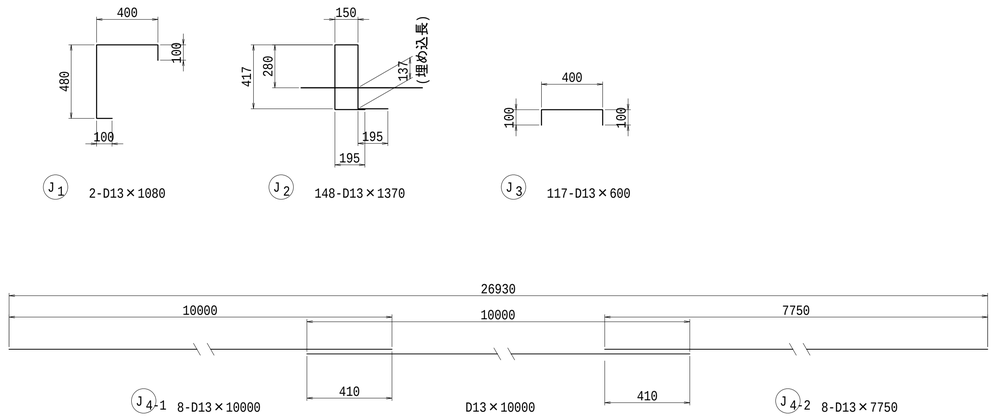
平　面　図 S=1:10



断　面　図 S=1:10

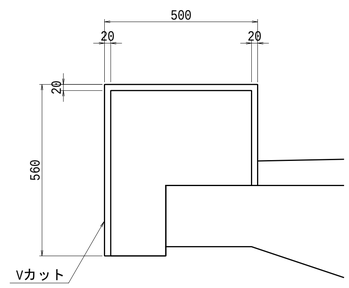


加　工　図 S=1:20

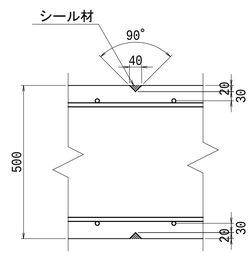


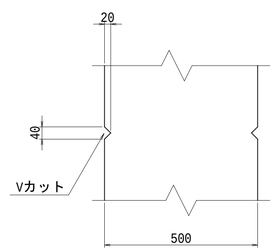
Vカット詳細図 S=1:10

断 面 図



Vカット形状





鉄筋表

(1橋当り)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (Kg/m)	1本当り質量 (Kg/本)	質量 (Kg)	形状	摘要
J 1	D13	1080	146	0.995	1.07	127		
2	〃	1370	148	〃	1.19	176		主桁埋込み鉄筋
3	〃	600	117	〃	0.50	59		
4-1	〃	10000	28	〃	9.95	279		
4-2	〃	7750	14	〃	7.71	108		
					D13	953 Kg		
					D13	428 Kg		主桁埋込み鉄筋
					合計 D13	1381 Kg		

§1. 数量総括表

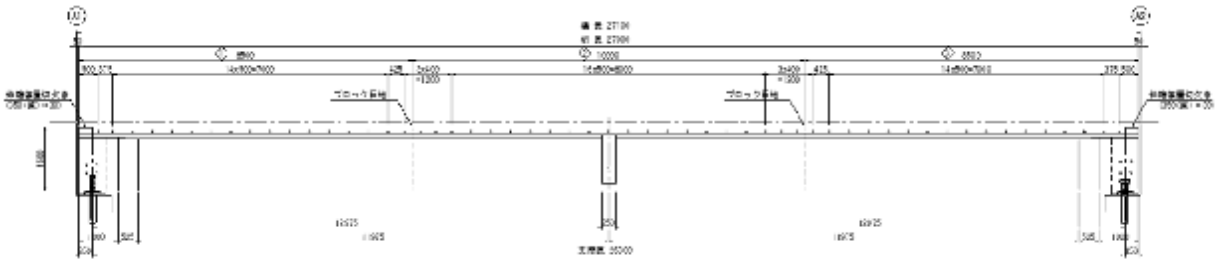
1.1 数量総括表

種別	項　目		仕　様	単位	数　量	摘　要
主桁工	ポステンT桁 桁高=2.30m		外桁	本	2	
			中桁	本		
			計	本	2	
	コンクリート		σck=50N/mm^2	m^3	44.8	
	質　量		主桁総質量	t	112.0	
	型枠	側型枠		m^2	225.7	
		端型枠		m^2	4.3	
		合　計		m^2	230.0	
		底　板		m^2	29.7	
	仕切板			m^2	3.2	セグメント目地部
	接合キー		φ28	組	12.0	〃
	接着材			m^2	3.2	〃
	引張PC鋼材	PC鋼より線	SWPR7BL 12S12.7B	kg	1987.2	
		シース	φ70	m	214.0	
		グラウト	φ70	m	214.0	
		定着具	12S12.7B用	組	16	ｸﾞﾘｯﾄﾞ筋含む
		緊張工	12S12.7B(両引き)	ケーブル	8	
	横締孔用シース		φ42	m	173.4	埋込みシース
	鉄筋	D25	SD345	kg	0	
		D22	〃	kg	91	
		D19	〃	kg	114	
		D16	〃	kg	762	
		小計	〃	kg	967	D16～D25
		D13	〃	kg	1715	
		D10	〃	kg	16	
		合計	〃	kg	2698	

1.2　主桁数量集計表

種別	項　目		仕　様	単位	数　量		摘要
					外桁	中桁	
主桁工	ポステンT桁 桁高=1.60m		外桁	本	2		
			中桁	本		-	
	コンクリート		σｃｋ=50N/mm^2	m^3	22.408		
	質　量		主桁質量	t	56.020		
	型枠	側型枠		m^2	112.832		
		端型枠		m^2	2.161		
		合　計		m^2	114.993		
		底　板		m^2	14.850		
	仕切板			m^2	1.608		セグメント目地部
	接合キー		φ28	組	6		〃
	接着材			m^2	1.608		〃
	引張PC鋼材	PC鋼より線	SWPR7BL 12S12.7B	kg	993.612		
		シース	φ70	m	106.978		
		グラウト	φ70	m	106.978		
		定着具	12S12.7B用	組	8		ｸﾞﾘｯﾄﾞ筋含む
		緊張工	12S12.7B(両引き)	ケーブル	4		
	横締孔用シース		φ42	m	86.690		埋込みシース
	鉄筋	D25	SD345	kg			
		D22	〃	kg	91		
		D19	〃	kg	114		
		D16	〃	kg	762		
		小計	〃	kg	967		D16～D25
		D13	〃	kg	1715		
		D10	〃	kg	16		
		合計	〃	kg	2698		

§2　主桁製作工（主桁1本当たり）



①・③.セグメント

				支点部		拡幅部			
標準部	L1 =	8.500	-	1.000	-	0.525	=	6.975	m
拡幅部	L2 =	0.525					=	0.525	m
支点部	L3 =	1.000					=	1.000	m

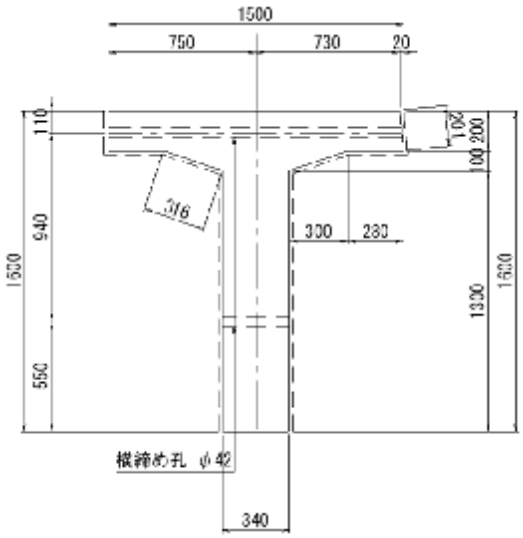
②.セグメント

標準部	L1 =	10.000	=	10.000 m

斜比　θ = 90° 00′ 00 （ α=1.00000 ）

・各断面積 及び 周長の計算

標 準 部



断面積

A1 = 1.500 x 0.200 - 1/2 x 0.020 x 0.200 = 0.2980 m^2

A2 = 1/2 x (0.940 + 0.340) x 0.100 = 0.0640 m^2

A3 = 0.340 x 1.300 = 0.4420 m^2

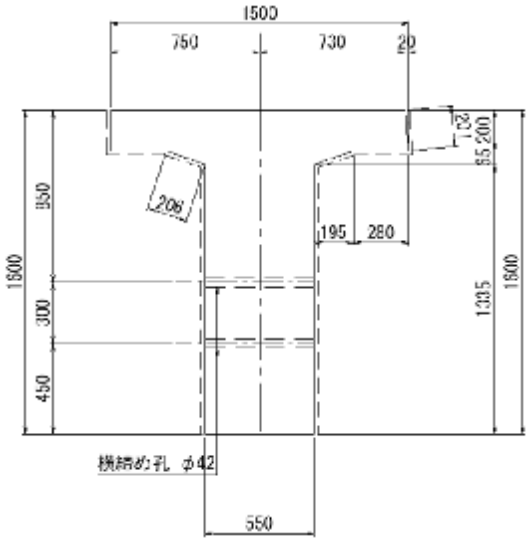
外桁 Σ a = 0.8040 m^2

周長

外桁

I1 = (0.280 + 0.316 + 1.300)
x 2 + 0.200 + 0.201 = 4.193 m

桁端部



断面積

A1 = 1.500 x 0.200 - 1/2 x 0.020 x 0.200 = 0.2980 m^2

A2 = 1/2 x (0.940 + 0.550) x 0.065 = 0.0484 m^2

A3 = 0.550 x 1.335 = 0.7343 m^2

外桁 Σ a = 1.0807 m^2

周長

外桁

I1 = (0.280 + 0.206 + 1.335)
x 2 + 0.200 + 0.201 = 4.043 m

2.1　コンクリート（σck = 50N/mm2）

・　①・③.セグメント

標準部　V1 = 0.8040　x　6.975　　= 5.608　m^3

拡幅部　V2 = 1/2x　(0.8040　+ 1.0807　)　x　0.525　　= 0.495　m^3

支点部　V3 = 1.0807　x　1.000　-　1.480　　= 1.081　m^3

外桁1本当り　ΣV　= 7.184　m^3

・　②.セグメント

標準部　V1 = 0.8040　x 10.000　　= 8.040　m^3
外桁1本当り

外桁1本当り

V　=　7.184　x　2　+　8.040　　= 22.408　m^3

1橋当り

V　=　22.408　x　2　　= 44.816　m^3

主桁質量（γ = 2.5 t /m3）

セグメント当たり質量（外桁）

・　①・③.セグメント　W　= 7.184　x　2.5　　= 17.960　t／セグメント

・　②.セグメント　W　= 8.040　x　2.5　　= 20.100　t／セグメント

外桁合計　ΣW　=　17.960　x　2　+　20.100　　=　56.020　t／本

1橋当り

W　=　56.020　x　2　　=　112.040　t

2.2 型 枠

側枠

・ ①・③.セグメント

標準部

A1 = 4.193 x 6.975 = 29.246 m^2

拡幅部

A2 = 1/2x (4.193 + 4.043) x 0.525 = 2.162 m^2

横桁部

A3 = 4.043 x 1.000 = 4.043 m^2

ΣA = 35.451 m^2

・ ②セグメント

標準部

A1 = 4.193 x 10.000 = 41.930 m^2

外桁1本当り

V = 35.451 x 2 + 41.930 = 112.832 m^2

1橋当り

V = 112.832 x 2 = 225.664 m^3

褄 枠

・ 外 桁

A = 1.0807 x 2 x 1.00000 = 2.161 m^2

仕切板

・ 外 桁

A = 0.8040 x 2 = 1.608 m^2

底 枠

・ 外 桁

A = 0.550 x 27.000 = 14.850 m^2

2.3 鉄　筋　(SD345)

外桁（1本当り）（図面参照)

D22	91	kg
D19	114	kg
D16	762	kg
D13	1715	kg
D10	16	kg
合計	2698	kg

2.4 PC鋼より線　(SWPR7BL 12S12.7mm　N = 4本）（図面参照)

設計長 L1 = 106.978 m　= 106.978 m

1) 設計質量　W1 = 106.978 x 9.288　= 993.612 kg

2) シース　(φ70mm)

L = L1　= 106.978 m

3) グラウト

L = L1　= 106.978 m

4) 定着具　(12S12.7mm 用) グリッド筋含む

N = 4 x 2　= 8 組

5) 緊張本数　(両引き)

N =　= 4 本

6) ケーブル組立工

L = L1　= 106.978 m

7) 横締用シース　(φ42mm)

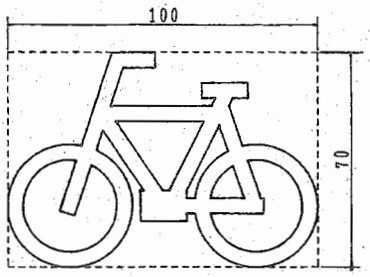
外　桁　L = 1.490 x 55 + 0.550 x 8 + 0.340 x 1 = 86.690 m

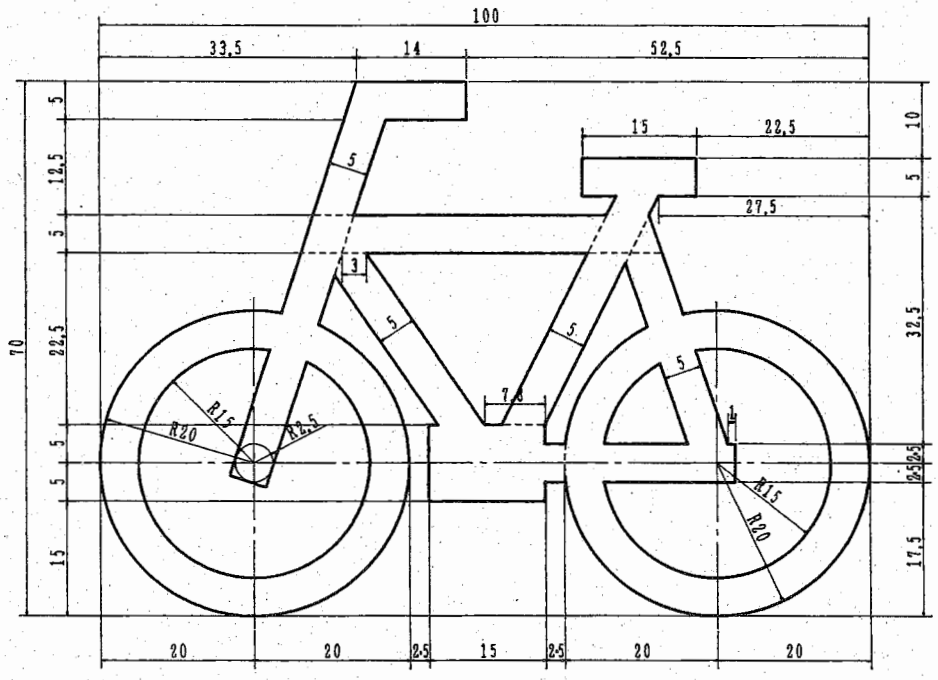
8)接着剤

外　桁　A = 0.8040 x 2　= 1.608 m^2

9) 接合キー　(φ28mm)

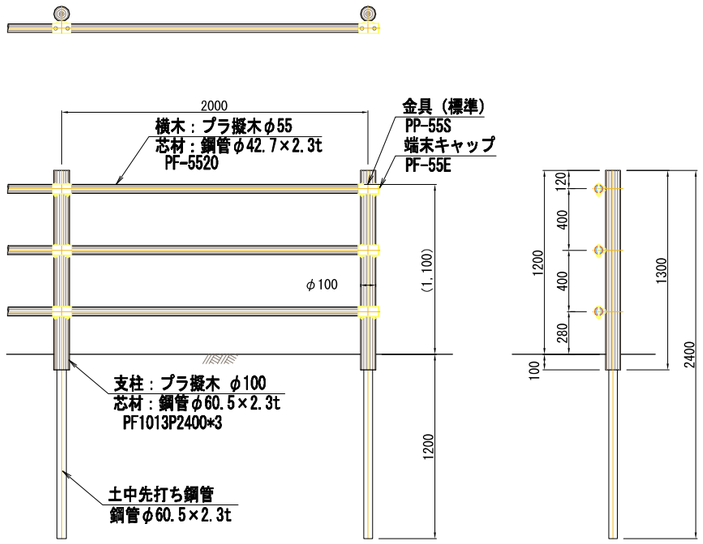
外　桁　N = 3 x 2　= 6 組


100
70


100
33,5
14
52,5
15
22,5
27,5
5
12,5
5
22,5
5
5
15
70
10
5
32,5
17,5
3
5
5
5
7,5
R15
R20
R2,5
R15
R20
20
20
2,5
15
2,5
20
20

取付里道 構造図

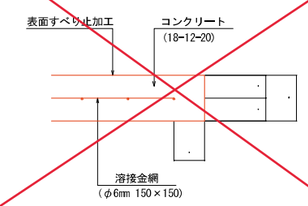
転落防止柵　S=1:20



材料表　10m当り

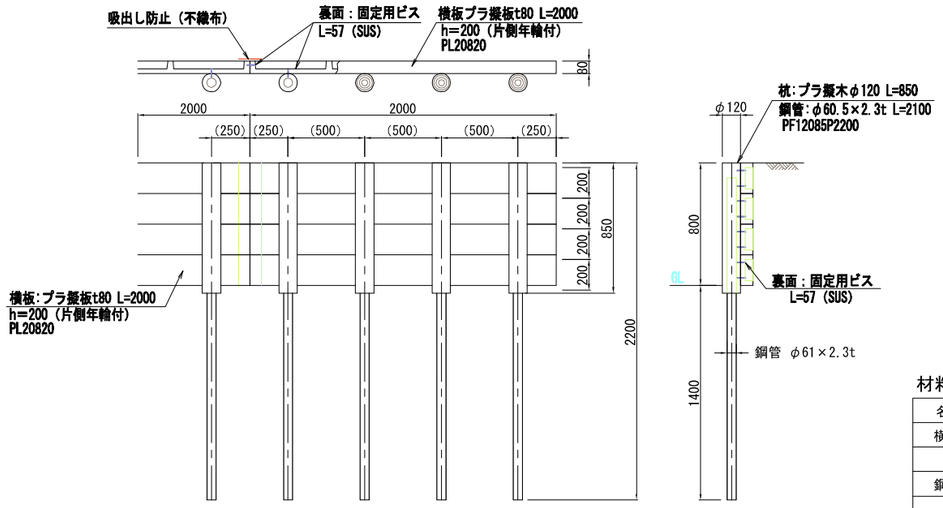
名　称	規　格	単位	数　量	備　考
転落防止柵	プラ擬 H=1200	m	10.00	土中用

コンクリート舗装構成図　S=1:10



土留め工　S=1:20

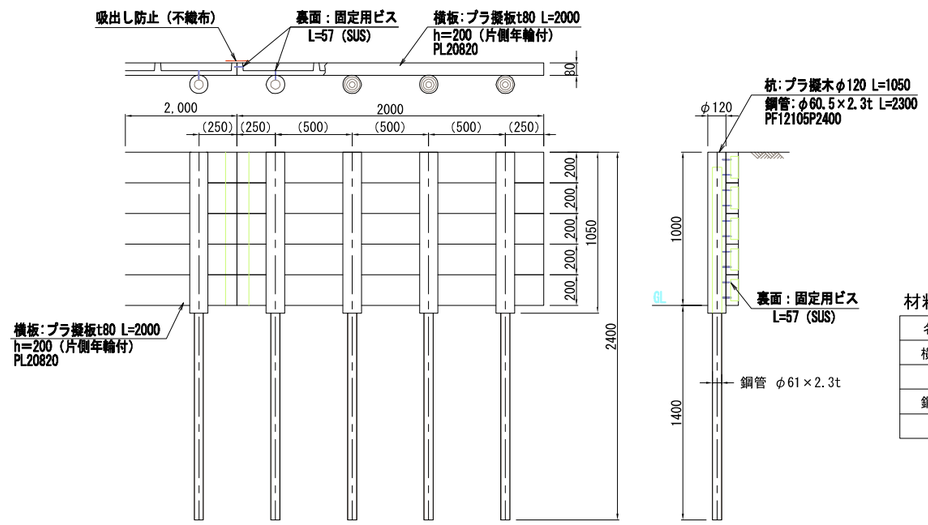
土留め工(A)



材料表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
横　板	プラ擬板t80 L=2000	枚	20.00	
杭	プラ擬木φ120 L=850	本	20.00	
鋼　管	φ60.5×2.3t L=2100	本	20.00	

土留め工(B)

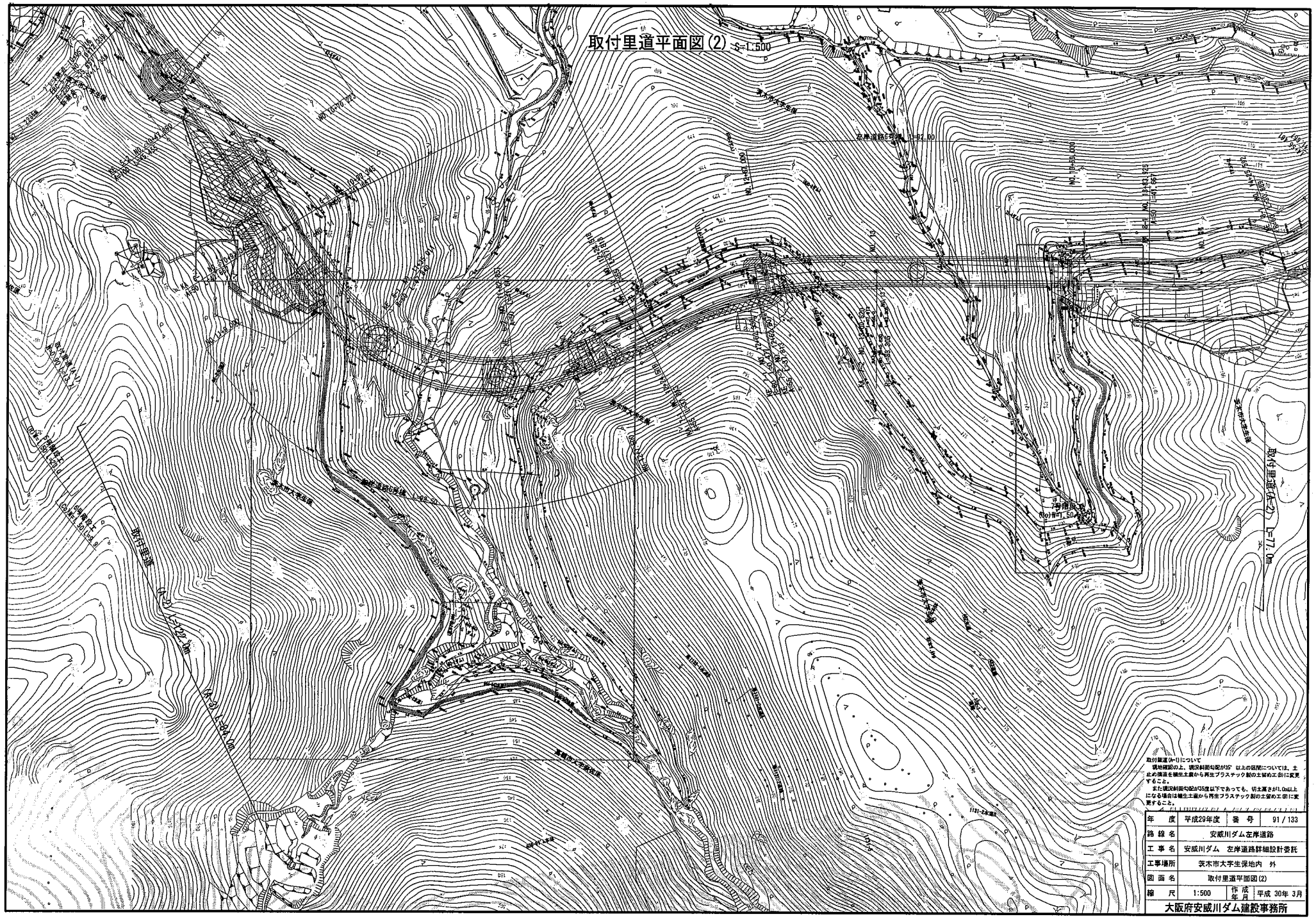


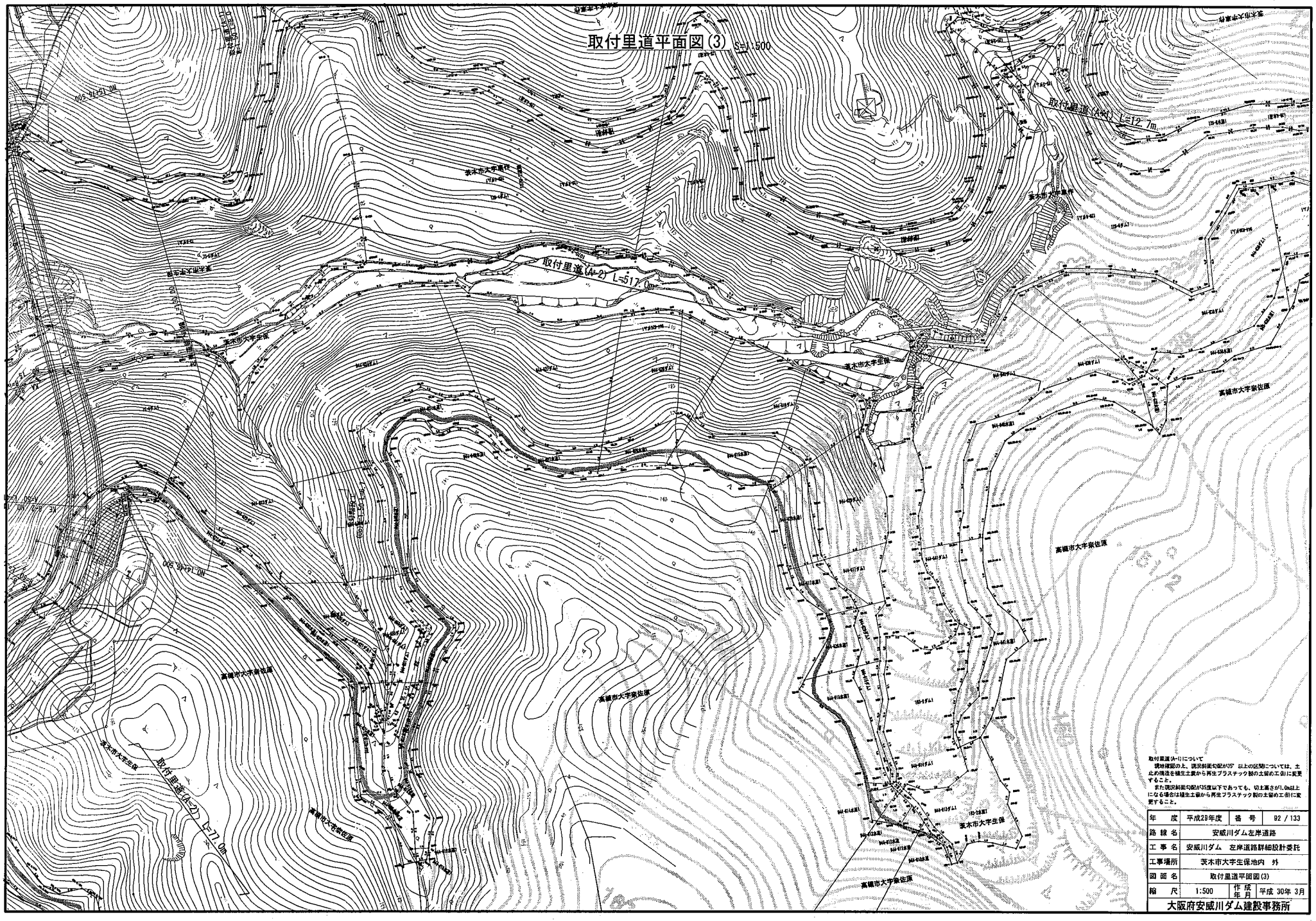
材料表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
横　板	プラ擬板t80 L=2000	枚	25.00	
杭	プラ擬木φ120 L=1050	本	20.00	
鋼　管	φ60.5×2.3t L=2300	本	20.00	

[redacted]

取付里道平面図(2) S=1:500


取付里道(4-2) L=77.0m
取付里道(4-2) L=122.0m
取付里道(4-3) L=94.0m
左岸道路6号橋 L=92.00
茨木市大字生保
茨木市大字生保地内
茨木市大字生保地内
茨木市大字生保地内



年度	平成29年度	番号	92 / 133
路線名	安威川ダム左岸道路		
工事名	安威川ダム 左岸道路詳細設計委託		
工事場所	茨木市大字生保地内 外		
図面名	取付里道平面図(3)		
縮尺	1:500	作成年月	平成 30年 3月

大阪府安威川ダム建設事務所

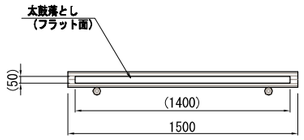
階段工構造図(6)

階段工(R)

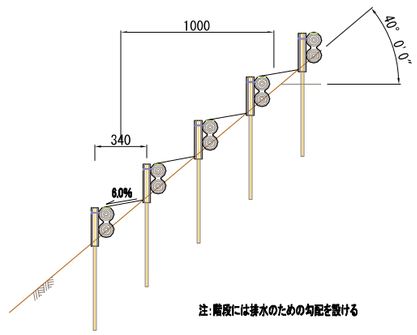
S=1:20

標準図

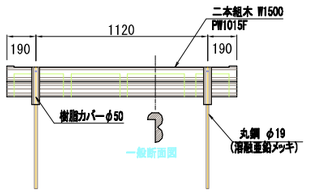
平面図



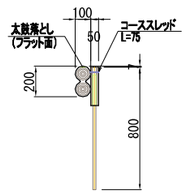
側面図



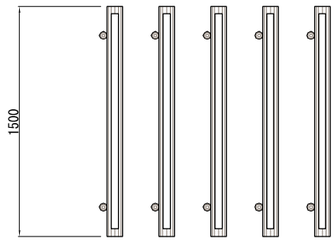
正面図



断面図



平面図

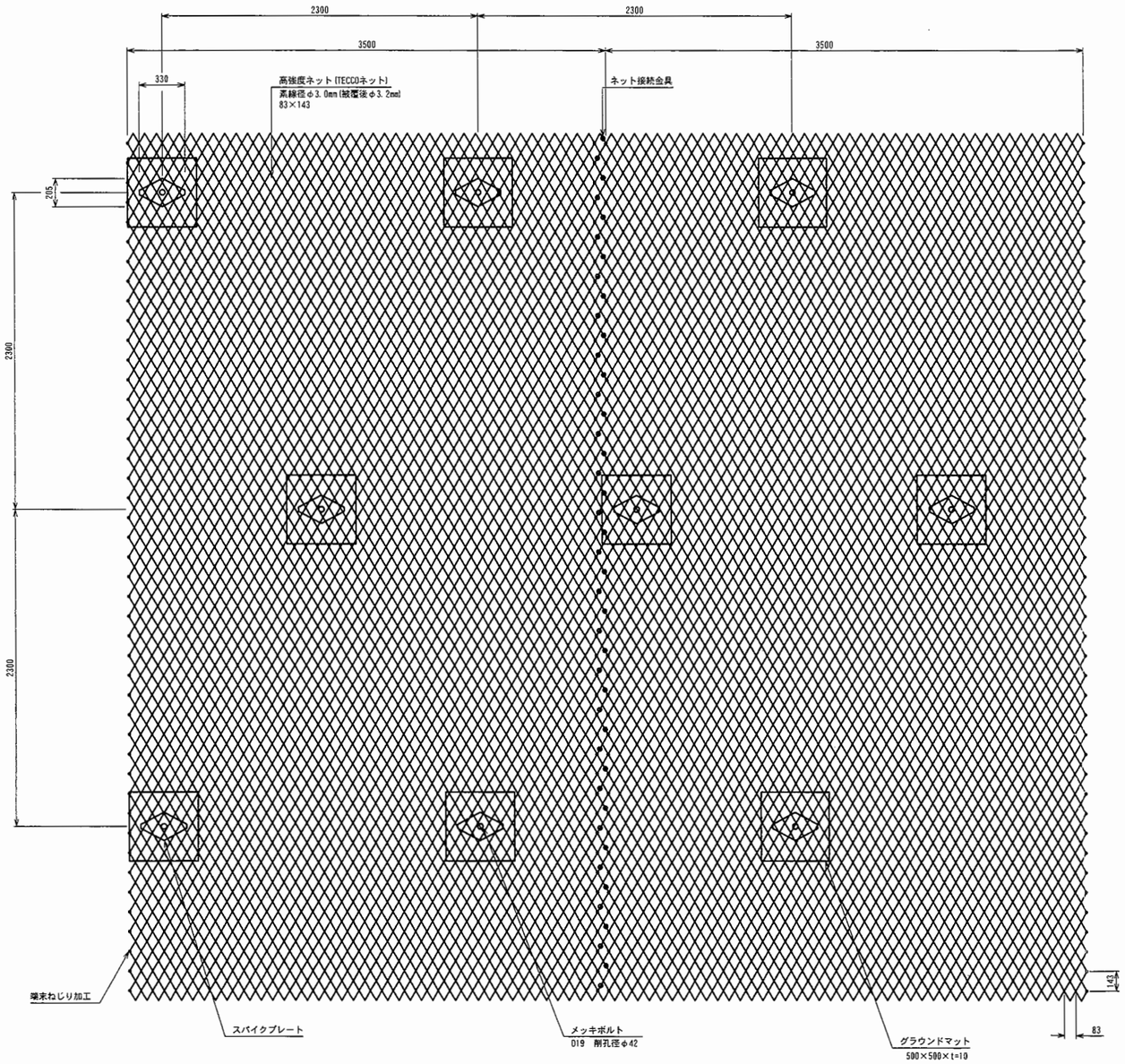


年　度	平成29年度	番　号	104 / 133
路 線 名	安威川ダム左岸道路		
工 事 名	安威川ダム　左岸道路詳細設計委託		
工事場所	茨木市大字生保地内　外		
図 面 名	階段工構造図(5)		
縮　尺	1:20	作成年月	平成 30年 3月
大阪府安威川ダム建設事務所			

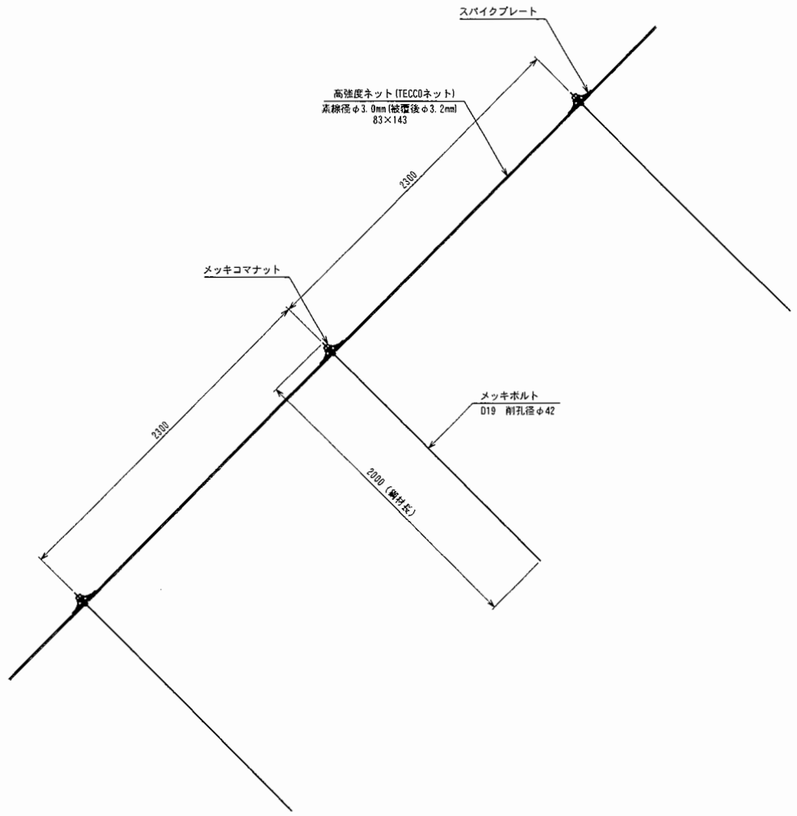
パワーネット工法　構造図

(参考図)

展 開 図　S=1/20



標準断面図　S=1/20

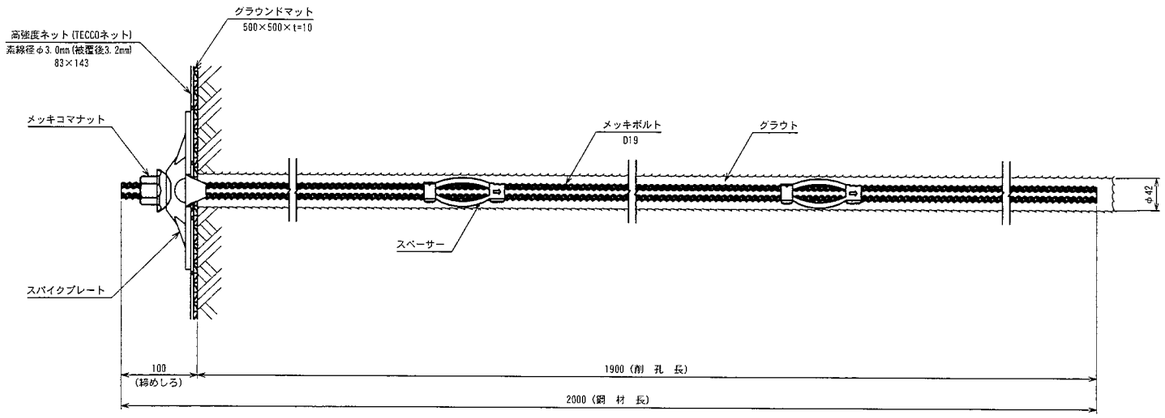


年　度	H30	図面番号	
路線名	主要地方道大阪生駒線		
委託名	主要地方道大阪生駒線外 道路防災設計委託		
委託場所	大阪府大東市中垣内町		
図面名	パワーネット構造図(参考図)		
縮　尺	S=1:20		
大 阪 府 枚 方 土 木 事 務 所			

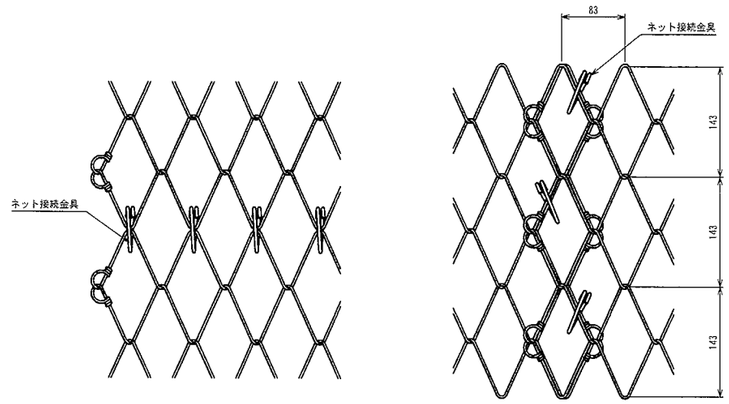
パワーネット工法　詳細図

(参考図)

メッキボルト全体図　S=1/4

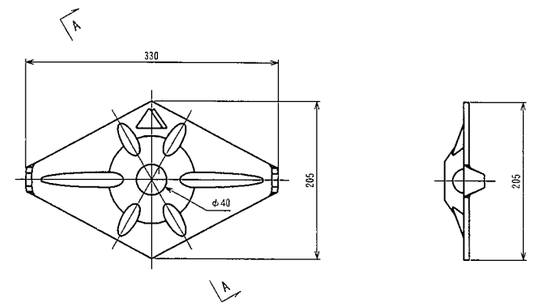


接続例　S=1/4

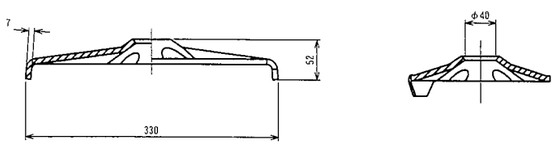


スパイクプレート　S=1/4

P33/40N

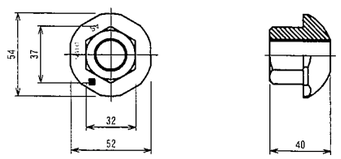


A-A断面図



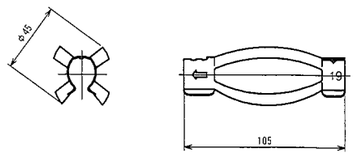
メッキコマナット　S=1/2

(D19用)

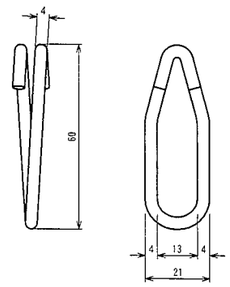


スペーサーD19-45　S=1/2

(電気メッキ)



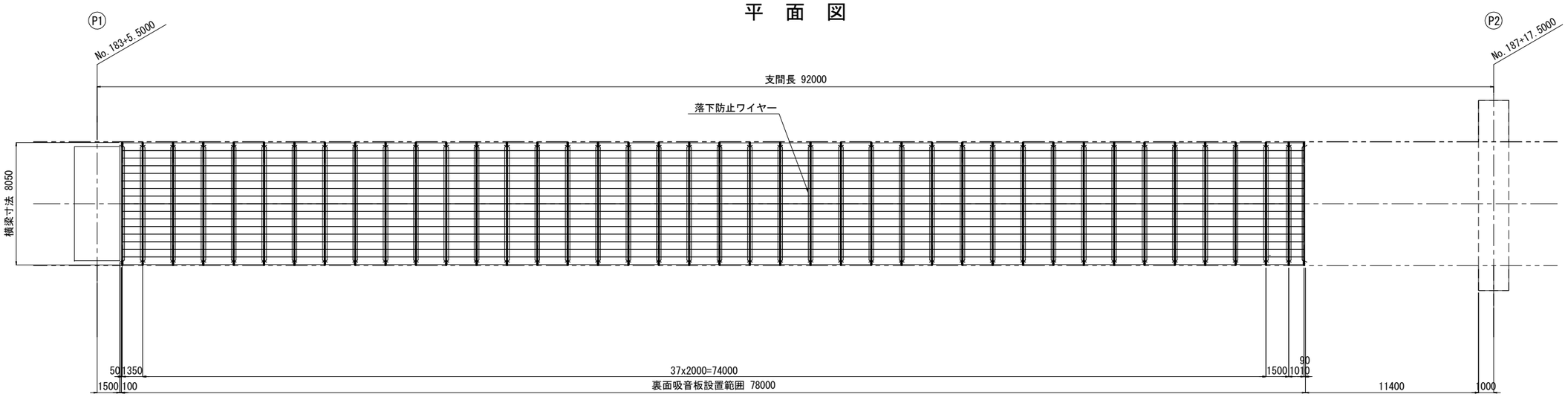
ネット接続金具　S=1/1



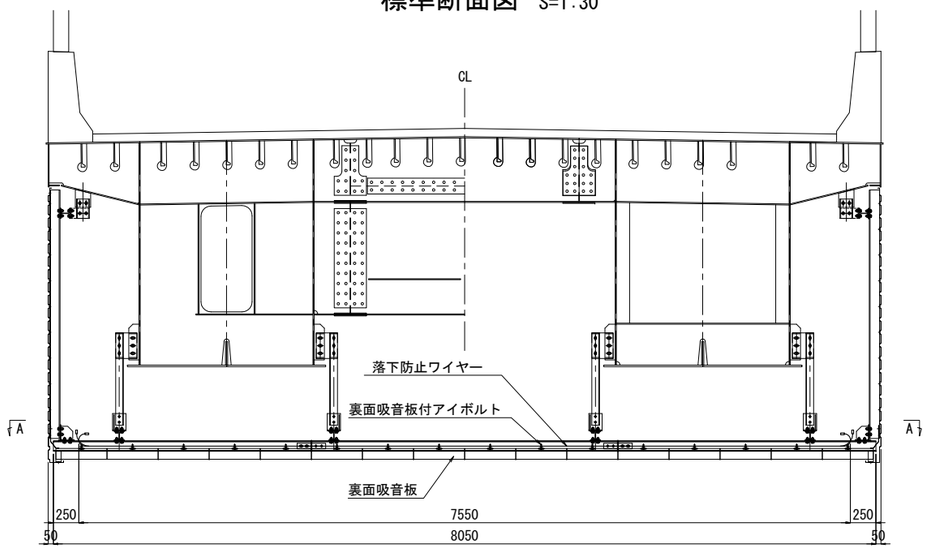
年　度	H30	図面番号	
路線名	主要地方道大阪生駒線		
委託名	主要地方道大阪生駒線外 道路防災設計委託		
委託場所	大阪府大東市中垣内町		
図面名	パワーネット詳細図(参考図)		
縮　尺	S=図示		
大　阪　府　枚　方　土　木　事　務　所			

裏面吸音板落下防止ワイヤー詳細図　S=1:150

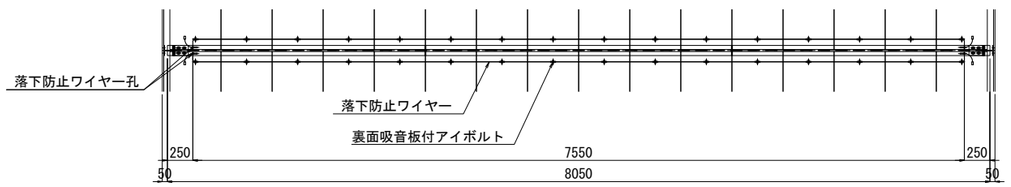
平　面　図



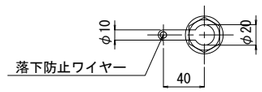
標準断面図　S=1:30



A － A　S=1:30



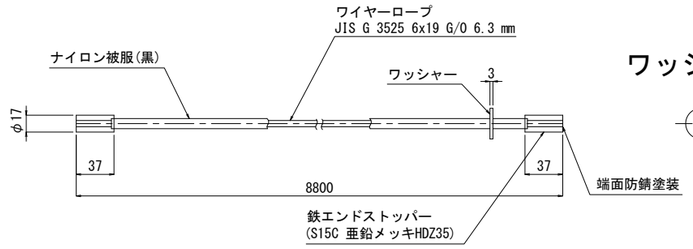
落下防止ワイヤー取付詳細　S=1:3



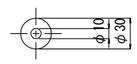
82-BN M16 x 40 (UN,2W付)

落下防止ワイヤー　S=1:3

（製作数 80本）



ワッシャー　S=1:3



注記）

1. 特記なき材質はすべてSS400とする。
2. 特記なき材料は、溶融亜鉛めっきを施す。
   付着量は、以下の通りとする。
   ボルト・ナット：JIS H8641 HDZ35
   鋼　　材：JIS H8641 HDZ55
3. 普通ボルトは全て緩み止めナットを使用する。

平成27年度	図面番号	112／130	
路線名	都市計画道路十三高槻線		
業務名			
場　所	吹田市吹東町地内～吹田市南正雀3丁目地内		
図面名	裏面吸音板落下防止ワイヤー詳細図	縮尺	S=1:150
大阪府茨木土木事務所			

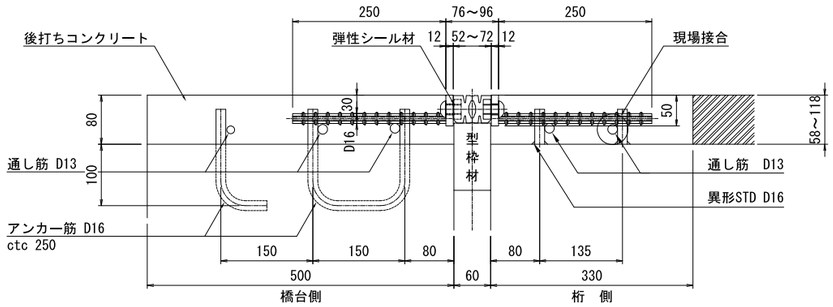
伸縮継手詳細図（その２）

上流側

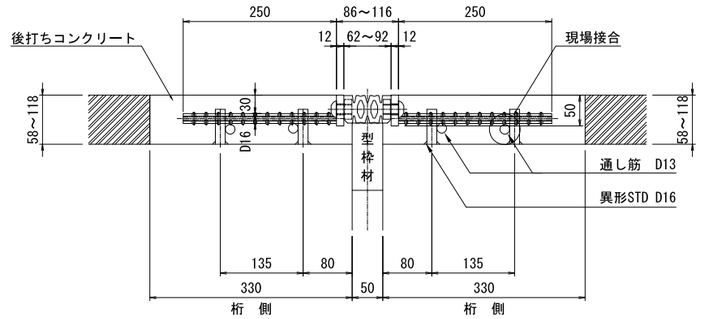
伸縮継手断面図　S=1:5

（参考図）

ブロフジョイントＮｘ型-20用 同等品以上
A1,A2部　歩道部 新設



ブロフジョイントＮｘ型-30用 同等品以上
P3部　歩道部

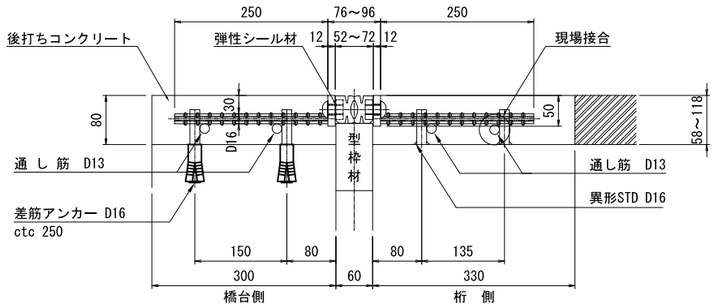


伸縮装置の現地設置基準

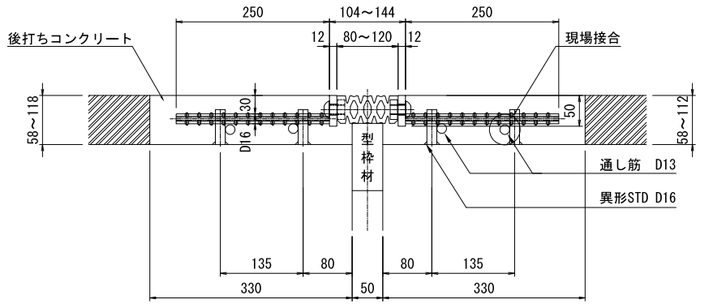
架設時温度t(℃) ＼ 伸縮装置タイプ	伸縮パッキン設置幅 A(mm)		
	t<15	25≧t≧15	25<t
ブロフジョイントNx型-20用	64	62	60
ブロフジョイントNx型-30用	81	77	73
ブロフジョイントNx型-40用	106	100	94

※架設時温度は現地での平均気温

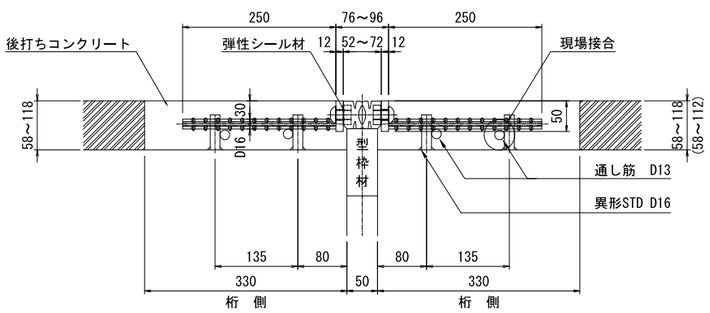
ブロフジョイントＮｘ型-20用 同等品以上
A1,A2部　歩道部　既設



ブロフジョイントＮｘ型-40用 同等品以上
P4部　歩道部



ブロフジョイントＮｘ型-20用 同等品以上
P1,P2,P5,P6部　歩道部



※(　)内寸法はP2を示す。

材料表

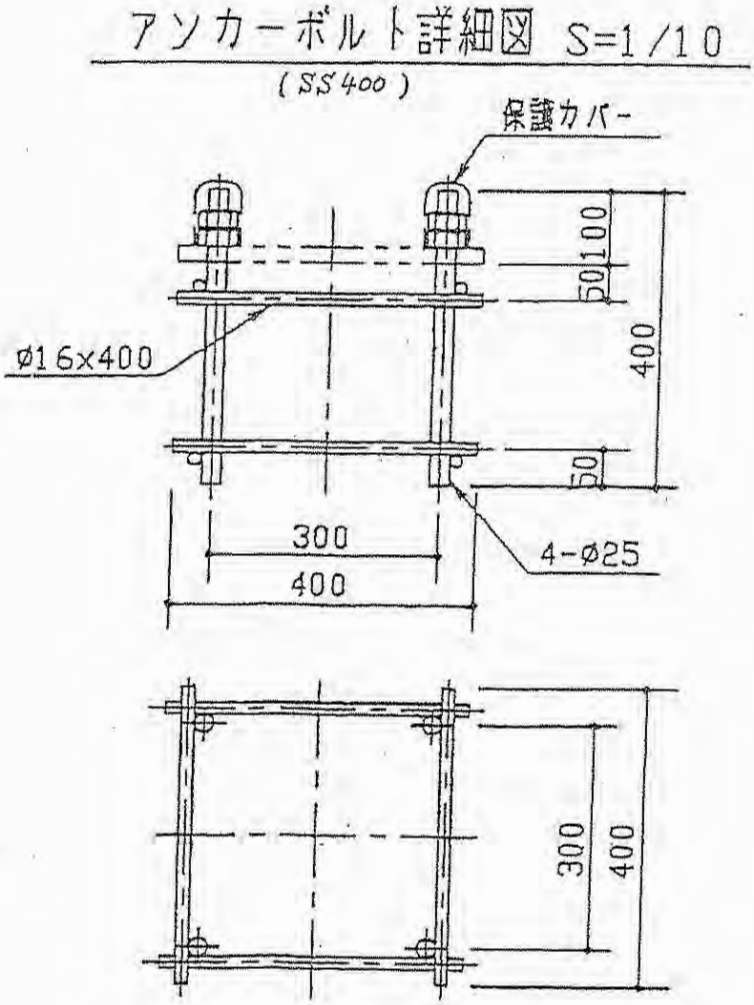
	名　　称	材　質	A1,A2側	P1,P5,P6側	P2側	P3側	P4側	Σ合計	備　考	出荷マーク
工場製作	ブロフジョイントＮｘ型-20用 同等品以上 (歩道用)	SS400 合成ゴム SD345	2.000 m					8.000 m	22.1kg/m	F1(A1,A2)
			2.000 m							F2(A1,A2)
	(通し筋　D13)	SD345	8*2.000 m					37.180 m	伸縮本体に仮組込し出荷	
			1*2.590 m							
	ブロフジョイントＮｘ型-20用 同等品以上 (歩道用)	SS400 合成ゴム SD345		2.000 m	1.570 m			15.570 m	22.1kg/m	M1(P1,P2,P5,P6)
				2.000 m	2.000 m					M2(P1,P2,P5,P6)
	(通し筋　D13)	SD345		8*2.000 m	4*1.570 m			62.280 m	伸縮本体に仮組込し出荷	
					4*2.000 m					
	ブロフジョイントＮｘ型-30用 同等品以上 (歩道用)	SS400 合成ゴム SD345				2.000 m		4.000 m	22.7kg/m	M1(P3)
						2.000 m				M2(P3)
	(通し筋　D13)	SD345				8*2.000 m		16.000 m	伸縮本体に仮組込し出荷	
	ブロフジョイントＮｘ型-40用 同等品以上 (歩道用)	SS400 合成ゴム SD345					1.570 m	3.570 m	23.6kg/m	M1(P4)
							2.000 m			M2(P4)
	(通し筋　D13)	SD345					4*1.570 m	14.280 m	伸縮本体に仮組込し出荷	
							4*2.000 m			
	地覆目地用シール材	バックアップ材	0.500 m	0.700 m	0.700 m	0.700 m	0.700 m	5.200 m	ウレタンフォーム　75*75	
		プライマー材						1　瓶	※2 プライマー	
		シリコンシール材	0.75 リッター	0.88 リッター	0.88 リッター	0.88 リッター	0.88 リッター	6.78 リッター	STシールA	
工場取付	桁側異形STD D16×90	SD345	34　本	68　本	60　本	68　本	60　本	460　本	※1	

現地施工	橋台側アンカー筋 D16×450	SD345	10　本					20　本	
	橋台側アンカー筋 D16×210	SD345	10　本					20　本	
	橋台側アンカー筋 D16×50	SD345	12　本					24　本	差筋アンカー
	型枠材								発砲スチロール材
	後打コンクリート	σck=24N/mm2	0.254 m^3	0.232 m^3	0.200 m^3	0.232 m^3	0.200 m^3	1.836 m^3	

※1 伸縮装置の高さ調整後、所定高さに現地で切断する。
※2 地覆シール材施工と伸縮継手部ゴム断面への塗布に利用
※3 橋台のコンクリート強度が24N/mm2を超える場合には、後打ちコンクリート強度は橋台のコンクリート強度以上とする。
※4 本図面は、仕様を規定するものであり、製品を指定するものではない。

※本工事は、上流側のみを対象とする。

平成30～31年度	図面番号		
事業名			
路線名 河川名	一般府道 相川停車場線 一級河川 淀川水系 安威川		
工事名	一般府道 相川停車場線 新京阪橋歩道拡幅設計業務		
施工地名	吹田市南高浜町地内		
図面名	伸縮継手詳細図 （その2）	縮尺	図示
大阪府茨木土木事務所			


アンカーボルト詳細図 S=1/10
(SS400)
保護カバー
50
100
400
50
φ16×400
300
400
4-φ25
300
400

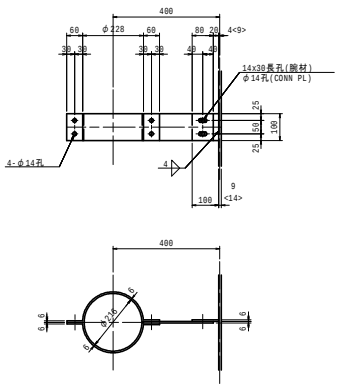
上部工排水装置（その６）

S＝１：１０

取付金具詳細図

S1-1<S1-2>

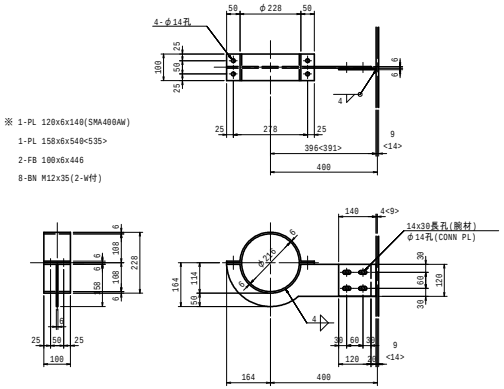
製作数:5<4>



※ 1-PL 100x6x100(SMA400AW)
1-FB 100x6x262<257>
2-FB 100x6x462
2-BN M12x40(2-W付)
4-BN M12x35(2-W付)

S2-1<S2-2>

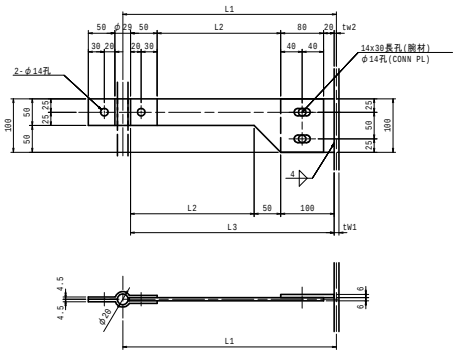
製作数:18<4>



※ 1-PL 120x6x140(SMA400AW)
1-PL 158x6x540<535>
2-FB 100x6x446
8-BN M12x35(2-W付)

S3-1～S3-3 S＝１：５

製作数:n

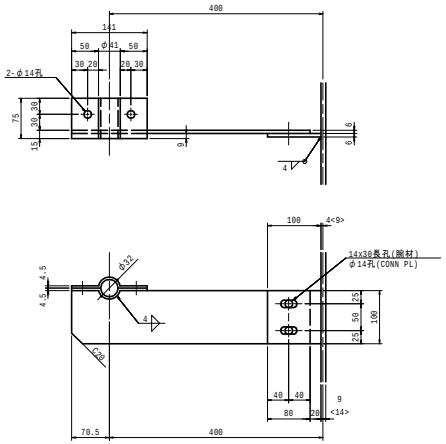


※ 1-PL 100x6x100(SMA400AW)
2-BN M12x35(2-W付)
1-PL 100x6xLL1
2-FB 50x4.5x135
1-BN M12x30(2-W付)
1-BN M12x40(2-W付)

	L1	L2	L3	LL1	tw1	tw2	n
S3-1	550	381.5	531.5	512	9	4	3
S3-2	400	231.5	381.5	362	9	4	3
S3-3	550	376.5	526.5	507	14	9	1

S4-1<S4-2> S＝１：５

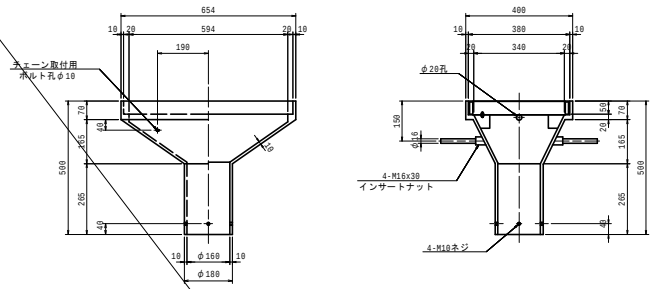
製作数:20<4>



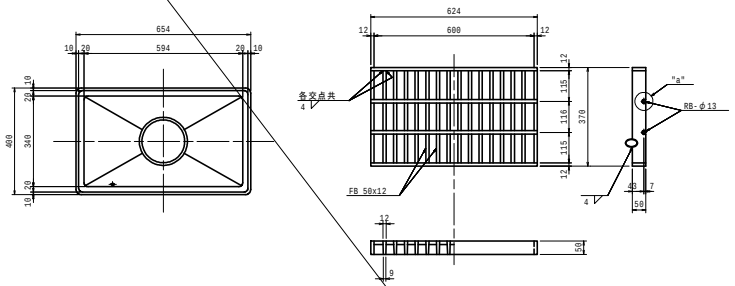
※ 1-PL 100x6x100(SMA400AW)
2-BN M12x35(2-W付)
1-PL 100x6x447<442>
2-FB 75x4.5x156
2-BN M12x30(2-W付)

排水桝詳細図

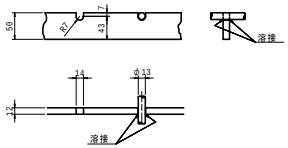
製作数:6



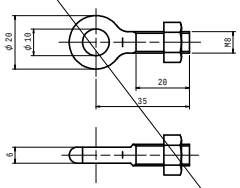
桝蓋詳細図



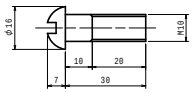
"a" 部詳細図 S＝１：５



チェーン取付用ボルト 詳細図 S＝１：１



ビス(M10x30) 詳細図 S＝１：１



注記
1.特記なき材質は全てＳＳ４００とする。
2.普通ナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3.※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキを施す。
亜鉛の付着量は、ＪＩＳ Ｈ８６４１ ＨＤＺ５５とする。
但し、ボルト・ナットおよび板厚
６．０mm未満の部材は、ＨＤＺ３５とする。

排水桝材料表

符号	品名	材質	数量	質量(kg)	備考
1	本体	FC250	1	56.5	
2	グレーチング	SS400	1	30.0	亜鉛ﾒｯｷ
3	ビス	SS400	4	0.1	亜鉛ﾒｯｷ
4	ﾁｪｰﾝ取付ﾎﾞﾙﾄ	SS400	1	0.1	亜鉛ﾒｯｷ
5	チェーン	SS400	1	0.2	亜鉛ﾒｯｷ L=300
１組分合計				86.9 kg	

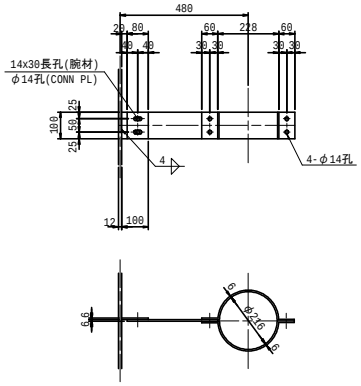
平成 26 年度	図面番号		
事業名			
路線名	安威川ダム左岸道路		
工事名	安威川ダム 左岸道路 構造詳細設計委託(５号橋)		
施工地名	茨木市大字生保地内		
図面名	上部工排水装置（その６）	縮尺	図示
大阪府安威川ダム建設事務所			

6号橋 上部工排水装置（その6） S=1:10

取付金具詳細

S1 ～ S8

(製作数: n)

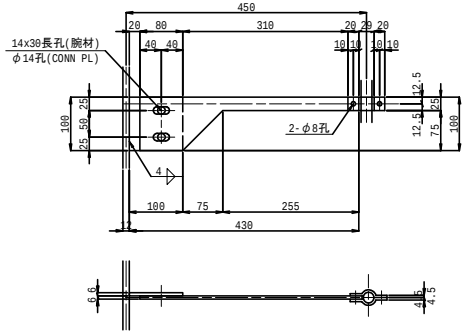


※ 1 - PL 100 x 6 x 100 (SMA400AW)
1 - FB 100 x 6 x LL1
2 - FB 100 x 6 x 466
2 - BN M12 x 40 (2-W付)
4 - BN M12 x 35 (2-W付)

	L1	LL1	n
S1	468	328	1
S2	510	370	1
S3	455.2	315	1
S4	480	340	5
S5	599.9	460	1
S6	452.1	312	1
S7	455.4	315	1
S8	410	270	5

S9 S=1:5

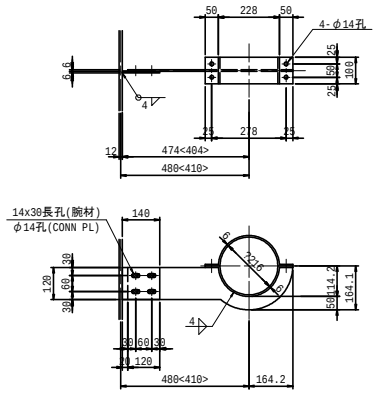
(製作数: 4)



※ 1 - PL 100 x 6 x 100 (SMA400AW)
2 - BN M12 x 35 (2-W付)
1 - PL 100 x 6 x 410
2 - FB 25 x 4.5 x 78
2 - BN M6 x 30 (2-W付)

B1 ,<B2>

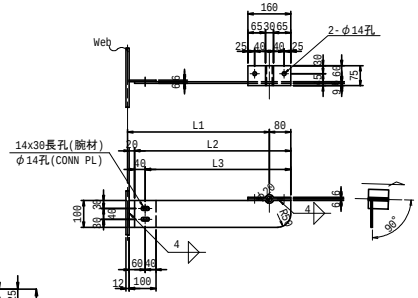
(製作数: 37<41>)



※ 1 - PL 120 x 6 x 140 (SM400A)
1 - PL 158 x 6 x 618<548>
2 - FB 100 x 6 x 449
8 - BN M12 x 40 (2-W付)

B3 ～ B7

(製作数: n)



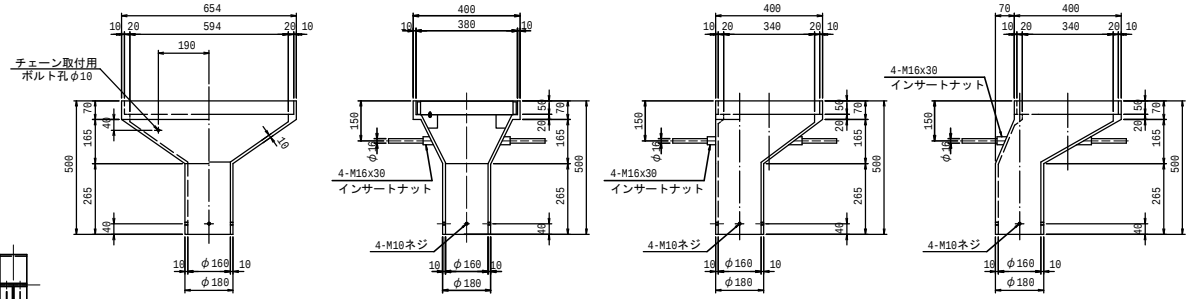
※ 1-PL 100 x 6 x 100 (SM400A)
2-PL 75 x 6 x 162 (SM400A)
1-PL 100 x 6 x LL1 (SM400A)
4-BN M12 x 35 (2-W付)

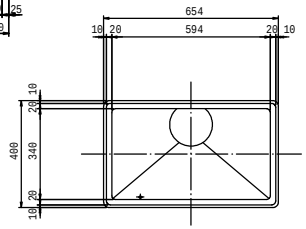
	L1	L2	L3	LL1	n
B3	599.9	653.9	613.9	654	1
B4	749.9	803.9	763.9	804	1
B5	450	504	464	504	2
B6	480	534	494	534	6
B7	410	464	424	464	6

排水桝詳細

(製作数: 各1)

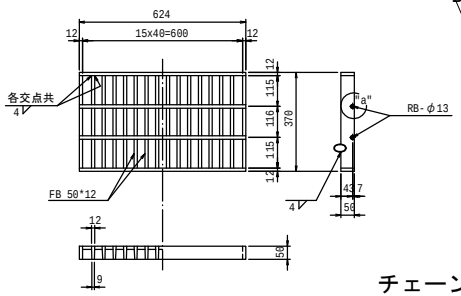
DL1,DR1,DR2用　DL2,DL3,DR3～DR6用　DL4～DL6用



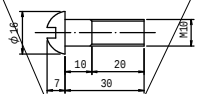


符号	品　名	材 質	数量	重 量	備　考
1	本　体	FC250	1	56.5	
2	グレ-チング	SS400	1	30.0	亜鉛メッキ
3	ビ　ス	SS400	4	0.1	亜鉛メッキ
4	チェ-ン取付ボルト	SS400	1	0.1	亜鉛メッキ
5	チ ェ - ン	SS400	1	0.2	L=300 亜鉛メッキ
1組分合計 86.9kg					

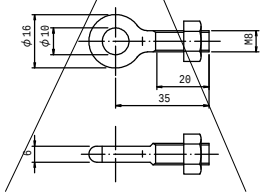
桝蓋詳細図



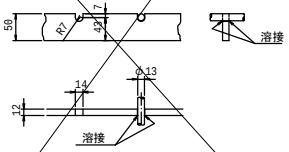
Biss (M10*30) 詳細図 S=1:1



チェーン取付用ボルト詳細図 S=1:1

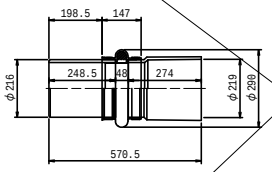


"a"部詳細 S=1:5

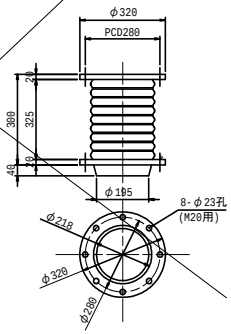


伸縮継手詳細

EX1
製作数：8
MECジョイント JA-1相当品



EX2
製作数：4
◎フレキシブルジョイント
G5型



注記
1.特記なき材質は、全てSS400とする。
2.Uボルト付き以外のナットは全て弛み止めナットを使用すること。
3.※印以外の部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット及び板厚6.0mm未満の部材はHDZ35とする。

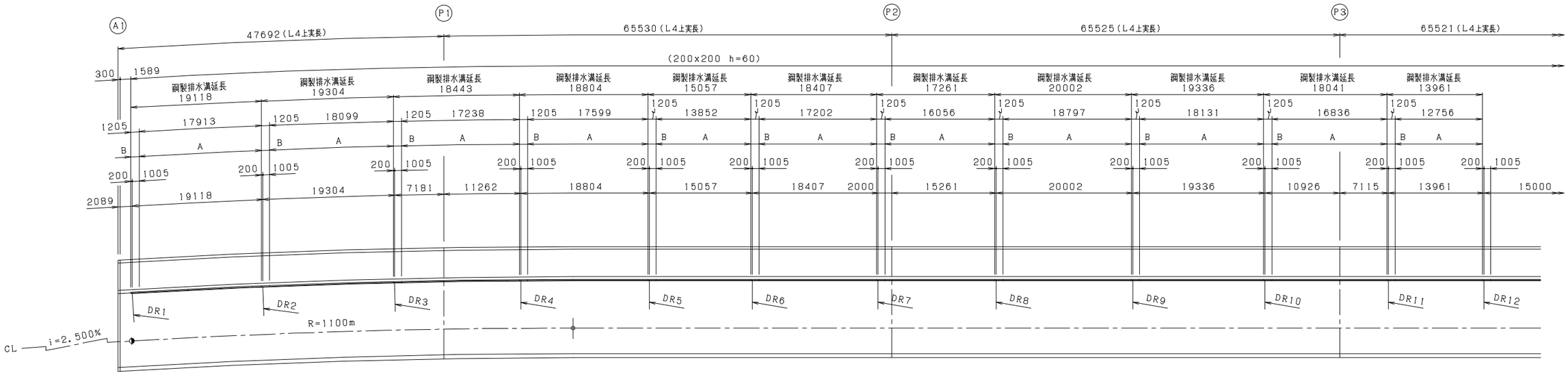
6号橋

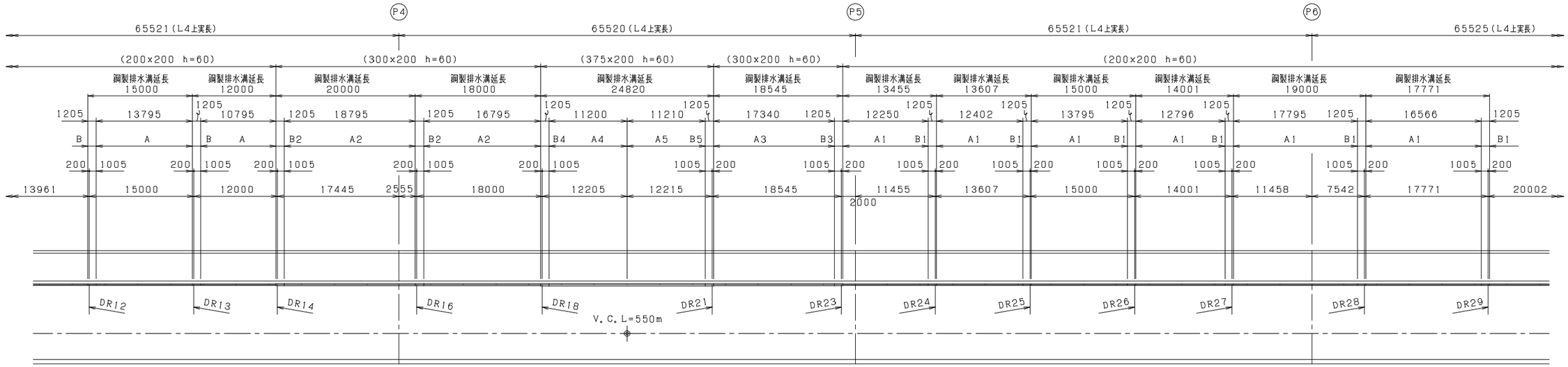
平成 25 年度	図面番号	/	
事業名			
河川路線 名	安威川ダム左岸道路		
工事名			
施工地名	茨木市大字生保		
図面名	上部工排水装置（その6）	縮尺	図 示
大阪府 安威川ダム建設事務所			

鋼製排水溝（その１）

鋼製排水溝設置図　S=1/300

※　鋼製排水溝延長は実長寸法を示す。（縦断勾配考慮）

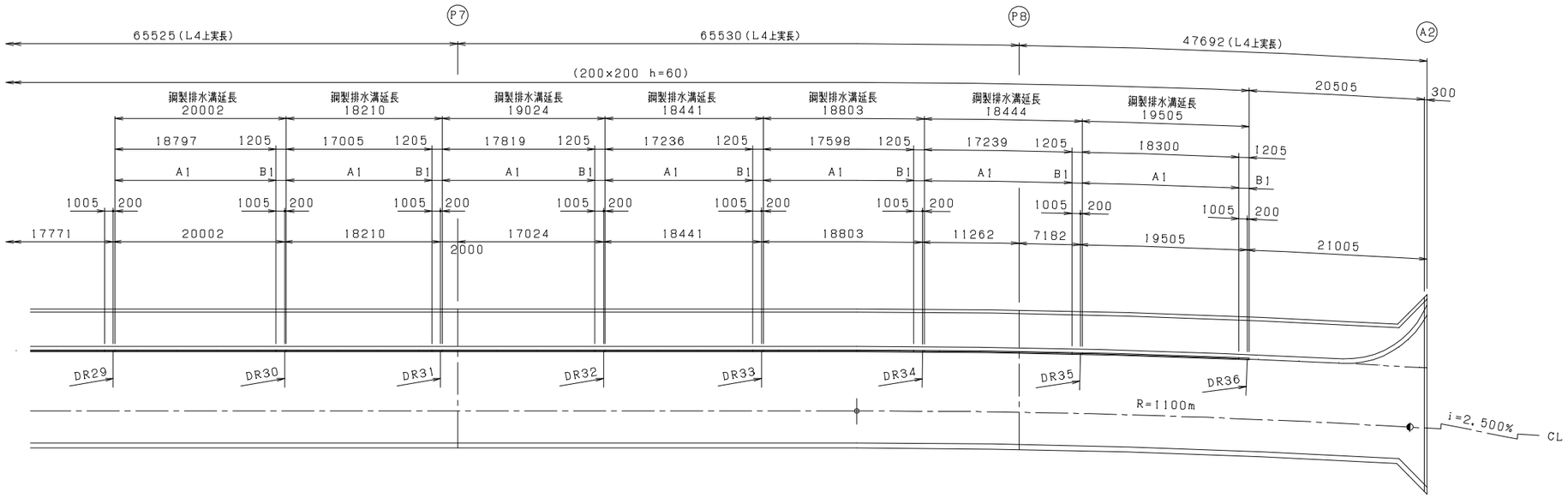




鋼製排水溝（その２）

鋼製排水溝設置図　S=1/300

※　鋼製排水溝延長は実長寸法を示す。（縦断勾配考慮）



鋼製排水溝　数量表

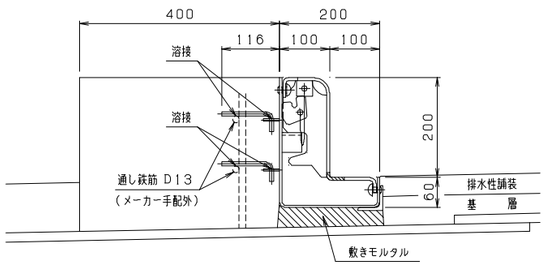
ドレン符号	寸　法	延 長(m)	記　事
A	200×200　h=60	209.069	標 準 部
B	200×200　h=60	15.665	流 末 部、End PL付
A1	200×200　h=60	209.598	標 準 部
B1	200×200　h=60	15.665	流 末 部、End PL付
A2	300×200　h=60	35.590	標 準 部
B2	300×200　h=60	2.410	流 末 部、End PL付
A3	300×200　h=60	17.340	標 準 部
B3	300×200　h=60	1.205	流 末 部、End PL付
A4	375×200　h=60	11.200	標 準 部
B4	375×200　h=60	1.205	流 末 部、End PL付
A5	375×200　h=60	11.210	標 準 部
B5	375×200　h=60	1.205	流 末 部、End PL付
流末導水管 － 1		26 ヶ 所	
流末導水管 － 2		5 ヶ 所	
流末導水管 － 3		31 ヶ 所	
流末導水管 － 4		31 ヶ 所	
合 計		531.362	

※　hは，鋼製排水溝の埋込深さを示す。

仕様特記
- 製品の表面処理は「溶融亜鉛・アルミニウム合金めっき（Mg入り）」とし亜鉛付着量350　g/m²（50μm）以上とする。（主要部材の平均付着量とします）その上にナイロンコーティング（ナイロン12）を平均膜厚300μm以上とする。
- フタは１セット毎に開口及び立てかけ可能な事。
- フタは跳ね上がり防止機能を有し、跳ね上がり防止機能は流水範囲に位置しない事。
- フタ補強リブ付きタイプは、流末方向に所定の間隔毎に取付け流水を妨げない事。

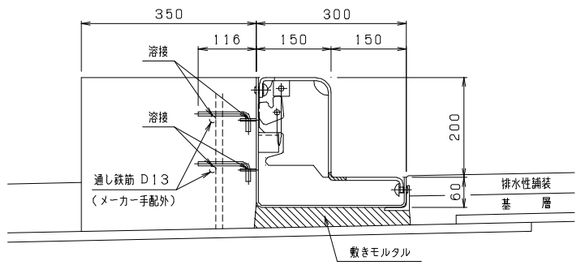
鋼製排水溝断面図　S=1/6

標準部

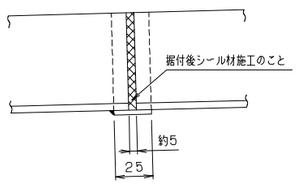


鋼製排水溝断面図　S=1/6

標準部

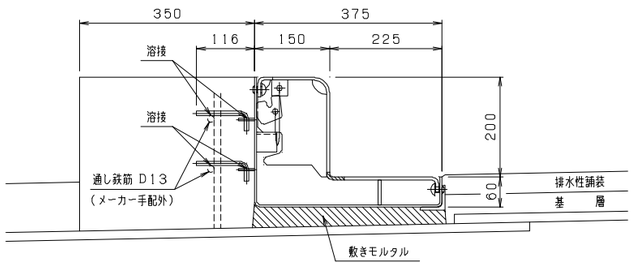


継ぎ手目地詳細図



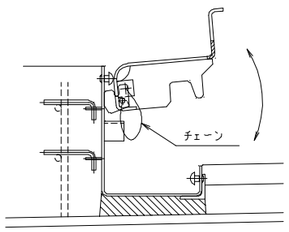
鋼製排水溝断面図　S=1/6

標準部



清掃時断面図　S=1/6

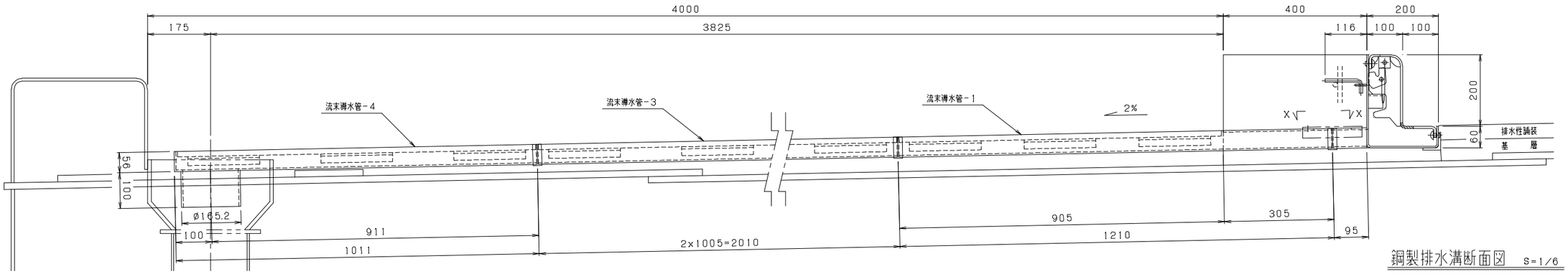
※フタは１セット毎に開口及び立てかけ可能
※フタは跳ね上がり防止機能付き



鋼製排水溝（その３）

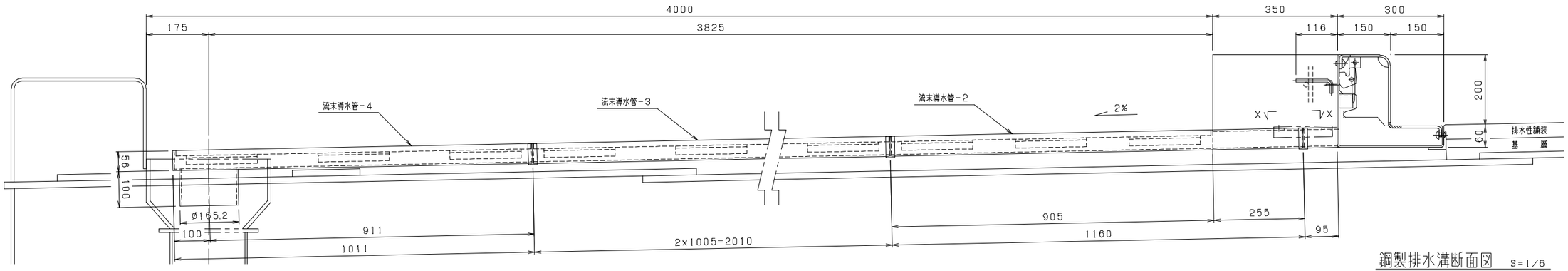
鋼製排水溝断面図　S=1/6

流末部　DR1～DR13、DR24～DR36



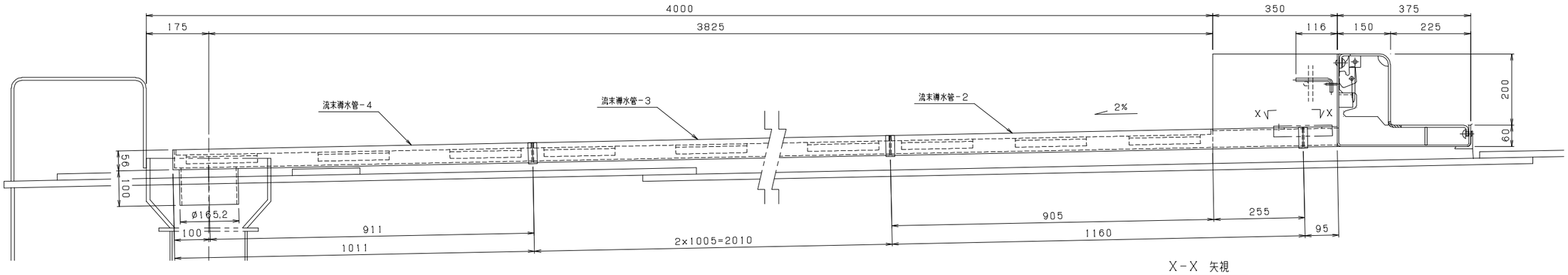
鋼製排水溝断面図　S=1/6

流末部　DR14、DR16、DR23

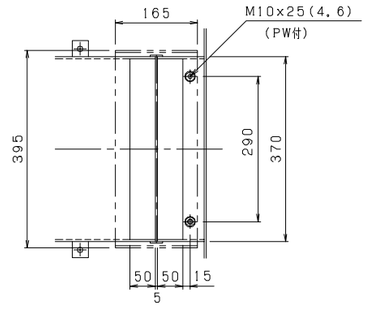


鋼製排水溝断面図　S=1/6

流末部　DR18、DR21



X－X　矢視

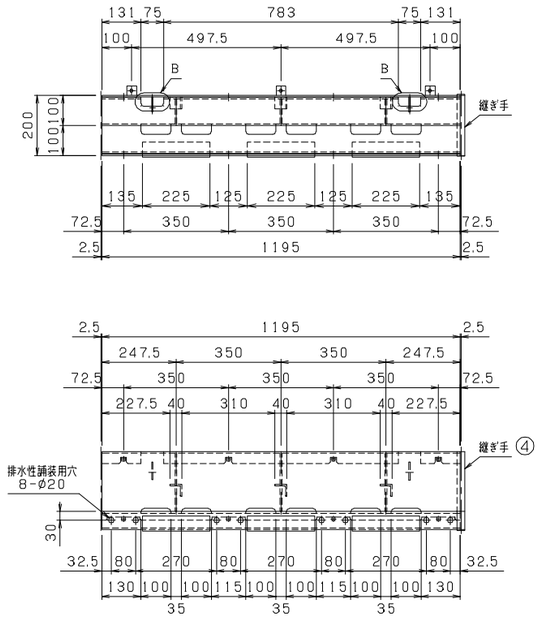


鋼製排水溝（その４）

鋼製排水溝詳細図　S=1/10

A-200x200x1200

h=60　標準部

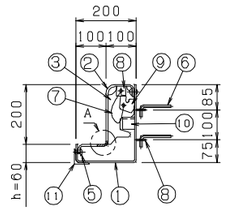


材料表　A-200X200X1200　h=60

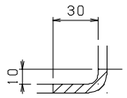
符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 520X4.5X1195	22.0
2	1-PL 457X6.0X1195	25.7
3	3-PL 194X6.0X87.5	1.60
4	1-PL 25X3.0X520	0.31
5	8-Bolt M12X18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.24
6	6-RB ø9X135	0.40
7	1-Chain ø4X200 シャックル付 (SUS)	0.11
8	7-PL 32X4.5X32	0.28
9	2-PL 50X4.5X56	0.13
10	3-L 40X40X5.0X40	0.36
11	3-L 50X50X6.0X225	2.99
総重量		54.1
m重量		45.1

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

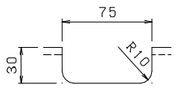
※ A1- 200X200X1200 h=60 ・・・ 54.1kg(45.1kg/m)
A1は、Aに対して線対称とする。



A部詳細図



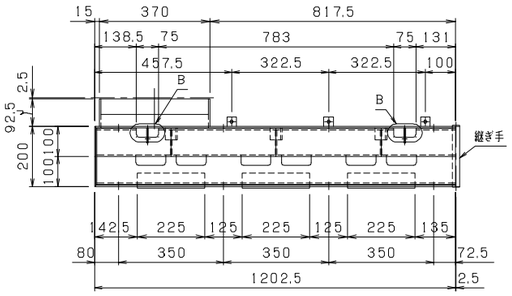
B部詳細図
（両側）

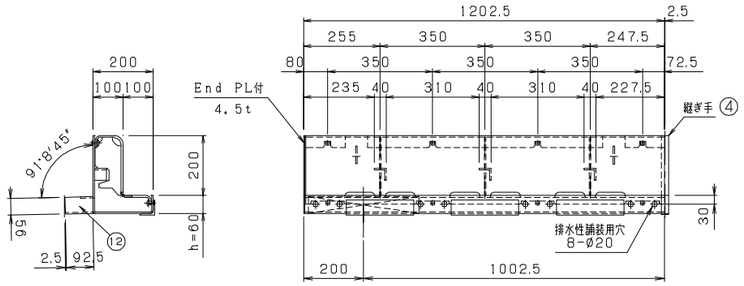


鋼製排水溝詳細図　S=1/10

B-200x200x1205

h=60　流末部



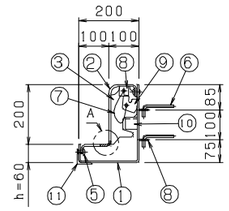


材料表　B-200X200X1205　h=60

符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 520X4.5X1202.5(End PL付)	23.1
2	1-PL 457X6.0X1195	25.7
3	3-PL 194X6.0X87.5	1.60
4	1-PL 25X3.0X520	0.31
5	8-Bolt M12X18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.24
6	6-RB ø9X135	0.40
7	1-Chain ø4X200 シャックル付 (SUS)	0.11
8	7-PL 32X4.5X32	0.28
9	2-PL 50X4.5X56	0.13
10	3-L 40X40X5.0X40	0.36
11	3-L 50X50X6.0X225	2.99
12	PL 370x56x4.5x92.5	2.78
総重量		58.0
m重量		48.1

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

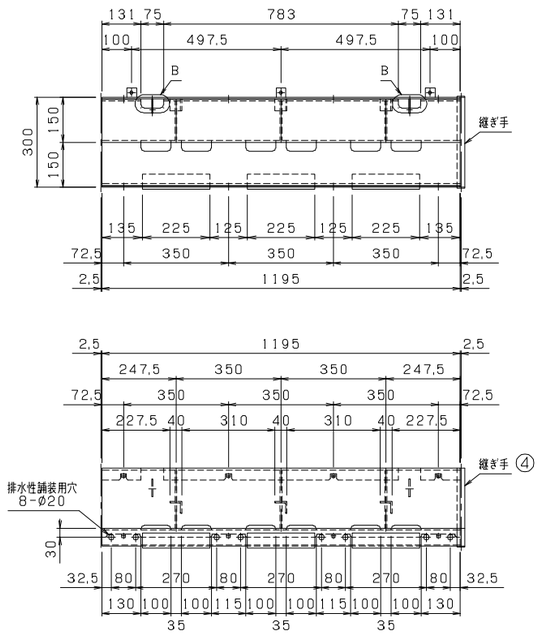
※ B1- 200X200X1205 h=60 ・・・ 58.0kg(48.1kg/m)
B1は、Bに対して線対称とする。



鋼製排水溝詳細図　S=1/10

A2-300x200x1200

h=60　標準部

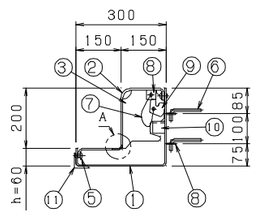


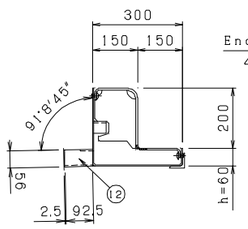
材料表　A2-300X200X1200　h=60

符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 620X4.5X1195	26.2
2	1-PL 557X6.0X1195	31.4
3	3-PL 194X6.0X137.5	2.80
4	1-PL 25X3.0X620	0.37
5	8-Bolt M12X18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.24
6	6-RB ø9X135	0.40
7	1-Chain ø4X200 シャックル付 (SUS)	0.11
8	7-PL 32X4.5X32	0.28
9	2-PL 50X4.5X56	0.13
10	3-L 40X40X5.0X40	0.36
11	3-L 50X50X6.0X225	2.99
総重量		65.3
m重量		54.4

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

※ A3- 300X200X1200 h=60 ・・・ 65.3kg(54.4kg/m)
A3は、A2に対して線対称とする。

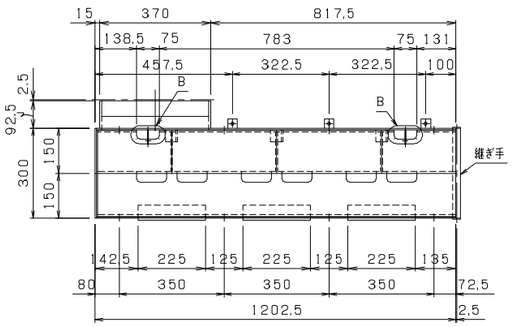


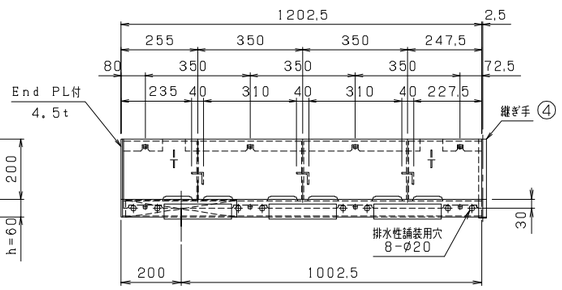


鋼製排水溝詳細図　S=1/10

B2-300x200x1205

h=60　流末部



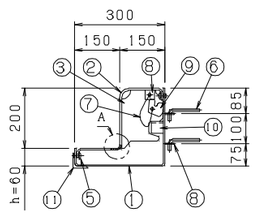


材料表　B2-300X200X1205　h=60

符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 620X4.5X1202.5(End PL付)	27.9
2	1-PL 557X6.0X1195	31.4
3	3-PL 194X6.0X137.5	2.80
4	1-PL 25X3.0X620	0.37
5	8-Bolt M12X18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.24
6	6-RB ø9X135	0.40
7	1-Chain ø4X200 シャックル付 (SUS)	0.11
8	7-PL 32X4.5X32	0.28
9	2-PL 50X4.5X56	0.13
10	3-L 40X40X5.0X40	0.36
11	3-L 50X50X6.0X225	2.99
12	PL 370x56x4.5x92.5	2.78
総重量		69.8
m重量		57.9

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

※ B3- 300X200X1205 h=60 ・・・ 69.8kg(57.9kg/m)
B3は、B2に対して線対称とする。

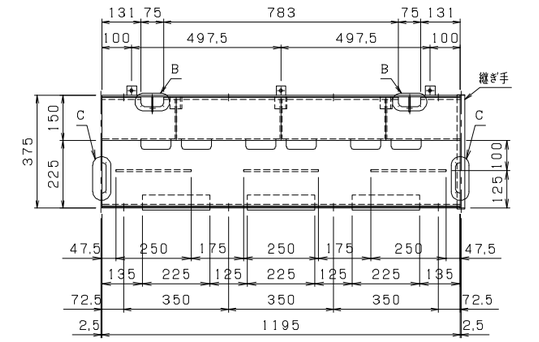


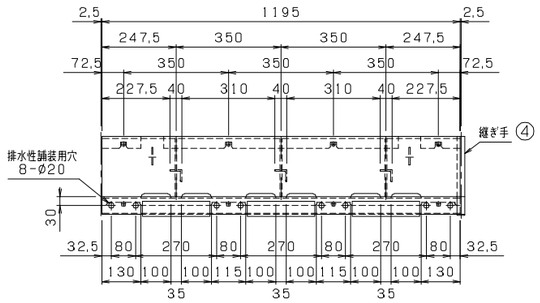
鋼製排水溝（その5）

鋼製排水溝詳細図　S=1/10

A4-375x200x1200

h=60　標準部



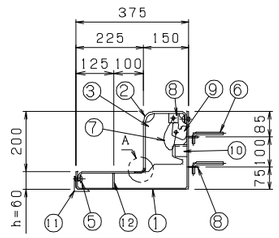


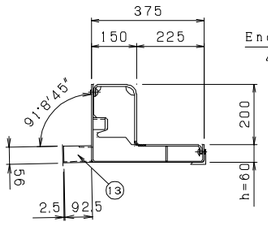
材料表　A4-375X200X1200　h=60

符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 695X4.5X1195	29.3
2	1-PL 632X6.0X1195	35.6
3	3-PL 194X6.0X137.5	2.80
4	1-PL 25X3.0X695	0.41
5	8-Bolt M12X18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.24
6	6-RB φ9X135	0.40
7	1-Chain φ4X200 シャックル付 (SUS)	0.11
8	7-PL 32X4.5X32	0.28
9	2-PL 50X4.5X56	0.13
10	3-L 40X40X5.0X40	0.36
11	3-L 50X50X6.0X225	2.99
12	3-PL 49.5X6.0X250	1.74
総重量		74.4
m重量		62.0

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

※ A5- 375X200X1200 h=60 ・・・ 74.4kg(62.0kg/m)
A5は、A4に対して線対称とする。

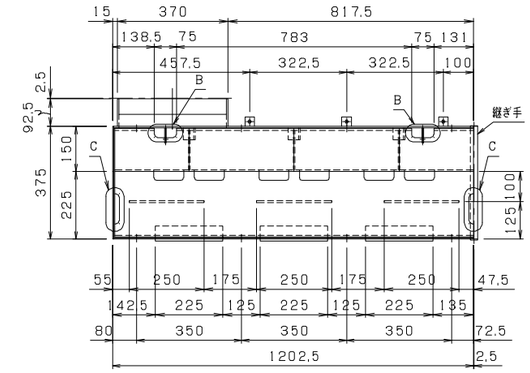


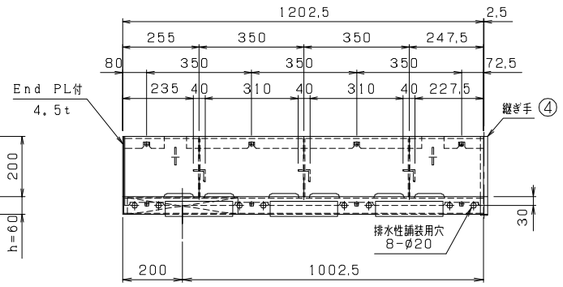


鋼製排水溝詳細図　S=1/10

B4-375x200x1205

h=60　流末部



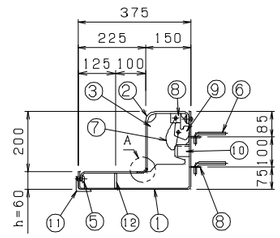


材料表　B4-375X200X1205　h=60

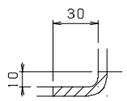
符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 695X4.5X1202.5(End PL付)	31.3
2	1-PL 632X6.0X1195	35.6
3	3-PL 194X6.0X137.5	2.80
4	1-PL 25X3.0X695	0.41
5	8-Bolt M12X18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.24
6	6-RB φ9X135	0.40
7	1-Chain φ4X200 シャックル付 (SUS)	0.11
8	7-PL 32X4.5X32	0.28
9	2-PL 50X4.5X56	0.13
10	3-L 40X40X5.0X40	0.36
11	3-L 50X50X6.0X225	2.99
12	3-PL 49.5X6.0X250	1.74
13	PL 370x56x4.5x92.5	2.78
総重量		79.1
m重量		65.6

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

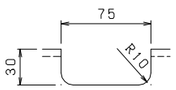
※ B5- 375X200X1205 h=60 ・・・ 79.1kg(65.6kg/m)
B5は、B4に対して線対称とする。



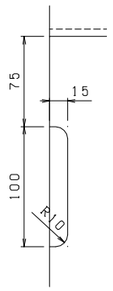
A部詳細図



B部詳細図
（両側）

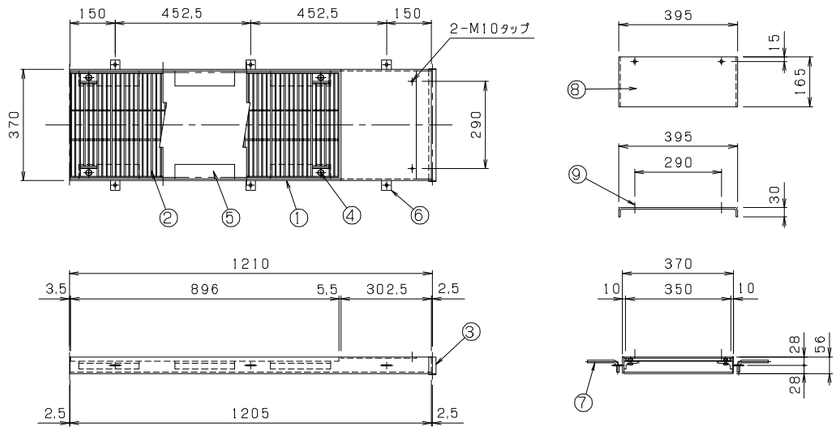


C部詳細図
（両側）



鋼製排水溝（その6）

流末導水管－1　詳細図　S=1/10



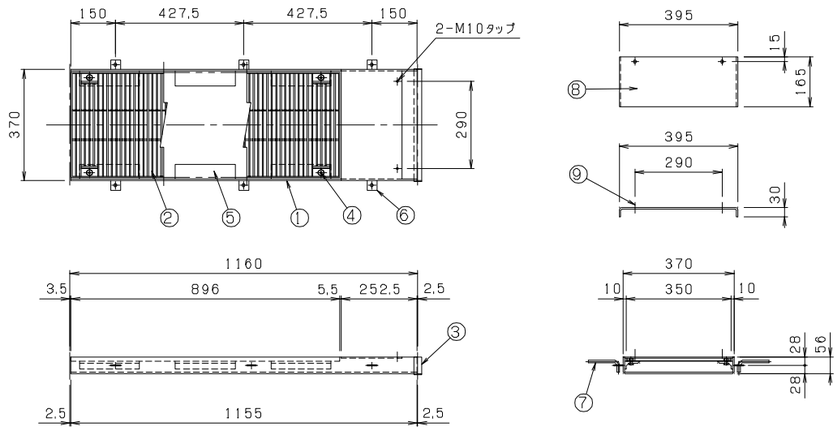
フタ

材料表　流末導水管－1

符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 370X56X4.5X1205	23.8
2	1-グレーチング 350X15X896(SUS)	11.2
3	1-PL 25X3.0X482	0.28
4	4-Bolt M10X20 PW付(SUS)	0.12
5	6-L 50X50X6.0X200	5.34
6	6-PL 32X4.5X32	0.24
7	6-RB ø9X135	0.40
8	1-PL 395x30x4.5x165	2.65
9	2-Bolt M10x25 (4.6)PW付	0.06
総重量		44.1

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

流末導水管－2　詳細図　S=1/10



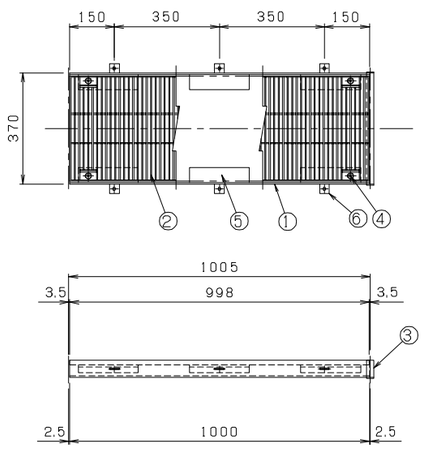
フタ

材料表　流末導水管－2

符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 370X56X4.5X1155	22.3
2	1-グレーチング 350X15X896(SUS)	11.2
3	1-PL 25X3.0X482	0.28
4	4-Bolt M10X20 PW付(SUS)	0.12
5	6-L 50X50X6.0X200	5.34
6	6-PL 32X4.5X32	0.24
7	6-RB ø9X135	0.40
8	1-PL 395x30x4.5x165	2.65
9	2-Bolt M10x25 (4.6)PW付	0.06
総重量		42.6

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

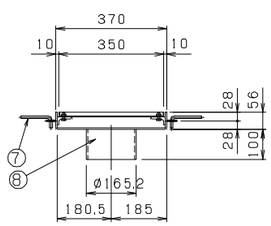
流末導水管－3　詳細図　S=1/10



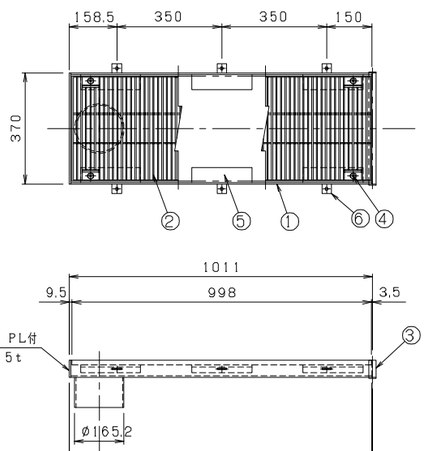
材料表　流末導水管－3

符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 370X56X4.5X1000	17.0
2	1-グレーチング 350X15X998(SUS)	12.5
3	1-PL 25X3.0X482	0.28
4	4-Bolt M10X20 PW付(SUS)	0.12
5	6-L 50X50X6.0X200	5.34
6	6-PL 32X4.5X32	0.24
7	6-RB ø9X135	0.40
総重量		35.9

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。



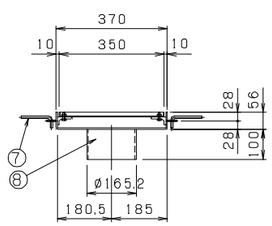
流末導水管－4　詳細図　S=1/10



材料表　流末導水管－4

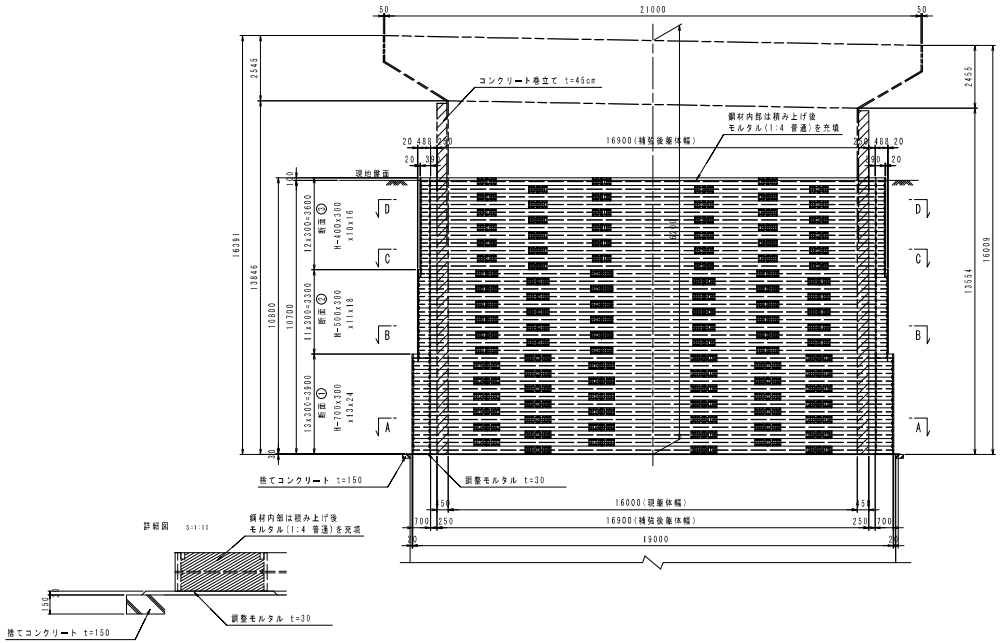
符号	寸法	重量(kg)
1	1-PL 370X56X4.5X1008.5(End PL付)	17.8
2	1-グレーチング 350X15X998(SUS)	12.5
3	1-PL 25X3.0X482	0.28
4	4-Bolt M10X20 PW付(SUS)	0.12
5	6-L 50X50X6.0X200	5.34
6	6-PL 32X4.5X32	0.24
7	6-RB ø9X135	0.40
8	1-GP ø165.2X5.0X100 (150A:SGP)	1.98
総重量		38.7

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

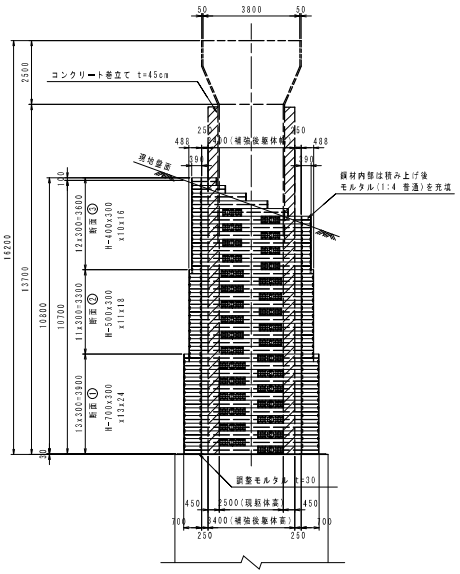


P8橋脚鞘管構造図　S=1:100

正面図

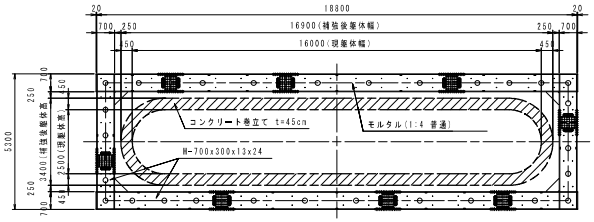


側面図

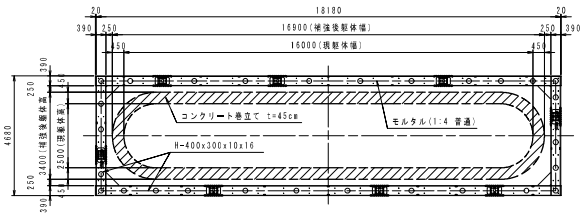


平面図

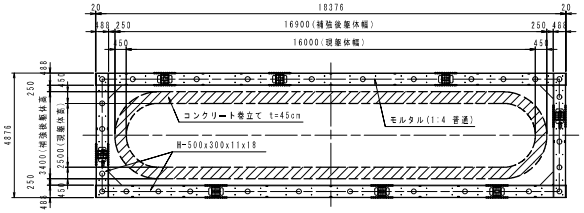
A－A



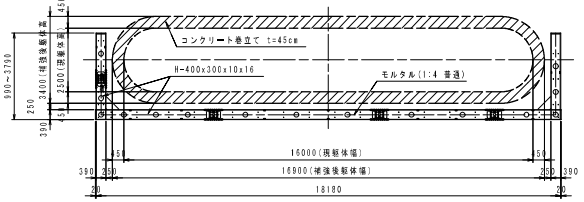
C－C



B－B



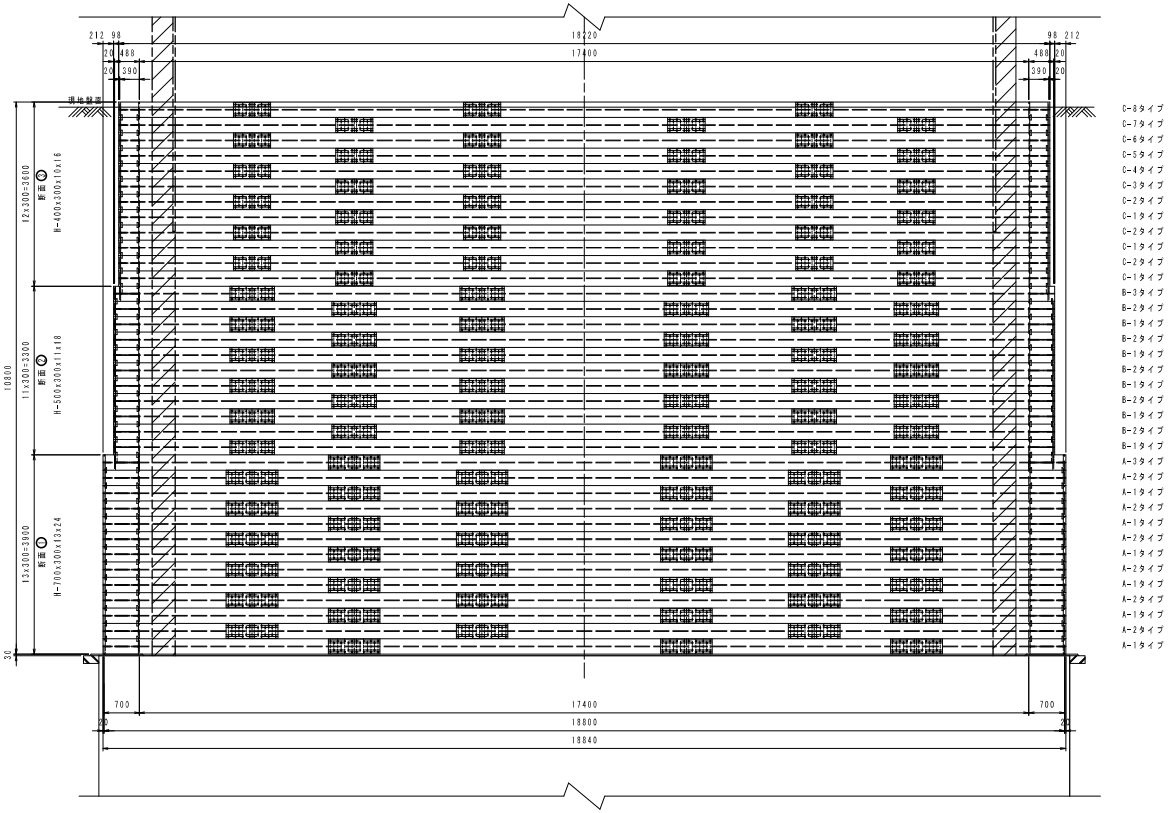
D－D



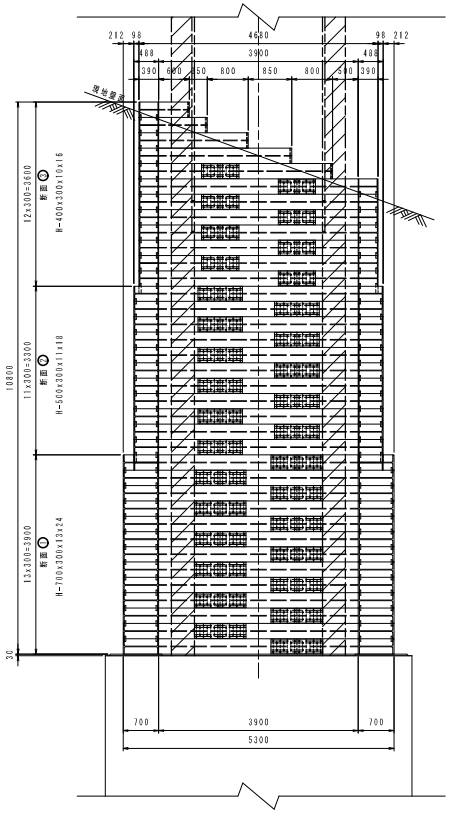
工事名	工事
図面名	P8橋脚鞘管構造図
縮尺	図示　図面番号 60 第 之 内 28
設計年月	平成 30 年 3 月
近畿地方整備局 淀川河川事務所	印

P8橋脚鞘管詳細図（その1）　S=1:50

正　面　図

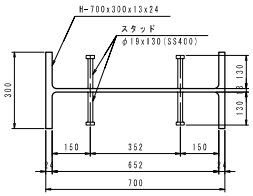


側　面　図

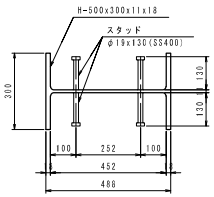


断面図　S=1:10

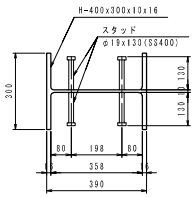
断面①



断面②



断面③



注記：

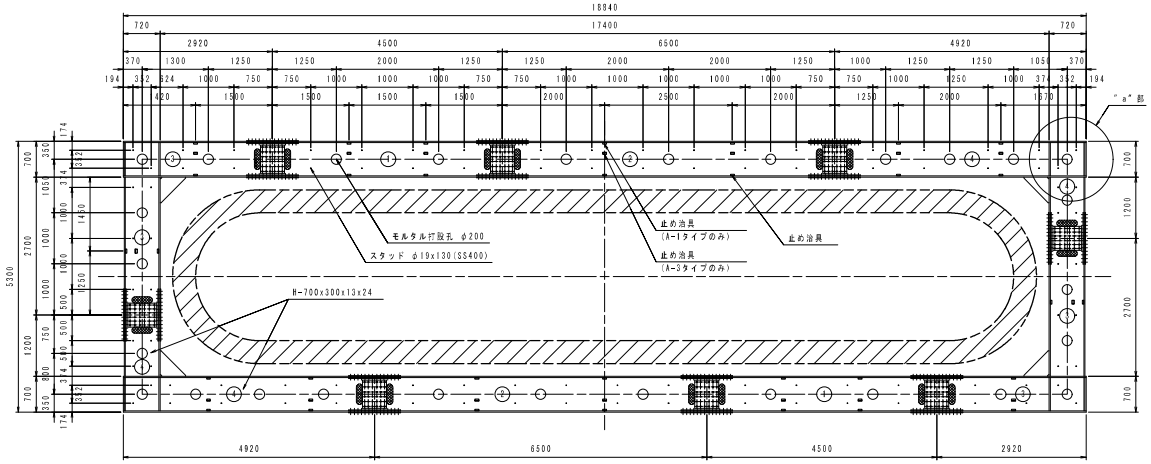
1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
2. 特記なき部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
   規格JIS H8641とし、付着量はHDZ55とする。
   ただし、ボルト類はHDZ35とする。
3. ⊕印はHTB M22(F8T)を示す。
   (孔径はφ24.5を標準とする。)
4. 施工中に鋼材が損傷した場合は亜鉛溶射等の対策を行うこと。

工事名	工事		
図面名	P8橋脚鞘管詳細図（その1）		
縮尺	図示	図面番号	60 東 之 内 29
設計年月	平成 30 年 3 月		
近畿地方整備局 淀川河川事務所			印

P8橋脚鞘管詳細図(その2)　S=1:50

平面図

A-1, A-3タイプ



A-1タイプ
箇所数:6

① 箇所数:2
1-H 700x300x13x24x4500
16-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

② 箇所数:2
1-H 700x300x13x24x6500
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

③ 箇所数:2
1-H 700x300x13x24x2920
1-H 700x300x13x24x2700
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x13x500
4-PL 144x24x652

④ 箇所数:2
1-H 700x300x13x24x4920
1-H 700x300x13x24x1200
28-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x13x500
4-PL 144x24x652

A-3タイプ
箇所数:1

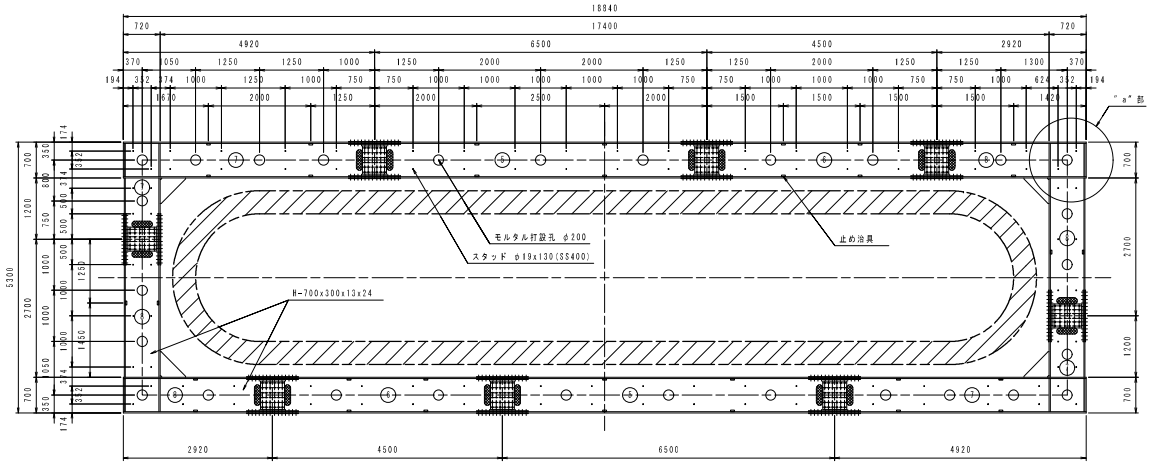
① 箇所数:2
1-H 700x300x13x24x4500
16-STUD φ19x130(SS400)
2-PL 75x30x100(SM490B)
2-PL 75x48x194(SM490C)

② 箇所数:2
1-H 700x300x13x24x6500
24-STUD φ19x130(SS400)
2-PL 75x30x100(SM490B)
2-PL 75x48x194(SM490C)

③ 箇所数:2
1-H 700x300x13x24x2920
1-H 700x300x13x24x2700
24-STUD φ19x130(SS400)
2-PL 75x30x100(SM490B)
2-PL 75x48x194(SM490C)
1-PL 500x13x500
4-PL 144x24x652

④ 箇所数:2
1-H 700x300x13x24x4920
1-H 700x300x13x24x1200
28-STUD φ19x130(SS400)
2-PL 75x30x100(SM490B)
2-PL 75x48x194(SM490C)
1-PL 500x13x500
4-PL 144x24x652

A-2タイプ



A-2タイプ
箇所数:6

⑤ 箇所数:2
1-H 700x300x13x24x6500
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

⑥ 箇所数:2
1-H 700x300x13x24x4500
16-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

⑦ 箇所数:2
1-H 700x300x13x24x4920
1-H 700x300x13x24x1200
28-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x13x500
4-PL 144x24x652

⑧ 箇所数:2
1-H 700x300x13x24x2920
1-H 700x300x13x24x2700
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x13x500
4-PL 144x24x652

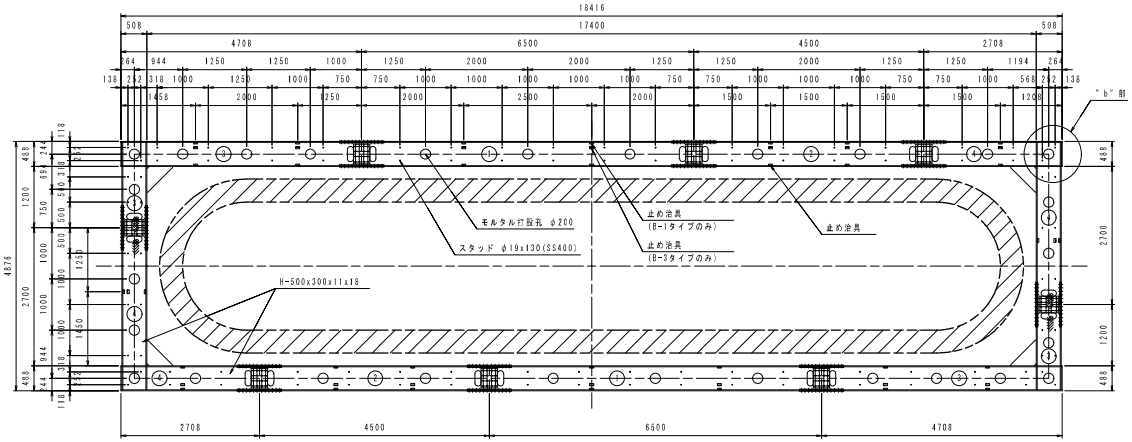
注記:
1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
2. 特記なきスカーラップはR35とする。
3. 特記なき部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
　規格JIS H8641とし、付着量はHDZ55とする。
　ただし、ボルト類はHDZ35とする。
4. ⊕ 印はHTB M22(F8T)を示す。
　(孔径はφ24.5を標準とする。)
5. 止め治具は1ブロックあたり4箇所とする。
　ただし、現場状況等に応じて、設置箇所数を
　増加させるものとする。
6. 施工中に鋼材が損傷した場合は亜鉛溶射等の対策を行
　うこと。
7. 各部詳細は「P8橋脚鞘管詳細図(その7)」を参照する。

工事名	工事		
図面名	P8橋脚鞘管詳細図(その2)		
縮尺	S=1:50	図面番号	60 東 之 内 30
設計年月	平成 30 年 3 月		
近畿地方整備局 淀川河川事務所			印

P8橋脚鞘管詳細図（その3）　S=1:50

平　面　図

B-1, B-3タイプ



B-1タイプ
箇所数:5

① 箇所数:2
1-H 500x300x11x18x6500
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

② 箇所数:2
1-H 500x300x11x18x4500
16-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

③ 箇所数:2
1-H 500x300x11x18x4708
1-H 500x300x11x18x1200
28-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x11x500
4-PL 145x18x452

④ 箇所数:2
1-H 500x300x11x18x2708
1-H 500x300x11x18x2700
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x11x500
4-PL 145x18x452

B-3タイプ
箇所数:1

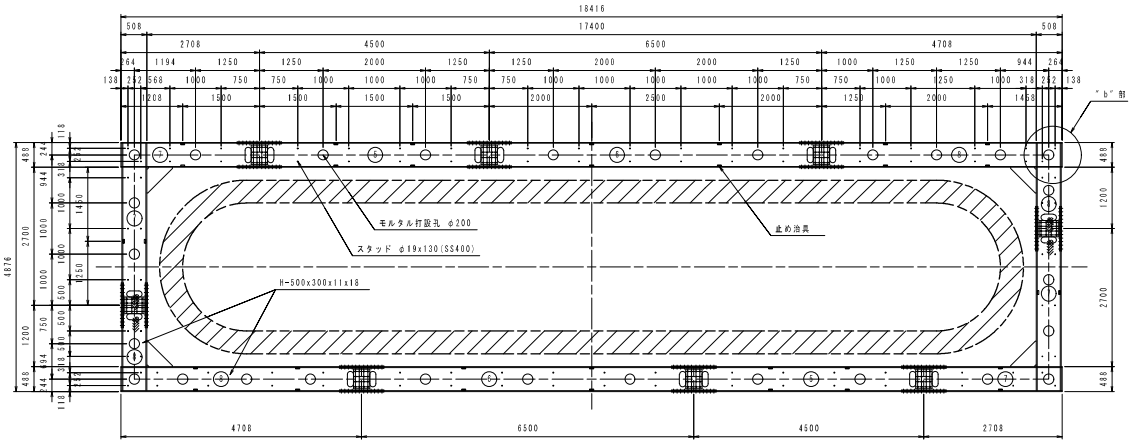
① 箇所数:2
1-H 500x300x11x18x6500
24-STUD φ19x130(SS400)
2-PL 75x30x100(SM490B)
2-PL 75x46x195(SM490C)

② 箇所数:2
1-H 500x300x11x18x4500
16-STUD φ19x130(SS400)
2-PL 75x30x100(SM490B)
2-PL 75x46x195(SM490C)

③ 箇所数:2
1-H 500x300x11x18x4708
1-H 500x300x11x18x1200
28-STUD φ19x130(SS400)
2-PL 75x30x100(SM490B)
2-PL 75x46x195(SM490C)
1-PL 500x11x500
4-PL 145x18x452

④ 箇所数:2
1-H 500x300x11x18x2708
1-H 500x300x11x18x2700
24-STUD φ19x130(SS400)
2-PL 75x30x100(SM490B)
2-PL 75x46x195(SM490C)
1-PL 500x11x500
4-PL 145x18x452

B-2タイプ



B-2タイプ
箇所数:5

⑤ 箇所数:2
1-H 500x300x11x18x4500
16-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

⑥ 箇所数:2
1-H 500x300x11x18x6500
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

⑦ 箇所数:2
1-H 500x300x11x18x2708
1-H 500x300x11x18x2700
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x11x500
4-PL 145x18x452

⑧ 箇所数:2
1-H 500x300x11x18x4708
1-H 500x300x11x18x1200
28-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x11x500
4-PL 145x18x452

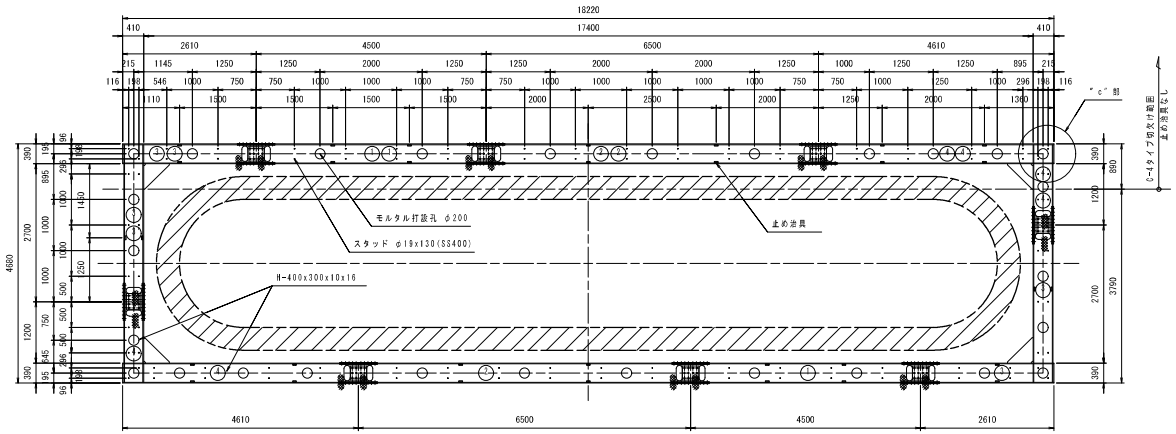
注記：
1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
2. 特記なきスカーラップはR35とする。
3. 特記なき部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
規格JIS H8641とし、付着量はHDZ55とする。
ただし、ボルト類はHDZ35とする。
4. ⊕ 印はHTB M22(F8T)を示す。
（孔径はφ24.5を標準とする。）
5. 止め治具は1ブロックあたり4箇所とする。
ただし、現場状況等に応じて、設置箇所数を増加させるものとする。
6. 施工中に鋼材が損傷した場合は亜鉛溶射等の対策を行うこと。
7. 各部詳細は「P8橋脚鞘管詳細図（その7）」を参照する。

工事名	工事		
図面名	P8橋脚鞘管詳細図（その3）		
縮尺	S=1:50	図面番号	60 東 之 内 31
設計年月	平成 30 年 3 月		
近畿地方整備局 淀川河川事務所			印

P8橋脚鞘管詳細図(その4)　S=1:50

平面図

C-1,C-3タイプ



C-1タイプ
箇所数:3

① 箇所数:2
1-H 400x300x10x16x4500
16-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

② 箇所数:2
1-H 400x300x10x16x6500
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

③ 箇所数:2
1-H 400x300x10x16x2610
1-H 400x300x10x16x2700
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358

④ 箇所数:2
1-H 400x300x10x16x4610
1-H 400x300x10x16x1200
28-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358

C-3タイプ
箇所数:1

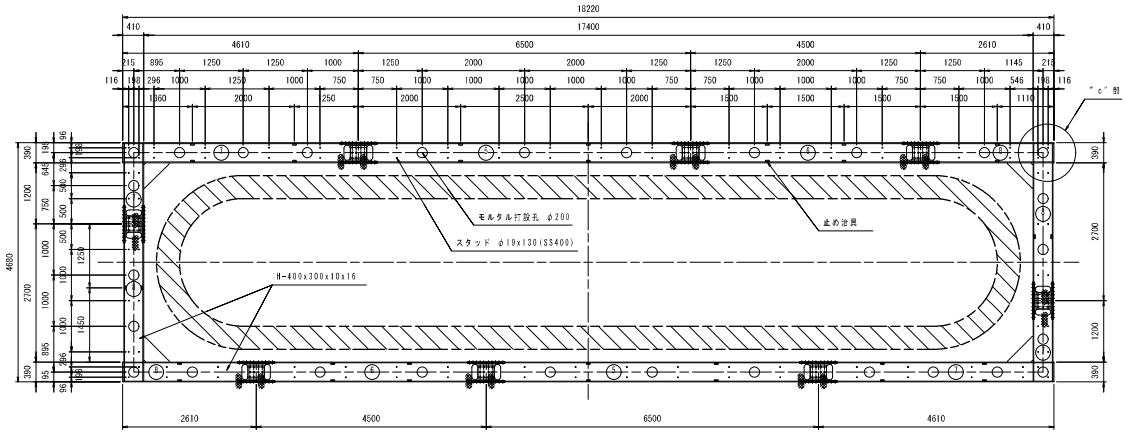
① 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4500
16-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)(C-4タイプ切欠け範囲なし)

② 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x6500
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)(C-4タイプ切欠け範囲なし)

③ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x2610
1-H 400x300x10x16x2700
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)(C-4タイプ切欠け範囲なし)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358

④ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4610
1-H 400x300x10x16x1200
28-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)(C-4タイプ切欠け範囲なし)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358

C-2タイプ



C-2タイプ
箇所数:3

⑤ 箇所数:2
1-H 400x300x10x16x6500
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

⑥ 箇所数:2
1-H 400x300x10x16x4500
16-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

⑦ 箇所数:2
1-H 400x300x10x16x4610
1-H 400x300x10x16x1200
28-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358

⑧ 箇所数:2
1-H 400x300x10x16x2610
1-H 400x300x10x16x2700
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358

C-3タイプ
箇所数:1

① 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4500
16-STUD φ19x130(SS400)

② 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x6500
24-STUD φ19x130(SS400)

③ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x2610
1-H 400x300x10x16x2700
24-STUD φ19x130(SS400)
2-PL 75x30x100(SM490B)(C-4タイプ切欠け範囲なし)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358

④ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4610
1-H 400x300x10x16x1200
28-STUD φ19x130(SS400)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358

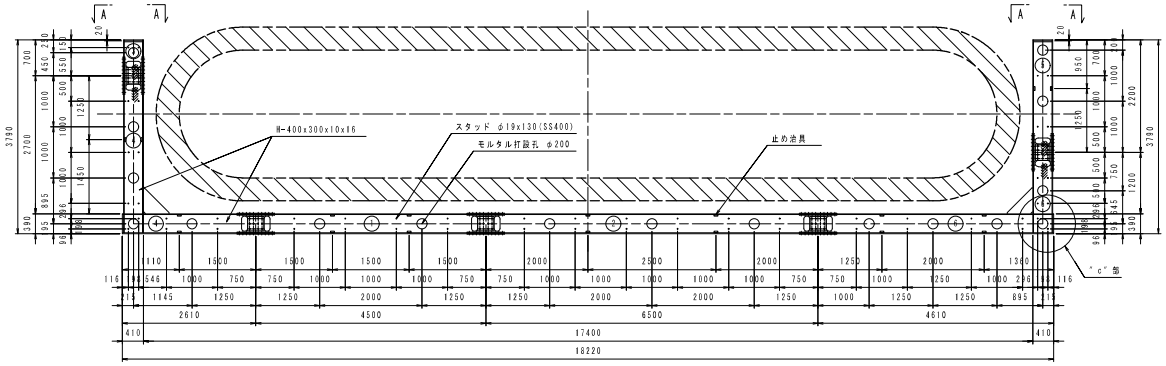
注記:
1.特記なき材質は全てSM490Aとする。
2.特記なきスカーラップはR35とする。
3.特記なき部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
規格JIS H8641とし、付着量はHDZ55とする。
ただし、ボルト類はHDZ35とする。
4.⊕印はHTB M22(F8T)を示す。
(孔径はφ24.5を標準とする。)
5.止め治具は1ブロックあたり4箇所とする。
ただし、現場状況等に応じて、設置箇所数を
増加させるものとする。
6.施工中に鋼材が損傷した場合は亜鉛溶射等の対策を行
うこと。
7.各部詳細は「P8橋脚鞘管詳細図(その7)」を参照する。

工事名	工事		
図面名	P8橋脚鞘管詳細図(その4)		
縮尺	S=1:50	図面番号	60 東 之 内 32
設計年月	平成 30 年 3 月		
近畿地方整備局 淀川河川事務所			印

P8橋脚鞘管詳細図(その5)　S=1:50

平面図

C-4タイプ



C-4タイプ
箇所数:1

① 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4500
16-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

② 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x6500
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

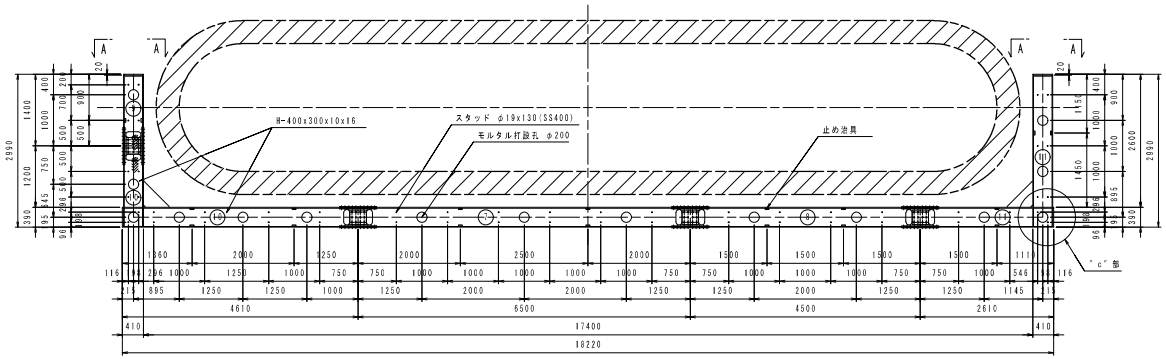
③ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x700
4-STUD φ19x130(SS400)
2-PL 145x16x358

④ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x2610
1-H 400x300x10x16x2700
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358

⑤ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x2200
8-STUD φ19x130(SS400)
2-PL 75x30x100(SM490B)
2-PL 145x16x358

⑥ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4610
1-H 400x300x10x16x1200
28-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358

C-5タイプ



C-5タイプ
箇所数:1

⑦ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x6500
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

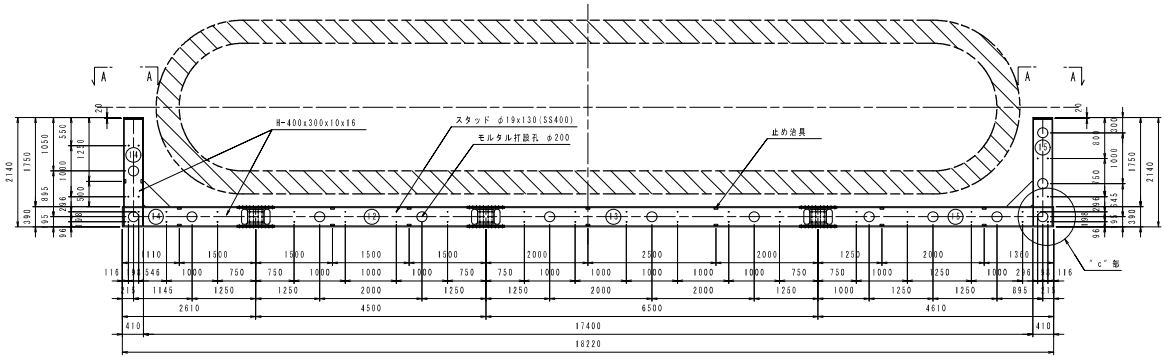
⑧ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4500
16-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

⑨ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x1400
8-STUD φ19x130(SS400)
2-PL 75x30x100(SM490B)
2-PL 145x16x358

⑩ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4610
1-H 400x300x10x16x1200
28-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x10x500
4-PL 145x16x358

⑪ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x2610
1-H 400x300x10x16x2600
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x10x500
6-PL 145x16x358

C-6タイプ



C-6タイプ
箇所数:1

⑫ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4500
16-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

⑬ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x6500
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

⑭ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x2610
1-H 400x300x10x16x1750
20-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x10x500
6-PL 145x16x358

⑮ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4610
1-H 400x300x10x16x1750
28-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x10x500
6-PL 145x16x358

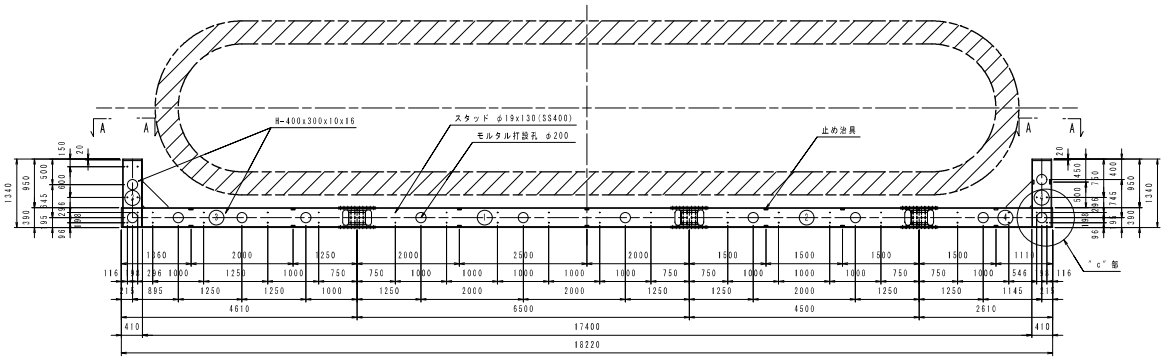
注記:
1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
2. 特記なきスカーラップはR35とする。
3. 特記なき部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
規格JIS H8641とし、付着量はHDZ55とする。
ただし、ボルト類はHDZ35とする。
4. ⊕ 印はHTB M22(F8T)を示す。
(孔径はφ24.5を標準とする。)
5. 止め治具は1ブロックあたり4箇所とする。
ただし、現場状況等に応じて、設置箇所数を増加させるものとする。
6. 施工中に鋼材が損傷した場合は亜鉛溶射等の対策を行うこと。
7. 各部詳細は「P8橋脚鞘管詳細図(その7)」を参照する。

工事名	工事
図面名	P8橋脚鞘管詳細図(その5)
縮尺	S=1:50　図面番号 60 東 之 内 33
設計年月	平成 30 年 3 月
近畿地方整備局 淀川河川事務所	印

P8橋脚鞘管詳細図(その6)　S=1:50

平面図

C-7タイプ



C-7タイプ
箇所数:1

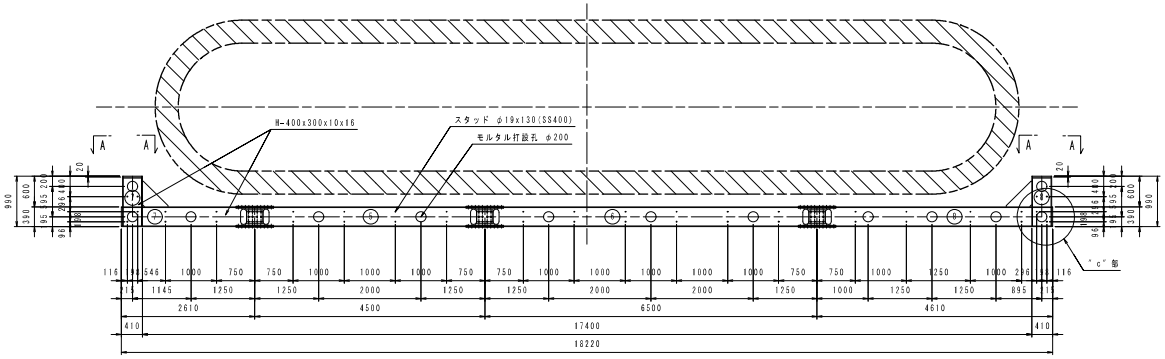
① 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x6500
24-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

② 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4500
16-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)

③ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4610
1-H 400x300x10x16x950
28-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x10x500
6-PL 145x16x358

④ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x2610
1-H 400x300x10x16x950
16-STUD φ19x130(SS400)
4-PL 75x30x100(SM490B)
1-PL 500x10x500
6-PL 145x16x358

C-8タイプ



C-8タイプ
箇所数:1

⑤ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4500
16-STUD φ19x130(SS400)

⑥ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x6500
24-STUD φ19x130(SS400)

⑦ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x2610
1-H 400x300x10x16x600
16-STUD φ19x130(SS400)
1-PL 500x10x500
6-PL 145x16x358

⑧ 箇所数:1
1-H 400x300x10x16x4610
1-H 400x300x10x16x600
24-STUD φ19x130(SS400)
1-PL 500x10x500
6-PL 145x16x358

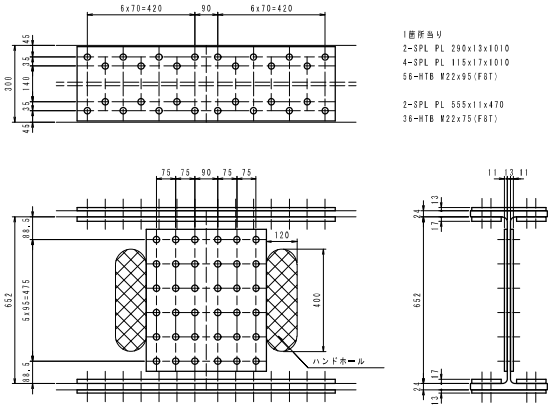
注記:
1.特記なき材質は全てSM490Aとする。
2.特記なきスカーラップはR35とする。
3.特記なき部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
規格JIS H8641とし、付着量はHDZ55とする。
ただし、ボルト類はHDZ35とする。
4.⊕印はHTB M22(F8T)を示す。
(孔径はφ24.5を標準とする。)
5.止め治具は1ブロックあたり4箇所とする。
ただし、現場状況等に応じて、設置箇所数を
増加させるものとする。
6.施工中に鞘材が損傷した場合は亜鉛溶射等の対策を行
うこと。
7.各部詳細は「P8橋脚鞘管詳細図(その7)」を参照する。

工事名	工事		
図面名	P8橋脚鞘管詳細図(その6)		
縮尺	S=1:50	図面番号	60 東 之 内 34
設計年月	平成 30 年 3 月		
近畿地方整備局 淀川河川事務所			印

P8橋脚鞘管詳細図（その7）　S=1:10

添接詳細図

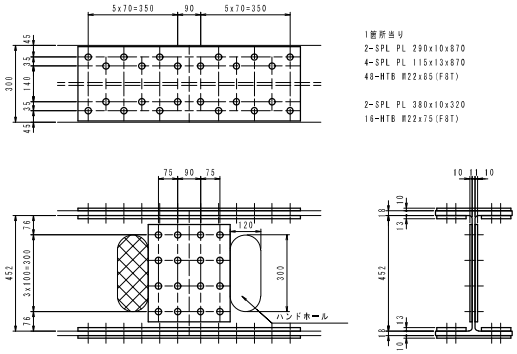
断面①
箇所数：104



1箇所当り
2-SPL PL 290x13x1010
4-SPL PL 115x17x1010
56-HTB M22x95(F8T)

2-SPL PL 555x11x470
36-HTB M22x75(F8T)

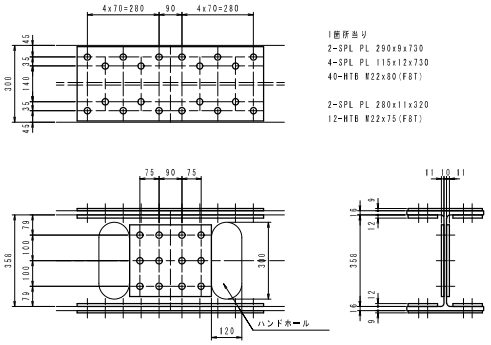
断面②
箇所数：88



1箇所当り
2-SPL PL 290x10x870
4-SPL PL 115x13x870
40-HTB M22x85(F8T)

2-SPL PL 380x10x320
18-HTB M22x75(F8T)

断面③
箇所数：74

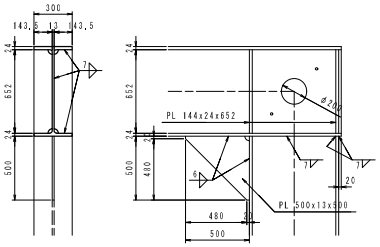


1箇所当り
2-SPL PL 290x9x730
4-SPL PL 115x12x730
40-HTB M22x80(F8T)

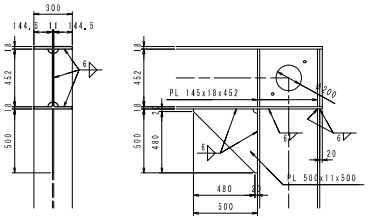
2-SPL PL 280x11x320
12-HTB M22x75(F8T)

注）高力ボルトの締め付けは外締めとする。
したがって、フランジは外面側から、腹板は上面側
から締め付けるものとする。

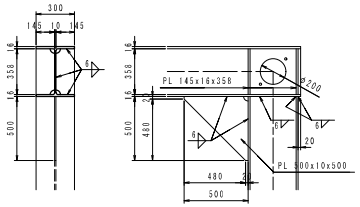
"a"部詳細図　S=1:20



"b"部詳細図　S=1:20

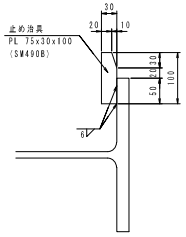


"c"部詳細図　S=1:20

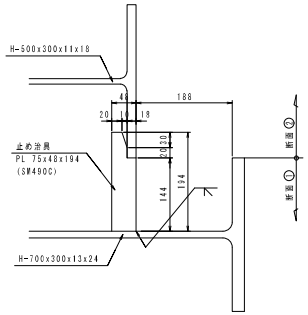


止め治具詳細図　S=1:5

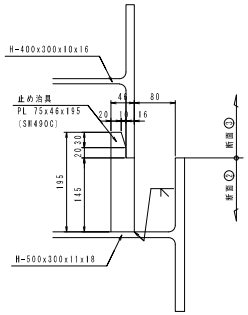
一般部



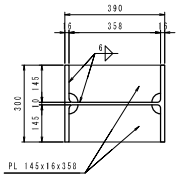
断面①と②間外側フランジ部



断面②と③間外側フランジ部



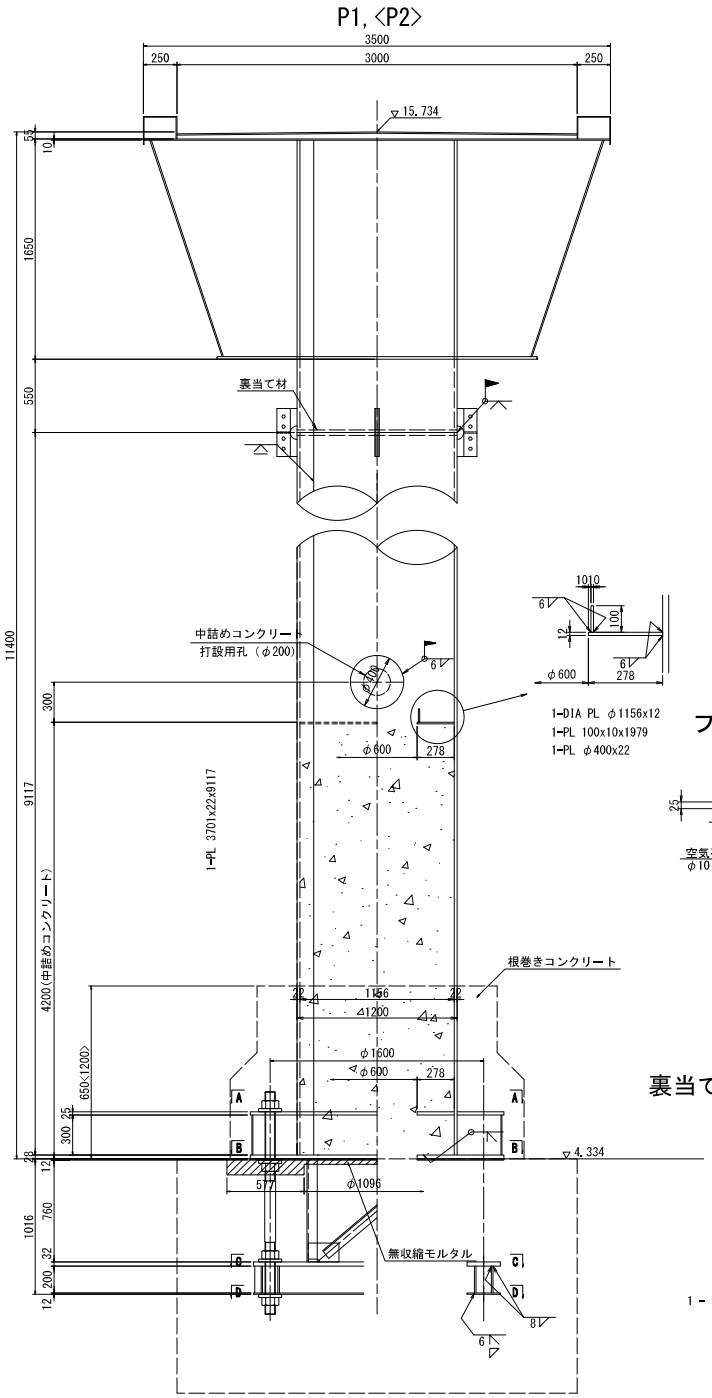
A－A



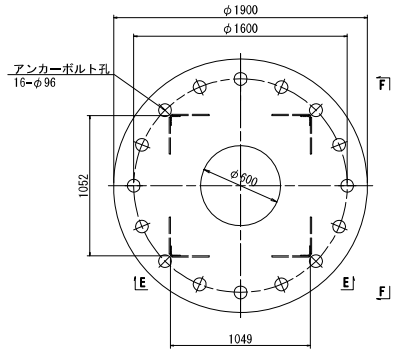
注記：
1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
2. 特記なきスカーラップはR35とする。
3. 特記なき部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
　規格JIS H8641とし、付着量はHDZ55とする。
　ただし、ボルト類はHDZ35とする。
4. ⊕印はHTB M22(F8T)を示す。
　（孔径はφ24.5を標準とする。）
5. 止め治具は1ブロックあたり4箇所とする。
　ただし、現場状況等に応じて、設置箇所数を
　増減させるものとする。

工事名	工事		
図面名	P8橋脚鞘管詳細図（その7）		
縮尺	図示	図面番号	60 東 之 内 35
設計年月	平成 30 年 3 月		
近畿地方整備局 淀川河川事務所			印

南側歩道橋 支柱(その1) S=1:20

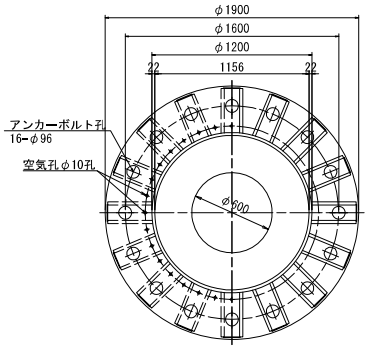


アンカープレート詳細



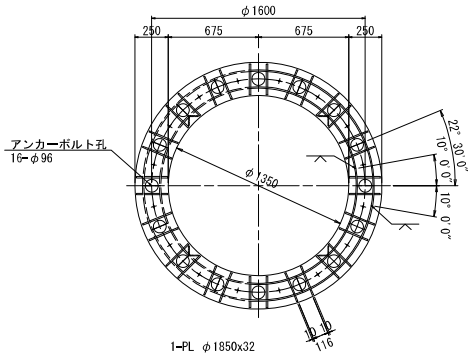
1-ANC PL φ1900x12

A-A B-B



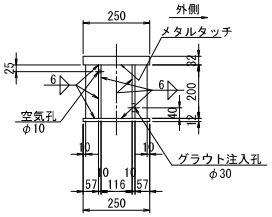
1-FLG PL φ1900x25(SM490YB)
1-BASE PL φ1900x28(SM490YB)
1-DIA PL φ1156x25(SM490YB)
32-RIB PL 330x22x300(SM490YB)
16-PL 126x6x300

C-C D-D

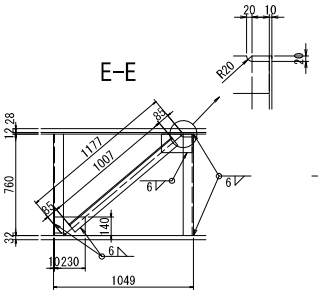


1-PL φ1850x32
1-PL 200x10x4631
1-PL 200x10x5422
1-PL φ1850x12
32-PL 116x10x200
64-PL 47x10x200

フレーム断面詳細 S=1:10

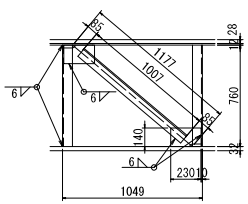


E-E

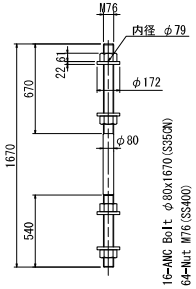


8-GUSS PL 140x9x230
4-L 75x75x 9x 1007(SS400)
4-L 75x75x 9x 760(SS400)

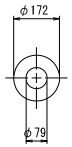
F-F



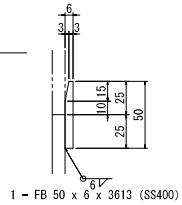
アンカーボルト詳細



座金 S=1:10

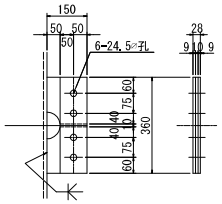


裏当て材詳細図 S=1:2



1 - FB 50 x 6 x 3613 (SS400)

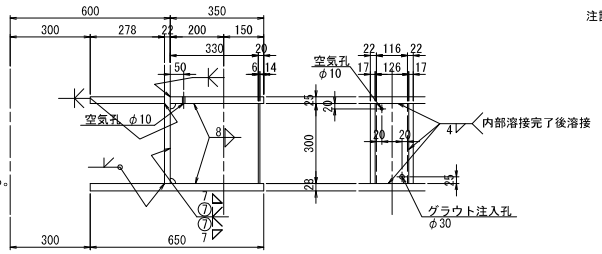
エレクションピース詳細 S=1:10



※ エレクションピースは溶接後切断し、溶接面を仕上げる。

2 - PL 150 x 10 x 175
2 - PL 100 x 9 x 360
4 - HTB M22 x 70 (F10T)

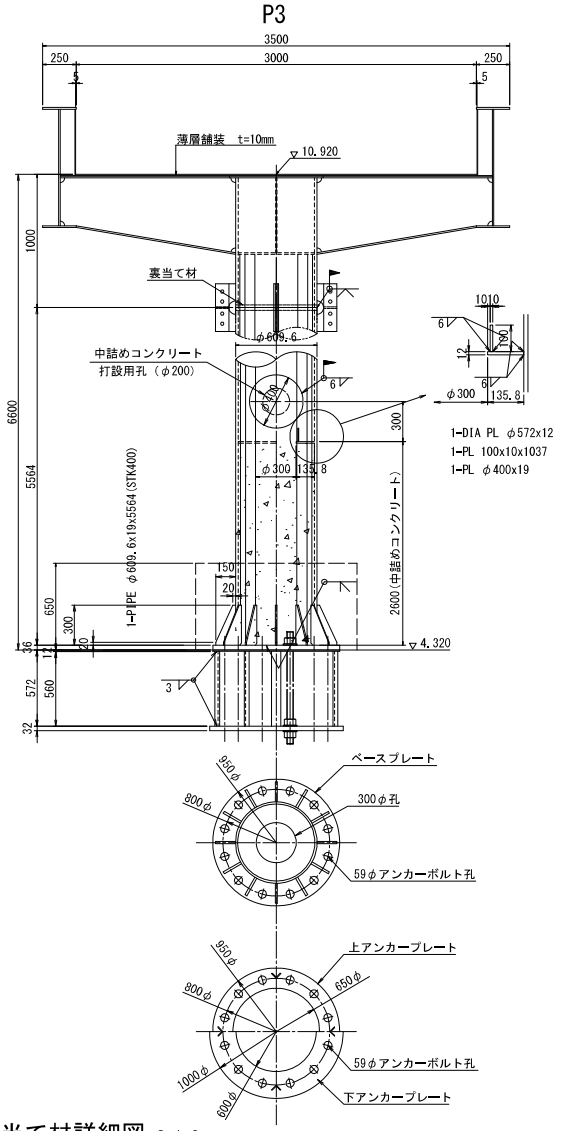
基部詳細 S=1:10

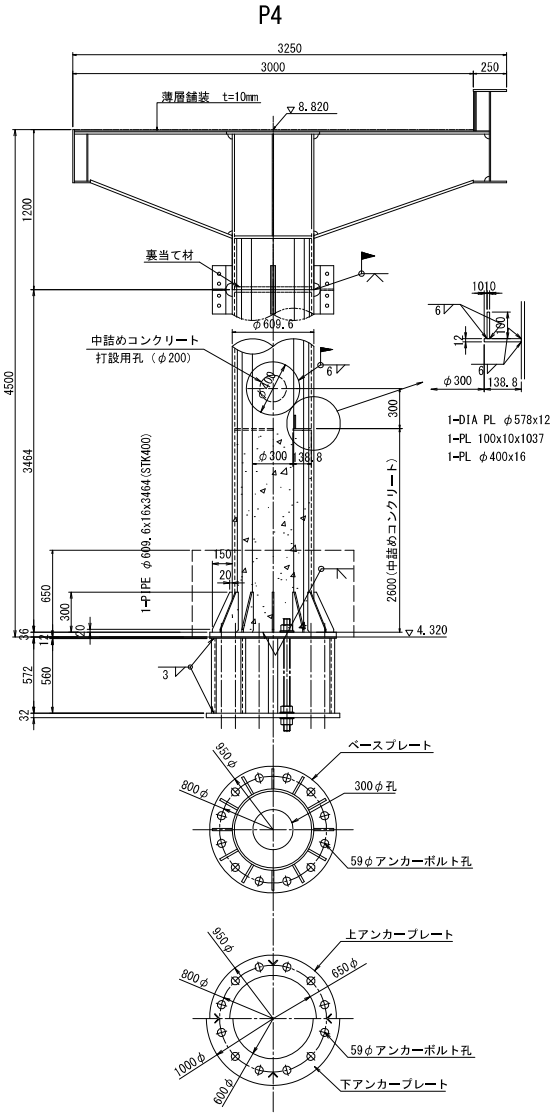


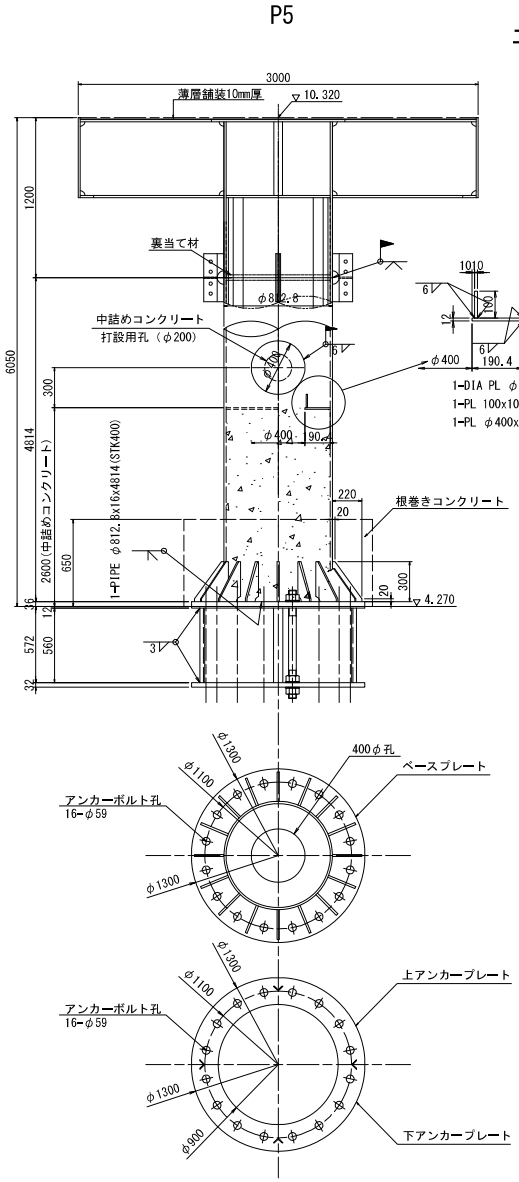
注記)
1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て35Rを示す。

平成27年度	図面番号	27/57	
路線名	都市計画道路十三高槻線		
業務名			
場 所	吹田市吹東町～吹田市南正雀3丁目地内		
図面名	南側歩道橋支柱(その1)	縮尺	図示
大阪府茨木土木事務所			

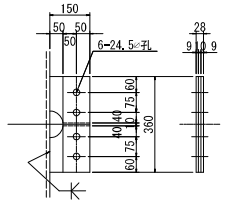
南側歩道橋 支柱(その2) S=1:20







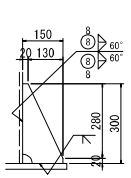
エレクションピース詳細 S=1:10



※ エレクションピースは溶接後切断し、溶接面を仕上げる。
2 - PL 150 x 10 x 175
2 - PL 100 x 9 x 360
4 - HTB M22 x 70 (F10T)

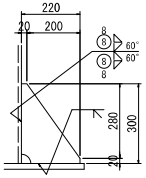
リブ詳細図 S=1:10

P3, P4



1 - RIB PL 150 x 18 x 300

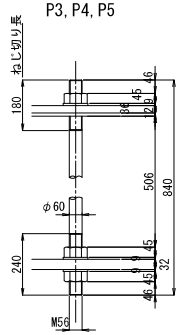
P5



1 - RIB PL 220 x 18 x 300

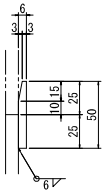
アンカーボルト詳細 S=1:10

P3, P4, P5



裏当て材詳細図 S=1:2

P3, <P4>, [P5]



1 - FB 50 x 6 x 1777<1796>[2434] (SS400)

12-Rib PL 150x18x300
1-Base PL 950φx36(SM490YB)
1-Anc. PL 950φx12
1-Anc. PL 1000φx32
4-L 50×50×6×560 (SS400)
12-Anc M56x840 (S35CN)
(3-1種ナット, 3-W付)

12-Rib PL 150x18x300
1-Base PL 950φx36(SM490YB)
1-Anc. PL 950φx12
1-Anc. PL 1000φx32
4-L 50×50×6×560 (SS400)
12-Anc M56x840 (S35CN)
(3-1種ナット, 3-W付)

16-RIB PL 220x18x300
1-BASE PL φ1300x36(SM490YB)
1-ANCHOR PL φ1300x12
1-ANCHOR PL φ1300x36
4-L 50x50x6x560(SS400)
16-Anc M56x840 (S35CN)
(3-1種ナット, 3-W付)

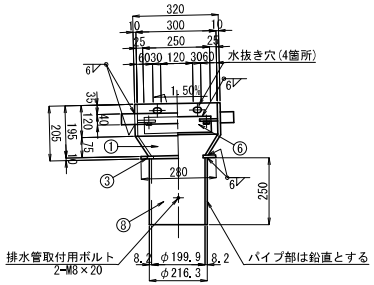
注記)
1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て35Rを示す。

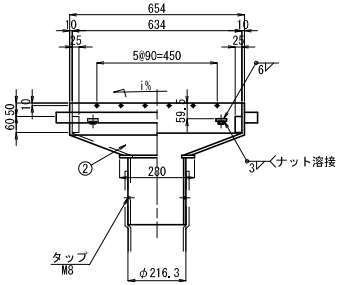
平成27年度	図面番号	28/57	
路線名	都市計画道路十三高槻線		
業務名			
場 所	吹田市吹東町～吹田市南正雀3丁目地内		
図面名	南側歩道橋支柱(その2)	縮尺	図示
大阪府茨木土木事務所			

上部工排水装置（その9） S=1:10

鋼 床 版 用 排 水 桝 TYPE-A

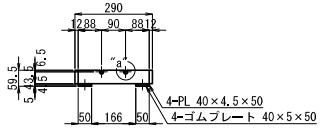
排 水 桝 本 体

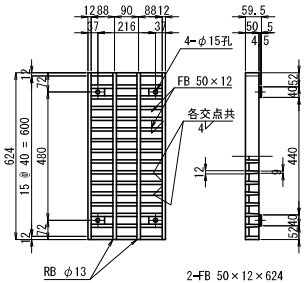




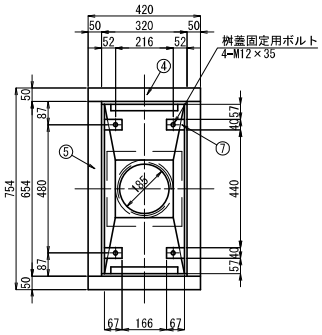
桝 蓋 詳 細 図

(SS400)





2-FB 50×12×624
2-FB 50×12×266
14-FB 50×12×266(テーパー仕上げ)
2-RB φ13×624
4-PL 40×4.5×50

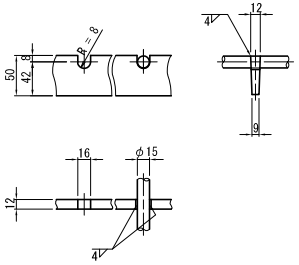


排水管取付用ボルト

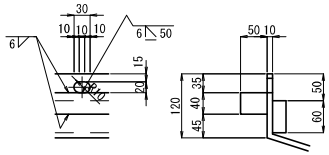
① 2-PL 350×10×320(SS400)
② 2-PL 210×10×634(SS400)
③ 1-PL 280×10×280(SS400)
④ 2-PL 50×40×420(SM400B)
⑤ 2-PL 50×40×654(SM400B)
⑥ 2-PL 60×25×250(SS400)
⑦ 4-PL 40× 9× 67(SS400)
4-Nut M12(SS400)
⑧ 1-Pipe φ216.3×8.2×L(STK400)

	i	L
DR1	8.00	259
DR2	8.00	259
DR3	7.53	258
DR6	7.90	259
DR7	8.00	259
DR8	8.00	259

"a" 部 詳 細



水抜き穴詳細図



排水桝重量表

1組当り(製作数:12ヶ)

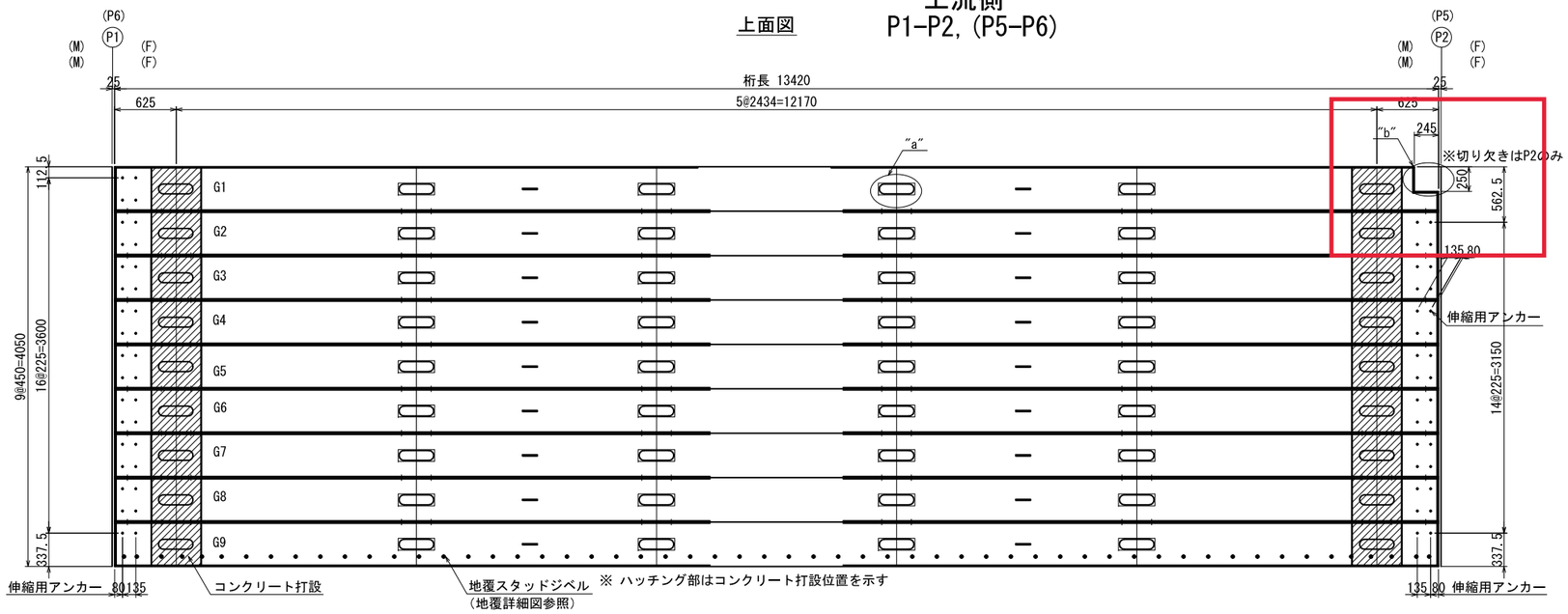
名　称	材　質	重量(kg)	備　考
排水桝本体	SM400B, SS400	96	
桝　蓋	SS400	28	亜鉛メッキ (HDZ55)
排水管取付用ボルト	〃	0.026	亜鉛メッキ (HDZ35)
桝蓋固定用ボルト	〃	0.18	〃
ゴムプレート	ｸﾛﾛﾌﾟﾚﾝｺﾞﾑ	0.048	
合　計		124	

平成27年度	図面番号	76 / 130	
路線名	都市計画道路十三高槻線		
業務名			
場　所	吹田市吹東町地内～吹田市南正雀3丁目地内		
図面名	上部工排水装置 (その9)	縮尺	S=1:10
大阪府茨木土木事務所			

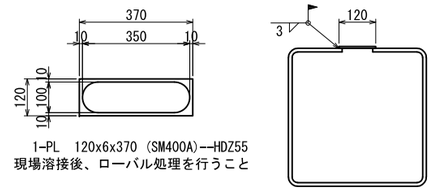
パネル詳細図（その1） S=1:30

上流側
P1-P2,(P5-P6)

上面図



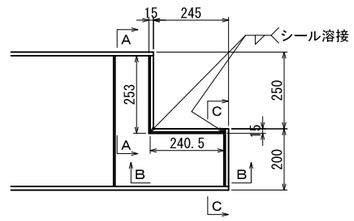
"a" 部詳細 S=1:10



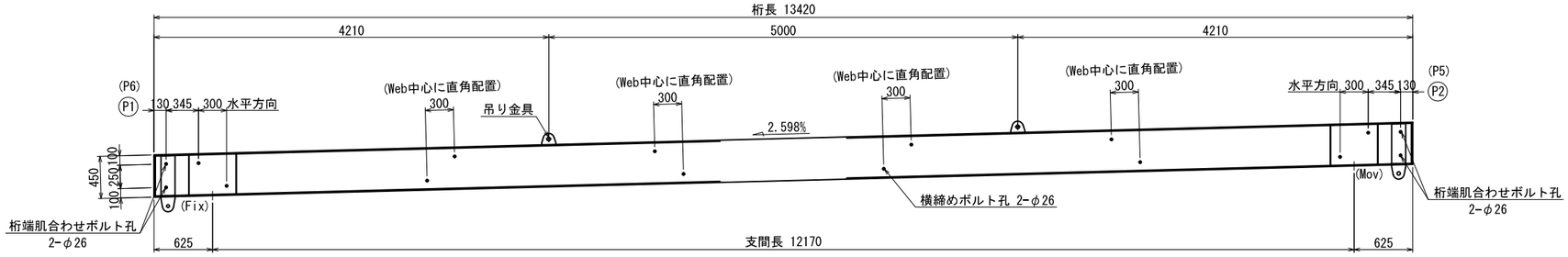
1-PL 120x6x370 (SM400A)--HDZ55
現場溶接後、ローバル処理を行うこと

"b" 部詳細 S=1:10

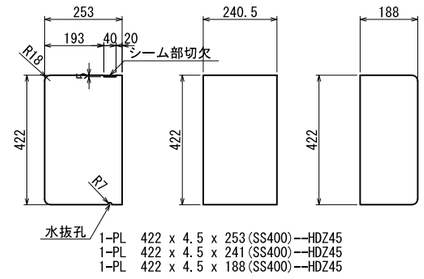
Mov側 P2(G1桁)



側面図

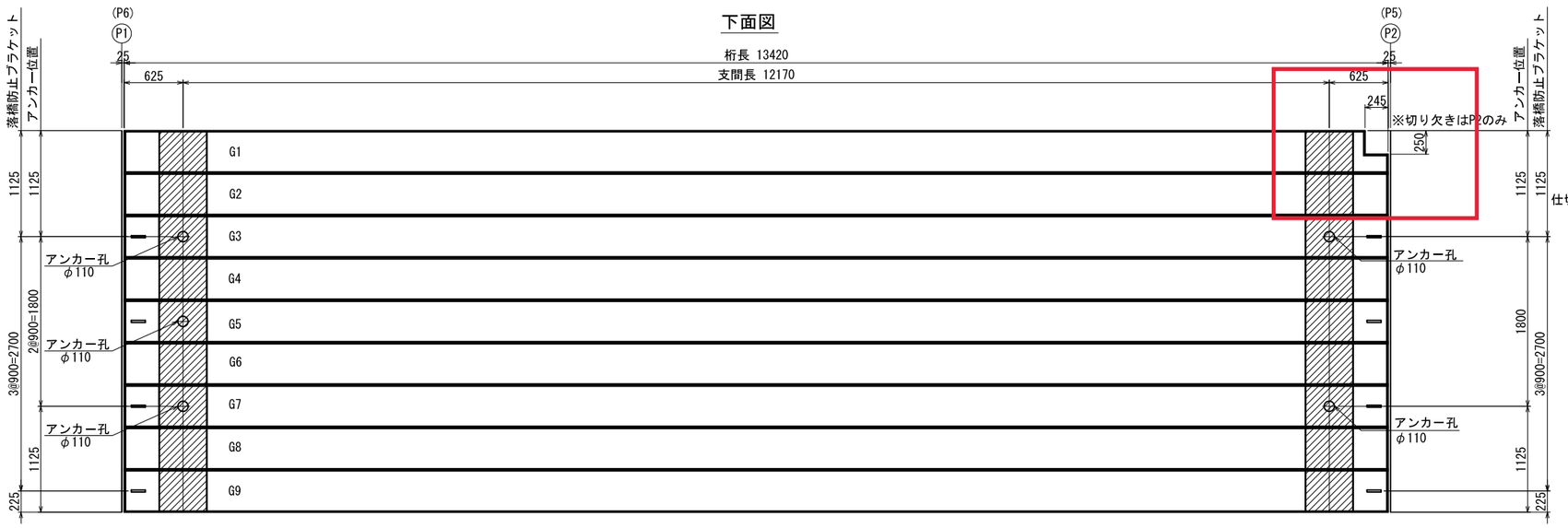


A-A　B-B　C-C



1-PL 422 x 4.5 x 253(SS400)--HDZ45
1-PL 422 x 4.5 x 241(SS400)--HDZ45
1-PL 422 x 4.5 x 188(SS400)--HDZ45

下面図



主桁関連全体数量

主桁	9-□	450x450x12x 13437 (BCR295)—HDZ55
仕切板(端)	47[48]-PL	422 x 4.5 x 422 (SS400)--HDZ45—桁端部のみ亜鉛メッキ
仕切板(Fix側アンカー部)	6-PL	422 x 6.0 x 422 (SS400)
仕切板(切り欠き部)	1[0]-PL	422 x 4.5 x 253 (SS400)--HDZ45
仕切板(切り欠き部)	1[0]-PL	422 x 4.5 x 241 (SS400)--HDZ45
仕切板(切り欠き部)	1[0]-PL	422 x 4.5 x 188 (SS400)--HDZ45
仕切板押え(端)	30-DB	D13 x 500 (SD345)
仕切板押え(Fix側アンカー部)	6-DB	D13 x 684 (SD345)
横締ボルト	96-BN	M22x70 (SS400)(HLR-Nut,2-Washer付)—HDZ35
桁端肌合わせボルト	32-BN	M22x70 (SS400)(HLR-Nut,2-Washer付)—HDZ35
吊金具	18-PL	120x12x150 (SM400A)—HDZ55
ボルト締用孔蓋	36-PL	120x6x370 (SM400A)--HDZ55
ソールプレート	18-PL	150x28x390 (SM400A)—HDZ55

※[]内はP5-P6径間の数量を示す。

※本工事は、上流側のみを対象とする。

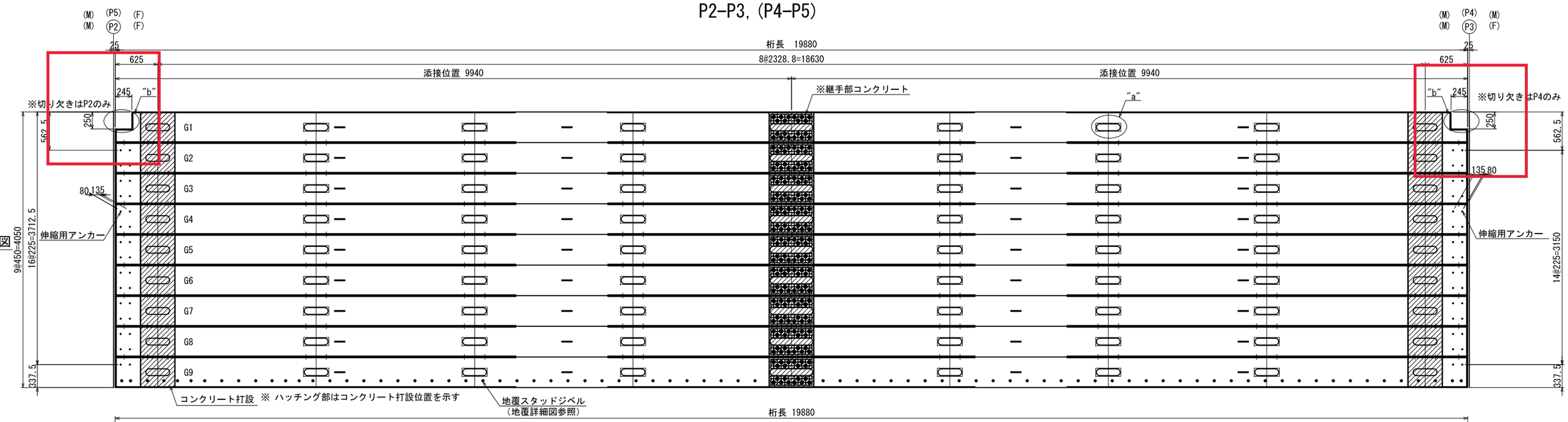
平成30～31年度	図面番号		
事業名			
路線名 河川名	一般府道 相川停車場線 一級河川 淀川水系 安威川		
工事名	一般府道 相川停車場線 新京阪橋歩道拡幅設計業務		
施工地名	吹田市南高浜町地内		
図面名	パネル詳細図 (その1)	縮尺	図示
大阪府茨木土木事務所			

注)
1.パネル詳細図(その2,3)も参照のこと。

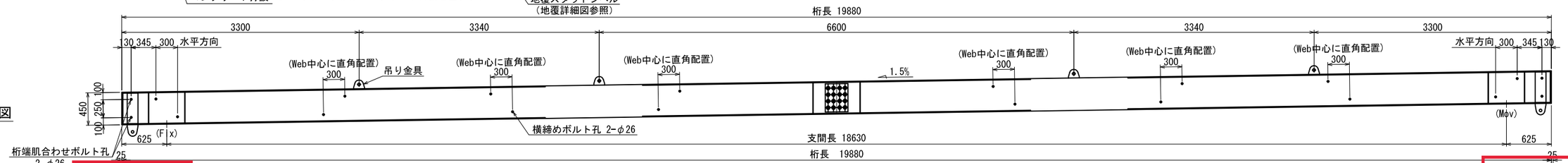
パネル詳細図（その1）　S=1:30

上流側
P2-P3,(P4-P5)

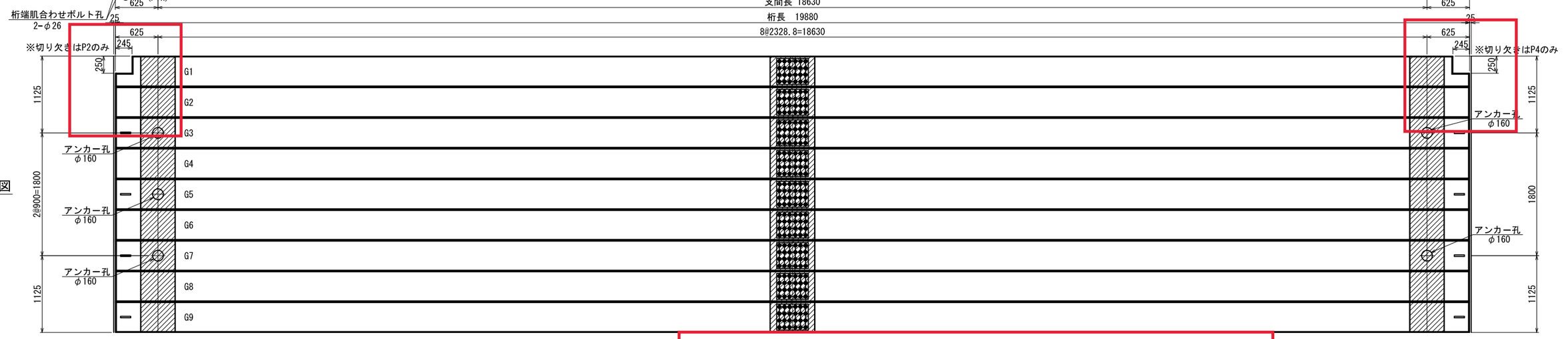
上面図



側面図



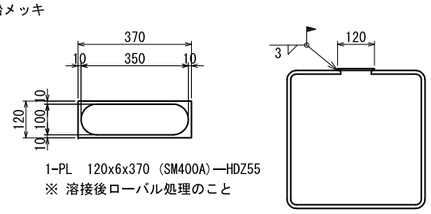
下面図



主桁関連全体数量

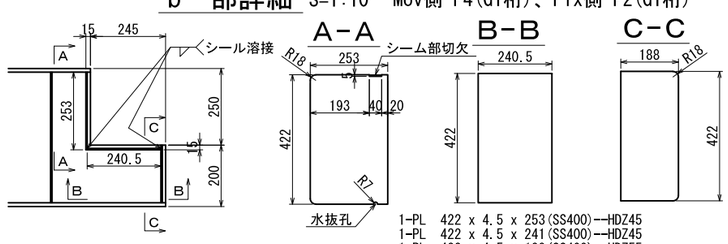
主桁	18-□	450x450x12x 9948 (BCR295)—HDZ55	
仕切板(端)	47-PL	422 x 4.5 x 422 (SS400)—HDZ45—桁端部のみ亜鉛メッキ	
仕切板(Fix側アンカー部)	6-PL	422 x 6 x 422(SS400)	
仕切板(切り欠き部)	1-PL	422 x 4.5 x 253(SS400)--HDZ45	
仕切板(切り欠き部)	1-PL	422 x 4.5 x 241(SS400)--HDZ45	
仕切板(切り欠き部)	1-PL	422 x 4.5 x 188(SS400)--HDZ45	
仕切板(現場継手部)	18-PL	422 x 4.5 x 422(SS400)	
仕切板押え(端)	30-DB	D13 x 500(SD345)	
仕切板押え(Fix側アンカー部)	6-DB	D13 x 685(SD345)	
横締ボルト	128-BN	M22x70(SS400)(HLR-Nut,2-Washer付)—HDZ35	
端部ボルト	32-BN	M22x70(SS400)(HLR-Nut,2-Washer付)—HDZ35	
吊金具	36-PL	120x12x150(SM400A)—HDZ55	
ボルト締め用孔蓋	54-PL	120x6x370 (SM400A)—HDZ55	
ソールプレート	18-Sole PL	220x28x390(SM400A)--HDZ55	

"a" 部詳細 S=1:10



1-PL　120x6x370 (SM400A)—HDZ55
※ 溶接後ローバル処理のこと

"b" 部詳細 S=1:10　Mov側 P4(G1桁)、Fix側 P2(G1桁)



1-PL　422 x 4.5 x 253(SS400)--HDZ45
1-PL　422 x 4.5 x 241(SS400)--HDZ45
1-PL　422 x 4.5 x 188(SS400)--HDZ55

注)
1.パネル詳細図(その2,3,4)も参照のこと。

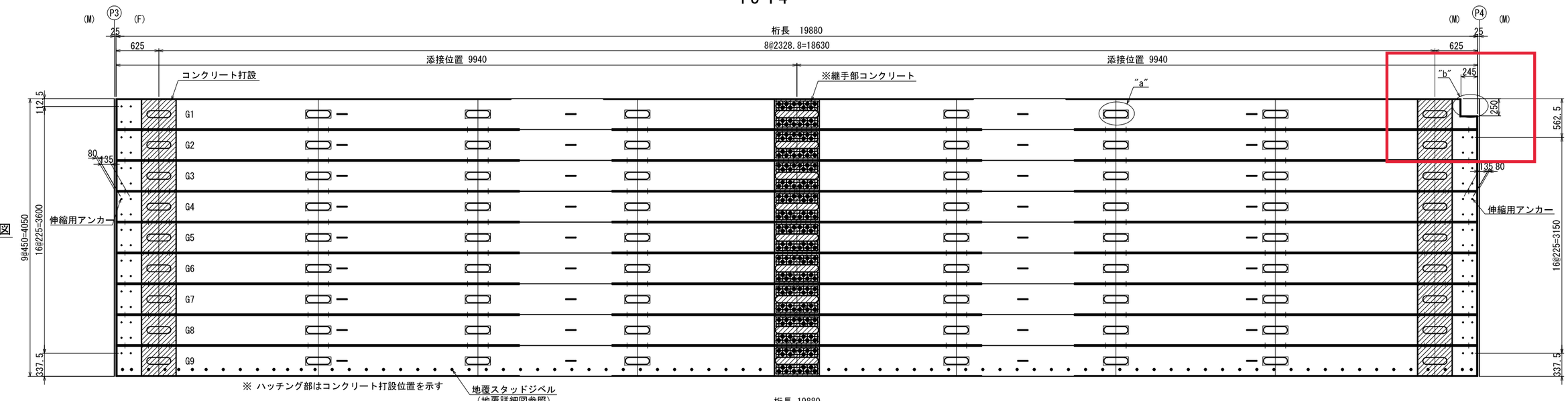
※本工事は、上流側のみを対象とする。

平成30～31年度	図面番号		
事業名			
路線名 河川名	一般府道 相川停車場線 一級河川 淀川水系 安威川		
工事名	一般府道 相川停車場線 新京阪橋歩道拡幅設計業務		
施工地名	吹田市南高浜町地内		
図面名	パネル詳細図 (その1)	縮尺	図示
大阪府茨木土木事務所			

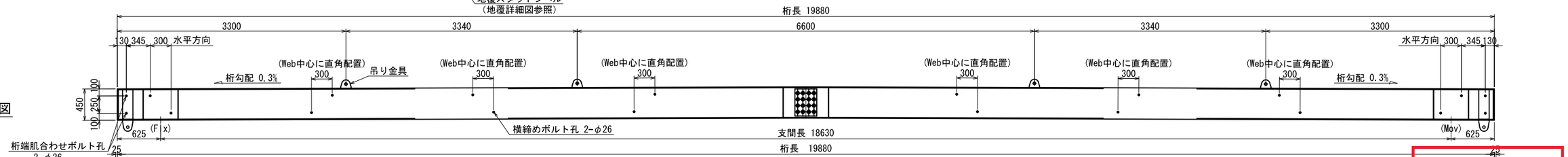
パネル詳細図（その1） S=1:30

上流側
P3-P4

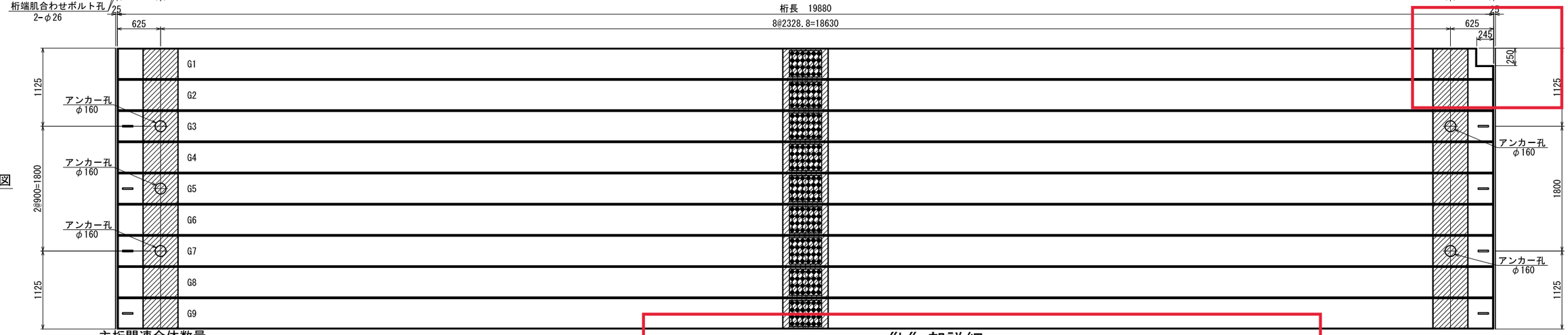
上面図



側面図



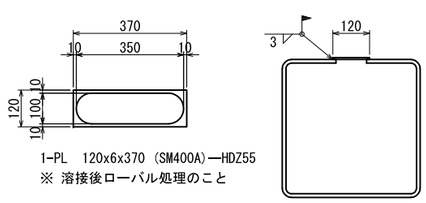
下面図



主桁関連全体数量

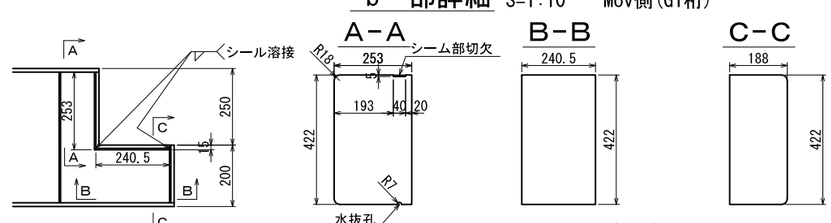
主桁	18-□	450x450x12x 9941 (BCR295)--HDZ55
仕切板(端)	47-PL	422 x 4.5 x 422 (SS400)--HDZ45— 桁端部のみ亜鉛メッキ
仕切板(Fix側アンカー部)	6-PL	422 x 6 x 422(SS400)
仕切板(切り欠き部)	1-PL	422 x 4.5 x 253(SS400)—HDZ45
仕切板(切り欠き部)	1-PL	422 x 4.5 x 241(SS400)—HDZ45
仕切板(切り欠き部)	1-PL	422 x 4.5 x 188(SS400)—HDZ45
仕切板(現場継手部)	18-PL	422 x 4.5 x 422(SS400)
仕切板押え(端)	30-DB	D13 x 500(SD345)
仕切板押え(Fix側アンカー部)	6-DB	D13 x 684(SD345)
横締ボルト	128-BN	M22x70(SS400)(HLR-Nut,2-Washer付)--HDZ35
端部ボルト	32-BN	M22x70(SS400)(HLR-Nut,2-Washer付)--HDZ35
吊金具	36-PL	120x12x150(SM400A)--HDZ55
ボルト締め用孔蓋	54-PL	120x6x370 (SM400A)--HDZ55
ソールプレート	18-Sole PL	220x26x390(SM400A)—HDZ55

"a" 部詳細 S=1:10



1-PL 120x6x370 (SM400A)—HDZ55
※ 溶接後ローバル処理のこと

"b" 部詳細 S=1:10 Mov側(G1桁)



1-PL 422 x 4.5 x 253(SS400)—HDZ45
1-PL 422 x 4.5 x 241(SS400)—HDZ45
1-PL 422 x 4.5 x 188(SS400)—HDZ45

注）
1.パネル詳細図(その2,3,4)も参照のこと。

※本工事は、上流側のみを対象とする。

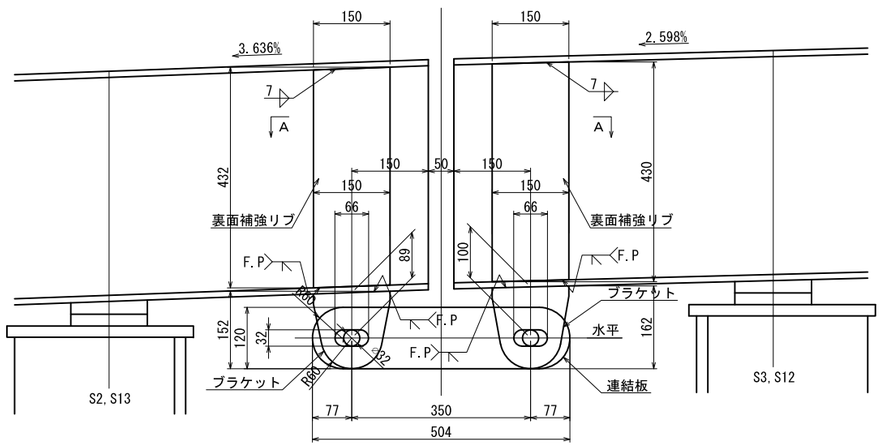
平成30～31年度	図面番号		
事業名			
路線名 河川名	一般府道 相川停車場線 一級河川 淀川水系 安威川		
工事名	一般府道 相川停車場線 新京阪橋歩道拡幅設計業務		
施工地名	吹田市南高浜町地内		
図面名	パネル詳細図 （その1）	縮尺	図示
大阪府茨木土木事務所			

落橋防止構造詳細図

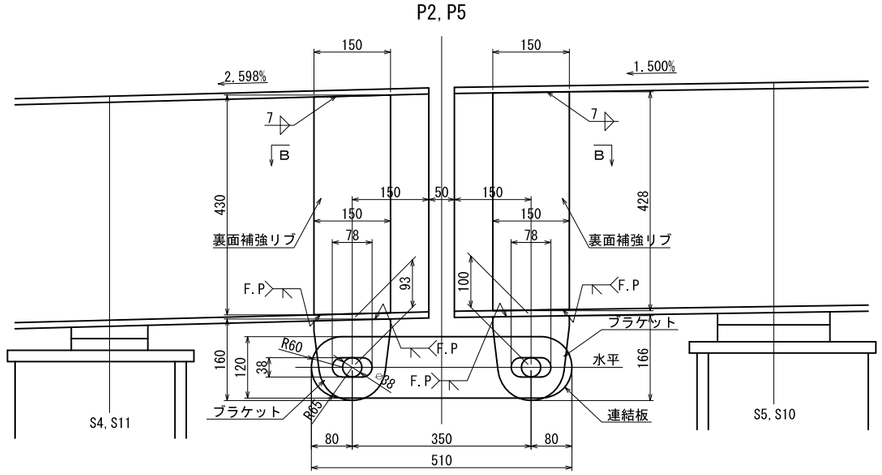
上流側

側 面 図 S=1:6

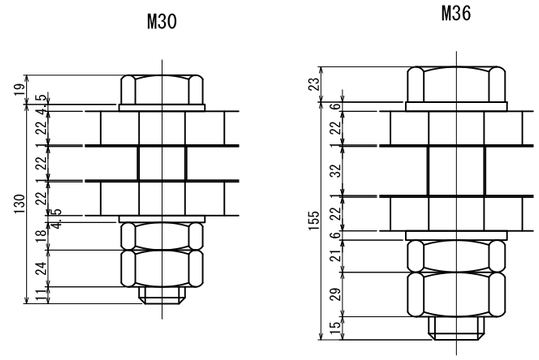
P1, P6



P2, P5

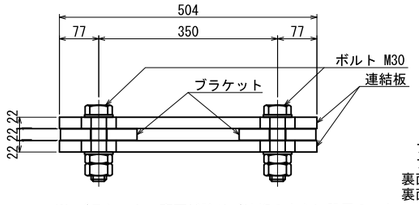


連結ボルト詳細図 S=1:2



※ 連結ボルトはブラケットと連結板に1mm程度隙間を設け締め付けないこと。

A−A

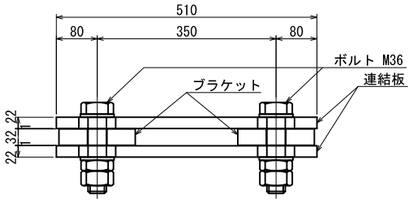


製作数：4 / 1橋脚当り

連結板	2-PL 120 x 22 x 504 (SM400A)--HDZ55
ブラケット	1-PL 152 x 22 x 150 (SM400A)--HDZ55--S2,S13側
ブラケット	1-PL 162 x 22 x 150 (SM400A)--HDZ55--S3,S12側
裏面補強リブ	1-PL 432 x 22 x 150 (SM400A)--HDZ55--S2,S13側
裏面補強リブ	1-PL 430 x 22 x 150 (SM400A)--HDZ55--S3,S12側
	2-BN M30x130 (S35CN)(1-Nut1種,3種,2-Washer付)--HDZ35

※ ブラケット、裏面補強リブは桁の中心に設置のこと

B−B

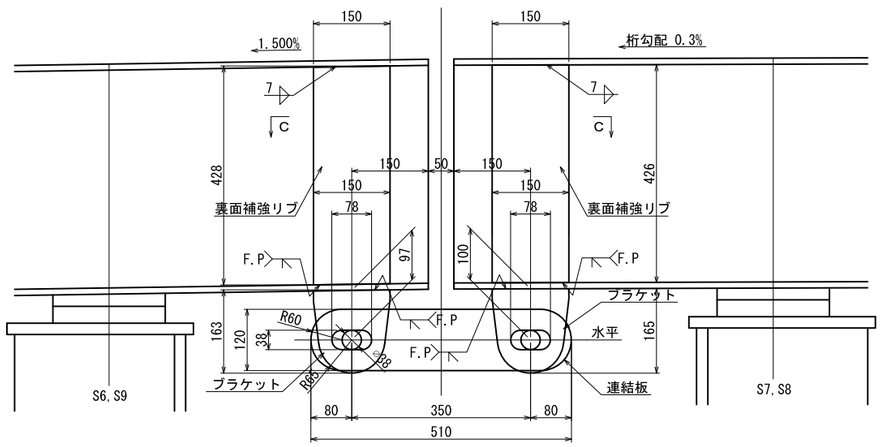


製作数：4 / 1橋脚当り

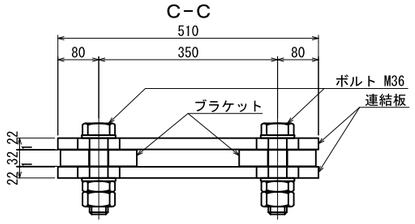
連結板	2-PL 120 x 22 x 510 (SM400A)--HDZ55
ブラケット	1-PL 160 x 32 x 150 (SM400A)--HDZ55--S4,S11側
ブラケット	1-PL 166 x 32 x 150 (SM400A)--HDZ55--S5,S10側
裏面補強リブ	1-PL 430 x 32 x 150 (SM400A)--HDZ55--S4,S11側
裏面補強リブ	1-PL 428 x 32 x 150 (SM400A)--HDZ55--S5,S10側
	2-BN M36x155 (S35CN)(1-Nut1種,3種,2-Washer付)--HDZ35

※ ブラケット、裏面補強リブは桁の中心に設置のこと

P3, (P4)



C−C

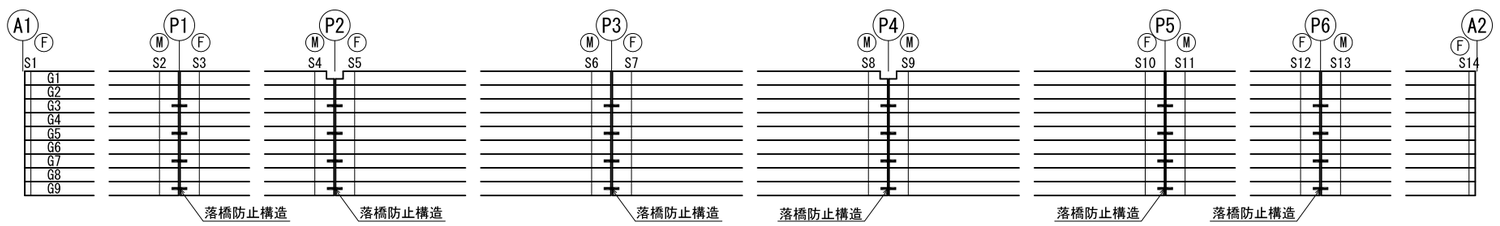


製作数：4 / 1橋脚当り

連結板	2-PL 120 x 22 x 510 (SM400A)--HDZ55
ブラケット	1-PL 163 x 32 x 150 (SM400A)--HDZ55--S6,S9側
ブラケット	1-PL 165 x 32 x 150 (SM400A)--HDZ55--S7,S8側
裏面補強リブ	1-PL 428 x 32 x 150 (SM400A)--HDZ55--S6,S9側
裏面補強リブ	1-PL 426 x 32 x 150 (SM400A)--HDZ55--S7,S8側
	2-BN M36x155 (S35CN)(1-Nut1種,3種,2-Washer付)--HDZ35

※ ブラケット、裏面補強リブは桁の中心に設置のこと

配置図



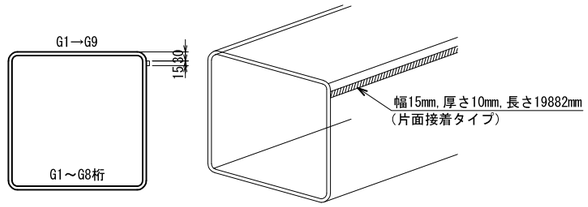
※本工事は、上流側のみを対象とする。

平成30～31年度	図面番号		
事業名			
路線名 河川名	一般府道 相川停車場線 一級河川 淀川水系 安威川		
工事名	一般府道 相川停車場線 新京阪橋歩道拡幅設計業務		
施工地名	吹田市南高浜町地内		
図面名	落橋防止構造詳細図	縮尺	図示
大阪府茨木土木事務所			

パネル詳細図（その3）

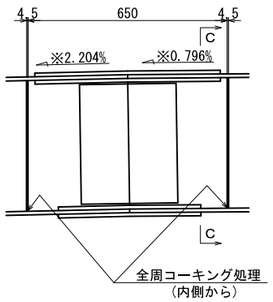
上流側
P2-P3,(P4-P5)

隙間テープ S=1:10



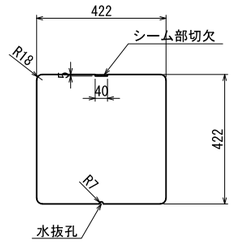
※ G9桁を除き全長に渡り上図位置に隙間テープを貼り付ける。
片側のみ（右側）に貼り付ける
※ めっき処理後に接着のこと。

添接部仕切板 S=1:10



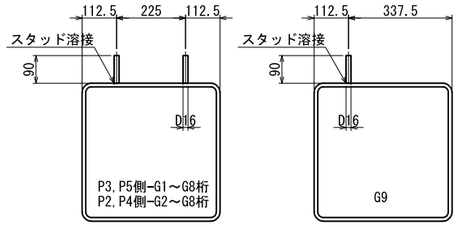
2-PL 422 x 4.5 x 422 (SS400)
※ 製作時桁勾配を示す。(完成時1.5%)

C－C
上面シーム

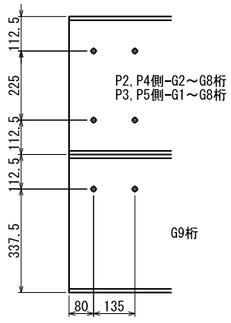


＊ 上面を除く３面中央付近に点溶接を行う
【 現地でコンクリート打設前に水抜き孔をコーキング実施 】

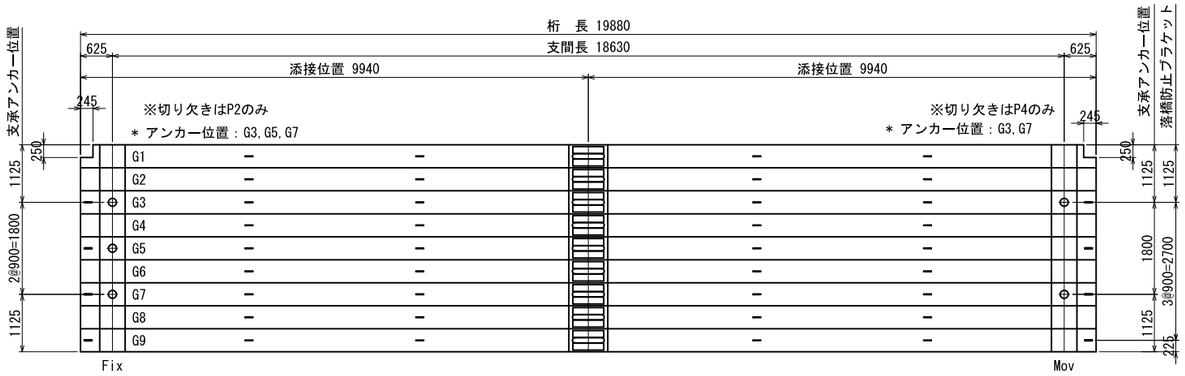
伸縮用異形ＳＴＤ S=1:10



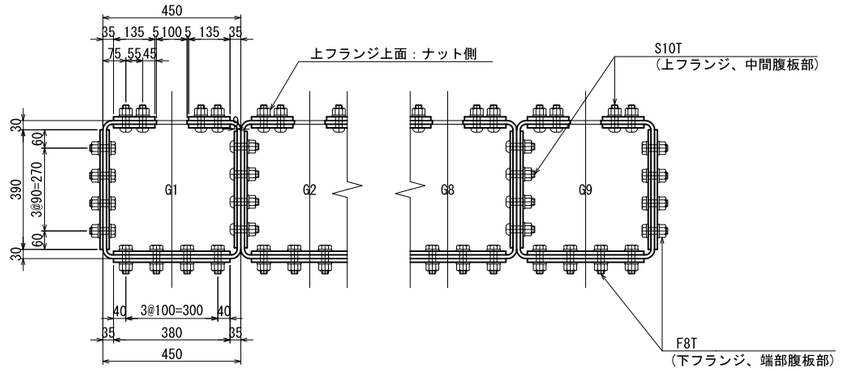
全体本数 64-異形STD D16x90(SD345相当)--HDZ55
【 伸縮装置の高さ調整後、所定高さに現地切断する。】



配 置 図



添接部断面図

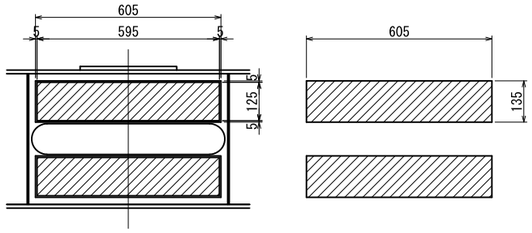


※ 摩擦接合面は表面粗さが60μmRz以上となるようブラストにより処理を行うこと。
※ 摩擦接合面及びボルト孔のめっきのたまりは取り除くこと。
※ ブラスト処理の範囲は接合の境界から5mm程度内側の領域とする。

摩擦接合処理

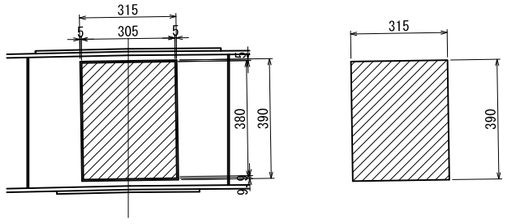
角鋼管添接部　　添接板

上フランジ



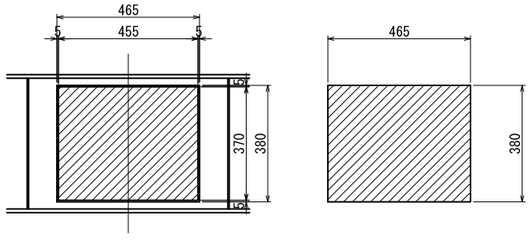
摩擦接合面(片側)ブラスト処理

腹板



摩擦接合面(片側)ブラスト処理

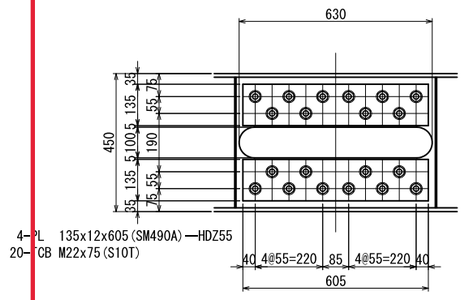
下フランジ



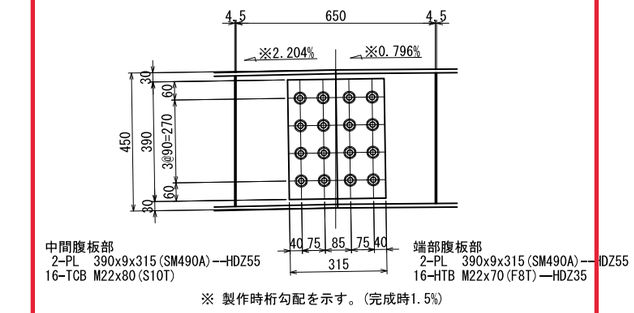
摩擦接合面(片側)ブラスト処理

添接部詳細図 S=1:10

上フランジ添接

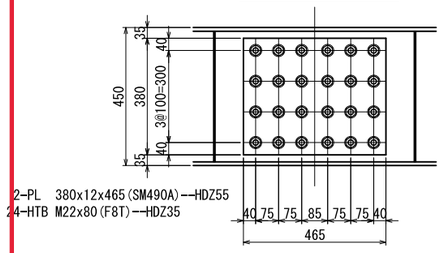


腹板添接



※ 製作時桁勾配を示す。(完成時1.5%)

下フランジ添接



※本工事は、上流側のみを対象とする。

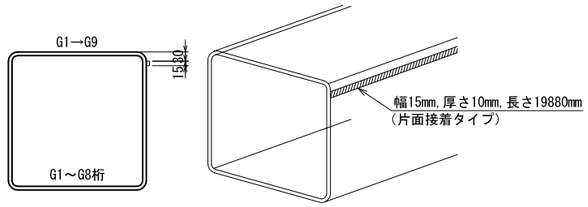
平成30～31年度	図面番号		
事業名			
路線名 河川名	一般府道 相川停車場線 一級河川 淀川水系 安威川		
工事名	一般府道 相川停車場線 新京阪橋歩道拡幅設計業務		
施工地名	吹田市南高浜町地内		
図面名	パネル詳細図 （その3）	縮尺	図示
大阪府茨木土木事務所			

注）
1.パネル詳細図(その1,2,4)も参照のこと。

パネル詳細図（その3）

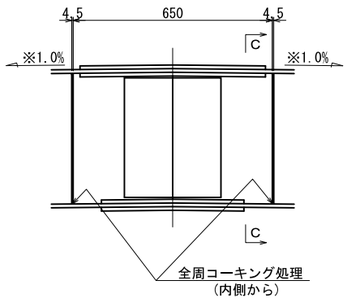
上流側
P3-P4

隙間テープ S=1:10



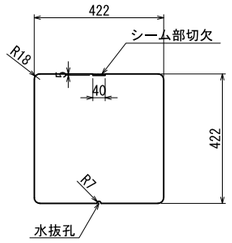
※ G9桁を除き全長に渡り上図位置に隙間テープを貼り付ける。
片側のみ（右側）に貼り付ける
※ めっき処理後に接着のこと。

添接部仕切板 S=1:10



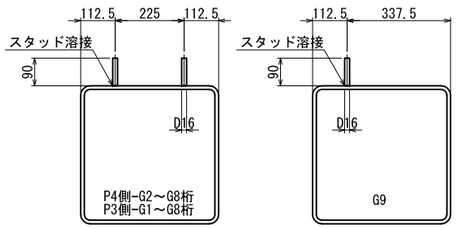
2-PL 422 x 4.5 x 422 (SS400)
※ 製作時桁勾配を示す。(完成時0.3%)

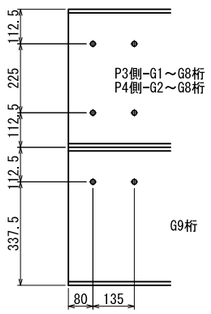
C－C
上面シーム



＊ 上面を除く３面中央付近に点溶接を行う
【 現地でコンクリート打設前に水抜き孔をコーキング実施 】

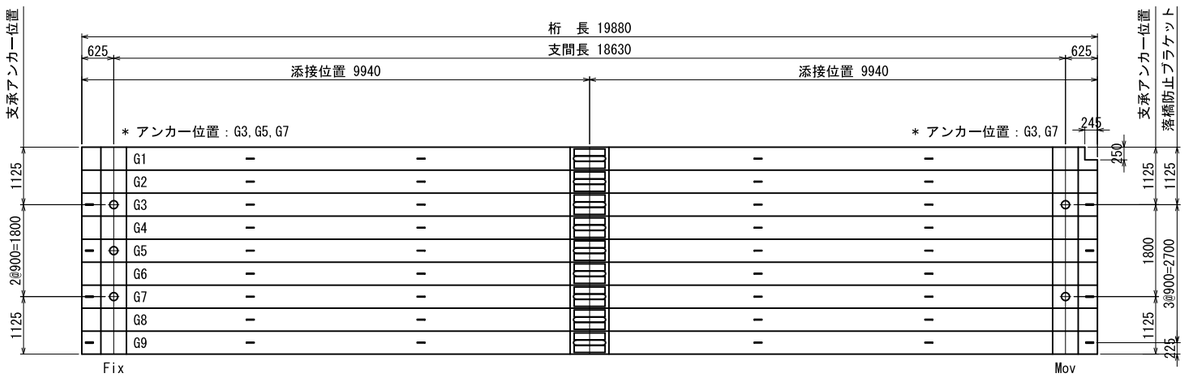
伸縮用異形ＳＴＤ S=1:10



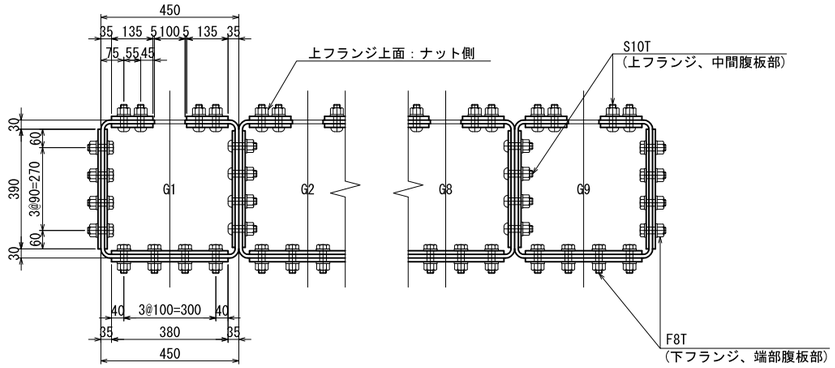


全体本数 64-異形STD D16x90(SD345相当)―HDZ55
【 伸縮装置の高さ調整後、所定高さに現地切断する。】

配 置 図



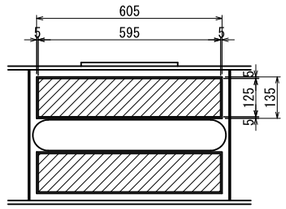
添接部断面図



※ 摩擦接合面は表面粗さが60μmRz以上となるようブラストにより処理を行うこと。
※ 摩擦接合面及びボルト孔のめっきのたまりは取り除くこと。
※ ブラスト処理の範囲は接合の境界から5mm程度内側の領域とする。

摩擦接合処理

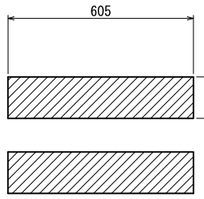
角鋼管添接部



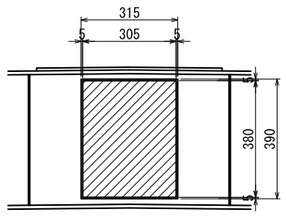
摩擦接合面(片側)ブラスト処理

添接板

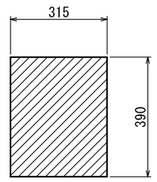
上フランジ



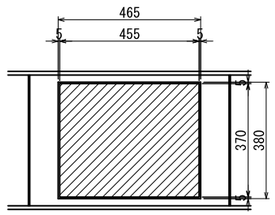
腹板



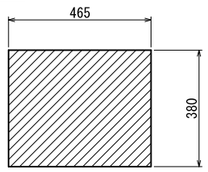
摩擦接合面(片側)ブラスト処理



下フランジ

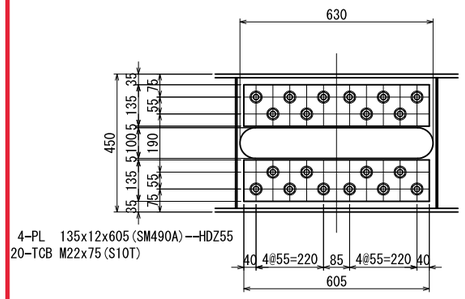


摩擦接合面(片側)ブラスト処理

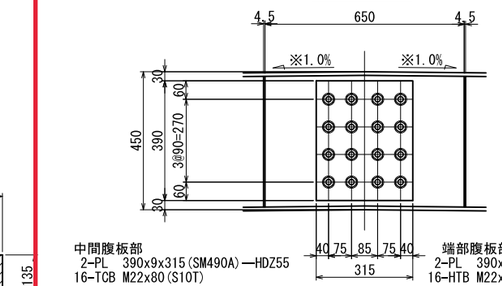


添接部詳細図 S=1:10

上フランジ添接

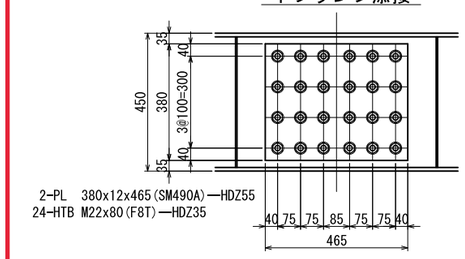


腹板添接



※ 製作時桁勾配を示す。(完成時0.3%)

下フランジ添接



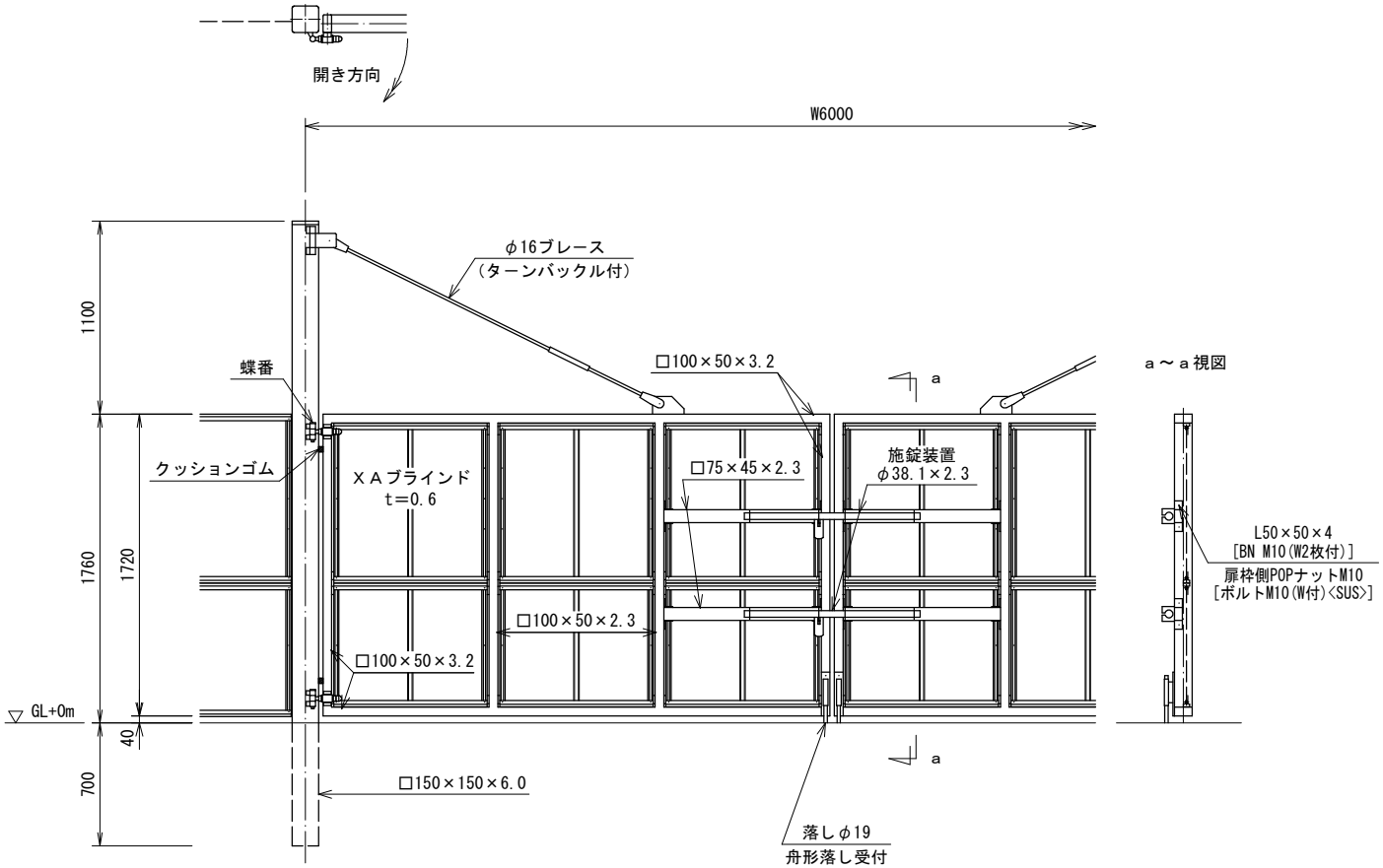
注)
1.パネル詳細図(その1,2,4)も参照のこと。

※本工事は、上流側のみを対象とする。

平成30～31年度	図面番号		
事業名			
路線名 河川名	一般府道 相川停車場線 一級河川 淀川水系 安威川		
工事名	一般府道 相川停車場線 新京阪橋歩道拡幅設計業務		
施工地名	吹田市南高浜町地内		
図面名	パネル詳細図 （その3）	縮尺	図示
大阪府茨木土木事務所			

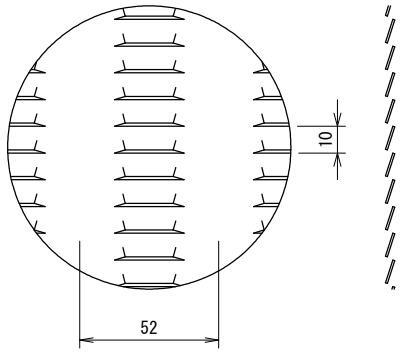
目かくしフェンス両開き門扉Ｈ１８００×Ｗ６０００　S=1:30

（昭和５７年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 ＧＬ＋０ｍ に依る）



ＸＡブラインド　S=1:2

t＝0.6



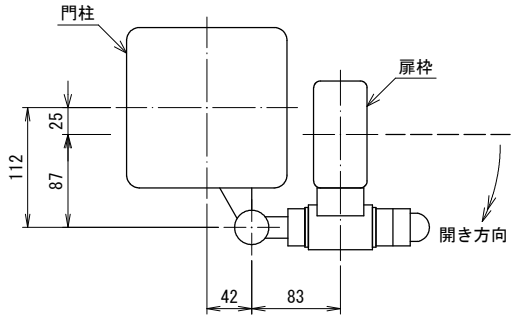
設計条件

設計荷重・・・昭和５７年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。

備考

1. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装とする。但し、門柱及び扉枠は溶融亜鉛めっきの上液体塗装、ブレースは溶融亜鉛めっきの上着色処理、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし、一部のボルト・ナット、施錠装置、落し及びボルト式蝶番は溶融亜鉛めっきのみとする。
2. 本図門扉は施錠側１８０°開き、施錠側落しとする。
3. 扉枠にはめっきの為、湯抜穴を適所（見苦しくない位置）に設けるものとする。

門柱・扉枠位置関係図



特／標／Ｚ９４０６４

ロードスクリーン

ロードスクリーンは、夜間走行の際、対向車のヘッドライトが運転者に眩惑を与え、衝突・接触事故などを誘発するのを防止するための施設です。本体にエキスパンドメタルを使用し、優れた遮光効果を発揮する経済的な遮光板です。

■ すぐれた遮光効果を発揮します。

ロードスクリーンの形状は、遮光効果を十分に考えた設計で、運転者を対向車のヘッドライトから守ります。また、運転者の視野を妨げず、圧迫感も与えません。

■ 遮光角度に応じた使い分けができます。

エキスパンドメタルを使い分けることにより、直線区間、曲線区間の必要遮光角度に応じた使用ができるように設計されています。

■ 価格は低廉、維持管理も経済的です。

ロードスクリーンは、ほかの遮光板に比べて低廉です。そのうえ、溶融亜鉛めっきを施してありますから、耐久性に富み、維持管理がきわめて容易です。

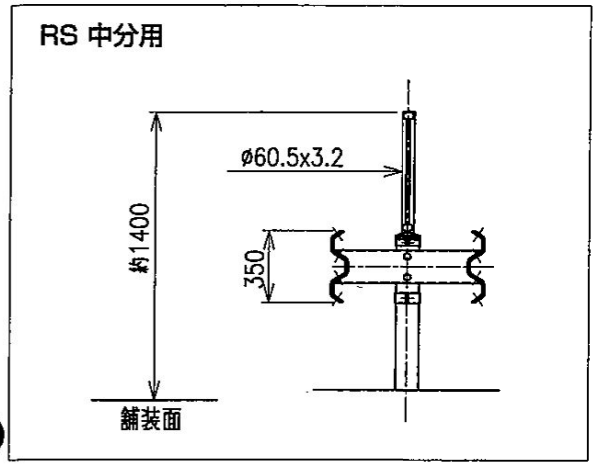
■ 美しい外観です。

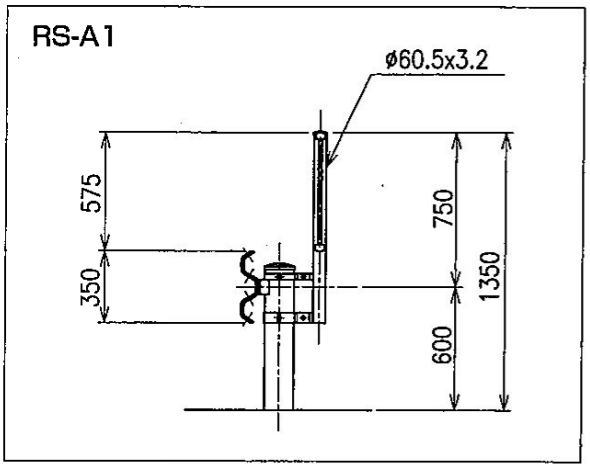
外観は優美で周囲の環境にマッチし、風致を害することはありません。

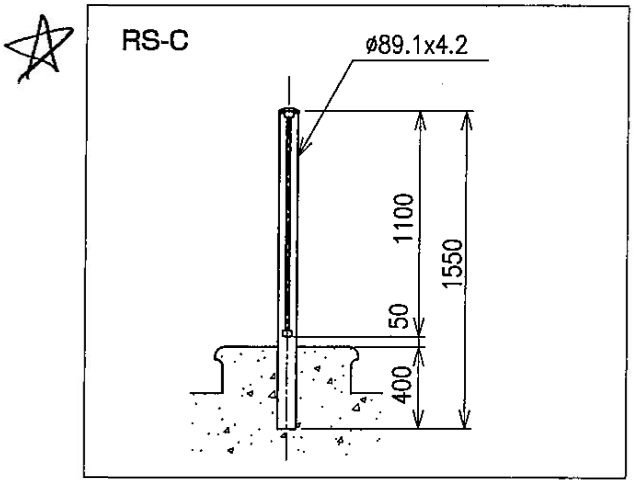
記号	分類	遮光板本体 板厚x幅x長さ(mm)	中間支柱 板厚x径x長さ(mm)	端末支柱 板厚x径x長さ(mm)	参考重量 (kg/m)
RS-A1	片面ガードレールとの併用型 (φ139.8との取付用)	2.3x575x4,000	3.2xφ60.5x925	3.2xφ60.5x925	9.31
RS-A2	片面ガードレールとの併用型 (φ114.3との取付用)				9.26
RS-B1	両面ガードレールとの併用型 (φ139.8との取付用)		3.2xφ60.5x930	3.2xφ60.5x930	9.15
RS-B2	両面ガードレールとの併用型 (φ114.3との取付用)				9.09
☆ RS-C	コンクリート建込用	2.3x1,100x4,000	4.2xφ89.1x1,550	4.2xφ89.1x1,550	13.90

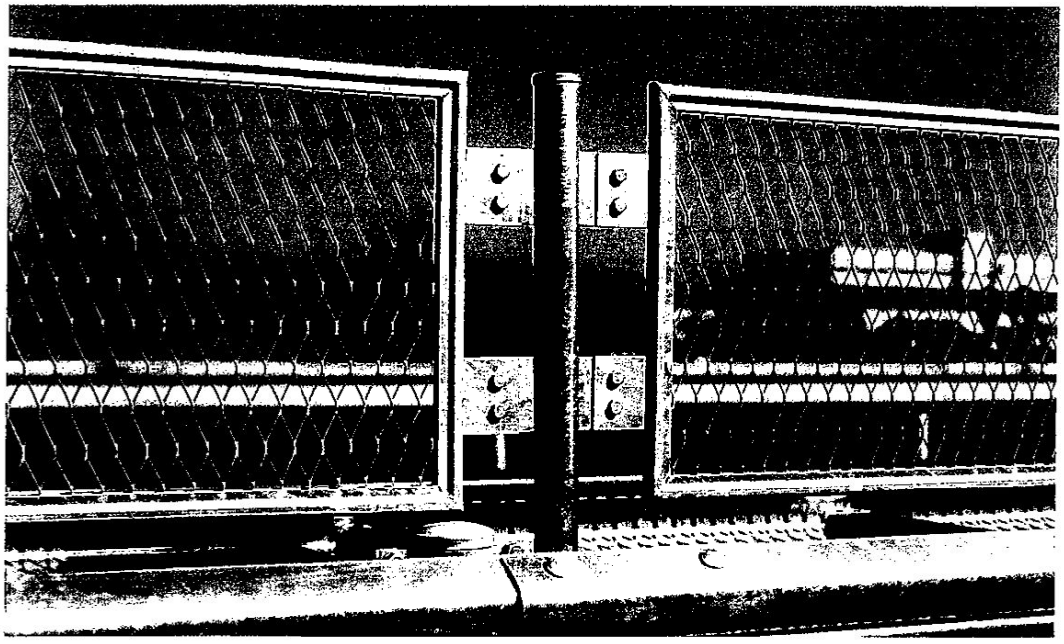
※遮光フェンス　H=1150

形状・寸法図


RS 中分用
ø60.5x3.2
約1400
350
舗装面

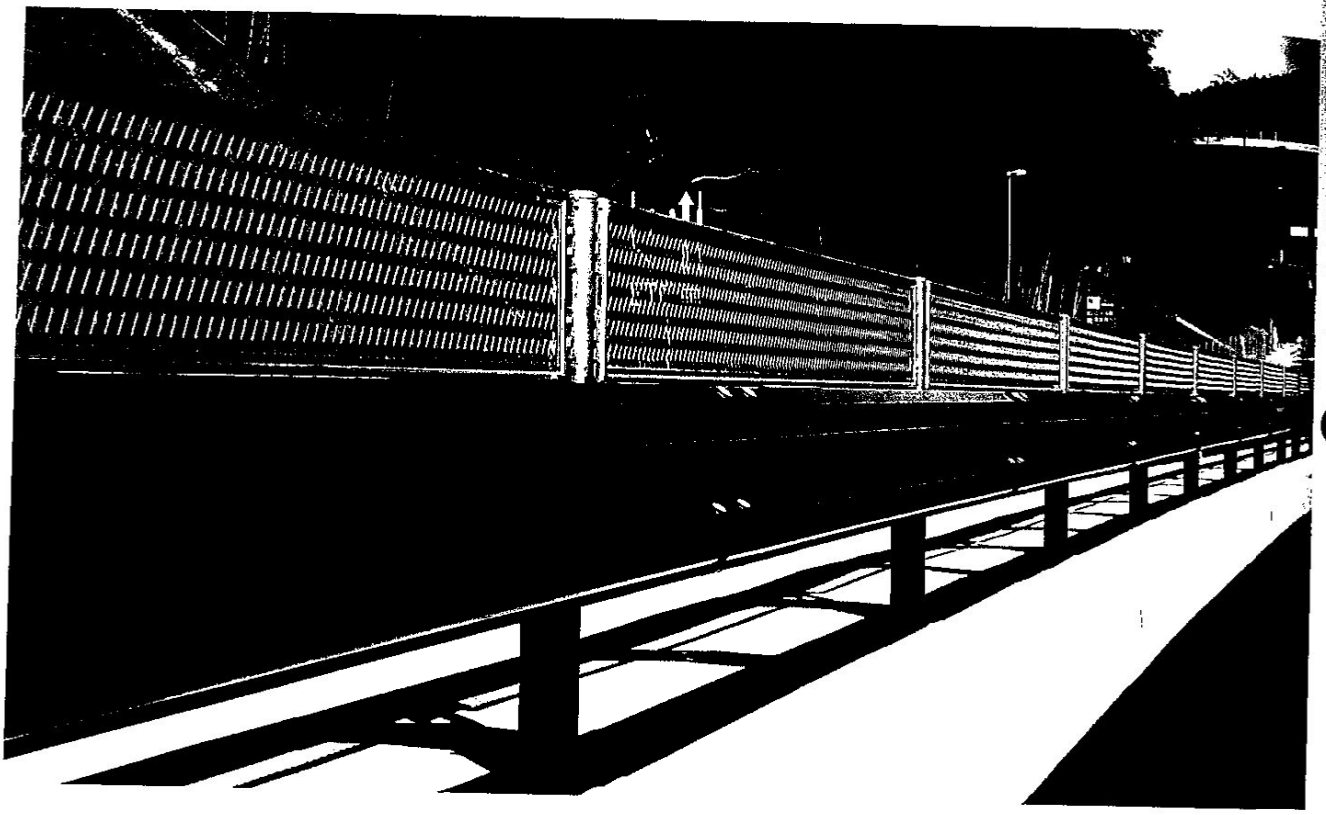

RS-A1
ø60.5x3.2
575
350
750
1350
600

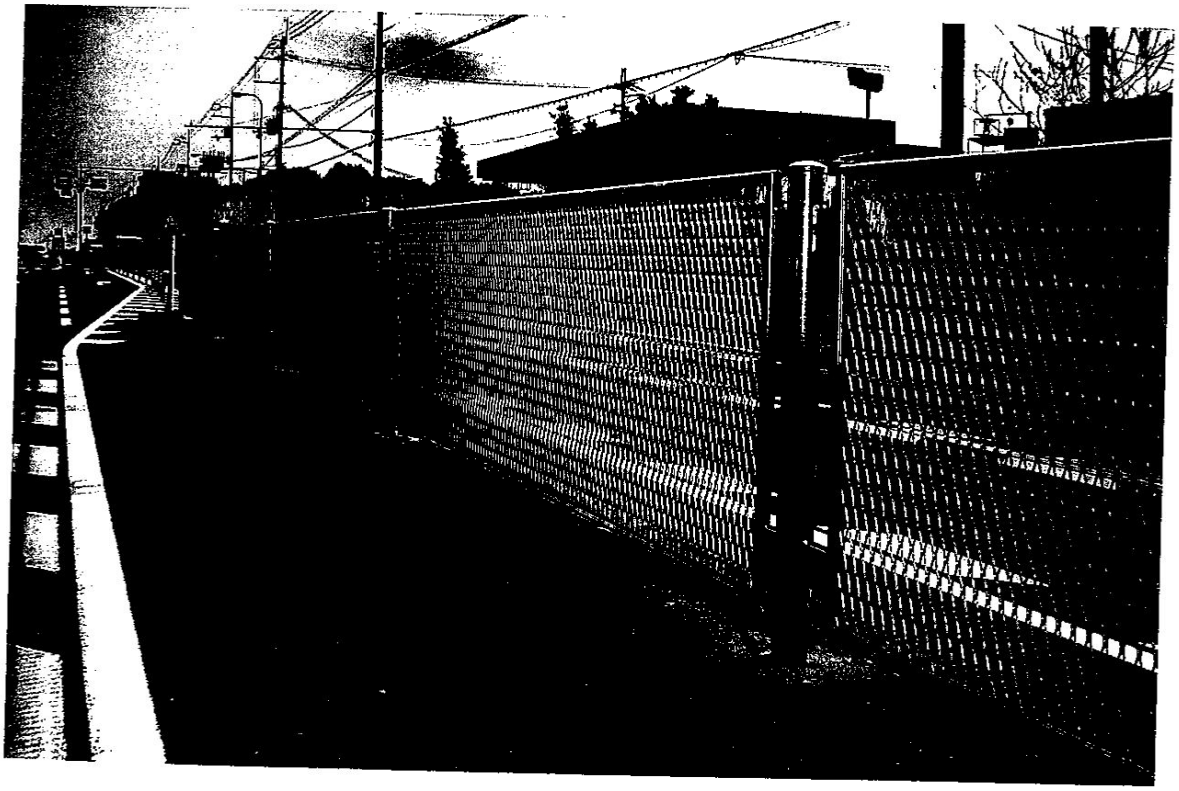

RS-C
ø89.1x4.2
1100
1550
50
400



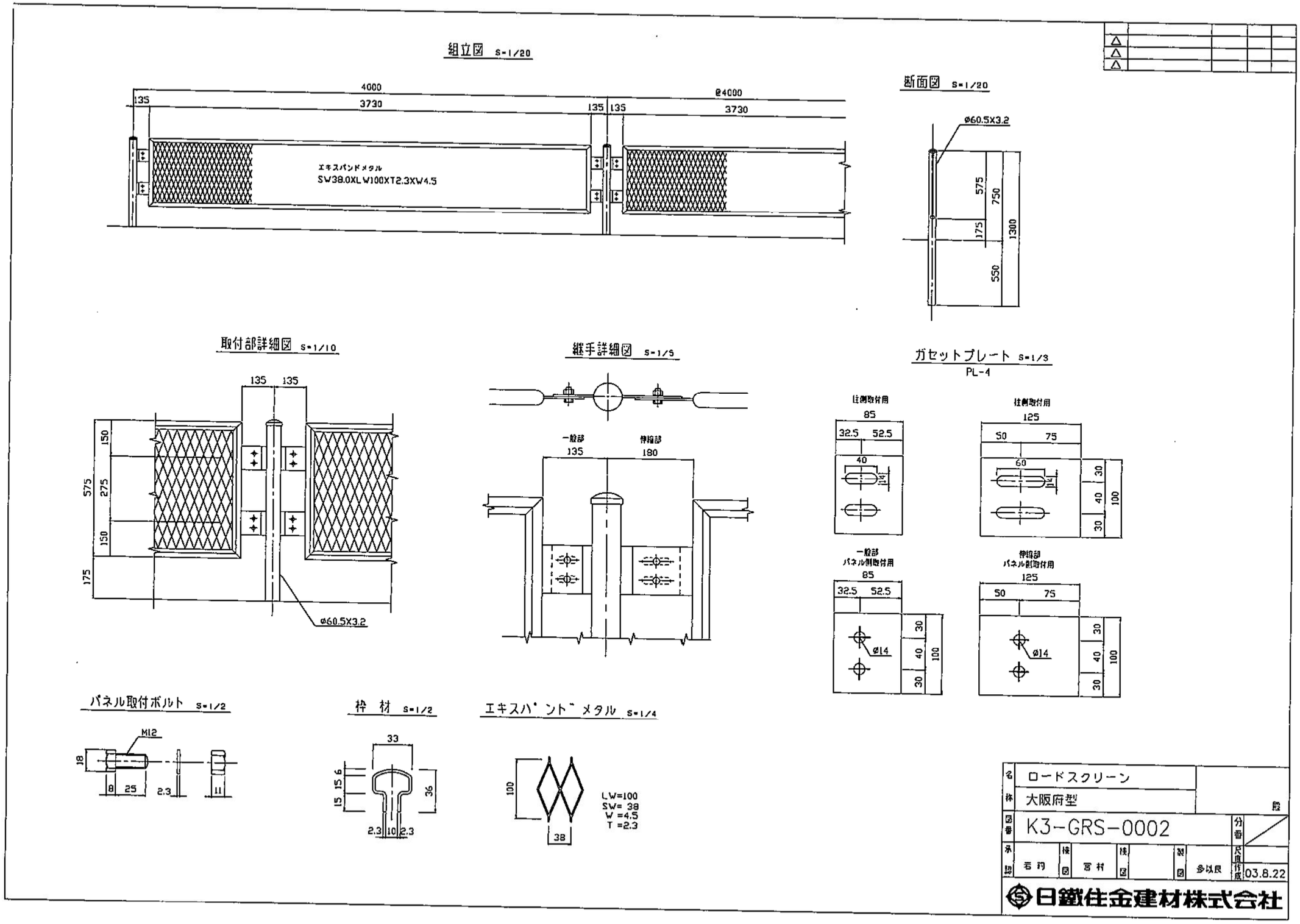
ロードスクリーン

施工例



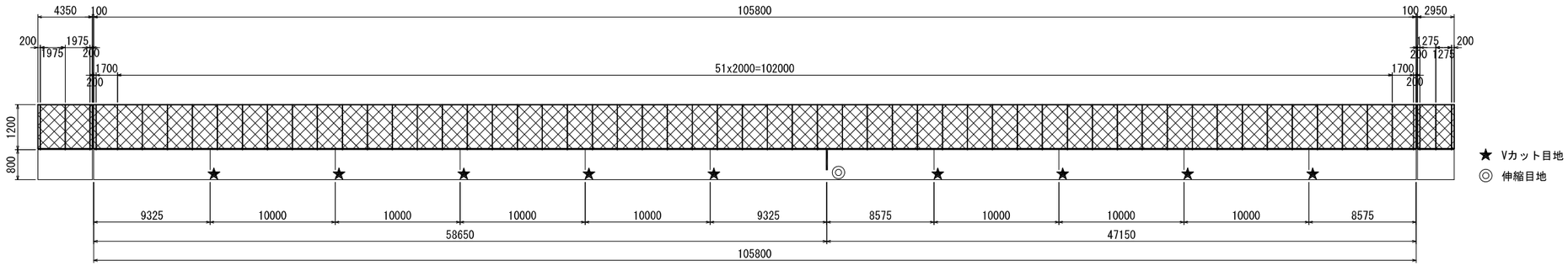


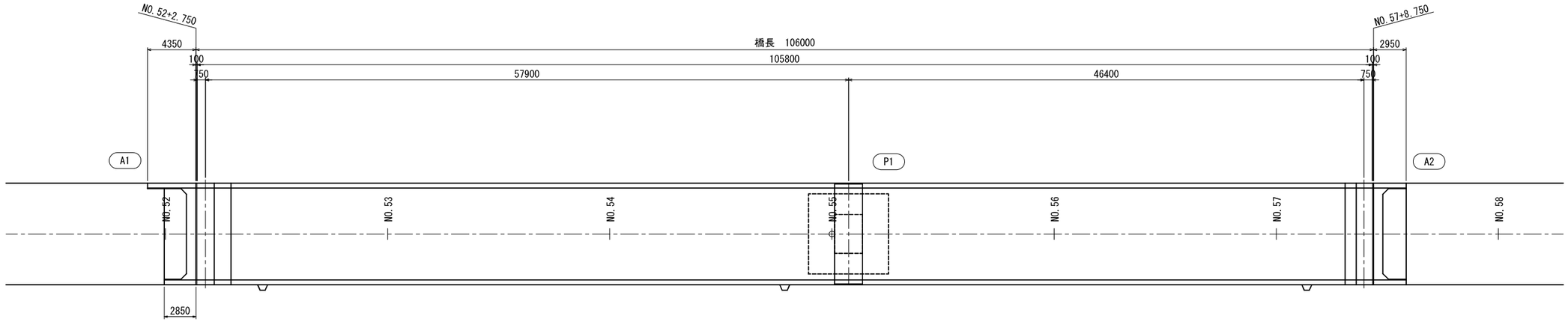
（参考図）　価格調査はＨ＝850で行うこととしている。



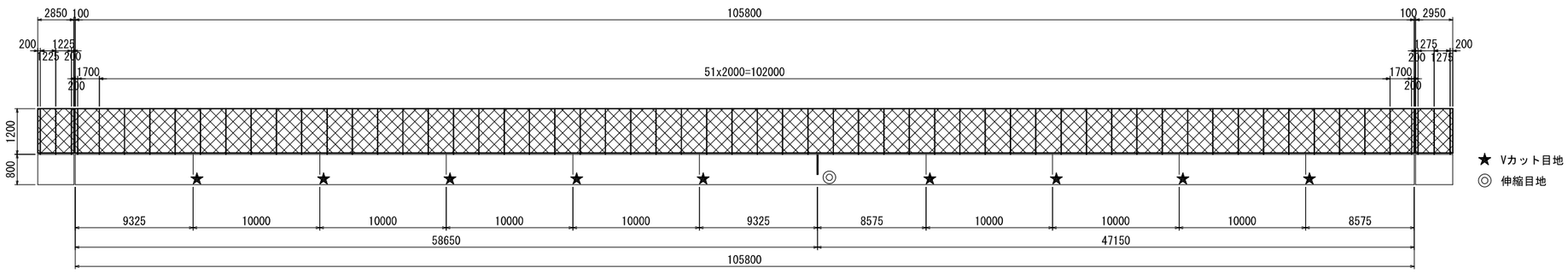
落下物防止柵詳細図（その1） S=1:200

左側壁高欄





右側壁高欄



上部工壁高欄

左側	支　柱	本	54
	アンカーボルト(U型)	本	108
右側	支　柱	本	54
	アンカーボルト(U型)	本	108

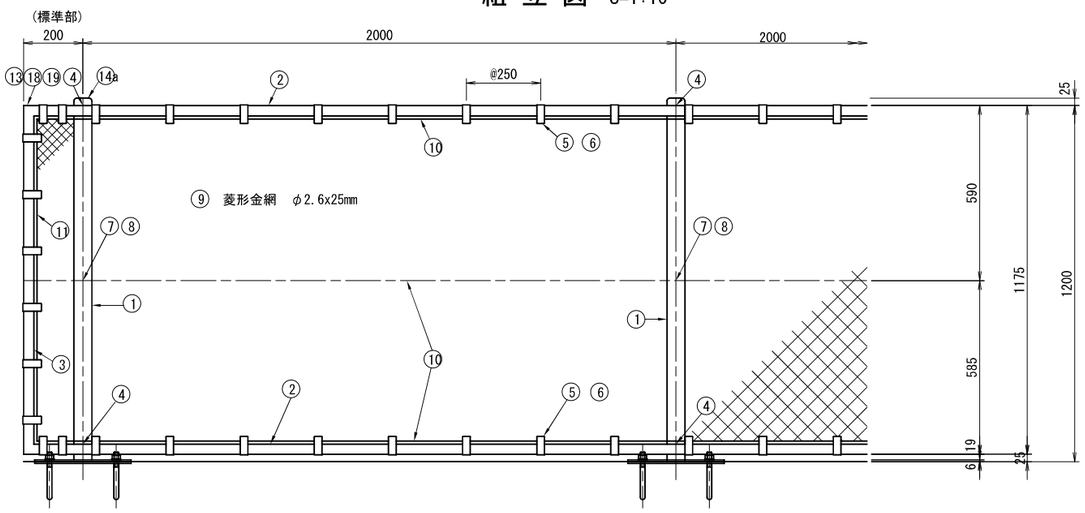
橋台壁高欄

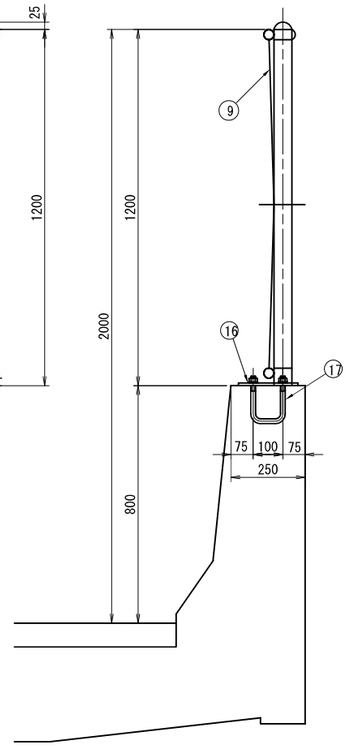
左側	支　柱	本	6
	アンカーボルト(U型)	本	12
右側	支　柱	本	6
	アンカーボルト(U型)	本	12

平成 25 年度		図面番号	79 / 115
事 業 名	主要地方道伏見柳谷高槻線 高槻東道路（成合工区）仮称紅茸橋梁詳細設計委託		
路 線 名	(主)伏見柳谷高槻線(高槻東道路)		
工 事 名			
施工地名	高槻市紅茸町地内外		
図 面 名	落下物防止柵詳細図(その1)	縮尺	図示
大阪府茨木土木事務所			

落下物防止柵詳細図(その2)

組 立 図 S=1:10





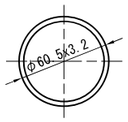
交差道路用:G1タイプ

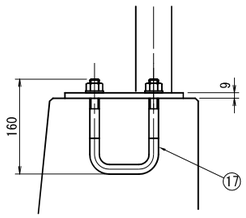
区分	番号	名称	規格	材質	外装	備考
柵部	1	中間支柱	φ60.5x3.2	STK400	HDZ55	A-5.760cm^2 Z-7.84cm^3
	2	胴縁	φ34.0x2.3	〃	〃	A-2.291cm^2 Z-1.70cm^3
	4	胴縁取付Uボルト	M8	SUS304		W,SW付
	5	金網取付バンド	t=2.3	SS400	HDZ35	
	6	ボルト、ナット	M8x30	SUS304		W2枚付
	7	金網止め金具	t=2.3	SS400	HDZ35	
	8	ボルト,ナット	M8x90	SUS304		W2枚付
	9	菱形金網	φ2.6x25mm	Z-GS7	亜鉛付着量 400g/m^{2}以上	
	10	横力骨線	φ4.0	SWMGS-7	〃	
	12	胴縁継手	φ27.2x2.3	STK400	HDZ35	
	13	ボルト,ナット	M8x50	SUS304		W2枚,SW付
	14a	キャップ	t=2.3	SS400	HDZ55	
	16	ベースプレート	t=9	〃	〃	
	17	アンカーボルト(U型)	M16	4T	HDZ35	W付
羽根出し部	3	袖胴後	φ34.0x2.3	STK400	HDZ55	
	11	縦力骨線	φ5.0	SWMGS-7	亜鉛付着量 400g/m^{2}以上	
	18	胴縁継手取付金具	t=3.2 φ27.2x2.3	SS400 STK400	HDZ35	
	19	ボルト,ナット	M10x30	SUS304		W2枚,SW付

ベースプレート詳細図

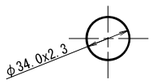
S=1:5

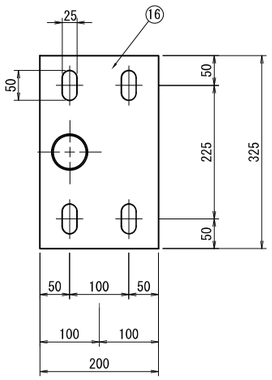
① 断 面 図





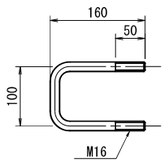
③ 断 面 図



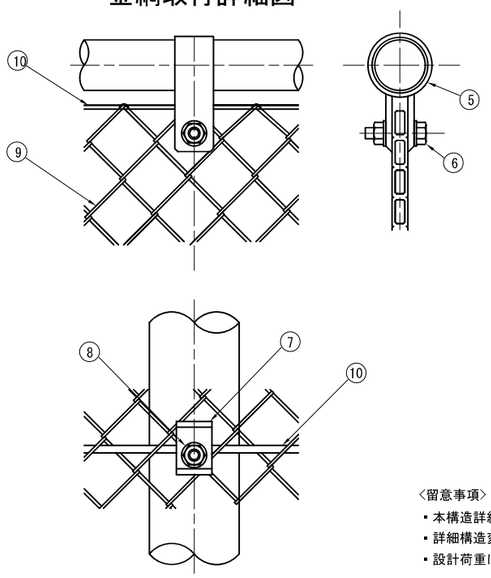


縦断勾配に対しては,ベースプレートで調整する

⑰ アンカーボルト(U型)



金網取付詳細図

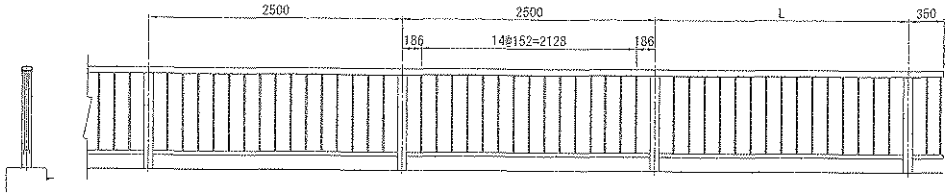


<留意事項>

- 本構造詳細は国土交通省近畿地方整備局 土木工事標準設計図集に基づく.
- 詳細構造変更の際は,G1タイプと同等品とすること.
- 設計荷重は,風荷重3kN/m2を考慮.

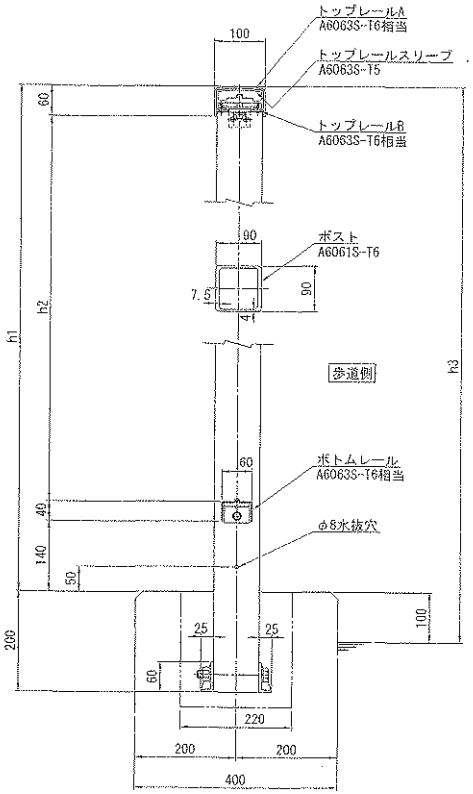
平成 25 年度		図面番号	80/115
事業名	主要地方道伏見柳谷高槻線 高槻東道路 (成合工区)仮称紅茸橋梁詳細設計委託		
路線名	(主)伏見柳谷高槻線(高槻東道路)		
工事名			
施工地名	高槻市紅茸町地内外		
図面名	落下物防止柵詳細図(その2)	縮尺	図示
大阪府茨木土木事務所			

姿　図

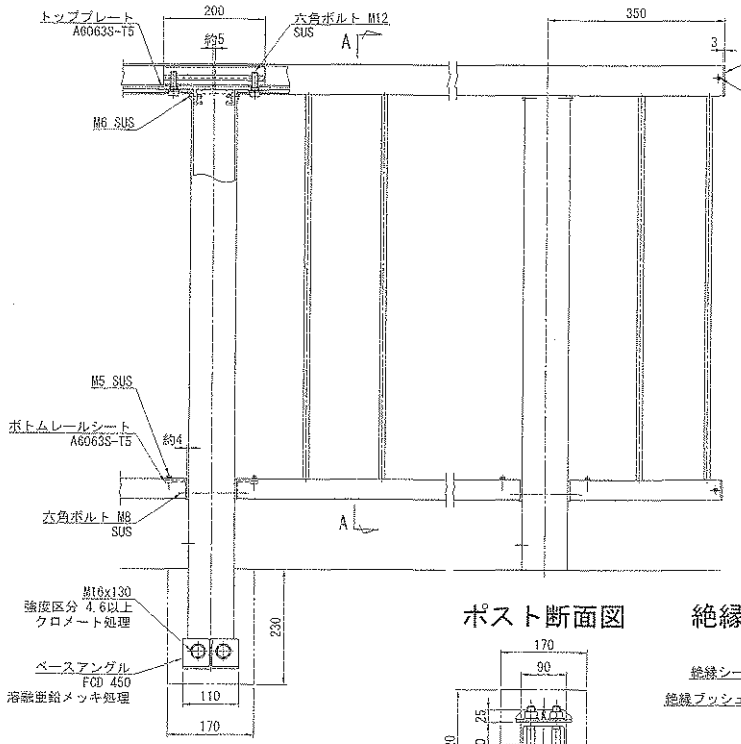


歩行者自転車用柵取付詳細図

製品番号	h1	h2	h3
KR-1031-10	1000	760	1100
KR-1031-11	1100	860	1200

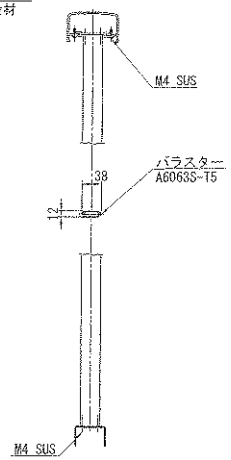


継手部

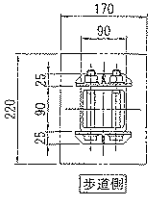


端　部

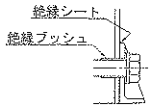
断面A-A



ポスト断面図



絶縁仕様詳細



※ コンクリート強度 σck=21N/mm² 以上

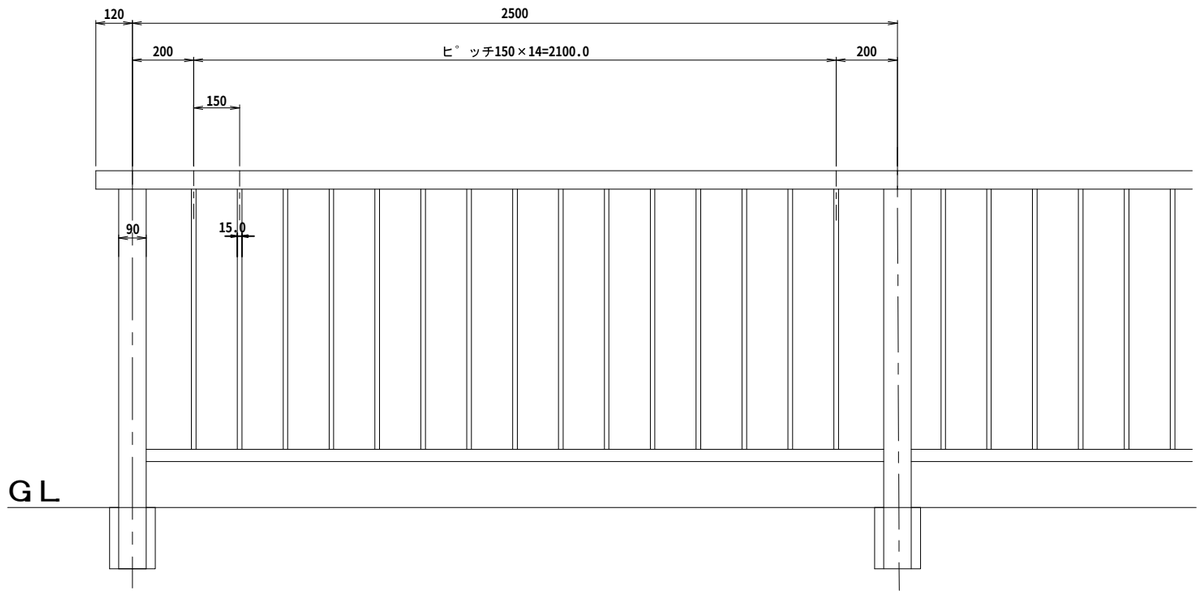
S. N. R. KR-1031-10

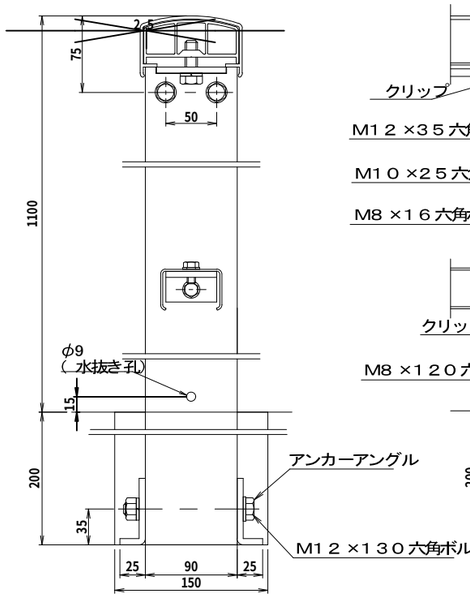
S. N. R. KR-1031-11

転落防止柵構造図

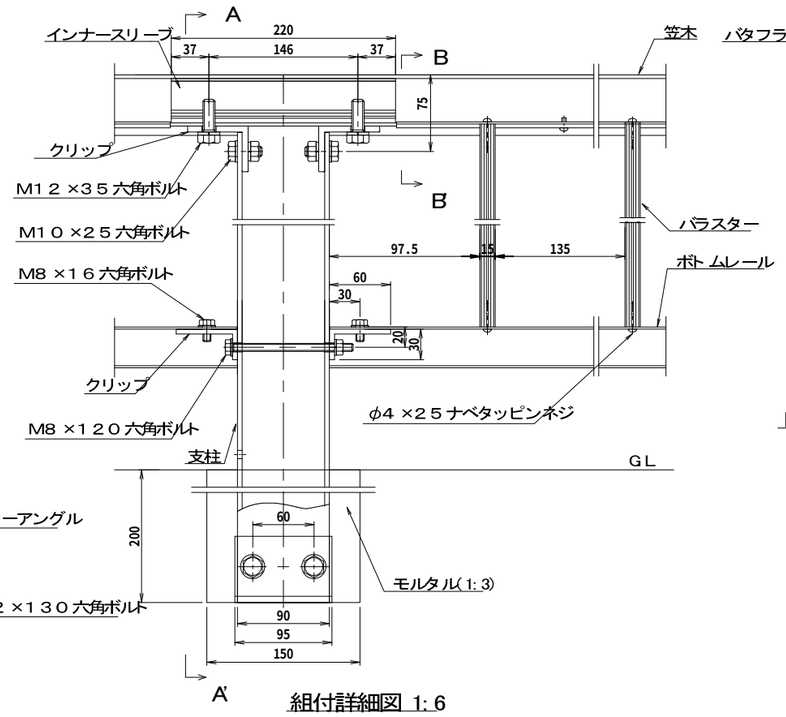
正　面　図

S=1:20

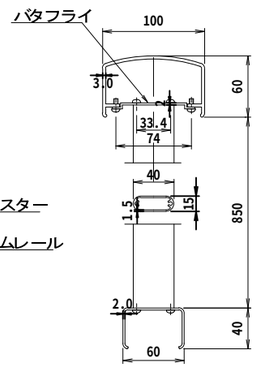




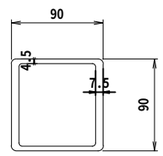
A－A′ 部断面図 1:6



組付詳細図 1:6



B－B′ 部断面図 1:6



支柱断面図 1:6

転落防止柵（SP種）埋込タイプ	
色	ﾀﾞｰｸﾌﾞﾗｳﾝ系（ｱﾙﾏｲﾄ塗装）
部材名	規格・材質
支柱	JIS H 4100 A6061S-T6
笠木	JIS H 4100 A6063S-T6
ﾎﾞﾄﾑﾚｰﾙ	JIS H 4100 A6063S-T6
ﾊﾞﾗｽﾀｰ	JIS H 4100 A6063S-T6
ﾊﾞﾀﾌﾗｲ	JIS H 4100 A6063S-T6
ｲﾝﾅｰｽﾘｰﾌﾞ	JIS H 4100 A6063S-T6
ｱﾝｶｰｱﾝｸﾞﾙ	JIS G 3101 SS400
ｸﾘｯﾌﾟ	JIS H 4100 A6061S-T6
ﾎﾞﾙﾄ	JIS B 1180
ﾈｼﾞ類	JIS B 1122

（参考図）

年　度		番号	
路線 河川名			
工事名			
工事場所			
図面名			
縮　尺	図示		